TOHOKU
UNIVERSITY

2025年度

東北大学 災害科学国際研究所
活動報告書

Annual Report
International Research Institute of Disaster Science
Tohoku University



訂正のお知らせ

本誌『2025 年度　東北大学　災害科学国際研究所　活動報告書』（2026 年 9 月 1 日発行）に一部誤りがあり、お詫びいたします。2026 年 10 月 2 日に該当頁（pp.35-36）を差し替えました。

目　次

１．巻頭言…… 3

２．研究所の概要

2.1.　基本理念…… 7

2.2.　設置目的・沿革…… 7

2.3.　中期目標・中期計画…… 8

３．１年の活動概要と自己評価

3.1.　組織運営の概要…… 13

3.2.　研究・実践活動の概要…… 13

3.3.　教育活動の概要…… 16

3.4.　自己評価…… 18

４．組織運営

4.1.　研究組織、人員配置及び会議・委員会 …… 21

4.1.A.　組織図…… 21

4.1.B.　研究所長・副研究所長・教育研究評議員・研究所長補佐等…… 21

4.1.C.　教員数…… 22

4.1.D.　教職員等の配置…… 22

4.1.E.　研究所内会議・委員会…… 27

4.1.F.　タスクフォース…… 30

4.2.　研究資金…… 31

4.2.A.　歳出決算…… 31

4.2.B.　研究者一人あたりの研究費…… 32

4.2.C.　科学研究費補助金受入状況…… 33

4.2.D.　外部資金受入状況…… 35

4.2.E.　寄附金の受入状況…… 37

4.2.F.　災害研基金の受入状況…… 38

4.3.　施設・設備…… 39

4.4.　学内外連携…… 41

4.4.A.　学内外連携組織…… 41

4.4.B.　関係・協力団体…… 44

５．研究・実践活動

5.1.　教員および所内組織の研究・実践活動報告…… 49
5.1.A.　専任教員等の活動概要…… 49
5.1.B.　災害レジリエンス共創センター…… 69
5.1.C.　災害レジリエンス共創研究プロジェクト　概要…… 69
災害レジリエンス共創研究プロジェクト　2025 年度採択課題一覧・報告書 …… 70
5.1.D.　災害統計グローバルセンター…… 74
5.1.E.　気仙沼分室…… 74
5.1.F.　広報室…… 75
5.1.G.　研究戦略推進室…… 76
5.2.　研究・実践活動　報告…… 77
5.2.A.　特筆すべき成果…… 77
5.2.B.　アクティビティレポート一覧…… 81
5.2.C.　イベントフライヤー等…… 84
5.3.　研究・実践活動　データ集…… 87
5.3.A.　研究・実践活動　データ一覧…… 87
5.3.B.　論文…… 88
5.3.C.　書籍等出版物…… 107
5.3.D.　MISC…… 108
5.3.E.　講演・口頭発表等…… 113
5.3.F.　シンポジウム等の主催・共催・運営等…… 133
5.3.G.　産業財産権…… 138
5.3.H.　受賞…… 139
5.3.I.　委員…… 140
5.3.J.　被災地・未災地との連携…… 148
5.3.K.　国際共同研究…… 150
5.3.L.　国際訪問・受入…… 154
5.4.　広報・コミュニケーション活動…… 158
5.4.A.　刊行物…… 158
5.4.B.　公開イベント（IRIDeS オープンフォーラム等）…… 159
5.4.C.　展示…… 165
5.4.D.　メディア対応（報道・出演・執筆等）…… 166
5.4.E.　メディア対応（プレスリリース一覧）…… 175

６．教育活動

6.1.　教育活動　集計データ一覧…… 179
6.2.　指導学生の受賞…… 180
6.3.　担当授業科目…… 181

1. 巻頭言

巻頭言

東北大学災害科学国際研究所
所長　越村俊一

「2025 年度東北大学災害科学国際研究所活動報告書」の刊行にあたり、ご挨拶申し上げます。

災害科学国際研究所（IRIDeS）は、東日本大震災の翌年である 2012 年 4 月に設立され、巨大災害から得られた教訓のもと、多様な学問分野の融合による学際的研究を通じて「防災総合知」を構築し、それを世界へと普及・活用することを使命として、社会とともに歩んでまいりました。

本報告書は、2025 年度の本研究所における活動を取りまとめたものです。今回の年次活動報告書から、本研究所の多様な成果の効率的な集約ならびに社会発信の一層の強化を目的に、教員個人業績データについては researchmap を極力活用する形へと転換させました。

震災から 15 年が経過した現在、私たちは新たな課題に直面しています。災害の記憶の風化と教訓の継承、社会基盤の老朽化と機能低下、人口減少や高齢化といった社会構造の変化に加え、気候変動に伴う災害の激甚化、さらには南海トラフ地震や首都直下地震といった巨大災害の切迫性など、将来の国難は避けて通れない現実となっています。

一方で、技術革新による社会変革は、これらの課題解決に大きく寄与する可能性を秘めています。AI の進化と普及、量子技術を含む計算機性能とシミュレーション技術の飛躍的向上、自動運転技術の進展、フィジカル AI（ロボット）の高度化と自律化、強靭な通信基盤の整備、さらには個人デバイスの高機能化など、災害を乗り越えるための技術革新が期待されています。

こうした背景のもと、本研究所所長として、技術革新と社会変革を基盤に災害科学の新たな価値を創出する取り組み「AI for DR4（Disaster Risk Reduction, Recovery and Resilience）」プロジェクトを立ち上げ、産官学民の連携体制のもとで推進してまいります。

東北大学は「社会とともにある大学」であり、本研究所もまた「社会とともにある研究所」です。多様な主体との連携を通じて、世界の災害科学における Hub（拠点）となり、そこから放射状に伸びる Spoke として世界に知見を波及させ、国際的な知の循環に貢献してまいります。

今後とも、皆様のご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2. 研究所の概要

2．1．基本理念

東日本大震災という未曾有の災害を経験した東北大学は、2012 年 4 月に新たな研究組織「災害科学国際研究所」を設立した。大学の英知を結集して被災地の復興・再生に貢献するとともに、国内外の大学・研究機関と協力し、災害科学に関する世界最先端の研究を推進することが、本研究所に与えられた使命である。

本研究所の設立理念は、東日本大震災の経験と知識を踏まえた上で、わが国の災害対策・災害対応策や国民・社会の災害への処し方そのものを刷新し、巨大災害への新たな備えとレジリエンスへのパラダイムを作り上げることにある。このことを通じて、国内外の巨大災害の被害低減に向けて社会の具体的な問題解決を指向する実践的防災学の礎を築くことを目標とする。

本研究所が推進する災害科学研究とは、事前対策期、災害の発生期（直前の避難等の対応を含む）、被害の波及期、緊急対応期、復旧・復興期、将来への備え期を一連の災害サイクルととらえ、それぞれのプロセスにおける事象を解明し、その知見と教訓を一般化・統合化することである。

東日本大震災における調査研究、復興事業への取り組みから得られる知見や、世界をフィールドとした災害科学研究の成果を社会に組み込み、複雑化する災害サイクルに対して人間・社会が賢く対応し、苦難を乗り越え、知識を活かしていく社会システムを構築するための学問を「実践的防災学」として体系化し、その学術的価値を創成することを災害科学国際研究所のミッションとする。

2．2．設置目的・沿革

設置目的

災害科学国際研究所は、東日本大震災の経験と教訓を踏まえ、わが国の自然災害対策や国民・社会の自然災害への処し方そのものを刷新し、巨大災害に備える新たなパラダイムを作り上げることを設立理念とし、国内外の巨大災害の被害軽減に向けて、社会の具体的な問題解決を指向する実践的防災学の礎を築くことを目的として設置された。

沿　革

2012 年 4 月　本研究所は以下の 7 部門 36 分野で発足した。

災害リスク研究部門（7 分野）
人間・社会対応研究部門（7 分野）
地域・都市再生研究部門（5 分野）
災害理学研究部門（7 分野）
災害医学研究部門（7 分野）
情報管理・社会連携部門（3 分野）
寄附研究部門（1 部門）

東日本大震災から 10 年にあたる 2020 年度には、今後の本研究所のさらなる発展を見据え、これまでの先端的基盤研究の強固な推進を継続しつつ、多様化する災害過程の解明と減災の実現に向けた研究体制強化を図ることとし、2021 年度から下記の 4 部門 26 分野および寄附研究部門、共同研究部門に組織を再編した。

災害評価・低減研究部門（8 分野）
災害人文社会研究部門（6 分野）
災害医学研究部門（8 分野）
防災実践推進部門（4 分野）（2022 年度より 5 分野）
寄附研究部門（2 部門）
共同研究部門（2 部門）

さらに、2022 年 3 月には国立研究開発法人防災科学技術研究所（以下、防災科研）と東北大学の連携協定が締結され、設立から 10 年にあたる 2022 年度からは、文部科学省の教育・研究組織改革の枠組において、災害レジ

リエンス共創センターを災害科学国際研究所の内部に設置し、下記の 4 重点研究領域における学際研究を推進することとなった。

災害レジリエンス数量化研究領域
ヒューマンレジリエンス研究領域
災害情報キュレーション研究領域
災害レジリエンス共創領域

2．3．中期目標・中期計画

本研究所の理念に則り、以下の重点戦略・展開施策を中期目標・中期計画に掲げ、活動を行っている。

1. 災害科学研究の世界的拠点
   昨今の多様化、多発化する災害を受け、地震・津波のメカニズムの解明、東日本大震災による被災実態の把握、土木・構造物の耐震性強化、災害と人間社会、復興地域づくり、災害医療研究の展開、震災アーカイブの構築など、分野ごとの先端的研究を推進し、災害科学研究の世界的拠点となることを目指す。
2. 文理連携および多様な学際連携による研究の推進
   社会が必要とする災害研究とその成果は、従来の学問の専門領域を超えて幅広く多様である。それに応えるため、分野横断的・学際融合的な研究を促進し、既存にはない新規の分野を開拓する。
3. 実践的防災学の構築
   災害サイクルに対応した実践的防災学の研究を推進し、被災地復興や災害対策に取り組むとともに、日本および世界の防災対策にも積極的に貢献する。
4. 防災知識を身に付けた人材の育成
   災害科学研究の成果を教育課程で積極的に展開する。学部教育では、全学教育を通じて体系的な防災教育を実施し、災害発生のメカニズムや発災時の対処の仕方などを基礎知識として身に付けさせる。大学院の専門教育や国際共同大学院、卓越大学院などのプログラムでは、地域防災の中心となる人材の育成や、防災技術の開発と普及促進および新しい技術ニーズを発掘できる人材の育成に取り組む。関係機関と連携し、行政職や教員、医療従事者、福祉施設、企業などの高い専門性をもつ社会人への防災・災害対応教育・訓練を行う。
5. 防災教育の社会的展開
   災害への備えを強めるためには、防災知識の社会的普及が不可欠である。学校教育を起点に家庭や地域が防災への取り組みを進めることができるよう、小中学校および高等学校への出前教育を実施し、防災教育教材の開発を行うとともに、市民向け・企業向けのセミナーやシンポジウム等を積極的に開催して、防災知識の普及や対応能力の向上を図る。
6. 産官学および地域社会と連携した防災対策の強化
   実践的防災学の社会実装と普及を図るためには、産官学と連携した共同研究や広報活動が不可欠である。地方自治体とは災害に関する包括的連携協定を積極的に締結して、自治体のニーズに対応した研究成果の還元を図り、産業界とは防災技術の共同開発や震災アーカイブに関する新たなシステムの開発、企業組織や事業拠点の防災・事業継続力の向上等に取り組む。また社会の諸団体・組織と連携して、防災力向上のために多面的な取り組みを進める。
7. 国際社会との連携強化
   2015 年に仙台市で開催された第3回国連防災世界会議で採択された「仙台防災枠組 2015-2030」を推進する。また環太平洋大学協会（APRU：Association of Pacific Rim Universities）との共催で「APRU-IRIDeS Multi-hazard program」を運営し、海外との研究交流を活発化させる。また、「世界防災フォーラム」を支援し、国内外および地元東北の多様な防災関係者らと「仙台防災枠組 2015-2030」の実施に向け、活発な議論を行う。さらに災害対策技術の標準化に取り組む国際機関（国連等）や国内外の公的組織、研究機関、企業等との連携を通じて防災に関する国際標準化（防災ISO）を推進し、本研究所が世界の減災対策を向上させるための先導的

な役割を果たすことを目指す。

8. 共同利用・共同研究への取り組み

本研究所が有する資料、施設などを有効に利用するため、他機関との共同利用・共同研究を推し進める。本研究所のリソースを利用した共同研究プロジェクトを公募・実施し、卓越した実績および研究ネットワークの構築にも不断に取り組む。防災科研と連携して全国共同利用・共同研究拠点となり、「災害レジリエンス学際研究」を推進する。

9. 指定国立大学「災害科学コアリサーチクラスター」に向けた取り組み

東北大学が文部科学省より指定国立大学に指定されたことを受け、その中の災害科学コアリサーチクラスター（旧　災害科学・世界トップレベル研究拠点）の中核機関の一つとして、本研究所をハブとし、理学研究科、工学研究科、医学系研究科、文学研究科などとの学際連携を基盤とした「災害科学」の学問研究領域を創成し、体系化を図る。

３．１年の活動概要と自己評価

３．１．組織運営の概要

本研究所の組織運営として、2023 年度に明確化した各会議の役割を継続し意思決定している。運営会議は教授会の議題整理のための会議と位置づけ、最高意思決定機関は教授会としている。また、全体会議は情報共有と意見交換の場として活用している。

教授会の下に、安全衛生委員会、予算委員会、広報戦略委員会、国内連携委員会、評価委員会、消防・防災委員会、教務委員会、施設環境委員会、総務委員会、ハラスメント防止対策委員会、男女共同参画委員会、研究企画委員会、国際連携委員会、倫理委員会、公正研究活動推進委員会等を設置し、それぞれの所掌事項毎に所内ルールや制度・方針の案を策定し、教授会で決定する仕組みとしている。

各種委員会等の枠を越えて解決しなければならない課題が認識された場合には、時限で「タスクフォース（TF）」を設置し、適切な人選と活動により、課題を解決している。2025 年度には、継続を含め「災害データバンク（仮称）検討 TF」、「大規模災害発生時の対応検討 TF」、「防災実装の KPI 指標検討 TF」、「展示更新 TF」、「災害科学の定義と体系化にむけた TF」等のタスクフォースが活動を行い、課題を着実に解決した（4.1.F.参照）。

2025 年度には国際卓越研究大学の認定を受け国際卓越研究者 1 名を雇用し、所内教職員との融和と相乗効果の創出を図り、災害データ利活用の格段の推進を実践している。

また、2025 年 4 月 1 日に上廣防災学寄附研究部門が設置され、東日本大震災等の教訓を活かし、我が国をはじめとする国際社会における災害リスク削減に向けて、大学や研究機関、自治体、NPO/NGO 等と連携し、自然災害対策に関する研究・教育を進め、発災前後のあらゆる状況に対応できるよう、学際的で多様な教育・研究活動を推進し、複雑化する自然災害に対応できる強靭な社会の構築と実践的な防災人材の育成を目指し、「人と地域の防災力向上」に大きく貢献することを目的として、活動を行っている。

３．２．研究・実践活動の概要

１）災害科学研究の世界的拠点として

災害が激甚化・頻発化・広域化している。国民の生命と財産を守り、持続可能な社会を構築していくためには、災害科学のさらなる深化と、その成果の社会実装が急務である。2015 年以降、国際社会は防災にかかわる国際アジェンダ、すなわち「仙台防災枠組 2015-2030」（以下「仙台防災枠組」）、「持続可能な開発目標 SDGs」（以下「SDGs」）、「パリ協定」を主軸に、レジリエント社会の構築を目指すことを決議した。東日本大震災の経験を経て設立された本研究所は、上記の国際潮流と歩調を合わせる形で、レジリエント社会の実現に向け、同3大国際アジェンダの社会実装を国内外で推進してきた。

本研究所は、東北大学の附置研究所であるとともに、東日本大震災の災害対応ノウハウ、その被災・復興過程で蓄積した膨大なデータと被災地としてのフィールドを有している。近年、先進国で東日本大震災ほど大規模・広域な災害はなく、同フィールドはその文脈でも貴重な知見と教訓を提供する場である。また、本研究所は設立以降、国内外で大規模災害が発生した際は、各被災地との強い連携に基づき、東日本大震災の経験・教訓を求める強い要望に的確に応じる形で、災害の急性期、復旧期、復興期それぞれのフェーズにおいて、情報支援と人的・物的支援を行ってきた。新たな研究として、医学や人文・社会科学の専門家も所属する学際性を強化し、次の大災害への対応を念頭に、これまで重要課題であった市民の行動変容をはかり、防災自助力向上に資する防災コミュニケーション学やインクルーシブ防災学の確立に向けた活動を推進している。

2025 年度の学術的な成果として、361 編の学術論文、書籍等出版物 28 件、講演・口頭発表等 595 件を行った。

学会等での受賞も 26 件となり、国内外で高い評価を得ている。

2）災害レジリエンス共創センター

災害レジリエンス共創センターは、災害による社会の機能損失を低減して速やかに回復し、より良く復興するための「災害レジリエンス」の向上に資することを目標とし、多様な主体との連携により「防災総合知」を探求し、社会に実装することを理念として掲げている。同センターは、「災害レジリエンス数量化」、「ヒューマンレジリエンス」、「災害情報キュレーション」および「災害レジリエンス共創」の 4 つの重点研究領域で構成され、シンボルプロジェクトとして新たに構築する「災害デジタルツイン」での災害過程の分析を通じて、被災した社会が速やかに回復するための方策や、一人ひとりの多様な幸せ(well-being)を実現するための総合知を探求する研究に取り組んでいる。研究成果としての総合知を、研究コミュニティや社会の利用に広く供することで、レジリエントな社会の実現に寄与するとともに、それらを先導する人材育成プログラムを展開していくことを目的としている。

2015 年第 3 回国連防災世界会議で採択された世界の防災指針「仙台防災枠組 2015-2030」において、各国は災害に対する「レジリエンス」の強化を優先行動として同意した。災害レジリエンスとは「災害に対するコミュニティや社会が、その基本構造や機能の維持・回復を通じて、災害の影響を適時にかつ効果的に防護・吸収し対応するとともに、しなやかに回復する能力」として定義されており、仙台防災枠組の履行期間である 2030 年までに、これを実現するための実践的な研究を推進することが災害レジリエンス共創センターの責務である。2022 年度にスタートした災害レジリエンス共創研究プロジェクトを加速させ、シンボルプロジェクトの災害デジタル・ツインプロジェクトをはじめとして、災害予測・被害把握・対応・復旧・復興のあらゆるフェーズの知識・情報を集積した「防災総合知」を導き出すことで、レジリエントな社会の実現に貢献していくための研究成果を蓄積した。共創研究プロジェクトにおいては 2025 年度採択件数 49 件と着実に増加している。すでに英語での申請を可能とし、1件あたりの助成金額も増額することができた。今後も同様の方策を継続していく。

防災科研と東北大学は 2022 年 3 月に「連携および協力の推進に関する基本協定書」を締結し、相互に協力可能なすべての分野においてこれまでの連携および協力で得た蓄積を生かし、それぞれの研究、教育、および人材育成などで互恵的かつ具体的に連携および協力し、ニーズを踏まえ、防災に係る開かれた研究および教育の拠点構築を通じてレジリエントな社会の実現に資する知の創出と多様な価値創造に取り組んでいる。年に 2 回の連携推進協議会(両機関理事参加)、および年に 10 回程度の連携ワーキンググループを開催し、具体的な連携と協力を推進している。特に両機関がそれぞれ財源を出して東北大学と防災科研の研究者がチームを形成して共同研究を行うマッチング研究事業を開始し、2024 年度は 3 件が採択された。防災科研のもつ大型施設やデータベースプラットフォーム、東北大学のもつ機材、データベースや研究人材資源のマッチングが行われ、相互の連携を発展させることができた。

3）文理連携および多様な学際連携による研究の推進

「文理連携および多様な学際連携による研究の推進」は、東日本大震災の教訓から生まれた「実践的防災学」を深化させるための本研究所の基幹戦略である。2025 年度は、この基本方針のもとで組織体制の強化、公募型プロジェクトの推進、社会実装を見据えた具体的な研究の展開がより一層本格化した。例えば、歴史学・医学・理学研究者が参画するパンデミック文理連携研究において、過去の歴史的感染症（スペイン風邪など）の流行データや災害記録を理学的・計量書誌学的手法で分析し、現代の複合災害（地震と感染症の同時発生など）に対する、実効性の高い地域レジリエンス（回復力）向上に関する提言を行った。情報学・社会科学（災害情報と避難行動分析）の連携研究では、SNS などの膨大なデジタルデータや津波のデジタルアーカイブ解析技術に、認知心理学やコミュニティ行動分析を融合し、地域住民の「正常性バイアス」をいかに乗り越え、適切な情報伝達と早期避難へ繋

げるかという実践的モデルを模索した。国際的・学際的ラウンドテーブルの展開においては、海外の主要研究機関（ロンドン大学 UCL など）と連携し、データ科学や材料科学といった、従来の「防災」の枠にとらわれない、最先端分野を巻き込んだ国際的な共同研究やシンポジウムを実施した。また、単なる学術的交流に留まらず、教育面では、本学環境科学研究科と連携して大学院環境科学研究科に「災害科学コース」を新設し、世界的なトレンドにもなっている AI・デジタル技術を組み込んだ防災の社会実装への取り組みにも本腰を入れている。既存の学問領域を融合することで、災害の社会の機能損失を最小限に抑え、速やかに災害から回復できる「レジリエントな社会」の実現へ向けて強固な歩みを進めた。

4）実践的防災学の構築

研究成果を社会に発信し、さまざまなステークホルダー（主体）と連携することで、社会実装につなげていく活動を継続している。

2025 年度の社会発信は、広報室を中心に、所内教職員と密に連携しながら、災害科学の広報・コミュニケーション活動を強化している。重要な研究成果に関するプレスリリース 12 件や、本研究所ウェブサイト（日本語・英語）を通じて、98 件のアクティビティーレポートを掲載し、わかりやすい研究成果の発信を継続している。

大規模災害に対する調査・研究に関しては、災害後の調査・解析結果の報告を目的とした速報会の実施を継続し、国内外に研究成果の発信を強化している。2025 年度は、3 つの災害速報会「2025 年ミャンマー地震速報会」（4 月 25 日）、「2025 年カムチャツカ半島付近の地震速報会」（2025 年 9 月 4 日）、「令和 7 年 12 月 8 日青森県東方沖の地震・津波に関する速報会」（12 月 10 日）を実施し、災害発生後、本研究所教員による速報的な調査結果を迅速に発信して社会ニーズに応えることができた。カムチャツカ半島付近の地震については、津波の被害予測結果を地震発生翌日に速報としてプレスリリースし、関連論文も複数出版された。2024 年 1 月能登半島地震災害においても、解析・調査を継続し、能登半島の被災地の復興に向け、金沢大学をはじめとする北陸地方の大学の研究者との連携研究を継続している。

研究成果の社会実装に向けた活動のうち特筆すべきものとしては、リアルタイム津波浸水被害予測システムの展開である。本研究所、サイバーサイエンスセンター、理学研究科、情報科学研究科の研究者を含む産学連携研究の成果を経て 2018 年に設立した東北大学発スタートアップ RTi-cast 社が，民間事業者として初の津波予報業務許可を気象庁から受け、レジリエントな社会の実現に向けた研究成果の実装が加速している。

2026 年 3 月 11 日で東日本大震災から 15 年になるのを機に、本研究所教職員に、震災当日の体験・震災前後での研究の変化・現在の研究目標と展望についてアンケートを実施し、その結果を広報誌「IRIDeS Newsletter 特集：東日本大震災 15 年と私の研究」にまとめ、日本語・英語で発行した。また、例年の東日本メモリアルシンポジウムでは、「東日本大震災 15 年：いま語るべきこと、伝えるべきこと、そしてこれから」と題し、本研究所研究者が関わってきた東日本大震災関連研究の 15 年間を振り返り、2027 年に仙台で開催予定のアジア太平洋防災閣僚級会議（APMCDRR）と 2030 年の仙台防災枠組の振り返りを見据え、現状と課題を議論した（2026 年 3 月 14 日）。

5）国際社会との連携強化

「災害科学国際研究クラスター（CRCDS）」の深化に取り組んだ。具体的には、指定国立大学の取り組みとして設置されている「災害科学研究拠点」を中心に、国際的かつ学際的な共同研究を加速させた。成果としては、気候変動に伴うマルチハザード（複合災害）や環太平洋大学協会（APRU）との連携プロジェクトにおいて、若手研究者の海外派遣や共同論文発表を推進し、国際的な研究ネットワークを拡大した。海外のトップクラスの研究機関との連携においては、ロンドン大学（UCL）と「レジリエンス社会構築研究教育センター」や「ジェンダーと災害リサーチセンター」を通じ、ジェンダーを含む多様性に配慮した防災政策の国際比較研究を進め、海外の政策立案に役立つ知

見を提供した。2025 年 3 月末に発生したミャンマー地震を受け、国際緊急災害調査をタイで行い、「2025 年ミャンマー地震速報会」をオンラインで国際共同開催した（2025 年 4 月 25 日）。同速報会では、人工衛星データの解析や現地の地震メカニズムの分析結果を、日本語と英語の同時通訳を交えて世界へ向けて即座に公開した。また、在日ミャンマー大使館へも情報提供した。これらは、被災地域の二次災害軽減や復興支援に直接的に役立てられたと考えられる。さらに仙台防災枠組の実施に関しては、2027 年秋、国連防災機関が仙台で開催予定の「アジア太平洋防災閣僚級会議」に向けて、全学で取り組むリード役を当研究所が担うことが決まった。仙台防災枠組の最終年が 2030 年に迫る中、研究所設立 15 年目にもあたる 2027 年には、総力を挙げてこの重要な国際会議に、これまで蓄えてきた研究成果をインプットし、より実効的な国際防災政策の立案に向けて貢献していきたい。

6）指定国立大学「災害科学・世界トップレベル研究拠点」（指定国立大学 災害科学コアリサーチクラスター）

東北大学が文部科学省より指定国立大学に指定され、災害科学・世界トップレベル研究拠点の中核機関の一つとして、第 4 期中期計画においては、災害理学、実践防災学、災害医学、災害人文学の 4 つの研究領域を縦軸とし、災害サイクルの「備え→予見→対応→復旧→復興」のそれぞれの時相における 4 つの研究プロジェクト「ハザードリスク科学プロジェクト」、「リアルタイム災害科学プロジェクト」、「被害快復科学プロジェクト」、「コミュニティ復興科学プロジェクト」を横軸とする学際研究体制で、世界で唯一の Holistic Disaster Science Center of Excellence (HDSCoE) を形成している。

研究領域それぞれに、専任教員をおくとともに、本研究所以外の関連部局からもコアメンバーとして参画していただき、年 4 回のコアメンバー会議、毎月の早朝会議を開催し、研究活動の報告、領域間、研究プロジェクト間の調整を行った。活動目標として、災害対応サイクル理論の適用による 4 つの科学分野の融合、学内での学際連携を基盤とした「災害科学」の学問研究領域の創成、さらに、環太平洋大学連合（APRU）組織などで始まりつつある災害科学研究ネットワークの発展による、国際共同研究の強化や国際学術会議の開催を通じての「災害科学」の体系化が挙げられる。

また、海外拠点大学、APRU、国連組織、国際 NGO などとの連携強化による国際共同研究に基づく成果発信と国際社会への実装を図るとともに、防災減災連携ハブなど既存の国内の災害科学研究ネットワークを発展・拡張してきた。

また、第 3 期に獲得された東日本大震災やパンデミックを含むさまざまな災害に関するデータや情報を有機的に統合した世界最大級の災害関連データベースの構築と利活用を推進し、災害科学のエビデンス・データが広く利用される取り組みを継続している。

3．3．教育活動の概要

1）教育活動の目標と概要

本研究所は、東日本大震災の経験と教訓を踏まえ、わが国の自然災害対策・災害対応策や国民・社会の自然災害への処し方そのものを革新し、巨大災害への新たな備えのパラダイムを作り上げることを設立理念としている。このため、本研究所の教員のすべては、災害に強い社会を醸成するための市民力の向上に寄与するための教育活動を推進する責務を有している。このことに関して、小・中・高校との連携を含む学外での教育・啓発活動は 5 章の「研究・実践活動」の中に紹介している。本章では、学内の教育活動の計画と現状を述べる。

学内の教育活動について、本研究所の中期計画では以下のような内容を定めている。

(1) 教育内容及び教育の成果等に関する目標を達成するための措置
○全学教育、関連部局の学部や大学院の科目において、災害科学に関する基礎的な知識を提供する。
○災害科学に関する実践的研究の成果を紹介するフォーラムを定期的に開催し、これを大学院の学生に公開する。
(2) 教育の実施体制等に関する目標を達成するための措置
○災害科学に関する基礎知識を教育する全学教育科目を提供する。
○災害科学・実践的防災学に関する大学院科目を提供し、災害対応を担う人材育成を行う。
(3) 学生の支援に関する目標を達成するための措置
○大学院の学生が、災害科学に関する最新の研究発表・聴講ができる支援体制をつくる。
○国際連携のための仕組みをつくり、大学院の学生の海外における災害科学に関する研修を支援する。
上記の目標に対して、災害科学・安全学国際共同大学院プログラム(GP-RSS)、変動地球共生学卓越大学院プログラム(SyDE)の運営にも協力している。

2)全学教育の実施状況

東北大学では、初年次学生に大学での勉学・研究意義の理解を促すため、少人数形式の「学問論演習」科目を設定しており、各部局が専任教員数に応じて複数のゼミを提供することとなっている。2025 年度は、「地震の予測と減災」(遠田晋次教授)、「実践的に学ぶ工学数学」(五十子幸樹教授)を提供した。また、2024 年度より学部 3 年次以上の学生を対象とした高年時教養教育科目として「展開学問論」科目が設定され、「古文書の保全」(佐藤大介准教授)を開講した。

他方、全学教育講義科目については、2022 年度から新カリキュラムに移行しており、カレントトピックスとして「福島の復興・再生」(ゲルスタ・ダメーロ・ユリア准教授、御手洗潤特任教授)、「東日本大震災の教訓を活かした実践的防災学」(今村文彦教授、佐藤翔輔准教授)、地域規模課題科目として「持続可能な社会のレジリエントデザイン」(五十子幸樹教授、泉貴子教授)を開講した。

3)学生の支援と研究指導

東北大学学生生活支援審議会は毎年 4 回を目標として FD を開催している。本研究所からは防災実践推進部門の佐藤健教授が調整役となり、若手教員や新任教員が中心となってこれら FD に出席した。

第 1 回 本学におけるハラスメント防止体制及び実際の相談への対応について
第 2 回 本学における修学上の合理的配慮の基本的な考え及び実際の対応について
第 3 回 学生対応・学生支援のコツを学ぶ:「教職員のための学生支援ガイドブック」から
第 4 回 大学における防災と障害のある学生の災害時対応

また、本研究所主催の「東日本大震災メモリアルシンポジウム」や「IRIDeS オープンフォーラム」、「災害研 45 分ランチトーク」などを継続開催することにより、研究所の研究・実践活動を所内外と広く共有しながら、被災地の復興と次の災害への備えを考える場を提供している。

2025 年度は、国内外の学会やワークショップにおける指導学生の研究発表を支援した。また、国外の学術機関と協力協定を締結し、経済的負担を減らすと同時に研修先の情報を得やすくした。

以上の結果、2025 年度の本研究所の教員の学生への研究指導とその成果は、以下のようである。

博士論文指導　　：54 件（主査 20・副査 21・審査員 7・論文指導 6）
修士論文指導　　：119 件（主査 41・副査 52・審査員 9・論文指導 17）
学士論文指導　　：55 件（主査 35・副査 4・論文指導 16）
社会人学生の受け入れ　：31 名
留学生の受け入れ　　：43 名（15 か国・地域）
学生の受賞　　：26 件

3．4．自己評価

2021 年度から導入された 3 つの研究部門と 1 つの防災実践推進部門、そして寄附・共同研究部門への組織再編が定着し、安定した活動を営むことができている。さらに、2022 年度に全所的な組織として立ち上げた災害レジリエンス共創センターを中心に、所外との共同研究「レジリエンス共創研究」も推進するなど、本研究所の新たな研究組織として活発な活動を継続している。2025 年度は 49 件の共同研究提案を採択し、4 領域（災害レジリエンス数量化研究領域、ヒューマンレジリエンス研究領域、災害情報キュレーション研究領域、災害レジリエンス共創領域）に加え、シンボルプロジェクトである「災害デジタルツイン」の構築に関しても、SIP3 期「スマート防災ネットワークの構築」や JST 戦略的国際共同研究プログラム SICORP に採択されるなど、レジリエンス共創研究の成果を踏まえた発展を継続している。

災害科学コアリサーチクラスターのプロジェクトは、4 つの学術分野（人間科学系、社会科学系、実践科学系、自然科学系）を融合させた学際研究とこれらの領域間をまたぐ 4 つの研究プロジェクト（ハザードリスク科学、リアルタイム災害科学、被害快復科学、コミュニティ復興科学）を推進し、学際研究の深化に取り組んだ。

学内外の連携については、世界防災フォーラムを通した仙台防災枠組のレビュー、NPO 法人宮城歴史資料保全ネットワークによる大規模自然災害時の歴史資料の救済・保全活動を行う活動、グリーン未来創造機構における東日本大震災からの復興及び日本の新生に寄与するプロジェクトの推進など、本研究所を核とした連携の深化の取り組みを継続している。また、災害科学・安全学国際共同大学院プログラム（GP-RSS）、環太平洋大学協会（APRU）のマルチハザードプログラムの運営など、次世代の防災を担う国際的な人材育成の成果も着実に挙げることができた。

2025 年度の学術的な成果として、361 編の学術論文、書籍等出版物 28 件、講演・口頭発表等 595 件を行った。学会等での受賞も 15 件となり、国内外で高い評価を得ている。

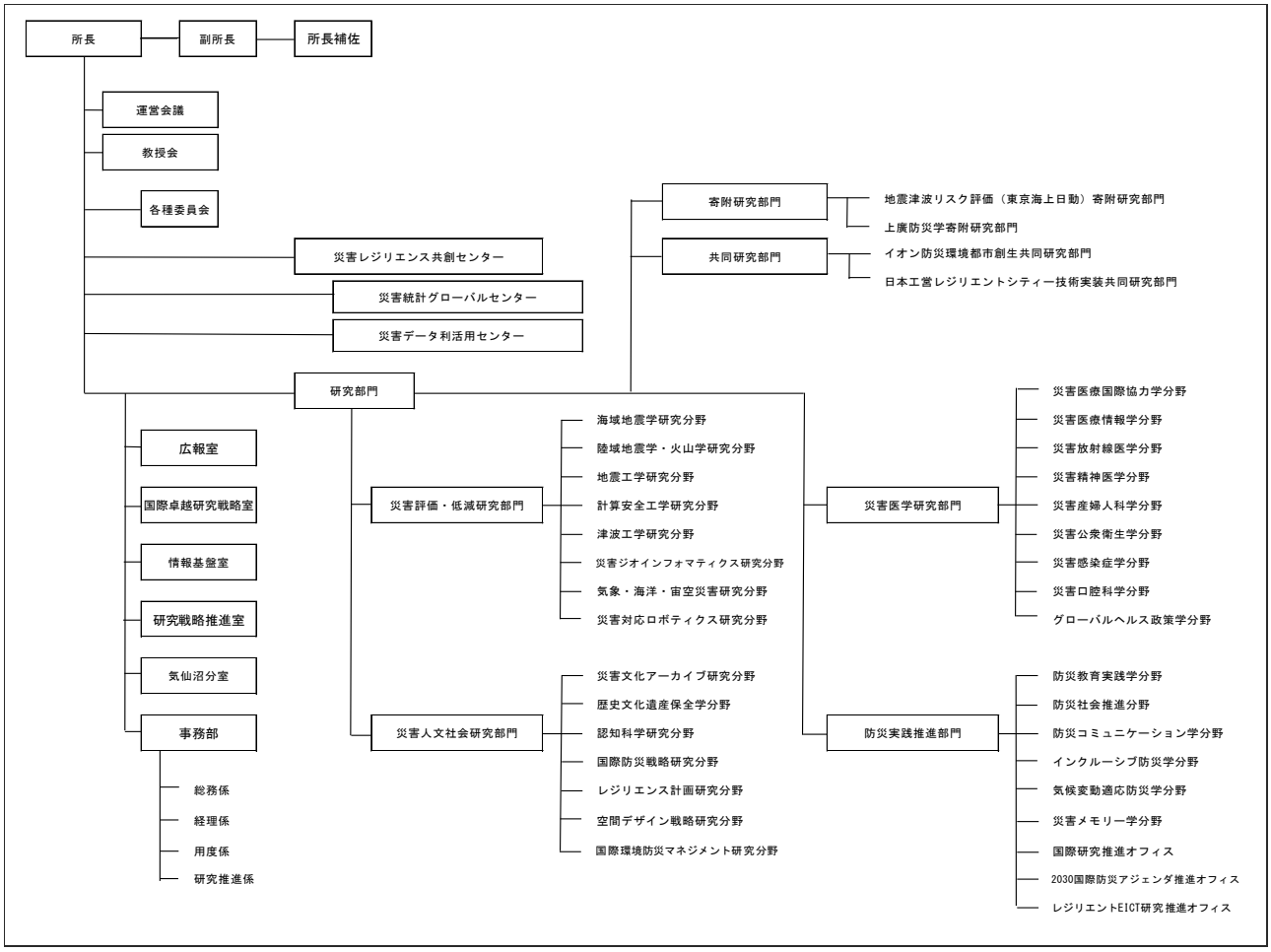
競争的研究資金の獲得（2025 年度実績）に関しては、科研費採択（代表）52 件（直接費総額 131,000 千円）、受託研究費等（受託研究、共同研究、学術指導）受入 91 件（総額 578,767 千円）、寄附金受け入れ 25 件となっており、構成員の自由な発想に基づく基礎研究、社会の要請に答える実践的研究など、多様なテーマでの研究費獲得に成功している。

4. 組織運営

4．1．研究組織、人員配置及び会議・委員会

4．1．A．　組織図

2026年3月31日現在



4．1．B．　研究所長・副研究所長・教育研究評議員・研究所長補佐等

研究所長	栗山　進一　教授
副研究所長	越村　俊一　教授
副研究所長	小野　裕一　教授
教育研究評議会評議員	五十子　幸樹 教授
教育研究評議会評議員	泉　　貴子　教授
研究所長補佐	木戸　元之　教授
研究所長補佐	泉　　貴子　教授
研究所長補佐	江川　新一　教授
部門長	
災害評価・低減研究部門	五十子　幸樹 教授
災害人文社会研究部門	村尾　修　　教授
災害医学研究部門	藤井　進　　教授
防災実践推進部門	佐藤　健　　教授

4．1．C．　教員数

2026年3月31日現在

	教員数	教員数における性別内訳		教員数における外国人教員数(%)
		男(%)	女(%)	
教　授	22人	21人(95.5%)	1人(4.5%)	0人(0%)
准教授	22人	19人(86.4%)	3人(13.6%)	7人(31.8%)
助　教	22人	14人(63.6%)	8人(36.4%)	7人(31.8%)
助　手	3人	0人(0%)	3人(100%)	0人(0%)
計	69人	54人(78.3%)	15人(21.7%)	14人(20.3%)

4．1．D．　教職員等の配置

2026年3月31日現在

災害評価・低減研究部門

分野名	職　名	氏　名
海域地震学研究分野	教　授	木　戸　元　之
	教　授	日　野　亮　太　(兼務)
	准　教　授	内　田　直　希　(兼務)
	助　教	富　田　史　章
	助　教	Tang Chi-Hsien
陸域地震学・火山学研究分野	教　授	遠　田　晋　次
	教　授	岡　田　知　己　(兼務)
	教　授	趙　　大　鵬　(兼務)
	教　授	武　藤　　潤　(兼務)
	准　教　授	福　島　　洋
	准　教　授	山　本　　希　(兼務)
	助　教	石　澤　尭　史
	助　教	髙　橋　尚　志
	助　教	岡　田　悠太郎　(兼務)
	助　教	市　來　雅　啓　(兼務)
	特　任　研　究　員	乘　松　君　衣
地震工学研究分野	教　授	五十子　幸　樹
	准　教　授	大　野　　晋
	准　教　授	榎　田　竜　太
	助　教	謝　　瑞　洪
計算安全工学研究分野	教　授	森　口　周　二
	教　授	溝　口　敦　子　(クロスアポイントメント)
	教　授	寺　田　賢二郎(兼務)
	助　教	野　村　怜　佳
	助　教	Dolojan Nilo Lemuel Junio
津波工学研究分野	教　授	今　村　文　彦
	准　教　授	菅　原　大　助
	准　教　授	Suppasri　Anawat
	特　任　研　究　員	Constance Chua Ting
	特　任　研　究　員	Muhammad Daffa Al Farizi

災害ジオインフォマティクス研究分野	教授	越村俊一
	教授	太田雄策（兼務）
	准教授	Mas Samanez Erick Arturo
	准教授	Adriano Ortega Bruno
	准教授	袁巍（兼務）
	助教	Vescovo Ruben
	特任助教	佐藤兼太（クロスアポイントメント）
	特任研究員	阿部孝志
	特任研究員	森松直也（クロスアポイントメント）
気象・海洋・宙空災害研究分野	教授	須賀利雄（兼務）
	教授	土屋史紀（兼務）
	教授	山崎剛（兼務）
	准教授	伊藤純至（兼務）
	准教授	杉本周作（兼務）
	准教授	三澤浩昭（兼務）
災害対応ロボティクス研究分野	教授	大野和則（兼務）
	教授	昆陽雅司（兼務）
	特任教授	田所諭（兼務）
	特任准教授	岡田佳都（兼務）
	特任助教	小島匠太郎（兼務）
	特任助教	Plutarco Bezerra Neto Ranulfo（兼務）

災害人文社会研究部門

分野名	職名	氏名
災害文化アーカイブ研究分野	教授	今村文彦（兼務）
	准教授	蝦名裕一
	准教授	柴山明寛
歴史文化遺産保全学分野	教授	村尾修（兼務）
	准教授	佐藤大介
	准教授	川内淳史（兼務）
認知科学研究分野	教授	邑本俊亮
	教授	杉浦元亮（クロスアポイントメント）
	助教	齋藤玲（兼務）
国際防災戦略研究分野	教授	村尾修
	教授	泉貴子（兼務）
	助教	Yu Yun-Chi
レジリエンス計画研究分野	教授	奥村誠
	准教授	井内加奈子
	助教	堀合紳弥
空間デザイン戦略研究分野	教授	姥浦道生
	特任教授	御手洗潤
	教授	小野田泰明（兼務）
	准教授	平野勝也
	准教授	本江正茂（兼務）
	特任准教授	苅谷智大（クロスアポイントメント）
国際環境防災マネジメント研究分野	教授	泉貴子

災害医学研究部門

分野名	職 名	氏 名
災害医療国際協力学分野	教授	江 川 新 一
	准教授	佐々木 宏 之
	助教	朴 慧 晶
災害医療情報学分野	教授	藤 井 進
	助教	野 中 小百合(兼務)
災害放射線医学分野	教授	千 田 浩 一
	講師	稲 葉 洋 平 (兼務)
	特任講師	鈴 木 正 敏 (クロスアポイントメント)
災害精神医学分野	教授	富 田 博 秋 (兼務)
	准教授	國 井 泰 人
	助教	濱 家 由美子
	特任助教	日 野 瑞 城
災害産婦人科学分野	教授	齋 藤 昌 利 (兼務)
災害公衆衛生学分野	教授	栗 山 進 一
	准教授	大 類 真 嗣
	准教授	中 村 直 毅 (兼務)
	助教	岩 本 萌 (兼務)
災害感染症学分野	教授	児 玉 栄 一
	助教	林 宏 典
災害口腔科学分野	教授	小 坂 健 (兼務)
	准教授	鈴 木 敏 彦 (兼務)
グローバルヘルス政策学分野	教授	野 村 周 平

防災実践推進部門

分野名	職 名	氏 名
防災教育実践学分野	教授	佐 藤 健
	教授	櫻 井 愛 子 (クロスアポイントメント)
防災社会推進分野	教授	吉 田 浩 (兼務)
	准教授	佐 藤 翔 輔
	助教	新 家 杏 奈 (兼務)
防災コミュニケーション学	教授	佐 藤 健 (兼務)
	准教授	福 島 洋 (兼務)
	准教授	佐 藤 翔 輔 (兼務)
	准教授	Gerster-Damerow Julia (兼務)
	特任研究員	藤 本 慎 也
インクルーシブ防災学	教授	栗 山 進 一 (兼務)
	准教授	Boret Sebastien Penmellen
	准教授	Gerster-Damerow Julia (兼務)
	助教	朴 慧 晶 (兼務)
	助教	石 川 美 希 (兼務)

気候変動適応防災学	教授	小野 裕一（兼務）
	教授	山崎 剛（兼務）
	特任教授	永見 光三（兼務）
	特任教授	小森 大輔（兼務）
	准教授	佐々木 大輔（兼務）
	准教授	伊藤 純至（兼務）
	助教	原 裕太（兼務）
災害メモリー学分野	教授	栗山 進一（兼務）
	准教授	Gerster-Damerow Julia
国際研究推進オフィス	教授	小野 裕一（兼務）
	教授	泉 貴子（兼務）
	准教授	Maly Elizabeth Ann
	准教授	Boret Sebastien Penmellen（兼務）
	准教授	Suppasri Anawat （兼務）
	准教授	Gerster-Damerow Julia（兼務）
	准教授	Mas Samanez Erick Arturo （兼務）
2030国際防災アジェンダ推進オフィス	教授	小野 裕一
	特任教授	永見 光三（兼務）
	特任教授	小森 大輔（兼務）
	特任教授	吉野 賢（兼務）
	准教授	佐々木 大輔（兼務）
	助教	原 裕太
レジリエントEICT研究推進オフィス	特任教授	岩月 勝美
	教授	陳 強（兼務）
	教授	石鍋 隆宏（兼務）
	教授	西山 大樹（兼務）
	教授	福嶋 路（兼務）
	教授	藤掛 英夫（兼務）
	教授	中田 俊彦（兼務）
	准教授	今野 佳祐（兼務）
	助教	佐藤 弘康（兼務）
	助教	中谷 誠和（兼務）
	特任研究員	安達 文幸
	特任研究員	中沢 正隆

	職名	氏名
地震津波リスク評価（東京海上日動）寄附研究部門	教授	今村 文彦（兼務）
	特任教授	鎌田 健一
	特任教授	岩瀬 恵一
	准教授	Suppasri Anawat （兼務）
	助教	内田 典子

	職 名	氏 名
上廣防災学寄附研究部門	教 授	栗 山 進 一（兼務）
	教 授	小 野 裕 一（兼務）
	教 授	佐 藤 健（兼務）
	教 授	泉 貴 子（兼務）
	教 授	藤 井 進（兼務）
	特 任 教 授	吉 野 賢
	准 教 授	佐々木 大 輔
	准 教 授	川 内 淳 史
	准 教 授	佐 藤 大 介（兼務）
	准 教 授	Gerster-Damerow Julia（兼務）
	准 教 授	福 島 洋（兼務）
	助 教	野 中 小百合
	助 教	石 川 美 希
	助 教	岡 田 悠太郎
	助 手	猪 狩 暢 子
	助 手	髙 橋 利恵子
	助 手	齋 藤 由美子

	職 名	氏 名
イオン防災環境都市創生共同研究部門	教 授	今 村 文 彦（兼務）
	特 任 教 授	丸 谷 浩 明
	准 教 授	佐 藤 翔 輔（兼務）
	助 教	新 家 杏 奈

	職 名	氏 名
日本工営レジリエントシティー技術実装共同研究部門	教 授	寺 田 賢二郎（兼務）
	教 授	江 川 新 一（兼務）
	教 授	森 口 周 二（兼務）
	准 教 授	大 野 普（兼務）
	助 教	Sukulthansorn Naruethep
	助 教	野 村 怜 佳（兼務）

	職 名	氏 名
附属災害レジリエンス共創センター	教 授	江 川 新 一（兼務）
	教 授	越 村 俊 一（兼務）
	教 授	奥 村 誠（兼務）
	教 授	小 野 裕 一（兼務）
	准 教 授	袁 巍
	准 教 授	Mas Samanez Erick Arturo（兼務）
	特 任 准 教 授	片 谷 信 治（クロスアポイントメント）
	特 任 准 教 授	桑 原 直 道（クロスアポイントメント）
	助 教	永 田 彰 平

災害統計グローバルセンター	教授	小野 裕一（兼務）
	教授	奥村 誠（兼務）
	特任教授	丸谷 浩明（兼務）
	教授	江川 新一（兼務）
	准教授	Suppasri Anawat（兼務）
	准教授	佐々木 大輔（兼務）
	助教	原 裕太（兼務）

称号付与

特任教授（客員）	原口 強、藤原 広行、櫻庭 雅明、岩崎 智哉 、呉 文繍 、大石 裕介 、小野 高宏 、村嶋 陽一、智片 通博、Morris John 、上山 眞知子、John B. Rundle、坂 茂 、目黒 公郎 、藤生 慎、福本 学、江口 清貴、藤岡 達也 、村山 良之、菅井 裕行、北川 慶子、前川 美湖、竹谷 公男、西川 智、村上 清、加藤 康之、山本 百合子
特任准教授（客員）	牧野嶋 文泰、Stefan Schneiderbauer、遠山 裕湖、小田 隆史、阿部 任、野島 和也
シニア研究員	岩田 司、川島 秀一、島田 明夫、福本 学、尾辻 泰一

	職名	氏名
広報室	特任准教授	中 鉢 奈津子
	特任准教授	今野 公美子

	職名	氏名
研究戦略推進室	特任准教授	古屋 貴司
	特任准教授	上野 史彦

事務部

事務長	佐藤 功
総務係長	髙橋 由樹
経理係長	大槻 慎哉
用度係長	佐藤 諭
研究推進係長	武川 泰典

4．1．E． 研究所内会議・委員会

1．会議

会議名	構成員	審議事項
教授会	専任の教授	研究所の組織及び研究体制、人事、予算、その他重要事項
運営会議	研究所長、副研究所長、教育研究評議会評議員、研究所長補佐、部門長	研究所の組織運営に関する事項についての企画及び調整
全体会議	専任の教授、准教授、講師、助教、助手、その他	研究所に関する事項等の情報伝達と情報交換

2. 委員会

委員会名	委員長	主な所掌内容
安全衛生委員会	栗山 進一 教授（所長）	職員の健康障害防止
予算委員会	栗山 進一 教授（所長）	研究所予算
広報戦略委員会	越村 俊一 教授（副所長）	研究成果の社会発信、出版物
国内連携委員会	小野 裕一 教授（副所長）	産官学連携、自治体連携
評価委員会	越村 俊一 教授（副所長）	部局評価
消防・防災委員会	五十子 幸樹 教授（評議員）	災害対策の策定、防災訓練
教務委員会	村尾 修 教授	教育、安全、活動の企画・運営
施設環境委員会	木戸 元之 教授（所長補佐）	施設・環境整備保全、安全
総務委員会	泉 貴子 教授（所長補佐）	研究所総務
ハラスメント防止対策委員会	奥村 誠 教授（評議員）	防止対策と発生時の対応
男女共同参画委員会	泉 貴子 教授（所長補佐）	男女共同参画推進啓発
研究企画委員会	越村 俊一 教授（副所長）	研究の企画・運営、体制構築
国際連携委員会	泉 貴子 教授（所長補佐）	国際連携、APRU
倫理委員会	江川 新一 教授（所長補佐）	研究倫理審査、倫理教育企画
公正研究活動推進委員会	木戸 元之 教授（所長補佐）	公正な研究活動の推進
東日本大震災シンポジウム	村尾 修 教授	東日本大震災シンポジウムの企画、実施
災害レジリエンス共創センター戦略推進委員会	栗山 進一 教授（所長）	センターの戦略の推進
片平まつり	遠田 晋次 教授	片平まつりの企画、実施

3. 委員会名簿

委員会	◎委員長・ ○副委員長	委員	WG・メンバー （★WG長、☆副WG長）
安全衛生委員会	◎栗山教授	小川浩正教授（産業医）、石澤助教（化学物質等分野等別責任者）、福島准教授、マリ准教授、堀合助教、濱家助教、事務長、用度係長、総務係長	
予算委員会	◎栗山教授 ○越村教授	小野教授、江川教授、木戸教授、泉教授、井内准教授、事務長、経理係長	
広報戦略委員会	◎越村教授 ○木戸教授	木戸教授、佐藤健教授、福島准教授、中鉢特任准教授、今野特任准教授、広報室職員 ※各WGに広報室職員参画	年次報告書WG ★木戸教授、中鉢特任准教授、今野特任准教授
			展示WG ★福島准教授、☆高橋助教、佐々木大准教授、川内准教授、アドリアーノ准教授、ゲルスタ准教授、袁准教授、鈴木特任講師、石澤助教、富田助教、濱家助教、朴助教、内田助教、林助教、野村助教、新家助教、原助教、スクンタナソーン助教、永田助教、水谷助教、Tang助教、堀合助教、謝助教、ベスコヴォ助教、野中助教、石川助教、岡田助教、日野特任助教、乗松助手、中鉢特任准教授、今野特任准教授
国内連携委員会	◎小野教授 ○佐藤健教授	平野准教授、佐藤翔准教授	産官学連携WG ★佐藤健教授、小野教授、佐藤翔准教授
			気仙沼分室WG ★佐藤翔准教授、児玉教授、姥浦教授、蝦名准教授、森口准教授、菅原准教授
			3．11からの学び塾WG ★佐藤健教授、☆佐藤翔准教授、奥村教授、平野准教授
			連携自治体WG ★栗山教授、☆小野教授、佐藤健教授、姥浦教授、佐藤翔准教授、柴山准教授、中鉢特任准教授

評価委員会	◎越村教授 ○小野教授	五十子教授、奥村教授、村尾教授、遠田教授、児玉教授、佐藤健教授、泉教授	教員表彰WG ★五十子教授、奥村教授、泉教授
			教員選考審査基準検討WG ★遠田教授、☆千田教授、村尾教授、泉教授、栗山教授、小野教授、越村教授
消防・防災委員会（自衛消防隊）	◎五十子教授 ○奥村教授	今村教授、邑本教授、児玉教授、姥浦教授、大野准教授、佐々木大准教授、菅原准教授、佐々木宏准教授、平野准教授、佐藤翔准教授、事務長	防災計画策定WG ★佐藤健教授、邑本教授、佐々木宏准教授、佐藤翔准教授、総務係長、用度係長
教務委員会	◎村尾教授（人） ○遠田教授（評）	藤井教授、奥村教授、泉教授、佐藤大准教授	GP－RSS運営WG ★村尾教授、江川教授、今村教授、児玉教授、泉教授、サッパシー准教授、柴山准教授、佐藤大准教授
			高度医療人材養成プログラム運営WG ★江川教授、五十子教授、榎田准教授、マリ准教授、 佐々木宏准教授、林助教
施設環境委員会	◎木戸教授 ○村尾教授	五十子教授、姥浦教授、大野准教授、柴山准教授、平野准教授、用度係長	施設管理WG ★平野准教授、村尾教授、姥浦教授、大野准教授、柴山准教授、用度係長
			ネットワークWG ★大野准教授、柴山准教授
			デザインコードWG ★村尾教授、平野准教授、用度係長
総務委員会	◎泉教授 ○越村教授	今村教授、柴山准教授、総務係長	ライブラリ運営WG ★栗山教授、柴山准教授、佐藤大准教授
ハラスメント防止対策委員会	◎奥村教授 ○五十子教授	姥浦教授(教授代表)、井内准教授(准教授代表)、野村助教(助教代表)、大類准教授（過半数代表者）、総務係長	
男女共同参画委員会	◎泉教授 ○奥村教授	千田教授(教授代表)、井内准教授(准教授代表・女性代表)、 ゲルスタ准教授、大類准教授(過半数代表者)、総務係長	
研究企画委員会	◎越村教授（評） ○江川教授（医）	五十子教授(評)、奥村教授(人)、村尾教授(人)、遠田教授(評)、小野教授(実)、杉浦教授、森口准教授、福島准教授	オープンフォーラムWG ★栗山教授、☆野村助教、ゲルスタ准教授、中鉢特任准教授、石澤助教、高橋助教、林助教、内田助教、富田助教、スクンタナソーン助教、乗松助手、広報室職員
			緊急調査WG 津波：☆サッパシー准教授、菅原准教授 地震（構造物）：☆榎田准教授、大野准教授、柴山准教授 高潮：☆マス准教授、サッパシー准教授 豪雨（洪水、土砂）：★森口准教授、柴山准教授 断層・火山：☆福島准教授、高橋助教 保健・医療：☆佐々木宏准教授、國井准教授 歴史資料保護：☆佐藤大准教授、蝦名准教授、川内准教授 情報支援：☆佐藤翔准教授、広報室職員 マッピング：☆永田助教、広報室 （アドバイザリー教授：今村教授、五十子教授、越村教授、遠田教授、江川教授、村尾教授）
			ソフトウェア管理WG ★越村教授、マス准教授
			KPI評価・推進WG ★栗山教授、越村教授、木戸教授、佐藤健教授、泉教授、小野教授、福島准教授、柴山准教授、蝦名准教授、事務長、経理係長
			研究所若手アンサンブルWG ★原助教、石澤助教、野村助教

国際連携委員会	◎泉教授 ○小野教授	サッパシー准教授、マス准教授、マリ准教授、ボレー准教授、ゲルスタ准教授	APRU運営WG ★泉教授、村尾教授、サッパシー准教授、マス准教授、マリ准教授、ボレー准教授
			世界津波の日WG ★小野教授、今村教授、越村教授、サッパシー准教授、マリ准教授、ボレー准教授、中鉢特任准教授
			世界防災フォーラムWG ★栗山教授 事務局：小野教授 セッション部会：泉教授、木戸教授、マリ准教授、ボレー准教授、マス准教授、サッパシー准教授 展示：展示WG、佐々木大准教授、原助教、広報室職員
倫理委員会	◎江川教授 ○奥村教授	邑本教授、木戸教授、藤井教授、森口准教授、榎田准教授、ボレー准教授、井内准教授	
公正研究活動推進委員会	◎木戸教授（評） ○奥村教授*（人）	榎田准教授(評)、邑本教授*(人)、木戸教授(評)、千田教授*(医)、蝦名准教授(人)、佐々木大（実） *研究公正アドバイザー	
東日本大震災シンポジウム	◎村尾教授	福島准教授、大野准教授、佐藤翔准教授、展示WG	
片平まつり	◎遠田教授		
災害レジリエンス共創センター戦略推進委員会	◎栗山教授 ○越村教授（副センター長）	江川教授（センター長）、奥村教授、小野教授、中谷教授（環境科学）、防災科研、事務長 オブザーバー：中鉢特任准教授、今野特任准教授、武田学術研究員	

4．1．F．　タスクフォース

名称	設置年月日	期限
災害データ利活用センター（情報基盤室）：DDUC(Disaster Data Utilization Center)（仮称）の設置TF	2024年10月7日	2025年9月30日
防災実装のKPI指標検討TF	2025年4月7日	2026年3月31日
展示更新TF	2025年4月7日	2026年3月31日
災害科学の定義と体系化にむけたTF	2025年7月7日	2026年3月31日

4．2． 研究資金

4．2．A． 2025年度 災害科学国際研究所歳出決算

（単位：百万円）

区分	決算額	備考
運営費交付金	608	
教員人件費	443	
教育研究費	159	
一般管理費	6	
運営費交付金 （ミッション実現加速化）	70	
間接経費	70	
外部資金	863	
寄附金	198	・寄附研究部門含む
受託研究費	209	
共同研究費	115	
受託事業費	61	
科学研究費補助金	116	
その他補助金	5	
国際卓越研究大学助成金	159	
合　計	1,611	

※単位未満四捨五入

４．２．B．研究者一人あたりの研究費

2026年3月末現在（単位：千円）

事　　項	研究費総額 （A）	専任教員数 (B)	教員一人 あたりの研究費 （A/B）	備　　考
運営費交付金	77,976	55	1,418	
運営費交付金（ﾐｯｼｮﾝ実現加速化）	69,545	55	1,264	
受託研究費等	747,388	58	12,886	寄附金、受託研究費、共同研究費、受託事業費、その他補助金、国際卓越研究大学助成金を含む
科学研究費補助金	115,862	55	2,107	文科省科研費、厚労省科研費を含む
合　　計	1,010,771	55 (58)	17,675	

※専任教員数は研究費配分対象者の総数（受託研究費等のみ、レジリエントEICT研究推進オフィス教員数を加算）

※単位未満四捨五入

4．2．C．2025年度科学研究費補助金受入状況

文科科研費

2026年3月末現在

番号	課題番号	研究種目	研究課題名等	直接経費	間接経費	合計	研究者	研究年度
1	21H05001	基盤研究(S)	理・工・医学の連携による災害医療デジタルツインの開発と医療レジリエンスの再構築	27,900,000	8,370,000	36,270,000	越村 俊一	R03 ～ R07
2	22H00222	基盤研究(A)	レジリエント幹線交通ネットワーク計画のための数理最適化アプローチ	5,700,000	1,710,000	7,410,000	奥村 誠	R04 ～ R08
3	24H00327	基盤研究(A)	直接的物理モデリングを携えるデジタルシャドウが実現する豪雨災害対策の新展開	9,300,000	2,790,000	12,090,000	森口 周二	R06 ～ R09
4	24H00344	基盤研究(A)	直置き型構造物の国内外での実用化に向けた包括的耐震性の評価と革新的実験技術の確立	7,700,000	2,310,000	10,010,000	榎田 竜太	R06 ～ R09
5	24H00360	基盤研究(A)	21世紀の自然災害リスクと社会変動を踏まえた災害共生型都市ビジョン	7,700,000	2,310,000	10,010,000	村尾 修	R06 ～ R10
6	21H04546	基盤研究(A)	グラフェンディラックプラズモンの時空間対称性操作とそのテラヘルツレーザへの応用	4,900,000	1,470,000	6,370,000	尾辻 泰一	R03 ～ R07
7	23K21789	基盤研究(B)	インドネシアにおける災害復興で現地の学術研究機関が果たす媒介機能の活用に向けて	0	0	0	佐々木 大輔	R05 ～ R07
8	23K25404	基盤研究(B)	地理空間情報を活用した文化遺産の保全・救済手法の研究	3,200,000	960,000	4,160,000	蝦名 裕一	R06 ～ R09
9	23K25948	基盤研究(B)	津波履歴解明の新展開：侵食地形の識別と数値解析による評価	2,900,000	870,000	3,770,000	菅原 大助	R06 ～ R08
10	23K26268	基盤研究(B)	東日本大震災からの短期的・中期的観点からの空間的復興の検証	3,400,000	1,020,000	4,420,000	姥浦 道生	R06 ～ R08
11	23K28227	基盤研究(B)	新規解析モデルを活用する正常水晶体細胞の低線量域放射線への応答とp53関与の解析	4,000,000	1,200,000	5,200,000	千田 浩一	R06 ～ R08
12	24K00723	基盤研究(B)	海洋物理モデルと連携したWave GliderによるGNSS-音響観測の高度化	5,700,000	1,710,000	7,410,000	木戸 元之	R06 ～ R08
13	24K02376	基盤研究(B)	GxE仮説に基づく統合失調症の脳病態層別化とその臨床表現型の同定	5,300,000	1,590,000	6,890,000	國井 泰人	R06 ～ R08
14	24K03080	基盤研究(B)	低線量・低線量率放射線長期被ばく影響に抗酸化能の抑制が関与するのか?	3,600,000	1,080,000	4,680,000	鈴木 正敏	R06 ～ R09
15	23K04102	基盤研究(C)	海域・地盤・建物連続観測網と深層学習に基づく即時地震動・建物応答予測法の開発	500,000	150,000	650,000	大野 晋	R05 ～ R07
16	23K07918	基盤研究(C)	薬剤耐性菌（AMR）制圧：相違性から類似性への構造生物学創薬パラダイムシフト	1,100,000	330,000	1,430,000	林 宏典	R05 ～ R07
17	23K11429	基盤研究(C)	福島原発事故被災動物アーカイブは放射線影響解析に役立つか	1,200,000	360,000	1,560,000	福本 学	R05 ～ R07
18	24K07165	基盤研究(C)	InSARとGNSSと深層学習による活断層スロースリップイベントの探索	800,000	240,000	1,040,000	福島 洋	R06 ～ R08
19	24K07925	基盤研究(C)	実災害における効果に着目した被災地を越える災害伝承の追跡的調査	700,000	210,000	910,000	佐藤 翔輔	R06 ～ R08
20	25K07949	基盤研究(C)	近代化以前の日本の集落における水害リスク許容度の解明	1,300,000	390,000	1,690,000	平野 勝也	R07 ～ R09
21	25K08040	基盤研究(C)	Green Placemaking in Disaster Areas: An International Case Study Comparison of Community-based Ecological Restoration Initiatives in the U.S. and Japan	700,000	210,000	910,000	MALY ELIZABETH	R07 ～ R11
22	25K10829	基盤研究(C)	タンパク質のパルミトイル化は統合失調症脳病態を改変するか？	1,000,000	300,000	1,300,000	日野 瑞城	R07 ～ R09
23	25K13456	基盤研究(C)	頻発・激甚化する豪雨水害時の病院機能維持に資する事業継続支援統合パッケージの開発	1,700,000	510,000	2,210,000	佐々木 宏之	R07 ～ R09
24	25K13602	基盤研究(C)	大規模災害後の間接的死亡の検討：特定非常災害を網羅した災害後の超過死亡の一般化	1,300,000	390,000	1,690,000	大類 正嗣	R07 ～ R09
25	21K13164	若手研究	The integration of mass trauma in collective identity through negative heritage preservation and disaster tourism in Tohoku after the Great East Japan Earthquake	400,000	120,000	520,000	GERSTER JULIA	R03 ～ R07
26	23K12329	若手研究	大規模GPSデータを用いた活動空間に基づくウォーカビリティと歩行量の関係の解明	400,000	120,000	520,000	永田 彰平	R05 ～ R07
27	23K13176	若手研究	段丘における古津波・地殻変動痕跡の検出とそれによる海溝型地震津波の解明	1,100,000	330,000	1,430,000	石澤 尭史	R05 ～ R07
28	23K13419	若手研究	Multi-task learning based post-disaster mapping via multi-modal remote sensing observations	700,000	210,000	910,000	袁 巍	R05 ～ R07
29	23K13529	若手研究	樹木の「かたち」がもたらす津波減災効果を解明するマルチスケール評価手法の提案	1,000,000	300,000	1,300,000	野村 怜佳	R05 ～ R07
30	24K17138	若手研究	空間解像度に基づく小断層配置最適化による断層すべり推定手法の開発	1,000,000	300,000	1,300,000	富田 史章	R06 ～ R09
31	24K17482	若手研究	被災者が感じる「災害のイメージ」に着目した防護行動発生過程の解明	700,000	210,000	910,000	新家 杏奈	R06 ～ R09
32	25K17480	若手研究	東北沖地震前後の日本列島下部における粘弾性流動の比較	1,500,000	450,000	1,950,000	唐 啓賢	R07 ～ R09
33	23K17563	挑戦的研究（萌芽）	国際開発と社会的公正：気候変動時代における沿岸インフラ整備をめぐる援助競争	2,200,000	660,000	2,860,000	井内 加奈子	R05 ～ R07
34	25K22138	挑戦的研究（萌芽）	歴史学と工学の融合が実現する豪雨災害を対象とした過去と現代の地域特性評価	1,800,000	540,000	2,340,000	森口 周二	R07 ～ R09
35	20KK0037	国際共同研究加速基金（国際共同研究強化(B)）	東南アジアにおける「オールハザード型」防災対策枠組構築のための共同研究	0	0	0	泉 貴子	R02 ～ R07
36	22KK0066	国際共同研究加速基金（国際共同研究強化(B)）	災害・気候変動対応策への投資と社会的脆弱性・地域復元力の関係解明：NY市を対象に	3,400,000	1,020,000	4,420,000	井内 加奈子	R04 ～ R08
37	23KK0237	国際共同研究加速基金（国際共同研究強化）	インドネシアの地方レベルにおける災害レジリエンスの強化ーグローバル指標を活用して	0	0	0	佐々木 大輔	R05 ～ R07
38	23KK0084	国際共同研究加速基金（海外連携研究）	インドネシア被災地における復興評価手法の開発と災害リスク認知の時空間推移の解明	3,500,000	1,050,000	4,550,000	村尾 修	R05 ～ R09
39	24KK0015	国際共同研究加速基金（海外連携研究）	環境調和型農園管理と災害脆弱性の軽減が連環発展可能な地域社会モデルの解明	2,700,000	810,000	3,510,000	原 裕太	R06 ～ R10
40	25K23196	研究活動スタート支援	手話と文字と合成音声を組み合わせた授業方法の有用性と可能性	1,000,000	300,000	1,300,000	石川 美希	R07 ～ R08
41	25K23391	研究活動スタート支援	GNSSデータの空間相関ノイズの成因解明と除去手法開発:微小変動解析高度化を目指して	600,000	180,000	780,000	岡田 悠太郎	R07 ～ R08
42	22J22330	特別研究員奨励費	実用化に向けた大規模な社会基盤施設群の維持管理施策最適化問題の解法の体系化	0	0	0	中里 悠人	R05 ～ R07

43	23KJ0188	特別研究員奨励費	東日本大震災を踏まえた「より良い復興」指標開発とデジタルツイン環境下での応用	1,000,000	0	1,000,000	加藤 春奈	R05	～	R07
44	24KJ0402	特別研究員奨励費	津波堆積物の統合的逆解析による巨大地震の描像：破壊履歴の時空間的な解明に向けて	900,000	0	900,000	増田 英敏	R06	～	R08
45	24KJ0411	特別研究員奨励費	津波避難誘導を目的としたバルーン型避難標識の開発と社会実装	400,000	0	400,000	成田 峻之輔	R06	～	R08
46	24KJ0421	特別研究員奨励費	洪水常襲地帯にある地方都市の空間変容から導出する持続可能な防災モデルの実装	700,000	0	700,000	奥羽 未来	R06	～	R08
47	24KJ0351	特別研究員奨励費	力学モデルに基づく即時性と精緻性を兼ね備えた広域土砂災害予測システムの創成	500,000	0	500,000	須郷 大地	R06	～	R08
48	24KF0172	特別研究員奨励費	分散配置型動的サブストラクチャ法と有限要素解析を統合した耐震実験手法の構築	1,100,000	0	1,100,000	LIU HAO	R06	～	R08
49	25KJ0536	特別研究員奨励費	臨海域における複合災害評価に向けた漂流・衝突モデルの開発~東京湾を救えるか~	1,200,000	0	1,200,000	田中 健登	R07	～	R09
50	25KJ0533	特別研究員奨励費	断層変位地形を用いない活断層の活動性評価:手法精度の検証と高度化	600,000	0	600,000	山根 悠輝	R07	～	R09
51	25KJ0582	特別研究員奨励費	ゲノム情報を用いた妊娠高血圧腎症の発症予測モデルにおける、対象者選定基準の検討	500,000	150,000	650,000	大瀬戸 恒志	R07	～	R08
52	25KF0175	特別研究員奨励費	青森県沿岸の堆積記録による高解像度津波履歴	500,000	0	500,000	菅原 大助	R07	～	R09
合計				131,000,000	37,230,000	168,230,000				

2026年10月2日　差替版
(pp.35-36)

4．2．D．2025年度外部資金受入状況

契約種別	研究代表者	契約相手	研究題目	研究開始日	研究終了日	直接経費	間接経費	合計
受託研究/競争的研究費	越村　俊一	国立研究開発法人科学技術振興機構	地震直後におけるリマ首都圏インフラ被災程度の予測・観測のための統合型エキスパートシステムの開発 GI：早期解析システム（GIB：津波）	2021/9/1	2026/3/31	4,550,000	1,365,000	5,915,000
受託研究/競争的研究費	SUPPASRI ANAWAT	国立研究開発法人科学技術振興機構	沿岸でのレジリエント社会構築のための新しい持続性システム	2022/4/1	2026/3/31	6,000,000	1,800,000	7,800,000
受託研究/競争的研究費	佐藤　翔輔	国立研究開発法人科学技術振興機構	被災者と未災者が共に学ぶデジタル災害空間基盤	2022/10/1	2026/3/31	4,720,000	1,416,000	6,136,000
受託研究/競争的研究費	越村　俊一	国立研究開発法人防災科学技術研究所	津波災害デジタルツインの構築	2023/9/1	2026/3/31	45,000,000	6,750,000	51,750,000
受託研究/競争的研究費	越村　俊一	国立研究開発法人科学技術振興機構	人間中心の災害デジタルツインの構築とコミュニティレジリエンスの向上	2024/4/1	2026/3/31	20,500,000	6,150,000	26,650,000
受託研究/競争的研究費	中沢　正隆	総務省	量子インターネット実現に向けた要素技術の研究開発	2024/4/1	2026/3/31	84,615,385	25,384,615	110,000,000
受託研究/競争的研究費	ADRIANO ORTEGA BRUNO	国立研究開発法人科学技術振興機構	洪水・津波シミュレーションに基づく視覚言語ベンチマークの構築	2025/4/1	2026/3/31	5,400,000	1,620,000	7,020,000
受託研究/競争的研究費	野村　周平	国立研究開発法人科学技術振興機構	新しい保健システム構築のための実証的な疾病負荷研究	2025/10/1	2026/3/31	3,883,000	1,164,900	5,047,900
受託研究/競争的研究費	林　宏典	国立研究開発法人日本医療研究開発機構	非天然型複合体を促進する化合物の合理的設計法開発	2025/4/1	2026/3/31	11,500,000	1,500,000	13,000,000
受託研究/競争的研究費	國井　泰人	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター	日本ブレインバンクネット（JBBN）による精神・神経疾患死後脳リソース基盤の新しい発展と推進に関する研究	2025/7/7	2026/3/31	5,726,300	1,717,890	7,444,190
受託研究/競争的研究費	栗山　進一	国立研究開発法人日本医療研究開発機構	出生ゲノムコホート連携に基づく周産期・小児期の各種曝露と小児期の各種疾患との関連に関する研究	2025/4/1	2026/3/31	12,580,000	420,000	13,000,000
受託研究/一般	越村　俊一	UNIVERSITY OF OREGON[アメリカ]	包括的な津波被害推定プラットフォームの構築のための地球観測データおよびプロダクトの活用	2024/7/5	2025/9/30	6,486,800	648,680	7,135,480
受託研究/一般	越村　俊一	内閣府	津波浸水被害推計システム機能拡張業務（日本海南西部・東シナ海・オホーツク海）	2025/2/17	2026/3/31	14,190,000	3,300,000	17,490,000
受託研究/一般	鈴木　正敏	日本エヌ・ユー・エス株式会社	不溶性セシウム粒子の生物影響に関する理解深化を目指す分野横断共同研究	2025/4/1	2026/3/31	8,674,907	825,093	9,500,000
受託研究/一般	佐藤　翔輔	一般財団法人日本宇宙フォーラム	津波避難施設用バルーン型避難標識の実用化にむけた自動掲揚システムの開発	2025/7/10	2026/3/31	7,361,828	638,172	8,000,000
受託研究/一般	SUPPASRI ANAWAT	University College London(UCL)[イギリス]	機械学習技術による能登半島の液状化ポテンシャルの脆弱性解析	2025/1/8	2027/3/31	4,479,457	0	4,479,457
受託研究/一般	野村　周平	国立研究開発法人国立がん研究センター	科学的根拠に基づくがんリスク評価とがん予防ガイドライン提言に関する研究	2025/4/1	2026/3/31	250,000	0	250,000
小計			17件			245,917,677	54,700,350	300,618,027
共同研究	寺田　賢二郎	日本工営株式会社	レジリエントシティー技術実装	2022/4/1	2026/3/31	19,000,000	5,700,000	24,700,000
共同研究	今村　文彦	ARTHUR J. GALLAGHER (UK) LIMITED（イギリス）	Global tsunami hazard and risk assessment	2023/4/1	2025/3/31	6,255,000	1,745,000	8,000,000
共同研究	木戸　元之	国立大学法人東京大学	災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画（第3次）	2024/4/1	2029/3/31	13,551,000	0	13,551,000
共同研究	森口　周二	中部電力株式会社	クラスタリングとベイズ更新を援用した力学に基づく広域斜面安定解析	2024/4/23	2026/3/31	4,213,000	1,263,900	5,476,900
共同研究	柴山　明寛	トヨタ自動車株式会社	災害に強いまちづくり（東北大学・トヨタ自動車包括的連携協定内）	2024/8/8	2025/8/7	4,954,000	1,486,000	6,440,000
共同研究	SUPPASRI ANAWAT	スイス・リー・インターナショナル・エスイー[スイス]	確率論的津波及び洪水ハザード・リスク評価	2024/10/1	2027/9/30	15,380,000	4,620,000	20,000,000
共同研究	今村　文彦	公益財団法人イオン環境財団	レジリエント・コミュニティー創生に向けた都市のあり方に関する研究	2024/10/1	2027/9/30	3,800,000	1,200,000	5,000,000
共同研究	今村　文彦	イオンモール株式会社	レジリエント・コミュニティー創生に向けた都市のあり方に関する研究	2024/10/1	2027/9/30	7,700,000	2,300,000	10,000,000
共同研究	丸谷　浩明	株式会社丸和運輸機関	物流業によるBCPの構築	2025/4/1	2026/3/31	2,961,539	888,461	3,850,000
共同研究	丸谷　浩明	株式会社フクダ・アンド・パートナーズ	物流関連施設等の防災・復旧及び直流マイクログリットの研究	2025/4/1	2027/3/31	3,328,100	961,900	4,290,000
共同研究	柴山　明寛	トヨタ自動車株式会社	災害に強いまちづくり（東北大学・トヨタ自動車包括的連携協定内）	2025/8/8	2026/8/7	4,371,120	1,311,336	5,682,456
共同研究	今村　文彦	パシフィックコンサルタンツ株式会社	非地震性津波災害のリスク評価にかかる研究	2025/4/1	2027/3/31	6,000,000	1,800,000	7,800,000
共同研究	佐藤　大介	大学共同利用機関法人人間文化研究機構	歴史文化資料保全の大学・共同利用機関ネットワーク事業	2025/4/1	2026/3/31	11,500,000	0	11,500,000
共同研究	小野　裕一	パシフィックコンサルタンツ株式会社	仙台防災枠組と関連した災害研の国際連携活動の推進に向けた調査研究	2025/5/12	2027/3/31	733,200	146,800	880,000
共同研究	佐藤　翔輔	宮城県	みやぎ東日本大震災津波伝承館の機能強化についての共同研究	2025/4/1	2026/3/31	3,165,000	949,000	4,114,000
共同研究	佐藤　翔輔	気仙沼市	気仙沼における自主防災組織等支援に関する共同研究	2025/4/1	2026/3/31	2,788,000	836,000	3,624,000
共同研究	藤井　進	日本電信電話株式会社	東北大学×NTT 社会や地域の課題解決に向けた分野横断型共同研究を開始"リモートワールド・ロボティクス・超感覚における人間・社会拡張を通じ、多様な社会課題を解決" 研究内容 テーマA.サステナブルな地域社会を実現する自律分散協調リモートワールド 災害科学×IOWNで実現する「地域の命を守るメタバース空間のデジタルホスピタル」	2024/10/1	2027/3/31	6,143,280	1,116,720	7,260,000
共同研究	越村　俊一	宮城県	広域防災拠点の運用方法についての共同研究	2025/6/27	2026/3/31	3,850,000	1,155,000	5,005,000
共同研究	五十子　幸樹	東京電力ホールディングス株式会社	建屋上の塔状構造物の効果的な補強法に関する研究（その3）	2025/6/30	2026/3/23	1,300,000	390,000	1,690,000
共同研究	今村　文彦	復建調査設計株式会社	地形変化を考慮した津波外力による津波漂流予測の研究	2025/6/10	2026/3/31	816,600	208,400	1,025,000
共同研究	MAS SAM ANEZ ERIC K ARTURO	日本工営株式会社	モバイル空間統計データを活用した避難行動の精緻化に関する研究	2025/7/31	2026/3/31	420,000	130,000	550,000
共同研究	越村　俊一	東海旅客鉄道株式会社	リアルタイム津波浸水被害推定システムによる早期被害把握と高度化に向けた実証検証	2025/10/3	2026/3/31	3,846,000	1,154,000	5,000,000
共同研究	今村　文彦	株式会社オリエンタルコンサルタンツ 株式会社ふたば	夜ノ森プロジェクト推進に関する共同研究	2026/2/1	2029/1/31	1,454,000	436,000	1,890,000
共同研究	越村　俊一	宮城県（その2）	広域防災拠点の運用方法についての共同研究（その2）	2026/3/23	2026/3/31	11,539,000	3,461,700	15,000,700
共同研究	森口　周二	国立大学法人京都大学	路面下空洞による地盤のゆるみ域とその拡大過程評価法の開発	2025/11/28	2026/3/31	772,000	231,600	1,003,600
共同研究/ゼロ契約	鈴木　正敏	International Atomic Energy Agency;（国際原子力機関）[オーストリア]	長期低線量被ばく評価のための野生ニホンザルおよび大型ニホンザルモデルを用いた外部線量測定法の確立と改善	2022/12/16	2027/12/15	0	0	0
共同研究/ゼロ契約	五十子　幸樹	国立研究開発法人防災科学技術研究所	次世代型の振（震）動実験・制御・計測の基礎技術開発	2023/4/1	2026/3/31	0	0	0
共同研究/ゼロ契約	木戸　元之	海上保安庁海洋情報部	海底地殻変動観測技術の高度化	2023/9/6	2028/3/31	0	0	0

契約種別	研究代表者	契約相手	研究題目	研究開始日	研究終了日	直接経費	間接経費	合計
共同研究/ゼロ契約	木戸　元之	国立大学法人東海国立大学機構	海底地殻変動観測技術の高度化	2023/9/6	2028/3/31	0	0	0
共同研究/ゼロ契約	木戸　元之	国立大学法人東京大学	海底地殻変動観測技術の高度化	2023/9/6	2028/3/31	0	0	0
共同研究/ゼロ契約	陳　強	国立研究開発法人情報通信研究機構	B5Gへの適用を目指したタフ無線アクセス基盤技術に関する研究	2021/4/1	2026/3/31	0	0	0
共同研究/ゼロ契約	原　裕太	National Research and Innovation Agency[インドネシア]	持続可能なパーム油農業 × 農村災害リスク軽減とレジリエンス構築に関する研究協力	2025/1/8	2030/1/7	0	0	0
共同研究/ゼロ契約	中沢　正隆	国立研究開発法人情報通信研究機構	試験ファイバ環境におけるマルチコアファイバの評価等の研究開発	2024/4/1	2028/3/31	0	0	0
共同研究/ゼロ契約	榎田　竜太	株式会社奥村組	直置き型構造物の実用化に向けた実践的研究	2024/4/1	2028/3/31	0	0	0
共同研究/ゼロ契約	鈴木　正敏	財団法人環境科学技術研究所	低線量率放射線による肝臓の酸化ストレス応答の解析	2024/11/22	2027/3/31	0	0	0
共同研究/ゼロ契約	児玉　栄一	学校法人京都薬科大学	膜融合阻害過程を阻害するペプチド性抗ウイルス薬の創製	2024/4/1	2027/3/31	0	0	0
共同研究/ゼロ契約	姥浦　道生	国立大学法人福島大学	双葉町における復興まちづくりに資する地域活動拠点等を活用した地域の活性化及び関係人口の創出・拡大に向けた共同研究	2024/12/4	2027/3/31	0	0	0
共同研究/ゼロ契約	姥浦　道生	独立行政法人都市再生機構	双葉町における復興まちづくりに資する地域活動拠点等を活用した地域の活性化及び関係人口の創出・拡大に向けた共同研究	2024/12/4	2027/3/31	0	0	0
共同研究/ゼロ契約	姥浦　道生	コトラボ合同会社	双葉町における復興まちづくりに資する地域活動拠点等を活用した地域の活性化及び関係人口の創出・拡大に向けた共同研究	2024/12/4	2027/3/31	0	0	0
共同研究/ゼロ契約	中沢　正隆	国立研究開発法人情報通信研究機構	光パケット・パス統合ノードを用いた適応多値信号スイッチング	2012/12/21	2026/3/31	0	0	0
共同研究/ゼロ契約	ADRIANO ORTEGA BRUNO	株式会社Synspective	Towards an Automated Development of Geospatial Digital Twins: Fusion of AI	2025/3/1	2026/12/31	0	0	0
共同研究/ゼロ契約	ADRIANO ORTEGA BRUNO	JAXA	ALOS2Floods: Developing the Next Generation of Flood-induced Damage Using PALSAR-2&3 Data and AI Technologies	2025/4/1	2028/3/31	0	0	0
共同研究/ゼロ契約	森口　周二	国立研究開発法人防災科学技術研究所	実験とシミュレーションの有機的融合が叶える豪雨による土砂災害シミュレーションのための包括的ベンチマーク問題の創出	2025/4/1	2026/3/31	0	0	0
共同研究/ゼロ契約	越村　俊一	国立大学法人広島大学 北陸先端科学技術大学	2時期SAR画像の変化抽出とDEMデータの統合解析による土石流把握	2025/9/1	2027/3/31	0	0	0
共同研究/ゼロ契約	菅原　大助	原子力規制委員会原子力規制庁	津波堆積物に基づく津波規模の推定に関する研究ーシナリオ波源による土砂移動解析を活用した統計モデルの構築ー	2026/1/31	2028/3/31	0	0	0
小計			45件			139,840,839	33,491,817	173,332,656
学術指導	今村　文彦	株式会社東北博報堂	「ぼくのわたしの防災手帳」	2019/12/1	2026/11/30	72,000	8,000	80,000
学術指導	柴山　明寛	株式会社トッパングラフィックコミュニケーションズ	自然災害に関するソリューション研究指導	2022/10/1	2026/3/31	495,000	55,000	550,000
学術指導	鳥光　慶一	株式会社TESS	運動機能回復における繊維電極の活用	2024/4/1	2026/3/31	0	0	0
学術指導	今村　文彦	アイリスチトセ株式会社	防災オフィスのコンセプト提言	2025/12/1	2027/3/31	360,000	40,000	400,000
学術指導	今村　文彦	東京海上ディーアール株式会社	大規模自然言語を含むマルチモーダル AI 等の防災減災 への応用に関する研究指導	2025/12/1	2026/9/30	900,000	100,000	1,000,000
学術指導	柴山　明寛	TOPPAN株式会社	震災アーカイブ構築・利活用に関する研究指導	2024/8/1	2026/3/31	450,000	50,000	500,000
学術指導	今村　文彦	非特定営利活動法人 日本視覚障がい情報普及支援協会	視覚障がい者向けの防災・ハザードマップの音声読み上げテキストの文書評価について	2025/8/1	2027/3/31	1,080,000	120,000	1,200,000
学術指導	柴山　明寛	応用地質株式会社	いわき市津波避難計画作成の技術的助言	2025/2/3	2026/2/27	0	0	0
学術指導	森口　周二	東京海上ホールディングス株式会社	レジリエントシティー技術実装	2025/8/1	2026/3/31	3,600,000	400,000	4,000,000
学術指導	柴山　明寛	いわき市	東北大学災害科学国際研究所による学術指導	2025/5/8	2026/3/16	1,111,780	123,420	1,235,200
学術指導	柴山　明寛	東京海上ディーアール株式会社	大規模自然言語を含むマルチモーダル AI等の防災減災への応用に関する研究	2025/12/1	2026/9/30	900,000	100,000	1,000,000
受託事業	柴山　明寛	多賀城市	令和7年度多賀城市震災アーカイブシステム保守点検業務	2025/4/1	2026/3/31	150,000	0	150,000
受託事業	千田　浩一	国立大学法人九州大学	実践的な課題解決能力を持つ高度放射線防護人材育成プログラム	2025/4/1	2026/3/31	13,985,076	0	13,985,076
受託事業	越村　俊一	内閣府	2023-2027年度津波浸水被害推計システム保守・運用業務	2023/4/1	2033/3/31	10,881,495	1,252,768	12,134,263
受託事業	今村　文彦	一般財団法人日本規格協会	スマートなコミュニティインフラとしての防災データ活用に関する国際標準化	2025/4/1	2026/2/27	6,283,661	478,785	6,762,446
受託事業	柴山　明寛	岩手県	令和7年度海外津波博物館等とのオンライン交流運営等業務	2025/8/8	2026/3/19	1,240,000	0	1,240,000
受託事業	千田　浩一	公益財団法人 JKA	2025年度　低濃度放射線セシウムへの持続被ばくによる高感度ゲノム変異評価	2025/4/1	2027/3/31	5,000,000	0	5,000,000
受託事業	今村　文彦	一般社団法人東北地域づくり協会	未災地での事前復興計画の現状把握と支援	2025/6/9	2028/3/31	2,000,000	0	2,000,000
受託事業	SUPPASRI ANAWAT	国立大学法人京都大学	複合災害に対するハザード・リスク評価	2024/9/1	2026/7/31	0	0	0
受託事業	柴山　明寛	宮古市	宮古市災害資料アーカイブシステム運用保守業務	2025/4/1	2026/3/31	1,529,000	0	1,529,000
受託事業	アドリアノ　オルテガ　ブルーノ	独立行政法人日本学術振興会	次世代洪水被害マッピングの先進的人工知能と数値シミュレーション技術の統合	2024/4/1	2026/3/31	0	0	0
受託事業	越村　俊一	国際協力機構 JICA	津波の浸水被害予測(A)	2025/7/7	2026/1/31	146,500	0	146,500
受託事業	保田　真理	静岡県建設業協会	産学官連携による津波防災・減災出前講座	2025/6/1	2026/2/28	2,022,600	0	2,022,600
受託事業	佐藤　健	内閣府	女性が力を発揮するコミュニティ防災教育の推進を通した防災人材育成	2025/9/26	2026/2/16	2,960,204	0	2,960,204
受託事業	謝　瑞洪	国立研究開発法人科学技術振興機構	2025年度　インド若手科学頭脳循環プログラム	2026/1/20	2026/3/31	264,000	7,920	271,920
受託事業	野村　周平	有限責任監査法人トーマツ	次のパンデミックに向けた合理的な感染対策の実施等に資する調査研究	2025/11/1	2026//2/27	7,692,308	2,307,692	10,000,000
受託事業	越村　俊一	内閣府	令和7年度　防災産業の海外展開に関する調査実証事業	2025/11/25	2026/3/31	9,790,000	209,000	9,999,000
小計			27件			72,913,624	5,252,585	78,166,209
合計						458,672,140	93,444,752	552,116,892

4．2．E．2025年度寄附金の受入状況

受入総額:　　30,374,440円

2026年3月末現在

No.	助成金名称	寄附者名	受入教員	寄附金額	備　考
1	第2回構造工学に関する日本-ニュージーランドワークショップの開催に関する助成	榎田　竜太	榎田　竜太	1,500,000	
4　月　計			1件	1,500,000	
2	WEC応用生態研究助成	内田典子	内田典子	1,000,000	
5　月　計			1件	1,000,000	
3	鋼構造の耐震化に関する研究助成金	㈱安藤・間	五十子　幸樹	500,000	
4	津波工学研究分野研究助成金	五洋建設㈱	今村　文彦	500,000	
5	放射線検査学研究助成金	(株)千代田テクノル	千田　浩一	150,000	
6　月　計			3件	1,150,000	
6	災害調査並びに復興支援のための緊急研究・調査助成	公益社団法人　東京地学協会	高橋　尚志	900,000	
7	令和7年度栗駒山麓ジオパーク学術研究等奨励事業補助金	高橋　尚志	高橋　尚志	175,000	
8	公益財団法人セコム科学技術振興財団　令和7年度一般研究助成	セコム科学技術振興財団	越村　俊一	10,000,000	
9	APRU-IRIDeSマルチハザードプログラム活動助成金	APRU（香港）	泉　貴子	4,370,400	
7　月　計			4件	15,445,400	
10	小児医学研究振興財団　令和6年度海外留学フェローシップ	大瀬戸　恒志	大瀬戸　恒志	1,000,000	
8　月　計			1件	1,000,000	
11	CDRIフェローシップ	Coalition for Disaster Resilient Infrastructure(CDRI)	Erick MAS	1,098,375	
12	フレキシブルシルク電極研究助成金	アルプスアルパイン株式会社	鳥光　慶一	500,000	
13	防災社会推進に関する研究助成金	鈴与株式会社	佐藤　翔輔	1,000,000	
9　月　計			3件	2,598,375	
10　月　計			0件	0	
14	津波工学研究分野研究助成金研究助成金	㈱東京建設コンサルタント	今村　文彦	1,000,000	
15	放射線検査学研究助成金	千田　浩一	千田　浩一	1,000,000	
16	災害アーカイブ研究助成金	積水ハウス（株）東北営業本部	柴山 明寛	200,000	

17	災害アーカイブ研究助成金	日本総合システム株式会社	柴山 明寛	100,000	
18	災害アーカイブ研究助成金	TOPPAN株式会社東日本事業本部	柴山 明寛	200,000	
19	災害アーカイブ研究助成金	(株)ジェイアール東日本企画	柴山 明寛	200,000	
11 月 計			6件	2,700,000	
20	無線通信研究助成金	安達 文幸	安達 文幸	2,000,000	
21	放射線検査学研究助成金	公益財団法人 宮城県対がん協会	千田 浩一	200,000	
12 月 計			2件	2,200,000	
22	令和7年度 上廣倫理財団研究助成金	公益財団法人上廣倫理財団	朴 慧晶	990,000	
1 月 計			1件	990,000	
23	公益財団法人セコム科学技術振興財団 学術集会および科学技術振興事業助成	公益財団法人セコム科学技術振興財団	菅原 大助	420,000	
2 月 計			1件	420,000	
24	第3回学校安全に関する研究助成事業助成研究	独立行政法人日本スポーツ振興センター	齋藤 由美子	1,200,000	
25	令和7年度栗駒山麓ｼﾞｵﾊﾟｰｸ学術研究等奨励事業補助金	高橋 尚志	高橋 尚志	170,665	
3 月 計			2件	1,370,665	
総 計			25件	30,374,440	

4. 2. F. 2025年度 災害研基金の受入状況

・ 2025年度「災害研究の英知を次代へ基金」の受入状況

受入総額(件数)： 2,414,200円(50件)

4. 3. 施設・設備

施設

棟名称	災害科学国際研究所棟		
構造・階数	R5		
延べ面積	10,156㎡	1階　1,938㎡	4階　2,052㎡
		2階　1,997㎡	5階　1,976㎡
		3階　2,119㎡	PH階　74㎡
建築年	2014年		



設備等

区分	設備名・資料名・データ名	部門	担当者	概要
設備	海底間精密測距装置主局	災害評価・低減研究部門	木戸元之	海底に長期設置し、海底の機器同士の距離を定期的に計測し海底地殻変動を観測する装置
設備	強震観測網装置	災害評価・低減研究部門	大野晋	主に常時微動計測により建物・地盤の振動特性を把握するための可搬型振動計測装置
設備	高精度・低消費電力地震波観測装置	災害評価・低減研究部門	岡田知己	地震計などを接続して高分解能で地震波形の記録を行う装置。消費電力が小さいため、ｶｰﾊﾞｯﾃﾘｰなどで数ヶ月の長期間連続観測が可能。用いた地震波形記録を用いて、地震の震源位置や地下構造の推定を行うことができる
設備	地層探査ｼｽﾃﾑ	災害評価・低減研究部門	菅原大助	3.5kHz及び10kHz2周波によるﾎﾟｰﾀﾌﾞﾙ地層探査装置。計測可能水深は最大800m。船舶等に艤装して運用する
設備	無人測深システム	災害評価・低減研究部門	菅原大助	無人ﾎﾞｰﾄに衛星航法装置と音響測深器を備えた無人測深ｼｽﾃﾑ。静水面を4ﾉｯﾄ程度で航行でき、連続3時間の運用が可能。探査範囲は水深1~50m
設備	高速高機能ﾃﾞｰﾀﾛｶﾞｰ・高速ｽｲｯﾁﾎﾞｯｸｽ	災害評価・低減研究部門	五十子幸樹	構造物の静的載荷実験において高速高機能ﾃﾞｰﾀﾛｶﾞｰに50点の計測が可能な高速ｽｲｯﾁﾎﾞｯｸｽを3台ｶｽｹｰﾄﾞ接続することにより最大150点の歪測定を0.1秒で測定することが可能な装置
設備	3次元ﾚｰｻﾞｰｽｷｬﾅ	災害評価・低減研究部門	遠田晋次	三脚による地上設置型で対象物にﾚｰｻﾞｰを照射し詳細に形状を測定する装置。主として地形地質調査時に高精度な測量を行う際に使用する。附属のｿﾌﾄｳｴｱを用いることで、点群ﾃﾞｰﾀから植生や人工物を取り除き、詳細地形を再現することが可能
設備	海底地殻変動機動観測ｼｽﾃﾑ	災害評価・低減研究部門	木戸元之	GNSS-A観測用海底局(計6台)で、海底に数年単位で長期設置し、海上からGNSS-A音響船上装置で測位することにより海底地殻変動を検出する装置
設備	490kgｸﾚｰﾝ	災害評価・低減研究部門	木戸元之	X-Y屋内移動型のｸﾚｰﾝ。災害科学国際研究所棟の理学保管室内に設置しており、重量のある観測機材の組み立て等に利用している
設備	災害解析用計算機ｼｽﾃﾑ	災害評価・低減研究部門	今村文彦 ｻｯﾊﾟｼｰ・ｱﾅﾜｯﾄ	大規模かつ高解像度な津波などの災害ﾘｽｸ評価を実行可能とし、実効性能を重視した災害解析用計算機ｼｽﾃﾑ。突発的に発生する自然災害のﾘｽｸを多方面から解析・予測するために使用する
設備	ﾚｰｻﾞｰ回折式粒度分析装置	災害評価・低減研究部門	菅原大助	粗粒子・高密度粒子にﾚｰｻﾞｰ光を照射し、そこから発せられる回折・散乱光の 強度分布ﾊﾟﾀｰﾝから粒子径を測定する装置。0.05~3000μmという極めて広い粒子径範囲に対応する
設備	GNSS-A音響船上装置(USB出力)	災害評価・低減研究部門	木戸元之	海底に設置済の海底局までの距離を音響で計測する海底地殻変動観測用の装置
設備	災害調査用飛行ﾛﾎﾞｯﾄ	災害評価・低減研究部門	越村俊一	被災地を含む環境調査を行うためのﾄﾞﾛｰﾝ。2軸ｻｰﾎﾞｼﾞﾝﾊﾙを介して4眼高速ｶﾒﾗを搭載
設備	3次元ﾃﾞｼﾞﾀﾙｽｷｬﾝｼｽﾃﾑ	災害人文社会研究部門	柴山明寛	震災遺構や建物などの大規模建造物などを点群で座標を取得することが可能な点群ｽｷｬﾅ
設備	TobiiｸﾞﾗｽIRﾊﾟｯｹｰｼﾞ	災害人文社会研究部門	邑本俊亮	人がどこを見ているか、眼球の動きを捉えて測定するﾒｶﾞﾈ型の装置
設備	ｳｪｱﾗﾌﾞﾙ光ﾄﾎﾟｸﾞﾗﾌｨｼｽﾃﾑ	災害人文社会研究部門	邑本俊亮	頭部にﾍｯﾄﾞｾｯﾄを装着し、日常に近い状況で、微弱な近赤外光により脳活動に伴う脳内血流量の変化を計測する装置
設備	ﾄｰﾀﾙｽﾃｰｼｮﾝ	災害人文社会研究部門	柴山明寛	高機能な自動追尾ﾄｰﾀﾙｽﾃｰｼｮﾝ
設備	ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ長期保存ｼｽﾃﾑ	災害人文社会研究部門	柴山明寛	LTO5やLTO7のﾃｰﾌﾟﾄﾞﾗｲﾌﾞ、ｵﾌﾟﾃｨｶﾙﾃﾞｨｽｸ・ｱｰｶｲﾌﾞ(ODA第一世代)、長期保存DVD等、数十年の耐久性を持った記録ｼｽﾃﾑ
設備	歴史資料ﾃﾞｰﾀ保存・閲覧用ｽﾄﾚｰｼﾞ	災害人文社会研究部門	蝦名裕一	被災地を含む東北地方各地の古文書や絵図といった歴史資料ﾃﾞｰﾀを研究に活用できるようにｱｰｶｲﾌﾞしているｽﾄﾚｰｼﾞ
設備	災害記録収集・配信システム設備	災害人文社会研究部門	柴山明寛	全天球の動画や静止画の撮影が可能なｼｽﾃﾑ
設備	複合現実空間災害情報表示設備	災害人文社会研究部門	柴山明寛	MRﾍｯﾄﾞﾏｳﾝﾄﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ及び制御するためのﾜｰｸｽﾃｰｼｮﾝ。東日本大震災の震災遺構や既に取り壊された被災物などの映像をMRで体感することが可能
設備	防災・減災情報表示設備	災害人文社会研究部門	柴山明寛	4K80ｲﾝﾁのﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲが4枚連携している設備。4Kや8K映像の確認が可能

区分	設備名・資料名・データ名	部門	担当者	概要
設備	真空凍結乾燥システム	災害人文社会研究部門	川内淳史	−40℃に冷凍した紙媒体文化財から真空状態で水分を昇華させることにより、水損状態から物性変化をもたらすことなく、被災状態からの脱却を実施することを可能とするシステム
設備	防災教育効果測定用認知心理実験システム	災害人文社会研究部門	邑本俊亮 杉浦元亮	効果的な防災教育プログラムの設計におけるプログラム内の構成要素の効果を科学的に検証するための設備。①小型地震体験機、②近赤外光脳計測装置、③脳波計測・解析システム、④眼球運動測定・解析装置、⑤心理実験用防音室から構成される。装置を組み合わせての使用も可能
設備	国際防災戦略情報管理システム	災害人文社会研究部門	村尾修	国内外で発生した災害による被災地及び将来的に被害が懸念される各地を対象として、適切な復興計画や今後の防災計画を策定するためのモニタリング・分析・解析・設計に関する処理に用いるシステム
設備	多主体行動集約・記録装置	災害人文社会研究部門	奥村誠	多数の被験者に3種類の異なる映像を見せ、携帯回答端末およびビデオで参加者の行動を記録し、かつ5つの別室に隔離した被験者の反応を同時に録画記録する装置
設備	超高精細スキャン装置	災害人文社会研究部門	蝦名裕一	絵画や地図などの緻密に描かれた資料を4K/8Kに対応した超高精細かつ非接触で撮影することができるスキャン装置
設備	マイクロチップ型電気泳動装置	災害医学研究部門	鈴木正敏	チップ型ゲル電気泳動装置。マイクロアレイや次世代DNAシーケンス実験前の品質チェック、タンパク質分析などに利用可能
設備	放射能自動測定装置	災害医学研究部門	鈴木正敏	低エネルギーβ線を自動的に測定できる放射能自動測定装置
設備	バーチャル顕微鏡システム	災害医学研究部門	鈴木正敏	組織標本を高精細にデジタル画像化する装置
設備	照射用軟X線発生装置	災害医学研究部門	鈴木正敏	軟X線を培養細胞に照射する装置
設備	蛍光微分干渉顕微鏡システム	災害医学研究部門	鈴木正敏	スライドガラス標本の観察やデジタルカメラ撮影ができる正立顕微鏡システム
設備	細胞特異的災害ストレス解析システム	災害医学研究部門	富田博秋	磁気ビーズを用いて複数検体(最大6サンプル)から自動連続で細胞を単離し、全自動で核酸を抽出するシステム
設備	災害関連疾病病態オミックス解析システム	災害医学研究部門	富田博秋	ゲノム解析、トランスクリプトーム解析、メチローム解析、プロテオーム解析を行い、災害関連疾患を含む疾患の遺伝的要因、転写制御に関わる要因などの疾患病態メカニズムの解析を可能とするシステム
設備	多機能オートサンプラシステム	災害医学研究部門	富田博秋	ガスクロマトグラフ質量分析の前処理のため、複数試料を質量分析計(GC−MS)に自動導入できるシステム
設備	ELISPOTアナライザー	災害医学研究部門	児玉栄一 林宏典	リンパ球の反応性(サイトカイン産生)を検出するシステム。過去の感染や免疫状態を調査可能
資料	「東北地区自然災害資料センター」所蔵資料		柴山明寛	1978年度より東北地方特有の自然災害関連資料の収集を続けており、1978年宮城県沖地震関連資料をはじめ、理学・工学のみならず歴史学においても価値ある資料を所蔵
資料	東日本大震災被災地域歴史資料データ群		蝦名裕一	被災地における歴史災害調査・被災資料保全活動を通じて収集・デジタル化した民間所在歴史資料約6万コマ画像。東日本大震災で原本が失われた岩手県沿岸南部歴史資料の写しや解読原稿なども含む
資料	「雑誌で見る東日本大震災」雑誌群		柴山明寛	東日本大震災関連雑誌・約600冊。2019年3月、京都大学研究者より寄贈。現在、東北大学図書館検索システムに登録中。美術雑誌から大衆雑誌まで幅広いジャンルを網羅し、東日本大震災発生当時の世相を示す貴重なデータ
データベース	津波痕跡データベース		今村文彦	「津波痕跡データ(津波の到達した痕跡地点のデータ)」を原子力発電所等の安全性評価に活用するために、津波専門家との協働で整備したデータベース
データベース	みちのく震録伝		柴山明寛	2011年東日本大震災の震災直後から復旧・復興までの震災記録を収集し、蓄積している。主に写真が主であり、約12万点の記録を公開している。また、2023年度までに非公開のデータ約80万点を蓄積している
データベース	ひかり拓本データベース		蝦名裕一	風化した碑文を判読可能な画像でアーカイブしたデータベース。津波碑や疫病碑などの研究でも活用している
データベース	匿名化災害診療記録データベース		江川新一	東日本大震災後に、南三陸町等の避難所、自宅などで診療を受けた被災者の個人情報を匿名化した災害診療記録の画像と診療内容に関するデータベース
データベース	災害統計グローバルデータベース (GDB)		小野裕一 佐々木大輔	仙台防災枠組の実施支援のため、国連開発計画と共同整備開始したデータベース。これまで災害被害統計がなかった国を支援し、網羅的・体系的な災害統計を整備していくもの
データベース	3.11 からの学びデータベース		佐藤翔輔	東日本大震災の経験を踏まえて得られた「教訓」をまとめたデータベース。現在、約150件の「教訓」が掲載されており、キーワードで検索が可能
データベース	震災教訓文献データベース		佐藤翔輔	東日本大震災、阪神・淡路大震災、新潟県中越地震・中越沖地震などの震災に関する調査・研究にもとづいて得られた「教訓」を紹介している。約4,600件の「教訓」が掲載され、テーマ、フェーズ、空間、立場などのタグを付与して検索可能
データベース	動画でふりかえる3.11		佐藤翔輔	東日本大震災に関連する「動画」を地図上で検索することができるデータベース。約1,700件の東日本大震災に関する動画がリンクされており、動画をさらに地図上で探せるのが特徴

4．4．学内外連携

4．4．A．学内外連携組織（組織の概要および災害研との関係）

1	一般財団法人世界防災フォーラム

「世界防災フォーラム」は、仙台防災枠組の社会実装を目的とした市民参加型の産学官連携国際会議であり、2015 年 3 月に仙台で開催された第 3 回国連防災世界会議において、当時の里見・東北大学総長が提案した。2017 年、東北大学が中心となって第 1 回世界防災フォーラムを開催し、国内外から数千名の参加者を集め、防災の具体的なソリューションを東北から世界へ発信した。2018 年には任意団体から一般財団法人化され、一般財団法人世界防災フォーラムとして、同フォーラムを隔年開催してきた。2025 年度はフォーラムを開催しない年にあたったため、世界防災フォーラムに代わり、シンポジウム「東日本大震災から 15 年とこれからの Bosai」を上廣防災学寄附研究部門と共催した（東京都千代田区、2026 年 3 月 21 日）。2026 度の活動としては、2027 年に仙台で開催予定のアジア太平洋防災閣僚級会議を見据え、東北大学を中心とした関係機関と連携しながら、世界防災フォーラム開催に向けてさまざまな準備に取り組む予定である。（小野裕一、吉野賢）

2	NPO 法人宮城歴史資料保全ネットワーク

NPO 法人宮城歴史資料保全ネットワーク（通称「宮城資料ネット」）は、2003 年 7 月の宮城県北部連続地震を契機に、在仙の歴史研究者を中心に設立された、大規模自然災害時の歴史資料の救済・保全活動を行う団体であり、設立当初は東北大学東北アジア研究センターに事務局を設置した。2009 年に NPO 法人化、災害研設立後は歴史資料保存研究分野（現・歴史文化遺産保全学分野）に事務局を移転、2020 年 12 月には災害研との間に包括連携協定を締結し、歴史資料救済・保全に関わる災害研の研究活動と、保全を進める広範な研究者や市民の活動のハブとしての役割を果たしている。現在、東日本大震災や 2019 年台風 19 号などの被災資料の保全作業を災害研内で進めるとともに、国立文化財機構文化財防災センター「文化遺産防災ネットワーク推進会議」の構成団体として、令和 6 年能登半島地震被災文化財等救援事業に参画した。（川内淳史）

3	環太平洋大学協会 APRU

災害研は 2013 年より、APRU マルチハザードプログラムの事務局として、同プログラムの企画・運営を担っている。本プログラムは、災害科学分野における教育・研究および国際連携の強化を目的としており、毎年、東北大学においてサマースクールを開催するとともに、APRU 加盟大学が年次シンポジウムをホストしている。

また、テーマ別ワークショップや国際機関との連携による国際会議の開催など、多様な学術機関・国際機関と協力しながら、環太平洋地域における防災力の向上や政策決定過程への貢献を進めている。

2025 年度のマルチハザードサマースクールは、東アジア研究型大学協会（AEARU）とも連携して開催され、年次シンポジウムは 11 月にフィリピン大学で開催された。両イベントにおいては、防災分野における AI の活用について活発な議論が行われた。これを受け、マルチハザードプログラムでは、APRU 事務局と連携し、本テーマに関するオンラインコースを作成する予定である。（泉貴子）

4	指定国立大学 災害科学コアリサーチクラスター

4 つの学術分野（人間科学系、社会科学系、実践科学系、自然科学系）を縦軸、4 つの研究プロジェクト（ハザードリスク科学、リアルタイム災害科学、被害快復科学、コミュニティ復興科学）を横軸として紡ぐことで学際研究領域「災害科学」を世界に先駆けて開拓し、世界で唯一、大震災を経験した総合大学としての卓越した研究成果を広く世界に発信する活動を行ってきた。世界トップクラスの災害科学研究（論文）、学際性深化、環太平洋大学協会（APRU）マルチハザードプログラムの運営などの成果と合わせて、海外拠点大学、国連組織などとの連携強化による国際共同研究の推進と国際社会への実装、防災減災連携ハブなど既存の国内の災害科学研究ネットワークを拡張・発展させた。（泉貴子）

5	東北大学グリーン未来創造機構

https://www.ggi.tohoku.ac.jp

東北大学がこれまでに推進してきた東日本大震災からの復興及び日本の新生に寄与するプロジェクトや、東北大学が掲げる SDGsである「社会にインパクトある研究」の 30 プロジェクト等をさらに発展させ、新たに「Green Technology」、「Recovery & Resilience」、「Social Innovation & Inclusion」の 3 つの柱のもと大学の総合力を以て全学組織的に社会課題の解決へ挑み、グリーン未来社会の実現に貢献することを目的として、2021 年 4 月に設置されました。今年度では，BOSAI 人材育成プログラムの準備として、福島浜通りでワークショップを2回開催し、初級コースとして MOOC 講座を開講することとしました。東日本大震災 15 年として、災害科学国際研究所などと共催し、復興・創生シンポジウムを東京で開催しました。 （今村文彦）

6	東北大学減災教育「結」プロジェクト

https://www.tohoku.ac.jp/japanese/social/relation/03/relation0301/

東北大学では、東日本大震災の経験と教訓を踏まえ防災・減災についての様々な取組みを「減災教育事業」として行っており、その取組の1つとして 2014 年度より、「減災教育『結』プロジェクト」と名称を改め、2023 年度にはプロジェクト開始 11年目を迎えました。

このプロジェクトは、災害科学国際研究所を中心に、震災の経験を風化させず次世代へ語り継いでもらうことや、いざという時の対応力を高めることを目的としており、減災についての知識や理解を深める出前授業を行い、「持ち歩く減災意識」をコンセプトに開発した「減災ハンカチ」を配布しています。例えば、家庭で学習内容の復習や家族とのコミュニケーションを図る様に伝え、減災意識を育む防災教育を展開しています。

2025 年までに静岡県で計 6 回開催、参加者は計 380 名（子ども 212 名、保護者 168 名）になりました。これらの成果により、第12回ジャパン・レジリエント・アワード優秀賞を受賞しました。 （今村文彦）

7	東北大学災害科学・安全学国際共同大学院プログラム GP-RSS

災害科学・安全学国際共同大学院プログラム（GP-RSS）は、東北大学高等大学院機構の学位プログラムである、国際共同大学院プログラムのひとつで、災害・環境破壊から市場や経済危機の問題解決分野で活躍している世界トップクラスの教員を配置し、海外トップレベル研究者の招聘、海外連携教育研究機関との積極的な研究・学生交流を行うことにより、学術的分野からフィールドに至る広域的な分野において高い専門性を有し国際的に活躍できる人材の育成を目指した実践的国際教育を行っている。災害研は東北大学内参加部局のひとつに位置づけられており、2025 年度は主に「災害科学・安全学発展講義」と「災害科学・安全学基礎 II」を担当した。また、医学系研究科とも協力して「巨大災害に対する健康と社会のレジリエンス」、「巨大災害に対する健康と社会のレジリエンス特論」を担当した。

（村尾修、江川新一、泉貴子）

8	東北大学変動地球共生学卓越大学院プログラム SyDE

変動地球共生学卓越大学院プログラムは、安全・安心で持続可能な社会を構築していくために、環境要因と社会・経済的な要因が複合したリスクに対応できる人材を育成していくことを目指した、研究科横断型・産学連携型の5年一貫性の博士課程学位プログラムである。各自の研究力を実践に結びつけるため、幅広い研究科にわたる文理融合教育、民間企業・団体や研究機関との協働による問題解決型の実習、海外機関と連携した国際的に卓越した教育を通じて、俯瞰力・コミュニケーション能力・実践力・倫理観・国際性・探求力・リーダーシップなどの多角的能力を身につけた博士人材を、幅広いセクタに輩出していくことを目標としている。本研究所は、当プログラム推進中核部局の一つであり、17 名の教員（令和7年度）が運営委員等として運営に携わっている。

（福島洋）

9	福島国際研究教育機構 F-REI

https://www.f-rei.go.jp

福島国際研究教育機構（F-REI: エフレイ）は、福島をはじめ東北の復興を実現するための夢や希望となるものとするとともに、我が国の科学技術力・産業競争力の強化を牽引し、経済成長や国民生活の向上に貢献する、世界に冠たる「創造的復興の中核拠点」を目指しています。

F-REI の研究開発には，以下の 5 つの研究分野があります：1. ロボット、2. 農林水産業、3. エネルギー、4. 放射線科学・創薬医療、放射線の産業利用、5. 原子力災害に関するデータや知見の集積・発信、になります。

東北大学からはすべての分野に参画し、災害科学国際研究所からは特に第 5 分野を中心に復興まちづくりに関する委託研究を行っています。2025 年 8 月から第 5 分野長として、今村文彦副学長（社会連携・校友会・基金担当）が担当しています。（今村文彦）

10	防災減災連携研究ハブ JHoP

JHoP は防災減災連携研究ハブ（Japan Hub of Disaster Resilience Partners)の略称で、2019 年に発足した防災、減災に関わる国内の大学・研究拠点及び実務機関をメンバーとする防災科学技術に関するネットワーク型の研究推進組織です。その国際コンポーネント ICoE Coherence JAPAN は、国際学術会議(ISC)と国連防災機関（UNDRR)が推進する Integrated Research on Disaster Risk（IRDR)のもと国際的研究を機動的に推進する日本の研究拠点です。Coherence は仙台防災枠組、SDGs、気候変動適応を一体的に推進することを意味しています。JHoP、ICoE は毎月タスクミーティングを行い、国際アドバイザリーボードによる第三者評価を受けながら、ぼうさいこくたい、世界防災フォーラム、日本学術会議における持続会議および提言などによる情報発信のハブとなっています。防災科学技術研究所（防災科研）が事務局機能を担っています。（江川新一）

11	歴史文化資料保全の大学・共同利用機関ネットワーク事業

古文書だけでも推計 20 億点にのぼる各地の歴史文化遺産は、日本社会の近代化・国際化にともなう変化を背景に消滅の危機にある。加えて、この 30 年間に頻発する広域自然災害は大量消滅を一挙に進行させつつある。これに対して、広域災害への対応経験を持つ東北大学（主管部局：災害科学国際研究所）および神戸大学、国立歴史民俗博物館が共同して、各地の大学を拠点とする歴史資料保全のための社会的ネットワーク構築、人材養成などを図ることを目的としている。

2025 年度の活動としては、愛知県や岩手県での広域災害にそなえた文化財 Web マップの導入に関するワークショップ、基礎自治体の博物館での防災対策に関するアンケート形式での現状調査を実施した。また宮城県石巻市や松島町でデジタル記録を軸とする地域資料保全を支援した。（佐藤大介）

4．4．B．関係・協力団体

本研究所全体として連携・協力していただいている団体は以下のとおりである（締結年月日順）。
教員各自の活動のなかでの連携組織・団体については 5 章を参照のこと。

地方公共団体

締結年月日	団体名
平成25年　2月　8日	宮城県多賀城市
平成25年　6月25日	宮城県亘理町
平成25年　7月12日	宮城県岩沼市
平成25年　7月13日	宮城県気仙沼市
平成25年　8月21日	宮城県東松島市
平成25年12月24日	宮城県山元町
平成26年　1月　9日	宮城県仙台市
平成26年　2月　7日	岩手県陸前高田市
平成27年　8月　5日	宮城県名取市
平成29年　5月29日	宮城県石巻市
平成31年　1月21日	宮城県丸森町
令和　2年　4月　9日	岩手県大槌町
令和　4年10月　3日	福島県いわき市
令和　5年　3月29日	宮城県塩竈市
令和　5年　4月28日	岩手県宮古市

学校

締結年月日	団体名
平成26年　9月　8日	独立行政法人国立高等専門学校機構福島工業高等専門学校
平成28年　6月　1日	宮城県多賀城高校
平成30年　3月11日	国立大学法人宮城教育大学附属防災教育未来づくり総合研究センター
平成30年　7月31日	八戸工業大学
令和　2年　3月26日	国立大学法人新潟大学災害・復興科学研究所
令和　6年　3月12日	国立大学法人東京大学地震研究所

その他（国立機関）

締結年月日	団体名
平成24年 4月 1日	独立行政法人科学技術振興機構（JST）
平成25年 4月24日	国立国会図書館
平成26年 9月10日	独立行政法人港湾空港技術研究所
平成27年 4月 1日	国立保健医療科学院
平成29年 2月 1日	国立研究開発法人防災科学技術研究所
平成29年 6月 7日	国立大学法人神戸大学大学院人文学研究科及び 大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立歴史民俗博物館
令和 5年 1月10日	独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所及び独立行政法人国立文化財機構文化財防災センター
令和 6年 9月 5日	気象庁仙台管区気象台

大学間学術交流協定（提案部局・賛同部局）

締結年月日	国／地域	協定機関
平成 8年 7月 3日	アメリカ	ワシントン大学
平成10年11月 9日	タイ	アジア工科大学
平成14年 8月13日	中国	同済大学
平成22年 2月17日	アメリカ	カリフォルニア大学デイヴィス校
平成24年 3月11日	アメリカ	ハワイ大学マノア校
平成25年 3月 1日	ドイツ	ドイツ航空宇宙センター
平成25年11月21日	イギリス	ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン
平成27年 9月16日	スリランカ	モラトゥワ大学
平成30年12月21日	インドネシア	セプル・ノーペンバー工科大学
令和元年 8月28日	アメリカ	カリフォルニア大学ロサンゼルス校
令和元年 9月25日	ニュージーランド	ヴィクトリア大学ウェリントン
令和5年 5月 8日	マレーシア	マレーシア工科大学
令和7年 8月 4日	フィリピン	フィリピン大学

部局間学術交流協定

締結年月日	国／地域	協定機関
平成24年 5月23日	ドイツ	ドイツ航空宇宙センター・リモートセンシングデータセンター
平成25年11月22日	台湾	台湾工業技術研究院情報通信研究所
平成26年 6月 1日	インドネシア	シャクアラ大学数理学部
平成26年 6月13日	アメリカ	ハーバード大学ライシャワー日本研究所
平成26年 7月 8日	ニュージーランド	ニュージーランド地質・核科学研究所
平成27年 3月17日	台湾	国立台湾大学・気象災害研究センター
平成27年 8月 4日	国際機関	国連開発計画（UNDP）
平成28年11月22日	インドネシア	シャアクラ大学・津波災害軽減研究センター
平成28年11月22日	インドネシア	アチェ津波博物館
平成30年 3月 5日	ペルー	国立工科大学日本・ペルー地震防災センター
令和 2年 6月 1日	ドイツ	ダルムシュタット工科大学エマージェンシティレーベセンター
令和 2年 8月 5日	エジプト	アイン・シャムス大学医学部
令和 2年 9月14日	フランス	クレルモン・オーベルニュ大学
令和 4年 4月12日	アメリカ	ハワイ津波博物館
令和 5年 9月15日	アメリカ	ミシガン州立大学工学部土木環境工学科
令和 6年 4月15日	タイ	タイ地震研究センター
令和 6年 8月 5日	スウェーデン	ウプサラ大学自然災害科学センター

その他の国際協定

締結年月日	国／地域	協定機関
平成27年10月 4日	国際機関	グローバル・リスク・フォーラム（GRF）ダボス

5. 研究・実践活動

5．1．教員および所内組織の研究・実践活動

5．1．A．専任教員等の活動概要

災害評価・低減研究部門

海域地震学研究分野

木戸 元之　KIDO Motoyuki　　教授　　https://researchmap.jp/read0134550

海底地殻変動観測の効率化のための自律観測プラットフォームの完成度を高めるためのソフト・ハード両面での改良を加え、今後さらなるデータ取得による長期地震予測へ貢献した。また、観測時の海中音速場の把握について、海洋物理学者との連携を深めモデル化を行い、観測精度向上に寄与した。指導学生とともに、海溝軸近傍での海底地殻変動観測データの解析を進め、これまでにない精度で固着状態を把握し、将来発生する地震による津波規模予測に寄与した。トルコの研究者と連携し、マルマラ海の海底断層の挙動を推定し、発生が危惧されているイスタンブール近郊の地震との関連について言及した。台湾の研究者らと連携し、台湾での海底地殻変動観測の高度化について、観測手法・解析手法の両面で情報を共有した。

富田 史章　TOMITA Fumiaki　　助教　　https://researchmap.jp/ftomita2018/

千島・日本海溝沿いの海底地殻変動を実施（主席研究者として，観測航海に乗船）した．千島海溝沿い根室沖での観測成果は，北海道沖にて超巨大地震が今後発生する可能性を示すものであり（論文受理済み），その事前準備の必要性をプレスリリースや取材対応によって社会に促した．日本海溝沿いでの観測成果からは，国外の研究グループとも連携しながら2011年東北地震以降の静的な歪みの解放状態についての知見を得ており，その成果について論文を投稿中である．2025年青森県東方沖地震に際して，地震発生域周辺での今後の巨大地震発生リスクを検討し，災害研速報会などを通して社会に警戒を呼びかけた．また，科研費課題として地殻変動データから適切にプレート境界でのすべり状態を推定する手法を開発しており，現在その成果についての論文を準備中である．

唐 啓賢　TANG Chi-Hsien　　助教　　https://researchmap.jp/Chi-Hsien_Tang

This year, I was invloved in a study of the kinematic rupture of the 2024 Noto earthquake in collaboration with researchers from Kyoto University. The results reveal multiple slip episodes across multifault segments during the manishock, shedding light on the complexity of its rupture process (Enomoto et al., 2025). I also participated in the IRIDeS research team investigating earthquake disaster resillence in Taiwan during the 2024 Hualien earthquake, where we report the potential factors that may mitigate the scale of the disaster from scientific, engineering and societal perspectives, providing important insights into hazard prevention and mitigation (Enokida et al., 2025). In addition, I analyzed a 25-year GNSS time series data along the southern Ryukyu Islands to study shallow slow-slip phenomena there. The results reveal complex interactions between regular earthquakes and slow slip events beneath a fluid-rich forearc, highlighting a need for further investigation using seafloor instruments (Tang et al., 2025).

陸域地震学・火山学研究分野

遠田 晋次　TODA Shinji　　教授　　https://researchmap.jp/7000004459

熊本地震を引き起こした布田川断層の活動履歴に関する調査，能登半島地震の地震地殻変動に関する研究，トルコカフラマンマラシュ地震・ミャンマー地震などの余震活動に関する研究を行い，活断層系から発生する大地震の発生プロセスや長期評価に資する確率算定への断層活動パラメータの抽出を行うとともに，その後の余震パターンを明らかにした．また，複数の活断層による連動予測に関する研究を実施し，活断層群の分布や活動パラメータから発生する地震のマグニチュードおよび頻度を予測するシステムを開発した．それらの成果を国内外の学術誌や学会発表等で公表した．これらの研究成果をもとに，国の委員会・地震予知連絡会等の委員として地震活動予測や内陸地震の長期評価のありかたについて提言やコメントを発し，メディア等を通じてアウトリーチ活動を実施した．

福島　洋　FUKUSHIMA Yo　　准教授　　https://researchmap.jp/7000022458/

2025年カムチャツカ地震に関して、巨大地震の再来間隔に着目した解析を行い、発生時期が平均的な周期から予想されるものと比べ大きく逸脱し得る可能性を示した。これは、確率論的地震予測の前提に再検討を迫る知見であり、巨大地震リスク評価の高度化に資するものである。また、AI技術を用いた微小地殻変動の検出・異常判別手法の開発を進め、その実装を前提とした早期警報システムの構築に向けた国際共同研究提案の採択につなげ、観測データに基づく実運用型防災の実現に道筋をつけた。さらに、防災行動変容の観点からは、屋内の地震安全対策を促進する介入パッケージを開発し自治体での活用を実現するとともに、津波避難リーフレットの開発とそれを用いた行動変容介入の設計を行い、住民の具体的な防災行動の促進に寄与するための準備を整えた。

石澤 尭史　ISHIZAWA Takashi　　助教　　https://researchmap.jp/t_ishizawa

三陸北部地域における津波堆積物の調査を行い、これまで研究例が少なかった礫質津波堆積物に関する研究を進めた。また日本海溝沿いで実施された国際深海科学掘削計画第503次研究航海に参加し、海溝底に残る古地震痕跡に関する研究を進めた。それにより過去数万年艦という長期的な地震履歴の解明につながる見込みである。さらに2025年2月に大船渡で発生した林野火災とその後の地形変化について1年間継続して調査を進めるなど、東北日本で発生した自然災害痕跡についての研究を進めた。その成果の一部については専門委員会への情報提供や、三陸ジオパーク研修会での報告、研究地域の行政の担当者への説明などを行い、研究成果の社会実装についても進めた。

高橋　尚志　TAKAHASHI Takayuki　　助教　　https://researchmap.jp/T_Takahashi

更新世から完新世にかけての河川地形の発達史の復元や，近年の河川災害の地形学的研究やモニタリングなどを中心に実施した．能登半島では，複数の河川の河口付近の侵食（洗堀）過程を観察し，将来10年以上にわたって下刻されることを前提とした河川管理が必要であることが明らかになった．また，侵食で露出した海進期堆積物の記載を行ない，完新世以降の能登半島の隆起速度の推定を試みた．さらに，地考古学的な観点から完新世の河川災害リスクの変化を明らかにするために，横浜市柏尾川流域において沖積低地の堆積物の掘削調査を実施した．また，イタリア・パドヴァ大学に訪問研究者（Visiting researcher）として滞在して，イタリアにおける最先端の地考古学研究に関する情報収集をおこない，今後，わが国における地考古学的と災害科学の発展に必要な知見とコネクションを得ることができた．

地震工学研究分野

五十子 幸樹　IKAGO Kohju　　教授　　https://researchmap.jp/read0140804

我が国において免震構造建物が初めて建設されたのは40年前の1983年のことである．免震構造とは，建物の基礎下などに特別な，水平方向に柔らかい層を設けて，地震時において，免震層の大きな水平変形を許容する代わりに，上部建物への地震力の伝達を大きく低減する．しかしながら，当初より，想定以上の地震動によって免震層変形が許容値を超えて擁壁や隣接構造物に衝突することも懸念されてきた．東日本大震災では，大きな被害には至らなかったものの設計許容変形を超える免震層変形も観測されている．

このような課題に対応するため，通常の地震に対する制御性能はそのままに，過大変形が生じるとそれを検知して性能が変化し，免震層変形を抑制する装置の機構とその設計法を開発して来た．数々の特許も取得している．今年度は，特許技術の一つである変位検知型性能可変オイルダンパーが株式会社奥村組の名古屋支店ビルの免震ダンパー改修に採用され，取替工事が完了した．この技術が巨大地震時の免震層過大変形の課題解決に貢献できることを願っている．

大野 晋　OHNO Susumu　　准教授　　https://researchmap.jp/read0213370

仙台市および東北地方の地盤・建物強震観測を継続し，これらの観測網で得られた記録を用いた地盤応答の研究や建物のシステム同定，構造ヘルスモニタリングに関する研究を進め，建物の振動特性について固有振動数や減衰定数の期間変化および振幅依存性の検討を行った。また，機械学習の地震工学への適用に関する研究を進めており，東北地方で即時主要動スペクトル予測に関する研究を実施した。

榎田 竜太　ENOKIDA Ryuta　　准教授　　https://researchmap.jp/enokidaryuta

科研費基盤Aに関わる黒鉛潤滑すべり面を用いた直置き型構造物の開発において、多層直置き構造物の地震応答を推定する手法を開発し、各種の地震動を用いた数値解析的検討から、その有効性を検証した。また、奥村組と共同で多層直置き型構造物のすべり挙動や浮き上がり挙動に関する振動台実験を実施した。この実験では、1年程度雨ざらしにした黒鉛潤滑すべり面に対しても同様の実験をすることで、その耐久性を検証した。
　直置き型構造物のすべり面を数値解析モデル、上部構造物を実験対象部分として扱う動的サブストラクチャ振動台実験手法について数値解析的に検討した。この数値解析では、Dynamically Substructuring System (DSS)に基づくことでNonlinear Substructuring Control (NLSC) によって、高精度な動的サブストラクチャ実験を実現できることを明らかにした。また、NLSCを有限要素解析に組み合わせた動的サブストラクチャ振動台実験法についても検討を重ね、無駄時間が制御精度に与える影響を検証した。

謝 瑞洪　XIE Ruihong　　助教　　https://researchmap.jp/xieruihong

本年度は、近年構造制御分野において注目されつつあるメタマテリアルの、免震建物用緩衝材としての適用可能性を主軸として研究を行った。
　これまで構造制御分野で見過ごされてきたメタマテリアルの「ダイナミック・マス効果」を明確にすることで、新たな緩衝メカニズムを創出した。材料科学と構造制御工学の学際的融合を促進し、メタマテリアルを建築材料として再設計・応用するための新たなパラダイムを提示した点で、高い学術的意義を有する。本成果は、巨大地震時における免震建物の擁壁衝突リスクの低減に資する技術へと展開可能である。さらに、その応用は建築分野にとどまらず、精密機器における反復衝突による損傷の低減にも寄与する。次世代の安全・安心を支える革新的基盤技術として、実社会における防災力向上および幅広い産業応用に向けた重要な社会的価値を創出するものである。

計算安全工学研究分野

森口　周二　MORIGUCHI Shuji　　准教授　　https://researchmap.jp/shuji_moriguchi

災害シミュレーションとそれを用いた災害リスク評価手法の高度化に従事した．豪雨や地震に伴う土砂災害を対象として研究では，広域を対象としながら単一斜面を解像する高解像度なリスク評価の枠組みを構築し，令和元年東日本台風，2023年台風13号，2024年能登半島地震による土砂災害の再現解析などを通じて，枠組みの有用性を検証した．シミュレーションにおいて，広域性と空間解像度は常にトレードオフの関係にあるが，今までの限界を突破する広域性と空間解像度のバランスを実現しており，防災・減災事業におけるシミュレーションの価値を著しく高めている．また，地震動観測結果に基づいて即時的に広域の斜面災害リスク分布を出力可能とする研究にも取り組んだ．本研究は，観測に基づくリアルタイム土砂災害予測に向けた技術開発である．さらに，土砂災害シミュレーションのためのベンチマーク問題の創出にも取り組んだ．各研究の中では，防災科研，米国ワシントン大学，名城大学の研究者らと連携しており，国内外の研究ネットワークが強化された．

野村 怜佳　NOMURA Reika　　助教　　https://researchmap.jp/reikanomura

今年度は，近年新しく着手したテーマである土砂災害シミュレーションに関する研究テーマの進捗・進化により重点的に取り組んだ．年度前半には，前年度までの取り組みをまとめ，国際誌に投稿する等，着実にアウトプットを積み上げている．また，下半期は東北大学若手リーダー海外派遣プログラム制度を活用し，伊・パドヴァ大学に3か月滞在して国際共同研究を開始している．受入研究者であるAntonia Larese准教授とは帰国後も密に連携を取っており，パドヴァ大学ー東北大学の学術交流協定締結に向けた事前協議なども行うことができた．また，土砂災害に関連するテーマと並行して，積年に渡って取り組んでいる海岸防災林の津波減災効果評価のための新しい技術開発にも一定の進展がみられ，これまで単に障害物として存在していた樹木群が波の作用によって動く挙動を捉えることが可能なシミュレータの開発を完了させた．計算工学会多元災害シミュレーション研究会委員会としての講演活動や，工学研究科土木工学専攻（兼務先）所属の大学院学生への指導など，教育活動や学会活動についても取り組んでいる．

ドロハン ニロ レムエル フニオ
DOLOJAN Nilo Lemuel Junio　助教　https://researchmap.jp/nilodolojan

Research outputs comprise over four peer-reviewed papers in high-impact journals and eight oral presentations at international and domestic conferences. This work advanced the application of numerical simulations to slope disasters, debris flows, and multihazard frameworks, quantifying disaster risk relative to meteorological factors and historical land-use changes. These findings provide evidence-based strategies for regional policy, establishing strategic land-use planning fundamental to disaster risk reduction. Mentorship of undergraduate research regarding debris flow impact forces resulted in a Best Presentation Award, demonstrating academic excellence and effective knowledge transfer. Furthermore, committee service for the Japan Landslide Society (Tohoku Branch) directly supported regional disaster mitigation and the organizational advancement of the geotechnical field.

津波工学研究分野

今村 文彦　IMAMURA Fumihiko　教授　https://researchmap.jp/read0168525

2025年7月カムチャツカ半島巨大地震そして遠地津波に対して、当時の警報システムの課題や避難行動についての提言を行った。さらに12月青森県東方沖の地震発生時にはメディアを通じて迅速に警戒を呼びかけや後発地震注意報の意義やその効果などをオンラインなどで体系的に調査を行い結果をリリースしている。また、8月には福島国際研究教育機構（F-REI）の第5分野長に就任し、福島の復興と新たな災害科学の推進をリード。また、「3.11伝承ロード推進機構」の代表理事として、東日本大震災の教訓を後世に伝える活動も継続している。

菅原 大助　SUGAWARA Daisuke　准教授　https://researchmap.jp/sugawara_daisuke

仙台湾地域における歴史・先史津波の履歴解明・規模評価を目的として，宮城県の仙台市荒浜，塩竈市浦戸諸島寒風沢島において地層掘削調査を実施し，採取試料の分析を行った．荒浜では，9世紀の貞観津波について，過去30年余りの先行研究では知られていなかった水理学的特徴を解明できた．また、寒風沢島の調査では，歴史記録に無く先行研究でもほとんど知られていない13世紀頃の津波堆積物の分布に関する詳細なデータが得られた．また、アーヘン工科大学との共同研究として，岩手県大船渡市および仙台市で津波堆積物調査を実施し，有機地球化学分析に用いる地層試料を採取した．今後分析を進め，地層中に保存されている可能性のある不可視の津波痕跡識別手法を検討する．国外の機関・研究者との連携を継続・強化する取り組みとして重要と考えている．

サッパシー アナワット　准教授
SUPPASRI Anawat　https://researchmap.jp/read0155069

約20本の論文の中で学術的な意義や多数の引用数だけではなく、緊急対応や復興といった社会的に貢献した。例として、巨大災害について、2024年能登半島地震の新たな波源インバージョン方法の提案（Masudaら2025）、新たな方法を用いた海底地すべり津波(Al Farizi ら2025)、津波避難行動（Numazawaら2025）、緊急対応と復興（Laosuntharaら2025a）及び日本海での将来の海底地すべり津波ハザード評価（Shigiharaら2025a）があり、更に2022年トンガ津波による養殖施設の被害において新たな定量的な評価方法の提案（Shigiharaら2025b）とミャンマー地震によるバンコクでの被害・緊急対応の教訓（Laosuntharaら2025b）が挙がられる。Mikiら2025は大手外資系企業との共同研究により新たに津波保険商品を開発し、保険協会で大きな影響を与えた。Miuraら2025、Ioannouら2025、Leggettら2025はUCLとの共同研究による共著論文で今後のDouble Degreeに向けて大きな成果である。Saengtabtimら2025、Purnamaら、Syamsidikら2025は我が国の研究技術が途上国へ貢献する大きな成果である。

災害ジオインフォマティクス研究分野

越村 俊一　KOSHIMURA Shunichi　教授　https://researchmap.jp/koshimura

環境・社会動態のセンシング手法の高度化，モニタリングデータの大規模化とリアルタイム流通，計算機性能・シミュレーション手法の高度化，機械学習を核とするデータ駆動科学の進展を背景に，災害科学にデジタルツインの方法論を先駆的に導入し，「災害デジタルツイン」として提唱し，その学理の確立と深化に取り組んでいる．土木学会における研究小委員会（委員長越村）の活動を通じた学術の先導，大型研究プロジェクトの推進，大学発スタートアップによる社会実装など，多様な活動を通じて，社会にインパクトのある成果を創出し続けている．

マス サマネス エリック アルトゥロ

MAS SAMANEZ Erick Arturo　　准教授　　https://researchmap.jp/mas.erick

2025年度は、リアルタイム避難誘導（AIによる経路最適化）とデータ駆動型の避難・曝露評価を中核に、災害対応の高度化に向けた研究を幅広く推進しました。特にモバイル空間統計（MSS）を活用し、人口動態の異常検知（Matrix Profile等）や、災害時の人口曝露・行動変化の定量化、将来予測に向けた基盤整備を進めました。また、日本工営との共同研究では、MSSやGPS等を用いた避難行動分析とキャリブレーション、避難シミュレーションのデータ同化、さらに人口変化を手がかりとした経済的影響推定に関する検討を深めました。

加えて、Disaster Digital Twinの枠組みでは、津波・地震災害を対象に、危険度推定・被害推定・社会影響（人口や行動）推定を統合する「津波災害デジタルツイン」の概念整理と実装設計を進め、医療・介護施設を含む都市機能を意識した応用検討も前進しました。国際連携では、ペルー関連の取り組みとして津波避難・被害評価研究を継続し、現地適用を見据えた方法論の整備・発信を進めています。さらに、IOC-UNESCOのTsunamiReadyに関連する知見共有や、避難モデルを実務（避難マップ等）へ接続する枠組みの検討を進め、国際会議・研究ネットワークの運営にも貢献しました。

アドリアノ ブルーノ　ADRIANO Bruno　准教授　　https://researchmap.jp/bruno.adriano

2025年度は、発災後の迅速な被害把握を可能にする高度な災害対応支援技術を開発した。2026年初頭のアジア水害（2026 Asian Flood）の事後対応に本技術を適用し、その精度を実証した。また、学部生や博士課程学生との共同研究として発表した複数の論文では、地球観測技術と水害の関係性に関する新たな知見を提示し、新たな建築基準や規制の策定に資する有益な情報を提供した。

さらに、国際連携の取り組みを通じて、災害科学国際研究所（IRIDeS）で開発した技術を複数の海外機関と共有した。一例として、インドネシア気象気候地球物理庁（BMKG）やフィリピン火山地震研究所（PHIVOLCS）に対し、リモートセンシングデータを用いた建物被害マッピング技術を提供した。

水谷 歩　MIZUTANI Ayumu　　助教　　https://researchmap.jp/mizutaniayumu

2024年能登半島地震を対象として、津波・測地記録を用いた断層すべり量の推定を行った。その際、データの種類が増加しても安定して推定を行うことが可能な手法を新たに開発・適用した。この手法により、将来ますます増加することが予想される多様な観測記録を統一的・即時的に解析することが可能となる。開発手法は、地震メカニズムの解明のみならず地震・津波の即時予測の高精度化につながることが期待されるため、今後は手法の高度化に努めていく。

ベスコボ　ルベン　VESCOVO Ruben　助教　　https://researchmap.jp/ruben2707

This year was my first year at IRIDeS in the role of Assistant Professor.

Much of my focus this year has been given to producing a High Performance Agent Based Model of the Japanese Disaster Medical Assistance Team (DMAT). This project aims at supporting Miyagi Prefecture's infrastructure plans with regard to DMAT optimization. This year we delivered a hyper-scalable prototype that operates faster than real time over hundreds of thousands of agents.

In addition to this project I have been working with our Partners at the University of California, Irvine on a JST-NSF join project. Currently, I and my American colleagues are working on a joint paper that will be presented at ACM-SIGSPATIAL in October - The paper focuses on trajectory generation for people with disabilities during disasters.

Finally, I have been leading my own research on group decision making in disaster conditions. This research focuses on clarifying what socialogical characteristics emerge to catastrophic failure as groups generate consensus on actions under the duress of disaster conditions.

災害人文社会研究部門

災害文化アーカイブ研究分野

蝦名 裕一　EBINA Yuichi　　准教授　　https://researchmap.jp/read0155054

2025年度は、翌2026年が1896年明治三陸地震津波から130周年にあたることから、同災害の際に被災地調査をおこなった山奈宗真について史料調査や学会報告、メディアでの発信をおこない、歴史災害に学ぶことの重要性について周知した。また、文化遺産防災マップを活用した新たな文化財防災訓練の手法について、岩手県立博物館や愛知県において文化財関係の自治体職員らと共に文化遺産防災訓練を実施することで、文化遺産防災の広域間連携体制の構築に寄与することができた。

柴山 明寛　SHIBAYAMA Akihiro　　准教授　　https://researchmap.jp/read0143918

2025年2月から3月にかけて発生した大船渡市林野火災に対して，市役所の災害対応支援を実施し，復旧の迅速化に寄与した．また，「2025年大船渡市山林火災の総合調査研究（科学研究費助成事業（特別研究促進費））」に参画し，火災発生から復旧・復興までの課題を明らかにした．2024年度から実施していた宮古市災害資料伝承館の展示の監修を継続し，2025年6月に開館した．本伝承館で東日本大震災やその他の自然災害の事実をまとめ，多くの住民等の意識啓発に寄与することができた．

学術研究として，東日本大震災デジタルアーカイブの継続と消滅について分析を行い，学術誌や書籍，シンポジウム等での発表した．本分析は，多くのメディアにも取り上げられ，災害関連のデジタルアーカイブだけでなく，その他のデジタルアーカイブの継続の方法論としても寄与したと考える．

歴史文化遺産保全学分野

佐藤 大介　SATO Daisuke　　准教授　　https://researchmap.jp/dsato_prospector50/

宮城県・岩手県の地域に残された古文書史料の保全について、デジタル記録を中心に続けた。合わせて高齢者によるボランティア活動の運営を継続して行い、保全の実践と地域活動領域を提供した。東日本大震災15年における古文書レスキューと被災者支援としての意義について文系の災害研究者と共有した。地域資料の活用として、仙台市内の個人宅から発見された戦国時代末期～江戸時代初期の記録を、「日本遺産」関連のシンポジウムで共有出来た。

認知科学研究分野

邑本 俊亮　MURAMOTO Toshiaki　　教授　　https://researchmap.jp/read0186692

小中学校への防災教育の出前授業に関する研究成果を著した。防災士を対象とした原子力防災/放射線防災研修の取り組みに参加し、成果を論文として著した。一般市民向けおよび看護師向けに、コミュニケーションに関する講演会・研修会の講師を務め（合計4件）、参加者のコミュニケーション力の向上のための手がかりを与えた。意思疎通支援者（要約筆記者）向けに、コミュニケーションや良い文章作成に関する講演会・研修会の講師を務め（合計5件）、参加者の業務支援に寄与した。防災士向けに、リスクコミュニケーションに関する研修会／ワークショップの講師を務め（1件）、参加者の知識獲得を支援した。大学教員向けに、FD研修会の講師を務め（1件）、参加者の教育力向上に貢献した。

国際防災戦略研究分野

村尾 修　MURAO Osamu　　教授　　https://researchmap.jp/muraoosamu

【研究活動】(1)2008年のサイクロン・ナルギスによる避難民の流入後にミャンマーのヤンゴン西郊に形成された非正規居住区「スラム555」に焦点を当て、2018年から2020年にかけての現地調査に基づき、空間的発展、住宅形態、歩行者通路、ライフラインシステム、コミュニティ主導のガバナンスを分析した。これにより、包摂的都市形成研究への新たな実証的貢献を果たす。(2)2004年インド洋津で甚大な被害を受けたインドネシアのバンダ・アチェを対象として、高分解能衛星画像の目視判読結果に基づき、機械学習技術により中分解能衛星画像から建物数とその分布を推定する手法を検討した。建物数とその分布を自然災害による復旧指標として利用することを目指す。(3)災害対応の循環体系に基づく1923年以降の日本国内における災害研究の変遷に関する論文発表を行い、復興政策や地域レジリエンス強化への実践的知見を提供した。【社会活動】社会における防災意識向上のため、(1)川崎市防災対策検討委員会委員として、防災に関する助言を行った。(2)特定非営利活動法人地域防災推進機構理事長として、防災活動支援や園児を対象とした防災教育を行った。これにより、地域防災ネットワークの構築と地域の防災体制の強化に資することが出来た。【国際交流】(1)中国、インドネシア、インドの大学や研究所において、防災に関する講演を行った。(2)韓国、台湾、アメリカの関係者等と国際社会全体の災害対応能力を高めることを目的に意見交換を行った。これらの交流により、文化的相互理解が深まり、危機管理の強化に繋がった。

ユ ユンチ　YU Yun-Chi　　助教　　https://researchmap.jp/YUN-CHI_YU

I joined my current position in July 2025. My research this year focuses on optimizing land use and road infrastructure resilience. It aims to identify decision-making strategies that balance urban development with the accessibility and resilience of emergency facilities. This methodology of this research supports evidence-based urban planning and disaster preparedness.

レジリエンス計画研究分野

奥村 誠　OKUMURA Makoto　　教授　　https://researchmap.jp/read0210548

防災・減災政策を科学的な根拠を持って立案，実行していくための基礎学問として，災害時及びその後の社会・経済状況の変化を計量的に把握し，分析する「計量災害学」の構築を目的に掲げて研究活動を進めており，2025年度は空間的・時間的な解像度が高いモバイル空間統計の人口分布データを活用して，異常気象時の交通行動量の変化の分析，滞在人口分布データに基づく外部支援者の交通量，所要時間と活動時間の計算方法の開発，外部支援者の活動量が被災地の機能回復に及ぼす影響の統計分析，メッシュ型最適津波避難モデルによる人口分布の安全性評価手法について，国内外の学会での発表と論文の公開を行なった．

井内 加奈子　IUCHI Kanako　　准教授　　https://researchmap.jp/7000009960

本年度の研究での貢献は、長年継続してきた被災地の追跡調査に基づき、実践研究から導き出された、レジリエンスの再定義を国際社会に提示できたことである。まず、フィリピンの台風ハイアン後の低所得者層の移転に関する長期研究が、米国計画学会(APA)の論文誌において最優秀論文賞(JAPA Best Article 2024 Award)を受賞した。これは、時間の経過と共に変化する居住者の適応力を捉えた理論構築が、学術的に高い価値があると認められた成果である。また、NYや中部スラウェシ(インドネシア)等を対象とした研究を通じ、復興過程で脆弱性が再生産されるメカニズムを理論化し、国内外の学会での発表を通じて計画学における「変容的レジリエンス」の議論を牽引した。実践面では、研究を通じて得た知識・理論を世界の復興ガバナンスへ反映させる活動を展開した。世界銀行と欧州連合委員会(UC)が主催するワークショップでの講演や、米国での国際シンポジウムへの登壇を通じ、日本の長期的復興の知見を世界の災害科学の文脈で再解釈し共有した。これらは、学術発表の枠を超え、国際機関の技術支援や政策フレームワークにおける意思決定プロセスに直接的な影響を与えるものである。

堀合 紳弥　HORIAI Shinya　　助教　　https://researchmap.jp/shinya_horiai

歩車混在下での津波避難時において，歩車相互が及ぼす影響をミクロレベルで分析するための，マルチエージェントベース津波避難交通シミュレーションモデルを構築した．また，昨年度開発されたメッシュベース避難最適化モデルを用いて，避難時の方向誘導効果を分析し，学会発表および論文投稿を行った．さらに，岩手県宮古市において市民向け防災講座の講師を担当した．近年，岩手県でも頻発する台風や線状降水帯による豪雨・土砂災害について触れ，ハザードのメカニズムや河川・砂防施設，避難行動の重要性について紹介した．これらの活動から，災害発生が想定される地域において，行政計画の策定や，地域防災力向上への人材育成の一助となると考える．

空間デザイン戦略研究分野

姥浦 道生　UBAURA Michio　教授　https://researchmap.jp/ubaura-michio

研究面に関しては、東日本大震災の発生から15年が経過し、またハード面の復興事業の終了から5～10年程度が経過した現在、その整備された地域の現状を評価する研究活動を行ってきた。具体的には、石巻市の半島部の公営住宅等の空室状況がまだ必ずしも高くはないこと、双葉町・大熊町等の被災前土地利用の差異が現在の空間計画に影響を与えていること等を明らかにした。これらの成果は、復興事業のあるべき姿を示すことに寄与している。
実践面に関しては、特に能登半島地震からの復興空間計画の実施に、市レベル、地区レベルで関わってきている。上記の知見等も踏まえたよりよい復興につながるよう、アドバイスを行っている。

御手洗 潤　MITARAI Jun　特任教授　https://researchmap.jp/7000008071

実践活動においては、F-REI受託福島復興まちづくり研究において昨年2月に福島県双葉町に開設した現地研究スペースの本格運用を開始した。具体的には、3名の研究者等を常駐させ、住民等の参画を得たWS、学生による合宿型の政策立案WS、学生インターンの受入れ等を行った。また、富岡町及び南相馬市小高区における住民主体のまちづくり計画の策定を支援し、富岡町では民間主導のまちづくりネットワーク組織の設立準備に貢献した。また、BOSAI人材育成事業の立上げや復興庁リビングラボ事業、JICAスマートシティ研修等に貢献した。顧問をしている学生サークル（DIBO）では浜通りでのボッチャ体験会等、福島の復興と共生社会の実現に向けた活動を行った。研究においては、復興まちづくり事業における官民連携に関する研究、福島浜通り地域における地域資源の活用による交流人口の獲得方策に関する研究、官民連携のまちづくりの組織の特徴と傾向に関する調査等を行っている。

平野 勝也　HIRANO Katsuya　准教授　https://researchmap.jp/HK003349

実践的活動においては、双葉町、丸森町において、復興の礎となるよう、施設デザインのみならず「昭和ではなく令和」を合言葉に助言を続け、現代的まちづくりとしての意識醸成が深まってきている。また、女川町、平泉町の景観計画策定および改定んも深く関わっている。学術面において、引き続き、都市の空間構造及び空間の評価に関する研究を進めるとともに、治水安全性に基づく近世集落の立地原理についての研究に着手している。

苅谷 智大　KARIYA Tomohiro　クロスアポイントメント特任准教授　https://researchmap.jp/kariya_tomohiro

研究活動においては、福島県浜通り地域（浪江町・双葉町・大熊町）の空間構造の変遷を原発立地前から被災前に至るまでについて調査・分析を行った。実践活動においては、双葉町の地域活動拠点FUTAHOME内に設置した現地研究スペースを拠点に、月1回「HOMEあう会」を開催し、自治体・住民・関係機関等とのネットワークを構築し、立場や所属を越えた対話と交流の場を創出することで、広域的な連携の実施と住民主導の活発なコミュニティに向けた取り組みの基盤を構築することができた。また、双葉町及び富岡町の復興計画策定委員会等への参画を通して、研究成果について計画策定や実務への還元を図った。

国際環境防災マネジメント研究分野

泉 貴子　IZUMI Takako　教授　https://researchmap.jp/irides.tohoku.ac.jp

「オールハザードアプローチ」を活用したインドネシアにおける災害リスク評価に関する研究を数年かけて行ってきた。本年度は、インドネシア・ガルートにおいて、住民および災害関連の自治体職員とともにリスクアセスメントを実施し、その結果をGISを用いて分析し、社会的要素や土地利用を取り込んだハザードマップの作成に取り組んだ。これにより、ガルート地区における将来の複合災害を念頭に置いたハザードマップを作成することができた。本成果はガルートの自治体と共有され、今後の防災計画において活用される予定である。また、スウェーデンのCNDSとIRIDeSは昨年MOUを締結し、学生および研究者の交流を進めてきたが、本年度は、スウェーデンと日本における気候変動に関するリスク認知の変化について共同研究を実施することで合意した。さらに、APRUマルチハザードプログラムにおいては、防災分野におけるAIの活用に関するオンラインコースの開発を進めており、2026年夏頃の完成を予定している。

災害医学研究部門

災害医療国際協力学分野

江川 新一　EGAWA Shinichi　　教授　　https://researchmap.jp/read0046715

被災地の匿名化診療記録データベース、災害関連死関係資料データベースに基づく医療ニーズ定量化、ヒューマンレジリエンス、健康と社会のレジリエンスをテーマに研究を継続している。東日本大震災後に宮城県で災害関連死と認定された755名の行政開示資料を用いて制度上の課題をあきらかにし、災害関連死を考える会と協働して社会的コンセンサスの形成を目指している。災害に強い医療供給体制と災害医学研究に関して災害リスク・健康危機管理研究に関するWHOガイダンス、災害を考える51のアプローチを用いて教育とセクター間の相互理解を推進している。ASEANの災害医療標準化プロジェクト(ARCH Project)でASEAN Journal for Disaster Health Managementの編集委員としてASEAN Academic Networkに貢献した。Tohoku Journal of Experimental Medicineの編集長、米国災害医学会誌の副編集長を務め、世界災害医学会2025年東京大会のプログラム委員長として災害医学とその学際交流のプラットフォーム形成を行った。

佐々木 宏之　SASAKI Hiroyuki　　准教授　　https://researchmap.jp/hsasa

医療機関の事業・業務継続計画(BCP, BCM)に関する調査、分析、講演等を継続して行っている。本年度の招待講演7回など、医療機関や保健福祉機関の災害時の事業継続に関する関心は高く、講演による知識の補完・BCP修正等、エッセンシャルワーク機能継続に寄与している。また「コンダクター型災害保健医療人材養成プログラム」をはじめとした様々な災害人材育成研修に関与し、実災害時にも即座に対応可能な災害保健医療福祉人材のすそ野を広げた。日本災害医学会総会・学術集会では、地震工学・津波工学・気象地盤工学研究者を講師とした分野横断型の教育講演を企画し、医学と他分野のネットワーキングを精力的に進めた。

朴 慧晶　PARK Hyejeong　　助教　　https://researchmap.jp/hjpark0922

2025年2月および3月に日本（岩手県大船渡市）と韓国（嶺南地域）で発生したWUI（Wildland–Urban Interface：森林・都市境界域）火災に対し、社会システム工学の観点からのプロジェクトを実施した。本研究査は、2023年に発表した「2022年韓国WUI火災における国家基盤施設への影響」に関する研究を深化させるものである。これまで国内で十分に検討されていなかった「WUI」という概念を提示し、一連の研究成果が国内外で広く参照されることで、当該分野の論文引用数は顕著に向上しており、学術的な認知度と議論の質を一段階引き上げることに貢献した。この研究は、従来の縦割り的な防災対策を打破し、多学際的な協力体制を構築するための具体的な視座を提供するものであり、レジリエントな社会システムの実現に向けた政策提言や実践的な指針としての役割が期待される。

災害医療情報学分野

藤井 進　FUJII Susumu　　教授　　https://researchmap.jp/sfujii

本年度は、災害科学の発展と実効的な減災対策への貢献を目的に、医療データ利活用と地域連携基盤の高度化に取り組んだ。特に、災害時の広域医療情報の収集・統合・迅速活用を可能とするモデルを構築し、MDUCの実践を通じて制度・倫理課題への対応枠組みを提示した。これにより、次世代医療基盤法下における高信頼データに基づく意思決定支援を実現し、被害状況の早期把握や医療資源配分の最適化に資することを示した。また、音声AIやLLMによる診療支援・患者抽出技術は、災害時のトリアージ高度化や医療逼迫の緩和に寄与し、実践的な減災手段としての有効性を示した。さらに、地域連携ネットワークと多層的サイバーセキュリティ対策の確立は、災害下でも持続可能な情報基盤を担保し、平時から災害時へのシームレスな移行を可能とする。これらの成果は、災害対応力の強化と被害軽減に直結する社会的価値を有する。

災害放射線医学分野

千田 浩一　CHIDA Koichi　　教授　　https://researchmap.jp/read0063106

研究：代表として科研費基盤Bと環境省原子力規制研究そして厚労省労災疾病臨床研究を行い、さらに分担研究も多数実施。医療被曝関連研究を多く実施（医学利用放射線は大部分が低線量であり医療被曝関連研究は原子力災害時の低線量被曝研究を行う上で重要な基盤）。英文査読付き論文は10編以上。Top10％やFWCIが2以上の論文も多数有る。厚労省検討会にて研究成果が活用され意見具申や提言。
教育：大学院医学系研究科放射線検査学分野及び医学部保健学科を兼務。22名の大学院生等と5名の卒業研究学生を直接指導。大学院・学部講義や学生実験等を多数担当し関連領域の人材育成に貢献（指導学生等5名受賞）。
社会活動：仙台市防災会議専門委員（及び原子力防災部会委員）として貢献。宮城県原子力防災基礎研修等にて講演や実習を多数実施し、市民等へ放射線の正しい知識の普及に尽力。東北大学病院緊急被ばく医療専門委員会委員として原子力災害対応等に貢献。
その他：特許ロイヤルティー及び企業共同研究契約によって東北大学収入に寄与。東北大学プレスリリース3件。

鈴木 正敏　SUZUKI Masatoshi　　特任講師　　https://researchmap.jp/mashsuzuki

福島第一原発事故に被災した野生ニホンザル、低濃度トリチウム、福島第一原発事故で生じた放射性微粒子（不溶性セシウム粒子）をキーワードとし、原子力災害に関する被ばく影響に関する科学的知見を充実させ、データや知見の収集を通じた原子力災害に対する備えに寄与する研究活動を継続している。人間と同様に野生動物も適切な放射線防護が必要になる環境防護が国際機関から勧告されたが、その際に必要となる外部被ばく線量評価の国際標準法がない。本年度は、野生動物の被ばく線量評価上の課題を航空機モニタリングデータの解析によって解決するための試みを行った。その結果、相対的に比較できる程度の線量評価プロトタイプを確立することに成功し、環境防護の具体化に寄与する結果となった。

災害精神医学分野

國井 泰人 KUNII Yasuto　　准教授　　https://researchmap.jp/read0143653

東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故後の避難住民のメンタルヘルス及び心理社会的支援の検討、原発事故後の精神疾患入院患者の強制避難転院者の帰還支援プロジェクト、令和6年能登半島地震後のDAPT支援の実態についての調査、災害公衆衛生分野と連携し2025年ミャンマー地震における被災成人の対処戦略プロジェクト、災害人文社会研究部門と共同で自殺者数予測の数理モデル開発を行ったほか、ストレス脆弱性の基盤研究として、医学系研究科精神神経学分野と連携し、死後脳を用いて、心的外傷後ストレス障害、気分障害、統合失調症などの精神疾患病態解明のための基礎的な生物学研究などの研究課題に取り組み、論文報告、学会・研究会報告を行った。その他、日本精神神経学会災害支援委員会への参加、宮城県DPAT統括者及び日本DPAT隊員として、宮城県DPAT研修の講師・ファシリテーターを務め、宮城県DPAT運営委員会及び宮城DPAT体制整備に係る検討作業部会に参画するなど、大規模災害に備え社会貢献活動を行った。

濱家 由美子 HAMAIE Yumiko　　助教　　https://researchmap.jp/hamaie

2025年度は、災害精神保健研究の国際展開および予防的アプローチの拡張を目的とした研究活動を推進した。2025年ミャンマー地震を契機とした国際共同研究の立ち上げに参画し、紛争・低資源環境下における被災成人の対処過程とレジリエンスを遠隔質的研究により検討する研究枠組みを構築した。本取り組みは、従来研究実施が困難であった地域における災害メンタルヘルス研究の実施可能性を示し、災害精神医学の国際的適用範囲の拡張に寄与する学術的意義を有する。さらに、ソーシャルセンシングデータを用いた自殺予測モデルの開発・検証を進め、高リスク時期の早期把握による予防的介入の可能性を提示し、自殺予防政策への応用に資する基盤的知見の創出を目指した。

日野 瑞城　HINO Mizuki　　特任助教　　https://researchmap.jp/34567

今年度は、災害精神医学の観点から、COVID-19パンデミック後の日本における自殺者数の動向について前年度から継続的して解析を行った。特に、インターネット上の特定ワードの検索動向を指標とし、将来の自殺者数増加を予測する研究を推進した。また、パンデミック後の動向の一側面として、若年女性における自殺者数の増加に着目し、その特徴について分析を行った。これらの知見は、将来の災害時における自殺に対して予防的介入の検討に資するものであり、地域の回復力（レジリエンス）の向上に寄与することが期待される。

災害公衆衛生学分野

栗山 進一　KURIYAMA Shinichi　　教授　　https://researchmap.jp/read0163725

防災と保健の融合による行動変容実現のため、以下の活動を行った。
①Nature誌に「How changes in behaviour can save lives in disasters」と題する記事を公表し、防災に資する行動変容のためには、公衆衛生学的知見を防災の分野に導入することの重要性を訴えた（Nature. 2025 Aug;644(8077):581. doi: 10.1038/d41586-025-02613-8.）その結果、国内外から多くの反響があり、防災と保健の融合が進んだ。
②内閣府の勉強会に委員として参加し、防災と保健の融合の必要性を訴え、今後アクションプランの作成に向けて検討が進むこととなった。

大類 真嗣　ORUI Masatsugu　　准教授　　https://researchmap.jp/7000018869

本年度は、災害公衆衛生分野において、事前防災の行動変容促進と災害後の健康影響評価の両面から、研究と実践を統合した活動を行った。第一に、家具転倒防止や津波リスク地域での迅速避難を促すリーフレットを開発し、自治体と連携して地域保健活動への実装を検討した。さらに、防災行動の国レベルのアクションプラン素案作成に関与し、研究知見の政策提言への接続に貢献した。第二に、東日本大震災後の自殺死亡率が、被災後15年で平時に近づいたことを新聞記事や学会、国際誌などを通じて社会に発信するとともに、親族死亡といった体験ではなく、PTSD等の災害後のストレス症状が具体的に生じていることが自殺リスクに強く関連することを示し、災害後のメンタルヘルス支援の在り方に新たな知見を提示した。
　以上の活動は、行動変容科学に基づく防災実践の社会実装と、エビデンスに基づくメンタルヘルス支援の再定義を通じて、災害関連死亡の予防と健康被害の最小化に資するものであると考えている。

災害感染症学分野

児玉 栄一　KODAMA Eiichi　　教授　　https://researchmap.jp/7000005426

パンデミックになりうる感染症制圧に向けて、治療薬の開発研究から導出できた薬剤がFDA申請に至った。承認されれば治療の方針を大きく変える画期的な薬剤となる。全学感染症BCPを作成・運用し、実際に五類全数把握疾患発生時に役立った。これらをセミナー等で講演することで今後のパンデミック・レジリエンスの向上に役立たせている。継続して東日本大震災被災地での住民健康状況の調査研究（東北メディカル・メガバンク機構と共同研究）、厚労省指定の感染症重点疾患への対応、耐性菌の解析（感染症研究所、国立国際医療研究センターと共同研究）などを展開し、災害にかかわる感染症対策に役立たせている。国際共同研究による大規模疫学解析からヘルペス系ウイルスの初感染時期が遅れていることを明らかとして今後の公衆衛生的政策に反映させる。大学本部と共同で本学の新型コロナウイルス感染症記録集をまとめて学内版と学外版をHP上に公開している。基礎的および臨床的に加え、社会的に実用性のある感染症対応を可能とした。

林 宏典　HAYASHI Hironori　　助教　　https://researchmap.jp/anti-virus

感染症災害克服向け、創薬迅速化を目指した研究を実施した。既存の人工知能（AI）ツールを用いて新薬候補化合物が結合する標的タンパクを特定する自動化システムを他部局および理化学研究所と共同で開発した。本成果は、創薬開発の加速だけでなく、内閣府が主導する本邦の創薬エコシステム推進における課題の克服やAI for Scienceの推進に資する成果である。また、新型コロナウイルス治療薬の新たな標的としてウイルス由来ヌクレオタンパク質の有用を示し、パンデミック発災時から研究を継続してきたプロテアーゼ阻害剤に関しては、より強力な阻害剤開発に重要な因子特定に成功した。ワクチン耐性株出現が危惧される新型コロナウイルスに対する新たな治療戦略構築として有用な成果である。ストレス応答性の転写因子であるBACHの生理活性機能の解明を行った。BACHは、がんや免疫老化に関与する因子として注目されており、災害下だけでなく平時における健康寿命の伸長に資する成果である。

グローバルヘルス政策学分野

野村 周平　NOMURA Shuhei　　教授　　https://researchmap.jp/nom3.shu

世界の疾病負荷研究（Global Burden of Disease Study：GBD）2023の公開を受け、統括機関である米国ワシントン大学保健指標評価研究所（Institute for Health Metrics and Evaluation：IHME）との連携のもと、GBD関連18件を含む計30件の論文をThe Lancet・Nature Medicine等の主要国際誌に発表した。GBD独立諮問委員会（Independent Advisory Committee：IAC）第25回会合を日本初・東京で主催し、国内保健政策との接続を図った。また、保健政府開発援助（Official Development Assistance：ODA）の資金フローを可視化する「Visualizing ODA」ダッシュボードの継続運用、TICAD9への政策貢献、The Lancet Commission on Health Systems Performance Assessment（保健システム・パフォーマンス評価に関するランセット委員会）のCommissionerへの就任など、国際的な政策・学術活動を多面的に推進した。The Lancet Regional Health - Western Pacific誌より約15年ぶりとなるランセット日本特集号の座長依頼を受け、企画・研究を主導している。

防災実践推進部門

防災教育実践学分野

佐藤 健　SATO Takeshi　　教授　　https://researchmap.jp/read0047717

日本災害医学会雑誌への論文投稿に至った「都市直下型地震による外傷の重症者予測に基づく医療需給の評価手法の構築と適用」、および第31回日本災害医学会総会・学術集会におけるポスター発表「想定地震が災害医療のコーディネーションに与える影響評価」は、工学と医学の学際研究に基づいた独創的な成果として、特に地方公共団体が実施する「災害医療福祉調整本部」の実効性の高い災害対応訓練の設計において有益であるとの医療側からの高い評価を得た。また、内閣府（防災）が公募した令和7年度コミュニティ防災教育推進事業に対して、中核機関として応募した「女性が力を発揮するコミュニティ防災教育の推進を通した防災人材育成」が採択された。コミュニティ・スクールや学校防災と地域防災との融合等をキーワードに事業を展開した結果、仙台防災枠組が目指しているリーダーシップを発揮できる女性とそのネットワークの拡大に貢献することができた。

防災社会推進分野

佐藤 翔輔　SATO Shosuke　　准教授　　https://researchmap.jp/shosuke_sato

2025年度は東日本大震災15年の節目に際し，東日本大震災の被災地からの伝承が他地域にもたらした効果を定量的に明らかにした．本研究は，東日本大震災の被災地における震災伝承のあり方を改めて見直す大きなインパクトを提供しているまた，バーチャルリアリティ技術を活用した災害伝承ツール（過去の災害の疑似体験）の開発とその効果測定や「災害共生文化態度尺度」の開発を通じ，防災を地域の文化として定着させる評価指標を確立した．社会実践面では，国土交通省や地方自治体の検討会等で委員長や座長を務め，過去の災害の状況を分かりやすく伝える施設や災害の教訓を伝承する活動を「NIPPON防災資産」として世界に開く政策提言を行うとともに，行動経済学のナッジを用いた避難促進の社会実装に尽力した．報道を通じた「車避難の是非」や「旅先での被災」に関する発信は，全国の自治体が防災計画を科学的根拠に基づき更新する重要な契機となった．

防災コミュニケーション学分野

藤本 慎也　FUJIMOTO Shinya　　特任研究員　　https://researchmap.jp/shinya_fujimoto

「防災行動変容プロジェクト」のメンバーとして、家具類地震対策の普及に向けた実践的研究に取り組んだ。まず、妊婦・乳幼児世帯を主対象とする家具類安全対策リーフレットの制作に携わった。現在は、本資材を用いて静岡県富士市をフィールドとした介入研究を行っている。具体的には、自治体の協力を得て市の主催事業「お母さんお父さん教室」の講話にリーフレットの解説を組み込み、市民の日常的な関心や行動機会に防災対策を付随させることで行動変容を促す介入手法を試行中である。あわせて、「ぼうさいこくたい」での登壇や「ふじBousai」への出展による専門家との討議や市民との対話を通じて行動変容に関する知見を深化させた。これらの研究活動により、エビデンスに基づく防災コミュニケーション手法の開発・確立に向けた実践的研究を推進した。

インクルーシブ防災学分野

ボレー ペンメレン セバスチャン
BORET Penmellen Sebastien　　准教授　　https://researchmap.jp/7000012579

昨年度は、災害と社会的包摂に関する研究・実践を統合的に展開し、インクルーシブDRRラボの設立・運営を通じて国内外の研究・実践拠点の形成を進めた。特に、障害者や高齢者等の「周縁化された人々」に焦点を当て、災害時の避難・支援の在り方を再検討した。これにより、多様なニーズを考慮した防災アプローチの必要性を提示するとともに、自治体や関係機関との協働やインドネシアを含む国際連携を通じて実践的知見を社会に還元した。また、災害後の記憶や死の問題に関する研究を通じて、コミュニティの回復過程における文化的・社会的側面の重要性を明らかにした。さらに、クリティカル災害研究およびマス・デス・マネジメントに関する複数の著書の執筆を進めており、これらは来年度刊行予定である。

災害メモリー学分野

ゲルスタ ユリア　GERSTER Julia　　准教授　　https://researchmap.jp/julia_gerster

2025年度において、私は「福島の復興と再生の講義を継続して担当するとともに、ドルトムント工科大学（TU Dortmund）においてメモリースタディーズに関する集中講義を実施した。いずれの教育形式においても、災害の記憶に関する視点をカリキュラムに組み込んだ。メモリースタディーズと防災・減災を結びつけることで、これらの授業は長期的な復興における社会的・文化的・政治的側面への批判的理解を促し、学生のより内省的なリスク認識の形成に寄与した。

また、ボローニャ大学のメモリースタディーズ・サマースクールに招聘講師として参加し、災害の記憶を新興かつ国際的に重要性を増している研究分野として紹介した。この活動は、国際的な研究者および若手研究者の間での認知向上に貢献するとともに、欧州における学術ネットワークの強化にもつながった。さらに2026年3月には、ボローニャ大学との連携によりIRIDeSにて、気候変動・レジリエンス・災害の記憶をテーマとしたウィンタースクールおよび災害教育に関する国際研究ワークショップを共催した。これらのプログラムには多様な分野および国籍の学生・研究者が参加し、日本と欧州における防災・減災の比較的視点を促進した。また、機関間の連携強化に加え、気候関連リスクへの対応を形づくるうえでの記憶の役割について、学際的な対話を深化させた。

査読付き論文の発表や学会報告に加え、マスメディアとの連携や一般向けワークショップの実施にも取り組み、研究成果をより広い層に発信した。これらの活動は、学術知を分かりやすい形で社会に還元し、災害リスクに関する知識の普及を目的としたものである。

これら一連の取り組みにより、日本およびドイツの高等教育における災害の記憶の導入が進み、社会的関与と国際的視野を備えた人材育成に寄与した。また、災害の記憶研究は、気候変動や防災・減災といった現代的課題に関連する分野としての認知を高めた。国際的な教育・研究プログラムを通じて学術ネットワークを強化し、日本と欧州の機関間における長期的な協力関係の構築を促進した。さらに、社会発信活動を通じて災害リスクへの社会的認識を高め、備えや復興における記憶の重要性を提示した。総じて、これらの活動は、実践志向でアクセス可能なレジリエンスに関する知の創出と共有を通じて、学術と社会の架橋に貢献した。

国際研究推進オフィス

マリ エリザベス　MALY Elizabeth　　准教授　　https://researchmap.jp/liz

My significant accomplishments from the past year included advances of research and meaningful dissemination of findings to a wide international audience, and activities to share information and exchange opinions with international experts, researchers, and students.

I co-authored a book on resilient long-term housing recovery in Japan, Thailand, and India, contributing to the international discourse and offering advice to practitioners. I organized and hosted several meaningful international research workshops on green placemaking, community-based disaster risk reduction, and disaster media, including picture books.

2030国際防災アジェンダ推進オフィス

小野 裕一　ONO Yuichi　　教授　　https://researchmap.jp/7000004480

25年7月にスタンフォード大学医学部とJSTが共同で行っている日米研究連携シンポジウムの中で防災分野（特にAIの応用）で、日米の研究者やスタートアップの企業を招聘して半日のセッションを行い、連携を図った。日本学術会議では連携会員として、土木工学・建築学委員会内に設置されているIRDR分科会（災害リスクに関する統合研究分科会）にて、副委員長として提言「壊滅的災害発生が想定されるメガシティの防災力強化に向けた科学技術イノベーション」の策定に尽力した。災害研に新設された上廣防災学研究部門の部門長を兼任し、部門長としてマネージメントに携わった。26年3月21日には、この部門を中心として世界防災フォーラムと「東日本大震災から15年とこれからのBosai」を東京で共催し、上廣防災学寄附研究部門の成果発表の場とし、産官民との連携に努めた。また世界防災研究所連合（GADRI）の理事のメンバーとして、7月のGADRIサミット、3月の理事会の場で、防災研究者の評価方法について、特に実践分野において新たな基準を作ることを提案し、協働していくことが決まった。年度後半は27年秋に開催予定のアジア太平洋防災閣僚級会議の準備に向けて学内での準備を始めた。

原 裕太 HARA Yuta　　助教　　https://researchmap.jp/hara_yuta

中国、インドネシア、米国アラスカ州、長崎県五島列島、石川県手取川流域、能登半島などにおいて、科研費や学内資金の支援を受けて研究プロジェクトを展開した。これらの成果は、論文発表や学会報告に結実するとともに、関係各国との国際学術交流の進展にも寄与した。また、国際防災に関する研究成果の一部は、2025年6月にスイス・ジュネーブで開催された国連防災グローバルプラットフォーム（GPDRR）で講演し、世界の実務者や研究者に向けて提言を行った。さらに、現代中国地誌の専門書や農業関係書、山岳地域の災害レジリエンスに関するグローバルレポートの出版、招待講演などを通じて、学生や社会への提言・還元を進めた。加えて、被災地における社会調査のあり方について検討を重ね、成果は大手メディアにも取り上げられた。その他、高等学校地理歴史科の資料集の監修・執筆や、修学旅行への協力などを通じて、中等教育にも貢献した。

レジリエントEICT研究推進オフィス

岩月 勝美 IWATSUKI Katsumi　　特任教授　　https://researchmap.jp/iwatuki.katumi

（1）総務省委託研究「グリーン社会に資する先端光伝送技術の研究開発」
本プロジェクト（2023年度～2025年度）の研究担当者として、RANにおける光・無線統合フロントホールに関する研究開発の推進に貢献した。
（2）新規プロジェクト獲得のための研究開発の企画立案
JST OPERAプロジェクト及びNICT B5Gプロジェクトの研究開発成果を展開する研究開発構想として、R-EICT（Resilient Energy ICT）をベースとするAI for RAN（RAN: Radio Access Network）、RAN for AIの企画立案を主導した。また、本企画案を通信事業者や総務省へ説明し、新規プロジェクト獲得を推進に貢献した。
（3）台湾ITRI（Industrial Technology Research Institute）との連携推進
JST OPERAの研究開発成果等を中心に、R-EICTに関するワークショップを開催し、研究成果の情報発信、今後の研究開発の方向性について議論し、台湾ITRIとの連携強化に貢献した。

安達 文幸 ADACHI Fumiyuki　　特任研究員　　https://researchmap.jp/read0065498

スケーラブルでレジリエントな次世代通信システム（Beyond5G/6G）の実現に向けて、分散協調無線通信技術を基にした無線アクセスネットワーク（RAN）の研究開発に取り組んだ。RAN再構成という概念の提唱とそれを実現する手法を提案し、災害時のシステム性能劣化からの回復能力を明確にできた。これにより、スケーラブルでレジリエントな次世代通信ネットワークの技術基盤の一つを確立できた。

寄附研究部門

地震津波リスク評価（東京海上日動）寄附研究部門

内田 典子　UCHIDA Noriko　　助教　　https://researchmap.jp/noriko_uchida

2025年2-3月に岩手県大船渡市にて発生した森林火災、休廃止鉱山・酸性水質による恒常的な環境負荷など、あらゆる撹乱に対する生態系応答の解明に焦点を当て、とくに環境DNAを用いた水生昆虫群集評価の高度化に取り組んだ。河川における化学的影響や自然災害後または負荷の有無に対する生態系変化を対象に、従来手法との比較を通じて評価手法の有効性と限界を提示した。これらの成果は生態系モニタリングの高度化や自然再生に向けた意思決定への応用可能性、また拡張性への展開を示すものである。また、これらの研究活動から得た具体的な知見は、自治体の環境影響評価審査会への貢献や、国際共同研究への展開につながった。

都市直下地震災害（応用地質）寄附研究部門

乗松 君衣　NORIMATSU Kimie　　助手　　https://researchmap.jp/norimatsu_k

強震動予測手法の改良をテーマに，2024年能登半島地震を例とした解析と考察を行った．地震規模や強震動予測の過小評価低減を目的とするこの研究は不確定性や多様性を考慮することで，複数パターンのパラメター設定や幅を持ったシミュレーション結果の扱い方を提案している．学会やシンポジウムでの発表を通じて強震動予測に関わる研究者や技術者と議論を行うことで，事前予測の過小評価という課題に対する考え方を示すことができた．また，解決すべき課題であるとの認識や現在，評価に用いられている手法のへの問題意識の共有ができた．将来的な社会実装を目指し，防災科学技術研究所の研究者と協力し進めており，論文投稿を行った（査読中）．なお，この研究は2025年10月の都市直下地震災害（応用地質）寄付研究部門の最終報告会において，同部門で行っていた他の取り組みと合わせて宮城県および仙台市の防災担当の方々にも周知を行い予測問題や事前防災への課題の共有となった

原 勇貴　HARA Yuki　　助手　　https://researchmap.jp/yhara

断層の連動性を定量的に評価するため、断層幾何形状を用いた破壊伝播確率の評価手法の開発・改良を進めた。2023年トルコ・シリア地震に加えて2025年ミャンマー地震を対象として事例研究を行い、断層セグメントの活動履歴や応力蓄積に関する指標を新たに導入することによって再現性の向上が認められた。これらの研究成果については学会発表を行い、論文を投稿中である。また、熊本地震において断層変位が確認されなかった布田川断層延長部（阿蘇地域）で活動履歴を明らかにするための地質調査を実施した。このような事例研究による断層活動パラメータの抽出・検証は、課題である国内活断層における連動型地震ハザード評価の実用化に向けた基盤になると考えられる。

上廣防災学寄附研究部門

川内 淳史　KAWAUCHI Atsushi　　准教授　　https://researchmap.jp/a.kawauchi

1889-1891年のロシアかぜ流行を新聞・雑誌史料から社会史的に分析した研究は、統計資料に依存しない近代パンデミック史研究の方法論を示すとともに、医学知識の変容が社会的対応を規定するという知見を提示し、感染症災害史研究に新たな視座をもたらした。歴史学と工学の融合による災害リスク定量化研究は、過去の土地利用変遷を現代の流域管理・防災政策に接続する新たな方法論として、学際的な防災研究の可能性を広げるものである。また、震災遺構論および近代東北の地域概念研究は、地域の歴史的アイデンティティと災害記憶継承の関係を一般読者に向けて発信したものである。市民ボランティアとの週次の歴史資料保全活動と招待講演を通じ、地域の災害文化の継承を市民が主体的に担う土壌の醸成にも継続的に貢献した。

佐々木 大輔　SASAKI Daisuke　　准教授　　https://researchmap.jp/DaisukeSasaki

2025年度についても，現在取り組んでいる研究課題において，成果を論文にまとめて出版することができた．
また，IDRiM2025等の国際会議において口頭発表を行い，研究成果等を世界に向けて広く発信した．
引き続き，仙台防災枠組・持続可能な開発目標（SDGs）・パリ協定等の国際防災アジェンダ及び防災投資をはじめとした関連するグローバル・イシューについて，国際開発学の視点も交えながら，実践的な防災学の発展に資する研究を推進していく．

石川 美希　ISHIKAWA Miki　　助教　　https://researchmap.jp/Mikikawaishi0306

2025年度は、東北大学災害科学国際研究所上廣防災学寄附研究部門助教として着任1年目にあたり、「研究・教育・実践の方向性を明確化し、活動基盤を確立すること」を最優先課題として取り組んだ年度であった。初年度であるにもかかわらず、研究成果の創出、外部資金の確保、教育実践の安定運営、学内連携による実践活動の展開という四つの側面において、一定の基盤形成を実現したのは大きい。特に顕著な業績として、（ⅰ）査読付き筆頭論文（原著）の掲載、（ⅱ）科研費（研究活動スタート支援）の採択、（ⅲ）DEI Lounge EVENTのセミナー・ワークショップや「東日本大震災から15年とこれからのBOSAI」シンポジウムなどの開催（登壇）・講演の3点が挙げられる。今後はこれらを質的深化へと発展させ、特に国際性の強化と人的ネットワークの拡張を重点課題とする。

岡田 悠太郎　OKADA Yutaro　　助教　　https://researchmap.jp/yutaro_okada16

2025年度は、主に国内外で発生した大地震の即時解析に従事するとともに、弊所で開催された速報会で、解析結果に基づき大地震直後に警戒すべきことを地震学者の立場から提言した。また、2025年6月に活動を開始したトカラ列島近海群発地震の解析に取り組んだ。我々のグループでは、国土地理院と民間企業の設置したGNSS観測局のデータを統合解析することにより、1) 群発地震に同期して過渡的な地殻変動が発生していること、2) 2025年イベントは過去イベントでは観測されなかった、特異的な地殻変動を示すこと、3) この地殻変動はゆっくりとした断層のずれで説明できることを明らかにした（Okada, Ohta, et al., in revision）。これらの解析結果は、内閣府地震本部で定期的に開催される地震調査委員会に提出され地震活動評価に活用された。

野中 小百合　NONAKA Sayuri　　助教　　https://researchmap.jp/snonak

2025年度は、災害科学研究におけるデータ利活用の高度化に向け、災害医学研究で実際に用いられているデータの種類・利用方法・課題を体系的に整理し、今後優先的に整備すべきデータや分析基盤の方向性を明確化した。これにより、災害研究におけるデータ共有・再利用の議論を、経験則ではなく実証的根拠に基づいて進める基盤を提示した点に学術的意義がある。加えて、弁護士と連携して法的・倫理的論点を整理したチェックシートを作成し、研究現場で判断に迷いやすい論点の可視化と標準化に寄与した。さらに、DDUCの活動や教育啓発活動を通じて、災害データの適正利用に関する理解を研究者・実務者・若年層へ広げ、災害時にも信頼性と社会的受容性を両立したデータ活用を支える実践的基盤の形成に貢献した。

猪狩 暢子　IGARI Nobuko　　助手

実践活動として、イベントを主催したり参加したりした。主催した事業「東日本大震災から15年とこれからのBosai」では、スピーカーが研究者だけではなかったこともあり、一般の方にも広く発信できる内容となった。特に「事前の備え」の重要性を来場者に伝えることができた。イベント参加では、仙台防災未来フォーラムでポスター出展し部門の紹介を行った。異なる分野の融合は非常に難しいことなので、方向性をきちんと定めておかないとだめですね、などのご意見をいただき、次年度以降に向けて考えておくべきことが明確になった。
　また組織運営面について、部門内外の会議では、聴覚に障害がある先生にも会議の内容が理解できるように試行錯誤しながら運営し、だいたい形が出来上がったように思う。今後もより精度が高い情報保障の方法を探っていきたいと思っている。

髙橋 利恵子　TAKAHASHI　Rieko　　助手

東京大学 多様性包摂共創センター バリアフリー推進オフィスとともに、各視点からの防災研究の提案及びネットワークの構築を行い、日常の研究活動における合理的配慮の啓発強化に努めた。また、発災時における「地域防災力の担い手」による「医療的ケア児者」への支援に関する研修の教材開発研究の計画作成を行うに至った。この計画は「地域防災力の担い手」と「医療的ケア児等コーディネーター」との交流及び研修を促進し、特に地方レベルにおける非構造的な防災対策の強化と、多様な主体の参画による包摂的な社会システムの構築を具現化するものである。また、特別支援学校における個別避難計画の作成状況を明らかにし、現在論文執筆中である。この調査研究から得られた知見やデータは全国の教育委員会へ結果回付し、今後の特別支援学校における減災・防災に寄与するものである。

齋藤 由美子　SAITO Yumiko　　助手　　https://researchmap.jp/uehiro.irides.tohoku

都市部で地震が起こった場合の小学生の危険認識と危険回避行動について学習アプリを活用した傾向分析を行った。学習アプリを活用することで、以前は把握できなかった少数意見についても吸い上げることが可能になった。その成果を日本安全教育学会に研究報告書として提出し、査読審査が通った。今後、他の地域でも実践し、小学生の危険認識と危険回避行動についてさらに分析をすることで、災害時の犠牲者削減につなげたい。

共同研究部門

イオン防災環境都市創生共同研究部門

丸谷 浩明　MARUYA Hiroaki　　特任教授　　https://researchmap.jp/7000009980

2025年度から、特任教授（研究）として企業との共同研究を主要な業務としている。主な共同研究先は、イオンモール(株)、(株)丸和運輸機関、(株)フクダ・アンド・パートナーズであり、それぞれのBCP、防災訓練、避難計画、帰宅困難者訓練などへの支援・助言を行った。また、政府や地方自治体の防災や事業継続の業務を継続した。さらに、政府が南海トラフ地震の新たな被害想定を発表したのに対して、日本経済新聞の「経済教室」に「南海トラフ地震への企業対応多様な発生ケースに備えよ」と題する投稿ができ、注目が得られた。カムチャッカ沖地震の津波では、津波警報に応じた北海道内の地方自治体の代替拠点への移動に関してNHK札幌支局にビデオ出演しコメントを述べた。北海道・三陸沖後発地震注意情報の発表については、以前からの研究を踏まえ複数の研究会で意見交換を行った。

新家 杏奈　SHINKA Anna　　助教　　https://researchmap.jp/anna_shinka

2025年度は、被災体験の聞き取りを活用した防災学習の3年間の継続実践を論文化し、学習効果が一過性でなく持続し得ることを示した。これは、防災教育の設計と評価に実証的根拠を与える成果である。加えて、イオン防災環境都市創生共同研究部門では、活動成果として、避難計画・BCP、地域参加型活動、緑化を含むレジリエント・コミュニティ創生の取組を仙台防災フォーラムにて発表した。今後、開店したイオンモール仙台上杉にて更なる連携活動が予定されている。さらに、気仙沼市やいわき市にて、学校防災への支援活動を行った他、セミナーシンポジウム等での講演活動やYoutubeへの出演を行い、地域の防災計画と防災教育を学ぶ場づくりにも貢献した。

日本工営レジリエントシティー技術実装共同研究部門

スクンタナソーン　ナルテープ
SUKULTHANASORN Naruethep　　助教　　https://researchmap.jp/naruethep

My research activities in the past year can be categorized into two major topics:
(1) city scale earthquake simulation of Bangkok based on the 2025 Myanmar earthquake, and
(2) quantum computing for computational engineering.

First, at the beginning of 2025, a large earthquake occurred in Myanmar, which affected Bangkok, Thailand, and caused widespread damage. With support from IRIDeS, we formed a team and conducted a field survey in Bangkok while establishing collaboration with the local government. As a result, we are conducting a city scale earthquake simulation for Bangkok based on the Myanmar earthquake in order to investigate the damage mechanisms and propose mitigation plans for the future.

Second, we have explored the application of quantum computing to computational engineering, such as topology optimization. As a pioneer in this area, we have published our results in a top journal, establishing a benchmark for other researchers in the community.

災害レジリエンス共創センター

災害レジリエンス数量化研究領域

袁 巍　YUAN Wei　　准教授　　https://researchmap.jp/milowei304

This year, I finished my research on multi-task learning for the post-disaster mapping project, published 10 high-quality academic papers, 1 top 10% paper, and 1 top 1% paper. Meanwhile, I collaborated with Jilin University and China University of Geoscience to conduct two co-creation projects. It leads to a good foundation for future Earth Observation-based urban monitoring and disaster assessment.

永田 彰平　NAGATA Shohei　　助教　　https://researchmap.jp/shohei_nagata

ワシントン大学 Civil & Environmental Engineering の Cynthia Chen 教授の研究室と連携し、携帯電話由来の人流データを活用したコミュニティレジリエンス評価手法の開発に注力した。また、同大学での客員研究員としての長期滞在も実現した。この取り組みの一環として、2024年の能登半島地震の被災地における長期的な人口変動に基づく復興状況のモニタリングと、2025年のカムチャツカ半島地震直後に発表された津波警報・注意報が沿岸部の人口減少に及ぼした影響の評価を実施した。これらの研究成果は、米国内の学術会議（AGU25 Annual Meeting、2026 AAG Annual Meeting）で発表し、研究コミュニティの拡大にもつながった。いずれの研究も、把握が困難な災害後の動的な人口変動に着目し、災害時におけるコミュニティの脆弱性やレジリエンスを定量的に評価するものである。そのため、今後の災害マネジメントに向けた重要な知見を提供することが期待される。なお、カムチャツカ半島地震に関する研究は現在、論文化を進めている。

広報室

中鉢 奈津子　CHUBACHI Natsuko　　特任准教授　　https://researchmap.jp/chubachi_natsuko

・2025年度も、災害研の広報・コミュニケーションや異分野連携を支援する実務を行った。所内報「災害研だより」のための研究者取材・紹介記事執筆を5件担当した。「災害研45分ランチトーク」の運営等を、広報室内外の教職員と連携して継続・発展させた。国際広報担当として、「IRIDeS Newsletter vol. 08」東日本大震災15年特集号の英訳を担当した。海外からの訪問者等に対して災害研を紹介した。
・2025年度も、実務と並行し、広報・コミュニケーションや異分野連携についての理解を深めるための研究・実践活動を行った。主題は、「市民の目から見た災害や防災」ならびに「災害科学における総合知の構築」で、これらの研究活動で得られた知見は実務に生かした。2025年度は、異分野連携研究におけるURAの役割について、リサーチ・アドミニストレーション協会誌にて論文を発表した。

今野 公美子　KONNO Kumiko　　特任准教授　　https://researchmap.jp/kumiko_konno

所外への広報活動として、広報誌Newsletterの発行（年2回）、プレスリリース作成（2025年度は17件）、災害調査報告会やシンポジウム等を実施し、災害研の研究活動を社会に発信した。研究・観測・イベント等、教員の研究実践活動の現場に同行し、広報誌やWebサイト、動画等で発信するための取材を精力的に行った。所内広報としては、所内報「災害研だより」での研究紹介、研究者による「ランチトーク」を実施した。災害研の常設展示コーナーのリニューアルにタスクフォースメンバーとして、提案の作成、予算の確保、企画競争の実施等を中心となって進め、本格的なスタートを切ることができた。5月に河北新報の「かほく防災記者」の研修で講師を務め、中高生に震災の経験や災害研の役割などを伝える機会を得た。

研究戦略推進室

古屋 貴司 FURUYA Takashi　　特任准教授　　https://researchmap.jp/read0125569

URAとして着任初年度より、組織評価の高度化と災害科学の国際的プレゼンス向上を軸に、多面的な研究戦略支援を展開した。
「中長期目標の4年目終了時評価」に向けた研究業績分析の実務を中核として担い、また「災害科学コアリサーチクラスター」の戦略策定も支援。さらに、社会的価値の可視化については、本部RMCと連携の「組織の研究力強化」セミナー開催や、THEインパクトランキング分析の協議を通じ、世界災害研究所連合（GADRI）での質的指標の提言にも寄与するなど、部局の国際的地位向上を下支えした。
能登半島や福島等での現地調査への同行を通じ研究現場の知見を収集。年次報告書収集のDX化による実務合理化と研究時間確保を試みる基盤を整えた。
独自構想による「防災・減災×サスティナブル大賞」奨励賞の受賞は、将来の産官学民連携による実証研究基盤構築への第一歩となる活動であり、学術と社会を繋ぐ実効的支援を推進した。

上野 史彦 UENO Fumihiko　　特任准教授　　https://researchmap.jp/4379w06w

本年度の主要な活動は、実践的防災学の評価システムの再構築と、災害データ利活用のための体制整備である。
第一に、仙台防災枠組（SFDRR）と連動した独自のKGI・KPI体系、および基礎研究から減災に至る論理経路を示す「インパクト・パスウェイ」を導入した制度設計を起草した。これにより、従来は定量化が困難であった社会実装などの実践的活動の学術的価値を客観的に評価するプロセスを明文化し、所内における合意形成の基盤を構築した。
第二に、災害データ活用センター（DDUC）の稼働に向け、非構造化データを対象とした「AIナビゲーター」構想を立案した。リソースの制約を鑑み、システム全面構築を待たずに小規模なユースケースを先行作成するアジャイル型の開発方針を策定し、具体的な実装プロセスを整備した。
これらの活動は、当研究所の「実践知」を客観的に評価可能な学術資産へと構造化するための基盤となるものである。

５．１．Ｂ．　災害レジリエンス共創センター

災害レジリエンス共創センターは本研究所、学内部局および国立研究開発法人防災科学研究所（以下、防災科研）が連携し、「総合知」を活用して災害による社会の機能損失を低減し、速やかに回復、より良く復興するための「災害レジリエンス」の向上と社会実装を理念として掲げています。2022 年度に設立され、4 年目を迎えました。「災害レジリエンス数量化」、「ヒューマンレジリエンス」、「災害情報キュレーション」および「災害レジリエンス共創」の 4 つの重点研究領域からなり、シンボルプロジェクトとして「災害デジタルツイン」「モバイル空間統計」に加えて新たに「災害データバンクの開発」を推進しています。毎年、災害レジリエンス共創研究プロジェクトを実施し、国内外から 49 件（2024 年度は 42 件、2023 年度は 27 件、2022 年度は 26 件）、うち英語 13 件を採択しました。2024 年度の研究成果報告会を 7 月 25 日に開催し、研究代表者が成果を報告し、学際的かつ活発な議論がなされました。成果報告書はこの年次報告書に掲載されます。定期的に戦略推進会議を開催し、運営方針を協議するとともに、3 月 14 日の仙台防災未来フォーラムでは、「災害レジリエンス共創にむけたデジタル・トランスフォーメーション」というテーマでシンポジウムを開催しました。専任教員1名、クロスアポイント教員 2 名、外国人教員 1 名を中心に多層化したデジタルツインデータベースの構築、人流データを用いた研究、災害データバンクの構築を推進しています。

（江川新一）

５．１．Ｃ．　災害レジリエンス共創研究プロジェクト

概要

災害レジリエンス共創研究プロジェクトは、「総合知」を活用して社会の災害レジリエンス向上を図るという災害レジリエンス共創センターの理念を具現化するため、2022 年度に開始した共同研究助成プログラムである。工学、医学、人文・社会科学を横断する学際的な研究を促進し、被災した社会の迅速な回復と多様な well-being の実現に資する知の創出を目指している。採択件数は年々拡大しており、2022 年度 26 件、2023 年度 27 件、2024 年度 42 件を経て、2025 年度は国内外から 49 件を採択した。研究領域は「災害レジリエンス数量化」「ヒューマンレジリエンス」「災害情報キュレーション」「災害レジリエンス共創」の 4 領域にわたり、多様な視点からの研究活動を支援している。

毎年 7 月下旬に成果報告会を開催しており、研究代表者による発表と学際的な議論を通じて、研究成果の共有と発展的な交流を図っている。

災害レジリエンス共創研究プロジェクト 2025年度採択課題一覧

所属機関名は2025年6月採択時

	研究課題・研究テーマ	研究代表者	所属機関

1-1. 災害デジタルツインの開発に関連する研究（1-DT）

1	Citywide Digital Twin System for Human Moblity Simulation and Prediction underExtreme Weather	Wei Yuan	IRIDeS, Tohoku University
2	大規模災害の被災を契機とした過疎・超高齢化地域の社会・コミュニティ・マクロ経済・行政のレジリエントな適応・変容シナリオの検討に資するソーシャルデジタルツイン開発に関する基礎的研究	立木 茂雄	同志社大学社会学部
3	水害時における人口変動の要因解析・再現モデル構築による避難シミュレーションの精緻化に関する研究	山下 慎二	日本工営株式会社 中央研究所
4	Development and Application of Geospatial Digital Twins to Enahnce Tsunami Disaster Response	Bruno Adriano	IRIDeS, Tohoku University

1-2. 災害データバンクの開発に関連する研究（1-DB）

1	Typhoon-Focused Maritime Disaster Data Platform	Zhiwen Zhang	LocationMind Inc.
2	「災害データ利活用の実務と法的枠組み―著作権・肖像権対策を含む包括的対応モデルの構築」に関する研究	野中 小百合	東北大学 災害科学国際研究所
3	地域自然災害アーカイブのためのプラットフォームの構築	竹内 裕希子	熊本大学 大学院先端科学研究部

2. 4つの重点研究領域の研究内容に関連し、災害レジリエンスの向上に貢献する研究

(1) 災害レジリエンス数量化研究領域（2-QR）

1	Crowd Prediction and Simulation in Disaster Scenarios Based on Geographical Foundation Models	Yao Yao	China University of Geosciences (Wuhan)
2	地震発生前後の対策・復旧プロセスを包含した橋梁の災害マネジメントシステム	石橋 寛樹	日本大学 工学部土木工学科
3	助ける行動の心理学：性格と文化に基づく災害時の認知的判断プロセスの解明	竹本 あゆみ	東北大学 加齢医学研究所

	研究課題・研究テーマ	研究代表者	所属機関

(2) ヒューマンレジリエンス研究領域（2-HR）

1	Preservation and Dissemination of Diverse Disaster Narratives through Kamishibai	Julia Gerster	IRIDeS, Tohoku University
2	レジリエンスを育むフィードバックの設計	吉田 英彰	盛岡大学 文学部児童教育学科
3	The Disaster Picture Book Project—international comparative analysis of disaster picture book narratives and practical applications for disaster risk reduction	Elizabeth Maly	IRIDeS, Tohoku University
4	Rooted placemaking to support long-term housing and community recovery after large disasters in Japan, Indonesia, and Thailand	Tamiyo Kondo	Kobe University
5	大規模災害犠牲者の身元確認および死因究明における死亡時画像診断（Autopsyimaging: Ai）の活用	小林　智哉	東北大学大学院 医学系研究科
6	VRとGISを活用した津波避難行動における認知プロセスに関する研究	塩﨑 大輔	星槎道都大学社会福祉学部社会福祉学科
7	Conveying difficult pasts: learning from similarities in storytelling between Tōhoku disaster and WWII experiences in Japan	Kaori Yoshida	Ritsumeikan Asia Pacific University

(3) 災害情報キュレーション研究領域（2-IC）

1	人口減少社会における地域文化財のネットワーク型保護システムモデルの提案	片岡 太郎	弘前大学 人文社会科学部
2	震災経験教員による震災当時の勤務校の様子の現地想起と省察：全方位カメラ記録、教材化、共有化を通した学校教員の災害対応力向上の実現	齋藤 玲	東北大学大学院 情報科学研究科
3	豪雪地帯における文化遺産防災に関する研究	鈴木 比奈子	専修大学文学部
4	ハザードマップ作成・活用の設計原理構築のための多分野融合脳・視線・特性研究	新家 杏奈	東北大学 災害科学国際研究所

(4) 災害レジリエンス共創領域（2-CO）

1	特別支援学校を対象とした防災教育と防災管理の高度実践に基づくインクルーシブ防災の推進	小田 隆史	東京大学大学院 総合文化研究科
2	日本の災害関連死が抱える制度上の課題とその解決策	坪井 基浩	さいたま赤十字病院 高度救命救急センター

	研究課題・研究テーマ	研究代表者	所属機関
3	Building a safer and resilient society: Wildfire risk management strategies in the era of global warming	Hyejeong Park	IRIDeS, Tohoku University
4	自治体の防災格付けに関するフィージビリティスタディ	小野 裕一	東北大学 災害科学国際研究所
5	Disability in Inclusive Disaster Risk Reduction: Ableism and the Furthering Social Justice Through Co-creation of Knowledge and Perception on Disability	Sébastien Penmellen Boret	IRIDeS, Tohoku University
6	数値解析による森林に秘められた防災機能の解明：樹木モデル自動生成と流体-樹木連成解析の手法構築	辻 勲平	東北大学大学院 工学研究科
7	豪雨による斜面災害の広域的なリアルタイム予測手法の開発 ～八戸市を対象としたケーススタディ～	外里 健太	八戸工業大学 工学部
8	能登半島地震による農山村の縮退過程における的確な土地管理方策の探索	山下 良平	石川県立大学 生物資源環境学部
9	VR空間での津波避難実験と機械学習を組み合わせた避難標識効果の評価手法の開発	佐藤 翔輔	東北大学 災害科学国際研究所
10	混合研究法を用いた放射線に関する家族内リスク・コミュニケーションの検討	二本松　直人	富山大学 学術研究部人文科学系
11	災害リスクの歴史的変遷と流域治水への示唆 ～丸森町の地形・地質，災害リスクと交通路，居住地の選定に着目して～	溝口 敦子	名城大学理工学部
12	津波避難に関する行動変容促進手法の体系的整理と新たな手法の探索	福島 洋	東北大学 災害科学国際研究所
13	医療的ケア者の個別避難計画の実効性を高めるためのマルチステークホルダーによる協働モデルの開発	佐藤 健	東北大学 災害科学国際研究所
14	Memory-making as a practice of forgetting: post 3.11 Tohoku and post 1.1 Noto	Julia Gerster	IRIDeS, Tohoku University
15	「自宅の耐震化」「支援・受援」をめぐる市民の防災行動・認識の研究	中鉢 奈津子	東北大学 災害科学国際研究所
16	学校におけるリアルタイム防災情報活用モデルの構築～学校版タイムラインによる意思決定と避難行動の高度化～	桜井 愛子	神戸大学大学院 国際協力研究科
17	レジリエンス再考：フィリピン国台風ハイアンを契機としたカンカバト湾埋め立て事業の時系列分析	井内 加奈子	東北大学 災害科学国際研究所
18	アラスカ先住民コミュニティの永久凍土融解に関するリスクコミュニケーションの実践にむけて～気候変動下・北極域のSlow-onset-disaster対応～	中野 久美子	東北大学大学院 医学系研究科保健学専攻

	研究課題・研究テーマ	研究代表者	所属機関
19	Natechリスクを有する建物への再入棟行動の抑制の実現：防災マンガ教材を用いた教育デザインの開発	小柴 佑介	横浜国立大学大学院 工学研究院
20	特別支援学校における個別避難計画作成状況についての全国調査	髙橋 利恵子	東北大学 災害科学国際研究所
21	移転した被災者のQOL回復構造と定住意識を構成する心理要因に関する研究	青木 俊明	東北大学 国際文化研究科
22	聴覚障害のある同僚との交流経験による教職員の理解・行動変容―防災対策を中心に―	石川 美希	東北大学 災害科学国際研究所
23	柏尾川流域における地下文化遺産を活用した災害リスクの評価	小口 千明	東京科学大学 環境・社会理工学

3. 人流データを活用した社会動態の解明に関する研究（3-MO）

1	災害時行動解析のための複数データを組み合わせた実態解明・解析手法の開発	日比野 直彦	政策研究大学院大学 政策研究科
2	人流データ等を活用した経済被害の推定手法構築等に関する研究	森田 格	日本工営株式会社
3	Dynamic Assessment of Cascading Impacts of Flooding on Human Flows Using Big Mobility Data	Wenjing Li	LocationMind Inc.
4	人流パターン解析における可変集計単位問題の検討	塚井 誠人	広島大学大学院 先進理工系科学研究科
5	Modeling the Resilience of Urban Mobility and Transporation Networks in Extreme Weather Events: Integrating Mobile Spatial Statistics and Thermal Comfort Metrics	Sunkyung Choi	Graduate School of Science and Technology, Gunma University

災害レジリエンス共創研究プロジェクト 2025年度活動報告書

災害研ウェブサイト
>研究・実践 >災害レジリエンス共創研究プロジェクト
>2025年度 災害レジリエンス共創研究プロジェクト活動報告書に掲載
https://irides.tohoku.ac.jp/research/co-creation_project/report_2025.html

5．1．D.　災害統計グローバルセンター

2023 年度、仙台市と共同で、災害被害統計を利用した「仙台市版・仙台防災枠組中間評価」に取り組み、以降、同取り組みの国内外での横展開を目指したさまざまな活動を行っている。2025 年度は、姫路市が兵庫県立大学の支援を受けて仙台防災枠組中間評価を実施することとなり（国内で 2 つめの自治体中間評価）、それに際して助言を行った。現在は海外の他都市で同様の取り組みを実施することを検討中である。このような自治体による仙台防災中間評価の広がりについては、2027 年アジア太平洋防災閣僚会議においてインプットしたい。

12 月、災害リスク削減とデータ活用をテーマとした「Bonn Technical Forum 2025」に招聘され、災害統計を、国連防災機関が新たに開発したデルタ・レジリエンス（DELTA Resilience）を用いた災害データ追跡システムと連動させる方向性について、国連開発計画や世界気象機関の関係者らと検討を開始した。

さらに、国連防災機関と協働で、フィリピンとモザンビークを対象に、災害被害統計を用いた経済分析等に着手した。また、JICA の本邦研修で「災害被害」に関する講義を複数回行った。

（小野裕一）

5．1．E.　気仙沼分室（気仙沼サテライトオフィス）

1) 気仙沼市主催イベントの支援：「第 10 回気仙沼市防災フォーラム～市民みんなで考える防災～」×東北大学災害科学国際研究所第 38 回防災文化講演会（2026 年 1 月 21 日）」を気仙沼市と共催で実施し、市民ほか約 200 名が参加した（基調講演：栗山進一教授）。
2) 気仙沼市役所業務の支援：東日本大震災発生以降に採用された職員を対象とした「令和 7 年度震災の教訓等を伝承する職員研修」を佐藤翔輔准教授が企画立案から支援し、研修の講評や効果検証を担当した（総務部人事課、危機管理課）。また、2024 年度より「気仙沼市における自主防災組織等支援に関する共同研究」を開始し、2025 年度は気仙沼市内の自主防災活動の活性化に取り組みを行った（気仙沼市自主防災組織連絡協議会・防災研修会の企画・実施、気仙沼市地域防災リーダーKBL 対象の 3 回連続講座「KBL カレッジ」実施（28 名の KBL が登録）、防災意見交換会「松岩地区」の企画・実施ほか）。
3) 気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館の支援：同館で実施された、「ゴールデンウィークイベント（ゲーム体験）」「夏休み特別イベント（VR 体験）」「けせんぬま伝承・防災文化祭」「3．11 メモリアルイベント：第 1 部 高校生語り部卒業トークセッション、第 2 部『オール気仙沼でこれからの伝承館を考える』ディスカッション」について企画立案から協力し、イベント実施を支援した。気仙沼分室スタッフを中心に、同館に寄せられる来館者が記入した付箋（感想等）約 1 万枚のディスプレイと電子化を行った。また、同館内の語り部ガイドの活動内容について、映像アーカイブを作成した。
4) その他の支援：けせんぬま震災伝承ネットワークのアドバイザーを佐藤翔輔准教授がつとめ、語り部ガイドに対する調査研究を実施し、今後の方向性を議論する基礎資料を提供した。大谷地区幼小中公防災連携協議会会議に佐藤翔輔准教授がアドバイザーとして参画し、幼小中合同の避難訓練を支援した。
5) なお、これらの活動を通して得られた知見は、査読論文 1 編、一般論文 1 編、アクティビティレポート 1 編で発表済である。また、21 件の報道によっても発信された（地元紙、全国放送等）。

（佐藤翔輔）

5．1．F．　広報室

2025 年度も、災害研の研究・実践活動の広報・コミュニケーション活動を進め、所内の連携・調整・研究支援・データ集約等に関する業務を担った。主な活動は以下の通り。

1. ウェブサイト：本研究所ウェブサイト（日本語・英語）を管理し、アクティビティーレポート（当該年度の活動 98 件）、イベント情報等を随時掲載した。災害調査関連情報は即時掲載した。動画チャンネルで計 10 本の動画を公開した。
2. 広報誌等出版物：IRIDeS Newsletter 夏号・冬号および英語版の企画・取材・記事執筆・編集・出版を行い、本研究所の活動をタイムリーに発信した。特に冬号は「東日本大震災 15 年と私の研究」と題した特集を組み、所内研究者に対して東日本大震災が研究に与えた影響等を尋ねるアンケート調査を実施して結果を掲載したところ、反響があった。研究所のパンフレットを随時更新した。所内報「災害研だより」を毎月発行した。
3. メディア連携：日々のメディア取材依頼を専門の適する教員へ迅速につなげた。メディア関係者とコミュニケーションを取りながら平時・災害発生時ともに円滑な発信ができるようにつとめ、記事化・番組化された内容を把握・リスト化した。18 件の日本語プレスリリース（うち研究プレスリリース・研究成果報告 11 件、イベント等周知のためのリリース 7 件）、ならびに 1 件の英語リリースを実施した。
4. 年次活動報告書：所内教職員から提出されたデータを整理・集約して年次活動報告書 2024 年度版を編集・出版した。さらに、研究戦略推進室の協力を得て、2025 年度年次活動報告書より教員個人データ収集手法を、エクセル記入から researchmap データを極力活用する方向へと見直し、2025 年度版作成に向けて体制を整えた。
5. 所内重要イベントの支援：3 つの災害速報会（2025 年ミャンマー地震速報会・2025 年カムチャツカ半島付近の地震速報会・令和 7 年 12 月 8 日青森県東方沖の地震・津波に関する速報会）、ならびに「片平まつり 2025」、「東日本大震災メモリアルシンポジウム（仙台防災未来フォーラム 2026）」の運営を全面支援した。ミャンマー地震報告会は現地周辺の支援者らにも役立ててもらうため、オンラインで日本語と英語の同時通訳をつけた。
6. 訪問者対応：計 53 件の訪問案件に対応した（視察・見学依頼の調整、当日対応として本研究所の研究・実践活動紹介等）。なお、この訪問者対応件数は広報室が関与した数であり、研究所全体としてはもっと多い。
7. 常設展示検討タスクフォースへの参加：本研究所において新たな展示の作成を目指す常設展示検討タスクフォースに引き続き参加し、展示改変に向けた作業に全面協力した。
8. 「災害研 45 分ランチトーク」の継続実施

教員がゲストスピーカーとして活動を発表し、所内教職員とざっくばらんに話し合う「災害研 45 分ランチトーク」を計 10 回実施した。ランチトークの発表内容を、所内報の論文紹介記事と連動させる・所内報で再録する等なども行い、所内連携の発展につとめた。

（中鉢奈津子、今野公美子）

５．１．G.　研究戦略推進室

2025 年度に設置された研究戦略推進室では、所内のデジタルトランスフォーメーション（DX）と評価基準の刷新を主導し、組織の研究力分析および基盤整備に係る中核施策を実施した。

1)　研究力分析の高度化

SciVal・Scopus 等の分析ツールおよび部局評価データベースを活用し、第 4 期中期目標期間 4 年目評価に向けた業績分析、国内主要災害研究機関 4 機関とのベンチマーキング調査、災害科学コアリサーチクラスターの総長レビュー等に対応し、本研究所の研究力の客観的可視化と重点研究分野の推進に寄与した。

2)　researchmap 利活用教育と年次報告書作成の DX 化

新たな質的評価システムのデータ基盤として、researchmap と RefDBx を連携させる戦略を推進。教職員を対象に『研究力を伝える researchmap 活用セミナー』を企画・設計し、「論文以外の見えない努力」を学術資産として登録するための入力ノウハウを共有した。さらに広報室と連携し、年次報告書の業績データ提出方法を researchmap 出力（CSV 等）に原則一本化。二重入力を排除し、教員負担の軽減と組織全体のデータ集約効率化を実現した。

3)　災害科学における研究評価システムの戦略的再構築

論文数等の計量指標では測れない「現場の実践活動（自治体での政策提言、深刻な災害時の緊急調査、地域防災連携等）」を公式業績として正当に評価するため、エビデンスに基づく絶対評価（質的評価）へのパラダイム転換方針を策定。THE 等の国際動向調査を踏まえ、GADRI 理事会付随会議に向けた世界共通指標の提案検討にも参画した。2027 年度導入予定のタレントマネジメントシステム（カオナビ）を見据え、個人の実践的貢献を組織の KGI/KPI や仙台防災枠組と連動させる部局独自の評価フレームワーク構築への取り組みを促した。

（古屋貴司、上野史彦）

５．２．　研究・実践活動

５．２．Ａ．　特筆すべき成果

2025 年度は、3 つの災害速報会「2025 年ミャンマー地震速報会」(4 月 25 日)、「2025 年カムチャツカ半島付近の地震速報会」(9 月 4 日)、「令和 7 年 12 月 8 日青森県東方沖の地震・津波に関する速報会」(12 月 10 日)を実施し、災害発生後、災害研教員による速報的な調査結果を迅速に発信して社会ニーズに応えることができた。カムチャツカ半島付近の地震については、津波の被害予測結果を地震発生翌日に速報としてプレスリリースし、関連論文も複数出版された。令和 6 年能登半島地震については、同地震に関する複数の論文が出版され、被災地支援も引き続き実施した。

また、2025 年度の本研究所部局実績報告として、5 件を東北大学本部へ提出した(以下、筆頭報告者名の五十音順)。

（１）　災害科学における研究評価システムの戦略的再構築

上野史彦、古屋貴司、小野裕一、越村俊一

本研究所は、国内外の巨大災害の被害軽減に向けて社会の具体的な問題解決を指向する実践的防災学の礎を築くことを設立理念としている。多様な学術分野の研究者が連携し、実践的防災学の探求を通じて、災害の被害を軽減し素早く立ち直る、社会の災害レジリエンスの向上という社会課題の解決を志向する、ユニークな防災研究・実践の拠点である。多様な学術分野の研究者はそれぞれの専門分野の研究を進めるとともに、災害科学という学際的な領域での活動を通じて、研究成果の発信と普及を実践している。災害科学が、基礎研究、応用研究、社会実装、実践という多様な取り組みの結果として深化し、成果が社会に活用されることでその価値が認められるならば、災害科学の研究者の価値(評価)も、多様かつ多角的に評価されなければならない。

一方、現行の評価体系は、論文数や被引用数といった伝統的な計量書誌学的指標に重きが置かれており、社会課題の具体的解決を志向する実践的防災学の成果が既存の指標では十分に反映されにくい構造的な課題を抱えている。この状況は、日本の国立大学法人化以降に顕在化したエージェンシー問題日本の国立大学が抱える構造的課題として議論されており、国が求める「選択と集中」、大学が目指す「エクセレンシー」、そして本研究所の研究者が追求する「災害科学」と「実践的な防災活動」という三者の目標が、必ずしも同期していない現状がある。

この現状と課題に対して、本研究所の URA 教員が中心となり「災害科学における研究評価システムの戦略的再構築」と題した論考を執筆し、所内の教員に共有することで、この多層的な課題に対して災害研独自の KGI・KPI 体系の策定、エビデンスの明確化、仙台防災枠組との戦略的連携、そして世界の災害科学アカデミアのネットワークを活用した国際標準の提案という四つの柱を軸とした解決策の可能性を議論した。これらの施策が、本研究所が既存の指標で「評価される側」から、新たな価値基準を「提案する側」へと転換し、真の「世界の災害科学の研究拠点」としての地位を確立するための戦略的な道筋を共有することができた。

この取り組みは、学内外でも注目された。世界の災害科学の研究所のアライアンス GADRI (Global Alliance of Disaster Research Institutes) の理事会で報告したところ高い評価を得て、国際的な議論へ発展させることができた。

（２）　文化遺産防災マップを活用した文化財防災訓練

蝦名裕一

災害文化アーカイブ研究分野では、災害発生時における文化遺産の救済活動の効率化に貢献するため、文化遺産の位置情報と災害情報を重ね合わせて文化遺産の災害リスクを可視化する文化遺産防災マップを開発している。また、同システムを活用して防災訓練とこれを通じた文化遺産防災に関する広域連携体制の構築を提唱している。

2025 年 2 月 4 日、愛知県文化芸術課が主催となって愛知県下の各自治体の文化財関連機関による愛知県文化財防災ネットワーク会議が設立された。これにあたり、現在本研究所で開発している文化遺産防災マップを活用し、愛知県の市町村における文化財関係者や東海資料ネットなどの文化遺産保全関係団体が参加した文化遺産

防災訓練が実施された。訓練では、本研究所准教授蝦名より文化遺産防災マップの開発経緯と同システムの技術指導や災害時における活用に関する講演をおこなった。訓練では愛知県内で大規模な水害が発生したことを想定し、甚大な被害が発生したと想定される自治体における被災文化財レスキューの計画に加え、周辺自治体がどのような支援体制を構築するかについて、文化遺産防災マップで可視化した文化遺産の被害想定にもとづいてシミュレーションが実施された。愛知県では、かねてより南海トラフ地震による大きな被害が予測されていることもあり、大変熱意のある防災訓練の実施となった。また、文化遺産防災マップについても、データの更新や現場での活用を念頭にした文化遺産防災マップの改良案について、多くの意見が寄せられた。

本年度の成果により、本研究所で開発した文化遺産防災マップが都道府県単位での文化遺産防災訓練において十分に活用が可能な段階となっていることが確認できた。今後、他の自治体における同様の文化遺産防災訓練、さらにはこれを包摂した災害発生前の広域的な文化遺産防災体制の構築にむけたモデルケースであると評価できる。





（３）　災害デジタルツインの進展

越村俊一、マス・エリック、アドリアノ・ブルーノ、ヴェスコボ・ルベン、
ウェイ・ユアン、永田彰平、太田雄策（理学研究科）

環境・社会動態のセンシング手法の高度化、モニタリングデータの大規模化とリアルタイム流通、計算機性能・シミュレーション手法の高度化、機械学習を核とするデータ駆動科学の進展を背景に、災害科学にデジタルツインの方法論を先駆的に導入し、「災害デジタルツイン」として提唱し、その学理の確立と深化に取り組んでいる。特に顕著な業績として以下を列挙する。

●先進性・独自性：　土木学会海岸工学委員会の下に「海岸・海洋デジタルツイン小委員会」（委員長：越村俊一）を設置し、海岸・海洋分野における学術を先導している。2025 年度セコム科学技術振興財団の研究助成金を獲得した（2025～2027 年度）。デジタルツインの研究開発は、SIP（戦略的イノベーション創造プログラム）での「津波災害デジタルツイン」（2023～2027 年度）、JST SICORP（日米共同研究）での「人間中心のデジタルツイン」（2024～2026 年度）など、複数の大型研究資金を獲得している。

2025 年度から宮城県との共同研究が開始され、デジタルツイン技術を活用した災害医療の検証を行っている。

●成果の顕著性：2025 年度に出版した 2 編の論文の被引用数が Top1%、Top10%を記録している（2026 年 4 月 20 日時点、Scopus）。

●第三者評価：SIP（戦略的イノベーション創造プログラム）での「津波災害デジタルツイン」の研究開発の中間評価（ステージゲート）で、極めて高い評価を得た。2024 年に出版した国際共著論文（Aoki et al., 2024）が米国土木学会（ASCE）の論文賞 Arthur M. Wellington Prize を受賞した。この賞は米国土木学会の幅広い分野出版された論文に対して贈られるものであり、土木工学への高い貢献が認められる。

●社会的注目度・貢献度：大学発スタートアップ RTi-cast によるリアルタイム津波浸水被害予測システム（内閣府総合防災情報システム）が、我が国の外洋に面するすべての海岸を予測対象とすることができた。民間事業者として初の津波予報業務許可を 2024 年度（高知県）に受けたが、2025 年度には新たに宮城県、徳島県の 2 県の予報許可を得ることができた。

国際展開としては、津波リスクの高い諸外国（インドネシア、フィリピン、ペルー）の大臣級への提案を実現したことに加え、2025 年度内閣府の防災技術の海外展開に関する調査実証事業に採択され、エクアドルでの実証実験を行うなど、リアルタイム津波浸水被害予測システムの国際展開に向けた重要な進展があった。

・Top 1%論文: Changqing Liu, Han Bao, Tianyi Wang, Jingfeng Zhang, Hengxing Lan, Shengwen Qi, Wei Yuan, Shunichi Koshimura, Intelligent characterization of discontinuities and heterogeneity evaluation of potential hazard sources in high-steep rock slope by TLS-UAV technology, Journal of Rock Mechanics and Geotechnical Engineering, 18 (1), 509-527, 2026. https://doi.org/10.1016/j.jrmge.2025.03.023.

・Top 10%論文: Koki Aoki, Mitsuyoshi Akiyama, Abdul Kadir Alhamid, Dan M. Frangopol, Shunichi Koshimura, Resilience-based estimation of the disaster waste disposal time considering interdependencies between waste disposal and road network systems under seismic and tsunami hazards in coastal communities, Reliability Engineering & System Safety, 262, 111242, 2025. https://doi.org/10.1016/j.ress.2025.111242.
・Koki Aoki, Mitsuyoshi Akiyama, Abdul Kadir Alhamid, Dan M. Frangopol, Shunichi Koshimura, Probabilistic Connectivity Assessment of Road Networks Subjected to Ground Motion and Tsunamis Considering the Spatial Correlations among Hazard Intensities, Journal of Bridge Engineering, 29(8), 2024. https://doi.org/10.1061/JBENF2.BEENG-661

（４）　千島海溝沿いで超巨大地震の再来が切迫している可能性を示唆

富田史章、木戸元之、太田雄策（理学研究科）、日野亮太（理学研究科）

北海道沖の千島海溝沿いでは、太平洋プレートが年間約 8cm の速度で陸側のプレートの下に沈み込んでいる。この地域では 17 世紀に Mw 8.8 級の超巨大地震（17 世紀のイベント）が発生したことが津波堆積物調査から知られており（図1の破線の矩形断層）、17 世紀以前にも約 400 年の再来間隔で繰り返し発生してきたと考えられている。しかし、実際にプレート境界型地震が発生した際に、それが巨大津波を引き起こすか否かを左右する、海溝近傍でのプレート間の運動学的な固着（すべり欠損）が生じているかどうかを判別できる観測は存在しなかった。すべり欠損の有無は、測地観測による地表面の動きから推定することが可能だが、陸域の測地観測網（GNSS 観測など）では海溝から遠いため、海溝近傍のすべり欠損の有無を推定することは困難であった。また、北海道沖の千島海溝近傍は地震活動が低調な「地震空白域」であることが知られていたが、こうした地震空白域はプレート間の固着が極めて弱い可能性と極めて強い可能性の両極端なシナリオで生じることが指摘されており、地震活動からも海溝近傍の固着状態を推し量ることは困難であった。そのため、海溝近傍でのすべり欠損の有無を明らかにするには海底測地観測による海域での調査が必須であった。

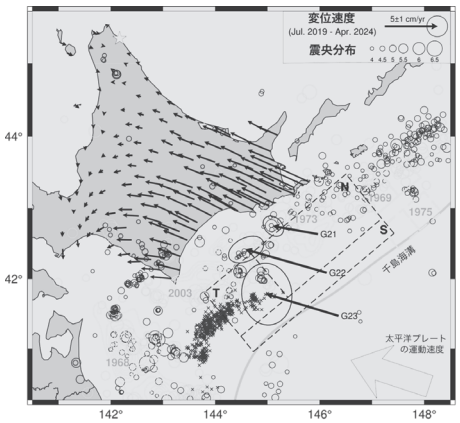
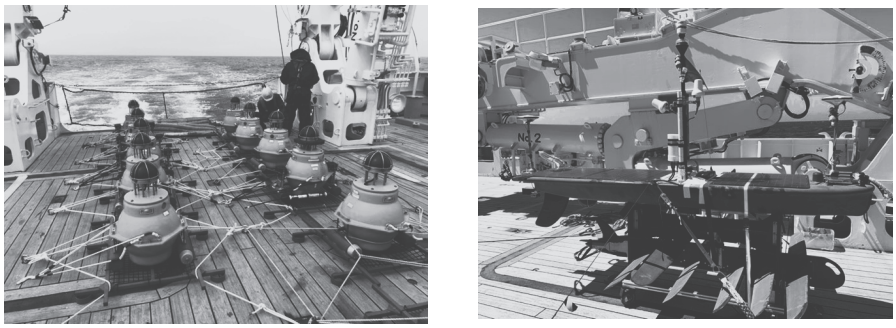


図 1. 北海道沖での過去の地震活動、および現在の地表面変位速度

そこで東北大学では、北海道大学・海洋研究開発機構と共同して 2019 年から同海域で GNSS-音響結合方式による海底地殻変動観測の基準点を設置し、毎年観測を継続してきた。海底地殻変動観測は成果が出るまでに数年以上の観測期間を要することが一般的で、2019 年から蓄積されてきたデータを、東北大学災害科学国際研究所の富田史章助教が中心となり解析を進めた結果、海溝近傍の陸側のプレート上、および太平洋プレート上の海底測地観測点（それぞれ G22、G23 観測点）が沈み込み速度と同程度である年間約 8 cm の速度で西北西に変位していることが明らかとなった（図1の海域の矢印）。これらの観測事実により、海溝軸付近では強いプレート間固着によるすべり欠損が生じていることが確かめられ、それによる 17 世紀の地震以降のすべり欠損量は 20.5～30.0m に達し、17 世紀の地震と同程度（Mw8.8）の巨大地震を起こすだけのひずみが既に蓄積している可能性を示唆した。


図 2. 北海道沖の海底観測点に設置した音響測距装置（左）と GNSS-A 観測に用いたウェーブグライダー（右）

この成果は Communications Earth & Environment （IF=9.5）に発表された（https://doi.org/10.1038/s43247-026-03297-2）。プレスリリース（https://www.tohoku.ac.jp/japanese/2026/02/press20260218-01-seafloor.html）後は、多くのマスコミから取材を受け、科学的にも社会的にも大きなインパクトを与えた。

（５）　シミュレーションと観測網を融合した都市の地震被害評価デジタルツインシステム“SAMRRAi”の開発と２つの実都市（仙台・バンコク）での技術展開

寺田賢二郎、森口周二、野村怜佳、スクンタナソーン ナルテープ、大野晋、江川新一、櫻庭雅明、野島和也

災害科学国際研究所日本工営レジリエントシティー技術実装共同研究部門は、都市の地震被害評価デジタルツインシステム“SAMRRAi (Seismic Assessment and Monitoring system for Real-time Risk Analysis)”を開発し、長町－利府線断層帯の地震による仙台市青葉区の一部（建物数約３万２千棟）やタイ・バンコクを対象とした実証研究の展開を行った。SAMRRAi は、シミュレーションと地震計観測網を融合し、地震発生時に都市全体の建物被害を即時的に予測可能なデジタルツインプラットフォームである（図 1）。長町－利府断層帯をはじめとする活断層は、都市圏にとって大きな脅威となる巨大地震発生のリスクを抱えている。こうした直下型地震は、建物被害などの直接的被害に加え、帰宅困難者の発生や避難の長期化、経済停滞やブラックアウトなど、間接的・2次的な被害を招きうる。このような都市域の地震被害を低減・最小化・早期復旧するためには、地震発生直後に都市レベルの俯瞰的なスケールで被害を把握・評価可能な技術が必要である。

こうしたニーズから日本工営レジリエントシティー技術実装共同研究部門では、部門が設立された 2022 年 4 月から、医学・地震工学・計算工学を専門とする災害科学国際研究所内の教員と特任教員（客員）（日本工営（株）中央研究所・所員）がその知を集結して、地震災害に対してレジリエントな都市の構築に寄与するデジタルツインモデル SAMRRAi の開発に取り組んできた。SAMRRAi は、対象となる都市全体に関する地震シミュレーションを事前（地震発生前）に実施し、その結果を分析することで得られる都市における建物被害の空間特性を保存することで構築される。実際に地震が発生すると、SAMRRAi 内に保存されている建物被害の空間特性と、フィジカル空間（現実空間、図 1 右下）から得られる建物振動の観測データを組み合わせることで、都市全体の地震被害が即時的にデジタル空間上（仮想空間、図 1 右上）に可視化される。構造物全体の被害評価に加え、天井や内壁などの建物内部（非構造部材）の被害についても評価可能であることから、地震発生直後の被害状況把握に加え、避難所運営や各種医療機関・避難所運営など復旧の過程における事業継続計画にも利用が期待される。

デジタルツインシステムは、元来航空・宇宙開発のために発案された概念であるが、近年では様々な分野への技術応用が進んでいる。一方、本取組で提案した SAMRRAi のように、都市防災に特化したデジタルツインの開発・実証実験は世界的に見ても例がない。また、日本工営株式会社との共同研究として、社会実装も視野に入れた展開が進められていることから、社会との共創・産学連携によるイノベーション創出事例としての価値が非常に高い。事実、SAMRRAi は正式なリリース以前の実証実験の段階から、プレスリリース記事（日本工営株式会社・東北大学双方）への掲載や、テレビ番組での放映（NHK World “BOSAI: Science that Can Save Your Life Sendai Metropolis”、2025 年 3 月 29 日放送）、大手新聞社への掲載（日経産業新聞 2023 年 3 月 10 日）など、大きな注目を浴びてきた。これまでにも大きな成果を上げてきた継続的な取り組みであることに加え、東北大学の所在する仙台市青葉区、そしてミャンマー中部地震で高層ビル倒壊等の大きな建物被害のあったバンコク（タイ）の双方を対象とした実証実験を展開したことから、災害科学国際研究所の掲げるミッションの１つであるグローバル・ローカル双方での防災取組としても価値あるものである。

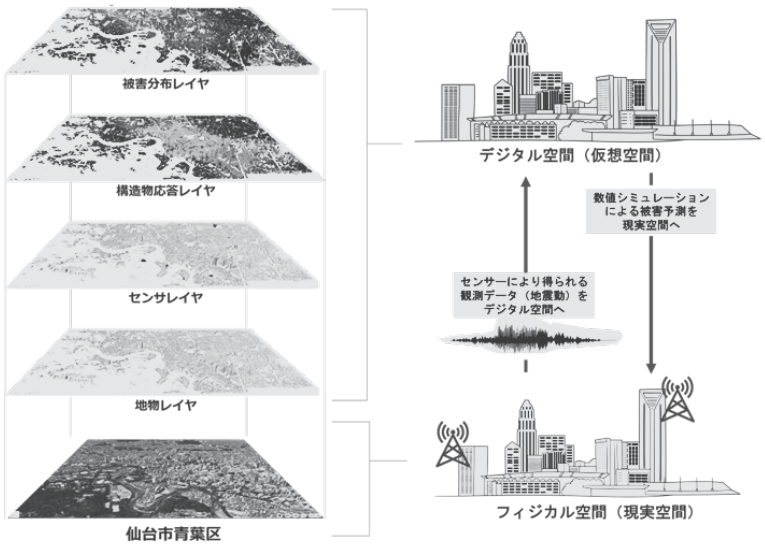


図 1. シミュレーションと観測網を融合した都市の地震被害評価デジタルツインシステム“SAMRRAi”の概要（仙台市を対象とした実証実験での例）

５．２．B．アクティビティーレポート一覧

2025.4～2026.3 実施分

実施日	タイトル
2025/4/10	台湾の学校防災関係者とセミナー、学校視察を開催しました
2025/4/12	Most Citation Award 2024を受賞しました
2025/4/15	IRIDeS faculty members visited Bangkok to investigate building damages and other impacts and responses caused by the 2025 Myanmar earthquake
2025/4/15	Monash大学主催の仙台防災枠組締結10周年記念パネルディスカッションで講演を行い、その模様が公開されました
2025/4/25	2025年ミャンマー地震に関する速報会を開催しました
2025/5/2	第 23 回世界災害救急医学会 WADEM2025 Tokyo を企画、登壇しました
2025/5/17	An IRIDeS faculty member visited Bangkok for courtesy visits, an alumni event and the 2025 Myanmar earthquake-related activities
2025/5/19	大阪・関西万博で復興庁展示のオープニングセレモニーに参加しました
2025/5/20	大阪・関西万博 対話プログラムにて災害大国日本の経験と未来への提言を発信しました
2025/5/31	「コンダクター型災害保健医療人材の養成プログラム」急性期活動実習（第３回宮城BHELP標準コース+第１回宮城BHELPインストラクターコース）を実施しました
2025/6/2	国連防災グローバル・プラットフォーム（GPDRR 2025）に参加、登壇しました
2025/6/3	IRIDeS faculty members visited Thailand for the 2025 Myanmar earthquake field survey and strengthened international collaboration
2025/6/11	宮城県の総合防災訓練に津波災害デジタルツインの実証実験等で参加しました
2025/6/14	2025 Multicultural Disaster Risk Reduction Workshop and Treasure Hunt (DRRT)
2025/6/18	正修科技大学にてセミナーを開催し、国立科学工芸博物館を訪問しました
2025/6/18	Joint seminar conducted at Cheng Shiu University and an official visit to the National Science and Technology Museum (NSTM), Kaohsiung City, Taiwan
2025/6/24	東北大学理工系サマープログラムの授業を行いました
2025/6/24	Lecture for the Tohoku University STEM Summer Program
2025/7/11	東北大学グリーン未来創造機構シンポジウム&BOSAI人材育成プログラムを開催しました
2025/7/14	IRIDeS co-organized a technical workshop and made field investigation with Thai governmental agencies
2025/7/21	聖光塾 特別編@東北大学東京オフィスを開催しました
2025/7/25	-第90回IRIDeSオープンフォーラム- 2024年度 災害レジリエンス共創研究報告会を開催しました
2025/7/28	IRIDeS members attended the 22nd Annual Meeting AOGS2025
2025/7/28	防災コンソーシアムCORE第３回全体会で特別講演をしました
2025/7/29	第10回APRUマルチハザードサマースクールを開催しました
2025/8/6	札幌市議会・DX推進調査特別委員会が当研究所を視察されました
2025/8/7	Chulabhorn Royal Academy主催の第2回災害救急医療マネジメント会議で基調講演を行いました
2025/8/20	AIWEST-DR 2025に参加しました
2025/8/20	AIWEST-DR 2025 Conference Report
2025/8/24	令和7年度宮城県災害薬事コーディネート研修会を実施しました
2025/8/25	東北大学・福島大学生による福島復興まちづくりワークショップを主催しました
2025/8/28	Xross Innovation BOSAIキックオフミーティングに参加しました
2025/9/6	「ぼうさいこくたい2025」で、セッション「防災にもどこか『好き』と思えるポイントを見つけよう！」を開催しました
2025/9/6	令和7年度大規模地震時医療活動訓練を視察・参加しました
2025/9/7	ぼうさいさくたい2025 in新潟での防災・減災ワークショップ
2025/9/8	DBJ防災トランスフォーメーションフォーラムに参加しました
2025/9/10	The IRIDeS faculty member visited Ambon City, Indonesia to conduct international joint research under the SATREPS project
2025/9/19	防災教育実践学分野の大学院学生が「令和7年度日本自然災害学会学術奨励賞受賞」を受賞しました
2025/9/25	いわき市で福祉避難所における水素燃料電池車両を使用した電力供給の実証実験を実施しました
2025/10/1	仙台市×東北大学スマートフロンティア協議会「まちのレジリエンス分科会」開催しました
2025/10/1	大同火災海上保険株式会社の役員・代理店等から８名が災害科学国際研究所を来訪しました
2025/10/2	『中国 ＜世界を知るための地誌学＞シリーズ』を執筆、出版しました
2025/10/3	BOSAI人材育成プログラムin双葉&富岡を開催しました

実施日	タイトル
2025/10/11	片平まつり2025に参加し、災害科学国際研究所企画「答えてみよう！聞いてみよう！実験やゲームで学ぶ災害の科学」を実施しました
2025/10/18	IRIDeS faculty member was invited by UNDP to instruct Thai journalists about earthquakes and tsunamis for journalism for inclusive disaster resilience
2025/10/26	日本放射線影響学会第68回大会/第6回アジア放射線研究会議 The award of the excellent presentationを受賞しました
2025/10/31	日本地理学の2024年学界展望（自然環境・災害分野）を執筆しました
2025/11/5	第7回「復興デザイン研究賞」奨励研究賞を受賞しました
2025/11/9	日本リスク学会年次大会で企画セッションを開催し、講演しました
2025/11/14	CDRI、UNU-EHSによる山岳地域の災害レジリエンスに関するグローバルレポートの刊行に協力しました
2025/11/15	いわき市総合防災訓練において小型モビリティを用いた津波避難訓練を行いました
2025/11/17	シンポジウム「国際卓越研究大学としてのSOKAPが描く未来社会像の構想」で講演しました
2025/11/18	第3回ASEAN Academic Conference for Disaster Health Managementで基調講演を行いました
2025/11/19	令和7年度「未来へつなぐ学校と地域の安全フォーラム」を開催しました
2025/11/25	WHOウェビナーシリーズRisk-informed governanceで基調講演を行いました
2025/11/26	「令和7年度女性防災リーダー交流セミナー」を開催しました
2025/11/26	DEI Lounge EVENT 聴覚障害のバリアをこえて、つながろうーLet's enjoy communication!が開催され、セミナー・ワークショップを行いました
2025/12/10	令和7年12月8日 青森県東方沖の地震・津波に関する速報会を開催しました
2025/12/13	「令和7年度みやぎ防災ジュニアリーダー養成研修会」 を開催しました
2025/12/19	宮城県多賀城高等学校SSH公開事業「SS先端研究講話」で講義を行いました
2025/12/20	「新しい東北」東北３県・石川県合同セミナーに登壇しました
2025/12/26	JDR AWARD FOR THE MOST DOWNLOADED ARTICLE 2025を受賞しました
2026/1/16	「令和7年度石巻市第4回防災主任研修会兼学校安全対策研修会」で講評しました
2026/1/20	当研究所教職員を対象としたAED使用講習会（第8回）を実施しました
2026/1/21	令和7年度第10回気仙沼市防災フォーラム 兼 東北大学災害科学国際研究所第 38 回防災文化講演会を開催しました
2026/1/22	「地震津波リスク評価（東京海上日動）寄附研究部門」および「日本工営レジリエントシティー技術実装共同研究部門」の合同報告会を開催しました
2026/1/24	「コンダクター型災害保健医療人材の養成プログラム」宮城県医療救護活動従事者研修会を実施しました
2026/1/27	「令和7年度石巻市復興・防災マップコンクール表彰式」で災害科学国際研究所特別賞を授与しました
2026/1/31	防災・減災×サスティナビリティ大賞（奨励賞）を受賞しました
2026/2/3	Field Visit among People with Disabilities within the Indonesian Areas Affected Cyclone Senyar in Aceh Province, Indonesia
2026/2/3	インドネシア・アチェ州におけるサイクロン・センヤール被災地域内の障がい者対象現地調査をしました
2026/2/4	愛知県文化財防災ネットワーク会議において文化遺産防災マップに関する講演と文化財防災訓練を実施しました
2026/2/5	令和7年度第2回DMATコーディネーター研修に参加しました
2026/2/7	市民向け講座「『仙台誕生』からの災害とまちづくり」で講師を務めました
2026/2/11	「港区親子防災体験 ぼうさいワクワクステージ」を開催しました
2026/2/13	東日本大震災15年 復興・創生シンポジウム「他人事から自分事へー東日本大震災から15 年、迫りくる巨大地震に私ができることー」を開催しました
2026/2/18	第3回イオンSATOYAMAフォーラムに参加しました
2026/2/21	MASP DEMODAY 2026に登壇しました
2026/2/27	シンポジウム「能登らしい暮らし・文化の復興の現局面と次のフェーズを考える～令和６年能登半島地震から２年にあたって～」を開催しました
2026/2/27	防災と保健の融合に関するセミナー「保健師がつなぐ地域と防災」を開催しました
2026/3/5	東京海上日動の防災イベントに参加しました
2026/3/5	「令和７年度セーフティプロモーションスクール（SPS）推進員養成セミナー」に参加しました
2026/3/6	ボローニャ大学・当研究所主催 ウィンタースクール「防災と気候変動：日本とイタリアにおける災害リスク軽減に向けた災害経験からの学び」に参画しました
2026/3/6	University of Bologna-IRIDeS Winter School on "Bōsai and climate change: Learning from disaster experiences for disaster risk reduction in Japan and Italy" held at IRIDeS
2026/3/7	「いつものもしもCARAVAN」に参加しました
2026/3/7	「かたりつぎ～朗読と音楽のとき～ in いわき」を開催しました
2026/3/13	第27回「環境放射能」研究会にて奨励賞を受賞しました

実施日	タイトル
2026/3/14	東日本大震災メモリアルシンポジウム 2026「東日本大震災 15 年：いま語るべきこと、伝えるべきこと、そしてこれから」を開催しました
2026/3/14	仙台防災未来フォーラム2026でイオン防災環境都市創生共同研究部門の展示を行いました
2026/3/14	仙台防災未来フォーラム2026にて地震津波リスク評価 （東京海上日動） 寄附研究部門のブース展示を実施しました
2026/3/14	仙台防災未来フォーラム2026において、災害レジリエンス共創センターシンポジウム「災害レジリエンス共創にむけたデジタル・トランスフォーメーション」を開催しました
2026/3/14	日本体育・スポーツ経営学会第49回大会で基調講演を行い、シンポジウムにも登壇しました
2026/3/15	日本災害情報学会にて優秀発表賞を受賞しました
2026/3/16	防災教育における課題についてワークショップと現地調査に参画しました
2026/3/16	The “Challenges in Disaster Education Workshop” was held at IRIDeS
2026/3/18	Xross Innovation BOSAI第2回交流イベントに参加しました
2026/3/19	第31回日本災害医学会総会・学術集会に参加しました
2026/3/21	「東日本大震災から 15 年とこれからの Bosai」を開催しました

災害研ウェブサイト > 資料･データベース > 出版物･報告書等 に掲載

2025年4月～2025年9月実施分
https://irides.tohoku.ac.jp/media/files/ActivityReport2025-1.pdf

2025年10月～2026年3月実施分
https://irides.tohoku.ac.jp/media/files/ActivityReport2025-2.pdf

areport25a

2025.4～2025.9 実施分

areport25b

2025.10～2026.3 実施分

5. 2. C. イベントフライヤー等

2025.5.22　東北大学災害科学国際研究所
第 32 回東北大学災害科学研究拠点セミナー
第 45 回「災害と健康」学際研究推進セミナー
第 12 回ヒューマンレジリエンス重点領域セミナー



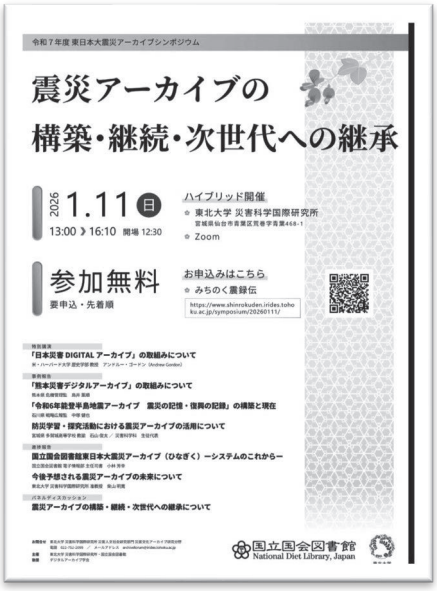
2025.6.14　防災を学ぶ宝探しゲーム



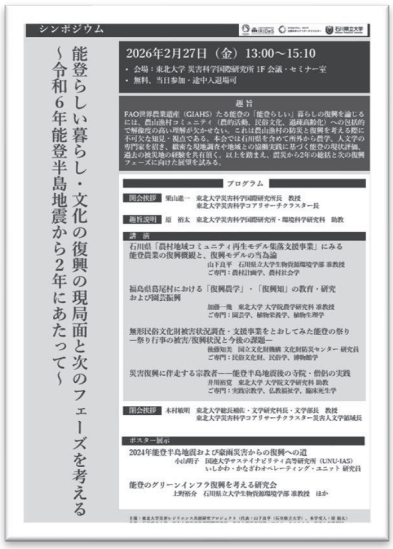
2025.9.25　東北大学災害科学国際研究所
第 33 回東北大学災害科学研究拠点セミナー
第 46 回「災害と健康」学際研究推進セミナー
第 13 回ヒューマンレジリエンス重点領域セミナー



2026.1.11　令和 7 年度東日本大震災アーカイブシンポジウム



2026.2.27　シンポジウム
「能登らしい暮らし・文化の復興の現局面と次のフェーズを考える」



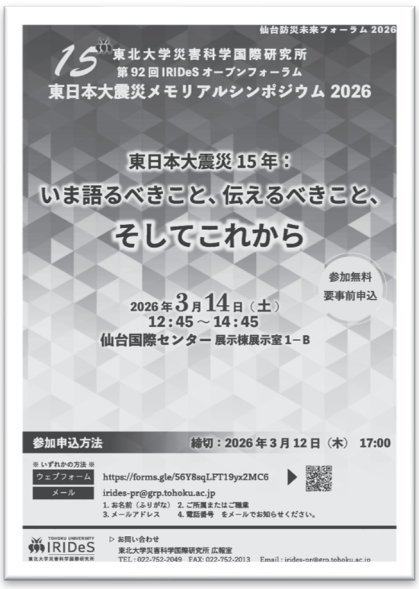
2026.2.27　防災と保健の融合に関するセミナー



2026.3.7　かたりつぎ



2026.3.14　東日本大震災メモリアルシンポジウム



5. 3.　研究・実践活動　データ集

以下、論文、書籍等出版物、MISC、講演・口頭発表等、産業財産権、受賞、委員については、当該年度対象者のresearchmap公開データに基づく。

5. 3. A. 研究・実践活動　集計データ一覧

項目	
個人調書提出者数	**81**

学術論文		
総数		**361**
言語	日本語	78
	英語	283
査読	査読あり	301
	査読なし	56
	記載なし（不明）	4

書籍等出版物		
総件数		**28**
国内国際	国内（日本語）	15
	国際（英語）	12
	その他（日本語および英語）	1

MISC	
総数	**142**

講演・口頭発表等	
総数	**595**
口頭発表（一般）	224
口頭発表（招待・特別）	34
口頭発表（基調）	22
ポスター発表	83
シンポジウム・ワークショップ パネル（公募）	9
シンポジウム・ワークショップ パネル（指名）	34
公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等	109
メディア報道等	1
その他	19
種別記載なし	60

学会の主催・共催・運営		
総数		**26**
国内国際	国内	15
	国際	11
種別	シンポジウム	11
	講演会	3
	セミナー	3
	ワークショップ	2
	研究会	2
	その他	4
	記載なし	1

学会以外のイベントの主催・共催・運営		
総数		**122**
国内国際	国内	92
	国際	30
種別	シンポジウム	24
	講演会	9
	セミナー	34
	ワークショップ	30
	研究会	6
	その他	19
関与形態	IRIDeS主催・共同主催	40
	IRIDeS共催	26
	IRIDeS後援・名義後援	4
	IRIDeS協力	5
	IRIDeS協賛・資金提供	3
	その他の機関の主催	34
	その他	2
	記載なし	8

産業財産権	
総数	**2**

受賞（学生のみのものは別途6章に記載）	
総数	**15**
個人	7
グループ	8

委員	
総数	**360**
政府	50
自治体	104
学協会	103
その他	35
記載なし	68

5. 3. B. 論文

（出版日順）

タイトル	著者	出版年月	誌名	巻	号	開始ページ	終了ページ	査読	掲載種別	DOI
AISFuser: Encoding Maritime Graphical Representations With Temporal Attribute Modeling for Vessel Trajectory Prediction	Zhiwen Zhang,Wei Yuan,Zipei Fan,Xuan Song,Ryosuke Shibasaki	2025	IEEE Transactions on Knowledge and Data Engineering					有	研究論文（学術雑誌）	10.1109/TKDE.2025.3531770
Genome-Wide Association Study of Intraocular Pressure in Population-Based Cohorts in Japan: The Tohoku Medical Megabank Organization Eye Study.	Nobuo Fuse,Hayato Anzawa,Miyuki Sakurai,Ikuko N Motoike,Satoshi Nagaie,Tomohiro Nakamura,Akiko Miyazawa,Eiichi N Kodama,Masatsugu Orui,Yohei Hamanaka,Tomoko Kobayashi,Akira Uruno,Makiko Taira,Ritsuko Shimizu,Naoki Nakaya,Mami Ishikuro,Taku Obara,Fuji Nagami,Soichi Ogishima,Fumiki Katsuoka,Kazuki Kumada,Shinichi Kuriyama,Atsushi Hozawa,Yoko Izumi,Kengo Kinoshita,Masayuki Yamamoto	2025	Ophthalmology science	5	5	100821	100821	有	研究論文（学術雑誌）	10.1016/j.xops.2025.100821
有事を想定した被災前後 SAR 画像を用いた深層学習による土砂崩れ域の推定手法の検討	大平 尚輝 , Adriano, B., 郷右近 英臣 , 三浦 弘之 , Mas, E., & 越村 俊一	2025	土木学会全国大会年次学術講演会 (Web)	80th				なし	学会（ポスター）	
Has the impact of cigarette smoking on mortality been underestimated by overlooking second-hand smoke? Tohoku medical megabank community-based cohort study.	Masato Takase,Naoki Nakaya,Kozo Tanno,Mana Kogure,Rieko Hatanaka,Kumi Nakaya,Ippei Chiba,Sayuri Tokioka,Kotaro Nochioka,Takahiro Tabuchi,Taku Obara,Mami Ishikuro,Yuka Kotozaki,Akira Uruno,Tomoko Kobayashi,Eiichi N Kodama,Yohei Hamanaka,Masatsugu Orui,Soichi Ogishima,Satoshi Nagaie,Takahito Nasu,Hideki Ohmomo,Nobuo Fuse,Junichi Sugawara,Shinichi Kuriyama,Yoko Izumi,Atsushi Hozawa	2025/4	BMJ public health	3	1	e001746		有	研究論文（学術雑誌）	10.1136/bmjph-2024-001746
Enhancing coastal community preparedness: The role of education, experience, and exposure to information	Rina Suryani Oktari,Hizir Sofyan,Alfy Hidayati,Randy Rolanda,Syamsidik,Ferad Puturuhu,Daisuke Sasaki	2025/4	Progress in Disaster Science	26		100429	100429	有	研究論文（学術雑誌）	10.1016/j.pdisas.2025.100429
Indonesia Disaster Education Repository House (IN-DEPTH) as a knowledge management system platform for disaster education	Nasliati,Mizan Bustanul Fuady Bisri,Daisuke Sasaki,Rina Suryani Oktari	2025/4	International Journal of Disaster Risk Reduction	123		105502	105502	有	研究論文（学術雑誌）	10.1016/j.ijdrr.2025.105502
SAR Images Change Detection Based on Attention Mechanism-Convolutional Wavelet Neural Network	Jiahui E,Lu Wang,Chunhui Zhao,P. Takis Mathiopoulos,Tomoaki Ohtsuki,Fumiyuki Adachi	2025/4	IEEE Journal of Selected Topics in Applied Earth Observations and Remote Sensing	18		1	16	有	研究論文（学術雑誌）	10.1109/jstars.2025.3557434
Three decades of population health changes in Japan, 1990–2021: a subnational analysis for the Global Burden of Disease Study 2021	Shuhei Nomura,Michio Murakami,Santosh Kumar Rauniyar,Naoki Kondo,Takahiro Tabuchi,Haruka Sakamoto,Yasuharu Tokuda,Nishali Patel,Jose Navarro de Pablo,Joseph L Dieleman,Angela Y Chang,Vegard Skirbekk,Sarah K Abe,Norito Kawakami,Erika Ota,Scott D Glenn,Chimedsuren Ochir,Hiroaki Miyata,Manami Inoue,Kenji Shibuya,Isaac Yeboah Addo,Mohammed Ahmed Akkaif,Syed Mahfuz Al Hasan,Waad Ali,Mohammad Al-Warda,Hany Aly,Anayochukwu Edward,Anyasodor Jalal Arabloo,Ahmed Y. Azzam,Kavita Batra,Sonu Bhaskar,Samuel Adolf Bosoka,Ester Cerin,Vijay Kumar Chattu,Dong-Woo Choi,Bryan Chong,Samuel Demissie Darcho,Nicole Davis Weaver,Kuldeep Dhama,Robert Kokou Dowou,Temitope Cyrus Ekundayo,Ibrahim Faraha,El Bayoumy,Pietro Ferrara,Nuno Ferreira,Takeshi Fukumoto,Xiang Gao,Samer Hamidi,Simon I Hay,Yuta Hiraike,Mehdi Hosseinzadeh,Nayu Ikeda,Arit Inok,Md. Rabiul Islam,Masao Iwagami,Ammar Abdulrahman Jairoun,Mihajlo Jakovljevic,Inn Kynn Khaing,Mohammad Jobair Khan,Atulya Aman Khosla,Tea Lallukka,Thao Thi Thu Le,Munjae Lee,Seung Won Lee,Wei-Chen Lee,Raimundas Lunevicius,Medha Mathur,Hadush Negash Meles,Mohammadreza Mobayen,Jama Mohamed,Abdollah Mohammadian-Hafshejani,Yanjinlkham Munkhsaikhan,Christopher J L Murray,Ganesh R Naik,Samidi Nirasha,Kumari Navaratna,Phuong The Nguyen,Dieta Nurrika,Bogdan Oancea,Michael Safo Oduro,Takayoshi Ohkubo,Osaretin Christabel Okonji,Sok King Ong,Mahesh Padukudru P A.,Jagadish Rao Padubidri,Romil R Parikh,Sungchul Park,Mahmoud Mohammed Ramadan,Shakthi Kumaran Ramasamy,Sheena Ramazanu,Elrashdy M.,Moustafa Mohamed Redwan,Taeho Gregory Rhee,Cameron John Sabe,Vijaya Paul Samuel,Jennifer Saulam,Mohammad Ali Shamshirgaran,Premalatha K Shetty,Mika Shigematsu,Aminu Shittu,Emmanuel Edwar Siddig,Zhong Sun,Chandan Kumar Swain,Ruri Syailendrawati,Sree Sudha T Y.,Jabeen Taiba,Masayuki Teramoto,Ngoc Ha Tran,Nguyen Tran Minh Duc,Dominique Vervoor,Muhammad Waqas,Kazumasa Yamagishi,Yuichiro Yano,Yuichi Yasufuku,Dong Keon Yon,Naohiro Yonemoto,Iman Zare,Zhiqiang Zhang,Hanqing Zhao,Claire Chenwen Zhong,Mohsen Naghavi	2025/4	Lancet Public Health	10	4	e321	e332	有	研究論文（学術雑誌）	10.1016/S2468-2667(25)00044-1
Tsunami evacuation risk change associated with urban recovery in Banda Aceh after 2004 Aceh tsunami	Osamu Murao,Mizuki Sato,Kazuya Sugiyasu,Hiroyuki Miura,Mufidatun Khoiriyah,Ryo Saito,Muzailin Affan	2025/4	International Journal of Disaster Risk Reduction	121		105400	105400	有	研究論文（学術雑誌）	10.1016/j.ijdrr.2025.105400
Using a Digital Archive for Teaching and Research	Sébastien Penmellen Boret,Julia Gerster,Andrew Gordon,Ryo Morimoto,Keiichi Sato	2025/4	Asia-Pacific Journal, Japan Focus	23 (4)	1			有	研究論文（学術雑誌）	

タイトル	著者	出版年月	誌名	巻	号	開始ページ	終了ページ	査読	掲載種別	DOI
Tiered Spatio-Temporal Difficulty: Curriculum Scheduler for Multi-Sensor Traffic Flow Prediction	Zhiwen Zhang,Hongjun Wang,Zipei Fan,Renhe Jiang,Wei Yuan,Xuan Song,Ryosuke Shibasaki	2025/4	IEEE Transactions on Mobile Computing			1	15	有	研究論文(学術雑誌)	10.1109/tmc.2025.3608620
Sensitivity Analysis on Critical Combinations of Input Parameters in DEM Granular Flow Analysis	Junsen Xiao,Kenta Tozato,Reika Nomura,Yu Otake,Kenjiro Terada,Shuji Moriguchi	2025/4/1	TC 105 INTERNATIONAL SYMPOSIUM	1480				なし	研究論文(国際会議プロシーディングス)	10.1088/1755-1315/1480/1/012102
Elucidating Earthquake and Volcanic Phenomena Based on Japanese Historical and Archaeological Data	Yuichi Ebina,Yoshiko Yamanaka,Taisuke Murata,Yasuyuki Kano,Akihiko Katagiri	2025/4/1	Journal of Disaster Research	20	2	160	169	有	研究論文(学術雑誌)	10.20965/jdr.2025.p0160
Evaluating the Impact of DEM Parameters on the Angle of Repose	S. Moriguchi,M. Otsubo,A. Oya,A. Kono,M. Taue,H. Saomoto,S. Kajiyama,N. Kikkawa,Y. Nakata	2025/4/1	IOP Conference Series: Earth and Environmental Science	1480	1	12034	12034	有	研究論文(国際会議プロシーディングス)	10.1088/1755-1315/1480/1/012034
Performance Validation of Three-Dimensinonal Limit Equilibrium Method for Shallow Landslides Over a Wide Area	D. Sugo,S. Fujita,N. Dolojan,K. Tozato,R. Nomura,S. Moriguchi,K. Terada	2025/4/1	IOP Conference Series: Earth and Environmental Science	1480	1	12039		なし	研究論文(国際会議プロシーディングス)	10.1088/1755-1315/1480/1/012039
Spatial patterns and longitudinal trends of disaster losses in Aceh: a retrospective analysis	Yolanda Yolanda,Rina Suryani Oktari,Daisuke Sasaki,Hizir Sofyan	2025/4/1	IOP Conference Series: Earth and Environmental Science	1479	1	12033	12033	有	研究論文(学術雑誌)	10.1088/1755-1315/1479/1/012033
Profiling of runs of homozygosity from whole-genome sequence data in Japanese biobank	Minn A.K.K.,Matsuzaki M.,Narita A.,Funayama T.,Kotsar Y.,Makino S.,Takayama J.,Endo R.,Nishizuka S.,Yoshida A.,Toya Y.,Tokutomi T.,Hachiya T.,Minabe S.,Hasegawa Y.,Yamashita F.,Sutoh Y.,Satoh M.,Komaki S.,Ohmomo H.,Hannokizawa K.,Terui H.,Yamasaki Y.,Takanashi N.,Sawa Y.,Koeda Y.,Akai J.,Nasu T.,Mikami T.,Nagai M.,Kotozaki Y.,Yoshikawa K.,Takebe N.,Hashizume K.,Omama S.,Tanaka F.,Iwabuchi M.,Nishiya N.,Aizawa F.,Otsuka K.,Tanno K.,Tanaka R.,Asahi K.,Shimizu A.,Ishigaki Y.,Fukushima A.,Sasaki M.,Zhang L.,Yukawa Y.,Yu Z.,Yoshino M.,Yoshida Y.,Yokoyama M.,Yokota H.,Yin H.,Yasuda J.,Yano K.,Yamazaki M.,Yamauchi Y.,Yamauchi T.,Yamamoto M.,Yamaguchi-Kabata Y.,Yamada E.,Yagyu M.,Yaegashi N.,Watanabe K.,Watanabe H.,Wagatsuma M.,Wada T.,Wada I.,Uruno A.,Umeda K.,Ujiie R.,Ueno F.,Ueki Y.,Ueda A.,Uchiya J.,Tsunoda I.,Tsunasawa J.,Tsumuraya T.,Tsuda M.,Tsuchiya N.,Toriyama A.,Tomizuka M.,Tomita H.,Tomita E.,Toki M.,Tezuka Y.,Terui C.,Tateno M.,Tateno K.,Tanno N.,Tanno C.,Tanaka S.,Tanaka A.,Tamura N.,Tamahara T.,Takita S.,Takeyama Y.,Takeuchi M.,Takasawa M.,Takahashi Y.,Takahashi R.,Takahashi N.,Takahashi M.,Takahashi J.,Takahashi H.,Takahashi E.,Takagi K.,Taira M.,Taiji N.,Taguchi K.,Tadaka S.,Sato K.,Suzuki Y.,Suzuki T.,Suzuki T.,Suzuki R.,Suzuki R.,Suzuki N.,Suzuki M.,Suzuki M.,Suzuki M.,Suzuki K.P.,Suzuki A.,Suzuki A.,Suto Y.,Sugimoto S.,Sugawara Y.,Sugawara S.,Sugawara N.,Sugawara M.,Sugawara M.,Sugawara J.,Sugai R.,Suga M.,Suenaga Y.,Suenaga R.,Sou I.,Sonobe S.,Someya S.,Shoji W.,Shoji M.,Shoji M.,Shoji I.,Shoji H.,Shirota M.,Shirakawa N.,Shinoda G.,Shimizu R.,Shimada M.,Shima Y.,Shima H.,Shibuya K.,Sekiya A.,Satoh M.,Sato Y.,Sato Y.,Sato Y.,Sato Y.,Sato T.,Sato S.,Sato S.,Sato R.,Sato N.,Sato M.,Sato M.,Sato M.,Sato M.,Sato M.,Sato H.,Sato C.,Sato A.,Sasaki Y.,Sasaki Y.,Sasaki T.,Sasaki M.,Sasaki K.,Sasaki E.,Sakurai-Yageta M.,Sakurai R.,Sakurai M.,Sakurai K.,Sakamoto M.,Sakamoto K.,Sakamoto H.,Sakamono H.,Sakaida M.,Sakai H.,Saitoh Y.,Saito T.,Saito S.,Saito R.,Saito M.,Saito M.,Saito K.,Saito H.,Saito A.,Saito A.,Saigusa D.,Obara S.,Ozawa Y.,Ozawa M.,Oyamada K.,Oyama Y.,Otsuki Y.,Otsuki A.,Otsuka T.,Otomo S.,Otake N.,Ota R.,Osanai T.,Osada M.,Orui M.,Oowada K.,Oouchi Y.,Ootomo K.,Oomachi M.,Oohashi K.,Onuma T.,Onuma M.,Onodera M.,Onodera K.,Onodera G.,Ono C.,Ono A.,Okumoto A.,Okuda M.,Okuda H.,Okamura Y.,Okada Y.,Ojima Y.,Oikawa Y.,Ohori H.,Ohneda K.,Ohisa N.,Ohi N.,Ogishima S.,Ogawa S.,Ogasawara K.,Obara T.,Obara T.,Nunokawa R.,Nozoe K.,Noguchi K.,Noda A.,Nochioka K.,Nobukuni T.,Nishijima I.,Nishida K.,Nishi H.,Narita Y.,Narisawa N.,Nanatani K.,Nakaya N.,Nakaya K.,Nakasato Y.,Nakamura T.,Nakamura N.,Nakajo N.,Nakai T.,Nakagawa K.,Nagase S.,Nagasaka T.,Nagami F.,Nagaie S.,Muranishi T.,Murakami T.,Murakami K.,Mugikura S.,Motoike I.N.,Motohashi H.,Mori N.,Mori H.,Momii M.,Mochida A.,Mizuno S.,Miyazawa A.,Miyagi R.,Miura N.,Miura A.,Mito S.,Mitate K.,Minami Y.,Minakawa S.,Metoki H.,Matsuzaki F.,Matsushita Y.,Matsuoka T.,Matsumoto M.,Matsukawa N.,Matsubara H.,Maeta K.,Maeshibu K.,Li D.,Bin Li,Kusano H.,Kurota S.,Kurokawa E.,Kuroda M.,Kuriyama S.,Kuriki M.,Kunii Y.,Kumagai Y.,Kumagai T.,Kumagai R.,Kumadaki R.,Kumada K.,Kudo H.,Koyama T.,Koshiba S.,Koreeda S.,Konno Y.,Kondo A.,Komatsu J.,Kojima K.,Koiso S.,Koike T.,Koide M.,Koide C.,Koida N.,Kohketsu	2025/4/3	Journal of Human Genetics	70	6			有	研究論文(学術雑誌)	10.1038/s10038-025-01331-3

タイトル	著者	出版年月	誌名	巻	号	開始ページ	終了ページ	査読	掲載種別	DOI
	N.,Kohagizawa T.,Kogure M.,Kodate S.,Kodama E.N.,Kobayashi T.,Kobayashi T.,Kobayashi M.,Kitaura T.,Kishimoto T.,Kishi I.,Kinoshita K.,Kimura M.,Kikuya M.,Kikuchi J.,Kawashima Y.,Kawashima J.,Kawame H.,Kawagoe A.,Kawada R.,Kawabata T.,Katsuoka F.,Kato Y.,Kato K.,Kashiwa H.,Kasahara N.,Kano M.,Kanno T.,Watanabe K.,Kambe M.,Izumi Y.,Izumi Y.,Iwabuchi M.,Iwabuchi F.,Ito S.,Ito R.,Ito M.,Ito M.,Ito M.,Itabashi M.,Ishiwata R.,Ishimori K.,Ishikuro M.,Ishikawa T.,Ishii T.,Ishii O.,Ishii C.,Ishigaka E.,Ishida N.,Ishida M.,Irie R.,Inoue R.,Inoue M.,Inoue M.,Imai K.,Iida C.,Igari N.,Ido K.,Hozawa A.,Hishinuma E.,Hirayama I.,Hiratsuka Y.,Hiratsuka M.,Hirata T.,Hirano S.,Hirano I.,Hirama H.,Hino K.,Hidaka T.,Hatanaka R.,Hatanaka N.,Hatakeyama S.,Hatakeyama A.,Hashizume H.,Hasegawa A.,Hasebe H.,Hara Y.,Hanazawa M.,Hamanaka Y.,Hamada Y.,Haga Y.,Haga M.,Gouko M.,Katahira K.,Goto Y.,Goto T.,Goto M.,Gonoi K.,Gocho C.,Gamo T.,Fushiya K.,Fuse N.,Furuhashi S.,Funata M.,Fukushi T.,Fukunaga W.,Fujita Y.,Fujishiro F.,Fue R.,Endo H.,Danjoh I.,Chida K.,Chiba K.,Chiba I.,Chiba H.,Chiba A.,Baird L.,Asano Y.,Arakawa M.,Arai H.,Aoki Y.,Aoki E.,Anzawa H.,Akiyama Y.,Aizawa H.,Aiki K.,Ahiko S.,Abe Y.,Abe T.,Abe N.,Abe N.,Abe M.,Abe M.,Abe H.,Tamiya G.									
Excess mortality during and after the COVID-19 emergency in Japan: a two-stage interrupted time-series design	Ganan Devanathan,Paul LC Chua,Shuhei Nomura,Chris Fook Sheng Ng,Nasif Hossain,Akifumi Eguchi,Masahiro Hashizume	2025/4/5	BMJ Public Health	3	1	e002357	e002357	有	研究論文(学術雑誌)	10.1136/bmjph-2024-002357
Nonlinear Signal-Based Control for a Shake Table Supporting a Heavy Multi-Storey Nonlinear Structure	Ryuta Enokida,Kohju Ikago,Koichi Kajiwara	2025/4/10	Earthquake Engineering and Structural Dynamics	54	4	1251	1269	有	研究論文(学術雑誌)	10.1002/eqe.4308
Zadankai: The Future and Politics of Disaster Digital Archiving	Sébastien Boret,Julia Gerster,Andrew Gordon,Ryo Morimoto,Keiichi Sato,Akihiro Shibayama	2025/4/11	Asia-Pacific Journal: Japan Focus					なし	研究論文(学術雑誌)	
Experimenters' sex modulates anxiety-like behavior, contextual fear, and microglial oxytocin transcription in mice	Mai Sakai,Zhiqian Yu,Rosanne Picotin,Tomoko Kasahara,Yoshie Kikuchi,Chiaki Ono,Mizuki Hino,Yasuto Kunii,Yuko Maejima,Kenju Shimomura,Miharu Nakanishi,Takaaki Abe,Hatsumi Yoshii,Hiroaki Tomita	2025/4/12	Behavioural Brain Research	483		115480	115480	有	研究論文(学術雑誌)	10.1016/j.bbr.2025.115480
Part II: Using a Digital Archive for Teaching and Research	Sébastien Boret,Julia Gerster,Andrew Gordon,Ryo Morimoto,Keiichi Sato,Akihiro Shibayama	2025/4/12	Asia-Pacific Journal: Japan Focus					なし	研究論文(学術雑誌)	
A Joint Optimization Framework for Sum-Rate Maximization in Air Reconfigurable Intelligent Surface Assisted MIMO-NOMA Systems	Haitao Zhao,Zhipeng Kong,Yunxiang He,Biyao Ding,Hao Huang,Yiyang Ni,Guan Gui,Hikmet Sari,Fumiyuki Adachi	2025/4/15	IEEE Internet of Things Journal	12	8	9372	9382	有	研究論文(学術雑誌)	10.1109/JIOT.2024.3465219
Adapting to health crisis at Japanese hot springs: Understanding visitor travel intention and perceptions of countermeasures	David N. Nguyen,Nori Tarui,Daisuke Sasaki,Haruka Tsukuda,Anawat Suppasri,Fumihiko Imamura	2025/4/15	INTERNATIONAL JOURNAL OF DISASTER RISK REDUCTION	121				有	研究論文(学術雑誌)	10.1016/j.ijdrr.2025.105399
Heterogeneity in willingness to share personal health information: a nationwide cluster analysis of 20,000 adults in Japan	Miho Sassa,Akifumi Eguchi,Keiko Maruyama-Sakurai,Takanori Fujita,Yumi Kawamura,Takayuki Kawashima,Yuta Tanoue,Daisuke Yoneoka,Hiroaki Miyata,Takanori Yamashita,Naoki Nakashima,Shuhei Nomura	2025/4/18	Archives of Public Health	83	1			有	研究論文(学術雑誌)	10.1186/s13690-025-01599-z
Preeclampsia prediction with maternal and paternal polygenic risk scores: the TMM BirThree Cohort Study.	Hisashi Ohseto,Mami Ishikuro,Taku Obara,Akira Narita,Ippei Takahashi,Genki Shinoda,Aoi Noda,Keiko Murakami,Masatsugu Orui,Noriyuki Iwama,Masahiro Kikuya,Hirohito Metoki,Junichi Sugawara,Gen Tamiya,Shinichi Kuriyama	2025/4/21	Scientific reports	15	1	13743	13743	有	研究論文(学術雑誌)	10.1038/s41598-025-97291-x
Global, regional and national burden of dietary iron deficiency from 1990 to 2021: a Global Burden of Disease study	GBD 2021 Dietary Iron Deficiency Collaborators	2025/4/22	Nature Medicine					有	研究論文(学術雑誌)	10.1038/s41591-025-03624-8
School memorials as sites of memory and the dynamics of remembrance after the Great East Japan Earthquake	Julia Gerster,Akihiro Shibayama	2025/4/25	Social Science Japan Journal	28	2			有	研究論文(学術雑誌)	10.1093/ssjj/jyaf029
Seismic control of structures considering frequency dependency of inerter-based dynamic vibration absorbers	Ruihong XIE,Kohju IKAGO	2025/4/25	Materials Research Proceedings	50		277	284	なし	研究論文(国際会議プロシーディングス)	10.21741/9781644903513-32
Parental axial lengths and prenatal conditions related to child axial length: The TMM BirThree Cohort Study	Mami Ishikuro,Nobuo Fuse,Taku Obara,Aoi Noda,Genki Shinoda,Masatsugu Orui,Akira Uruno,Sayaka Yoshida,Naoko Takada,Shunsuke Fujioka,Takayuki Nishimura,Akiko Hanyuda,Ryo Kawasaki,Toru Nakazawa,Shinichi Kuriyama	2025/4/28	AJO International	2	1			有	研究論文(学術雑誌)	10.1016/j.ajoint.2024.100088
Nonplanar 3D fault geometry controls the spatiotemporal distributions of slip and uplift: evidence from the Mw 7.5 2024 Noto Peninsula, Japan, Earthquake	Ryosuke Ando,Yo Fukushima,Keisuke Yoshida,Kazutoshi Imanishi	2025/4/29	Earth, Planets and Space	77	1			有	研究論文(学術雑誌)	10.1186/s40623-025-02187-9
Response to Reevaluating Antipsychotic Polypharmacy in Schizophrenia: A Broader Perspective on Social Recovery	Yuhei Mori,Risa Shishido,Mizuki Hino,Akiko Sato,Atsuko Nagaoka,Hiroshi Hoshino,Masataka Hatano,Yuto Hosogai,Itaru Miura,Yasuto Kunii	2025/4/29	Psychiatry and Clinical Neurosciences	79	7	430	431	有	研究論文(学術雑誌)	10.1111/pcn.13834
An efficient cost calculation method for disparity estimation of stereo matching considering shadow occlusion	Hongjun Sha,Wei Yuan,Xunping Wang,Xiuliu Yuan,Shunichi Koshimura	2025/4/30	Geo-spatial Information Science					有	研究論文(学術雑誌)	10.1080/10095020.2025.2487138
Deep-embedded clustering by relevant scales and genome-wide association study in autism	Ueno F.,Takahashi I.,Ohseto H.,Onuma T.,Narita A.,Obara T.,Ishikuro M.,Murakami K.,Noda A.,Matsuzaki F.,Metoki H.,Tamiya G.,Kure S.,Kuriyama S.	2025/5	Plos One	20	5-May	e0322698		有	研究論文(学術雑誌)	10.1371/journal.pone.0322698

タイトル	著者	出版年月	誌名	巻	号	開始ページ	終了ページ	査読	掲載種別	DOI
Respiratory syncytial virus infection, non-respiratory syncytial virus respiratory infections, and later wheezing	Takahashi I.,Shinoda G.,Ueno F.,Matsuzaki F.,Noda A.,Murakami K.,Ishikuro M.,Obara T.,Nakayama Y.,Momose A.,Tsuchiya N.,Nagaie S.,Ogishima S.,Tamiya G.,Fuse N.,Hozawa A.,Sugawara J.,Kure S.,Kuriyama S.	2025/5	Pediatrics International	67	1			有	研究論文(学術雑誌)	10.1111/ped.70050
東日本大震災被災地の復興まちづくり事業における官民連携に関する研究	鈴木 唯斗 , 御手洗 潤	2025/5	都市計画報告集	24	1	97	104	なし		10.11361/reportscpij.24.1_97
A Study on the Management of a Wide-Area Evacuation Shelter at Nukadani Fureai Taiikukan Gym in Kanazawa City Following the 2024 Noto Peninsula Earthquake	MATSUZAKI Kei,MURAO Osamu,KANEYAMA Yuma	2025/5	Proceedings of the 6th Asian Conference on Urban Disaster Reduction (ACUDR)			244	245	なし	研究論文(国際会議プロシーディングス)	
Community-based Tsunami Evacuation Building Distribution Using GIS and Behavioral Data Integration in Cilacap, Indonesia	KHOIRIYAH Mufidatun,MURAO Osamu	2025/5	Proceedings of the 6th Asian Conference on Urban Disaster Reduction (ACUDR)			49	52	なし	研究論文(国際会議プロシーディングス)	
Fluid Antenna-Assisted Simultaneous Wireless Information and Power Transfer Systems	Liaoshi Zhou,Junteng Yao,Tuo Wu,Ming Jin,Chau Yuen,Fumiyuki Adachi	2025/5	IEEE Transactions on Vehicular Technology	74	5	1	6	有	研究論文(学術雑誌)	10.1109/tvt.2025.3528949
Genetic risk, lifestyle adherence, and risk of developing hyperuricaemia in a Japanese population	Takase M Nakaya N Nakamura T Kogure M Hatanaka R Nakaya K Chiba I Tokioka S Kanno I Nochioka K Tsuchiya N Hirata T Narita A Obara T Ishikuro M Ohseto H Uruno A Kobayashi T Kodama EN Hamanaka Y Orui M Ogishima S Nagaie S Fuse N Sugawara J Kuriyama S Matsuda K Izumi Y Kinoshita K Tamiya G Hozawa A Yamamoto M,ToMMo Investigators	2025/5	Rheumatology	64	5	2591	2600	有	研究論文(学術雑誌)	10.1093/rheumatology/keae492
High-resolution outdoor heat-risk modeling for city central areas with applications to Tokyo and Lyon	Alvin C.G. Varquez,Janat Taerakul,Florent Renard,Lucille Alonso,Sunkyung Choi,Ryoga Hiroki,Yasunobu Ashie,Eiko Kumakura,Makoto Okumura,Shinya Hanaoka,Atsushi Inagaki,Manabu Kanda	2025/5	Sustainable Cities and Society	125		106344	106344	有	研究論文(学術雑誌)	10.1016/j.scs.2025.106344
Long-term Demographic Analysis in Reconstructed Urban Areas before and after the Great East Japan Earthquake	KATO Haruna,MURAO Osamu	2025/5	Proceedings of the 6th Asian Conference on Urban Disaster Reduction (ACUDR)			129	132	なし	研究論文(国際会議プロシーディングス)	
Population and Asset Exposure in Taiwan's Multi-hazard Risk Zone and Development Trends for 2025-2050	LIN Chi-Chun,MURAO Osamu	2025/5	Proceedings of the 6th Asian Conference on Urban Disaster Reduction (ACUDR)			37	40	なし	研究論文(国際会議プロシーディングス)	
Research on Land Use Planning and Current Status of Land Use Planning for Former Mass Relocation Sites in Tsunami- Affected Areas	KANEYAMA Yuma,MURAO Osamu,KATO Haruna	2025/5	Proceedings of the 6th Asian Conference on Urban Disaster Reduction (ACUDR)					なし	研究論文(国際会議プロシーディングス)	
Research on the Evaluation of the Impact of the Introduction of the Dōshūsei on the Reduction of Overconcentration of Tokyo	NOJI Kentaro,MURAO Osamu	2025/5	Proceedings of the 6th Asian Conference on Urban Disaster Reduction (ACUDR)			236	237	なし	研究論文(国際会議プロシーディングス)	
Resilience-based estimation of the disaster waste disposal time considering interdependencies between waste disposal and road network systems under seismic and tsunami hazards in coastal communities	Koki Aoki,Mitsuyoshi Akiyama,Abdul Kadir Alhamid,Dan M. Frangopol,Shunichi Koshimura	2025/5	Reliability Engineering & System Safety	262		111242	111242	有	研究論文(学術雑誌)	10.1016/j.ress.2025.111242
Revising the seismic source of the 1979 Tumaco-Colombia earthquake (Mw = 8.1) for future tsunami hazard assessment	Bruno Adriano,Cesar Jimenez,Erick Mas,Shunichi Koshimura	2025/5	Physics of the Earth and Planetary Interiors	362		107344	107344	有	研究論文(学術雑誌)	10.1016/j.pepi.2025.107344
公共空間におけるパラスポーツ体験が及ぼす効果に関する研究	吉川 勇人 , コーエンズ 英理 , 宮平 ひなた , 安藤 理智 , 御手洗 潤	2025/5	福祉のまちづくり研究	27		1	13	有	研究論文(学術雑誌)	10.18975/jais.27.Paper_1
今後の災害に対するメンタルヘルスの備え―東日本大震災，福島第一原子力発電所事故からの教訓―	國井泰人	2025/5	日本社会精神医学雑誌	34		188	194	なし	研究論文(学術雑誌)	
津波被災地における集団移転跡地の土地利用計画とその現状に関する研究	金山侑真 , 村尾修 , 加藤春奈	2025/5	地域安全学会梗概集		56	63	66	なし	論文集 (書籍) 内論文	
道州制導入による東京一極集中緩和への影響評価に関する研究	野地健太郎 , 村尾修	2025/5	地域安全学会梗概集		56	171	174	なし	論文集 (書籍) 内論文	
令和 6 年能登半島地震による金沢市額谷ふれあい体育館での広域避難所運営に関する研究	松﨑圭 , 村尾修 , 金山侑真	2025/5	地域安全学会梗概集		56	242	245	なし	論文集 (書籍) 内論文	
Multicore Fiber for Quantum Communication	M. Yoshida and M. Nakazawa	2025/5	EXAT 2025	P-3				有	研究論文(国際会議プロシーディングス)	
Resilient Recovery from Disasters: The Long-Term Outcomes of Post-Disaster Housing Reconstruction in India, Thailand and Japan	Elizabeth Maly	2025/5/1						なし	論文集 (書籍) 内論文	10.1007/978-981-97-8047-1
Population aging exacerbates heat stroke-related ambulance transportations in Japan	Qiang Guo,Lina Madaniyazi,Shuhei Nomura,Kai Chen,Masahiro Hashizume	2025/5/3	Environment International	199		109506	109506	有	研究論文(学術雑誌)	10.1016/j.envint.2025.109506
The 2011 Great East Japan earthquake: fragility of Japanese buildings to ground shaking	I. Ioannou,S. Bertelli,R.E. Chandler,S. Ohno,A. Shibayama,A. Suppasri,T. Rossetto	2025/5/6	Bulletin of Earthquake Engineering	23	8	3173	3201	有	研究論文(学術雑誌)	10.1007/s10518-025-02174-1

タイトル	著者	出版年月	誌名	巻	号	開始ページ	終了ページ	査読	掲載種別	DOI
Characterising acute and chronic care needs: insights from the Global Burden of Disease Study 2019	GBD 2019 Acute and Chronic Care Collaborators	2025/5/7	Nature Communications	16	1			有	研究論文（学術雑誌）	10.1038/s41467-025-56910-x
Autoantibodies against endothelial protein C receptor and integrin αvβ6 predict the development of ulcerative colitis.	Motoi Sawahashi,Yoichi Kakuta,Takeo Naito,Soshi Okazaki,Kinuko Ohneda,Masatsugu Orui,Taku Obara,Soichi Ogishima,Kazuki Kumada,Hisaaki Kudo,Fuji Nagami,Atsushi Hozawa,Hideya Iwaki,Hiroshi Nagai,Yusuke Shimoyama,Rintaro Moroi,Hisashi Shiga,Yoshitaka Kinouchi,Tsuyoshi Shirai,Hiroshi Fujii,Atsushi Masamune	2025/5/15	Journal of gastroenterology					有	研究論文（学術雑誌）	10.1007/s00535-025-02263-7
Simulating metabolic pathways to enhance interpretations of metabolome genome-wide association studies	Kodate S.,Sato M.,Hishinuma E.,Kojima K.,Motoike IN,ToMMo Study Group,Koshiba S.,Yamamoto M.,Yamada KD,Kinoshita K.	2025/5/16	Sci Rep	15	1	17035	17035	有	研究論文（学術雑誌）	10.1038/s41598-025-01634-7
Global, Regional, and National Burden of Nontraumatic Subarachnoid Hemorrhage	GBD 2021 Global Subarachnoid Hemorrhage Risk Factors Collaborators	2025/5/23	JAMA Neurology					有	研究論文（学術雑誌）	10.1001/jamaneurol.2025.1522
Synergistic effects of cardiovascular health and social isolation on adverse pregnancy outcomes.	Hisashi Ohseto,Mami Ishikuro,Geng Chen,Ippei Takahashi,Genki Shinoda,Aoi Noda,Keiko Murakami,Masatsugu Orui,Noriyuki Iwama,Masahiro Kikuya,Hirohito Metoki,Atsushi Hozawa,Taku Obara,Shinichi Kuriyama	2025/5/29	Scientific reports	15	1	18924	18924	有	研究論文（学術雑誌）	10.1038/s41598-025-03652-x
Validity of single vs. multiple FFQs in ranking nutrient intake among Japanese adults: the Tohoku Medical Megabank Project	Ogino M.,Takachi R.,Ishihara J.,Sugawara S.,Hoshina Y.,Kito K.,Nakadate M.,Maruya S.,Suzuki A.,Matsuno T.,Obara T.,Ishikuro M.,Ueno F.,Noda A.,Aizawa M.,Takahashi I.,Yonezawa Y.,Yamashita T.,Suzuki S.,Murakami K.,Kuriyama S.	2025/06	Asia Pacific Journal of Clinical Nutrition	34	3	451	468	有	研究論文（学術雑誌）	10.6133/apjcn.202506_34(3).0019
「成人期に診断された境界域–軽度知的能力障害」.How to informed consent in psychiatry- 私の tips-	國井泰人	2025/6	臨床精神医学 53 増刊号			112	116	なし	研究論文（学術雑誌）	
An Optimized Neural Network Framework for Designing Spectrally Compatible Radar Waveforms	Shengnan Shi,Yu Wang,Guolong Cui,Yun Lin,Guan Gui,Hikmet Sari,Fumiyuki Adachi	2025/6	IEEE Transactions on Cognitive Communications and Networking	11	3	1776	1787	有	研究論文（学術雑誌）	10.1109/TCCN.2024.3488815
Clinical importance of suspicious for malignancy compared to positive for malignancy in peritoneal cytology for surgically resected pancreatic cancer.	Haruyoshi Tanaka,Kenichi Hirabayashi,Tsutomu Fujii,Nobuyuki Ohike,Makoto Ueno,Takahiro Mizui,Masaharu Ishida,Shinichi Egawa,Toru Furukawa,Yuichi Nagakawa,Takao Itoi,Hirohisa Kitagawa,Yohei Masugi,Masaji Tani,Noriyoshi Fukushima,Takashi Hatori,Yosuke Tajika,Sohei Satoi,Michiaki Unno,Yoshifumi Takeyama	2025/6	Pancreatology : official journal of the International Association of Pancreatology (IAP) ... et al.	25	4	544	551		研究論文（学術雑誌）	10.1016/j.pan.2025.05.006
Estimation of high-resolution tsunami inundation depth using deep learning models: Case study of Pangandaran, Indonesia	Sesar P.D. Sriyanto,Bruno Adriano,Yushiro Fujii,Shunichi Koshimura	2025/6	Ocean Engineering					有	研究論文（学術雑誌）	10.1016/j.oceaneng.2025.121019
FAS-RIS Communication: Model, Analysis, and Optimization	Junteng Yao,Jianchao Zheng,Tuo Wu,Ming Jin,Chau Yuen,Kai-Kit Wong,Fumiyuki Adachi	2025/6	IEEE Transactions on Vehicular Technology	74	6	1	6	有	研究論文（学術雑誌）	10.1109/tvt.2025.3537294
Integrated multihazard study combining qualitative and quantitative analyses of floods, landslides, and debris flows: A case study on the impacts of Typhoon Yun-Yeung on Iwaki City, Fukushima	Nilo Lemuel J. Dolojan,Takayuki Takahashi,Masakazu Hashimoto,Akihiro Shibayama,Reika Nomura,Kenjiro Terada,Shuji Moriguchi	2025/6	International Journal of Disaster Risk Reduction	127		105647	105647	有	研究論文（学術雑誌）	10.1016/j.ijdrr.2025.105647
Longitudinal association between the duration of eye gaze fixation on social information and specific symptoms of neurodevelopmental disorders in children: A large-scale community-based cohort study.	Masatsugu Orui,Mami Ishikuro,Taku Obara,Aoi Noda,Genki Shinoda,Keiko Murakami,Hirohito Metoki,Masahiro Kikuya,Naoki Nakaya,Tomoko Nishimura,Keiko Tanaka,Yoshihiro Miyake,Atsushi Hozawa,Kenji J Tsuchiya,Shinichi Kuriyama	2025/6	PCN reports : psychiatry and clinical neurosciences	4	2	e70095		有	研究論文（学術雑誌）	10.1002/pcn5.70095
Open-Set Automatic Modulation Classification Using Deep Metric Learning and Openmax	Chen Ai,Weiqi Sun,Xixi Zhang,Haris Gacanin,Hikmet Sari,Fumiyuki Adachi,Guan Gui	2025/6	2025 IEEE 101st Vehicular Technology Conference (VTC2025-Spring)			1	5	有	研究論文（国際会議プロシーディングス）	10.1109/vtc2025-spring65109.2025.11174756
Radio Map Reconstruction Based on Deep Denoising Regularization for UAV Communications	Haitao Zhao,Qing Hao,Yunxiang He,Hao Huang,Hikmet Sari,Fumiyuki Adachi,Guan Gui	2025/6	IEEE TRANSACTIONS ON VEHICULAR TECHNOLOGY	74	6	9876	9881	有	研究論文（学術雑誌）	10.1109/TVT.2025.3542768
Towards Efficient Disaster Response via Cost-Effective Unbiased Class Rate Estimation Through Neyman Allocation Stratified Sampling Active Learning	Yanbing Bai,Xinyi Wu,Lai Xu,Jihan Pei,Erick Mas,Shunichi Koshimura	2025/6	NEURAL INFORMATION PROCESSING, ICONIP 2024, PT VII	2288		193	208	有	研究論文（国際会議プロシーディングス）	10.1007/978-981-96-6966-0_14
南海トラフ地震への企業対応 多様な発生ケースに備えよ	丸谷 浩明	2025/6	日本経済新聞「経済教室」			27	27	なし	研究論文（その他学術会議資料等）	
避難退域時検査時に指定箇所の体表面汚染検査を行う装置の基礎検討	中村 美緒 , 田辺 真子 , 佐藤 拓 , 下橋 航大 , 高平 咲希 , 阿部 喜弘 , 越智 隆浩 , 稲葉 洋平 , 千田 浩一	2025/6	日本放射線安全管理学会誌	24	1	2	9	有	研究論文（研究会，シンポジウム資料等）	
福島県在住の防災士を対象とした原子力防災 / 放射線防災研修の取り組み	佐藤美佳 , 邑本俊亮 , 保田真理 , 齋藤玲 , 伊東尚美 , 中野篤	2025/6	リスク学研究	35	1	45	52	有		
本邦におけるサイトメガロウイルス感染と流産・死産との関連	石黒 真美 , 小原 拓 , 大類 真嗣 , 熊田 和貴 , 工藤 久智 , 荻島 創一 , 中谷 直樹 , 實澤 篤 , 栗山 進一 ,Senko Enejda,Hendrix Laura H., 小河原 修 ,Iyer Anita,Diaz-Decaro John D., 児玉 栄一	2025/6	日本周産期・新生児医学会雑誌	61	Suppl.1	P343	P343	なし		
来るべき激甚災害に備え災害精神医学をいかに伝え、いかに学ぶかいかに、精神科医だけでなく広く医学生・学生に災害精神医学を学んでいただくか	國井 泰人 , 濱家 由美子 , 日野 瑞城 , 富田 博秋	2025/6	精神神経学雑誌	2025 特別号		S337	S337	なし	研究論文（研究会，シンポジウム資料等）	
Multi-fault segment complexity and multi-rupture episodes during the 2024 Mw 7.5 Noto Peninsula earthquake	Rintaro Enomoto,Yoshihiro Kaneko,Chi-Hsien Tang,Yo Fukushima,Hiroyuki Goto,Shin'ichi Miyazaki	2025/6/6	Earth, Planets and Space	77	1	83		有	研究論文（学術雑誌）	10.1186/s40623-025-02213-w

タイトル	著者	出版年月	誌名	巻	号	開始ページ	終了ページ	査読	掲載種別	DOI
Development of an electron spin resonance spectroscopy code for measuring carbonate radicals in tooth enamel and verification of its practicality using irradiated Japanese macaque teeth	Takuma Yamashita,Teppei Hayashi,Yusuke Mitsuyasu,Kenta Ono,Satone Iwami,Yasushi Kino,Tsutomu Sekine,Toshitaka Oka,Atsushi Takahashi,Yoshinaka Shimizu,Mirei Chiba,Toshihiko Suzuki,Ken Osaka,Keiichi Sasaki,Taku Sato,Rio Isobe,Masatoshi Suzuki,Tomisato Miura,Manabu Fukumoto,Hisashi Shinoda	2025/6/9	International Journal of Radiation Biology			1	8	有	研究論文（学術雑誌）	10.1080/09553002.2025.2510676
Gaze Patterns of Children with Communication Difficulties Associated with Core Symptoms of Autism Spectrum Disorder.	Mika Kobayashi,Tomoko Kobayashi,Taku Obara,Akira Narita,Akimitsu Miyake,Tomohisa Suzuki,Mami Ishikuro,Masatsugu Orui,Eiichi N Kodama,Ritsuko Shimizu,Yohei Hamanaka,Yoko Izumi,Atsushi Hozawa,Nobuo Fuse,Atsuo Kikuchi,Gen Tamiya,Shigeo Kure,Shinichi Kuriyama,Masayuki Yamamoto	2025/6/12	The Tohoku journal of experimental medicine					有	研究論文（学術雑誌）	10.1620/tjem.2025.J074
Tsunami hazards and risks from the Philippine Trench: The cases of 2012 and 2023 Mw 7.6 tsunamigenic earthquakes	Mohammad Heidarzadeh,Aditya Riadi Gusman,Iyan E. Mulia,Constance Ting Chua,Anawat Suppasri	2025/6/15	OCEAN ENGINEERING	329				有	研究論文（学術雑誌）	10.1016/j.oceaneng.2025.120985
An Oscillator-Less Photonic Ising Machine With Digital-Nonlinearity-Based Bifurcation and Its Simulated Application to a 1 Million-Node Fully Connected Max-Cut Problem	Masataka Nakazawa, Toshihiko Hirooka	2025/6/15	Journal of Lightwave Technology	43	12	5579	5600	有	研究論文（学術雑誌）	10.1109/jlt.2025.3552250
An efficient Quantum Approximate Optimization Algorithm with fixed linear ramp schedule for truss structure optimization	Junsen Xiao,Naruethep Sukulthanasorn,Reika Nomura,Shuji Moriguchi,Kenjiro Terada	2025/6/18	Advanced Modeling and Simulation in Engineering Sciences	12	1			有	研究論文（学術雑誌）	10.1186/s40323-025-00298-2
Development of a headgear-based eye protection device for physicians performing fluoroscopy-guided bronchoscopy.	Masaki Fujisawa,Yoshihiro Haga,Saki Takahira,Masahiro Sota,Toshiki Kato,Mitsuya Abe,Yuji Kaga,Yohei Inaba,Masatoshi Suzuki,Koichi Chida	2025/6/18	Journal of radiation research	66	4	372	384	有	研究論文（学術雑誌）	10.1093/jrr/rraf031
Assessment of lens absorbed dose by radiological technologists during mobile X-ray radiography: a comparison between computed radiography and flat panel detector systems	Satoe Konta,Saya Ohno,Ryota Shindo,Keisuke Yamamoto,Yoshihiro Haga,Toshiki Kato,Masahiro Sota,Yuji Kaga,Mitsuya Abe,Koichi Chida	2025/6/24	Radiological Physics and Technology	18	3	766	774	有	研究論文（学術雑誌）	10.1007/s12194-025-00930-1
Global, regional, and national trends in routine childhood vaccination coverage from 1980 to 2023 with forecasts to 2030: a systematic analysis for the Global Burden of Disease Study 2023	GBD 2023 Vaccine Coverage Collaborators	2025/6/24	The Lancet					有	研究論文（学術雑誌）	10.1016/s0140-6736(25)01037-2
歴史記録と地形学的考察に基づく八丈島での慶長九年（1605 年）津波の遡上高の再検討	海田 比呂子 , 後藤 和久 , 石澤 尭史 , 林 薫	2025/6/25	地学雑誌	134	3	261	273	有		10.5026/jgeography.134.261
Minocycline as a causative agent of manic episode: A case report and brief postmortem brain analysis	Kazusa Miyahara,Atsuko Nagaoka,Hiroko Sato,Mizuki Hino,Hiroaki Tomita,Yasuto Kunii	2025/6/28	Psychiatry and Clinical Neurosciences	79	9	601	602	有	研究論文（学術雑誌）	10.1111/pcn.13862
1611 年慶長奥州地震津波の震度および地震・津波の時刻の再検討	蝦名裕一	2025/7	歴史地震		40	131	145	有	研究論文（学術雑誌）	
Analysis of CT Hounsfield units for fetal imaging: Basic data for creating dosimetry phantoms of pregnant women	Yuta Matsunaga,Masanao Kobayashi,Shoichi Suzuki,Yasuki Asada,Koichi Chida	2025/7	Physica Medica	135		105021	105021	有	研究論文（学術雑誌）	10.1016/j.ejmp.2025.105021
Disaster management in a shrinking society: The 2024 Noto Peninsula Earthquake's holiday shutdown, challenges and lessons learned	Ampan Laosunthara,Kumpol Saengtabtim,Anawat Suppasri,Natt Leelawat,Takumi Ohashi	2025/7	INTERNATIONAL JOURNAL OF DISASTER RISK REDUCTION	125				有	研究論文（学術雑誌）	10.1016/j.ijdrr.2025.105582
Progress in Research on Tsunami Fragility Functions	Anawat Suppasri	2025/7	Science of Tsunami Hazards	43	1	39	48	有		
Towards real-time extraction of cascading effect and spatiotemporal analysis using social media data	Xuanyan Dong,Erick Mas,Bruno Adriano,Shunichi Koshimura	2025/7	International Journal of Disaster Risk Reduction					有	研究論文（学術雑誌）	10.1016/j.ijdrr.2025.105512
Unlocking FAS-RIS Security Analysis With Block-Correlation Model	Jianchao Zheng,Xiazhi Lai,Tuo Wu,Maged Elkashlan,Daniel Benevides da Costa,Chau Yuen,Fumiyuki Adachi	2025/7	IEEE WIRELESS COMMUNICATIONS LETTERS	14	7	2029	2033	有	研究論文（学術雑誌）	10.1109/LWC.2025.3561763
VR を活用した津波避難行動を体験するツールにおける操作デバイスの比較実験	三上雄大 , 佐藤翔輔 , 成田峻之輔 , 千葉智史 , 岡元徹 , 今村文彦	2025/7	災害情報	23	2	235	244	有	研究論文（学術雑誌）	
モバイル空間統計を用いたコロナ蔓延後の企業業務構造変更の逆解析	奥村 誠 , 赤塚 昌哉	2025/7	土木学会論文集	80	20	20027		有	研究論文（学術雑誌）	10.2208/jscejj.24-20027
環境制約下の最適都市間旅客交通網における各交通モードの役割	元木智 , 奥村誠	2025/7	土木学会論文集	80	20	20106		有	研究論文（学術雑誌）	10.2208/jscejj.24-20106
季節調整手法 STEL の開発と GNSS 日座標データへの適用	岡田悠太郎 , 上田拓	2025/7	測地学会誌	71		1	11	有	研究論文（学術雑誌）	10.11366/sokuchi.71.1
時間別来訪者数データに基づく観光地内活動構成の逆解析	沼田祥太朗 , 奥村誠	2025/7	土木学会論文集	80	20	20076		有	研究論文（学術雑誌）	10.2208/jscejj.24-20076
自分と家族と地域のタイムラインを考えるデジタル防災学習ツールの開発 —中学生を対象とした実践—	保田真理 , 佐藤睦 , 原田賢治 , 邑本俊亮	2025/7	土木学会論文集	81	13			有		
聾学校における聴覚障害教員の職場環境の実態と課題 - 手話による面接調査希望者を対象として -	石川 美希 , 松浦 淳 , 熊井 正之	2025/7	ろう教育科学（原著）	67	1	1	10	有	研究論文（学術雑誌）	
Coherently-linked Optical and Wireless Transmission for 6G Mobile Fronthaul	K. Kasai, A. Watanabe, M. Yoshida, T. Hirooka, and M. Nakazawa	2025/7	OECC 2025, Invited paper	TuA3-1				有	研究論文（国際会議プロシーディングス）	
Single-channel 108 Gbit/s, 64 QAM Fully Coherent Mobile Fronthaul Transmission at 125 GHz-IF	T. Joichi, K. Kasai, T. Hirooka, M. Yoshida, and M. Nakazawa	2025/7	OECC 2025	TuA3-5				有	研究論文（国際会議プロシーディングス）	

タイトル	著者	出版年月	誌名	巻	号	開始ページ	終了ページ	査読	掲載種別	DOI
GAWBS Noise in Digital Coherent and SDM Transmission	M. Yoshida, T. Hirooka, and M. Nakazawa	2025/7	OECC 2025, Invited paper	WB2-1				有	研究論文 (国際会議プロシーディングス)	
All-Digital 16 QAM Nyquist Pulse Transmission over 4,000 km	M. Yoshida, T. Serikawa, K. Kasai, T. Hirooka, and M. Nakazawa	2025/7	OECC 2025	WB3-3				有	研究論文 (国際会議プロシーディングス)	
Oscillator-less Photonic Ising Machine with Digital-nonlinearity-based Bifurcation and Its Simulated Application to a 1 Million-node Fully Connected Max-cut Problem	M. Nakazawa and T. Hirooka	2025/7	OECC 2025	ThF1-2				有	研究論文 (国際会議プロシーディングス)	
A New index for assessing aquaculture facility damage caused by tsunamis using a drifting model: a case study of the 2022 Tonga eruption tsunami	Yoshinori Shigihara,Kento Tanaka,Anawat Suppasri,Tomohiro Takagawa,Ako Yamamoto,Daisuke Sasaki,Fumihiko Imamura	2025/7/3	COASTAL ENGINEERING JOURNAL	67	3	471	494	有	研究論文 (学術雑誌)	10.1080/21664250.2025.2513744
Earthquake disaster resilience in Taiwan observed from the April 2024 ML 7.1 Hualien earthquake	Ryuta Enokida,Yo Fukushima,Chi-Hsien Tang,Tsung-Yi Pan,Chun-Lin Kuo,Kohju Ikago,Takako Izumi,Shinichi Kuriyama	2025/7/7	Frontiers in Built Environment	11		1593942		有	研究論文 (学術雑誌)	10.3389/fbuil.2025.1593942
Geodetic Evidence of Shallow Slow‐Slip Phenomena Beneath the Southern Ryukyu Forearc	Chi‐Hsien Tang,Ya‐Ju Hsu,Yutaro Okada,Yusaku Ohta,Takeshi Sagiya,Pei‐Ru Jian,Yoshiaki Tamura,Takaaki Jike	2025/7/8	Geophysical Research Letters	52	13	e2025GL114742		有	研究論文 (学術雑誌)	10.1029/2025gl114742
Household income modifies the association between social capital and gestational diabetes mellitus in Japan: Results from TMM BirThree Cohort Study.	Koichi Sakakibara,Tomoki Kawahara,Nobutoshi Nawa,Keiko Murakami,Hisashi Ohseto,Ippei Takahashi,Akira Narita,Taku Obara,Mami Ishikuro,Masatsugu Orui,Aoi Noda,Genki Shinoda,Satoshi Nagaie,Soichi Ogishima,Junichi Sugawara,Shigeo Kure,Kengo Kinoshita,Atsushi Hozawa,Nobuo Fuse,Gen Tamiya,Wendy L Bennett,Shinichi Kuriyama,Takeo Fujiwara,Pamela J Surkan	2025/7/8	Journal of diabetes investigation					有	研究論文 (学術雑誌)	10.1111/jdi.70101
A Global Multi-Sensor Dataset of Surface Water Indices from Landsat-8 and Sentinel-2 Satellite Measurements	Yohei Miura,Mohammad Shamsudduha,Anawat Suppasri,Daisuke Sano	2025/7/17	SCIENTIFIC DATA	12	1			有	研究論文 (学術雑誌)	10.1038/s41597-025-05562-z
A Similarity Law for Sandy Tsunami Deposits	K. Yamashita,D. Sugawara,K. Goto,T. Ishizawa,T. Takahashi	2025/7/18	Journal of Geophysical Research: Earth Surface	130	7			有	研究論文 (学術雑誌)	10.1029/2024jf008244
Building Distribution and Spatial Constraints from Perspectives of Tsunami Inundation at a Small Island Context: A Study Case of Sabang-Aceh, 20 Years after the 2004 Aceh Tsunami	Syamsidik,Hayyan Ghifarry Armaya,Anawat Suppasri,Fahmi Aulia,Teuku Ahmad Dadek,Sufirmansyah,Muhammad Ichwan Reza,Muhammad Iqbal Khalis	2025/7/18	Journal of the Civil Engineering Forum			275	284	有	研究論文 (学術雑誌)	10.22146/jcef.18868
A proposed approach towards minimizing basis risk in tsunami parametric insurance scheme	Yushi Miki,Constance Ting Chua,Anawat Suppasri,An-Chi Cheng,Tomoya Iwasaki,Yugo Shinozuka,Takafumi Ogawa,Fumihiko Imamura	2025/7/21	npj Natural Hazards	2	1			有	研究論文 (学術雑誌)	10.1038/s44304-025-00127-x
ベイズ推定によるすべりインバージョン研究の高度化	富田 史章	2025/7/29	「地震」第 2 輯	78		31	51	有	研究論文 (学術雑誌)	10.4294/zisin.2024-23
Improving Indonesia's tsunami early warning. Part II: Hybridized deep learning and metaheuristic algorithm for forecasting and optimizing	Muhammad Rizki Purnama,Bruno Adriano,Elisa Lahcene,Anawat Suppasri,Fumihiko Imamura,Mohammad Farid,Mohammad Bagus Adityawan	2025/7/30	OCEAN ENGINEERING	333				有	研究論文 (学術雑誌)	10.1016/j.oceaneng.2025.121496
The Role of Geospatial Technology and Landform Mapping for Volcanic Secondary Hazard Anticipation in Semeru Volcano, Indonesia	Syamsul Bachri,Osamu Murao,Muhammad Naufal Fathoni,A Riyan Rahman Hakiki	2025/7/30	Forum Geografi	39	2	163	187	有	研究論文 (学術雑誌)	10.23917/forgeo.v39i2.10060
Persistent differences in autistic symptom severity after one year in individuals at clinical high risk of psychosis and with first-episode psychosis.	Hiroshi Komatsu,Yutaro Sato,Kazuho Tomimoto,Goh Onoguchi,Kaori Sora,Yoshiaki Shiozawa,Yumiko Hamaie,Atsushi Sakuma,Noriyuki Ohmuro,Masahiro Katsura,Fumiaki Ito,Takashi Ono,Kazunori Matsumoto,Hiroaki Tomita	2025/8	Journal of psychiatric research	188		176	182		研究論文 (学術雑誌)	10.1016/j.jpsychires.2025.05.068
Two-Stage Framework for Efficient UAV-Based Wildfire Video Analysis with Adaptive Compression and Fire Source Detection.	Yanbing Bai,Rui-Yang Ju,Lemeng Zhao,Junjie Hu, Jianchao Bi,Erick Mas,Shunichi Koshimura	2025/8	CoRR	abs/2508.16739				なし	研究論文 (その他学術会議資料等)	10.48550/arXiv.2508.16739
災害時の避難所レイアウトと感染症対策の課題に関する研究 - 東日本大震災から令和 6 年能登半島地震まで -,	松﨑圭 , 村尾修 , 金山侑真	2025/8	地域安全学会東日本大震災特別論文集		14	11	14	なし	論文集 (書籍) 内論文	
Multi-source 3D point clouds fusion for potential rock mass hazard evaluation in high-steep rock slopes	Wei Yuan,Changqing Liu,Tianyi Wang,Bruno Adriano,Han Bao,Ryosuke Shibasaki,Shunichi Koshimura	2025/8/2	The International Archives of the Photogrammetry, Remote Sensing and Spatial Information Sciences	XLVIII-G-2025		1663	1668	有	研究論文 (学術雑誌)	10.5194/isprs-archives-xlviii-g-2025-1663-2025
Guided acoustic-wave Brillouin scattering noise in few-mode fiber	Masato Yoshida, Tetsuya Yoshida, Shohei Beppu, Yuta Wakayama, Noboru Yoshikane, Keisuke Kasai, Toshihiko Hirooka, Masataka Nakazawa	2025/8/5	Optics Express	33	16	34586	34586	有	研究論文 (学術雑誌)	10.1364/oe.570713
Genetic predisposition for immunoglobulin E production explains atopic risk in children: Tohoku Medical Megabank cohort study.	Yoichi Sutoh,Tsuyoshi Hachiya,Yayoi Otsuka-Yamasaki,Shohei Komaki,Shiori Minabe,Hideki Ohmomo,Kozo Tanno,Atsushi Hozawa,Naoki Nakaya,Aoi Noda,Masatsugu Orui,Mami Ishikuro,Taku Obara,Shinichi Kuriyama,Makoto Sasaki,Atsushi Shimizu	2025/8/7	American journal of human genetics	112	8	1852	1863	有	研究論文 (学術雑誌)	10.1016/j.ajhg.2025.06.015
Genome Mining-Based Discovery of Pyrano2,3-cpyrrole Type Natural Products Possessing Alkyl Side Chain with Branched Methyl Groups	Yue Shi,Taro Ozaki,Yohei Morishita,Tohru Taniguchi,Hiroyasu Sato,Yoshitaka Aoyama,Akihiro Sugawara,Kaho Numata,Tomoya Fuse,Ryo Matsuda,Kento Hosotani,Hanako Fukano,Yoshihiko Hoshino,Aki Hirabayashi,Masato Suzuki,Jiro Yasuda,Rokusuke Yoshikawa,Hironori Hayashi,Eiichi N. Kodama,Yoshitaka Shimotai,Hiroshi Hamamoto,Rohan A. Davis,Teigo Asai	2025/8/8	Organic Letters	27	31	8580	8585	有	研究論文 (学術雑誌)	10.1021/acs.orglett.5c02504

タイトル	著者	出版年月	誌名	巻	号	開始ページ	終了ページ	査読	掲載種別	DOI
Optimization of microwave power in ESR dosimetry of tooth enamel in Japanese macaques	Teppei Hayashi,Takuma Yamashita,Yusuke Mitsuyasu,Kenta Ono,Satone Iwami,Yasushi Kino,Tsutomu Sekine,Toshitaka Oka,Atsushi Takahashi,Yoshinaka Shimizu,Mirei Chiba,Toshihiko Suzuki,Ken Osaka,Keiichi Sasaki,Taku Sato,Rio Isobe,Masatoshi Suzuki,Tomisato Miura,Manabu Fukumoto,Hisashi Shinoda	2025/8/8	International Journal of Radiation Biology			1	8	有	研究論文 (学術雑誌)	10.1080/09553002.2025.2534998
Associations of family history of hypertension, genetic, and lifestyle risks with incident hypertension.	Masato Takase,Takumi Hirata,Naoki Nakaya,Mana Kogure,Rieko Hatanaka,Kumi Nakaya,Ippei Chiba,Sayuri Tokioka,Kotaro Nochioka,Tomohiro Nakamura,Naho Tsuchiya,Hirohito Metoki,Michihiro Satoh,Akira Narita,Taku Obara,Mami Ishikuro,Hisashi Ohseto,Ippei Takahashi,Tomoko Kobayashi,Eiichi N Kodama,Yohei Hamanaka,Masatsugu Orui,Soichi Ogishima,Satoshi Nagaie,Nobuo Fuse,Junichi Sugawara,Shinichi Kuriyama,Gen Tamiya,Atsushi Hozawa,Masayuki Yamamoto	2025/8/13	Hypertension research : official journal of the Japanese Society of Hypertension					有	研究論文 (学術雑誌)	10.1038/s41440-025-02314-9
Association of circulating metabolites and polygenic risk score with incident type 2 diabetes: a prospective community-based cohort study.	Masato Takase,Naoki Nakaya,Mana Kogure,Rieko Hatanaka,Kumi Nakaya,Ippei Chiba,Sayuri Tokioka,Kotaro Nochioka,Tomohiro Nakamura,Naho Tsuchiya,Takumi Hirata,Seizo Koshiba,Kazuki Kumada,Ikuko Motoike,Eiji Hishinuma,Akira Narita,Taku Obara,Mami Ishikuro,Hisashi Ohseto,Ippei Takahashi,Tomoko Kobayashi,Eiichi N Kodama,Yohei Hamanaka,Masatsugu Orui,Soichi Ogishima,Satoshi Nagaie,Nobuo Fuse,Junichi Sugawara,Shinichi Kuriyama,Koichi Matsuda,Yoko Izumi,Kinuko Ohneda,Kengo Kinoshita,Atsushi Hozawa,Masayuki Yamamoto	2025/8/14	Cardiovascular diabetology	24	1	335	335	有	研究論文 (学術雑誌)	10.1186/s12933-025-02849-8
Cohort Profile Update: The Tohoku Medical Megabank Project Birth and Three-Generation Cohort Study (TMM BirThree Cohort Study) 2023 update	Taku Obara,Mami Ishikuro,Aoi Noda,Keiko Murakami,Masatsugu Orui,Genki Shinoda,Fumihiko Ueno,Fumiko Matsuzaki,Tomomi Onuma,Hiroko Matsubara,Hirohito Metoki,Masahiro Kikuya,Rieko Hatanaka,Ippei Chiba,Kumi Nakaya,Mana Kogure,Naoki Nakaya,Junichi Sugawara,Shigeo Kure,Mika Kobayashi,Tomoko Kobayashi,Yoichi Suzuki,Hiroshi Kawame,Mika Sakurai-Yageta,Sachiko Nagase,Naoki Nakamura,Tomohiro Nakamura,Satoshi Mizuno,Satoshi Nagaie,Soichi Ogishima,Akira Narita,Gen Tamiya,Sachie Koreeda,Fuji Nagami,Toru Tamahara,Maki Goto,Akihito Otsuki,Makiko Taira,Takanori Hidaka,Junko Kawashima,Eiichi N Kodama,Akira Uruno,Yohei Hamanaka,Hiroaki Tomita,Hiroaki Hashizume,Kenichi Noguchi,Fumiki Katsuoka,Seizo Koshiba,Kazuki Kumada,Takahiro Nobukuni,Kinuko Ohneda,Shunji Mugikura,Ritsuko Shimizu,Masataka Kambe,Yoshinobu Saito,Tadao Kobayashi,Yoko Izumi,Kengo Kinoshita,Nobuo Fuse,Nobuo Yaegashi,Atsushi Hozawa,Masayuki Yamamoto,Shinichi Kuriyama	2025/8/18	International Journal of Epidemiology					有	研究論文 (学術雑誌)	10.1093/ije/dyaf148
Association of first-trimester exposure to Kampo medicines containing Prunus persica kernel with preterm birth and major congenital malformations: a Japanese database study.	Satoko Suzuki,Ryutaro Arita,Taku Obara,Tomofumi Ishikawa,Tadaharu Kunitoki,Takamasa Sakai,Aoi Noda,Genki Shinoda,Mami Ishikuro,Masatsugu Orui,Shinichi Kuriyama,Minoru Ohsawa,Ken Haneda,Nariyasu Mano,Akiko Kikuchi,Shin Takayama,Tadashi Ishii	2025/8/22	Frontiers in pharmacology	16		1562724	1562724	有	研究論文 (学術雑誌)	10.3389/fphar.2025.1562724
Kerr-resonanced bifurcation switching in a photonic Ising machine with a long lossless optical fiber loop	Masataka Nakazawa, Toshihiko Hirooka	2025/8/26	Optics Express	33	18	37559	37559	有	研究論文 (学術雑誌)	10.1364/oe.568935
Decentralized pandemic response and health equity: an analysis of socioeconomic disparities in COVID-19 mortality in Japan	Hasan Jamil,Aminu Abubakar Kende,Shuhei Nomura,Fumiya Inoue,Takao Suzuki,Stuart Gilmour	2025/8/28	Epidemiology and Health			e2025049	e2025049	有	研究論文 (学術雑誌)	10.4178/epih.e2025049
【被ばく線量管理と防護の今 !2025】新型鉛フリー放射線防護眼鏡の開発	進藤 僚太 , 藤沢 昌輝 , 下橋 航大 , 稲葉 洋平 , 千田 浩一	2025/9	Rad Fan	23	10	36	39	なし	研究論文 (学術雑誌)	
2D-DOA Estimation for Polarized Massive Antenna Array: Geometric and Algorithmic Guidelines	Fangqing Wen,Han Wang,Guan Gui,Chau Yuen,Hikmet Sari,Fumiyuki Adachi	2025/9	IEEE TRANSACTIONS ON VEHICULAR TECHNOLOGY	74	9	14207	14219	有	研究論文 (学術雑誌)	10.1109/TVT.2025.3563979
Application of Environmental <scp>DNA</scp> ‐ Based Assessment for Upstream–Downstream Comparison of River Macroinvertebrates in a Metal ‐ Contaminated River	Noriko Uchida,Yuichi Iwasaki,Ryoichi Kuranishi,Natsuko Ito Kondo	2025/9	Environmental DNA	7	5			有	研究論文 (学術雑誌)	10.1002/edn3.70200
Association of Quinolone Exposure in the First-Trimester of Pregnancy and the Risk of Major Congenital Malformations: A Health Administrative Database Study in Japan.	Kei Morishita,Taku Obara,Tomofumi Ishikawa,Ryo Obara,Takamasa Sakai,Noriyuki Iwama,Genki Shinoda,Aoi Noda,Masatsugu Orui,Mami Ishikuro,Hiroshi Kawame,Nariyasu Mano,Shinichi Kuriyama	2025/9	Pharmacoepidemiology and drug safety	34	9	e70190		有	研究論文 (学術雑誌)	10.1002/pds.70190
Community Perception of Tsunami Evacuation Shelter Selection: A Statistical and GIS Spatial Analysis in Cilacap, Indonesia	KHOIRIYAH Mufidatun, 村尾修	2025/9	2025 年度日本建築学会大会（九州）学術講演梗概集 耐複合災害			83	84	なし	論文集 (書籍) 内論文	
Compound Disaster Risk Exposure in Taiwan: Analysis of Interactions Between Topography and Geological Conditions	LIN Chi-Chun, 村尾修	2025/9	2025 年度日本建築学会大会（九州）学術講演梗概集 D			2037	2038	なし	論文集 (書籍) 内論文	
Comprehensive analysis and evaluation of single/multi-user joint transmit-receive diversity	Fumiyuki Adachi,Ryo Takahashi	2025/9	IEICE Transactions on Communications	E108	9	1	16	有	研究論文 (学術雑誌)	10.23919/transcom.2024ebp3211

タイトル	著者	出版年月	誌名	巻	号	開始ページ	終了ページ	査読	掲載種別	DOI
Empirical Relationships Between Earthquake and Tsunami Magnitudes in Japan as Tsunami Hazard Descriptors	Ioanna Triantafyllou,Fumihiko Imamura,Anawat Suppasri	2025/9	PURE AND APPLIED GEOPHYSICS	182	9	3373	3395	有	研究論文（学術雑誌）	10.1007/s00024-025-03828-6
Fundamental study of digital subtraction angiography using dose characteristic analysis of different protocols in lower limb arterial disease	Kazuya Kakuta,Koichi Chida,Masamichi Naruse,Shumpei Nemoto,Masamitsu Ikeda,Arifumi Hasegawa	2025/9	FUKUSHIMA JOURNAL OF MEDICAL SCIENCE					有	研究論文（学術雑誌）	10.5387/fms.25-00015
Initial observations and immediate lessons learned from Thailand's response to the 2025 Mandalay earthquake	Ampan Laosunthara,Kodchakorn Krutphong,Natt Leelawat,Wongsa Wararuksajja,Naruethep Sukulthanasorn,Anawat Suppasri,Ratchaneekorn Thongthip,Chatpan Chintanapakdee	2025/9	INTERNATIONAL JOURNAL OF DISASTER RISK REDUCTION	127				有	研究論文（学術雑誌）	10.1016/j.ijdrr.2025.105675
Loss, Place, and Rituals: Community Commemoration in Iwate Prefecture after 3.11	Julia Gerster	2025/9	Handbook of Disaster Studies in Japan			566	582	有	論文集（書籍）内論文	
Sex difference in genetic risk in the prevalence of atrial fibrillation.	Sayuri Tokioka,Masato Takase,Naoki Nakaya,Rieko Hatanaka,Kumi Nakaya,Mana Kogure,Ippei Chiba,Kotaro Nochioka,Hirohito Metoki,Tomohiro Nakamura,Mami Ishikuro,Taku Obara,Yohei Hamanaka,Masatsugu Orui,Tomoko Kobayashi,Akira Uruno,Eiichi N Kodama,Satoshi Nagaie,Soichi Ogishima,Yoko Izumi,Gen Tamiya,Nobuo Fuse,Shinichi Kuriyama,Satoshi Yasuda,Atsushi Hozawa	2025/9	Heart rhythm	22	9	e631-e639		有	研究論文（学術雑誌）	10.1016/j.hrthm.2025.03.1974
Storytelling and the Arts as Tools in Disaster Education: Tohoku University's --Kataritsugi" and the Stories of 3.11	Julia Gerster,Akihiro Shibayama,Madoka Ono	2025/9	Handbook of Disaster Studies in Japan (Edited by Paola Cavaliere and Junko Otani)			391	406	有	論文集（書籍）内論文	
Tohoku Medical Megabank Project Study Group.Cohort Profile Update: The Tohoku Medical Megabank Project Birth and Three-Generation Cohort Study (TMM BirThree Cohort Study) 2023 update	Obara T.,Ishikuro M.,Noda A.,Murakami K.,Orui M.,Shinoda G.,Ueno F.,Matsuzaki F.,Onuma T.,Matsubara H.,Metoki H.,Kikuya M.,Hatanaka R.,Chiba I.,Nakaya K.,Kogure M.,Nakaya N.,Sugawara J.,Kure S.,Kobayashi M.,Kobayashi T.,Suzuki Y.,Kawame H.,Sakurai-Yageta M.,Nagase S.,Nakamura N.,Nakamura T.,Mizuno S.,Nagaie S.,Ogishima S.,Narita A.,Tamiya G.,Koreeda S.,Nagami F.,Tamahara T.,Goto M.,Otsuki A.,Taira M.,Hidaka T.,Kawashima J.,Kodama EN,Uruno A.,Hamanaka Y.,Tomita H.,Hashizume H.,Noguchi K.,Katsuoka F.,Koshiba S.,Kumada K.,Nobukuni T.,Ohneda K.,Mugikura S.,Shimizu R.,Kambe M.,Saito Y.,Kobayashi T.,Izumi Y.,Kinoshita K.,Fuse N.,Yaegashi N.,Hozawa A.,Yamamoto M.,Kuriyama S.,Tohoku Medical Megabank,Project Study Group. Cohor,Profile Update	2025/9	Int J Epidemiol	54	5	dyaf148		有	研究論文（学術雑誌）	
Urban Mobility during Heavy Snowfall, Analyzed by Mobile Spatial Statistics Data	Makoto Okumura,Yuri Sawamura,Hiromichi Yamaguchi	2025/9	Proceedings of the Eastern Asia Society for Transportation Studies	15		4046		有	研究論文（国際会議プロシーディングス）	
スーパー堤防への区画整理の活用促進の制度的考察（試論）	丸谷 浩明	2025/9	公益社団法人街づくり区画整理協会	68	9	6	12	なし	研究論文（研究会，シンポジウム資料等）	
企業の人を守り、事業継続力を高める簡易なポイント	丸谷 浩明	2025/9	下水道協会誌	62	755	6	10	なし	研究論文（研究会，シンポジウム資料等）	
栗駒火山北麓，剣岳地すべり地の形成年代	高橋 尚志 , 市川 玲輝 , 遠田 晋次	2025/9	季刊地理学	77	3	91	100	有	研究論文（学術雑誌）	10.5190/tga.77.3_91
災害危険区域指定後の土地利用変化に関する研究 ―札幌市と宮崎市を対象として―	金山侑真 , 村尾修 , 加藤春奈	2025/9	2025 年度日本建築学会大会（九州）学術講演梗概集 F-1			79	80	なし	論文集 (書籍) 内論文	
災害派遣精神医療チーム（DPAT）における作業療法士の貢献可能性	内海裕介 , 國井泰人 , 本間竜太 , 佐々木ルミ , 角藤芳久 , 富田博秋	2025/9	OT ジャーナル	59	10	1151	1155	有	研究論文（学術雑誌）	
東北メディカル・メガバンク計画三世代コホート (児童および若年成人) における cytomegalovirus および Epstein-Barr virus 抗体保有率	児玉 栄一 , 石黒 真美 , 小原 拓 , 大類 真嗣 , 熊田 和貴 , 工藤 久智 , 荻島 創一 , 中谷 直樹 , 寶澤 篤 , 栗山 進一 ,Engelberg Katja,Senko Enejda,Hendrix Laura H., 小河原 修 ,Diaz-Decaro John D.	2025/9	臨床とウイルス	53	3	240	240	なし		
道州制を踏まえた東京一極集中緩和の可能性評価に関する研究	野地健太郎 , 村尾修	2025/9	2025 年度日本建築学会大会（九州）学術講演梗概集 F-1			1077	1078	なし	論文集 (書籍) 内論文	
避難所に関する日本の制度と避難所空間の変遷に関する研究	松﨑圭 , 村尾修 , 金山侑真	2025/9	2025 年度日本建築学会大会（九州）学術講演梗概集 F-1			37	38	なし	論文集 (書籍) 内論文	
防災士の放射線に関する知識および懸念と放射線災害に対する減災行動意図	保田真理 , 佐藤美佳 , 邑本俊亮	2025/9	リスク学研究	35	2	97	105	有		
Reconstruction in Disadvantaged Areas of Japan: The Case of The Noto Peninsula Earthquake	Michio Ubaura	2025/9	15th International Conference of IDRiM Society	35		169	170	なし	研究論文（国際会議プロシーディングス）	
Novel Polarization-dependence-free Optical Injection-locking Circuit using λ /4 Phase-shift-free HR DFB LD at 1.5 μm	K. Kasai, S. Otsu, M. Yoshida, T. Hirooka, and M. Nakazawa	2025/9	ECOC 2025	35				有	研究論文（国際会議プロシーディングス）	
Perception of University Faculty Members on Providing Policy Recommendations for Disaster Risk Reduction and Sustainable Development: A Case Study of Aceh Province, Indonesia	Daisuke Sasaki,Yolanda Yolanda,Yuta Hara,Novi Reandy Sasmita,Hizir Sofyan	2025/9/6	Sustainability	17	17	8033	8033	有	研究論文（学術雑誌）	10.3390/su17178033

タイトル	著者	出版年月	誌名	巻	号	開始ページ	終了ページ	査読	掲載種別	DOI
Impact of Confounding Factors in Human Postmortem Brain Tissues on Gene Expression Profiles: A Comparison of Patients With Schizophrenia, Bipolar Disorder, and Nonpsychiatric Controls	Masataka Hatano,Atsuko Nagaoka,Kazusa Miyahara,Yuto Hosogai,Risa Shishido,Hideomi Hamasaki,Mizuki Hino,Akiyoshi Kakita,Hiroaki Tomita,Yasuto Kunii,Itaru Miura	2025/9/8	Neuropsychopharmacology Reports	45	3	e70053		有	研究論文(学術雑誌)	10.1002/npr2.70053
Seismic Response Estimation of Multi-Story Structures Equipped with a Cost-Effective Earthquake Protection System	Ryuta Enokida,Cem Yenidogan	2025/9/8	Buildings	15	17	3233	3233	有	研究論文(学術雑誌)	10.3390/buildings15173233
Associations between depressive symptoms and frequency, intensity, duration, and style of walking in survivors of the Great East Japan Earthquake	Yusuke Utsumi,Moe Seto,Hitomi Usukura,Yumiko Hamaie,Atsushi Sakuma,Kazuho Tomimoto,Hiroshi Komatsu,Saya Kikuchi,Yumi Sugawara,Shinichi Kuriyama,Naoki Nakaya,Atsushi Hozawa,Yasuto Kunii,Hiroaki Tomita	2025/9/14	Psychiatry and Clinical Neurosciences Reports	4	3	e70178		有	研究論文(学術雑誌)	10.1002/pcn5.70178
Evaluation of a novel standardized education program for centrally inserted central catheters insertion in a region of Japan.	Fumito Saijo,Yutaro Arata,Naoya Akazawa,Sota Oguro,Daisuke Konno,Ami Sato,Kaoru Sato,Kentaro Sawada,Rie Tanaka,Atsushi Mitamura,Norihiro Miyasaka,Mitsuhisa Mutoh,Yoshikazu Muroya,Shingo Tsujinaka,Kei Omata,Naoto Tamagake,Yuta Yokokawa,Takeshi Aoki,Shingo Toyama,Shinichi Egawa	2025/9/19	The journal of vascular access			1.13E+16	1.13E+16		研究論文(学術雑誌)	10.1177/11297298251371750
Evaluation of radiation protection by lead glasses for interventional radiology physicians wearing prescription glasses: considering dose reduction by prescription glasses excluding lead.	Ryota Shindo,Keisuke Yamamoto,Saya Ohno,Satoe Konta,Yohei Inaba,Masatoshi Suzuki,Masayuki Zuguchi,Koichi Chida	2025/9/23	Journal of radiation research	66	5	486	495	有	研究論文(学術雑誌)	10.1093/jrr/rraf047
A surrogate-assisted nonlinear inversion of tsunami waveform and trace height: application to the 2024 Noto Peninsula earthquake in Japan	Hidetoshi Masuda,Daisuke Sugawara,An-Chi Cheng,Anawat Suppasri,Fumihiko Imamura	2025/9/24	EARTH PLANETS AND SPACE	77	1			有	研究論文(学術雑誌)	10.1186/s40623-025-02274-x
Global, Regional, and National Burden of Cardiovascular Diseases and Risk Factors in 204 Countries and Territories, 1990-2023	Global Burden of Cardiovascular Diseases and Risks 2023 Collaborators	2025/9/24	JACC	86	22	2167	2243	有	研究論文(学術雑誌)	10.1016/j.jacc.2025.08.015
The necessity of macroscopic directional guidance in pedestrian tsunami evacuation: a zonal MFD-based optimization approach	Shinya Horiai,Makoto Okumura,Kazuto Sato	2025/9/25	Frontiers in Physics	13		1644312		有	研究論文(学術雑誌)	10.3389/fphy.2025.1644312
Weak and Shallow Secondary Frictional Faults Revealed by Large Earthquakes in Haiti	B. Raimbault,R. Jolivet,E. Calais,Y. Fukushima,S. Symithe	2025/9/28	Geophysical Research Letters					有	研究論文(学術雑誌)	10.1029/2025GL114939
Electrocardiogram characteristics and possible associated factors in healthy Japanese children: the Tohoku Medical Megabank Project Birth and Three-Generation Cohort Study.	Shingo Nakashima,Mami Ishikuro,Keiko Murakami,Fumihiko Ueno,Aoi Noda,Tomomi Onuma,Fumiko Matsuzaki,Taku Obara,Shinichi Kuriyama	2025/9/29	BMC pediatrics	25	1	697	697	有	研究論文(学術雑誌)	10.1186/s12887-025-06025-5
Reducing Radiation Dose in Computed Tomography Imaging of Adolescent Idiopathic Scoliosis Using Spectral Shaping Technique with Tin Filter	Yoshiyuki Noto,Tatsuya Kuramoto,Kei Watanabe,Koichi Chida	2025/9/29	Tomography	11	10	110	110	有	研究論文(学術雑誌)	10.3390/tomography11100110
津波浸水想定区域における人口動態に関する研究 静岡県を対象として	Shota Yamamoto,Yuta Yamanashi,Shoko Araki,Tomohiro Kariya,Michio Ubaura	2025/10	Journal of the City Planning Institute of Japan	60	3	1400	1406	有	研究論文(学術雑誌)	10.11361/journalcpij.60.1400
原発被災地における商業事業者の再開動向に関する研究	Mii Oigawa,Yuta Yamanashi,Shoko Araki,Tomohiro Kariya,Michio Ubaura	2025/10	Journal of the City Planning Institute of Japan	60	3	1329	1336	有	研究論文(学術雑誌)	10.11361/journalcpij.60.1329
東日本大震災後の小規模防災集団移転団地造成集落の居住実態に関する研究 石巻市半島沿岸部を対象として	Moeka Yoshida,Shoko Araki,Yuta Yamanashi,Tomohiro Kariya,Michio Ubaura	2025/10	Journal of the City Planning Institute of Japan	60	3	587	594	有	研究論文(学術雑誌)	10.11361/journalcpij.60.587
2024 年学界展望 自然環境・災害	原 裕太	2025/10	人文地理	77	3	pp.342	347	有	研究論文(学術雑誌)	10.4200/jjhg.77.03_342
Array-Antenna-Based Cluster-Centric Cell-Free Massive MIMO: Interference Suppression and Cost Reduction by Hybrid Beamforming	Kazuya Ogata,Sijie Xia,Masataka Miyake,Suguru Kameda,Fumiyuki Adachi	2025/10	2025 IEEE 102nd Vehicular Technology Conference (VTC2025-Fall)			1	5	有	研究論文(国際会議プロシーディングス)	10.1109/vtc2025-fall65116.2025.11310650
Effect of healthy lifestyle on renal dysfunction risk: interactions with genetic risk.	Masato Takase,Naoki Nakaya,Mana Kogure,Rieko Hatanaka,Kumi Nakaya,Ippei Chiba,Sayuri Tokioka,Kotaro Nochioka,Tomohiro Nakamura,Naho Tsuchiya,Takumi Hirata,Ikumi Kanno,Akira Narita,Taku Obara,Mami Ishikuro,Hisashi Ohseto,Ippei Takahashi,Akira Uruno,Tomoko Kobayashi,Eiichi N Kodama,Yohei Hamanaka,Masatsugu Orui,Soichi Ogishima,Satoshi Nagaie,Nobuo Fuse,Junichi Sugawara,Shinichi Kuriyama,Koichi Matsuda,Yoko Izumi,Kengo Kinoshita,Gen Tamiya,Atsushi Hozawa,Masayuki Yamamoto	2025/10	Clinical kidney journal	18	10	sfaf275		有	研究論文(学術雑誌)	10.1093/ckj/sfaf275
Exploring the Impact of RIS on Cooperative NOMA URLLC Systems: A Theoretical Perspective	Jianchao Zheng,Tuo Wu,Junteng Yao,Chau Yuen,Zhiguo Ding,Fumiyuki Adachi	2025/10	IEEE TRANSACTIONS ON WIRELESS COMMUNICATIONS	24	10	8461	8475	有	研究論文(学術雑誌)	10.1109/TWC.2025.3566602
Genome-Wide Association Study of Cognitive Function in Population-Based Cohorts in Japan: The Tohoku Medical Megabank Brain Magnetic Resonance Imaging Study	Genki Shinoda,Taku Obara,Ippei Takahashi,Hisashi Ohseto,Chikana Kawaguchi,Akira Narita,Aoi Noda,Keiko Murakami,Masatsugu Orui,Mami Ishikuro,Makiko Taira,Hiroshi Sakamoto,Naoki Nakaya,Atsushi Hozawa,Nobuo Fuse,Gen Tamiya,Shunji Mugikura,Kyoko Suzuki,Shinichi Kuriyama	2025/10	Genes, Brain and Behavior					有	研究論文(学術雑誌)	10.1111/gbb.70038

タイトル	著者	出版年月	誌名	巻	号	開始ページ	終了ページ	査読	掲載種別	DOI
Mosaic variants of neurodevelopmental and mitochondrial genes in postmortem paraventricular thalamus in bipolar disorder detected by deep exome sequencing	Masaki Nishioka,Zen-ichi Tanei,Yuko Saito,Maho Morishima,Mizuki Hino,Kanako Mori,Atsuko Nagaoka,Risa Shishido,Rie Saito,Hideaki Kitamura,Akito Nagakura,Araki Kimura,Shuji Iritani,Kenichi Oshima,Akiyoshi Kakita,Yasuto Kunii,Shigeo Murayama,Tadafumi Kato	2025/10	Psychiatry and Clinical Neurosciences	79	10	653	666	有	研究論文(学術雑誌)	10.1111/pcn.13871
Rethinking Japan's majority culture-cremation, minorities, and disasters	ボレー・ペンメレン・セバスチャン	2025/10	Understanding Japanese Society			179	281	なし	研究論文(その他学術会議資料等)	
Shake table experimental validation of auxiliary mass effects in a tuned viscous mass damper	Predaricka Deastra,Hakan Dogan,Ruihong Xie,Kohju Ikago	2025/10	Structures					有	研究論文(学術雑誌)	10.1016/j.istruc.2025.109681
Two millennia of intense tropical cyclone activity in the western North Pacific: Insights from coastal boulder deposits	Kenta Minamidate,Takashi Ishizawa,Hironobu Kan,Yusuke Yokoyama,Naoto Koiwa,Akifumi Ito,Kazuhisa Goto	2025/10	MARINE GEOLOGY	488				有	研究論文(学術雑誌)	10.1016/j.margeo.2025.107612
医学・人文社会科学の連携で100年前のパンデミック"スペイン風邪"を追求	中鉢奈津子 , 三木康宏 , 川内淳史 , 児玉栄一 , 伊藤潔	2025/10	リサーチ・アドミニストレーション協議会誌		3	13	15	なし	研究論文(学術雑誌)	
災害対応の循環体系に基づく1923年以降の日本国内における災害研究の変遷	加藤春奈 , 村尾修 , 目黒公郎	2025/10	地域安全学会論文集		47	107	117	有	論文集 (書籍) 内論文	
実災害での対応における効果に着目した被災地外の地への災害伝承に関する一次的分析：2011年東日本大震災から2024年能登半島地震への影響の事例	佐藤翔輔 , 星美沙希 , 今村文彦	2025/10	地域安全学会論文集		47	189	195	有	研究論文(学術雑誌)	10.11314/jisss.47.189
大雨災害における妥当な避難行動のトリガー情報は何か：2021～2024年に発生した大雨災害の実態分析から	佐藤翔輔 , 金子哲士 , 今村文彦	2025/10	自然災害科学	44	S12	19	28	有	研究論文(学術雑誌)	10.24762/jndsj.44.S12_19
都市人口分布の津波避難安全性評価のためのメッシュベース最適津波避難モデル	堀合紳弥 , 奥村誠	2025/10	都市計画論文集	60	3	924	930	有	研究論文(学術雑誌)	10.11361/journalcpij.60.924
東日本大震災・能登半島地震の復興と支援―宗教者と研究者の対話	木村敏明 , ボレー・ペンメレン・セバスチャン , 井川裕覚	2025/10	宗教と社会貢献	15	2	21	71	なし		
被災体験の聞き取りを活用した防災学習の継続的な実践とその効果－鹿折中学校での実践事例－	新家杏奈 , 佐藤翔輔	2025/10	自然災害科学	44	S12	175	189	有	研究論文(学術雑誌)	10.24762/jndsj.44.S12_175
Bridging Academia and Practice: Role of University Lecturers in Strengthening Disaster Risk Reduction Capacity in the Western Region of Java Island, Indonesia	Mikiyasu Nakayama,Akiko Sakamoto,Dicky C. Pelupessy,Daisuke Sasaki	2025/10/1	Journal of Disaster Research	20	5	695	709	有	研究論文(学術雑誌)	10.20965/jdr.2025.p0695
Conceptualization and Measurement of Transformative Resilience in Climate-Related Disasters: A PRISMA-Based Systematic Review	Hizir Sofyan,Alfy Hidayati,Yolanda Yolanda,Rina Suryani Oktari,Irwan Abdullah,Daisuke Sasaki	2025/10/1	Journal of Disaster Research	20	5	726	736	有	研究論文(学術雑誌)	10.20965/jdr.2025.p0726
Enhancing Disaster Risk Reduction at School Through the Integration of Geographic Information System: Insights from Taiwan's School Safety GIS Platform	Takashi Oda,Aiko Sakurai,Takeshi Sato,Chia-Hsin Lee,Chung-Feng Ding	2025/10/1	Journal of Disaster Research	20	5	746	756	有	研究論文(学術雑誌)	10.20965/jdr.2025.p0746
Social and Political Roots of Loss and Damage: A Study of Vulnerable Coastal Communities in Greater Jakarta	Gusti Ayu Ketut Surtiari,Syarifah Aini Dalimunthe,Daisuke Sasaki,Miko Maekawa,Nirma Yossa,Yogi Setya Permana,Anggi Afriansyah,Vanda Ningrum,Deshinta Vibriyanti,Sari Seftiani,Yasuhito Jibiki,Yuta Hara,Nawawi	2025/10/1	Journal of Disaster Research	20	5	710	725	有	研究論文(学術雑誌)	10.20965/jdr.2025.p0710
Transitions to recovery: The shelter and housing journey following disaster	Rebekah Yore,Joanna Faure Walker,Anawat Suppasri	2025/10/1	INTERNATIONAL JOURNAL OF DISASTER RISK REDUCTION	128				有	研究論文(学術雑誌)	10.1016/j.ijdrr.2025.105726
公営住宅の整備・管理計画と都市構造との整合性に関する研究（その1）：立地適正化計画策定以前の公営住宅等長寿命化計画に基づく公営住宅の立地実態	山梨 裕太 , 荒木 笙子 , 姥浦 道生	2025/10/1	日本建築学会計画系論文集	90	836	2187	2198	有	研究論文(学術雑誌)	10.3130/aija.90.2187
Harnessing generative AI for enhanced disaster management: a systematic review	Kumpol Saengtabtim,Natt Leelawat,Rujapa Aumnoysombat,Mahsa Adelifar,Natcha Saengwongwattana,Gritaya Suktavornprasit,Anawat Suppasri,Fumihiko Imamura,Jing Tang	2025/10/2	BIG EARTH DATA	9	4	651	675	有		10.1080/20964471.2025.2521157
Sexual Inactivity in Japan: A Scoping Review	Peter Ueda,Sari Toki,Shuhei Nomura,Alice Pacher,Cyrus Ghaznavi,Haruka Sakamoto	2025/10/2	The Journal of Sex Research			1	26	有	研究論文(学術雑誌)	10.1080/00224499.2025.2564192
Tsunami behavior and evacuation in the coastal region of Toyama Prefecture, Japan based on post-event survey of the 2024 Noto Peninsula Earthquake tsunami	Hasune Numazawa,Shuichi Kure,Sakuya Nakao,Anawat Suppasri,Daisuke Sugawara,Shuji Seto,Yoshinori Shigihara	2025/10/2	COASTAL ENGINEERING JOURNAL	67	4	583	594	有	研究論文(学術雑誌)	10.1080/21664250.2025.2548098
Unified Permeability Modeling for Transitional Darcy/Non-Darcy Flow Based on 3D Pore-Level Numerical Flow Tests	Reika Nomura,Ryota Itto,Shinsuke Takase,Shuji Moriguchi,Kenjiro Terada	2025/10/6	International Journal for Numerical and Analytical Methods in Geomechanics					有	研究論文(学術雑誌)	10.1002/nag.70095
南海トラフ沿いで発生する浅部スロー地震の特徴	武村 俊介 , 岡田 悠太郎 , 野田 朱美 , 馬場 慧	2025/10/8	地震 第2輯	78		167	186	有	研究論文(学術雑誌)	10.4294/zisin.2024-20
The 2024 Noto Peninsula earthquake building damage dataset: multi-source visual assessment	Ruben Vescovo,Bruno Adriano,Sesa Wiguna,Chia Yee Ho,Jorge Morales,Xuanyan Dong,Shin Ishii,Kazuki Wako,Yudai Ezaki,Ayumu Mizutani,Erick Mas,Satoshi Tanaka,Shunichi Koshimura	2025/10/10	Earth System Science Data	17	10	5259	5276	有	研究論文(学術雑誌)	10.5194/essd-17-5259-2025
The global, regional, and national burden of cancer, 1990–2023, with forecasts to 2050: a systematic analysis for the Global Burden of Disease Study 2023	GBD 2023 Cancer Collaborators	2025/10/11	The Lancet	406	10512	1565	1586	有	研究論文(学術雑誌)	10.1016/s0140-6736(25)01635-6

タイトル	著者	出版年月	誌名	巻	号	開始ページ	終了ページ	査読	掲載種別	DOI
Burden of 375 diseases and injuries, risk-attributable burden of 88 risk factors, and healthy life expectancy in 204 countries and territories, including 660 subnational locations, 1990–2023: a systematic analysis for the Global Burden of Disease Study 2023	GBD 2023 Disease and Injury and Risk Factor Collaborators	2025/10/12	The Lancet	406	10513	1873	1922	有	研究論文（学術雑誌）	10.1016/s0140-6736(25)01637-x
Global age-sex-specific all-cause mortality and life expectancy estimates for 204 countries and territories and 660 subnational locations, 1950–2023: a demographic analysis for the Global Burden of Disease Study 2023	GBD 2023 Demographics Collaborators	2025/10/12	The Lancet	406	10513	1731	1810	有	研究論文（学術雑誌）	10.1016/s0140-6736(25)01330-3
Global burden of 292 causes of death in 204 countries and territories and 660 subnational locations, 1990–2023: a systematic analysis for the Global Burden of Disease Study 2023	GBD 2023 Causes of Death Collaborators	2025/10/12	The Lancet	406	10513	1811	1872	有	研究論文（学術雑誌）	10.1016/s0140-6736(25)01917-8
Prognostic value of quantitative and visual electroencephalography in disorders of consciousness: a retrospective study	Yuhei Mori,Kazuko Kanno,Hiroshi Hoshino,Ken Suzutani,Asami Oyama,Shuntaro Itagaki,Yasuto Kunii,Itaru Miura	2025/10/14	Frontiers in Neuroscience	19				有	研究論文（学術雑誌）	10.3389/fnins.2025.1644497
Real-Time Monitoring of Occupational Radiation Exposure in Nuclear Medicine Technologists: An Initial Study	Masaki Fujisawa,Masahiro Sota,Yoshihiro Haga,Shigehisa Tanaka,Nozomi Kataoka,Toshiki Kato,Yuji Kaga,Mitsuya Abe,Masatoshi Suzuki,Yohei Inaba,Koichi Chida	2025/10/14	Applied Sciences	15	20	11008	11008	有	研究論文（学術雑誌）	10.3390/app152011008
Tsunami pedestrian evacuation simulation for Camaná, Peru: Perspectives for improving evacuation performance	Jheyder Perez,Luis Moya,Julio Ramirez,Edgard Gonzales,Erick Mas,Bruno Adriano,Shunichi Koshimura	2025/10/14	E3S Web of Conferences	651		2011	2011	有	研究論文（学術雑誌）	10.1051/e3sconf/202565102011
Interactions of aseismic and seismic slips of the Philippine Fault on Leyte Island revealed by InSAR and GNSS time-series	Yağızalp Okur,Yo Fukushima,Kuo-En Ching,Yogendra Sharma	2025/10/15	Progress in Earth and Planetary Science	12		117		有	研究論文（学術雑誌）	10.1186/s40645-025-00758-8
Maternal sleep disorders during pregnancy and subsequent risk of allergic diseases in Japanese children: the TMM BirThree Cohort Study.	Ami Uematsu,Masatsugu Orui,Mami Ishikuro,Keiko Murakami,Aoi Noda,Genki Shinoda,Taku Obara,Shinichi Kuriyama	2025/10/22	Clinical and experimental pediatrics					有	研究論文（学術雑誌）	10.3345/cep.2025.01165
2016 年熊本地震と布田川断層，地震地質災害	鳥井真之・奥野充・遠田晋次	2025/10/25	地質学雑誌	131	1	295	317	有	研究論文（学術雑誌）	10.5575/geosoc.2025.0026
Accurate Digital Reconstruction of High-Steep Rock Slope via Transformer-Based Multi-Sensor Data Fusion	Changqing Liu,Han Bao,Jingfeng Zhang,Hengxing Lan,Bruno Adriano,Shunichi Koshimura,Wei Yuan	2025/10/28	Remote Sensing	17	21	3555	3555	有	研究論文（学術雑誌）	10.3390/rs17213555
Exploiting Large Language Models for Single-Channel Mix Source Separation in Anti-Jamming Wireless Communications	Boya Li,Luliang Jia,Lin Zhang,Nan Qi,Wanbin Tang,Fumiyuki Adachi	2025/11	IEEE COMMUNICATIONS LETTERS	30		422	426	有	研究論文（学術雑誌）	10.1109/LCOMM.2025.3637306
Corrigendum to “Enhancing stability and convergence of offline real-time hybrid simulation via global model-based numerical substructuring approach.” Mech. Syst. Signal Process. 241 (2025) 113531 (Mechanical Systems and Signal Processing (2025) 241, (S0888327025012324), (10.1016/j.ymssp.2025.113531))	Liu H.,Tang Z.,Enokida R.	2025/11	Mechanical Systems and Signal Processing	241				なし	研究論文（学術雑誌）	10.1016/j.ymssp.2025.113578
Accurate flood extent mapping in suburban areas using a single SAR image: FFT-based artifact removal approach	Ryohei Kametaka,Bruno Adriano,Erick Mas,Shunichi Koshimura	2025/11	International Journal of Applied Earth Observation and Geoinformation					有	研究論文（学術雑誌）	10.1016/j.jag.2025.104941
Perinatal Outcomes After the Use of Kampo Medicines Containing Ephedra During Pregnancy.	Aoi Noda,Ryutaro Arita,Taku Obara,Minoru Ohsawa,Satoko Suzuki,Ken Haneda,Ryo Obara,Kei Morishita,Genki Shinoda,Keiko Murakami,Masatsugu Orui,Mami Ishikuro,Akiko Kikuchi,Shin Takayama,Tadashi Ishii,Shinichi Kuriyama	2025/11	Pharmacoepidemiology and drug safety	34	11	e70251		有	研究論文（学術雑誌）	10.1002/pds.70251
Proposal of a depth-based tsunami intensity scale for coastal buildings based on building vulnerability index: A contribution towards an integrated tsunami intensity framework	Mohd Muhaimin Ridwan Wong,Nordila Ahmad,Anawat Suppasri,Syamsidik	2025/11	INTERNATIONAL JOURNAL OF DISASTER RISK REDUCTION	130				有	研究論文（学術雑誌）	10.1016/j.ijdrr.2025.105826
Understanding community attitudes and responses to tsunami mitigation infrastructure and DRR methods in Kesennuma, Japan	Hayley Leggett,Miwako Kitamura,Anawat Suppasri,Fumihiko Imamura,Tiziana Rossetto	2025/11	INTERNATIONAL JOURNAL OF DISASTER RISK REDUCTION	130				有	研究論文（学術雑誌）	10.1016/j.ijdrr.2025.105870
Understanding the relationship between building damage and tsunami inundation due to the 2024 Noto Peninsula Earthquake	Bruno Adriano,Hideomi Gokon,Ayumu Mizutani,Erick Mas,Shunichi Koshimura	2025/11	Ocean Engineering					有	研究論文（学術雑誌）	10.1016/j.oceaneng.2025.122179
モバイル空間統計を活用した水害時の避難者数推計に関する研究	山下 慎二,マス エリック,越村 俊一,永田 彰平,森田 格	2025/11	第 34 回地理情報システム学会学術研究発表大会 講演論文集			D5-03		なし	研究論文（研究会，シンポジウム資料等）	
肝臓領域の IVR 手技における医師の水晶体被ばく線量の推定	米永 裕敬 , 芳賀 喜裕 , 佐々木 永仁 , 秋澤 彩乃 , 藤沢 昌輝 , 曽田 真宏 , 加藤 聖規 , 阿部 美津也 , 加賀 勇治 , 稲葉 洋平 , 千田 浩一	2025/11	日本放射線技術学会誌	81	11			有	研究論文（学術雑誌）	10.6009/jjrt.25-1610
経時的な発熱と精神症状の精査から難治性うつ病の背景に家族性地中海熱を見出した一例	岩渕 賢嗣 , 甲斐 愛海 , 江口 実 , 日野 瑞城 , 加賀谷 隼輔 , 豊田 直人 , 菊地 紗耶 , 國井 泰人 , 富田 博秋	2025/11	総合病院精神医学	37	Suppl.	S	179	なし	研究論文（その他学術会議資料等）	
水害常習地におけるバイアウト・取得と高床化プログラムの活用実態とリスク低減効果－米国ニューヨーク市スタテン島を対象に－	井内 加奈子 , 大津山 堅介 , 井上 亮 , 許 芮溧	2025/11	都市計画論文集	60	3	1423	1430	有	研究論文（学術雑誌）	10.11361/journalcpij.60.1423

タイトル	著者	出版年月	誌名	巻	号	開始ページ	終了ページ	査読	掲載種別	DOI
能登半島地震での沿岸部居住者による津波からの避難行動：石川県・富山県・新潟県における発災時点の位置情報に着目した事例調査	佐藤翔輔 , 星美沙希 , 今村文彦	2025/11	土木学会論文集	81	17			有	研究論文(学術雑誌)	10.2208/jscejj.25-17152
Breast Organ Dose and Radiation Exposure Reduction in Full-Spine Radiography: A Phantom Model Using PCXMC	Manami Nemoto,Koichi Chida	2025/11/3	Diagnostics	15	21	2787	2787	有	研究論文(学術雑誌)	10.3390/diagnostics15212787
Child Developmental Patterns by Age 4 Years Across Subtypes of Hypertensive Disorders of Pregnancy.	Geng Chen,Mami Ishikuro,Hisashi Ohseto,Aoi Noda,Genki Shinoda,Masatsugu Orui,Taku Obara,Shinichi Kuriyama	2025/11/3	JAMA network open	8	11	e2545719		有	研究論文(学術雑誌)	10.1001/jamanetworkopen.2025.45719
PortVIS: An Interactive Platform for Port-to-Port Trajectory Imputation and Visual Analytics	Zhiwen Zhang,Zipei Fan,Wei Yuan,Shun Iwazaki,Ryosuke Shibasaki	2025/11/3	Proceedings of the 33rd ACM International Conference on Advances in Geographic Information Systems			812	815	有	研究論文(国際会議プロシーディングス)	10.1145/3748636.3762787
Global, regional, and national burden of chronic kidney disease in adults, 1990–2023, and its attributable risk factors: a systematic analysis for the Global Burden of Disease Study 2023	GBD 2023 Chronic Kidney Disease Collaborators	2025/11/7	The Lancet	406	10518	2461	2482	有	研究論文(学術雑誌)	10.1016/s0140-6736(25)01853-7
Assessing the Demographical Dynamics of Evacuations During Flood Hazard Using Mobile Spatial Statistics	Masakazu Hashimoto,Shintaro Sata,Erick Mas,Shinichi Egawa,Daisuke Sano,Shunichi Koshimura	2025/11/8	Water	17	22			有	研究論文(学術雑誌)	10.3390/w17223192
ABIC-based joint inversion using tsunami, GNSS and SAR data: finite fault model of the 2024 Noto Peninsula earthquake, Japan	Ayumu Mizutani,Bruno Adriano,Erick Mas,Yusaku Ohta,Shunichi Koshimura	2025/11/11	Geophysical Journal International					有	研究論文(学術雑誌)	10.1093/gji/ggaf432
Large-scale geolocation data reveal evacuation behaviour during the 2024 Noto Peninsula earthquake and tsunami	Fumiyasu Makinoshima,Saki Yotsui,Shosuke Sato,Fumihiko Imamura	2025/11/12	Communications Earth & Environment	6	1			有	研究論文(学術雑誌)	10.1038/s43247-025-02819-8
Population attributable fraction of all-cause mortality due to non-normal blood pressure: results from the 2013 to 2016 baseline survey of the TMM CommCohort Study.	Rieko Hatanaka,Naoki Nakaya,Mana Kogure,Kumi Nakaya,Ippei Chiba,Sayuri Tokioka,Masato Takase,Yuka Kotozaki,Taku Obara,Satoshi Nagaie,Hideki Ohmomo,Takahito Nasu,Michihiro Satoh,Takahisa Murakami,Hirohito Metoki,Yohei Hamanaka,Masatsugu Orui,Eiichi N Kodama,Nobuo Fuse,Yoko Izumi,Kozo Tanno,Atsushi Hozawa	2025/11/12	Hypertension research : official journal of the Japanese Society of Hypertension					有	研究論文(学術雑誌)	10.1038/s41440-025-02436-0
Supplementary material to “Tsunami-Sediment Interactions Amplify Coastal Hazard and Reshape Inundation Dynamics in Tumaco Bay, Colombia”	Ronald E. Sanchez Escobar,Juan Jose Ferrer,Erick R. Velasco-Reyes,Erick Mas	2025/11/14						なし	研究論文(その他学術会議資料等)	10.5194/egusphere-2025-4986-supplement
Tsunami-Sediment Interactions Amplify Coastal Hazard and Reshape Inundation Dynamics in Tumaco Bay, Colombia	Ronald E. Sanchez Escobar,Juan Jose Ferrer,Erick R. Velasco-Reyes,Erick Mas	2025/11/14						なし	研究論文(その他学術会議資料等)	10.5194/egusphere-2025-4986
Impact of Physician Height and Experience on Eye Lens Dose in Interventional Cardiology: An Initial Study	Kodai Sagehashi,Yoshihiro Haga,Toshiki Kato,Saki Takahira,Masahiro Sota,Yuji Kaga,Mitsuya Abe,Norio Tada,Koichi Chida	2025/11/15	Applied Sciences	15	22	12137	12137	有	研究論文(学術雑誌)	10.3390/app152212137
Shortened Acquisition Duration for Brain Tumor 11C-Methionine Positron Emission Tomography on Silicon Photomultiplier Positron Emission Tomography/Computed Tomography	Takato Inomata,Kaoru Sato,Masanobu Ibaraki,Mamoru Kominami,Yuki Shinohara,Fumiko Kinoshita,Hiroyuki Yamamoto,Mamoru Kato,Toshibumi Kinoshita,Koichi Chida	2025/11/19	Applied Sciences	15	22	12292	12292	有	研究論文(学術雑誌)	10.3390/app152212292
Tsunami Casualty Risk Assessment Integrating Evacuation Tower Placement, Seismic Road Network Performance Enhancement, and Disaster Education	Ravi Thapa,Mitsuyoshi Akiyama,Koki Aoki,Noa Suzuki,Dan M. Frangopol,Shunichi Koshimura	2025/11/19	Earthquake Engineering & Structural Dynamics	55	2	500	520	有	研究論文(学術雑誌)	10.1002/eqe.70091
The Applicability of Ocean Physics Models to GNSS‐Acoustic Seafloor Geodesy	K. Sawanaga,F. Tomita	2025/11/20	Earth and Space Science	12	11			有	研究論文(学術雑誌)	10.1029/2025ea004432
A Remote Access Qualitative Study Protocol to Investigate the Coping Strategies in the Mindset of the Affected Adults after the 2025 Myanmar Earthquake.	Phue Thet Khaing,Yin May Zin Han,Kyaw Zaww,Moe Sandar Kyaw,Kaung Myat Thwin,Masatsugu Orui,Yasuto Kunii,Yumiko Hamaie,Soe San Kyaw,Motohiro Tsuboi,Shinichi Egawa	2025/11/22	The Tohoku journal of experimental medicine	267	3	263	272	有	研究論文(学術雑誌)	10.1620/tjem.2025.J130
Short- and long-term associations between antipsychotic treatment patterns and functional outcomes in chronic schizophrenia: A 10-year retrospective study using lagged mixed-effects modeling	Yuhei Mori,Risa Shishido,Mizuki Hino,Akiko Sato,Atsuko Nagaoka,Hiroshi Hoshino,Masataka Hatano,Yuto Hosogai,Yasuto Kunii,Itaru Miura	2025/11/22	Journal of Psychiatric Research	193		140	148	有	研究論文(学術雑誌)	10.1016/j.jpsychires.2025.11.020
Evaluation of Stiffness and Tensile Strength in Hardened Cement Paste Using Bayesian Updating	Md Samdani Azad,Donghwi Eum,Se-Yun Kim,Shuji Moriguchi,Tong-Seok Han	2025/11/26	INTERNATIONAL JOURNAL OF CONCRETE STRUCTURES AND MATERIALS	19	1			有	研究論文(学術雑誌)	10.1186/s40069-025-00862-5
Screening for Psychological Distress, Disaster-Related Experiences, and Newly Developed Mental Disorders among Residents Affected by the Great East Japan Earthquake: Implications for Suicide Prevention	Masatsugu Orui,Mana Kogure,Yuka Kotozaki,Taku Obara,Mami Ishikuro,Aoi Noda,Genki Shinoda,Keiko Murakami,Hirohito Metoki,Masahiro Kikuya,Yoshitake Takebayashi,Masaharu Maeda,Naoki Nakaya,Kozo Tanno,Atsushi Hozawa,Shinichi Kuriyama	2025/11/28	JMA JOURNAL					有	研究論文(学術雑誌)	10.31662/jmaj.2025-0257
Breaking the Cycle: Short Recurrence and Overshoot of an M9-class Kamchatka Earthquake	Yuji Yagi,Yukitoshi Fukahata,Ryo Okuwaki,Tomohiro Takagawa,Shinji Toda	2025/11/30	Seismica	4	2			有	研究論文(学術雑誌)	10.26443/seismica.v4i2.2012
Disaster memory as a strategic asset for building disaster resilience - Comparative study of South Korea and Japan	Ki Hun Nam,Hye Jeong Park,Ji Won Yoon	2025/11/30	Forum of Public Safety and Culture	48		433	449	有	研究論文(学術雑誌)	10.52902/kjsc.2025.48.433

タイトル	著者	出版年月	誌名	巻	号	開始ページ	終了ページ	査読	掲載種別	DOI
Submarine landslide induced tsunami modeling using 3D slope stability analysis Method: The 2024 Noto Peninsula earthquake and tsunami in Toyama Bay, Japan	Muhammad Daffa Al Farizi,Anawat Suppasri,Tsuyoshi Nagasawa,Yukio Mabuchi,Tatsunori Nogami,Hidetoshi Masuda,Daichi Sugo,Shuji Moriguchi,Yoshinori Shigihara,Fumihiko Imamura	2025/11/30	OCEAN ENGINEERING	340				有	研究論文（学術雑誌）	10.1016/j.oceaneng.2025.122240
Enhanced identification method for rational approximation models of unbounded soil to ensure stability in soil-structure interaction systems	Tang Z.,Liu H.,Fu B.,Enokida R.,Du X.	2025/12	Soil Dynamics and Earthquake Engineering	199				有	研究論文（学術雑誌）	10.1016/j.soildyn.2025.109724
Optimization-Based Methodology for Comprehensive Sustainability Analysis of Intercity Passenger Transportation Network	Satoshi MOTOKI,Makoto OKUMURA	2025/12	Journal of the Eastern Asia Society for Transportation Studies	16		PP4049		有	研究論文（学術雑誌）	10.11175/easts.16.PP4049
Performance analysis method of iteration-based offline real-time hybrid testing: Stability and efficiency	Liu H.,Tang Z.,Enokida R.	2025/12	Engineering Structures	344				有	研究論文（学術雑誌）	10.1016/j.engstruct.2025.121402
Enhancing stability and convergence of offline real-time hybrid simulation via global model-based numerical substructuring approach	Hao Liu,Zhenyun Tang,Ryuta Enokida	2025/12	Mechanical Systems and Signal Processing	241		113531	113531	有	研究論文（学術雑誌）	10.1016/j.ymssp.2025.113531
Further investigation of impact of fading correlation on joint transmit-receive diversity	Fumiyuki Adachi,Ryo Takahashi	2025/12	IEICE COMMUNICATIONS EXPRESS	14	12	460	463	有	研究論文（学術雑誌）	10.23919/comex.2025XBL0101
Large-area slope stability analysis: Performance comparison of three-dimensional limit equilibrium methods	Daichi Sugo,John Y. Choe,Saneiki Fujita,Nilolemuel J. Dolojan,Reika Nomura,Kenjiro Terada,Eiji Tominaga,Kenta Tozato,Shoji Iwanaga,Shuji Moriguchi	2025/12	SOILS AND FOUNDATIONS	65	6			有	研究論文（学術雑誌）	10.1016/j.sandf.2025.101703
Rapid prediction of rainfall-induced landslides over a wide area aided by a simulation-based surrogate model	Kenta Tozato,Daichi Sugo,Nilo Lemuel J. Dolojan,Reika Nomura,Kenjiro Terada,Shinsuke Takase,Kenji Kaneko,Shuji Moriguchi	2025/12	Computers and Geotechnics	188		107480	107480	有	研究論文（学術雑誌）	10.1016/j.compgeo.2025.107480
Risk of Major Congenital Malformations Associated With First-Trimester Exposure to Topical Antifungal Medications: A Large Claims Database Study.	Tadaharu Kunitoki,Takamasa Sakai,Tomofumi Ishikawa,Ryo Obara,Kei Morishita,Azusa Hara,Motohiko Adomi,Haruto Watanabe,Kaya Hayasaka,Yuna Yoshida,Aki Shimizu,Genki Shinoda,Aoi Noda,Mami Ishikuro,Masatsugu Orui,Noriyuki Iwama,Seiko Yamakoshi,Emiko Sato,Nariyasu Mano,Shinichi Kuriyama,Nobuyuki Takahashi,Taku Obara	2025/12	Pharmacoepidemiology and drug safety	34	12	e70274		有	研究論文（学術雑誌）	10.1002/pds.70274
The relationship between preeclampsia subtypes and birth weight to placental weight ratio: Insights from a study of 17,709 pregnant Japanese women.	Hisashi Ohseto,Mami Ishikuro,Genki Shinoda,Aoi Noda,Keiko Murakami,Masatsugu Orui,Noriyuki Iwama,Masahiro Kikuya,Hirohito Metoki,Atsushi Hozawa,Taku Obara,Shinichi Kuriyama	2025/12	Placenta	172		100	103	有	研究論文（学術雑誌）	10.1016/j.placenta.2025.10.017
Tsunami simulation and boulder transport across contrasting coastal geomorphologies in Sanriku, Japan	Storm Roberts,Daisuke Sugawara,Hidetoshi Masuda,Sarah J. Boulton	2025/12	Geomorphology	490		110026	110026	有	研究論文（学術雑誌）	10.1016/j.geomorph.2025.110026
ニホンザル歯中炭酸ラジカルの電子スピン共鳴法測定におけるマイクロ波パワーの最適化	林哲平 , 山下琢磨 , 光安優典 , 小野健太 , 岩見聡音 , 岡壽崇 , 高橋温 , 木野康志 , 関根勉 , 清水良央 , 千葉美麗 , 鈴木敏彦 , 小坂健 , 佐々木啓一 , 佐藤拓 , 鈴木正敏 , 福本学 , 篠田壽	2025/12	Proceedings of the 26th Workshop on Environmental Radioactivity	2025	2			有	研究論文（研究会，シンポジウム資料等）	
低濃度持続処理によるヒト細胞内へのトリチウムの取り込み・局在と DNA 二重鎖切断誘発との関連性	和泉哉汰 , 磯部理央 , 佐藤拓 , 山下琢磨 , 木野康志 , 福本学 , 鈴木正敏 , 千田浩一	2025/12	Proceedings of the 26th Workshop on Environmental Radioactivity			89	94	有	研究論文（研究会，シンポジウム資料等）	
特集《震災時のメンタルヘルス対策》東日本大震災で得られた教訓から災害後のメンタルヘルス対策を考える	國井泰人	2025/12	CAMPUS HEALTH	62	2	3	9	有	研究論文（学術雑誌）	
福島県内の土壌から採取した不溶性セシウム粒子による細胞影響解析	鈴木正敏 , 遠藤暁 , 二宮和彦 , 真辺健太郎 , 佐藤拓 , 和泉哉汰 , 千田浩一 , 福本学	2025/12	Proceedings of the 26th Workshop on Environmental Radioactivity	2025	2			有	研究論文（研究会，シンポジウム資料等）	
福島県浜通りで捕獲されたニホンザル臓器中の放射性セシウム濃度の測定	長原辰弥 , 尾田晃平 , 林哲平 , 木野康志 , 山下琢磨 , 石川諒椰 , 佐藤拓 , 和泉哉汰 , 鈴木正敏 , 千田浩一 , 福本学	2025/12	Proceedings of the 26th Workshop on Environmental Radioactivity	2025	2	48	53	有	研究論文（研究会，シンポジウム資料等）	
福島第一原発事故に被災した野生ニホンザルの外部被ばく評価と血漿における酸化ストレス状態解析	佐藤拓 , 石川諒椰 , 和泉哉汰 , 尾田晃平 , 林哲平 , 長原辰弥 , 山下琢磨 , 木野康志 , 遠藤暁 , 鈴木敏彦 , 篠田壽 , 福本学 , 鈴木正敏 , 千田浩一	2025/12	Proceedings of the 26th Workshop on Environmental Radioactivity	2025	2	95	100	有	研究論文（研究会，シンポジウム資料等）	
Design and Implementation of an Open-Source Web-Based GIS System for Early Earthquake Damage Estimation in Lima, Peru	Italo Inocente,Miguel Diaz,Masashi Matsuoka,Yoshihisa Maruyama,Hiroyuki Miura,Wen Liu,Bruno Adriano,Juan C. Tarazona,Carlos Zavala,Jhianpiere Salinas	2025/12/1	Journal of Disaster Research					有	研究論文（学術雑誌）	10.20965/jdr.2025.p1034
Estimation of Building Heights in Peru from High-Resolution Stereo Optical Satellite Imagery	Wen Liu,Mamoru Kamegawa,Bruno Adriano,Hiroyuki Miura,Masashi Matsuoka,Italo Inocente,Fernando Garcia,Jorge Morales,Miguel Diaz,Miguel Estrada	2025/12/1	Journal of Disaster Research					有	研究論文（学術雑誌）	10.20965/jdr.2025.p1023
Influence of the Parameters in Resistance Models for 2D Shallow Water Debris Flow Simulation -A Case Study in Atami City, Japan-	Reika Nomura,Nilo Lemuel Dolojan,Chiho Otsuka,Soma Hidano,Shuji Moriguchi,Takeshi Kodaka,Kenjiro Terada	2025/12/1	Journal of Disaster Research	20	6	1062	1079	有	研究論文（学術雑誌）	10.20965/jdr.2025.p1062
Parallel Computing Approach for Rapid Estimation of Tsunami Hazard and Population Exposure in Peru	Fernando Garcia,Miguel Estrada,Julian Palacios,Carlos Davila,Angel Quesquen,Jorge Morales,Bruno Adriano,Erick Mas,Shunichi Koshimura	2025/12/1	Journal of Disaster Research					有	研究論文（学術雑誌）	10.20965/jdr.2025.p0912
Towards Sustainable Disaster Prevention: Strengthening Environment-based Disaster Governance in Indonesia	Rahmawati Husein,Kanako Iuchi	2025/12/1	IOP Conference Series: Earth and Environmental Science	1566	1	12010	12010	有	研究論文（学術雑誌）	10.1088/1755-1315/1566/1/012010
みんなにやさしいインクルーシブ防災とは？ What is inclusive disaster preparedness that is kind to everyone?	Julia Gerster	2025/12/1	Lifezack Media Academia Contents					なし	研究論文（その他学術会議資料等）	

タイトル	著者	出版年月	誌名	巻	号	開始ページ	終了ページ	査読	掲載種別	DOI
I-, Q-, and I/Q-simultaneously bifurcated photonic Ising machines with Kerr nonlinearity	Masataka Nakazawa, Toshihiko Hirooka	2025/12/1	OPTICS EXPRESS	33	24	51513	51533	有	研究論文(学術雑誌)	10.1364/OE.578292
Quantifying the fatal and non-fatal burden of disease associated with child growth failure, 2000–2023: a systematic analysis from the Global Burden of Disease Study 2023	GBD 2023 Child Growth Failure Collaborators	2025/12/2	The Lancet Child & Adolescent Health	10	1	22	38	有	研究論文(学術雑誌)	10.1016/s2352-4642(25)00303-7
Cost-effectiveness and road network resilience-based countermeasure strategy optimisation of bridges subjected to ground motion and tsunami	Hiroki Ishibashi,Mitsuyoshi Akiyama,Dan M. Frangopol,Shunichi Koshimura	2025/12/3	Structure and Infrastructure Engineering			1	19	有	研究論文(学術雑誌)	10.1080/15732479.2025.2593586
Age-related factors associated with preserved ratio impaired spirometry: The Tohoku medical Megabank project community-based cohort study.	Chikashi Iwasaki,Kumi Nakaya,Mitsuhiro Yamada,Naoki Nakaya,Mana Kogure,Rieko Hatanaka,Ippei Chiba,Masato Takase,Sayuri Tokioka,Taku Obara,Masatsugu Orui,Naoya Fujino,Akira Koarai,Tomoko Kobayashi,Yohei Hamanaka,Eiichi N Kodama,Satoshi Nagaie,Soichi Ogishima,Nobuo Fuse,Shinichi Kuriyama,Hisatoshi Sugiura,Atsushi Hozawa	2025/12/4	Respiratory investigation	64	1	101343	101343	有	研究論文(学術雑誌)	10.1016/j.resinv.2025.101343
Development and Performance Evaluation of a Novel Mobile X-ray System for Use in Disaster Situations.	Masaki Fujisawa,Yohei Inaba,Toshiki Kato,Masatoshi Suzuki,Koichi Chida	2025/12/5	The Tohoku journal of experimental medicine	267	3	345	355	有	研究論文(学術雑誌)	10.1620/tjem.2025.J054
Tsunami Potential and Scaling Characteristics of Rotational Submarine Landslides in the Eastern Margin of the Sea of Japan	Yoshinori Shigihara,Masataka Inui,Shogo Sawano,Yasuko Hiwatashi,Anawat Suppasri,Yo Fukutani,Takashi Kumamoto	2025/12/11	JOURNAL OF GEOPHYSICAL RESEARCH-OCEANS	130	12			有	研究論文(学術雑誌)	10.1029/2025JC023269
When disaster meets conflict: Bridging health, nutrition and equity in Myanmar	Kaung Suu Lwin,Su Myat Han,Shuhei Nomura	2025/12/11	BMJ Global Health	10		e020067		有	研究論文(学術雑誌)	10.1136/bmjgh-2025-020067
A case of celiac disease carrying the half DQ2 variant with a variety of psychiatric manifestations	Akiko Sato,Yasuto Kunii,Takuya Tsunoda,Yoshiko Yamaguchi,Koichi Osonoe,Shuzo Hoshino	2025/12/12	Psychiatry and Clinical Neurosciences Reports	4	4	e70267		有	研究論文(学術雑誌)	10.1002/pcn5.70267
Cost-benefit analysis of pre-entry tuberculosis screening for incoming migrants to Japan: a focus on Nepalese migrants	Yoko Iwaki,Takayuki Hayashi,Shuhei Nomura,Shoko Shimamura,Rohita Gauchan,Michael C. Huang	2025/12/13	Health Economics Review					有	研究論文(学術雑誌)	10.1186/s13561-025-00709-5
Global burden of lower respiratory infections and aetiologies, 1990–2023: a systematic analysis for the Global Burden of Disease Study 2023	GBD 2023 Lower Respiratory Infections and Antimicrobial Resistance Collaborators	2025/12/15	The Lancet Infectious Diseases					有	研究論文(学術雑誌)	10.1016/s1473-3099(25)00689-9
Small for gestational age by grandmaternal smoking during pregnancy: Tohoku Medical Megabank Project Birth and Three-Generation Cohort Study.	Mustakim,Mami Ishikuro,Chikana Kawaguchi,Genki Shinoda,Aoi Noda,Masatsugu Orui,Keiko Murakami,Hirohito Metoki,Taku Obara,Shinichi Kuriyama	2025/12/15	Journal of developmental origins of health and disease	16		e46		有	研究論文(学術雑誌)	10.1017/S2040174425100305
Strengthening Urban Pandemic Preparedness: A Dual-Focused Machine Learning-Enhanced Spatial Evaluation of Pandemic Vulnerability Through Infection Risk and Vaccination Accessibility	Dong Liu,Jason Gilliland,Tomoki Nakaya,Zihan Kan,Shohei Nagata,Jing Huang	2025/12/16	Applied Spatial Analysis and Policy	19		1		有	研究論文(学術雑誌)	10.1007/s12061-025-09773-0
Establishment of Ascertainment Methods for Cardiovascular Disease Onset in the Tohoku Medical Megabank Organization	Rieko Hatanaka,Naoki Nakaya,Sayuri Tokioka,Ippei Chiba,Taku Obara,Hirohito Metoki,Masahiro Kikuya,Kotaro Nochioka,Masatsugu Orui,Kai Susukita,Masato Takase,Ikumi Kanno,Mana Kogure,Kumi Nakaya,Mami Ishikuro,Satoshi Nagaie,Soichi Ogishima,Yohei Hamanaka,Eiichi N. Kodama,Nobuo Fuse,Shinichi Kuriyama,Atsuhi Hozawa	2025/12/26	Circulation Reports					有	研究論文(学術雑誌)	10.1253/circrep.cr-25-0263
数値解析に基づく地形改変と土地利用の変化が災害リスクに与える影響の定量化	森口 周二 , 吉沢 美香 ,Dolojan Nilo, 野村 怜佳 , 寺田 賢二郎 , 菅原 大助 , 川内 淳史 , 蝦名 裕一 , 鈴木 温 , 溝口 敦子 , 藤井 幸泰 , 小高 猛司	2025/12/26	日本計算工学会論文集	2025	2	20252003	20252003	有	研究論文(学術雑誌)	10.11421/jsces.2025.20252003
Integrating GAN-Generated SAR and Optical Imagery for Building Damage Mapping	Chia Yee Ho,Bruno Adriano,Gerald Baier,Erick Mas,Sesa Wiguna,Magaly Koch,Shunichi Koshimura	2025/12/31	Remote Sensing					有	研究論文(学術雑誌)	10.3390/rs18010134
若年被災者の声を活用した震災伝承活動	齋藤由美子 , 佐藤健	2026	東北地域災害科学研究	62	62	157	160	なし	研究論文(学術雑誌)	
LC-QTOF/MS と三次元蛍光分析を組み合わせたフミン質プロファイル解析と塩素処理後の変化	矢野 涼介 , 鈴木 裕識 , 岩崎 雄一 , 内田 典子 , 木村 辰徳	2026/1	土木学会論文集 ,	81	25			有	研究論文(学術雑誌)	10.2208/jscejj.25-25041
Efficient DOA Estimation in Hybrid Analog-Digital Structures: Mitigating the Impact of Mutual Coupling	Ye Tian,Hongyun Zhao,Tuo Wu,Wei Liu,Maged Elkashlan,Henk Wymeersch,Fumiyuki Adachi,George K. Karagiannidis,Chau Yuen	2026/1	IEEE TRANSACTIONS ON VEHICULAR TECHNOLOGY	75	1	1677	1682	有	研究論文(学術雑誌)	10.1109/TVT.2025.3594548
Evaluation of open-source SAR-based flood datasets for flood extent mapping in emergency settings	Ira Karrel San Jose,Sesa Wiguna,Ryohei Kametaka,Bruno Adriano,Erick Mas,Shunichi Koshimura	2026/1	Progress in Disaster Science					有	研究論文(学術雑誌)	10.1016/j.pdisas.2025.100507
Intelligent characterization of discontinuities and heterogeneity evaluation of potential hazard sources in high-steep rock slope by TLS-UAV technology	Changqing Liu,Han Bao,Tianyi Wang,Jingfeng Zhang,Hengxing Lan,Shengwen Qi,Wei Yuan,Shunichi Koshimura	2026/1	Journal of Rock Mechanics and Geotechnical Engineering					有	研究論文(学術雑誌)	10.1016/j.jrmge.2025.03.023
Multi-Dimensional Spectrum Prediction Using Closed-Form Continuous-Time Neural Network With Graph Attention	Ruicheng Li,Shufei Wang,Hao Huang,Chau Yuen,Xianbin Wang,Fumiyuki Adachi,Guan Gui	2026/1	IEEE TRANSACTIONS ON VEHICULAR TECHNOLOGY	75	1	1580	1584	有	研究論文(学術雑誌)	10.1109/TVT.2025.3593372
People's perception on recovery and resilience: An analysis of two major disasters in Japan and the Philippines	Takako Izumi,Rajib Shaw	2026/1	Progress in Disaster Science	29		100496	100496	有	研究論文(学術雑誌)	10.1016/j.pdisas.2025.100496
Quantitative identification and hazard assessment of potentially unstable rock masses along mountainous transportation corridors	Changqing Liu,Han Bao,Jingfeng Zhang,Jinghao Yang,Xuanyan Dong,Hengxing Lan,Shunichi Koshimura,Wei Yuan	2026/1	Engineering Failure Analysis					有	研究論文(学術雑誌)	10.1016/j.engfailanal.2025.110273

タイトル	著者	出版年月	誌名	巻	号	開始ページ	終了ページ	査読	掲載種別	DOI
Quantum neural network-assisted topology optimization: Concept and implementation with parameterized quantum circuits	Naruethep Sukulthanasorn,Kenjiro Terada	2026/1	Computer Methods in Applied Mechanics and Engineering					有	研究論文(学術雑誌)	10.1016/j.cma.2025.118411
最後の一人を救うコミュニティアラートシステムのモデル開発および実装	原 裕太 , 小野裕一 , 橋本尚志 , 松藤慶之 , 若尾波月 , 長谷川誠	2026/1	日本ロボット学会誌	44	1	pp.16	21	なし	研究論文(学術雑誌)	10.7210/jrsj.44.16
繰返し衝突および接地による累積エネルギー損失を考慮した剛体ブロックの転倒限界ーインパルス入力を用いた閉形式による解析的定式化	土田 陽奈子 , 榎田 竜太 , 藤田 皓平	2026/1/1	日本建築学会構造系論文集	91	839	110	120	有	研究論文(学術雑誌)	10.3130/aijs.91.110
Environmental DNA metabarcoding for insect biodiversity surveys: Current status and future prospects for potential applications in highly diverse insect taxa	Masaki Takenaka,Noriko Uchida,Yuta Hasebe,Koki Yano,Gaku Ueki	2026/1/6	Entomological Science	29	1			有	研究論文(学術雑誌)	10.1111/ens.12616
Global, regional, and national burden of chronic respiratory diseases and impact of the COVID-19 pandemic, 1990–2023: a Global Burden of Disease study	GBD 2023 Global Chronic Respiratory Disease and Covid Collaborators	2026/1/6	Nature Medicine					有	研究論文(学術雑誌)	10.1038/s41591-025-04077-9
Machine-learning detection of slow slip events in western Shikoku, Japan, through joint analysis of seismic and geodetic data	Kazuki Ohtake,Aitaro Kato,Yutaro Okada,Takuya Nishimura	2026/1/8	Earth, Planets and Space					有	研究論文(学術雑誌)	10.1186/s40623-025-02331-5
Pediatric dental cone-beam computed tomography using half-acquisition and low-noise reconstruction: visual evaluation of clinical images.	Misaki Ito,Ikuho Kojima,Masahiro Iikubo,Shu Onodera,Masahiro Sai,Masaki Fujisawa,Toshiki Kato,Masaaki Nakamura,Masayuki Zuguchi,Koichi Chida	2026/1/8	Physical and engineering sciences in medicine					有	研究論文(学術雑誌)	10.1007/s13246-025-01691-2
Impact of Single Halogen Atom Substitutions on Antiviral Profile of Inhibitors Targeting SARS-CoV-2 Main Protease	Haydar Bulut,Nobuyo Higashi-Kuwata,Hiromi Ogata-Aoki,Hironori Hayashi,Nobutoki Takamune,Naoki Kishimoto,Debananda Das,Mi Li,Alexander Wlodawer,Shogo Misumi,Hirokazu Tamamura,Hiroaki Mitsuya	2026/1/14	ACS Omega	11	3	4541	4550	有	研究論文(学術雑誌)	10.1021/acsomega.5c10895
Recurrent earthquake swarms and transient crustal deformation off the Tokara Islands, southern Japan: Insights from the 2025 swarm sequence	Yutaro Okada,Yusaku Ohta,Miku Ohtate,Yoshiaki Ito,Mako Ohzono,Hiroshi Yakiwara,Shigeru Nakao	2026/1/14						なし	研究論文(その他学術会議資料等)	10.21203/rs.3.rs-8399343/v1
Distribution of axial length in Japanese children and adolescents aged 4 to 19 years.	Shunsuke Fujioka,Naoko Takada,Sayaka Yoshida,Mami Ishikuro,Masayuki Kobayashi,Genki Shinoda,Aoi Noda,Masatsugu Orui,Taku Obara,Satoru Tsuda,Noriko Himori,Akiko Hanyuda,Ryo Kawasaki,Shinichi Kuriyama,Nobuo Fuse,Toru Nakazawa	2026/1/19	Japanese journal of ophthalmology					有	研究論文(学術雑誌)	10.1007/s10384-026-01328-1
Burden of chronic respiratory disease in Asia, 1990–2023: a systematic analysis for the Global Burden of Disease Study 2023	GBD 2023 Asia Chronic Respiratory Disease Collaborators	2026/1/21	The Lancet Respiratory Medicine					有		
Japan's Disaster Risk Reduction Diplomacy and the "Sendai Framework for Disaster Risk Reduction"	Elizabeth Maly	2026/1/22	Handbook of Disaster Studies in Japan					なし		
Identification of stratigraphic duplication using radiocarbon dating: An example from geological units at a road-cut exposure near the Kumamoto Earthquake Museum KIOKU, southwest Japan	Mitsuru Okuno,Masayuki Torii,Masataka Kawaguchi,Naoya Takahashi,Takashi Ishizawa,Yasuo Ichikawa,Yoko Yoshimi,Yuki Hara,Shinji Toda	2026/1/23	Radiocarbon			1	9	有	研究論文(学術雑誌)	10.1017/rdc.2025.10172
Persistence of autistic symptom differences by severity among individuals at clinical high risk for psychosis and with first-episode psychosis: An 18-month longitudinal follow-up study.	Hiroshi Komatsu,Yutaro Sato,Kazuho Tomimoto,Goh Onoguchi,Kaori Sora,Yoshiaki Shiozawa,Masato Takahama,Yusuke Utsumi,Yumiko Hamaie,Atsushi Sakuma,Noriyuki Ohmuro,Masahiro Katsura,Fumiaki Ito,Takashi Ono,Nobuhisa Kanahara,Kazunori Matsumoto,Hiroaki Tomita	2026/1/27	Journal of psychiatric research	195		219	224	有	研究論文(学術雑誌)	10.1016/j.jpsychires.2026.01.033
Comparative Effectiveness of Behavioural Sodium-Reduction Interventions for Intensive Systolic Blood Pressure Control in Populations with Elevated Blood Pressure: A Systematic Review and Network Meta-Analysis	Prapichaya Prommas,Manae Uchibori,Santosh Kumar Rauniyar,Shuhei Nomura	2026/1/28	Nutrients	18	3	428		有	研究論文(学術雑誌)	10.3390/nu18030428
4K ライブカメラ映像を用いた海水浴場の津波避難動態調査	成田峻之輔 , 佐藤翔輔 , 今村文彦	2026/2	自然災害科学	44	4	383	394	有	研究論文(学術雑誌)	
Calculation of approximate heart rate variability indicators based on low-resolution heart rate data provided by widely used commercially available wearable devices	Xue Li,Goh Onoguchi,Hiroshi Komatsu,Chiaki Ono,Noriko Warita,Zhiqian Yu,Atsuko Nagaoka,Sho Horikoshi,Kenji Iwabuchi,Kohei Fuji,Mizuki Hino,Yuta Takahashi,Hisashi Ohseto,Natsuko Kobayashi,Saya Kikuchi,Yasuto Kunii,Taku Obara,Shinichi Kuriyama,Noriyasu Homma,Parashkev Nachev,Akinori Ito,Hiroaki Tomita	2026/2	Biomedical Signal Processing and Control	112		108579	108579	有	研究論文(学術雑誌)	10.1016/j.bspc.2025.108579
DYNAMIC POPULATION THERMAL EXPOSURE USING UTCI AND MOBILE POPULATION DATA	Ryoga HIROKI,Thanakrit YOONGSOMPORN,Alvin C. G. VARQUEZ,Sunkyung CHOI,Makoto OKUMURA,Shinya HANAOKA,Manabu KANDA	2026/2	Journal of JSCE Special Publication	2026	25	16026		有	研究論文(学術雑誌)	10.2208/journalofjscesp.25-16026
Experimental examination of single-storey free-standing structures with a restoration function and seismic response estimation	Tomoki Nishio,Ryuta Enokida,Kohju Ikago	2026/2	Soil Dynamics and Earthquake Engineering	201		109926	109926	有	研究論文(学術雑誌)	10.1016/j.soildyn.2025.109926
Exploit Security for Low-Altitude Economy: A SWIPT-Driven Strategy With UAV-Mounted MF-RIS	Sai Zhao,Longshen Wen,Dong Tang,Tuo Wu,Maged Elkashlan,Fumiyuki Adachi,Naofal Al-Dhahir,Chau Yuen	2026/2	IEEE TRANSACTIONS ON VEHICULAR TECHNOLOGY	75	2	3336	3341	有	研究論文(学術雑誌)	10.1109/TVT.2025.3599863

タイトル	著者	出版年月	誌名	巻	号	開始ページ	終了ページ	査読	掲載種別	DOI
Exploring the horizontal mechanical behavior of natural rubber bearings with eccentric installation	Yang Dong,Haowen Zheng,Ruihong Xie,Shuai Xu,Yanjie Li	2026/2	Structures					有	研究論文(学術雑誌)	10.1016/j.istruc.2026.111087
Performance evaluation of personal dosimeter D-Shuttle for use by residents in the event of a nuclear accident	Ayano Akisawa,Eishin Sasaki,Hirotaka Yonenaga,Kanata Izumi,Yuki Okabe,Yohei Inaba,Koichi Chida	2026/2	Radiation Physics and Chemistry	239		113323	113323	有	研究論文(学術雑誌)	10.1016/j.radphyschem.2025.113323
RAINFALL'S INFLUENCE ON NATIONWIDE HUMAN MOBILITY AS EVIDENCED FROM HIGH SPATIOTEMPORAL RESOLUTION RAIN AND POPULATION DATA	Thanakrit YOONGSOMPORN,Alvin C.G. VARQUEZ,Sunkyung CHOI,Makoto OKUMURA,Shinya HANAOKA,Manabu KANDA	2026/2	Journal of JSCE Special Publication	2026	25	16025		有	研究論文(学術雑誌)	10.2208/journalofjscesp.25-16025
Resilient Distributed Antenna System via Dynamic Cell-Restructuring	Sijie Xia,Suguru Kameda,Qiang Chen,Fumiyuki Adachi	2026/2	International Conference on Computing, Networking and Communications (ICNC 2026)					有	研究論文(国際会議プロシーディングス)	
Robust HAR with CSI Tokens: Single-Direction Prompt Guidance on a Frozen LLM	Fucheng Miao,Osamu Takyu,Lin Shan,Ou Zhao,Tomoaki Ohtsuki,Guan Gui,Fumiyuki Adachi	2026/2	International Conference on Computing, Networking and Communications (ICNC 2026)					有	研究論文(国際会議プロシーディングス)	
Robust seismic response evaluation considering an uncertainty emerging in asymmetric bridges	Yu Lin,Yuguang Fu,Jubo Sun,Ruihong Xie,Xinhao He	2026/2	Reliability Engineering & System Safety					有	研究論文(学術雑誌)	10.1016/j.ress.2025.111740
SIE: Structural identification encoders for self-supervised learning of nonlinear dynamic systems using computer vision with limited physical knowledge	Haoran Pan,Jia Guo,Ryuta Enokida,Kohju Ikago	2026/2	Engineering Structures	348		121796	121796	有	研究論文(学術雑誌)	10.1016/j.engstruct.2025.121796
TTDI-Based Longitudinal Assessment of COVID-19 Disruptions in Thailand and Southeast Asian Tourism	Kumpol Saengtabtim,Natt Leelawat,Jing Tang,Anawat Suppasri	2026/2	Results in Engineering			109595	109595	有	研究論文(学術雑誌)	10.1016/j.rineng.2026.109595
簡易型河川監視カメラと河道流解析による河川水位推定手法の提案	橋本 雅和 , 浜名 哉多 , 安室 喜弘 , 越村 俊一	2026/2	土木学会論文集	82	16			有	研究論文(学術雑誌)	10.2208/jscejj.25-16079
震災資料の可能性を問いなおす：体験から歴史へのあいだ	川内淳史	2026/2	新しい歴史学のために		307	3	18	なし	研究論文(学術雑誌)	
津波堆積物に基づく波源推定の最近の展開	菅原 大助	2026/2	第四紀研究	65	4			有	研究論文(学術雑誌)	10.4116/jaqua.65.2513
鳴瀬川水系名蓋川における 2022 年 7 月豪雨による洪水氾濫の特徴	橋本雅和 , 林 伶将 , 高橋尚志 , 市川 健 , 森口周二	2026/2	自然災害科学	44	4	419	428	有	研究論文(学術雑誌)	
Comparative Analysis of PALSAR-2 and Geographical Features for Mapping Urban and Non-Urban Flooded Areas	Ryosuke Nagato,Ira Karrel San Jose,Sesa Wiguna,Ryohei Kametaka,Bruno Adriano,Erick Mas,Shunichi Koshimura	2026/2/1	Journal of Disaster Research					有	研究論文(学術雑誌)	10.20965/jdr.2026.p0201
Operationalizing Updated Tsunami Hazard Assumptions in School Evacuation Planning: Insights from Teacher Training and Implementation Challenges in Japan	Aiko Sakurai;Makoto Kumagai;Yoshiyuki Murayama;Mizan B. F. Bisri;Takeshi Sato	2026/2/1	Journal of Disaster Research	21	1	138	150	有	研究論文(学術雑誌)	https://doi.org/10.20965/jdr.2026.p0138
Empirical Analysis of the Long-Term Life Recovery Process from the 2011 Great East Japan Earthquake Using the Life Recovery Calendar Method	Reo Kimura,Keiko Tamura,Shosuke Sato,Munenari Inoguchi	2026/2/1	Journal of Disaster Research	21	1	59	70	有	研究論文(学術雑誌)	10.20965/jdr.2026.p0059
Research of Life Recovery Process of Victims of Small and Medium-Sized Floods Using Mobile Spatial Statistics and Social Survey	Jinsaku Asano,Shosuke Sato,Fumihiko Imamura	2026/2/1	Journal of Disaster Research	21	1	151	163	有	研究論文(学術雑誌)	10.20965/jdr.2026.p0151
Spatio-Temporal Dynamics of Collective Disaster Event Cognition in the Digital Sphere: A Long-Term Case Study of the Great East Japan Earthquake (2011–2025)	Ryo Saito,Ryota Takano,Pradytia Putri Pertiwi,Mufidatun Khoiriyah,Akihiro Aotani,Hiroyuki Miura,Toshiaki Muramoto,Osamu Murao	2026/2/1	Journal of Disaster Research	21	1	181	200	有	研究論文(学術雑誌)	10.20965/jdr.2026.p0181
Bidirectional Associations of Screen Time with Externalizing and Internalizing Behaviors in Children: A Random Intercept Cross-Lagged Panel Model.	Ippei Takahashi,Taku Obara,Midori Yamamoto,Mami Ishikuro,Masatsugu Orui,Aoi Noda,Genki Shinoda,Fuji Nagami,Atsushi Hozawa,Tomoko Nishimura,Kenji J Tsuchiya,Kenichi Sakurai,Shinichi Kuriyama	2026/2/2	American journal of epidemiology					有	研究論文(学術雑誌)	10.1093/aje/kwag023
Spatiotemporal Variations in the Interplate Slip Rate around Kodiak Island, Alaska	Yutaro Okada,Takuya Nishimura,Jeffrey Todd Freymueller	2026/2/3						なし	研究論文(その他学術会議資料等)	10.22541/essoar.176087279.94521046/v2
Association between radiation knowledge and risk perception among certified disaster prevention advisers (Bousaisi): a cross-sectional study.	Yoshitake Takebayashi,Ryo Saito,Mari Yasuda,Toshiaki Muramoto,Naomi Ito,Masaharu Tsubokura,Atsushi Nakano,Mika Sato	2026/2/4	Journal of radiological protection : official journal of the Society for Radiological Protection	46	1				研究論文(学術雑誌)	10.1088/1361-6498/ae361c
Sex differences in the risk of autistic-related traits in toddlers born to mothers with perinatal depression: Evidence from human cohort and mouse study.	Changrong Duan,Zhiqian Yu,Xue Li,Mai Sakai,Yuko Maejima,Kenju Shimomura,Tomoyuki Furuyashiki,Saya Kikuchi,Natsuko Kobayashi,Kazuto Sasaki,Tasuku Matsuki,Hiroshi Komatsu,Mizuki Hino,Yasuto Kunii,Tomoko Kasahara,Mami Ishikuro,Keiko Murakami,Masatsugu Orui,Takaaki Abe,Fuji Nagami,Nobuo Fuse,Soichi Ogishima,Kengo Kinoshita,Masayuki Yamamoto,Naoki Nakaya,Atsushi Hozawa,Taku Obara,Shinichi Kuriyama,Hiroaki Tomita	2026/2/4	Molecular psychiatry					有	研究論文(学術雑誌)	10.1038/s41380-026-03456-z
Source estimation of the 1703 Genroku tsunami through geological surveys and numerical simulations on Hachijo Island	Hiroko Kaida,Takashi Ishizawa,Hideaki Yanagisawa,Haruki Imura,Kaoru Hayashi,Kazuhisa Goto	2026/2/6	PROGRESS IN EARTH AND PLANETARY SCIENCE	13	1			有	研究論文(学術雑誌)	10.1186/s40645-026-00798-8

タイトル	著者	出版年月	誌名	巻	号	開始ページ	終了ページ	査読	掲載種別	DOI
108 Gbit/s, 64 QAM fully-coherent mobile-fronthaul transmission over 10 km SMF and 70 m wirelessly in the 125 GHz band	Tomoki Joichi, Arata Watanabe, Keisuke Kasai, Toshihiko Hirooka, Masato Yoshida, Masataka Nakazawa	2026/2/12	Optics Express	34	4	6345	6345	有	研究論文（学術雑誌）	10.1364/oe.579647
Multi-Satellite Federated Learning for On-Orbit Radio Frequency Fingerprint Identification	Long Yang,Zhenhan Zhao,Lu Lv,Yuchen Zhou,Xianfu Lei,Arumugam Nallanathan,Fumiyuki Adachi	2026/2/13	IEEE WIRELESS COMMUNICATIONS					有	研究論文（学術雑誌）	10.1109/MWC.2026.3656149
Seafloor geodetic evidence of slip deficit near the southwestern Kuril Trench	Fumiaki Tomita,Yusaku Ohta,Motoyuki Kido,Mako Ohzono,Hiroaki Takahashi,Ryota Hino,Takeshi Iinuma	2026/2/14	Communications Earth & Environment					有	研究論文（学術雑誌）	10.1038/s43247-026-03297-2
Formation process of the gravel-dominated deposit from the 2011 Tohoku-oki tsunami in Ofunato, northeastern Japan, inferred by integrating sedimentology and tsunami modelling	Hidetoshi Masuda,Haruki Imura,Koki Nakata,Takashi Ishizawa,Daisuke Sugawara,Kazuhisa Goto	2026/2/15	Sedimentology					有	研究論文（学術雑誌）	10.1111/sed.70089
Genome-wide association study of social isolation in 63,497 Japanese individuals from the general population.	Hisashi Ohseto,Kosuke Inoue,Ippei Takahashi,Taku Obara,Akira Narita,Mami Ishikuro,Masatsugu Orui,Keiko Murakami,Aoi Noda,Genki Shinoda,Masato Takase,Naoki Nakaya,Mana Kogure,Rieko Hatanaka,Kumi Nakaya,Ippei Chiba,Sayuri Tokioka,Yuka Kotozaki,Atsushi Shimizu,Kozo Tanno,Atsushi Hozawa,Gen Tamiya,Naoki Kondo,Shinichi Kuriyama	2026/2/17	Translational psychiatry					有	研究論文（学術雑誌）	10.1038/s41398-026-03896-9
Modeling incubation period and time of exposure using the four-parameter generalized gamma distribution	Daisuke Yoneoka,Takayuki Kawashima,Yuta Tanoue,Shuhei Nomura,Akifumi Eguchi	2026/2/20	Biostatistics & Epidemiology	10	1			有	研究論文（学術雑誌）	10.1080/24709360.2026.2619272
Association of subjective and objective physical activity with home hypertension.	Saki Hayashi,Mana Kogure,Ippei Chiba,Rieko Hatanaka,Kumi Nakaya,Masato Takase,Sayuri Tokioka,Masatsugu Orui,Eiichi N Kodama,Yohei Hamanaka,Mami Ishikuro,Taku Obara,Satoshi Nagaie,Tomohiro Nakamura,Soichi Ogishima,Sho Nagayoshi,Mitsuo Kuwabara,Toshiyuki Iwaoka,Nobuo Fuse,Yoko Izumi,Naoki Nakaya,Shinichi Kuriyama,Atsushi Hozawa	2026/2/24	Hypertension research : official journal of the Japanese Society of Hypertension					有	研究論文（学術雑誌）	10.1038/s41440-026-02587-8
Liquid-liquid phase separation and its regulation of the BACH2 intrinsically disordered region	Hironori Hayashi,Miyuki Kato-Murayama,Takeshi Kurasawa,Eiichi N. Kodama,Mikako Shirouzu,Kazuhiko Igarashi,Kazutaka Murayama	2026/2/25	Biophysics and Physicobiology	23	1	e230010		有	研究論文（学術雑誌）	10.2142/biophysico.bppb-v23.0010
Routine Life-Course Health Records in Infancy Predict Being Overweight in Childhood and Adolescence: The TMM BirThree Cohort Study	Genki Shinoda,Mami Ishikuro,Taeka Matsubara,Aoi Noda,Keiko Murakami,Masatsugu Orui,Hirohito Metoki,Masahiro Kikuya,Atsushi Hozawa,Shinichi Kuriyama,Kenji Nakamura,Taku Obara	2026/2/26	Children					有	研究論文（学術雑誌）	10.3390/children13030334
A data-driven approach to earthquake early warning: Multicomponent site-spectra prediction using deep neural networks	Ahmed A. Torky,Susumu Ohno	2026/3	Artificial Intelligence in Geosciences	7	1	100195	100195	有	研究論文（学術雑誌）	10.1016/j.aiig.2026.100195
Informal urbanism and the dynamics of peri-urban Yangon: Lessons from Slum “555”	Osamu Murao,Hiroto Yamada	2026/3	Habitat International	171		103787	103787	有	研究論文（学術雑誌）	10.1016/j.habitatint.2026.103787
Measuring spatial urban recovery and expansion in tsunami-affected areas by satellite remote sensing and machine learning approach	Hiroyuki Miura,Osamu Murao,Ryo Saito,Mufidatun Khoiriyah,Muzailin Affan	2026/3	International Journal of Disaster Risk Reduction	137		106092	106092	有	研究論文（学術雑誌）	10.1016/j.ijdrr.2026.106092
Seismic implications of creeping and coupled segments along the Philippine fault in Leyte from GNSS and InSAR data	Sharma Yogendra,Ching Kuo En,Rau Ruey-Juin,Bacolcol Teresito C.,Fungo John E.,Pelicano Alfie,Johnson Kaj M.,Fukushima Yo	2026/3	Remote Sensing of Environment	335		115273		有	研究論文（学術雑誌）	10.1016/j.rse.2026.115273
学校統廃合に着目した防災に関する学術的研究の課題と展望	堀口和泉 , 佐藤 健	2026/3	安全教育学研究	25	2	79	92	有	研究論文（学術雑誌）	
学習アプリを活用した児童の危険認識と危険回避行動の傾向把握 ―都市部における地震を想定した場合の学習を通して ―	齋藤由美子 , 佐藤 健	2026/3	安全教育学研究	25	2	129	140	有	研究論文（学術雑誌）	
企業・事業所の復旧・復興に対する土地利用制度の課題	丸谷浩明	2026/3	土地総合研究	34	1	52	56	なし	研究論文（学術雑誌）	
津波避難交通シミュレーションによる歩車相互作用を考慮した避難交通流への影響分析― Analysis of the Effect on Evacuation Traffic Flows Considering Pedestrian-Vehicle Interactions Using Tsunami Evacuation Traffic Simulation	堀合 紳弥 , 奥村 誠	2026/3	東北地域災害科学研究 = Tohoku journal of natural disaster science / 自然災害研究協議会東北地区部会 , 日本自然災害学会東北支部 編	62		145	150	なし	研究論文（学術雑誌）	
土地区画整理事業と公共の役割	丸谷浩明	2026/3	区画整理士会報		239	14	17	なし	研究論文（その他学術会議資料等）	
日本における「ロシアかぜ」流行の社会史的分析―1889 - 1891 年パンデミックと日本社会―	川内淳史	2026/3	文明動態学研究	5		1	19	有	研究論文（大学，研究機関等紀要）	10.18926/70051
Global, regional, and national burden of breast cancer among females, 1990–2023, with forecasts to 2050: a systematic analysis for the Global Burden of Disease Study 2023	GBD 2023 Breast Cancer Collaborators	2026/3/2	The Lancet Oncology	27	3	302	326	有		10.1016/S1470-2045(25)00730-2
Re-evaluation of the interseismic slip deficit rates along the Kamchatka subduction zone	Fumiaki Tomita	2026/3/2	Earth, Planets and Space	78	1			有	研究論文（学術雑誌）	10.1186/s40623-026-02378-y
「二度と繰り返さない」――日本とドイツにおける語り部活動と課題 "Never again": Challenges in kataribe and contemporary witness activities in Japan and Germany.	Julia Gerster	2026/3/11	Kataribe World Network					なし		

タイトル	著者	出版年月	誌名	巻	号	開始ページ	終了ページ	査読	掲載種別	DOI
Seafloor deformation in Taiwan revealed by GNSS-acoustic measurements	Ya-Ju Hsu,Hsin Tung,Chi-Hsien Tang,Horng-Yue Chen,Ryoya Ikuta,Motoyuki Kido	2026/3/13						なし	研究論文（国際会議プロシーディングス）	10.5194/egusphere-egu26-2883
Creep of the Main Marmara Fault at the west of the Kumburgaz Basin observed by acoustic extensometers	Motoyuki Kido,Narumi Takahashi,Yojiro Yamamoto,Haluk Özener,Yoshiyuki Kaneda	2026/3/14						なし	研究論文（国際会議プロシーディングス）	10.5194/egusphere-egu26-21272
Digital Twin for Tsunami Disaster Resilience - Development of TsunamiCast : Real-time Impact-based Tsunami Forecast Facility	Shunichi Koshimura,Yuichiro Tanioka,Erick Mas,Akihiro Musa,Naoya Morimatsu,Takashi Abe,Yoshihiko Sato,Takayuki Suzuki,Junko Yoshino,Yusaku Ohta,Shinji Kataya,Naomichi Kuwahara	2026/3/14						なし	研究論文（国際会議プロシーディングス）	10.5194/egusphere-egu26-22158
Clarifying and Proposing Solutions for Systemic Challenges in the Definition and Reporting of Indirect Disaster-Related Deaths in Japan	Motohiro Tsuboi,Hiroyuki Sasaki,Hyejeong Park,Shigemasa Taguchi,Kazuya Kiyota,Shinichi Egawa	2026/3/23	Prehospital and Disaster Medicine	41	S1	s125	s125	有	研究論文（学術雑誌）	10.1017/s1049023x26104580
Rapid City-Scale Earthquake Assessment by Combining Numerical Simulation and Sparse Sensing	Dongyang Tang,Hidekazu Usami,Saneiki Fujita,Reika Nomura,Kenjiro Terada,Susumu Ohno,Jia Guo,Masaaki Sakuraba,Kazuya Nojima,Shuji Moriguchi	2026/3/25	EARTHQUAKE SPECTRA	42	2			有	研究論文（学術雑誌）	10.1002/esp4.70052
Global, regional, and national levels and trends in maternal mortality, progress towards the Sustainable Development Goals, and mortality from COVID-19 infection in pregnant women, 1990–2023: a systematic analysis for the Global Burden of Disease Study 2023	GBD 2023 Maternal Mortality Collaborators	2026/3/26	The Lancet Obstetrics, Gynaecology, & Women's Health					有	研究論文（学術雑誌）	10.1016/s3050-5038(26)00047-6
Global, regional, and national burden of meningitis, its risk factors, and aetiologies, 1990–2023: a systematic analysis for the Global Burden of Disease Study 2023	GBD 2023 Meningitis & Antimicrobial Resistance Collaborators	2026/3/27	The Lancet Neurology					有	研究論文（学術雑誌）	10.1016/s1474-4422(26)00101-8
Global, regional and national burden of ischemic heart disease attributable to suboptimal diet, 1990–2023: a Global Burden of Disease study	GBD 2023 IHD & Dietary Risk Factors Collaborators	2026/3/30	Nature Medicine					有	研究論文（学術雑誌）	10.1038/s41591-026-04250-8

5. 3. C. 書籍等出版物

（出版日順）

氏 名	タ イ ト ル	担当区分	著者(翻訳者)	担当範囲	出版者・発行元	出版年月	総ページ数	担当ページ
泉貴子	Development and Progress of Community-Based Disaster Risk Reduction in Malaysia		Takako Izumi,Eriko Motoyama			2025/4/1		
泉貴子	Introduction and Overview of Disaster Risk Landscape: Perspectives of Twenty Years from the Indian Ocean Tsunami of 2004		Rajib Shaw,Takako Izumi,Riyanti Djalante,Fumihiko Imamura			2025/4/1		
泉貴子	Two Decades from the Indian Ocean Tsunami: Key Chall英語es and Advancements				Springer Nature	2025/4/1		
野村周平	Subnational Dependency Ratios Adjusted by Health in the People's Republic of China, India, Indonesia, Japan, Pakistan, and the Philippines, 1990-2021		Shuhei Nomura,Jose Navarro,Vegard Skirbekk,Nishali Patel,Joseph Dieleman,Angela Chang		Asian Development Bank Institute	2025/5/1		
濱家由美子	うつ病の認知療法	joint_translation	Beck Aaron T.,Rush A. John,Shaw Brian F.,Emery Gary,DeRubeis Robert J.,Hollon Steven D.,大野 裕	第4章 初回セッション：認知的な理論的根拠の提供	岩崎学術出版社	2025/6/1	xiv, 443p	
マリリズ	Resilient recovery from disasters : the long-term outcomes of post-disaster housing reconstruction in India, Thailand and Japan	joint_work	Vahanvati Mittul,Maly Elizabeth,Titaya Sararit		Palgrave Macmillan	2025/6/1	xxvii, 189 pages	
國井泰人	「災害精神医療」研修医のための精神科ハンドブック 第2版		國井泰人	日本精神神経学会卒然医学教育・卒後臨床研修委員会編,p146-147	医学書院	2025/6/15		
遠田晋次	島嶼環境史学への招待 = An invitation to island environmental history : アーカイブからひもとく災害レジリエンス		奥野 充,遠田 晋次,三浦 大助,山田 和芳,早川 宗志,宝田 晋治,清杉 孝司,藤木 利之,楽畑 光博		近未来社	2025/7/1	176p	
野村周平	Africa-Japan Common Vision on Health: Co-creating Health Security and Sustainable Growth		Africa-Japan Common Vision on Health Working Group		Japan Center for International Exchange	2025/8/21		
原裕太	今さら聞けない 有機農業の話 きほんのき	contributor	農山漁村文化協会	第4章：今知りたい！世界の有機農業「中国より 超大規模！カニ・ザリガニとのイネ共作」	農山漁村文化協会	2025/9/29	144	pp.138-142
江川新一	Encyclopedia of Disaster Risk Reduction, edited by Shaw, R.	contributor	Shinichi Egawa	Healthcare Resilience	Springer Nature Singapore, Singapore	2025/10/1		
川内淳史	日本歴史の諸問題	contributor	渡邊大門	近代東北の自画像―「白河以北一山百文」と「河北」―	歴史と文化の研究所	2025/10/1	274	165-183
原裕太	中国(シリーズ 世界を知るための地誌学)	contributor	小野寺 淳,許 衛東(編)	第10章：環境と災害	朝倉書店	2025/10/2	136	pp.100-110
村尾修	Encyclopedia of Disaster Risk Reduction	joint_work	O. Murao	Urban Vulnerability	Springer	2025/10/12		
原裕太	Shaping Resilience in Mountains: The Case for Disaster Resilient Infrastructure	others	CDRI (Coalition for Disaster Resilient Infrastructure)		CDRI (Coalition for Disaster Resilient Infrastructure)	2025/11/14	98p.	p.25, 87
柴山明寛	Handbook of disaster studies in Japan	contributor	Cavaliere Paola,大谷 順子	Part 3—Disaster Experiences: Chapter 24. Storytelling and the Arts as Tools in Disaster Education: Tohoku University's "Kataritsugi" and the Stories of 3.11 (Julia Gerster, Akihiro Shibayama, and Madoka Ono)	Japan Documents	2025/7/17	xlvii, 674 pages	
朴慧晶	Handbook of Disaster Studies in Japan	joint_work	Nobuhito Ohtsu, Ana Maria Cruz, Yuko Araki, Akihiko Hokugo, and Hyejeong Park	Chapter 18. Community Preparedness and Emergency Response for Natural Hazard-Triggered Technological Accidents	Routledge	2026/1/1	293	301
遠田晋次	日本列島にせまる脅威巨大地震はなぜおきるのか	supervisor	遠田 晋次		ニュートンプレス	2026/1/1	213p	
マリリズ	Handbook of Disaster Studies in Japan	contributor		Chapter Author: Japan's Disaster Risk Reduction Diplomacy and the "Sendai Framework for Disaster Risk Reduction"	Springer	2026/1/1		
中鉢奈津子	あなたにできることが、きっとある：女性ぼうさいサポーターズブック	contributor			せんだい女性ぼうさいリーダーネットワーク(協力：東北大学災害科学国際研究所 防災教育協働センター)	2026/2/1		
高橋尚志	帝国書院地理シリーズ 9つのテーマでみる日本と世界の地理2―自然災害と防災―	joint_work	須貝俊彦,高波紳太郎,高橋尚志,丹羽雄一		帝国書院	2026/3/1		
内田典子	手しごとガクシャ	contributor	鷲谷洋輔,内田典子,一條花		のがく研究室	2026/3/1		
中鉢奈津子	IRIDeS Newsletter 2026 vol.08 Special Issue: 15 Years After the Great East Japan Earthquake -- Research and Reflections	joint_translation			東北大学災害科学国際研究所	2026/3/1		
佐藤健	防災地元学：地誌で読み解く災害の記憶と知恵		小田隆史,後藤健介,黒木貴一,佐藤健,桜井愛子,田部俊充	119-138、223-228	大修館書店	2026/3/1	iv, 251p	
遠田晋次	ニュートン超図解新書 最強にわかる 巨大地震	supervisor			ニュートンプレス	2026/3/1		
マリ リズ	うみあおいまつみどり すなはましろいめぐるいのち Blue Sea, Green Pines, White Sand Beach, Cycle of Life	joint_work	マリリズ,佐立るり子			2026/3/1		
佐藤翔輔	人間を理解する	contributor	東北大学教養教育院(佐藤翔輔ほか)	東北で起きた災害から人間を理解する	東北大学出版会	2026/3/1	x, 224p	
川内淳史	みやぎの地域史をひらく―観光と探究のガイド―	contributor	高橋陽一	震災遺構が語るもの―二重の歴史を持つ遺産―	蕃山房	2026/3/1	101	76-83

5．3．D．MISC

（出版日順）

タイトル	著者等	出版年月	誌名	巻	号	開始ページ	終了ページ
統合失調症の前帯状皮質における星状細胞の組織学的分析【JST機械翻訳】	吉永怜史,ジュリオ レオン,日野瑞城,長岡敦子,北澤彩子,林周宏,仲嶋一範,國井泰人,久保健一郎,	2025	日本解剖学会総会・全国学術集会抄録集(CD-ROM)	130th			
統合失調症患者の前頭前野における脳内ヘパラン硫酸プロテオグリカンの変化	湯川尊行,岩倉百合子,武井延之,林秀樹,五十嵐道弘,宍戸理紗,長岡敦子,日野瑞城,北村秀明,國井泰人,柿田明美,江川純,染矢俊幸,那波宏之	2025	統合失調症研究(CD-ROM)	14	1		
日本人集団を対象とした皮質下構造の関連遺伝子の探索	篠田元気, 小原拓, 高橋一平, 大瀬戸恒志, 野田あおい, 石黒真美, 村上慶子,大類真嗣,中谷直樹,成田暁,田宮元,麦倉俊司,布施昇男,賓澤篤,鈴木匡子,栗山進一,	2025	日本疫学会学術総会講演集(Web)	35th			
東北メディカル・メガバンク機構(宮城)における循環器疾患発症調査の進捗	畑中里衣子,時岡紗由理,千葉一平,小暮真奈,中谷久美,高瀬雅仁,石黒真美,薄田海,大類真嗣,後岡広太郎,目時弘仁,菊谷昌浩,小原拓,中谷直樹,栗山進一,賓澤篤,	2025	日本疫学会学術総会講演集(Web)	35th			
楕円体すべり面と粒子群最適化を用いた三次元極限平衡法の広域斜面安定解析への適用	須郷大地,CHOE John,外里健太,野村怜佳,寺田賢二郎,渡邊康介,森口周二	2025	計算工学講演会論文集(CD-ROM)	30			
陽-陰解法選択型MPMを用いた降雨崩壊解析のための基礎的検討	吉田圭那,飛彈野壮真,菅井理一,野村怜佳,壇上徹,石澤友浩,森口周二,酒井直樹,寺田賢二郎	2025	計算工学講演会論文集(CD-ROM)	30			
Variational multiscale(VMS)法による安定化混合定式化の陰的MPMへの適用	菅井理一,野村怜佳,森口周二,寺田賢二郎	2025	計算工学講演会論文集(CD-ROM)	30			
Weighted least square B-spline形状関数を用いた半陰的MPMによる浸透崩壊解析	飛彈野壮真,野村怜佳,森口周二,寺田賢二郎	2025	計算工学講演会論文集(CD-ROM)	30			
構造解析における有限要素法の線形ソルバーとしての量子特異値変換の適用性の検討	我妻航也,野村怜佳,森口周二,寺田賢二郎	2025	計算工学講演会論文集(CD-ROM)	30			
共回転有限要素法と格子ボルツマン法による流体構造連成解析手法の開発	平山大悟,下畑和希,野村怜佳,渡辺勢也,森口周二,青木尊之,寺田賢二郎	2025	計算工学講演会論文集(CD-ROM)	30			
数値シミュレーションを用いた時代変化に伴う土地利用変遷が災害リスクに与える影響の定量化	森口周二,吉沢美香,DOLOJAN Nilo,野村怜佳,菅原大介,鈴木温,寺田賢二郎	2025	計算工学講演会論文集(CD-ROM)	30			
2次元浅水長波型土石流解析のためのひずみ速度依存型抵抗力モデルの開発	野村怜佳,大塚千穂,DOLOJAN Nilo L. J.,飛彈野壮真,森口周二,小高猛司,寺田賢二郎	2025	計算工学講演会論文集(CD-ROM)	30			
非深層学習の代理均質化モデルによる非線形複合材料の三次元有限変形マルチスケール解析	中村明莉,山中耀介,野村怜佳,森口周二,寺田賢二郎	2025	計算工学講演会論文集(CD-ROM)	30			
個別要素法のためのベンチマーク問題の適切な計算条件の分析	吉川大陽,肖くん森,野村怜佳,寺田賢二郎,森口周二	2025	土木学会全国大会年次学術講演会(Web)	80th			
地震力の空間分布を考慮した極限平衡理論に基づく広域を対象とする三次元斜面安定解析	松田晃汰,須郷大地,野村怜佳,大野晋,寺田賢二郎,森口周二	2025	土木学会全国大会年次学術講演会(Web)	80th			
MPM-FEMハイブリッド法による土堤浸透過程の再現解析	鈴木祐太,菅井理一,飛彈野壮真,野村怜佳,森口周二,小高猛司,寺田賢二郎	2025	土木学会全国大会年次学術講演会(Web)	80th			
量子フーリエ変換を用いた均質化解析	飯塚聡,我妻航也,中村明莉,野村怜佳,森口周二,寺田賢二郎	2025	土木学会全国大会年次学術講演会(Web)	80th			
三次元地質構造を考慮した広域斜面安定性評価	森口周二,須郷大地,ドロハン ニロ レムエル フニオ,野村怜佳,寺田賢二郎,渡邊康介,冨永英治,岩永昇二,高橋一雄	2025	地盤工学会誌(Web)	73	5		
水災害・土砂災害の被害予測・軽減のための計算力学―特集 高まる防災シミュレーションへの期待	野村 怜佳	2025	計算工学 = Journal of the Japan Society for Computational Engineering and Science / 日本計算工学会会誌委員会 編	30	2	4935	4938
フッ素置換基に着目したSARS-CoV-2メインプロテアーゼ阻害剤の構造活性相関研究	山本龍星,鍬田伸好,辻耕平,小早川拓也,石井貴大,篠原功紀,服部真一郎,岸本直樹,高宗暢暁,三隅将吾,BULUT Haydar,林宏典,満屋裕明,満屋裕明,玉村啓和	2025	日本薬学会年会要旨集(Web)	145th			
風疹ウイルスの膜融合蛋白質E1の蛋白質内相互作用を評価するための手法の開発	鈴木聡志,坂田真史,中津祐一郎,永井美智,亀谷太一,亀谷太一,白井達也,畑山靖佳,西真由子,横山勝,水越文徳,林宏典,村山和隆,森嘉生,梁明秀,梁明秀	2025	日本ウイルス学会学術集会プログラム・予稿集(Web)	72nd			
レジリエント社会構築に向けた新たな連携World Bosai Forum 2025 でのセッション開催報告;よりよい復興をもたらす身近な【つながり】	内田典子,今村文彦,保田真理,サッパシー・アナワット,小野高宏,板橋恵子,葛西啓之	2025	津波工学研究報告		42	125	131
三次元地質構造を考慮した広域斜面安定性評価	森口周二,須郷大地,ドロハン ニロ レムエル フニオ,野村怜佳,寺田賢二郎,渡邊康介,冨永英治,岩永昇二,高橋一雄	2025	地盤工学会誌(Web)	73	5		
球形状小型Si半導体素子を用いた新たなリアルタイム線量測定システムの初期検討-CT装置における評価-	藤沢昌輝,稲葉洋平,進藤僚太,松本卓己,松本真之介,加田渉,千田浩一	2025	応用物理学会学術講演会講演予稿集(CD-ROM)	72nd			
2024年能登半島地震に伴う能登半島北東部の地震時変位	石村大輔,福島洋,遠田晋次,高橋直也,岩佐佳哉,高橋尚志,MALATESTA Luca	2025	E-Journal GEO (Web)	20	1		
エージェントベースシミュレーションによる津波避難交通流への加速度の影響分析	堀合 紳弥,奥村 誠	2025	交通工学研究発表会講演集	45		850	853
東日本大震災からの復興まちづくり	姥浦道生	2025	21世紀ひょうご		No.40		
輪島市復興の現在地と課題	姥浦道生	2025	Planners		No. 108	4	5
「ない弱み」を改善するまちづくりから「ある強み」を伸ばすまちづくりへ	姥浦道生	2025	再開発コーディネーター		No. 236	2	3
復興空間計画づくりのポイント	姥浦道生	2025	公園緑地	Vol.86	No.1	16	19
能登半島地震から1年～輪島市の復旧・復興を中心に～	姥浦道生	2025	新都市	Vol.79	No.1	85	89
個別要素法のためのベンチマーク問題の適切な計算条件の分析	吉川大陽,肖くん森,野村怜佳,寺田賢二郎,森口周二	2025	土木学会全国大会年次学術講演会(Web)	80th			
地震力の空間分布を考慮した極限平衡理論に基づく広域を対象とする三次元斜面安定解析	松田晃汰,須郷大地,野村怜佳,大野晋,寺田賢二郎,森口周二	2025	土木学会全国大会年次学術講演会(Web)	80th			
MPM-FEMハイブリッド法による土堤浸透過程の再現解析	鈴木祐太,菅井理一,飛彈野壮真,野村怜佳,森口周二,小高猛司,寺田賢二郎	2025	土木学会全国大会年次学術講演会(Web)	80th			
量子フーリエ変換を用いた均質化解析	飯塚聡,我妻航也,中村明莉,野村怜佳,森口周二,寺田賢二郎	2025	土木学会全国大会年次学術講演会(Web)	80th			

三次元地質構造を考慮した広域斜面安定性評価	森口周二,須郷大地,ドロハン ニロ レムエル フニオ,野村怜佳,寺田賢二郎,渡邊康介,冨永英治,岩永昇二,高橋一雄	2025	地盤工学会誌(Web)	73	5		
防災コミュニケーション学の取組み	小杉素子,福島洋,栗山進一,佐藤健,佐藤翔輔,GERSTER Juliam,大類真嗣,北村美和子,藤本慎也,尾島俊之,岩本萌,遠峰良美	2025	日本リスク学会年次大会講演論文集(Web)	38th			
防災コミュニケーションによる行動変容:既往研究レビューと介入手法の探索	福島洋,栗山進一,佐藤健,佐藤翔輔,ゲルスタ ユリア,大類真嗣,藤本慎也,尾島俊之,小杉素子,岩本萌,遠峰良美,北村美和子	2025	日本自然災害学会学術講演会講演概要集	44th			
1967年羽越水害の伝承手法としての「えちござきかわ大したもん蛇まつり」が55年後に起きた実災害における影響:2022年8月豪雨で被災した新潟県関川村を対象にした考察	佐藤翔輔,門倉七海	2025	日本自然災害学会学術講演会講演概要集	44th			
グラフ理論に基づく避難コストの定量化による津波避難施設の効用評価	成田峻之輔,佐藤翔輔,今村文彦	2025	日本自然災害学会学術講演会講演概要集	44th			
モバイル位置情報データを用いた令和6年能登半島地震発生時の石川県七尾市における避難行動の分析	四井早紀,牧野嶋文泰,佐藤翔輔,今村文彦	2025	日本災害情報学会学会大会予稿集	30th			
震災の教訓は活かされたか―阪神・淡路大震災30年 過去から未来へ繋ぐ経験・教訓のバトン・リレー―阪神・淡路大震災から東日本大震災へ	今村文彦,佐藤翔輔,渡邉勇	2025	科学	95	1		
災禍の語り部は、なぜ語り、どのようにして活動をつづけているのか―特集 3・11を語り継ぐ：語り部たちを訪ねて	佐藤 翔輔	2025	演劇と教育 = The Drama in education / 日本演劇教育連盟 編	72	2	18	25
2030年の自然災害デジタルアーカイブ	柴山 明寛	2025-05-01	デジタルアーカイブ学会誌	9	2	82	83
教育展望: 学校における防災・防災教育の現在とこれから (05号)	佐藤 健ほか	2025-05		71	4	11	18
2024年能登半島地震の津波避難における車の利用状況とその要因	星美沙希,佐藤翔輔,今村文彦	2025-05			56	291	292
観光促進と津波防災啓発を両立させる動画の開発：山形県酒田市飛島の事例	渡邉勇,佐藤翔輔,今村文彦	2025-05	地域安全学会梗概集		56	246	247
2024年7月豪雨における「犠牲者ゼロ」であった山形県戸沢村蔵岡地区の住民対応	佐藤翔輔, 桐生薫子, 大隈海空, 星美沙希	2025-05	地域安全学会梗概集		56	71	72
エリアマネジメントと再開発：現在地と今後の展望	御手洗 潤	2025-05	市街地再開発		661	22	26
来るべき激甚災害に備え災害精神医学をいかに伝え、いかに学ぶかいかに、精神科医だけでなく広く医学生・学生に災害精神医学を学んでいただくか	國井 泰人,濱家 由美子,日野 瑞城,富田 博秋	2025-06	精神神経学雑誌	121st	2025特別号	S337	S337
Sequential Updating of Building Fragility Functions through City-Scale Seismic Simulations and Sensor Integration	Dongyang Tang,Naruethep Sukulthanasorn,ReikaNomura,Kazuya Nojima,Atsushi Mori,Susumu Ohno,Jia Guo,Seiichi Sato,Shuji Moriguchi,Masaaki Sakuraba,Kenjiro Terada	2025-06	Proceedings of the Conference on Computational Engineering and Science	30		735	740
Applicability of Gaussian On-off Encoding for Quantum Annealing to Structural Analysis	Junsen Xiao,Naruethep Sukulthanasorn,Endo Katsuhiro,Mayu Muramatsu,Reika Nomura,Shuji Moriguchi,Kenjiro Terada	2025-06	Proceedings of the Conference on Computational Engineering and Science	30		592	596
Quantum-assisted design update framework for topology optimization : Comparison of quantum, simulated, and hybrid annealers	Naruethep Sukulthanasorn,Junsen Xiao,Koya Wagatsuma,Reika Nomura,Shuji Moriguchi,Kenjiro Terada	2025-06	Proceedings of the Conference on Computational Engineering and Science	30		581	586
実大4層鉄骨造のE-Defense実験に基づく直置き型構造物の数値解析（標準三波）	村上剛基,榎田竜太,大塚竜紀,五十子幸樹	2025-06	日本建築学会 第88回東北支部研究報告会		88		
Sequential Updating of Building Fragility Functions through City-Scale Seismic Simulations and Sensor Integration	Dongyang Tang,Naruethep Sukulthanasorn,Reika Nomura,Kazuya Nojima,Atsushi Mori,Susumu Ohno,Jia Guo,Seiichi Sato,Shuji Moriguchi,Masaaki Sakuraba,Kenjiro Terada	2025-06	Proceedings of the Conference on Computational Engineering and Science	30			
Sequential Updating of Building Fragility Functions through City-Scale Seismic Simulations and Sensor Integration	Dongyang Tan,Naruethep Sukulthanasor,Reika Nomura,Kazuya Nojim,Atsushi Mori,Susumu Ohno,Jia Guo,Seiichi Sato,Shuji Moriguchi,Masaaki Sakurab,Kenjiro Tera	2025-06	Proceedings of the Conference on Computational Engineering and Science	30		735	740
Applicability of Gaussian On-off Encoding for Quantum Annealing to Structural Analysis	Junsen Xiao,Naruethep Sukulthanasor,Endo Katsuhir,Mayu Muramatsu,Reika Nomura,Shuji Moriguchi,Kenjiro Tera	2025-06	Proceedings of the Conference on Computational Engineering and Science	30		592	596
Quantum-assisted design update framework for topology optimization : Comparison of quantum, simulated, and hybrid annealers	Naruethep Sukulthanasorn,Junsen Xiao,Koya Wagatsuma,Reika Nomura,Shuji Moriguchi,Kenjiro Terada	2025-06	Proceedings of the Conference on Computational Engineering and Science	30		581	586
A Fundamental Study of Erosion and Channelization in Debris Flows Using a Shallow Water SPH Approach	N Dolojan,R Nomura,K Terada,S Moriguchi	2025-06	Proceedings of the Conference on Computational Engineering and Science 30	30		229	233
日本地形学連合2023年学術大会 受賞者の言葉	高橋尚志	2025-06	地形	46	1	51	
(編集)IRIDeS Newsletter Vol.7	今野公美子	2025-06	IRIDeS Newsletter Vol.7				
2次元浅水長波型土石流解析のためのひずみ速度依存型抵抗力モデルの開発―Strain rate dependent shear resistance models for 2D shallow water type debris flow simulations	野村 怜佳,大塚 千穂,Nilo L. J. Dolojan,飛彈野 壮真,森口 周二,小高 猛司,寺田 賢二郎	2025-06	計算工学講演会論文集 = Proceedings of the Conference on Computational Engineering and Science / 日本計算工学会 編	30		238	241
数値シミュレーションを用いた時代変化に伴う土地利用変遷が災害リスクに与える影響の定量化―Quantification of the impact of historical land use changes on disaster risk using numerical simulations	森口 周二,吉沢 美香,Dolojan Nilo,野村 怜佳,菅原 大介,鈴木 温,寺田 賢二郎	2025-06	計算工学講演会論文集 = Proceedings of the Conference on Computational Engineering and Science / 日本計算工学会 編	30		220	224
A Fundamental Study of Erosion and Channelization in Debris Flows Using a Shallow Water SPH Approach	Nilo Lemuel J. Dolojan	2025-06		30		229	233

陽-陰解法選択型MPMを用いた降雨崩壊解析のための基礎的検討ー Fundamental Studies for Rainfall Induced Slope Failure Analysis with Switching Explicit and Implicit MPM	吉田 圭那,飛彈野 壮真,菅井 理一,野村 怜佳,壇上 徹,石澤 友浩,森口 周二,酒井 直樹,寺田 賢二郎	2025-06	計算工学講演会論文集 = Proceedings of the Conference on Computational Engineering and Science / 日本計算工学会 編	30		1014	1018
共回転有限要素法と格子ボルツマン法による流体構造連成解析手法の開発ーFluid-structure Interaction Analysis using Co-rotational Finite Element Method and Lattice Boltzmann Method	平山 大悟,下畑 和希,野村 怜佳,渡辺 勢也,森口 周二,青木 尊之,寺田 賢二郎	2025-06	計算工学講演会論文集 = Proceedings of the Conference on Computational Engineering and Science / 日本計算工学会 編	30		408	411
2次元浅水長波型土石流解析のためのひずみ速度依存型抵抗力モデルの開発ーStrain rate dependent shear resistance models for 2D shallow water type debris flow simulations	野村 怜佳,大塚 千穂,Nilo L. J. Dolojan,飛彈野 壮真,森口 周二,小高 猛司,寺田 賢二郎	2025-06	計算工学講演会論文集 = Proceedings of the Conference on Computational Engineering and Science / 日本計算工学会 編	30		238	241
数値シミュレーションを用いた時代変化に伴う土地利用変遷が災害リスクに与える影響の定量化ーQuantification of the impact of historical land use changes on disaster risk using numerical simulations	森口 周二,吉沢 美香,Dolojan Nilo,野村 怜佳,菅原 大介,鈴木 温,寺田 賢二郎	2025-06	計算工学講演会論文集 = Proceedings of the Conference on Computational Engineering and Science / 日本計算工学会 編	30		220	224
楕円体すべり面と粒子群最適化を用いた三次元極限平衡法の広域斜面安定解析への適用ーApplication of a Three-Dimensional Limit Equilibrium Method Based on Ellipsoidal Slip Surfaces and Particle Swarm Optimization to Large-Area Slope Stability Analysis	須郷 大地,Choe John,外里 健太,野村 怜佳,寺田 賢二郎,渡邊 康介,森口 周二	2025-06	計算工学講演会論文集 = Proceedings of the Conference on Computational Engineering and Science / 日本計算工学会 編	30		1019	1023
非深層学習の代理均質化モデルによる非線形複合材料の三次元有限変形マルチスケール解析ーThree-Dimensional Multiscale Analysis Using RBF-Based Surrogate Homogenization Model at Finite Strain	中村 明莉,山中 耀介,野村 怜佳,森口 周二,寺田 賢二郎	2025-06	計算工学講演会論文集 = Proceedings of the Conference on Computational Engineering and Science / 日本計算工学会 編	30		1075	1079
Weighted least square B-spline形状関数を用いた半陰的MPMによる浸透崩壊解析ーSeepage Failure Analysis by Semi-implicit MPM with Weighted Least Square B-spline Shape Function	飛彈野 壮真,野村 怜佳,森口 周二,寺田 賢二郎	2025-06	計算工学講演会論文集 = Proceedings of the Conference on Computational Engineering and Science / 日本計算工学会 編	30		849	853
Variational multiscale(VMS)法による安定化混合定式化の陰的MPMへの適用ーApplication of u-p mixed formulation stabilized by variational multiscale (VMS) method in implicit MPM	菅井 理一,野村 怜佳,森口 周二,寺田 賢二郎	2025-06	計算工学講演会論文集 = Proceedings of the Conference on Computational Engineering and Science / 日本計算工学会 編	30		854	859
構造解析における有限要素法の線形ソルバーとしての量子特異値変換の適用性の検討ーInvestigation of the applicability of quantum singular value transformation as a linear solver for the finite element method in structural analysis	我妻 航也,野村 怜佳,森口 周二,寺田 賢二郎	2025-06	計算工学講演会論文集 = Proceedings of the Conference on Computational Engineering and Science / 日本計算工学会 編	30		570	572
リアルタイム津波浸水被害予測システムの発展と展望ー特集 地震工学とデータサイエンスの融合	越村 俊一	2025-06	日本地震工学会誌 = Bulletin of JAEE / 日本地震工学会 編		55	22	25
知って役立つ！防災講座① 大雨・台風の災害から命を守る！	佐藤翔輔	2025-07	教職員共済だより	195		10	11
山形県酒田市飛島でのプロモーション動画の作成-観光促進と津波防災啓発を両立させるために	渡邉勇,佐藤翔輔,今村文彦	2025-07	津波工学研究報告		42		
防災教育の充実に向けた取組への伴走支援	渡邉正樹,大木聖子,村上陽明,宮下武治,有本淳,佐藤健 ほか	2025-07-15	初等教育資料 7月号			18	21
魚骨型モデルによる動特性推定手法の検証 ー 1層構造を用いた振動台実験 ー	梶原 浩一,藤原 淳,榎田 竜太	2025年8月	Dynamics & Design Conference	2025		35	
量子コンピューティングを用いたブラックボックス最適化手法による最適パイロット配置の探索~他手法との比較評価~	大湊浩明,高橋領,大山貴博,安達文幸	2025-08	電子情報通信学会技術研究報告(Web)	125	163(RCS 2025 98-122)		
東日本大震災の伝承活動の概況と今後の展望	中川政治,佐藤翔輔,阿部任	2025-08	地域安全学会東日本大震災特別論文集		14	47	50
福島洋. 栗山進一, 佐藤健, 佐藤翔輔, ゲルスタエリア, 大類真嗣, 藤本慎也, 尾島俊之, 小杉素子, 岩本萌, 遠峰良美	佐藤翔輔,田村圭子,木村玲欧,小田原未依,元谷豊,竹本加良子	2025-08	地域安全学会東日本大震災特別論文集		14	31	34
特集 26ケースで学ぶ臨床心理アセスメントーインテークとフィードバックをつなぐ〈スキル7〉 焦りで居ても立っても居られない--統合失調症	濱家 由美子	2025-08-30	臨床心理学	25	7	65	72
実大4 層鉄骨造のE-Defense 実験に基づく直置き型構造物の数値解析	村上剛基,榎田竜太,大塚竜紀,五十子幸樹	2025-09	日本建築学会 学術講演梗概集 2025 9月	2025			
直置き型構造物の強震動に対する地震応答低減効果の実験的検証 その2 3 層直置き型構造物	大塚竜紀,小山慶樹,山上聡,洲鎌星,安井健治,村上剛基,榎田竜太,五十子幸樹	2025-09	日本建築学会 学術講演梗概集 2025 9月	2025			
直置き型構造物の強震動に対する地震応答低減効果の実験的検証 その1 すべり面への上下地震動の影響検証	小山慶樹,大塚竜紀,山上聡,洲鎌星,安井健治,村上剛基,榎田竜太,五十子幸樹	2025-09	日本建築学会 学術講演梗概集 2025 9月	2025			
壁との衝突を考慮した非対称振幅入力に対する剛体の転倒 限界振動実験による検証	土田陽奈子,榎田竜太,藤田皓平	2025-09	日本建築学会 学術講演梗概集 2025 9月	2025			
魚骨モデルを用いたデータ逆解析による動特性1 質点系 の振動台実験による基礎的検討	梶原浩一,藤原淳,榎田竜太	2025-09	日本建築学会 学術講演梗概集 2025 9月	2025			
低コスト転がり免震機構を挿入した石積組積造建物の地震応答	宮川隼人,高木次郎,桝井健,荒木慶一,五十子幸樹,Sanjay Pareek,李相勲,鈴木裕介,榎田竜太,郭佳,山出美弥,福田伊織	2025-09	日本建築学会 学術講演梗概集 2025 9月	2025			
Deep autoencoder neural networks for system identification in nonlinear dynamics from raw images	郭佳,Haoran PAN,榎田竜太,五十子幸樹	2025-09	日本建築学会 学術講演梗概集 2025 9月				
機械学習による宮城県沖の地震の即時主要動スペクトル予測	大野晋	2025-09	日本建築学会大会学術講演梗概集			491	492

表層地盤の不均質性と地震動の空間変動特性の関係（その2）隣接地点間における地震動の空間変動の評価	徳光亮一,青木雅嗣,山本優,内山泰生,田子彰大,大野晋	2025-09	日本建築学会大会学術講演梗概集			373	374
表層地盤の不均質性と地震動の空間変動特性の関係（その1）実地盤の不均質性の調査	田子彰大,徳光亮一,青木雅嗣,山本優,内山泰生,大野 晋	2025-09	日本建築学会大会学術講演梗概集			371	372
地震力の空間分布を考慮した極限平衡理論に基づく広域を対象とする三次元斜面安定解析	松田晃汰,須郷大地,野村怜佳,大野晋,寺田賢二郎,森口周二	2025-09	土木学会全国大会年次学術講演会(Web)	80th			
災害に強い社会の鍵は事前の被害抑止策にある	村尾修	2025-09	議員研修誌 地方議会人				
災害時の情報収集 SNSとの「付き合い方」	佐藤翔輔	2025-09	月刊金融ジャーナル		840	50	51
高等教育における「災害復興」をテーマとした科目の実践－被災地大学の事例	佐藤翔輔	2025-09	日本災害復興学会・学会誌		35	17	24
防災コミュニケーションによる行動変容：既往研究レビューと介入手法の探索	福島洋,栗山進一,佐藤健,佐藤翔輔,ゲルスタエリア,大類真嗣,藤本慎也,尾島俊之,小杉素子,岩本萌,遠峰良美	2025-09	第44回日本自然災害学会年次学術講演会講演概要集			279	280
グラフ理論に基づく避難コストの定量化による津波避難施設の効果評価	成田峻之輔,佐藤翔輔,今村文彦	2025-09	第44回日本自然災害学会年次学術講演会講演概要集			133	134
Analyzing the Seven Critical Elements of Life Recovery Using News: A Case Study of the 2024 Noto Peninsula Earthquake	Yen-Ching Liu,Shosuke Sato	2025-09	第44回日本自然災害学会年次学術講演会講演概要集			57	58
1967年羽越水害の伝承手としての「えちごせきかわ大したもん蛇まつり」が55年後に起きた実災害における影響：2022年8月豪雨で被災した新潟県関川村を対象にした考察	佐藤翔輔,柾谷(門倉)七海	2025-09	第44回日本自然災害学会年次学術講演会講演概要集			285	286
2023年5月5日の地震を含む能登半島北東部陸海域で継続する地震と災害の総合調査その2	平松良浩,岡田知己,吉田圭佑,髙木涼太,篠原雅尚,酒井慎一,蔵下英司,西村卓也,太田雄策,木下陽平,宮崎真一,後藤忠徳,笠谷貴史,吉村令慧,田中愛幸,宮澤理稔,荒木英一郎,森下知晃,鹿児島渉悟,石山達也,立石 良,安江健一,廣内大助,松多信尚,宍倉正展,岩田知孝,浅野公之,大堀道広,村田 晶,石川浩一郎,山岸邦彰,須田達,山崎新太郎,青木賢人,林 紀代美,武田公子,田中純一,井口克郎,佐々木大輔,原 裕太,吉田 浩,松本 聡,江本賢太郎,山中佳子,勝俣 啓,前田拓人,石瀬素子,古谷 元,小林俊一,高原利幸,金澤伸一,保坂吉則,王 功輝,卜部厚志,片岡香子,高清水康博,永松伸吾,由比政年,大飼直之,楳田真也,有田 守,馬場俊孝,二宮順一,郷右近英臣,林 豊,多々納裕一,梶谷義雄,中山晶一朗,藤生 慎	2025-10	自然災害科学総合シンポジウム講演論文集	62		pp.1	15
Special Issue on World BOSAI Forum 2025	Yuichi Ono,Daisuke Sasaki,Yuta Hara	2025-10	Journal of Disaster Research	20	5	pp.693	694
酷暑×災害 二つの危険から命を守るには 長引く津波警報と熱中症 二段階避難という考え方	佐藤翔輔	2025-10	日本災害情報学会, News Letter		103	3	
特集 2025年カムチャツカ半島付近の地震にみる津波避難行動の3つの論点	佐藤翔輔	2025-10	REICニュース（特定非営利活動法人リアルタイム地震・防災情報利用協議会）		34		
PIXEL（PALSAR Interferometry Consortium to Study our Evolving Land surface）による国内のSAR利用研究の拡大	古屋 正人,青木 陽介,小澤 拓,田中 明子,福島 洋,安藤 忍,高田 陽一郎,奥山 哲,木下 陽平	2025-10-11	測地学会誌	71		28	33
「津波高さの直接的な可視化」が津波から避難するための建物選択に及ぼす影響に関する基礎的実験	梶明日香,佐藤翔輔,新家杏奈,今村文彦	2025-11	日本災害情報学会第31回学会大会予稿集			199	200
佐藤翔輔, 新家杏奈, 千葉智史, 成田峻之輔, 三上雄大, 梶明日香, 岡元徹, 今村文彦：被災体験を伝える方法としてVRは語りを超えることができるか（第1報）	佐藤翔輔,新家杏奈,千葉智史,成田峻之輔,三上雄大,梶明日香,岡元徹,今村文彦	2025-11	日本災害情報学会第31回学会大会予稿集			97	98
「津波高さの直接的な可視化」が津波から避難するための建物選択に及ぼす影響に関する基礎的実験	梶明日香,佐藤翔輔,新家杏奈,今村文彦	2025-11	日本災害情報学会第31回学会大会予稿集			199	200
ヤフー防災模試「阪神・淡路大震災30年特別編」の都道府県比較-兵庫県を中心とした分析-	安田健志,竹口麻衣子,佐藤翔輔	2025-11	日本災害情報学会第31回学会大会予稿集			161	162
4Kライブカメラ映像への物体検出アルゴリズム適用による津波発生時における海水浴客数自動推計手法の検証	成田峻之輔,和泉慶乃佑,佐藤翔輔,今村文彦	2025-11	日本災害情報学会第31回学会大会予稿集			143	144
モバイル空間統計と社会調査を用いた中小規模洪水災害での復興過程の解析-2023年7月秋田豪雨の事例-	浅野仁作,佐藤翔輔,今村文彦	2025-11	日本災害情報学会第31回学会大会予稿集			91	92
被災体験を伝える方法としてVRは語りを超えることができるか（第1報）	佐藤翔輔,新家杏奈,千葉智史,成田峻之輔,三上雄大,梶明日香,岡元徹,今村文彦	2025-11	日本災害情報学会第31回学会大会予稿集			97	98
City scale simulation-driven seismic risk assessment with dynamic fragility analysis	Dongyang Tang,Sukulthanasorn Naruethep,Reika Nomura,Kazuya Nojima,Atsushi Mori,Susumu Ohno,Jia Guo,Seiichi Sato,Masaaki Sakuraba,Kenjiro Terada,Shuji Moriguchi	2025-12	9th Asian Pacific Congress on Computational Mechanics and the 7th Australasian Conference on Computational Mechanics (APCOM-ACCM 2025)			319	320
地理学者が提起する被災地での社会調査が抱える倫理的課題と改善策	原 裕太	2025-12	人文地理学会大会 研究発表要旨	2025		pp.105	106 (ID: 402)
災害時のSNSとの「付き合い方」を考える	佐藤翔輔	2025-12	みんなの安全ニュース		1748		
Quantifying Human Mobility Changes During and After the 2024 Noto Peninsula Earthquake and Tsunami Using Mobile Phone Network Data in Japan	MAS SAMANEZ ERICK ARTURO	2025-12-16	American Geophysical Union 2025				
繰返し衝突および接地による累積エネルギー損失を考慮した剛体ブロックの転倒限界 インパルス入力を用いた閉形式による解析的定式化	土田陽奈子,榎田竜太,藤田皓平	2026	日本建築学会構造系論文集(Web)	91	839		
東日本大震災と土地利用的課題―空き地の“利活用”問題を中心に―	姥浦道生	2026	土地総合研究	Vol.34	No.3		
復興とこれからの災害に備えて―「復興」・「平時」・「事前復興」まちづくりの一体性―	姥浦道生	2026	新都市	Vol. 80	No.3		
福島復興への道筋を考える：原子力災害復興における不連続型国家プロジェクトと地域共存型創生の両立―特集 災害復興の制度についての現状と課題	御手洗 潤	2026	土地総合研究 / 土地総合研究所 編	34	1	57	75
土屋雷蔵氏によせて・「夢に挑み 道を啓く」を読んで－雪国の技術者がつなぐ未来	佐藤翔輔	2026-01	地域づくりinほくりく		39		
わずか73年の間隔で発生したM9地震が教えてくれること―カムチャツカ半島沖で発生した巨大地震―	福島洋	2026-02	なゐふる	144		2	3
書評 奥野 充・遠田晋次・三浦大助・山田和芳・早川宗志・宝田晋治・清杉孝司・藤木利之・柴畑光博編著：島嶼環境史学への招待―アーカイブからひもとく災害レジリエンス―	高橋尚志	2026-02	第四紀研究	65	1	37	38

(編集)IRIDeS Newsletter Vol.8 東日本大震災15年特別号	今野公美子	2026-02	IRIDeS Newsletter Vol.8 東日本大震災15年特別号				
震災アーカイブの組織・制度面からの課題の考察	柴山 明寛	2026-02-01	情報の科学と技術	76	2	60	65
居住者コミュニティが主体となるマンション防災の推進事例	佐藤健	2026-02	市街地2026 再開発	670	2	42	48
機械学習による即時地震動スペクトル予測：残差分析	大野晋	2026-03	東北地域災害科学研究	62		43	46
企画セッション開催報告 調査公害について考える2	小林 智之,村上 道夫,本田 香織,山本 知佳,趙 天辰,阿部 暁樹,坪倉 正治,原 裕太,山下 良平,清水 右郷	2026-03	リスク学研究	35	4	pp.211	217
歴史的市街地 の延焼火災防止に向けた課題分析と方策提案 桜川市真壁伝統的建造物群保存地区におけるケーススタディ	加藤里樹,古屋貴司,横内 基	2026-03	2025 年度日本建築学会関東支部研究報告集				
東日本大震災と災害伝承15年－伝承の持続性と実効性を問う－	佐藤翔輔	2026-03	月刊 ガバナンス			26	29
東日本大震災と災害伝承15年	佐藤翔輔	2026-03	21世紀ひょうご	40		27	38
VRを用いた360度映像体験が津波避難ビルの印象変化に与える影響の実験的評価	鈴木彩姫,手塚卯芽,成田峻之輔,佐藤翔輔	2026-03	令和7年度土木学会東北支部技術研究発表会講演概要集				
東日本大震災証言記録からの災害対応に関する因果関係記述の自動抽出	瀬川琳太郎,今村文彦,佐藤翔輔	2026-03	令和7年度土木学会東北支部技術研究発表会講演概要集				
青森県八戸市の住民を対象とした徒歩避難促進における「ナッジ」の利用可能性の検討	星美沙希,佐藤翔輔,今村文彦	2026-03	日本災害情報学会第31回学会大会予稿集			138	139
災禍の経験を伝承する「語り部」の思いからみる活動開始・継続に関する考察：災害・戦争・事故の当事者・非当事者に対する質問紙調査の自由記述から	佐藤翔輔	2026-03	東日本大震災・原子力災害第4回学術研究集会予稿集			145	146
大規模震災の振り返りと最新の被害想定ー東日本大震災から15年 地震災害対策を振り返る	佐藤 翔輔	2026-03	安全と健康	77	3	25	28
Book Review of Anthropology and Disaster in Japan: Cultural Contributions to Recovery After the 2011 Earthquake and Tsunami. By Hiroki Takakura, Routledge, 2023.	Julia Gerster	2026-03	Northeast Asian Studies	30		107	114
Book Review of Life Beyond the Tōhoku Disasters. Autonomy and Adaptability in Coastal Japan by Alyne E. Delaney, Lanham: Lexington Books, 2024, 197 pages.	Julia Gerster	2026-03	Northeast Asian Studies 30	30		115	120
'Life is a Miracle,' but learning from disasters isn't: Lessons from Japan's 2011 earthquake and tsunami	Fatma Ozdogan,Elizabeth Maly,Julia Gerster	2026-03-10	The Conversation				
'Life is a Miracle,' but learning from disasters isn't: Lessons from Japan's 2011 earthquake and tsunami	Julia Gerster	2026-03-10	The Conversation				
Lessons from the Great East Japan Earthquake. Remembering 3/11 as Japan and the world reflect on improving disaster preparedness	Julia Gerster	2026-03-10	The Japan Times				
Population Change in Japan's Coastal Areas During Tsunami Advisories and Warnings Following the 2025 Kamchatka Earthquake	Shohei Nagata,Hiroki M. Adachi,Erick Mas,Yuriko Takeda,Tomoki Nakaya,Cynthia Chen,Lyra Chen,Shunichi Koshimura	2026-03-19	2026 AAG Annual Meeting				

5. 3. E. 講演・口頭発表等

（発表日順）

タ イ ト ル	講 演 者	会議名（日本語）	発表年月日	会議種別
トンガ王国トンガタプ島北東部における離水マイクロアトールとビーチロックから推定される相対海水準変動と地殻変動履歴	中田光紀 , 石澤尭史 , 池永有弥 ,PENISONI Mafoa,IKA Tupou,HUFANGA Kelepi,MATAHAU Kioa, 横山祐典 , 宮入陽介 , 後藤和久	日本堆積学会大会プログラム・講演要旨 (Web)	2025	
海底堆積物を使った千島海溝沿いの地震記録復元 : 地震発生帯で採取された海底堆積物の概要	金松敏也 ,HSIUNG Kan-Hsi, 窪田薫 ,CHANG Yu-Chun, 冨士原敏也 , 池原研 , 中西諒 , 池田尚史 , 山本裕二 , 上西諒 , 与謝野勲 , 浦本豪一郎 , 永澤綾子 , 金子幸司朗 , 壽隆海大 , 石澤尭史 ,ZHAO Yang,HUANG Jyh-Jaan Steven,WU Yen-Hsi,LIU Yao-Ming	海と地球のシンポジウム発表課題一覧・要旨集 (CD-ROM)	2025	
小笠原諸島のシンクホール堆積物に基づく過去千年間の熱帯低気圧活動の復元	南舘健太 , 後藤和久 , 井村春生 , 笠井克己 , 石澤尭史 , 横山祐典	日本堆積学会大会プログラム・講演要旨 (Web)	2025	
神奈川県柏尾川流域における地下文化遺産を活用した災害リスクの評価のための基礎調査	田村 裕彦 , 小倉 拓郎 , 高橋 尚志 , 佐藤 昌人 , 小口 千明	日本地理学会発表要旨集	2025	
青森県むつ市出戸川沿岸低地における古津波堆積物調査と堆積環境の推定	猪瀬大輝 , 菅原大助 , 石澤尭史 , 増田英敏	日本第四紀学会講演要旨集 (Web)	2025	
大船渡市合足の礫質津波堆積物の堆積学的検討	井村春生 , 増田英敏 , 中田光紀 , 石澤尭史 , 後藤和久	日本堆積学会大会プログラム・講演要旨 (Web)	2025	
津波堆積物中の生物遺骸を用いた石垣島における先史津波の高確度年代決定	木島悠理 , 中田光紀 , 篠崎鉄哉 , 石澤尭史 , 宮入陽介 , 横山祐典 , 後藤和久	日本堆積学会大会プログラム・講演要旨 (Web)	2025	
2011 年の東日本大震災における障害者の日常生活と書き写しの実態	ボレー・ペンメレン・セバスチャン , 朴 慧晶	Japan Anthropology Workshop (JAWS)	2025/4/4	口頭発表（一般）
Coping with Trauma. Through Storytelling: Insights from Disaster Kamishibai	Julia Gerster,Kaoru Ueda	Japan Anthropology Workshop (JAWS)	2025/4/4	口頭発表（一般）
Real-time Impact-based Tsunami Forecast Facility : Contribution to EW4ALL & Tsunami Ready	Shunichi Koshimura	IUGG-JTC/ICG-PTWS Joint Workshop	2025/4/7	口頭発表（招待・特別）
Multi-source 3D point clouds fusion for potential rock mass hazard evaluation in high-steep rock slopes	Wei Yuan,Changqing Liu,Tianyi Wang,Bruno Adriano,Han Bao,Ryosuke Shibasaki,Shunichi Koshimura	ISPRS Geospatial Week 2025 Dubai	2025/4/8	ポスター発表
脳動脈瘤塞栓術における患者被ばく線量増大に関わる因子の検討	川内 覚 , 千田 浩一 , 濱田 祐介 , 依田 彰吾 , 澤山 慧 , 落合 祐友 , 神 芳行 , 鶴田 和太郎	日本放射線技術学会 第 81 回 総会学術大会	2025/4/13	口頭発表（一般）
Sendai and beyond: Necessity of Education and Research	Shinichi Egawa	Sendai & Beyond: Education, Relationality & Disaster	2025/4/15	シンポジウム・ワークショップ パネル（指名）
画像解析で計測した礫質砕屑物の円磨度に基づく本流性 - 支流性堆積物の識別可能粒径の検討	太矢敦士 , 高橋尚志 , 山田昌樹 , 石村大輔	日本堆積学会大会 2025 年大会	2025/4/19	
国際シンポジウム "The Future Role of Pediatrics"	野村周平	第 128 回 日本小児科学会学術集会	2025/4/20	シンポジウム・ワークショップ パネル（指名）
Reconfigurable User-centric Radio Access Network for Building Green and Resilient 6G Networks	安達文幸	The 2nd International Workshop on Global Research Initiative for Wireless Technology (IGROW)	2025/4/24	口頭発表（招待・特別）
バンコクでの被害状況と緊急調査報告	サッパシー アナワット	ミャンマー地震速報会	2025/4/25	
Stress transfer cycle from slow to fast earthquakes across the southernmost Ryukyu subduction thrust during deep slow slip	Sean Kuanhsiang Chen,Chi-Hsien Tang,Wei Peng,Kate Huihusan Chen,Yun-Tsai Lai,J. Bruce H. Shyu,Yih-Min Wu	EGU General Assembly	2025/4/28	口頭発表（一般）
The 2025 Myanmar Earthquake: Damage situation and rapid survey in Bangkok	サッパシー アナワット	The 34th TDMRC Seminar Series Lessons Learned from the 7.7 Mw, March 28, 2025 Mandalay-Myanmar Earthquake: Field Data and Building Assessment	2025/4/30	
しくじらない？先生	佐藤翔輔	気仙沼市立階上中学校・総合的な学習の時間 ガイダンス	2025/4/30	その他
今年度の探究学習に向けてのコツ	佐藤翔輔	気仙沼市立階上中学校・総合的な学習の時間 ガイダンス	2025/4/30	その他
2011 年東北沖津波が沿岸湖沼に及ぼした堆積作用の解明：宮城県七ヶ浜町阿川沼の例	原 悠介 , 菅原 大助 , 石澤 尭史	日本地球惑星科学連合 2025 年大会	2025/5/1	
A Thin and Weak Lithosphere-Asthenosphere Boundary (LAB) Beneath the Oceanic Lithosphere and its Effects on Subduction Earthquake Cycle Deformation	Tianhaozhe Sun,Kelin Wang,Jiangheng He,Fumiaki Tomita,Takeshi Iinuma,Ryota Hino,Motoyuki Kido,Yusaku Ohta	EGU General Assembly 2025	2025/5/1	口頭発表（一般）
Paleo- and rock magnetic investigations on sediments collected at Site C9035 in the Enshu Nada	山本 裕二 , 金松 敏也 , 熊 衍昕 , 石澤 尭史 , 池原 研	日本地球惑星科学連合 2025 年大会	2025/5/1	
Preliminary Results of the Distribution of Tsunami Deposits on Tongatapu Island, Kingdom of Tonga	中田 光紀 , 石澤 尭史 ,Goff James,Faoliu,Savelinga、Vailea Penikolo, 笠井克己 , 池永 有弥 ,Penisoni Maofa, 横山 祐典 , 宮入 陽介 , 後藤 和久	日本地球惑星科学連合 2025 年大会	2025/5/1	
三陸海岸南部におけるイベント堆積物の年代再検討と歴史津波との対比	大内 桜子 , 菅原 大助 , 石澤 尭史 , 高清水 康博 , 卜部 厚志 , 篠崎 鉄哉	日本地球惑星科学連合 2025 年大会	2025/5/1	
仙台平野北部における津波の侵食作用とその年代	菅原 大助 , 吉池 奏乃 , 石澤 尭史	日本地球惑星科学連合 2025 年大会	2025/5/1	
大船渡市合足における 2011 年東北沖津波の礫質津波堆積物	増田 英敏 , 井村 春生 , 中田 光紀 , 石澤 尭史 , 菅原 大助 , 後藤 和久	日本地球惑星科学連合 2025 年大会	2025/5/1	
ジオパークに対する学術研究成果の還元とその課題	鈴木比奈子 , 高橋尚志 , 原田拓也	日本地球惑星科学連合 2025 年大会	2025/5/1	ポスター発表
河川の急勾配度と縦断形から示唆される第四紀後期における能登半島の隆起傾動運動	柿内亮佑 , 遠田晋次 , 高橋尚志	日本地球惑星科学連合 2025 年大会	2025/5/1	ポスター発表
北上川支流，迫川下流に発達する沖積低地および伊豆沼の発達過程	杉浦綸文 , 高橋尚志 , 堀 和明 , 鈴木比奈子	日本地球惑星科学連合 2025 年大会	2025/5/1	ポスター発表

タ イ ト ル	講 演 者	会議名（日本語）	発表年月日	会議種別
能登半島北西部，八ヶ川河口部において 2024 年能登半島地震後に生じた下刻	高橋尚志 , 小倉拓郎 , 飯塚浩太郎 , 岩佐佳哉 , 早川裕弋 , 青木賢人 , 松多信尚	日本地球惑星科学連合 2025 年大会	2025/5/1	ポスター発表
SAR 衛星画像解析によって検出された令和 6 年能登半島地震に伴う地すべり土塊の変動	菊池柚里 , 高橋尚志 , 福島 洋	日本地球惑星科学連合 2025 年大会	2025/5/1	ポスター発表
栗駒山麓ジオパークにおける水地形と洪水履歴の活用	鈴木比奈子 , 高橋尚志 , 杉浦綸文 , 原田拓也	日本地球惑星科学連合 2025 年大会	2025/5/1	口頭発表（一般）
On the Performance of a Quantum Annealing-Assisted Framework for Topology Optimization in Truss and Continuum Structures	Naruethep Sukulthanasorn	16th World Congress on Structural and Multidisciplinary Optimization	2025/5/1	口頭発表（一般）
Unraveling crustal deformation and seismogenic signatures in eastern Taiwan	Ya-Ju Hsu,Hsin Tung,Horng-Yue Chen,Yu Wang,Yunung Lin,Chi-Hsien Tang	EGU General Assembly	2025/5/2	ポスター発表
Clarifying and Proposing Solutions for Institutional Challenges in the Definition and Reporting of Indirect Disaster-Related Deaths in Japan	Motohiro Tsuboi,Hiroyuki Sasaki,Hyejeong Park,Koichi Yasaka,Shigemasa Taguchi,Kazuya Kiyota,Shinichi Egawa	World Association for Disaster and Emergency Medicine	2025/5/3	口頭発表（一般）
Risk-informed hospital resilience	Shinichi Egawa	World Association for Disaster and Emergency Medicine	2025/5/3	シンポジウム・ワークショップ パネル（指名）
東北と震災・防災・復興	佐藤翔輔	筑波大学附属中学校・2025 年修学旅行	2025/5/7	その他
防災座談会 in 仙台〜伝え方の進化・深化・真価〜	佐藤翔輔	全国防災関係人口ミートアップ，Vol. 221	2025/5/7	シンポジウム・ワークショップ パネル（指名）
ハリケーン・サンディ後の沿岸部の空地と管理アプローチ〜 NY 市の事例〜	井内加奈子	日本都市計画学会｜防災特別委員会｜第四部会｜公開シンポジウム「被災後の低需要地の土地利用管理について考える」	2025/5/10	シンポジウム・ワークショップ パネル（指名）
Fifty Years of Hazards and Disasters Research: Where Do We Go from Here?	Kanako Iuchi	Natural Hazards Center Workshop	2025/5/14	シンポジウム・ワークショップ パネル（指名）
Housing Reconstruction and Collective Decision Making	Kanako Iuchi	Resilient Housing Reconstruction for a Changing World: Global Lessons and Japanese Innovations (The World Bank)	2025/5/14	シンポジウム・ワークショップ パネル（指名）
産業衛生領域での災害レジリエンスの強化：災害後の生活習慣と職場内のコミュニケーションによる精神保健の保持	大類真嗣	第 98 回日本産業衛生学会シンポジウム 12「仙台防災枠組みと災害産業保健」	2025/5/15	シンポジウム・ワークショップ パネル（公募）
2024 年能登半島地震の津波避難における車の利用状況とその要因	星美沙希 , 佐藤翔輔 , 今村文彦	第 56 回 2025 年度地域安全学会研究発表会（春季）	2025/5/16	口頭発表（一般）
A Study on the Management of a Wide-Area Evacuation Shelter at Nukadani Fureai Taiikukan Gym in Kanazawa City Following the 2024 Noto Peninsula Earthquake	MATSUZAKI Kei,MURAO Osamu,KANEYAMA Yuma	The 6th Asian Conference on Urban Disaster Reduction (ACUDR)	2025/5/16	ポスター発表
Community-based Tsunami Evacuation Building Distribution Using GIS and Behavioral Data Integration in Cilacap, Indonesia	KHOIRIYAH Mufidatun,MURAO Osamu	The 6th Asian Conference on Urban Disaster Reduction (ACUDR)	2025/5/16	口頭発表（一般）
Long-term Demographic Analysis in Reconstructed Urban Areas before and after the Great East Japan Earthquake	KATO Haruna,MURAO Osamu	The 6th Asian Conference on Urban Disaster Reduction (ACUDR)	2025/5/16	口頭発表（一般）
Population and Asset Exposure in Taiwan's Multi-hazard Risk Zone and Development Trends for 2025-2050	LIN Chi-Chun,MURAO Osamu	The 6th Asian Conference on Urban Disaster Reduction (ACUDR)	2025/5/16	口頭発表（一般）
Research on land use planning and current status of land use planning for former mass relocation sites in tsunami-affected areas	KANEYAMA Yuma,MURAO Osamu,KATO Haruna	The 6th Asian Conference on Urban Disaster Reduction (ACUDR)	2025/5/16	ポスター発表
Research on the Evaluation of the Impact of the Introduction of the Doshusei on the Reduction of Overconcentration of Tokyo	NOJI Kentaro,MURAO Osamu	The 6th Asian Conference on Urban Disaster Reduction (ACUDR)	2025/5/16	ポスター発表
観光促進と津波防災啓発を両立させる動画の開発：山形県酒田市飛島の事例	渡邉勇 , 佐藤翔輔 , 今村文彦	第 56 回 2025 年度地域安全学会研究発表会（春季）	2025/5/16	口頭発表（一般）
計算固体力学における線形ソルバーとしての量子特異値変換の適用性に関する基礎的検討	我妻 航也 , 野村 怜佳 , スクタナソーン ナルテープ , 森口 周二 , 寺田 賢二郎	第 28 回応用力学シンポジウム	2025/5/16	口頭発表（一般）
個別要素法のためのベンチマーク問題の適切なパラメータの検証	吉川 大陽 ,XIAO JUNSE, 野村 怜佳 , 寺田 賢二郎 , 森口 周二	第 28 回応用力学シンポジウム	2025/5/16	口頭発表（一般）
災害に強いグリーンプレイスメイキング：日本と米国の事例の類型分析	Elizabeth Maly,Tamiyo Kondo,Tomoko Matsushita	第 6 回アジア都市防災会議	2025/5/16	ポスター発表
地震力の空間分布を考慮した極限平衡理論に基づく 三次元広域斜面安定解析	松田 晃汰 , 須郷 大地 , 野村 怜佳 , 寺田 賢二郎 , 森口 周二 , 大野 晋	第 28 回応用力学シンポジウム	2025/5/16	口頭発表（一般）
津波被災地における集団移転跡地の土地利用計画とその現状に関する研究	金山侑真 , 村尾修 , 加藤春奈	第 56 回（2025 年度）地域安全学会研究発表会（春季）	2025/5/16	口頭発表（一般）
道州制導入による東京一極集中緩和への影響評価に関する研究	野地健太郎 , 村尾修	第 56 回（2025 年度）地域安全学会研究発表会（春季）	2025/5/16	口頭発表（一般）
令和 6 年能登半島地震による金沢市額谷ふれあい体育館での広域避難所運営に関する研究	松﨑圭 , 村尾修 , 金山侑真	第 56 回（2025 年度）地域安全学会研究発表会（春季）	2025/5/16	口頭発表（一般）
MPM-FEM ハイブリッド法による地盤透水現象の再現解析	鈴木 祐太 , 菅井 理一 , 飛彈野 壮真 , 野村 怜佳 , 森口 周二 , 小高 猛司 , 寺田 賢二郎	第 28 回応用力学シンポジウム	2025/5/17	口頭発表（一般）
VMS 法を用いた u-p 混合定式化を適用した陰的 MPM による超弾性体の解析	菅井 理一 , 野村 怜佳 , 森口 周二 , 寺田 賢二郎	第 28 回応用力学シンポジウム	2025/5/17	口頭発表（一般）
Weighted Least Square B-spline 形状関数を採用した半陰的 MPM による不飽和地盤解析	飛彈野 壮真 , 野村 怜佳 , 森口 周二 , 寺田 賢二郎	第 28 回応用力学シンポジウム	2025/5/17	口頭発表（一般）
長期的かつ強靭な復興：日本およびアジア太平洋地域における災害後の住宅復興の成果からの教訓	Elizabeth maly	第 6 回アジア都市防災会議	2025/5/17	口頭発表（基調）

タ イ ト ル	講 演 者	会議名（日本語）	発表年月日	会議種別
有限変形の代理均質化モデルを用いたマクロ構造のトポロジー最適化	中村 明莉 , 山中 耀介 ,Sukulthanasorn Naruethe, 野村 怜佳 , 森口 周二 , 寺田 賢二	第 28 回応用力学シンポジウム	2025/5/17	口頭発表（一般）
量子フーリエ変換を用いた均質化法に基づくマルチスケール解析	飯塚 聡 , 我妻 航也 , 中村 明莉 , 野村 怜佳 , 森口 周二 , 寺田 賢二郎	第 28 回応用力学シンポジウム	2025/5/17	口頭発表（一般）
私は以前の自分を取り戻せたのだろうかー就労者うつ病の回復を支援する薬物療法とはー	國井泰人	トリンテリックス 全国 web 講演会 , 仙台（全国 web 配信）	2025/5/20	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
Monitoring the behavior of NAF beneath the Marmara Sea using extensometers - the second phase -	Motoyuki Kido	Second Joint International Earthquake Science Symposium	2025/5/22	ポスター発表
Real-time Impact-based Tsunami Forecast Facility : Contribution to EW4ALL & Tsunami Ready	Shunichi Koshimura	Macro Regional Seminar : Disaster Risk Management and Climate Change Adaptation	2025/5/22	口頭発表（基調）
Reframing Depression- 治療抵抗性うつ病を再考する -	國井泰人	Depression Update-「うつ病」を読み解く - , 会津若松（web 配信）	2025/5/22	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
復興まちづくりの今後の課題	姥浦道生	日本建築家協会北陸支部大会 2015 in 金沢	2025/5/24	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
Geodetic and seismic insights into seismogenic features and fault segmentation along the southern Ryukyu Trench	Ya-Ju Hsu,Pei-Ru Jian,Chi-Hsien Tang	JpGU Meeting	2025/5/25	口頭発表（招待・特別）
活断層の地表変位位置の予測性能と誤差要因：2016 年熊本地震の地表地震断層を用いた検証	山根 悠輝 , 遠田 晋次	日本地球惑星科学連合 2025 年大会	2025/5/25	口頭発表（一般）
栗駒山麓ジオパーク学習における科学的伴走支援	佐藤翔輔	日本地球惑星科学連合 2025 年大会（Japan Geoscience Union Meeting 2025, JpGU2025），パブリックセッション・ジオパークとサステナビリティ	2025/5/25	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
Disaster Digital Twin - Concept, Progress, and Application to Tsunami Disaster	Shunichi Koshimura	OECD-Southeast Asia Policy Roundtable on Artificial Intelligence	2025/5/26	口頭発表（招待・特別）
InSAR・GNSS データを用いた深層学習による断層すべりが引き起こした3次元変位場の抽出の試み	岡田 悠太郎 , 福島 洋	日本地球惑星科学連合 2025 年大会	2025/5/26	口頭発表（一般）
Nonplanar Fault Geometry Controls the Spatiotemporal Distributions of Slip and Surface Displacement	安藤 亮輔 , 福島 洋 , 吉田 圭佑 , 今西 和俊	日本地球惑星科学連合 2025 年大会	2025/5/26	口頭発表（一般）
Postseismic deformation of the 2011 Tohoku earthquake: Insights from GNSS, GNSS-A, and repeating earthquake observations	富田 史章 ,Sun Tianhaozhe, 飯沼 卓史 , 木戸 元之 , 太田 雄策 , 内田 直希 ,Wang Kelin	日本地球惑星科学連合 2025 年大会	2025/5/26	口頭発表（招待・特別）
Softbank 独自基準点における共通誤差成分の予備的解析	岡田 悠太郎 , 太田 雄策 , 大舘 未来 , 福島 洋	日本地球惑星科学連合 2025 年大会	2025/5/26	ポスター発表
Utilizing Dense Tropospheric Delay Products from GNSS in InSAR Noise Correction	サイレラー サルディラ , 福島 洋 , 太田 雄策	日本地球惑星科学連合 2025 年大会	2025/5/26	口頭発表（一般）
河川の急勾配度と縦断形から示唆される第四紀後期における能登半島の隆起傾動運動	柿内 亮佑 , 遠田 晋次 , 高橋 尚志	日本地球惑星科学連合 2025 年大会	2025/5/26	ポスター発表
強震動予測のための断層モデル設定方法の検討：2024 年能登半島地震を例に	乗松君衣 , 原勇貴 , 遠田晋次	地球惑星科学連合 2025 年大会	2025/5/26	ポスター発表
光学衛星画像ピクセルオフセット解析による 2023 年トルコ南東部地震の地表断層変位計測と精度検討	鉢呂和己 , 福島洋	日本地球惑星科学連合 2025 年大会	2025/5/26	口頭発表（一般）
深層学習と GNSS を用いた断層すべり検出手法開発と四国西部における適用	中川 亮 , 福島 洋 , 加納 将行 , 矢野 恵佑 , 田中 優介 , 岡田 悠太郎 , 平原 和朗	日本地球惑星科学連合 2025 年大会	2025/5/26	口頭発表（一般）
Detection of slow slip events from continuous seismic waveforms in western Shikoku based on random forest model	大竹 和機 , 加藤 愛太郎 , 岡田 悠太郎 , 西村 卓也	日本地球惑星科学連合 2025 年大会	2025/5/27	口頭発表（一般）
Observed abyssal temperature variability modulated by mesoscale eddies	WANG SHUYA, 太田 雄策 , 木戸 元之 , 富田 史章 , 日野 亮太	日本地球惑星連合 2025 年大会	2025/5/27	ポスター発表
2024 年能登半島地震の広域余震活動と周辺活断層への長期的影響	遠田晋次	日本地球惑星科学連合 2025 年大会	2025/5/28	口頭発表（一般）
A long-term slow slip event beneath the southern Ryukyu forearc revealed by 25 years of GNSS observations	Chi-Hsien Tang,Ya-Ju Hsu,Yutaro Okada,Yusaku Ohta,Takeshi Sagiya,Pei-Ru Jian,Yoshiaki Tamura,Takaaki Jike	JpGU Meeting	2025/5/28	口頭発表（招待・特別）
Geodetic constraints on the September 2022 Guanshan and Chihshang earthquakes, eastern Taiwan	Hsin Tung,Horng-Yue Chen,Ya-Ju Hsu,Chi-Hsien Tang,Jian-Cheng Lee,Yu Wang	JpGU Meeting	2025/5/28	ポスター発表
GNSS-A 観測で見られる時定数の短い海中音速場変化と内部重力波	一戸 麗希 , 木戸 元之	日本地球惑星科学連合 2025 年大会	2025/5/28	口頭発表（一般）
GNSS 音響観測と海洋モデルによって得られる海中音速場の定量的な比較	澤永 一樹 , 富田 史章	日本地球惑星連合 2025 年大会	2025/5/28	ポスター発表
Initiation of GNSS-Acoustic seafloor geodetic observation along the Japan trench off Boso	Fumiaki Tomita,Motoyuki Kido,Kazuo Nakahigashi,Yusaku Ohta,Kanata Endo,Chi-Hsien Tang,Ryota Hino	JpGU Meeting	2025/5/28	口頭発表（一般）
Is the small shortening of the baseline length detected by Acoustic Distance Meter significant?	松本 祥太郎 , 木戸 元之 , 日野 亮太 , 太田 雄策	日本地球惑星科学連合 2025 年大会	2025/5/28	口頭発表（一般）
Seafloor Crustal Deformation Observations Utilizing Unmanned Surface Vehicles at Plate Subduction zones around the Japanese Islands	飯沼 卓史 , 木戸 元之 , 太田 雄策 , 福田 達也 , 富田 史章 , 横田 裕輔 , 日野 亮太 , 藤田 実季子 , 堀 高峰	日本地球惑星連合 2025 年大会	2025/5/28	口頭発表（一般）
岩手県沖海溝軸での海底間音響測距データの再解析	三浦 達哉 , 木戸 元之 , 日野 亮太	日本地球惑星科学連合 2025 年大会	2025/5/28	ポスター発表
日本海溝沿い房総沖における GNSS 音響結合方式による海底地殻変動観測の開始	富田 史章 , 木戸 元之 , 中東 和夫 , 太田 雄策 , 遠藤 神奈多 , 唐 啓賢 , 日野 亮太	日本地球惑星連合 2025 年大会	2025/5/28	口頭発表（一般）
日本海溝沿い房総沖における GNSS 音響結合方式による海底地殻変動観測の開始	富田 史章 , 木戸 元之 , 中東 和夫 , 太田 雄策 , 遠藤 神奈多 , 唐 啓賢 , 日野 亮太	日本地球惑星科学連合 2025 年大会	2025/5/28	口頭発表（一般）

タ イ ト ル	講 演 者	会議名（日本語）	発表年月日	会議種別
常磐海岸中部における過去約 6300 年間の古津波履歴	佐藤 由人 , 菅原 大助 , 石澤 尭史 , 卜部 厚志 , 高清水 康博 , 加藤 学 , 川田 強 , 吉岡 恭平	日本地球惑星科学連合 2025 年大会	2025/5/29	口頭発表（一般）
仙台平野北部における津波の侵食作用とその年代	菅原大助 , 吉池奏乃 , 石澤尭史	日本地球惑星科学連合 2025 年大会	2025/5/29	ポスター発表
地中レーダーによる沿岸低地の津波堆積物の追跡：北海道胆振地方を例に	高橋 慶伍 , 菅原 大助 , 石澤 尭史 , 西村 裕一 , 高清水 康博	日本地球惑星科学連合 2025 年大会	2025/5/29	ポスター発表
Multi-Fault Segment Complexity and Multi-Rupture Episodes during the 2024 Mw 7.5 Noto Peninsula Earthquake	榎本 倫太郎 , 金子 善宏 , 唐 啓賢 , 福島 洋 , 後藤 浩之 , 宮崎 真一	日本地球惑星科学連合 2025 年大会	2025/5/30	口頭発表（一般）
SAR 衛星画像解析によって検出された令和 6 年能登半島地震に伴う地すべり土塊の変動	菊池 柚里 , 高橋 尚志 , 福島 洋	日本地球惑星科学連合 2025 年大会	2025/5/30	ポスター発表
外水氾濫以外の現象を対象にしたマイ・タイムラインツール	佐藤翔輔	一般社団法人河川情報センター令和 7 年度研究助成成果報告会	2025/5/30	その他
頭頸部用放射線防護具の鉛当量の違いによる防 護効果について	日野隆喜 , 山崎智香 , 佐藤俊光 , 鈴木幸司 , 千田浩一	第 61 回山形県放射線技師会学術大会	2025/5/31	口頭発表（一般）
2 次元浅水長波型土石流解析のためのひずみ速度依存型抵抗力モデルの開発	野村 怜佳 , 大塚 千穂 ,Nilo L. J. Dolojan, 飛彈野 壮真 , 森口 周二 , 小高 猛司 , 寺田 賢二郎	第 30 回計算工学講演会	2025/6/1	口頭発表（一般）
浅水 SPH 法を用いた土石流の侵食と流路形成に関する基礎研究	Dolojan Nilo, 野村 怜佳 , 寺田 賢二郎 , 森口 周二	第 30 回計算工学講演会	2025/6/1	口頭発表（一般）
水害からいのちを守る避難ー 2019 年台風 19 号と 2020 年 7 月豪雨での事例をもとにー	佐藤翔輔	国土交通省国土交通大学校令和 7 年度専門課程水災害予報研修	2025/6/3	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
Disaster Loss and Damage Data to Develop Better DRR and CCA Policy	HARA Yuta,SASAKI Daisuke,ONO Yuichi	Ignite Stage, United Nations Global Platform for Disaster Risk Reduction 2025 (GPDRR 2025)	2025/6/4	口頭発表（一般）
Sequential Fragility Updates for City-Scale Seismic Assessments Using Numerical Simulations and Sensor Data	湯 東暘 ,Sukulthanasorn Naruethe, 野村 怜佳 , 野島 和也 , 森 篤史 , 大野 晋 , 郭 佳 , 佐藤 誠一 , 森口 周二 , 櫻庭 雅明 , 寺田 賢二郎	第 30 回計算工学講演会	2025/6/4	
Variational multiscale(VMS) 法による安定化混合定式化の陰的 MPM への適用	菅井 理一 , 野村 怜佳 , 森口 周二 , 寺田 賢二郎	第 30 回計算工学講演会	2025/6/4	口頭発表（一般）
Weighted least square B-spline 形状関数を用いた半陰的 MPM による浸透崩壊解析	飛彈野 壮真 , 野村 怜佳 , 森口 周二 , 寺田 賢二郎	第 30 回計算工学講演会	2025/6/4	口頭発表（一般）
共回転有限要素法と格子ボルツマン法による流体構造連成解析手法の開発	平山 大悟 , 下畑 和希 , 野村 怜佳 , 渡辺 勢也 , 森口 周二 , 青木 尊之 , 寺田 賢二郎	第 30 回計算工学講演会	2025/6/4	
構造解析における有限要素法の線形ソルバーとしての量子特異値変換の適用性の検討	我妻 航也 , 野村 怜佳 , 森口 周二 , 寺田 賢二郎	第 30 回計算工学講演会	2025/6/4	
水害からいのちを守る・守った避難対応	佐藤翔輔	消防防災科学センター・令和 7 年度「第 1 回オンライン版市町村職員防災連続講座」	2025/6/4	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
数値シミュレーションを用いた時代変化に伴う土地利用変遷が災害リスクに与える影響の定量化	森口 周二 , 吉沢 美香 ,Dolojan Nilo, 野村 怜佳 , 菅原 大介 , 鈴木 温 , 寺田 賢二郎	第 30 回計算工学講演会	2025/6/4	
楕円体すべり面と粒子群最適化を用いた三次元極限平衡法の広域斜面安定解析への適用	須郷 大地 ,Choe John, 外里 健太 , 野村 怜佳 , 寺田 賢二郎 , 渡邊 康介 , 森口 周二	第 30 回計算工学講演会	2025/6/4	
非深層学習の代理均質化モデルによる非線形複合材料の三次元有限変形マルチスケール解析	中村 明莉 , 山中 耀介 , 野村 怜佳 , 森口 周二 , 寺田 賢二郎	第 30 回計算工学講演会	2025/6/4	
陽 - 陰解法選択型 MPM を用いた降雨崩壊解析のための基礎的検討	吉田 圭那 , 飛彈野 壮真 , 菅井 理一 , 野村 怜佳 , 壇上 徹 , 石澤 友浩 , 森口 周二 , 酒井 直樹 , 寺田 賢二郎	第 30 回計算工学講演会	2025/6/4	
Real-time Impact-based Tsunami Forecast Facility : Contribution to EW4ALL & Tsunami Ready	Shunichi Koshimura	Global Platform for Disaster Risk Reduction 2025	2025/6/5	口頭発表（一般）
Tsunami Digital Twin : Its Concept, Progress, and Applications to Japan and the US	Shunichi Koshimura	The 26th IEEE International Conference on Mobile Data Management	2025/6/5	口頭発表（招待・特別）
史上初の砂漠化対処条約締約国会議のグリーンゾーン：2024 年におけるサウジアラビアの試み	原 裕太	日本沙漠学会第 36 回学術大会	2025/6/7	口頭発表（一般）
マップを更新するコツ	佐藤翔輔	登米市立津山中学校・防災教育	2025/6/10	その他
来年から変わる防災気象情報	佐藤翔輔	防災教育の市民団体「ゆりあげかもめ」合同勉強会	2025/6/10	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
うつ病が併存する ADHD をどう診るか - 脳病態に基づく治療のリフレーミング -	國井泰人	ADHD Web Seminar, 仙台（全国 web 配信）	2025/6/12	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
Learn to Protect Yourself	Julia Gerster	Multicultural Disaster Risk Reduction Workshop	2025/6/14	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
Participation in post-disaster housing relocation for low-income communities: A comparative assessment of development processes and outcomes after Typhoon Haiyan of 2013	Kanako Iuchi	MR2025: Mobility, Adaptation, and Wellbeing in a Changing Climate (Columbia University)	2025/6/16	口頭発表（一般）
Cascading disasters and Natech accidents	朴慧晶	Basics of disaster science and its application for BOSAI	2025/6/18	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
Disaster Tradition / Memorial in Japan: Actual Situation and Scientific Research	Shosule Sato	Tohoku University - Cheng Shiu University Joint Research - Refereeing Forum on Civil Engineering	2025/6/19	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
シンポジウム 52 来るべき激甚災害に備え災害精神医学をいかに伝え、いかに学ぶか：いかに、精神科医だけでなく広く医学生・学生に災害精神医学を学んでいただくか	國井泰人	第 121 回日本精神神経学会学術総会 . 神戸	2025/6/19	シンポジウム・ワークショップ パネル（公募）

タ イ ト ル	講 演 者	会議名（日本語）	発表年月日	会議種別
シンポジウム 56 神経発達症と神経多様性：神経発達症を抱えて生きるということ－ADHD とトラウマ－	國井泰人	第 121 回日本精神神経学会学術総会 . 神戸	2025/6/19	シンポジウム・ワークショップ パネル（公募）
数値シミュレーションによる斜面災害のリスク評価	森口 周二	補強土植生のり枠工協会技術講習会 2025	2025/6/20	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
扁桃体病変を主とする自己免疫性辺縁系脳炎の表現型として治療抵抗性うつ病像を示した一例	佐藤瑠衣 , 長岡敦子 , 大場雄太 , 小野紘彦 , 國井泰人 , 富田博秋	第 121 回日本精神神経学会学術総会 . 神戸	2025/6/21	ポスター発表
現代のうつ病薬物療法にもとめられるもの－治療抵抗性とベンラファキシンの位置づけ－	國井泰人	イフェクサー ®SR web 講演会 , 仙台（全国 web 配信）	2025/6/24	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
数値シミュレーションとデータサイエンスの融合による津波リスク評価技術の開発	野村怜佳 , 森口周二 , 寺田賢二郎	公立はこだて未来大学 複雑系知能知能セミナー	2025/6/24	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
今、うつ病の薬物療法に求められるもの	國井泰人	徳島精神科臨床懇話会 , 第 317 回精翠会 , 徳島（ハイブリッド配信）	2025/6/25	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
特別講演 . 統合失調症が解明されるとき－様々な統合失調症病態仮説の死後脳での検証と治療展望－	國井泰人	富山県精神科医会学術講演会 , ハイブリッド開催（富山）	2025/6/27	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
Reconfigurable User-centric Radio Access Network for Building Green and Resilient 6G Systems	安達文幸	The 13th Workshop on Advances in Wireless Communications	2025/6/29	口頭発表（招待・特別）
PHSSR 政策ロードマップ	野村周平	PHSSR サミット「より強靭な保健医療システムの共創」ーすべての人のためのトランスフォーム・ケア	2025/6/30	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
On the application of quantum neural networks to topology optimization	Naruethep Sukulthanasorn	18th U.S. National Congress on Computational Mechanics (USNCCM18)	2025/7/1	口頭発表（一般）
Enhanced semi-implicit MPM for seepage slope failure analysis	Soma Hidano,Reika Nomura,Shuji Moriguchi,Kenjiro Terada	the 4th International Conference on Computational Engineering and Science for Safety and Environmental Problems (COMPSAFE2025)	2025/7/2	口頭発表（一般）
Multihazard framework for regional-scale simulation of rain-induced flood and landslide disasters	Nilo Lemuel Junio,Dolojan,Takayuki Takahashi,Masakazu Hashimoto,Akihiro Shibayama,Reika Nomura,Kenjiro Terada,Shuji Moriguchi	the 4th International Conference on Computational Engineering and Science for Safety and Environmental Problems (COMPSAFE2025)	2025/7/3	口頭発表（一般）
Sequential updating of building fragility functions through large-scale seismic simulations and sensor integration	Dongyang Tang,Sukulthanasorn Naruethep,Reika Nomura,Kazuya Nojima,Atsushi Mori,Susumu Ohno,Jia Guo,Seiichi Sato,Shuji Moriguchi,Masaaki Sakuraba,Kenjiro Terada	the 4th International Conference on Computational Engineering and Science for Safety and Environmental Problems (COMPSAFE2025)	2025/7/3	口頭発表（一般）
Strain-rate dependent shear resistance model for debris flow simulations in 2D shallow water equation	Reika Nomura,Chiho Otsuka,Soma Hidano,Nilo Lemuel Dolojan,Shuji Moriguchi,Takeshi Kodaka,Kenjiro Terada	The 4th International Conference on Computational Engineering and Science for Safety and Environmental Problems (COMPSAFE2025)	2025/7/3	口頭発表（一般）
The Evolution of Evacuation Shelter Management in Japan and Case Studies from the 2024 Noto Peninsula Earthquake	Osamu Murao	2nd International Symposium on Disaster Prevention and Reduction of Urban Infrastructure in 2025	2025/7/3	口頭発表（一般）
いま民間企業が備えるべき防災・事業継続について	丸谷浩明	竹中工務店技術研究所公開	2025/7/3	口頭発表（招待・特別）
A Study on the Optimal Calculation Setup for a Benchmark Problem Designed for the Discrete Element Method	S. Moriguchi,T. Yoshikawa,M. Otsubo,A. Oya,A. Kono,M. Taue,H. Saomoto,S. Kajiyama,N. Kikkawa,D. Takano,Y. Nakata,J. Yamaguchi	The 10th International Conference on Discrete Element Methods	2025/7/4	口頭発表（一般）
Extended B-spline-based mixed implicit material point method stabilized by variational multiscale method	Riichi Sugai,Reika Nomura,Shuji Moriguchi,Kenjiro Terada	The 4th International Conference on Computational Engineering and Science for Safety and Environmental Problems (COMPSAFE2025)	2025/7/4	口頭発表（一般）
Large-area Slope Stability Analysis using Three-dimensional Limit Equilibrium Method with Ellipsoidal Slip Surfaces and Particle Swarm Optimization	Daichi Sugo,John Yeonjun Choe,Kenta Tozato,Reika Nomura,Kenjiro Terada,Kosuke Watanabe,Shuji Moriguchi	The 4th International Conference on Computational Engineering and Science for Safety and Environmental Problems (COMPSAFE2025)	2025/7/4	口頭発表（一般）
仙南地域災害対応研修会 講師	佐々木宏之		2025/7/5	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
Disaster Digital Twin - Concept, Progress, and Application to Tsunami Disaster-	Shunichi Koshimura	RESILIENT CHILE. PREVENTION AND RECONSTRUCTION WITH A FUTURE: EXPERIENCES TO SHARE	2025/7/8	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
Sheltering, at a Distance: Distributed Sheltering Efforts in Response to the 2024 Noto Peninsula Earthquake	Anna Matsukawa,Shinya Fujimoto,Tristan Wu,Alex Greer	5th ISA Forum of Sociology	2025/7/9	口頭発表（一般）
研究って？テーマの決め方や進め方	佐藤翔輔	宮城県気仙沼高等学校・地域社会研究	2025/7/10	その他
能登半島地震から 1 年半：大規模災害後のメンタルヘルスー復興の長期化にどう向き合うかー	國井泰人	第 137 回石川県神経科精神科学術講演会 , ハイブリッド開催（石川）	2025/7/11	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
震災の教訓を活かした津波防災と伝承	佐藤翔輔	令和 7 年度津波防災シンポジウム・防災文化を後世へつなぐー震災教訓を活かした津波防災と次世代への伝承ー	2025/7/12	シンポジウム・ワークショップ パネル（指名）

タ イ ト ル	講 演 者	会議名（日本語）	発表年月日	会議種別
A Distributed Approach to Sheltering: Response to the Japan's 2024 Noto Earthquake	Ayesha Islam,Shinya Fujimoto,Anna Matsukawa,Hideyuki Shiroshita,Alex Greer,Tristan Wu,Norio Maki,Shigeo Tatsuki	50th Annual Natural Hazards Research and Applications Workshop	2025/7/13	ポスター発表
Knowledge from Japan for Long-term Earthquake Resilience in Thailand	サッパシー　アナワット	Toward Earthquake-Resilient Thailand: Addressing Long-Period Ground Motions and Social Infrastructure Vulnerability (在タイ日本国大使館)	2025/7/14	
You Always Recognize Me (YARM): Robust Texture Synthesis Against Multi-View Corruption	Weihang Ran,Wei Yuan,Yinqiang Zheng	Forty-second International Conference on Machine Learning	2025/7/14	ポスター発表
Recreating vulnerability: Learning from the 2018 Central Sulawesi Earthquake Community Resettlement	Kanako Iuchi	50th Annual Natural Hazards Workshop	2025/7/15	口頭発表（一般）
TsunamiCast : Real-time Impact-based Tsunami Forecast Facility	Shunichi Koshimura	Esri User Conference 2025	2025/7/15	口頭発表（一般）
Driving Urban Resilience: Japan's Technological Edge in Tsunami Modeling and Mobile Data	Erick Mas	World Smart City Expo Korea	2025/7/16	口頭発表（基調）
底生動物の環境 DNA・生物応答試験・精密質量分析：河川の化学物質リスクを探る試み	岩崎 雄一 , 矢野 涼介 , 内田 典子 , 森山 章弘 , 眞野 浩行 , 小林 勇太 , 鈴木 裕識	環境化学物質合同大会	2025/7/16	ポスター発表
復興まちづくりの今後の課題	姥浦道生	国土交通大学校研修『土地区画整理事業』	2025/7/16	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
From War to Disaster: Rethinking Gender and Resilience in Japan’s Memorial Spaces	Julia Gerster	Memory Studies Conference	2025/7/17	口頭発表（一般）
Evaluation of DRR researcher's work beyond publication	Yuichi ONO	7th Global Summit of GADRI	2025/7/21	口頭発表（招待・特別）
歴史の中の災害－歴史から得られる未来への知見－	川内淳史	聖光塾特別編	2025/7/21	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
Optimal seismic design of unidirectional rocking isolation bearing system for bridge structures	Ruihong Xie,Jubo Sun,Xinhao He,Shigeki Unjoh	16th International Workshop on Advanced Smart Materials and Smart Structures Technology	2025/7/21	口頭発表（一般）
残念なBCPから これからの事業継続	丸谷浩明	第2回「国土強靱化 / レジリエンス向上セミナー」	2025/7/23	口頭発表（招待・特別）
Preservation and Dissemination of Diverse Disaster Narratives through Kamishibai	Julia Gerster,Kaoru Ueda	Resilience Workshop	2025/7/25	
人流データと社会調査を組み合わせた中小規模洪水災害の被災者の復興過程の解明	佐藤翔輔 , 浅野仁作 , 今村文彦 , 橋本雅和	2024 年度 災害レジリエンス共創研究報告会	2025/7/25	口頭発表（一般）
復興まちづくりの現状	姥浦道生	第 3 回のとボイス「計画から実行へ、次のステップへつなげる」，金沢	2025/7/27	シンポジウム・ワークショップ パネル（指名）
Risk Communication and Health Resilience	Shinichi Egawa	UNESCO Seminar: Reporting and Communicating Natural Hazards Risks during Disasters	2025/7/28	シンポジウム・ワークショップ パネル（指名）
新興再興感染症リスク軽減に資する創薬研究	林 宏典	日米共同研究週間 (スタンフォード)	2025/7/28	口頭発表（基調）
Characterizing earthquakes and aseismic slip in the western margin of the Philippine Sea plate	Chi-Hsien Tang	AOGS Annual Meeting	2025/7/29	口頭発表（基調）
Coastal Vegetation Succession on the Sendai Coast After the 2011 Great East Japan Earthquake and Tsunami	Yuto Mukaida,Noriko Uchida,Constance Chua,Anawat Suppasri,Daisuke Sugawara,Fumihiko Imamura	AOGS2025	2025/7/29	ポスター発表
Recovery from the 2011 Great East Japan Earthquake and Challenges for the Future,	Osamu Murao	APRU Multi-Hazards 2025 Summer School	2025/7/29	その他
Role of Health Sector in Disaster Risk Reduction	Shinichi Egawa	10th APRU Multi-Hazards (MH) Summer School	2025/7/29	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
Digital Twin for Coastal Disaster Risk Reduction and Resilience	Shunichi Koshimura,Nobuhito Mori,Naotaka Chikasada,Keiko Udo,Junichi Ninomiya,Yoshihiro Okumura,Erick Mas	Asia Oceania Geosciences Society (AOGS) Annual Meeting 2025	2025/7/30	口頭発表（招待・特別）
Pinpoint Alert System	Yuichi ONO	APEC 2025: 18th SDMOF	2025/7/31	口頭発表（招待・特別）
Understanding Indirect Deaths Identification, Significance, Criteria, and Evidence-based Insights	Shinichi Egawa	Department of Health, Philippines, Disaster Risk Reduction and Management in Health (DRRM-H) Summit 2025	2025/7/31	シンポジウム・ワークショップ パネル（指名）
災害時の避難所レイアウトと感染症対策の課題に関する研究 －東日本大震災から令和 6 年能登半島地震まで－	松﨑圭 , 村尾修 , 金山侑真	地域安全学会 東日本大震災連続ワークショップ 2025 in 大槌	2025/8/1	口頭発表（一般）
初中高等教育の経験を振り返って思うこと～釜学校を中心に～	石川 美希	第 13 回東北教育オーディオロジー研究協議会研修会	2025/8/1	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
東日本大震災 10 年の生活再建過程ふりかえる被災者から聞き取り：復興庁・被災者インタビュー調査の概要とウェブサイトでの公開	佐藤翔輔 , 田村圭子 , 木村玲欧 , 小田原未依 , 元谷豊 , 竹本加良子	東日本大震災連続ワークショップ 2025 in 大槌町	2025/8/1	口頭発表（一般）
東日本大震災の伝承活動の概況と今後の展望	中川政治 , 佐藤翔輔 , 阿部任	東日本大震災連続ワークショップ 2025 in 大槌町	2025/8/1	口頭発表（一般）
礫質堆積物に対する形状 (円磨度) 計測とその応用	石村大輔 , 石澤尭史 , 高橋直也 , 高橋尚志 , 渡部真史 , 山田圭太郎 , 山田昌樹	日本第四紀学会 2025 年大会	2025/8/1	
東日本大震災からの復興まちづくりの効果と課題	姥浦道生	『日本学術会議 in 石川』大災害からの復興と持続的社会のモデルを目指して～半島地域からの問題提起	2025/8/2	シンポジウム・ワークショップ パネル（指名）

タ イ ト ル	講 演 者	会議名（日本語）	発表年月日	会議種別
東日本大震災から得られた教訓をこれからの災害にどう活かすかーエビデンスに基づく災害精神医学のススメー	國井泰人	第 27 回精神医療を考える会 , 札幌 , ハイブリッド形式	2025/8/2	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
能登半島地震・豪雨災害からの復興の空間計画的課題	姥浦道生	『日本学術会議 in 石川』大災害からの復興と持続的社会のモデルを目指して～半島地域からの問題提起	2025/8/2	シンポジウム・ワークショップ パネル（指名）
震災から 15 年目を迎える被災地における土地利用の現状・課題と今後の方向性	姥浦道生	復興庁『R7 年度 3 県土地活用実務担当者会議』, 釜石	2025/8/4	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
Building Damage Segmentation with GAN-Synthesized High-Resolution SAR Imagery	Chia Yee Ho,Bruno Adriano,Erick Mas,Shunichi Koshimura	2025 IEEE International Geoscience and Remote Sensing Symposium	2025/8/6	口頭発表（一般）
自然に健康になれる（ハードの）まちづくり	姥浦道生	仙台市『自然に健康になれるまちづくりワークショップ』	2025/8/6	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
防災政策の最近の 動向について	丸谷浩明	日本建設業連合会 BCP 部会	2025/8/6	口頭発表（招待・特別）
COMPARATIVE ANALYSIS OF OPEN-SOURCE SAR-BASED FLOOD DATASETS FOR ACCURATE FLOOD EXTENT DELINEATION USING DEEP LEARNING	Ira Karrel San Jose,Sesa Wiguna,Tohoku University\, Japan,Marc Wieland,German Aerospace Center\, Germany,Bruno Adriano,Erick Mas,Shunichi Koshimura	2025 IEEE International Geoscience and Remote Sensing Symposium	2025/8/7	口頭発表（一般）
Disaster-Ready Health Systems: Integrating DRR into National Health Policy: Strategies to align with Sendai Framework and WHO H-EDRM Framework	Shinichi Egawa	2nd CRA Disaster and Emergency Management Forum 2025	2025/8/7	シンポジウム・ワークショップ パネル（指名）
TOPOGRAPHY-BASED DEBRIS FLOW DETECTION USING BI-TEMPORAL SAR INTENSITY DIFFERENCES	Naoki Ohira,Bruno Adriano,Hideomi Gokon,Hiroyuki Miura,Erick Mas,Shunichi Koshimura	2025 IEEE International Geoscience and Remote Sensing Symposium	2025/8/7	ポスター発表
基調講演 . 今、あらためて AOM の真価を問うー統合失調症治療におけるリアルニーズー	國井泰人	Otsuka Web Seminar, 仙台	2025/8/7	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
EVALUATION OF SAR-BASED BUILDING DAMAGE RECOGNITION FOR EMERGENCY RESPONSE	Sesa Wiguna,Bruno Adriano,Erick Mas,Shunichi Koshimura	2025 IEEE International Geoscience and Remote Sensing Symposium	2025/8/8	ポスター発表
Towards Building Sustainable and Resilient 6G Systems -Reconfigurable User-centric RAN-	安達文幸	15th EAI International Conference on Wireless and Satellite Systems	2025/8/8	口頭発表（基調）
Tsunami engineering and lessons from the recent earthquake and tsunami disasters	サッパシー　アナワット	Special lecture at Cheng Shiu University of Science and Technology, Taiwan	2025/8/11	
世界の健康を測る – 世界の疾病負荷研究（GBD）から読み解くグローバル・ヘルス	野村周平	WKC サマースクール 2025	2025/8/15	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
Building Green and Resilient RAN for 6G Systems	安達文幸	2025 5th International Conference on Intelligent Communications and Computing (ICICC2025)	2025/8/16	口頭発表（基調）
Changing Faculty and Staff Attitudes through Contact with Hearing-Impaired Colleagues: Focusing on Disaster Response	Miki Ishikawa,RiekoTakahashi,Hiroyuki Sugai	AIWEST‐DR2025	2025/8/21	口頭発表（一般）
Disaster Preparedness of Persons with Disabilities in Banda Aceh: Lessons Learned from the 2004 Tsunami	Hyejeong Park,Sebastien P. Bore	17th AIWEST-DR 2025	2025/8/21	口頭発表（一般）
Evacuation challenges of people with disabilities during disasters in Japan	Sébastien Penmellen Bore,Hyejeong Park	17th AIWEST-DR 2025	2025/8/21	口頭発表（一般）
We Were Here Too! Conveying Diverse Disaster Experiences through Japanese Paper Theater	Julia Gerster,Kaoru Ueda	AIWEST	2025/8/21	
バンダアチェにおける障害者の防災対策：2004 年インド洋津波からの知見	朴 慧晶 , ボレー・ペンメレン・セバスチャン	AIWEST-DR 2025 Conference	2025/8/21	口頭発表（一般）
震災復興に関する講義	佐藤翔輔	八王子学園八王子高等学校・東北大学工学部訪問	2025/8/21	その他
仙台防災リーダー：仙台発、地域密着型のコミュニティ防災	Elizabeth Maly,Takeshi Sato,Aiko Sakurai,Takashi Oda	The 17th AIWEST-DR 2025 Conference	2025/8/21	口頭発表（一般）
日本における災害時の障がい者の避難に関する課題	ボレー・ペンメレン・セバスチャン , 朴 慧晶	AIWEST-DR 2025 Conference	2025/8/21	口頭発表（一般）
Systematization of Loss and Damage Assessment Among Vulnerable Communities	Gusti Ayu Ketut Surtiari,Miko Maekawa,Daisuke Sasaki,Yogi Setya Permana,Syarifah Aini Dalimunthe,Nirma Yossa	The 17th Aceh International Workshop on Sustainable Disaster Recovery (AIWEST-DR 2025)	2025/8/22	口頭発表（一般）
Tsunami Digital Twin : Its Concept, Progress, and Applications	Shunichi Koshimura	AIWEST-DR 2025	2025/8/22	口頭発表（一般）
細胞系譜解析による放射線誘発老化様増殖停止とマイトティックカタストロフィの交点	本宮響太郎 , 和泉哉汰 , 佐藤拓 ,Jiaxin Li, 福本学 , 鈴木正敏 , 千田浩一	第 5 回若手放射線影響研究会	2025/8/22	口頭発表（一般）
職域健診における乳がん検診受診者の意識調査と受診率向上へ向けた取り組み ~Web アンケート調査より ~.	根本まなみ , 稲葉洋平 , 奥平直人 , 千田浩一	第 66 回日本人間ドック・予防医療学術大会	2025/8/22	口頭発表（一般）
福島第一原発事故に被災した野生ニホンザルの外部被ばく評価法の構築と血漿および肝臓の酸化ストレス状 態解析	佐藤拓 ,Jiaxin Li, 石川諒椰 , 和泉哉汰 , 本宮響太郎 , 遠藤暁 , 山下琢磨 , 木野康志 , 福本学 , 鈴木正敏 , 千田浩一	第 5 回若手放射線影響研究会	2025/8/22	口頭発表（一般）
放射線誘発 DNA 二重鎖切断フォーカスの質的解析	和泉哉汰 , 佐藤拓 , 本宮響太郎 ,Jiaxin Li, 山下琢磨 , 木野康志 , 福本学 , 笹谷めぐみ , 鈴木正敏 , 千田浩一	第 5 回若手放射線影響研究会	2025/8/22	口頭発表（一般）
ふつうの虫がふつうにいることは尊い。人と同じく。	内田典子	全国キャラバン3Questions ー東北地区編ー	2025/8/26	シンポジウム・ワークショップ パネル（公募）
特別講演 . 今後の大規模災害に対するメンタルヘルスの備えー災害時要援護者にいかに向き合うかー	國井泰人	第 62 回全国自治体病院協議会 精神科特別部会 総会・研修会 , 郡山	2025/8/27	口頭発表（招待・特別）

タ イ ト ル	講 演 者	会議名（日本語）	発表年月日	会議種別
災害における当事者意識を高める	佐藤翔輔	青森県教育委員会 ; 令和 ; 年度教職員資質向上研修	2025/8/28	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
情報爆発時代における災害との向き合い方	佐藤翔輔	青森県教育委員会・令和 7 年度教職員資質向上研修	2025/8/28	その他
青森県むつ市出戸川沿岸低地における古津波堆積物調査と堆積環境の推定	猪瀬大輝 , 菅原大助 , 石澤尭史 , 増田英敏	日本第四紀学会 2025 年大会	2025/8/29	口頭発表（一般）
統合失調症が解明されるときー様々な統合失調症病態仮説の死後脳での検証と治療展望ー	國井泰人	ほりこし心身クリニック特別講演会 , 福島	2025/8/29	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
粒度組成に着目した貞観津波堆積物形成時の津波外力推定	中野颯太 , 菅原大助	日本第四紀学会 2025 年大会	2025/8/29	口頭発表（一般）
リアルタイム津波浸水被害予測システム ー開発と運用ー	越村 俊一	防災・減災オンラインセミナー 2025	2025/9/1	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
中国における雑穀生産の再興に関する近年の動向	原 裕太	雑穀研究会 2025 年度総会・第 39 回シンポジウム	2025/9/1	口頭発表（一般）
東日本大震災とテレビアーカイブ の課題	柴山明寛	国際シンポジウム「災害を伝える アーカイブと放送局の役割」	2025/9/1	口頭発表（基調）
Global Health Landscape – Leveraging Insights from the Global Burden of Disease Study	野村周平	滋賀医科大学 NCD 疫学研究センター特別セミナー	2025/9/2	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
Urban Resilience Through Green Infrastructure: Post-Disaster Learnings from Japan and Southeast Asia	Osamu Murao	5th International Conference on Green Civil and Environmental Engineering	2025/9/2	口頭発表（基調）
復興まちづくり～東日本大震災からの復興と土地利用～	姥浦道生	国土交通大学校研修『土地利用研修』, 小平	2025/9/3	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
Real-time Impact-based Tsunami Forecast Facility	Shunichi Koshimura	IAGA / IASPEI Joint Scientific Meeting 2025	2025/9/4	口頭発表（一般）
津波による国内の水産被害	サッパシー　アナワット	カムチャッカ地震速報会	2025/9/4	
避難行動の実態	佐藤翔輔 , 成田峻之輔 , 新家杏奈 , 今村文彦	2025 年カムチャツカ半島付近の地震速報会（第 91 回 IRIDeS オープンフォーラム）	2025/9/4	その他
雨が集める流域の生物多様性～昆虫編～	内田典子	第 15 回雨水ネットワーク全国大会 水の環フォーラム in 神戸	2025/9/6	ポスター発表
今、うつ病治療に求められるものーボルチオキセチンのプロバビリティー	國井泰人	第 49 回日本自殺予防学会総会ランチョンセミナー 1, 島根	2025/9/6	口頭発表（招待・特別）
双極症自殺既遂例における炎症関連遺伝子の発現変動と、東北精神疾患ブレインバンク生前登録システムにおける自殺予防の取り組み	旗野将貴 , 長岡敦子 , 細貝優人 , 宍戸理紗 , 日野瑞城 , 濱崎英臣 , 柿田明美 , 富田博秋 , 國井泰人 , 三浦至	第 49 回日本自殺予防学会 . 島根	2025/9/6	ポスター発表
Kataribe's counter memories and witnessing in post-disaster Japan	Julia Gerster	DISSONANT MEMORIES: GEOGRAPHIES OF MIGRATION, COLONIALISM, AND TRAUMA	2025/9/7	
津波災害デジタルツインのいま・みらい	越村 俊一	防災推進国民大会 2025 in 新潟	2025/9/7	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
低濃度トリチウム水の持続暴露と DNA 二重鎖切断誘発の検討	和泉哉汰 , 佐藤拓 , 本宮響太郎 ,Jiaxin Li, 山下琢磨 , 木野康志 , 福本学 , 鈴木正敏 , 千田浩一	第 10 回福島原発事故による周辺生物への影響に関する勉強会	2025/9/7	口頭発表（一般）
TsunamiCast : リアルタイム津波浸水被害予測システムによる新しい津波予報	越村 俊一	防災トランスフォーメーションフォーラム	2025/9/8	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
昨今の状況を踏まえた これからの事業継続	丸谷浩明	ぼうさいこくたい2025 in 新潟	2025/9/9	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
Real-time Impact-based Tsunami Forecast Facility : Contribution to EW4ALL & Tsunami Ready	Shunichi Koshimura	Workshop on Resilient Infrastructure for Effective Early Warning Dissemination	2025/9/10	口頭発表（基調）
基調講演 . 私は以前の自分を取り戻せたのだろうかー就労者うつ病の回復を支援する薬物療法とはー	國井泰人	これからの精神疾患を考える会 , web 配信	2025/9/10	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
災害危険区域指定後の土地利用変化に関する研究 ー札幌市と宮崎市を対象としてー	金山侑真 , 村尾修 , 加藤春奈	2025 年度日本建築学会大会（九州）学術講演会	2025/9/10	口頭発表（一般）
私は以前の自分を取り戻せたのだろうかー就労者うつ病の回復を支援する薬物療法とはー	國井泰人	TRINTELLIX Web Seminar ～就労者うつへのアプローチを考える～ , 秋田	2025/9/10	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
道州制を踏まえた東京ー極集中緩和の可能性評価に関する研究	野地健太郎 , 村尾修	2025 年度日本建築学会大会（九州）学術講演会	2025/9/10	口頭発表（一般）
避難所に関する日本の制度と避難所空間の変遷に関する研究	松﨑圭 , 村尾修 , 金山侑真	2025 年度日本建築学会大会（九州）学術講演会	2025/9/10	口頭発表（一般）
Community Perception of Tsunami Evacuation Shelter Selection: A Statistical and GIS Spatial Analysis in Cilacap, Indonesia	KHOIRIYAH Mufidatun, 村尾修	2025 年度日本建築学会大会（九州）学術講演会	2025/9/11	口頭発表（一般）
Compound Disaster Risk Exposure in Taiwan: Analysis of Interactions Between Topography and Geological Conditions	LIN Chi-Chun, 村尾修	2025 年度日本建築学会大会（九州）学術講演会	2025/9/11	口頭発表（一般）
仙台市街地におけるイベント時の帰宅困難者の影響分析	佐藤奨真 , 柴山明寛	2025 年度日本建築学会大会学術講演会	2025/9/11	口頭発表（一般）
MPM−FEM ハイブリッド法による土堤浸透過程の再現解析	鈴木 祐太 , 菅井 理一 , 飛彈野 壮真 , 野村 怜佳 , 森口 周二 , 小高 猛司 , 寺田 賢二郎	令和7年度土木学会全国大会	2025/9/12	口頭発表（一般）
ミニ講演 4. ブレインバンク死後脳組織の解析による統合失調症の病態理解 Analyses of postmortem brain tissues provided by the Brain Bank to understand the pathophysiology of schizophrenia	久保 健一郎 , 吉永 怜史 , レオン フリオ , 日野 瑞城 , 安藤 吉成 , ムーディ ジョナサン , 長岡 敦子 , 北澤 彩子 , 林 周宏 , 仲嶋 一範 , ホン , ヂョン チョウ , 神山 淳 , 國井 泰人 , シン W ジェイ	第 68 回日本神経化学大会 . 愛知	2025/9/12	シンポジウム・ワークショップ パネル（公募）

タ イ ト ル	講 演 者	会議名（日本語）	発表年月日	会議種別
個別要素法のためのベンチマーク問題の適切な計算条件の探索	吉川 大陽 ,XIAO JUNSE, 野村 怜佳 , 寺田 賢二郎 , 森口 周二	令和7年度土木学会全国大会	2025/9/12	口頭発表（一般）
降水時河川水の環境 DNA による陸生・水生昆虫多様性把握の可能性	内田典子	応用生態工学会 第 28 回全国大会	2025/9/12	ポスター発表
地震力の空間分布を考慮した極限平衡理論に基づく広域を対象とする三次元斜面安定解析	松田 晃汰 , 須郷 大地 , 野村 怜佳 , 寺田 賢二郎 , 大野 晋 , 森口 周二	令和7年度土木学会全国大会	2025/9/12	口頭発表（一般）
量子フーリエ変換を用いた均質化解析	飯塚 聡 , 我妻 航也 , 中村 明莉 , 野村 怜佳 , 森口 周二 , 寺田 賢二郎	令和7年度土木学会全国大会	2025/9/12	口頭発表（一般）
「災害を伝える」を考える	佐藤翔輔	仙台市教育局生涯学習支援センター・令和 7 年度学びのまち・仙台市民カレッジ「防災・減災講座」	2025/9/13	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
語って，語りつづけ，語り継いでいってほしいわけ	佐藤翔輔	石巻市震災遺構門脇小学校・大川小学校 令和 7 年度語り部・伝承者育成講座	2025/9/13	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
自然災害の学校の早期再開に向けた制度的課題：子ども主体の視点から	桜井愛子 , 佐藤 健 , 吉門直子	日本安全教育学会第 26 回岩手大会	2025/9/13	口頭発表（一般）
多様な高度専門職の災害支援チームの創設と次世代の人材育成システム ,	佐藤 健 , 桜井愛子 , 吉門直子 , 木下史子	日本安全教育学会第 26 回岩手大会	2025/9/13	口頭発表（一般）
Cellular effects induced by radiocesium-bearing microparticles (CsMPs)	Masatoshi Suzuki,Satoru Endo,Kazuhiko Ninomiya,Koichi Chida,Manabu Fukumoto	7th Asia-Pacific Symposium on Radiochemistry	2025/9/14	ポスター発表
児童生徒在校時の大雨対応に関する教員研修プログラム開発：2024 年酒田の大雨事例を用いて	村山良之 , 桜井愛子 , 佐藤 健 , 熊谷 誠 , 北浦早苗 , 小田隆史	日本安全教育学第 26 回岩手大会	2025/9/14	口頭発表（一般）
Modeling biokinetics of insoluble cesium-absorbed particles following intratracheal administration in mice	Kentaro Manabe,Yutaka Yamada,Takamitsu Morioka,Kazuhiko Ninomiya,Satoru Endo,Masatoshi Suzuki	7th Asia-Pacific Symposium on Radiochemistry	2025/9/15	ポスター発表
被災企業の実例を踏まえた防災計画 及び事業継続計画（BCP）の必要性	丸谷浩明	耐震住宅 100％実行委員会 社員総会 記念シンポジウム 2025	2025/9/16	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
Alterations in phosphoinositide signaling-associated molecules in bipolar disorder: A Postmortem Brain Study	Mizuki Hino,Risa Shishido,Atsuko Nagaoka,Junya Matsumoto,Hiroyasu Akatsu,Yoshio Hashizume,Hideomi Hamasaki,Akiyoshi Kakita,Yasuto Kunii,Hiroaki Tomita	27th annual conference of the international society for bipolar disorders,Chiba	2025/9/17	ポスター発表
今年度の（も）防災学習について	佐藤翔輔	気仙沼市立鹿折中学校・防災学習 震災伝承学習ガイダンス	2025/9/17	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
Analyzing the Seven Critical Elements of Life Recovery Using News: A Case Study of the 2024 Noto Peninsula Earthquake	Yen-Ching Liu,Shosuke Sato	JSNDS Annual Conference 2025	2025/9/18	口頭発表（一般）
Changes in both of ZDHHC5 mRNA and Protein Expression in Postmortem Brains of Patients with Bipolar Disorder	Yuto Hosogai,Mizuki Hino,Risa Shishido,Atsuko Nagaoka,Masataka Hatano,Hideomi Hamasaki,Akiyoshi Kakita,Hiroaki Tomita,Yasuto Kunii,Itaru Miura	27th annual conference of the international society for bipolar disorders,Chiba	2025/9/18	ポスター発表
Gender Differences in Early Warning Signs of Bipolar Disorder: Insights for Sustained Mood Stability	Kenji Iwabuchi,Sho Horikoshi,Xue Li,Noriko Warita,Chiaki Ono,Kohei Fuji,Atsuko Nagaoka,Mizuki Hino,Go Onoguchi,Hiroshi Komatsu,Natsuko Kobayashi,Saya Kikuchi,Yasuto Kunii,Hiroaki Tomita	27th annual conference of the international society for bipolar disorders,Chiba	2025/9/18	ポスター発表
Minocycline as a Causative Agent of Manic Episode: A Case Report and Brief Postmortem Brain Analysis	Kazusa Miyahara,Atsuko Nagaoka,Hiroko Sato,Mizuki Hino,Hiroaki Tomita,Yasuto Kunii	27th annual conference of the international society for bipolar disorders,Chiba	2025/9/18	ポスター発表
The latest developments in international disaster risk reduction policies, particularly regarding the progress of the Sendai Framework for Disaster Risk Reduction	Yuichi ONO	24 回国際防災協力セミナー	2025/9/18	口頭発表（招待・特別）
イベント等における帰宅困難者数の変動を考慮した避難行動の分析	佐藤奨真 , 柴山明寛 , 佐藤健	第 44 回日本自然災害学会学術講演会	2025/9/18	口頭発表（一般）
グラフ理論に基づく避難コストの定量化による津波避難施設の効果評価	成田峻之輔 , 佐藤翔輔 , 今村文彦	第 44 回日本自然災害学会学術講演会	2025/9/18	口頭発表（一般）
大雨災害における妥当な避難行動のトリガー情報は何か：2021 ～ 2024 年に発生した大雨災害の実態分析から	佐藤翔輔 , 金子哲士 , 今村文彦	第 44 回日本自然災害学会学術講演会	2025/9/18	口頭発表（一般）
被災体験の聞き取りを活用した防災学習の継続的な実践とその効果－鹿折中学校での実践事例－	新家杏奈 , 佐藤翔輔	第 44 回日本自然災害学会学術講演会	2025/9/18	口頭発表（一般）
1967 年羽越水害の伝承手としての「えちごせきかわ大したもん蛇まつり」が 55 年後に起きた実災害における影響：2022 年 8 月豪雨で被災した新潟県関川村を対象にした考察	佐藤翔輔 , 柾谷 (門倉) 七海	第 44 回日本自然災害学会年次学術講演会	2025/9/19	口頭発表（一般）
Development of Machine and Deep Learning-Based Predictive Model for Objective Assessment of Depressive, Euthymic, and Hypomanic States in Bipolar Disorder Using Activity and Sleep Information	Xue Li,Go Onoguchi,Hiroshi Komatsu,Chiaki Ono,Noriko Warita,Zhiqian Yu,Atsuko Nagaoka,Sho Horikoshi,Kenji Iwabuchi,Natsuko Kobayashi,Saya Kikuchi,Yasuto Kunii,Parashkev Nachev,Akinori Ito,Hiroaki Tomita	27th annual conference of the international society for bipolar disorders,Chiba	2025/9/19	ポスター発表
防災コミュニケーションによる行動変容：既往研究レビューと介入手法の探索	福島洋 , 栗山進一 , 佐藤健 , 佐藤翔輔 , ゲルスタユリア , 大類真嗣 , 藤本慎也 , 尾島俊之 , 小杉素子 , 岩本萌 , 遠峰良美	第 44 回日本自然災害学会学術講演会	2025/9/19	口頭発表（一般）
Recycling Nuclear Narratives in Contemporary Japan	Julia Gerster	EAJS	2025/9/21	
現代日本社会における障がいと災害への対応：東北からの視点	ボレー・ペンメレン・セバスチャン , 朴 慧晶	ヨーロッパ日本研究協会	2025/9/21	口頭発表（一般）
Detection of slow slip events directly from continuous seismic waveforms based on random forest model	Kazuki Ohtake,Aitaro Kato,Yutaro Okada,Takuya Nishimura	International Joint Workshop on Slow-to-Fast Earthquakes 2025	2025/9/24	ポスター発表
Next steps of disaster mitigation in Japan based on experience of recent disasters	サッパシー　アナワット	Women`s Leadership in Tsunami Based Disaster Risk Reduction 2025 (UNITAR)	2025/9/24	

タ イ ト ル	講 演 者	会議名（日本語）	発表年月日	会議種別
今、うつ病治療に求められるものーボルチオキセチンのプロバビリティー	國井泰人	会津医学会学術講演会 , 会津若松（web）	2025/9/24	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
Acoustic extensometer reveal the coupling condition of the North Anatolian fault (NAF) in the Sea of Marmara, Turkey	Motoyuki Kido	IES Talk	2025/9/25	口頭発表（一般）
Aseismic slip phenomenon in the southern Ryukyu forearc illuminated by geodetic observations	Chi-Hsien Tang	IES Seminar	2025/9/25	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
Spatiotemporal change in the interplate slip rate around Kodiak Island, Alaska	Yutaro Okada,Takuya Nishimura,Jeffrey T. Freymueller	International Joint Workshop on Slow-to-Fast Earthquakes 2025	2025/9/25	口頭発表（一般）
山奈宗真の明治三陸地震における沿岸調査について	蝦名裕一	第 42 回歴史地震研究会豊岡大会	2025/9/25	口頭発表（一般）
被災者と未災者が共に学ぶデジタル災害空間基盤	佐藤翔輔	東北大学・防災科学技術研究所 連携研究推進ワークショップ	2025/9/26	口頭発表（一般）
聴教員から見た聴覚障害教員との同僚性の促進要因に関する探索的検討	石川美希	日本教育工学会 2025 年秋季全国大会	2025/9/28	ポスター発表
Improving Local Governments' Disaster Preparedness Capabilities	Yuichi ONO	The International Disaster Resilience Leaders Forum Incheon 2025	2025/9/29	口頭発表（招待・特別）
Transformative Resilience: A Case of Voluntary Migration to an Artificial Island in the Maldives	Daisuke Sasaki	The 15th International Conference of the Integrated Disaster Risk Management (IDRiM) Society (IDRiM2025)	2025/9/29	口頭発表（一般）
福島県浪江町請戸における津波および洪水履歴の検討	菅原 大助 , 佐藤 由人 , 石澤 尭史 , 卜部 厚志 , 高清水 康博 , 加藤 学 , 川田 強 , 吉岡 恭平	日本災害防災考古学会	2025/9/29	口頭発表（一般）
災害時の健康を多角的に考える	佐々木宏之	陸上自衛隊東北方面総監部災害対策連絡会 講演	2025/9/30	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
Towards Resilient and Green 6G -Multilayered Communication Network and Reconfigurable User-centric RAN-	安達文幸	The IEEE Humanitarian Technology Conference (HTC 2025)	2025/10/1	口頭発表（招待・特別）
教員サマースクール 2025『みちのくで学ぶ大地の息吹ー 2008 年岩手・宮城内陸地震の痕跡をめぐるー』開催の意義	根本泰雄 , 荒井賢一 , 池田尚一 , 加納靖之 , 桑野 修 , 佐藤明子 , 南島正重 , 山野 誠 , 朱里泰治 , 鈴木比奈子 , 髙橋尚志	日本地震学会 2025 年度秋季大会	2025/10/1	
ON THE INTEGRATION OF QUANTUM NEURAL NETWORKS INTO TOPOLOGY OPTIMIZATION	Naruethep Sukulthanasorn	Applied Quantum Methods in Computational Science and Engineering – AQMCSE 2025	2025/10/1	口頭発表（一般）
超知能 AI が災害対策本部や復興本部において、意思決定の「参謀」として機能する可能性	佐藤翔輔	超知能 AI との共存をめぐる地平（東北大学応用認知神経科学センター（CogNAC）主催）	2025/10/2	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
Development Control/Development Permit System in Peri-City	姥浦道生	2025 年度 JICA 課題別研修「都市計画総合」研修，東京	2025/10/3	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
Linking Recovery with Economic Revitalization and Social Resilience	Kanako Iuchi	From Impact to Recovery, Technical Assistance Financing Facility (TAFF) Workshop (The World Bank and European Commission)	2025/10/3	口頭発表（基調）
東日本大震災からの復興まちづくりの効果と課題	姥浦道生	『日本学術会議「複合災害と人口減少時代の建築・都市・地域分科会（第 7 回）」』, オンライン	2025/10/4	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
ネットワーク型アウトリーチによる連携を通した自治体保健師の経験と変化に関する質的検討	本間 (照井) 稔宏 , 後藤大介 , 日髙友郎 , 佐々木太士 , 川崎由希子 , 上田由桂 , 各務竹康 , 國井泰人 , 三浦至	第 79 回東北精神神経学会 , 仙台	2025/10/5	口頭発表（一般）
軽症頭部外傷後にうつ病を発症し自殺企図に至った高齢女性の一例	土田大喜 , 松木佑 , 長岡敦子 , 國井泰人 , 富田博秋	第 79 回東北精神神経学会 , 仙台	2025/10/5	口頭発表（一般）
身体症状症として精神科を紹介され橋梗塞であった一例	岩渕賢嗣 , 相馬健慈 , 大山実 , 江口実 , 甲斐愛海 , 菊地紗耶 , 國井泰人 , 富田博秋	第 79 回東北精神神経学会 , 仙台	2025/10/5	口頭発表（一般）
定量脳波と臨床指標を融合した多変量モデルによる意識障害患者の高精度予後予測	森湧平 , 菅野和子 , 星野大 , 錫谷研 , 大山亜紗美 , 板垣俊太郎 , 國井泰人 , 三浦至	第 79 回東北精神神経学会 , 仙台	2025/10/5	口頭発表（一般）
Dose estimation of wild animals captured in the contaminated area of Fukushima Prefecture	Toshitaka Oka,Hiroko Ishiniwa,Masatoshi Suzuki,Atsushi Takahashi,Taku Sato,Yusuke Mitsuyasu,Yasushi Kino,Kenichi Okutsu,Tsutomu Sekine,Takuma Yamashita,Yoshinaka Shimizu,Mirei Chiba,Toshihiko Suzuki,Ken Osaka,Keiichi Sasaki,Manabu Fukumoto,Hisashi Shinoda	33rd Miller Conference on Radiation Chemistry	2025/10/6	ポスター発表
危機対応時の組織論（情報システム）	佐藤翔輔	人と防災未来センター・2025 年度秋期 災害対策専門研修・マネジメントコース：エキスパート A	2025/10/7	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
民間初の津波予報で命を守るーリアルタイム津波浸水・被害予測システム	越村 俊一	令和 7 年度防災通信セミナー	2025/10/7	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
IAEA-coordinated research on external dosimetry for terrestrial wildlife	Alexander Ulanowski,James Beasley,K. Beaugelin-Seiller,Shaofei Cao,Sandrine Frelon,Dmytri Holiaka,A. Hooker,Mathew Johansen,V. Kashparov,Maksim Kudzin,O. C. Lind,Yuichi Onda,N. Rathnaweera,Sedigheh Sina,Heny Suseno,Masatoshi Suzuki,Thiwanka,Lakmali Weerakkody	8th International Symposium on the System of Radiological Protection	2025/10/8	口頭発表（一般）
TsunamiCast：リアルタイム津波浸水被害予測システムによる新しい津波予報	越村俊一	震災対策技術展	2025/10/8	口頭発表（基調）

タ　イ　ト　ル	講　演　者	会議名（日本語）	発表年月日	会議種別
災害の情報をうまく使うコツ・ポイント	佐藤翔輔	第 13 回「震災対策技術展」東北－自然災害対策技術展－	2025/10/8	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
様々な自然災害に対する 事業継続計画（BCP）の対応	丸谷浩明	第 13 回「震災対策技術展」東北	2025/10/9	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
GM 管式小型サーベイメータの検出感度差の複数台比較	本宮響太郎 , 佐々木理桜 , 山本啓介 , 阿部喜弘 , 越智隆浩 , 稲葉洋平 , 鈴木正敏 , 千田浩一	第 15 回 東北放射線医療技術学術大会	2025/10/12	口頭発表（一般）
β線計測器の校正用面線源を用いた携帯用小型 GM サーベイメータに関する基本性能に関する検討	佐々木理桜 , 本宮響太郎 , 山本啓介 , 稲葉洋平 , 千田浩一	第 15 回 東北放射線医療技術学術大会	2025/10/12	口頭発表（一般）
パノラマ X 線撮影における診断参考レベル活用に向けた線量－幅積測定法の基礎検討	石井浩生 , 稲葉洋平 , 千田浩一 , 小野寺崇 , 茅野伸吾 , 斎政博	第 15 回 東北放射線医療技術学術大会	2025/10/12	口頭発表（一般）
顔面側面・後頭部での放射能汚染における指定箇所検査用汚染モニタの検出評価	木村朗大 , 小澤歩波 , 仙木志依 , 星幸音 , 吉田葵 , 中村美緒 , 阿部喜弘 , 越智隆浩 , 千田浩一	第 15 回 東北放射線医療技術学術大会	2025/10/12	口頭発表（一般）
球形状小型 Si 半導体素子を用 いた新たなリアルタイム線量測定システムにおける CT 画像への影響と放射線耐性についての基礎検討	藤沢 昌輝 , 松本 卓己 , 進藤 僚太 , 松本 真之介 , 加田 渉 , 千田 浩一 , 稲葉 洋平	第 15 回 東北放射線医療技術学術大会	2025/10/12	口頭発表（一般）
小型線量率サーベイメータのエネルギー推定モードに関する基礎的検討	小澤歩波 , 木村朗大 , 仙木志依 , 星幸音 , 吉田葵 , 佐々木理桜 , 阿部喜弘 , 越智隆浩 , 石井浩生 , 稲葉洋平 , 千田浩一	第 15 回 東北放射線医療技術学術大会	2025/10/12	口頭発表（一般）
新型携帯用γ線スペクトルサーベイメータにおける核種同定機能の評価	仙木志依 , 小澤歩波 , 木村朗大 , 星幸音 , 吉田葵 , 佐々木理桜 , 石井浩生 , 稲葉洋平 , 千田浩一	第 15 回 東北放射線医療技術学術大会	2025/10/12	口頭発表（一般）
DRLs2030 に向けた経カテーテル的大動脈弁留置術の線量管理への提言	加藤聖規 , 芳賀喜裕 , 曽田真宏 , 守屋亮太朗 , 笠原梓司 , 齋藤和久 , 鈴木新一 , 荒井剛 , 稲葉洋平 , 千田浩一	第 53 回日本放射線技術学会秋季学術大会	2025/10/17	口頭発表（一般）
血管内治療 (endovascular therapy) における医師の水晶体線量の評価	今田佳奈英 , 千田浩一 , 芳賀喜裕 , 下橋航大	第 53 回日本放射線技術学会秋季学術大 会	2025/10/17	口頭発表（一般）
" プラスチックシンチレーションサーベイメータ における γ線影響の評価―線源検出器間距離を変えての検討 "	山本啓介 , 進藤僚太 , 稲葉洋平 , 鈴木正敏 , 千葉浩生 , 千田浩一	第 53 回日本放射線技術学会秋季 学術大会	2025/10/18	口頭発表（一般）
ATM 機能抑制と放射線被ばく後の正常細胞の運命	本宮響太郎 , 和泉哉汰 , 佐藤拓 ,Jiaxin Li, 福本学 , 鈴木正敏 , 千田浩一	第 53 回日本放射線技術学会秋季 学術大会	2025/10/18	口頭発表（一般）
Learning about disasters: Earthquake part and tsunami part	サッパシー　アナワット	Frontlines of Crisis: Journalism for Inclusive Disaster Resilience (UNDP)	2025/10/18	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
トリチウムの生物影響	鈴木正敏	第 88 回放射線安全フォーラム	2025/10/18	口頭発表（招待・特別）
指定箇所検査用汚染モニタの頭部および顔面用パネルにおける汚染部位の違いの影響とその改善に向けた検討	吉田葵 , 小澤歩波 , 木村朗大 , 仙木志依 , 星幸音 , 中村美緒 , 阿部喜弘 , 越智隆浩 , 千田浩一	第 53 回日本放射線技術学会秋季 学術大会	2025/10/18	口頭発表（一般）
放射線被ばく後の DNA 二重鎖切断マーカーの性状変化	和泉哉汰 , 佐藤拓 , 本宮響太郎 ,Jiaxin Li, 稲葉洋平 , 福本学 , 鈴木正敏 , 千田浩一	第 53 回日本放射線技術学会秋季学術大会	2025/10/18	口頭発表（一般）
パンケーキ型 GM 計数管における装置間感度特性の比較検討	角田 和也 , 大葉 隆 , 千田 浩一	第 53 回日本放射線技術学会秋季学術大会	2025/10/19	口頭発表（一般）
改良型 X 線防護壁付ドレープによる心臓 IVR 術者の手指被ばく低減に関する基礎的検討	佐々木永仁 , 秋澤彩乃 , 米永裕敬 , 藤沢昌輝 , 芳賀喜裕 , 曽田真宏 , 加藤聖規 , 阿部美津也 , 加賀勇治 , 稲葉洋平 , 千田浩一	第 53 回日本放射線技術学会秋季 学術大会	2025/10/19	口頭発表（一般）
携帯用小型 GM サーベイメータと従来型 GM サーベイメータの応答性比較に関する検討	佐々木理桜 , 本宮響太郎 , 山本啓介 , 稲葉洋平 , 千田浩一	第 53 回日本放射線技術学会秋季 学術大会	2025/10/19	口頭発表（一般）
小型線量率サーベイメータの機器間における個体差（測定感度差）の評価	星 幸音 , 木村 大朗 , 小澤 歩波 , 仙木 志依 , 吉田 葵 , 本宮 響太郎 , 阿部 善弘 , 千田 浩一	第 53 回日本放射線技術学会秋季 学術大会	2025/10/19	口頭発表（一般）
電子式個人積算線量計の角度依存性に対する線量計―線源間距離の影響評価	秋澤彩乃 , 佐々木永仁 , 米永裕敬 , 和泉哉汰 , 岡部優輝 , 稲葉洋平 , 千田浩一	第 53 回日本放射線技術学会秋季学術大会	2025/10/19	口頭発表（一般）
本質から考える．そして，そこにみる皆様へのお願い	佐藤翔輔	石巻市防災士協議会・第 4 回セミナー	2025/10/19	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
Random Forest による南海トラフ沿いの連続地震波形記録に基づくスロースリップイベントの検出	大竹 和機 , 加藤 愛太郎 , 岡田 悠太郎 , 西村 卓也	日本地震学会 2025 年度秋季大会	2025/10/20	ポスター発表
深層学習による InSAR・GNSS データからの断層すべり起因の微小変位場の検出：2019 年 Mw 6.2 日向灘地震への適用	岡田 悠太郎 , 福島 洋	日本地震学会 2025 年度秋季大会	2025/10/20	ポスター発表
断層すべり分布推定における小断層配置の最適化	富田史章	日本地震学会 2025 年度秋季大会	2025/10/20	ポスター発表
2024 年能登半島地震を例とした強震動予測手法における断層パラメターの不確定性および多様性の検討	乗松君衣 , 遠田晋次	日本地震学会 2025 年度秋季大会	2025/10/21	ポスター発表
2025 年トカラ列島群発地震にみられる震源群の移動と余震様減衰	遠田晋次	日本地震学会 2025 年度秋季大会	2025/10/21	口頭発表（一般）
GNSS データを用いた南海トラフ沿いの長期スロースリップイベントの包括的カタログの作成	髙橋 輝起 , 髙木 涼太 , 日野 亮太 , 岡田 悠太郎	日本地震学会 2025 年度秋季大会	2025/10/21	口頭発表（一般）
実災害での対応における効果に着目した被災地外の地への災害伝承に関する一次的分析	佐藤翔輔	震災伝承ネットワーク協議会・震災伝承施設交流会議（青森・岩手ブロック）	2025/10/21	メディア報道等
脆弱性と対応能力、包摂的なコミュニティの強化	泉貴子	HOPE Workshop 2025: APEC Young Professionals in Disaster Risk Management	2025/10/21	口頭発表（招待・特別）
富山湾海底地すべりの津波への影響とカムチャッカ半島地震・津波の速報	サッパシー　アナワット	第 3 回富山水害セミナー 富山県立大学	2025/10/21	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
2025 年カムチャツカ地震：極めて短い繰り返し間隔とその帰結	深畑 幸俊 , 八木 勇治 , 奥脇 亮 , 髙川 智博 , 遠田 晋次	日本地震学会 2025 年度秋季大会	2025/10/22	口頭発表（一般）

タ イ ト ル	講 演 者	会議名（日本語）	発表年月日	会議種別
カムチャッカ海溝沿いの地震間すべり欠損速度の再検討	富田史章	日本地震学会 2025 年度秋季大会	2025/10/22	口頭発表（一般）
統合失調症が併存する ADHD を考えるー脳病態に基づく治療の最適解ー	國井泰人	ADHD Web Seminar, 仙台（全国 web 配信）	2025/10/22	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
Emerging Insights into Post-Disaster Community Relocation: From Theory to Implementation	Kanako Iuchi	65th Annual Association of Collegiate School of Planning (ACSP) Conference	2025/10/23	口頭発表（一般）
特別講演 . 統合失調症薬物療法観をアップデートするー最新病態研究が描く未来像ー	國井泰人	いわき市の統合失調症を考える会 , ハイブリッド開催（いわき）	2025/10/23	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
Age-dependent internal exposure dose and carcinogenic effects of intratracheal instillation of insoluble radioactive particles in lung tumor-highly susceptible A/J mice	Yuataka Yamada,Takamitsu Morioka,Satoru Endo,Kazuhiko Ninomiya,Kentaro Manabe,Masatoshi Suzuki	The 68th Annual Meeting of the Japanese Radiation Research Society / The 6th Asian Congress of Radiation Research	2025/10/24	口頭発表（一般）
A study to improve external dose assessment for Japanese macaques affected by the Fukushima Daiichi nuclear power plant accident	Jiaxin Li\, Taku Sato\, Kanata Izumi\, Kyotaro Motomiya\, Satoru Endo\, Koichi Chida\, Manabu Fukumoto\,Masatoshi Suzuki\, Owada Yuji\, Tatsuo Aono	The 68th Annual Meeting of the Japanese Radiation Research Society and the 6th Asian Congress of Radiation Research	2025/10/25	ポスター発表
Cellular effects induced by insoluble radioactive cesium-bearing microparticles derived from the Fukushima Daiichi nuclear power plant accident	Masatoshi Suzuki,Satoru Endo,Kazuhiko Ninomiya,Kentaro Manabe,Yutaka Yamada,Koichi Chida,Manabu Fukumoto	The 68th Annual Meeting of the Japanese Radiation Research Society / The 6th Asian Congress of Radiation Research	2025/10/25	口頭発表（一般）
Disconnects Between Project Planning and Implementation in Hurricane Sandy Recovery	Kanako Iuchi	65th Annual Association of Collegiate School of Planning (ACSP) Conference	2025/10/25	
Dynamics of co-localized foci of phosphorylated H2AX and 53BP1 induced by ionizing radiation	Kanata Izumi,Taku Sato,Kyotaro Motomiya,Jiaxin Li,Manabu Fukumoto,Megumi Sasatani,Masatoshi Suzuki,Koichi Chida	The 68th Annual Meeting of the Japanese Radiation Research Society / The 6th Asian Congress of Radiation Research（JRRS2025/ ACRR2025）	2025/10/25	ポスター発表
Optimization of the methods for assessing the effects of long-term low dose-rate radiation on animals inhabiting the affected area of nuclear disasters	Taku Sato,Jiaxin Li,Ryoya Ishikawa,Kanata Izumi,Kyotaro Motomiya,Satoru Endo,Takuma Yamashita,Yasushi Kino,Manabu Fukumoto,Masatoshi Suzuki,Koichi Chida	日本放射線影響学会第 68 回大会	2025/10/25	ポスター発表
Optimization of the methods for assessing the effects of long-term low dose-rate radiation on animals inhabiting the affected area of nuclear disasters	Taku Sato,Jiaxin Li,Ryoya Ishikawa,Kanata Izumi,Kyotaro Motomiya,Satoru Endo,Takuma Yamashita,Yasushi Kino,Manabu Fukumoto,Masatoshi Suzuki,Koichi Chida	The 68th Annual Meeting of the Japanese Radiation Research Society / The 6th Asian Congress of Radiation Research	2025/10/25	口頭発表（一般）
The pathway that ionizing radiation induces tetraploid cells in G1 phase.	Kyotaro Motomiya,Kanata Izumi,Taku Sato,Jiaxin Li,Manabu Fukumoto,Masatoshi Suzuki,Koichi Chida	The 68th Annual Meeting of the Japanese Radiation Research Society / The 6th Asian Congress of Radiation Research（JRRS2025/ ACRR2025） 合同大会	2025/10/25	ポスター発表
災害対応の循環体系に基づく 1923 年以降の日本国内における災害研究の変遷	加藤春奈 , 村尾修 , 目黒公郎	第 57 回（2025 年度）地域安全学会研究発表会（秋季）	2025/10/25	口頭発表（一般）
実災害での対応における効果に着目した被災地外の地への災害伝承に関する一次的分析：2011 年東日本大震災から 2024 年能登半島地震への影響の事例	佐藤翔輔 , 星美沙希 , 今村文彦	第 57 回 2025 年度地域安全学会研究発表会（秋季）	2025/10/26	口頭発表（一般）
成人の発達障害の理解と支援：神経発達症を抱えて生きるということ	國井泰人	第 25 回パネルの会 . 福島	2025/10/26	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
From Destruction to Remembrance: The Politics and Practices of Disaster Memory	Julia Gerster	Kobe University	2025/10/27	
水害の記憶をつなぎ水害からいのちをまもる	佐藤翔輔	令和 7 年度河川関係事務研修会（主催：静岡県河川協会）	2025/10/27	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
Integrating AI-driven evacuation guidance with mobile spatial statistics for enhanced disaster risk reduction	Erick Mas	International Workshop on agent-based modelling: Application to hazard mitigation policies and practices	2025/10/28	口頭発表（招待・特別）
気仙沼市と目黒区の 災害関連相互支援の可能性	丸谷浩明	気仙沼市・目黒区 友好都市協定締結 15 周年記念事業	2025/10/28	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
水害からいのちを守る（守った）避難ー 2019 年台風 19 号と 2020 年 7 月豪雨での事例をもとにー	佐藤翔輔	国土交通省国土交通大学校 令和 7 年度 専門課程 水害に対する危機管理能力向上研修 (集合研修)	2025/10/28	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
第 84 回日本公衆衛生学会総会「巨大災害の根本的問題へ公衆衛生の力で挑戦する ～直接死を防ぐ災害一次予防～」住民の行動変容を促進させるための社会的介入の一案	大類真嗣	第 84 回日本公衆衛生学会	2025/10/28	シンポジウム・ワークショップ パネル（公募）
2025 年トカラ列島近海の群発地震に同期した過渡的な地殻変動	岡田悠太郎 , 太田雄策 , 大舘未来 , 伊藤嘉秋 , 大園真子 , 中尾茂	日本測地学会第 144 回講演会	2025/10/29	口頭発表（一般）
GNSS-A 観測で見られる時定数の短い海中音速場変 化と内部重力波	一戸麗希 , 木戸元之	日本測地学会第 144 回講演会	2025/10/29	口頭発表（一般）
海底間音響測距観測で検出された千島海溝根室沖 海溝軸近傍での微小変形	松本祥太郎 , 木戸元之 , 太田雄策 , 日野亮太	日本測地学会第 144 回講演会	2025/10/29	口頭発表（一般）
情報爆発時代における災害との向き合い方	佐藤翔輔	青森県立青森工業高等学校・令和 7 年度防災教育推進事業（生徒会）	2025/10/29	その他

タ イ ト ル	講 演 者	会議名（日本語）	発表年月日	会議種別
深層学習による InSAR・GNSS データからの断層すべり起因の微小変位場の検出：2019 年 Mw 6.2 日向灘地震への適用	岡田悠太郎 , 福島洋	日本測地学会第 144 回講演会	2025/10/29	口頭発表（一般）
震災後の心理的苦痛と災害ストレス症状・被災体験を用いた自殺死亡のスクリーニング	大類真嗣	第 84 回日本公衆衛生学会	2025/10/29	ポスター発表
測地すべりインバージョンにおける小断層分割の最適化	富田史章	第 144 回日本測地学会講演会	2025/10/29	口頭発表（一般）
第 84 回日本公衆衛生学会 シンポジウム「疫学研究から考える災害後の自殺対策」被災者の自殺死亡者のリスクの検討と宮城県沿岸部の自殺死亡率の推移から見たアウトリーチの効果	大類真嗣	第 84 回日本公衆衛生学会	2025/10/29	シンポジウム・ワークショップ パネル（公募）
防災・減災とは？	佐藤翔輔	青森県立青森工業高等学校・令和 7 年度防災教育推進事業（全校）	2025/10/29	その他
Interactions of Aseismic and Seismic Slips of the Philippines Fault on Leyte Island Revealed by InSAR and GNSS Time-Series	Y. Okur,Y. Fukushima,K. Ching,Y. Sharma	日本測地学会第 144 回講演会	2025/10/30	口頭発表（一般）
東日本大震災から学ぶ津波防災と事前復興の重要性	越村 俊一	レジリエント社会構築シンポジウム in 宮崎 2025	2025/10/30	口頭発表（基調）
平均寿命と災害リスク：レジリエント社会構築のための研究最前線	江川新一	第 84 回日本公衆衛生学会総会	2025/10/30	シンポジウム・ワークショップ パネル（指名）
Reconfigurable User-centric RAN for Resilient and Sustainable 6G	安達文幸	International Forum on IoT Technology and Applications 2025	2025/10/31	口頭発表（招待・特別）
海底間音響測距によるマルマラ海下の北アナトリア断層の長期モニタリング	木戸元之 , 高橋成実 , 山本揚二朗 ,Dogan Kalafa,Haluk Ozener, 金田義行	日本測地学会第 144 回講演会	2025/10/31	口頭発表（一般）
津波災害デジタルツインの構築に向けて	越村 俊一	スペーシャリストの会 (空間情報総括監理技術者の会) 講演会	2025/10/31	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
Multihazard Framework Combining Quantitative and Qualitative analyses of Hydrological Disasters due to Heavy Rainfall	Dolojan Nilo,Lemuel Junio,Takayuki Takahashi,Masakazu Hashimoto,Akihiro Shibayama,Reika Nomura,Kenjiro Terada,Shuji Moriguchi	20th APRU Multi-Hazards Symposium and Conference 2025	2025/11/1	
モバイル空間統計を活用した水害時の避難者数推計に関する研究	山下 慎二 , マス エリック , 越村 俊一 , 永田 彰平 , 森田 格	第 34 回地理情報システム学会学術研究発表大会	2025/11/2	口頭発表（一般）
Scalable and Energy-Efficient Distributed Massive Multiuser-MIMO for Enabling 6G Mobile Communications	安達文幸	IEEE IC and mmWave Platforms and Advanced Circuit Technologies for 6G Communications (IEEE IMPACT)	2025/11/3	口頭発表（招待・特別）
Gender Issues and Disaster Recovery and Memory	Julia Gerster		2025/11/4	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
PortVIS: An Interactive Platform for Port-to-Port Trajectory Imputation and Visual Analytics	Zhiwen Zhang,Zipei Fan,Wei Yuan,Shun Iwazaki,Ryosuke Shibasaki	SIGSPATIAL 2025	2025/11/5	
「インクルーシブ的な防災：緊急時における障害と社会的疎外への対応」	ボレー・ペンメレン・セバスチャン	Campus Asia Plus Risk Management Seminar, Kobe University	2025/11/6	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
Disaster Utopias and Hierarchies of Affectedness: Discussions on altruism in post-disaster communities	Julia Gerster	Cultural and Cognitive Perspectives on Disaster Response	2025/11/6	
東日本大震災から得られた教訓をこれからの災害にどう活かすかーエビデンスに基づく災害精神医学のススメー	國井泰人	第 19 回社会精神医学・予防精神医学セミナー , 郡山 , ハイブリッド形式	2025/11/6	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
Tsunami Inundation and Damage Forecast System for Lima, Peru	Shunichi Koshimura	International Congress on Comprehensive Disaster Risk Management and Climate Change	2025/11/7	口頭発表（基調）
「津波高さの直接的な可視化」が津波から避難するための建物選択に及ぼす影響に関する基礎的実験	梶明日香 , 佐藤翔輔 , 新家杏奈 , 今村文彦	日本災害情報学会第 31 回学会大会	2025/11/8	ポスター発表
Altered plasma SOD activity in wild Japanese Macaques affected by the Fukushima Dai-ichi nuclear power plant accident	Jiaxin Li,Taku Sato,Kanata Izumi,Kyotaro Motomiya,Koichi Chida,Manabu Fukumoto,Masatoshi Suzuki,Yuji Owada,Tatsuo Aono	第 10 回 福島原発事故による周辺生物への影響に関する勉強会	2025/11/8	口頭発表（一般）
モバイル空間統計と社会調査を用いた中小規模洪水災害での復興過程の解析 - 2023 年 7 月秋田豪雨の事例 -	浅野仁作 , 佐藤翔輔 , 今村文彦	日本災害情報学会第 31 回学会大会	2025/11/8	口頭発表（一般）
航空機モニタリングデータを用いた福島第一原発事故被災野生ニホンザルの外部被ばく評価と体内酸化状態の解析	佐藤拓 , 遠藤暁 ,Jiaxin Li, 和泉哉汰 , 本宮響太郎 , 山下琢磨 , 木野康志 , 鈴木正敏 , 福本学 , 千田浩一	第 10 回福島原発事故による周辺生物への影響に関する勉強会	2025/11/8	口頭発表（一般）
低濃度トリチウム水の持続暴露と DNA 二重鎖切断誘発の検討	和泉哉汰 , 佐藤拓 , 本宮響太郎 ,Jiaxin Li, 山下琢磨 , 木野康志 , 福本学 , 鈴木正敏 , 千田浩一	第 10 回福島原発事故による周辺生物への影響に関する勉強会	2025/11/8	口頭発表（一般）
不溶性セシウム粒子による遺伝子発現への影響	鈴木正敏 , 遠藤暁 , 二宮和彦 , 千田浩一 , 福本学	第 10 回福島原発事故による周辺生物への影響に関する勉強会	2025/11/8	口頭発表（一般）
防災コミュニケーション学の取組み	小杉 素子 , 福島 洋 , 栗山 進一 , 佐藤 健 , 佐藤 翔輔 , ゲルスタ ユリア , 大類 真嗣 , 北村 美和子 , 藤本 慎也 , 尾島 俊之 , 岩本 萌 , 遠峰 良美	第 38 回日本リスク学会年次大会	2025/11/8	口頭発表（一般）
歴史災害研究と資料保全活動における地理空間情報の活用	蝦名裕一	第 27 回災害文化と地域社会史研究会―地域史研究の新たな方法―	2025/11/8	口頭発表（招待・特別）
「津波高さの直接的な可視化」が津波から避難するための建物選択に及ぼす影響に関する基礎的実験	梶明日香 , 佐藤翔輔 , 新家杏奈 , 今村文彦	日本災害情報学会第 31 回学会大会	2025/11/8	口頭発表（一般）

タ イ ト ル	講 演 者	会議名（日本語）	発表年月日	会議種別
「合成の誤謬」が引き起こす調査公害のリスクと軽減策の検討	原 裕太	日本リスク学会第 38 回年次大会 企画セッション「調査公害について考える2」	2025/11/9	口頭発表（招待・特別）
4K ライブカメラ映像への物体検出アルゴリズム適用による津波発生時における海水浴客数自動推計手法の検証	成田峻之輔 , 和泉慶乃佑 , 佐藤翔輔 , 今村文彦	日本災害情報学会第 31 回学会大会	2025/11/9	口頭発表（一般）
ヤフー防災模試「阪神・淡路大震災 30 年特別編」の都道府県比較 - 兵庫県を中心とした分析 -	安田健志 , 竹口麻衣子 , 佐藤翔輔	日本災害情報学会第 31 回学会大会	2025/11/9	口頭発表（一般）
災害時の医療機能維持― BCP は機能維持のたたき台―	佐々木宏之	令和7年度福島県医師会 医療安全推進研修会 講演	2025/11/9	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
被災体験を伝える方法として VR は語りを超えることができるか（第 1 報）	佐藤翔輔 , 新家杏奈 , 千葉智史 , 成田峻之輔 , 三上雄大 , 梶明日香 , 岡元徹 , 今村文彦	日本災害情報学会第 31 回学会大会	2025/11/9	口頭発表（一般）
災害医療における国際協力	江川新一	コンダクタ型災害保健医療人材育成事業	2025/11/11	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
これからの津波災害及び防災対策技術：日本から世界へ	サッパシー　アナワット	令和7年度講演会「災害に向き合う」一般社団法人 建設コンサルタンツ協会 東北支部	2025/11/12	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
なぜ、手紙はアメリカに届けられたのか？―関東大震災と日米関係―	川内淳史	仙台明治青年大学	2025/11/12	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
新たな線量制御機構を備えた脳血管撮影装置の画質評価	蜂谷 幸大 , 安孫子大暉 , 松田善和 , 千田浩一	日本脳神経血管内治療学会学術集会	2025/11/12	ポスター発表
TsunamiCast : Real-time Impact-based Tsunami Forecast Facility	Shunichi Koshimura	International Tsunami Symposium 2025	2025/11/13	口頭発表（基調）
画像所見とクロザピン導入症例から考える多発性硬化症における治療抵抗性精神病症状	菊池 結花 , 三浦 翔 , 長岡 敦子 , 國井 泰人	BPCNPNP2025 合同年会 . 京都	2025/11/13	ポスター発表
活動および睡眠情報を活用した双極性障害におけるうつ状態・正常状態・躁状態の客観的評価のための機械学習・深層学習を用いた予測モデルの開発	李 雪 , 小野口 豪 , 小松 浩 , 小野 千晶 , 割田紀子 , 兪 志前 , 長岡 敦子 , 堀越 翔 , 岩渕 賢嗣 , 冨士 耕平 , 日野 瑞城 , 高橋 雄太 , 大瀬戸 恒志 , 小林 奈津子 , 菊地 紗耶 , 國井 泰人 , 小原 拓 , 栗山 進一 , 本間 経康 ,Nachev Parashkev, 伊藤 彰則 , 富田 博秋	BPCNPNP2025 合同年会 . 京都	2025/11/13	ポスター発表
高ストレス応答性 / 低ゲノムリスク性統合失調症脳病態における p53 の関与	宍戸 理紗 , 日野 瑞城 , 旗野 将貴 , 細貝 優人 , 長岡 敦子 , 濱崎 英臣 , 柿田 明美 , 富田 博秋 , 三浦 至 , 國井 泰人	PCNPNP2025 合同年会 . 京都	2025/11/13	ポスター発表
事例からよみとく「流域治水を自分事化する」コツ・ポイント	佐藤翔輔	令和 7 年度 流域治水セミナー（東北地方整備局）	2025/11/13	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
周産期うつ病が幼児の自閉スペクトラム症関連特性リスクに及ぼす性差	兪 志前 , 段 昌嶸 , 李 雪 , 坂井 舞 , 古屋敷 智之 , 日野 瑞城 , 國井 泰人 , 富田 博秋	BPCNPNP2025 合同年会 . 京都	2025/11/13	ポスター発表
双極症死後脳におけるアミノ酸及びその関連代謝産物の包括的解析	長岡 敦子 , 日野 瑞城 , 鹿野 晃矛 , 旗野 将貴 , 細貝 優人 , 宍戸 理紗 , 國井 泰人 , 富田 博秋	BPCNPNP2025 合同年会 . 京都	2025/11/13	ポスター発表
統合失調症・双極症におけるミトコンドリア機能障害の差異：mtPRS による評価と死後脳の多層的解析	松本 明莉 , 日野 瑞城 , 旗野 将貴 , 細貝 優人 , 宍戸 理紗 , 長岡 敦子 , 濱崎 英臣 , 柿田 明美 , 富田 博秋 , 國井 泰人	BPCNPNP2025 合同年会 . 京都	2025/11/13	ポスター発表
統合失調症患者死後脳試料におけるエピジェネティック年齢の測定	藤井 綾香 , 仲地 ゆたか , 文東 美紀 , 日野 瑞城 , 長岡 敦子 , 宍戸 理紗 , 旗野 将貴 , 細貝 優人 , 清田 恵美 , 今村 悠子 , 濱崎 英臣 , 柿田 明美 , 國井 泰人 , 岩本 和也	BPCNPNP2025 合同年会 . 京都	2025/11/13	ポスター発表
統合失調症死後脳における網膜関連遺伝子発現変化と治療反応性の関連	高尾 サラ , 日野 瑞城 , 旗野 将貴 , 細貝 優人 , 宍戸 理紗 , 長岡 敦子 , 濱崎 英臣 , 柿田 明美 , 小松 浩 , 富田 博秋 , 國井 泰人	BPCNPNP2025 合同年会 . 京都	2025/11/13	ポスター発表
Depicting marginalized voices in disaster preparedness	Julia Gerster	Visuals, Digital research, and Life Narratives in Urban and Rural Japan	2025/11/14	
シンポジウム 14 Can the pan-omics framework illuminate the grand challenge of studying neuropsychiatric illnesses?/ Stratifying the Pathophysiology of Schizophrenia through Postmortem Brain Omics Analysis	國井泰人	BPCNPNP2025 合同年会 , 京都	2025/11/14	シンポジウム・ワークショップ パネル（公募）
シンポジウム 15 統合失調症死後脳から病因・病態を抽出する / 統合失調症死後脳におけるタンパク質翻訳後修飾解析の現在	日野 瑞城 , 宍戸 理紗 , 細貝 優人 , 旗野 将貴 , 長岡 敦子 , 濱崎 英臣 , 柿田 明美 , 富田 博秋 , 國井 泰人	BPCNPNP2025 合同年会 , 京都	2025/11/14	シンポジウム・ワークショップ パネル（公募）
実災害での対応における効果に着目した被災地外の地への災害伝承に関する一次的分析	佐藤翔輔	震災伝承ネットワーク協議会・震災伝承施設交流会議（福島ブロック）	2025/11/14	その他
神経発達症の遺伝的リスクに基づく、死後脳遺伝子発現量と統合失調症臨床表現型の統合的解析	宮原 一総 , 日野 瑞城 , 宍戸 理紗 , 長岡 敦子 , 濱崎 英臣 , 柿田 明美 , 富田 博秋 , 國井 泰人	BPCNPNP2025 合同年会 . 京都	2025/11/14	ポスター発表
難治性強迫性障害の病態に局在不明焦点てんかんの関与が示唆された一例	佐藤 亜希子 , 千代田 高明 , 小林 有里 , 佐藤 彩 , 和田 知紘 , 伊瀬 陽子 , 松本貴智 , 國井 泰人 , 増子博文 , 板垣俊太郎	第 66 回日本児童青年精神医学会総会 . 福井	2025/11/14	口頭発表（一般）
Natech 災害と保健	朴慧晶	コンダクター型災害保険医療人材の養成プログラム	2025/11/15	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
横ずれ断層の平均変位速度と流域モビリティ指標 PRR の関係性	山根悠輝 , 遠田晋次	日本活断層学会 2025 年秋季学術大会	2025/11/15	口頭発表（一般）
脳血管内治療における診療放射線技師の役割と工夫：脳血管内治療における皮膚線量分布の解析	川内 覚 , 千田 浩一 , 濱田 祐介 , 依田 彰吾 , 佐藤 裕太 , 鶴田 和太郎 , 石神 大一郎 , 宮本智志 , 大友 優太	第 42 回 日本脳神経血管内治療学会	2025/11/15	口頭発表（一般）
水害常習地におけるバイアウト・取得と高床化プログラムの活用実態とリスク低減効果 ―米国ニューヨーク市スタテン島を対象に―	井内加奈子 , 大津山堅介 , 井上亮 , 許芮溧	日本都市計画学会 2025 年度全国大会	2025/11/16	
地理学者が提起する被災地での社会調査が抱える倫理的課題と改善策―学際連携を通じた現代科学への新たな問い―	原 裕太	2025 年人文地理学会大会	2025/11/16	口頭発表（一般）

タ イ ト ル	講 演 者	会議名（日本語）	発表年月日	会議種別
How Reliable Are Early Warning Signs? Phase-Specific Sensitivity and Specificity in Bipolar Disorder	Kenji Iwabuchi,Sho Horikoshi,Xue Li,Noriko Warita,Chiaki Ono,Yusuke Utsumi,Minoru Eguchi,Manami Kai,Kohei Fuji,Atsuko Nagaoka,Mizuki Hino,Goh Onoguchi,Hiroshi Komatsu,Natsuko Kobayashi,Saya Kikuchi,Yasuto Kunii,Hiroaki Tomita	Neuroscience 2025, SanDiego, CA, USA	2025/11/18	ポスター発表
Risk Informed Governance in Managing Disaster Risks	Shinichi Egawa	Webinar series on Risk-informed governance: a critical approach to manage disaster risks in countries	2025/11/18	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
広域連携による持続可能な都市圏計画	姥浦道生	『第 1 回まちづくり新時代ミーティング』，青森	2025/11/18	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
災害時の医療機能維持－ BCP は機能維持のたたき台－	佐々木宏之	事業継続推進機構 2025 年度第 2 回上級・主任・准主任管理士継続教育 講演	2025/11/18	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
実災害での対応における効果に着目した被災地外の地への災害伝承に関する一次的分析	佐藤翔輔	震災伝承ネットワーク協議会・震災伝承施設交流会議（宮城ブロック）	2025/11/18	その他
南海トラフ地震の半割れ 臨時情報への対応の展開	丸谷浩明	NPO 法人 事業継続推進機構 第 2 回上級・主任・准主任管理者継続教育	2025/11/18	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
Education for Disaster Health Management in Japan	Shinichi Egawa	The 3rd ASEAN Academic Conference for Disaster Health Management	2025/11/19	シンポジウム・ワークショップ パネル（指名）
Disaster Preparedness and Emergency Response	Kanako Iuchi	World Health City Forum 2023	2025/11/20	口頭発表（招待・特別）
Use of Agent-Based Models to Improve Tsunami Evacuation Analysis	Erick Mas	Civil Engineering Week - Peruvian Association of Engineers (CIP CD Ancash Chimbote)	2025/11/20	口頭発表（基調）
特別講演 .SDA の進化系ラツーダのポテンシャルーなぜ統合失調症臨床で過小評価されるのかー	國井泰人	ラツーダ 5 周年記念講演会～統合失調症治療を再考する～ ,Web 配信	2025/11/20	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
The Evolution of Evacuation Shelter Management in Japan	Osamu Murao,Kei Matsuzaki	4th International Symposium On One Health, One World（OHOW2025）	2025/11/21	口頭発表（一般）
経時的な発熱と精神症状の精査から、難治性うつ病の背景に家族性地中海熱（Familial Mediterranean Fever: FMF）を見出した一例	岩渕 賢嗣 , 豊田 直人 , 日野 瑞城 , 江口 実 , 甲斐 愛海 , 加賀谷 隼輔 , 菊地 紗耶 , 國井 泰人 , 富田 博秋	第 38 回日本総合病院精神医学会	2025/11/21	ポスター発表
The 1960 Nabukelevu tsunami: Initial results of perception and geological surveys in Kadavu Island, Fiji	Mule\, S.,Funilagi\, F.,Goto\, K.,Ikenaga\, Y.,Iuchi\, K.,Jibiki\, Y.,Kasai\, K.,Kijima\, Y.,Luvunakoro\, M.,Nishizawa\, T.,Rayawa\, K.,Singh\, V.,Ichihara\, M.	Science, Technology and Resources (STAR) Conference	2025/11/24	口頭発表（一般）
APRU マルチハザードプログラム：その活動と影響	泉貴子	APRU Multi-Hazards Symposium: Multi-Hazards Entanglements of Society, Environment, and Technology in Space, Time and Place	2025/11/26	シンポジウム・ワークショップ パネル（指名）
うつ病が併存する ADHD をどう診るかー治療抵抗性・自殺リスクから労働生産性までー	國井泰人	Psychiatric Web Seminar －就労者うつ病における労働生産性について考えるー , 仙台（全国 web 配信）	2025/11/26	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
企業・自治体・市民がつなぐ行動変容の共創	佐藤翔輔	Xross Innovation BOSAI 交流イベント（仙台市）	2025/11/26	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
聴覚障害のバリアをこえて、つながろう － Let’s enjoy communication!	石川 美希	東北大学 DEI 推進センター DEI Lounge EVENT	2025/11/26	その他
Resilient Communities for All and by All: Inclusive DRR (i-DRR) Addressing Vulnerabilities, Valuing Capacities	ボレー・ペンメレン・セバスチャン , ゲルスター・ユリア	Association of Pacific Rim Universities (APRU)	2025/11/27	
Decadal Creep Variations, Shallow Slip Deficits and Earthquake Hazard on Leyte’s Philippine Fault from InSAR–GNSS (2006–2023)	Y. Okur,Y. Fukushima,K. Ching,Y. Sharma	The 20th APRU Multi-Hazards Symposium and Conference	2025/11/27	ポスター発表
Multihazard Framework Combining Quantitative and Qualitative Analyses of Hydrological Disasters Due to Heavy Rainfall	Nilo Lemuel Dolojan,Takayuki Takahashi,Masakazu Hashimoto,Akihiro Shibayama,Reika Nomura,Kenjiro Terada,Shuji Moriguchi	Multihazards Symposium and Conference 2025 (APRU-MH20)	2025/11/27	口頭発表（一般）
Toward Inclusive DRR in Banda Aceh: A Pilot Study at a Special Support School for Children with Disabilities	ボレー・セバスチャン , 朴慧晶	20th APRU Multi-Hazards Symposium and Conference 2025	2025/11/27	ポスター発表
原点・ドイツ B-Plan から見た日本の地区計画の課題	姥浦道生	全国地区計画推進協議会, 仙台	2025/11/27	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
生きる力を育む防災教育	佐藤翔輔	令和 ; 年度 始良 ; 伊佐地区養護教諭研修会	2025/11/27	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
東北地方太平洋沖地震津波を対象とした仙台海岸での植生生存・回復過程の検討	向田祐翔 , 内田典子 ,Constance Ting Chua,Anawat Suppasri, 菅原大助 , 今村文彦	第 72 回海岸工学講演会	2025/11/27	口頭発表（一般）
能登半島地震での沿岸部居住者による津波からの避難行動：石川県・富山県・新潟県における発災時点の位置情報に着目した事例調査	佐藤翔輔 , 星美沙希 , 今村文彦	第 72 回海岸工学講演会	2025/11/27	口頭発表（一般）
Time-Series Estimation of Fault Slip from GNSS Data using Deep Learning: Application to the Nankai Subduction Zone	Yo Fukushima,Ryo Nakagawa,Masayuki Kano,Keisuke Yano,Yusuke Takana,Yutaro Okada,Kazuro Hirahara	The 20th APRU Multi-Hazards Symposium and Conference	2025/11/28	口頭発表（一般）
今、うつ病治療に求められるものーボルチオキセチンのプロバビリティー	國井泰人	第 77 回九州精神神経学会／第 70 回九州精神医療学会ランチョンセミナー 6, 佐賀	2025/11/28	

タ イ ト ル	講 演 者	会議名（日本語）	発表年月日	会議種別
歯のエナメル質を用いた ESR 線量測定法の低線量領域での実用に向けた線量応答曲線の個体間比較	林哲平 , 山下琢磨 , 光安優典 , 小野健太 , 岩見聡音 , 岡壽崇 , 高橋温 , 木野康志 , 関根勉 , 清水良央 , 千葉美麗 , 鈴木敏彦 , 小坂健 , 佐々木啓一 , 佐藤拓 , 鈴木正敏 , 福本学 , 篠田壽	ESR 応用計測研究会 ルミネッセンス年代測定研究会 フィッション・トラック研究会 2025 年度合同研究会	2025/11/28	口頭発表（一般）
福島第一原発事故被災動物研究と放射線安全管理研究の接点	鈴木正敏	第 3 回短寿命 RI 利用研究シンポジウム	2025/11/28	口頭発表（招待・特別）
Transcatheter aortic valve implantation : radiation dose received by patients and physicians	Sota Masahiro,Chida K.,Haga Y.,Kato T.,Kasahara S.,Arai T.,Ono S.,Tada N.	RSNA 2025	2025/11/30	ポスター発表
みんなで考える地域防災	佐藤翔輔	防災講演会（小野地域自主防災組織連絡協議会）	2025/11/30	
Expert Perspective: Closing Gaps and Creating Opportunities Together: Developing the TyphoonCommittee's Future Strategy	XIANG Chunyi,ADRIANO Bruno,VESCOVO Ruben,YAMAGUCHI Munehiko	ESCAP/WMO Typhoon Committee	2025/12/2	口頭発表（招待・特別）
Numerical simulation of debris flows employing a 2D shallow water SPH method	Nilo Lemuel Dolojan,Reika Nomura,Kenjiro Terada,Shuji Moriguchi	Geological Society of the Philippines Convention 2025 (GEOCON 2025)	2025/12/3	口頭発表（一般）
次世代のための災害復興研究	Elizabeth Maly	2025 National DABEST Students Research and Development Congress	2025/12/4	口頭発表（基調）
School memorials as sites of memory and the dynamics of remembrance after the Great East Japan Earthquake	Julia Gerster,Akihiro Shibayama	Contested Heritage as Shared Responsibility	2025/12/5	口頭発表（一般）
学校関係者が知るべき災害医療の基礎知識 ーある日突然、先生も避難所運営の当事者になりますー	佐々木宏之	岐阜県学校保健会、岐阜県教育委員会「子供たちの健康を守る講演会」講演	2025/12/5	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
母子保健への投資の意義と投資効果	野村周平	公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン主催「UHC ハイレベルフォーラム院内集会－母子の命と健康を守る未来への投資」	2025/12/5	シンポジウム・ワークショップ パネル（指名）
自主防災組織等の優良活動事例	佐藤翔輔	令和 7 年度宮城県防災指導員意見交換会（美里町）	2025/12/6	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
School memorials as sites of memory and the dynamics of remembrance after the Great East Japan Earthquake	Julia Gerster,Akihiro Shibayama	FU Berlin	2025/12/8	
BCPのマルチハザードへの展開の具体策の例示	丸谷浩明	NPO 法人 事業継続推進機構 第 3 回上級・主任・准主任管理者継続教育	2025/12/9	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
Disaster Public Health in Megacities	江川新一	日本学術会議主催学術フォーラム	2025/12/9	シンポジウム・ワークショップ パネル（指名）
Reducing the Indirect Disaster-Related Deaths: Evacuation Plans and Scientific Evidence	江川新一	日本学術会議主催学術フォーラム	2025/12/9	シンポジウム・ワークショップ パネル（指名）
災害伝承に関する災害科学研究例	佐藤翔輔	宮城県多賀城高等学校令和 7 年度 SS 先端研究講話（災害科学科）	2025/12/9	その他
社会の対応状況	佐藤翔輔	令和 7 年 12 月 8 日青森県東方沖の地震・津波に関する速報会	2025/12/9	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
津波災害デジタルツインの開発と展望	越村 俊一	GITA-JAPAN コンファレンス	2025/12/9	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
「災害伝承」に関する研究活動の紹介	佐藤翔輔	地域産学官と技術士との合同セミナー IN SHIZUOKA 2025（公益社団法人日本技術士会）	2025/12/10	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
Gedenken an Natur(?)katastrophen: Zur sozialen Konstruktion von Katastrophengedächtnissen	Julia Gerster	TU Dortmund	2025/12/10	口頭発表（基調）
事業継続（BC）に取り組むうえでの課題と これからの事業継続（BC）の取り組み	丸谷浩明	NPO 法人 事業継続推進機構 事業継続（BC）普及セミナー in 大阪	2025/12/10	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
北海道・東北の河川における重金属影響：水生昆虫と環境 DNA による統合評価	内田典子 , 岩崎雄一 , 倉西良一 , 今藤夏子	第 8 回環境 DNA 学会	2025/12/11	ポスター発表
力学に基づくシミュレーションによる広域を対象とした災害リスク評価	森口周二	SSL アンカー工法・Q&S フレーム工法技術講習会	2025/12/11	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
Tsunami Digital Twin : Its Concept, Progress, and Applications to Japan and the US	Shunichi Koshimura	ACMT Symposium on Machine Learning and Digital Twin Technologies Against Natural Disasters	2025/12/12	口頭発表（一般）
街並メッセージ論から見たイメージの異なる店舗が商店街全体の印象評価に及ぼす影響	樑田 悠太 , 平野 勝也	第 21 回 土木学会景観・デザイン研究発表会	2025/12/13	
原子力発電所の被災地を掘り起こす：福島に根ざした場所づくり	Elizabeth Maly,Tomoko Matsushita,Tamiyo Kondo	Design with Precarity: The 13th Conference of the Pacific Rim Community Design Network	2025/12/13	口頭発表（一般）
講義 . 災害後の避難所支援の実際－令和 6 年能登半島地震における DPAT 支援－	國井泰人	2025 年度東北 DMAS 第 3 回研修会 , 仙台	2025/12/13	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
地方主要駅と街の中心との関係性 －盛岡駅と福島駅を試行対象として－	三谷勇太 , 平野勝也	第 21 回 土木学会景観・デザイン研究発表会	2025/12/13	
河川における流水形態の印象と滞在分析	伊丹 裕亮 , 平野 勝也	第 21 回 土木学会景観・デザイン研究発表会	2025/12/14	口頭発表（一般）
滞留空間における人間行動の統辞論的分析	成田 啓悟 , 平野 勝也	第 21 回 土木学会景観・デザイン研究発表会	2025/12/14	
地形との関係性から見た高速道路の線形設計変遷史	小田切 音桜 , 平野 勝也	第 21 回 土木学会景観・デザイン研究発表会	2025/12/14	

タ イ ト ル	講 演 者	会議名（日本語）	発表年月日	会議種別
矛盾させた情報から見る津波災害遺構のメッセージ性	野口 理生 , 平野 勝也	第 21 回 土木学会景観・デザイン研究発表会	2025/12/14	
Digital Twin for tsunami disaster resilience, incorporating data Assimilation of ocean bottom pressure data-preparing for great Nankai earthquakes	Yuichiro Tanioka,Rinda Ratnasari,Takayuki Suzuki,Shunichi Koshimura,Akihiro Musa,Naoya Morimatsu,Yoshihiro Sato,Junko Yoshino	AGU2025 (American Geophysical Union Fall Meeting 2025)	2025/12/15	ポスター発表
Monitoring the North Anatolian Fault beneath the Sea of Marmara at the west of Central High using acoustic extensometers	Motoyuki Kido,Narumi Takahashi,Yojiro Yamamoto,Dogan Kalafa,Haluk Ozener,Yoshiyuki Kaneda	American Geophysical Union Fall Meeting 2025	2025/12/15	口頭発表（招待・特別）
Postseismic Deformation Following the 2011 Mw=9 Tohoku Earthquake Over 13 Years: Observations and Modelling	Tianhaozhe Sun,Fumiaki Tomita,Jiangheng He,Takeshi Iinuma,Motoyuki Kido,Yusaku Ohta,Ryota Hino,Kelin Wang	American Geophysical Union Fall Meeting 2025	2025/12/15	口頭発表（一般）
Toward a comprehensive catalog of long-term slow slip events along the Nankai Trough using GNSS data	Teruki Takahashi,Ryota Takagi,Ryota Hino,Yutaro Okada	AGU 2025 Annual Meeting	2025/12/15	ポスター発表
Tsunami Digital Twin: Progress and Applications to Japan and the US	Shunichi Koshimura,Yuichiro Tanioka,Diego Melgar,Brendan Crowell,Ronald T Eguchi,Yusaku Ohta,Erick Mas,Bruno Adriano,Akihiro Musa,Yoshihiko Sato,Junko Yoshino,Naoya Morimatsu,Takayuki Suzuki,Hiroyuki Takizawa,Hiroaki Kobayashi	AGU2025 (American Geophysical Union Fall Meeting 2025)	2025/12/15	ポスター発表
What is the origin of the slight shortening across the Kuril trench off Nemuro observed by Acoustic Distance Meter	Shotaro Matsumoto,Motoyuki Kido,Yusaku Ohta,Ryota Hino	American Geophysical Union Fall Meeting 2025	2025/12/15	ポスター発表
Why Are the Ruptures Zones of Large Transform Earthquakes Longterm Seismicity Holes?	Shinji Toda	AGU fall meeting 2025	2025/12/15	口頭発表（一般）
From Awareness to Action: Applying Health Communication to Disaster Preparedness and Mitigation	Yo Fukushima,Shinichi Kuriyama,Takeshi Sato,Shosuke Sato,Julia Gerster,Masatsugu Orui,Shinya Fujimoto,Toshiyuki Ojima,Motoko Kosugi,Megumu Iwamoto,Yoshimi Tomine	アメリカ地球物理学会 2025 年年次大会	2025/12/16	ポスター発表
From Awareness to Action: Applying Health Communication to Disaster Preparedness and Mitigation	Yo Fukushima,Shinichi Kuriyama,Takeshi Sato,Shosuke Sato,Julia Gerster,Masatsugu Orui,Shinya Fujimoto,Toshiyuki Ojima,Motoko Kosugi,Megumu Iwamoto,Yoshimi Tomine	AGU25 Annual Meeting	2025/12/16	ポスター発表
Introducing Coulomb 4.0: Enhanced graphic-rich stress interaction and deformation software for research and teaching of earthquakes and volcanoes	Kaede Yoshizawa,Shinji Toda,Ross S Stein,Volkan Sevilgen,Jian Lin,Konstantinos Leptokaropoulos	AGU fall meeting 2025	2025/12/16	ポスター発表
Quantifying Human Mobility Changes During and After the 2024 Noto Peninsula Earthquake and Tsunami Using Mobile Phone Network Data in Japan	Shohei Nagata,Erick Mas,Wei Yuan,Shunichi Koshimura,Cynthia Chen,Lyra Chen	AGU25	2025/12/16	口頭発表（一般）
Unraveling the Complex Rupture Processes of the 2024 Noto Peninsula Earthquake through 3D Wavefield Simulations and MCMC Inversion	Rintaro Enomoto,Yoshihiro Kaneko,Chi-Hsien Tang,Yo Fukushima,Hiroyuki Goto,Shin'ichi Miyazaki	AGU Fall Meeting	2025/12/16	ポスター発表
電子式個人積算線量計における電磁波影響の評価	秋澤彩乃 , 佐々木永仁 , 米永裕敬 , 和泉哉汰 , 稲葉洋平 , 千田浩一	第 24 回日本放射線安全管理学会学術大会	2025/12/16	口頭発表（一般）
X 線透視下での気管支鏡検査 における医師の水晶体被ばくの評価	高平咲希 , 芳賀喜裕 , 曽田真宏 , 阿部美津也 , 加賀勇治 , 木村雄一郎 , 稲葉洋平 , 千田浩一	第 24 回日本放射線安全管理学会学術大会	2025/12/17	口頭発表（一般）
Interactions of Aseismic and Seismic Slips of the Philippines Fault on Leyte Island Revealed by InSAR and GNSS Time-Series	Yagizalp Okur,Yo Fukushima,Kuo-En Ching,Yogendra Sharma	アメリカ地球物理学会 2025 年年次大会	2025/12/18	ポスター発表
Joint inversion of the tsunami, GNSS, and SAR datasets for finite fault modeling: optimizing data weights using Akaike's Bayesian Information Criterion (ABIC)	Ayumu Mizutani,Bruno Adriano,Erick Mas,Yusaku Ohta,Shunichi Koshimura	AGU2025 (American Geophysical Union Fall Meeting 2025)	2025/12/18	口頭発表（一般）
Teaching the "never again": Gender representations at peace and disaster memorial museums in Japan.	Julia Gerster	Towards Inclusive Crisisonomy: Aging, Disability, and Adaptive Systems in Asia	2025/12/20	口頭発表（一般）
官民連携による復興まちづくり事業	姥浦道生	復興庁・新しい東北 東北 3 県･石川県合同セミナー『震災の教訓を共有し、復興の知恵を次世代へ』, 金沢	2025/12/20	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
「インクルーシブ的な危機学」に向けて：アジアにおける高齢化、障がい、および適応システム 忠北国立大学（CBNU）	ボレー・ペンメレン・セバスチャン , 朴 慧晶	2025 Asian Conference on Crisonomie	2025/12/21	口頭発表（一般）
がんばる避難施設の潜在能力について	酒井悠里 , 佐藤 健	R7 年度東北地域災害科学研究集会	2025/12/22	口頭発表（一般）
遠地津波発生時の仙台港周辺における避難者動態	芳賀駿輔 , 佐藤 健	R7 年度東北地域災害科学研究集会	2025/12/22	口頭発表（一般）
若年被災者の声を活用した震災伝承活動	齋藤由美子 , 佐藤健	R7 年度東北地域災害科学研究集会	2025/12/22	口頭発表（一般）
女性が力を発揮するコミュニティ防災教育の推進	佐藤 健	R7 年度東北地域災害科学研究集会	2025/12/22	口頭発表（一般）
水害時における車椅子利用者の避難経路リスク分析ー健常者との比較を通してー	田村諒 , 佐藤 健	R7 年度東北地域災害科学研究集会	2025/12/22	口頭発表（一般）
東北大学キャンパスにおける帰宅困難者数の推定	佐藤奨真 , 柴山明寛	令和 7 年度東北地域災害科学研究集会	2025/12/22	口頭発表（一般）
Augmented Kalman Filter による建物非観測階応答推定	大野晋	東北地域災害科学研究集会	2025/12/23	口頭発表（一般）
学校統廃合がもたらす地域防災への影響	堀口和泉 , 佐藤 健	R7 年度東北地域災害科学研究集会	2025/12/23	口頭発表（一般）
若年被災者の声を活用した伝承活動	齋藤由美子 , 佐藤健	令和7年度東北地域災害科学研究集会	2025/12/23	
都市直下型地震時の重症者を対象とした災害拠点病院の医療需給の評価	久保公佑 , 佐藤 健	R7 年度東北地域災害科学研究集会	2025/12/23	口頭発表（一般）
東日本大震災の被災地における児童数動態についての研究 ～経済基盤と人口動態という初期条件の比較分析～	服部開斗 , 佐藤 健	R7 年度東北地域災害科学研究集会	2025/12/23	口頭発表（一般）

タ イ ト ル	講 演 者	会議名（日本語）	発表年月日	会議種別
福祉避難所における電力供給に関する一考察	柴山明寛	令和 7 年度東北地域災害科学研究集会	2025/12/23	口頭発表（一般）
Lateral extent of coseismic slip and limited near-trench rupture during the 2025 Mw 8.7-8.8 Kamchatka earthquake from geodetic and tsunami data	Chi-Hsien Tang	NIED seminar	2026/1/9	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
地域安全学会―わが国における災害研究の変遷 1923 年関東大震災から 2024 年能登半島地震まで	村尾修 , 加藤春奈 , 目黒公郎	防災学術連携体 10 周年シンポジウム	2026/1/9	シンポジウム・ワークショップ パネル（指名）
変容する人間社会における地震研究	福島洋	防災学術連携体 10 周年記念シンポジウム	2026/1/9	口頭発表（一般）
今後予想される 震災アーカイブの未来について	柴山明寛	令和 7 年度 東日本大震災アーカイブシンポジウム ―震災アーカイブの構築・継続・次世代への継承―	2026/1/11	シンポジウム・ワークショップ パネル（指名）
人口減少社会における復興まちづくり	姥浦道生	政策研究大学院大学・建築研究所共催シンポジウム『人口減少時代における災害復興と安全安心な地域づくり』「第1部：縮小社会における安全で持続可能な復興とまちづくり」，オンライン	2026/1/16	シンポジウム・ワークショップ パネル（指名）
底生動物における環境 DNA 調査の可能性	内田典子	令和 7 年度環境専門委員会セミナー	2026/1/20	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
人口減少社会における復興まちづくり―東日本大震災と能登半島地震からの復興―	姥浦道生	京都大学防災研究所・第 109 回総合防災セミナー，宇治	2026/1/23	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
数値シミュレーションで立ち向かう自然災害～高校の数学・物理はどうやって防災研究に役立つのか～	野村怜佳	八戸工業大学 地域産業総合研究所 防災科学フォーラム 2026	2026/1/24	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
災害時の医療機能維持－ BCP は機能維持のたたき台–	佐々木宏之	宮城県立こども病院 災害対策研修会 講演	2026/1/26	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
災害があったことが " 伝わる " ために	佐藤翔輔	「高等学校における防災教育推進事業」令和 7 年度あおもり高校生防災サミット	2026/1/27	その他
大規模災害時にがん相談員が知っておくこと	佐々木宏之	令和 7 年度北関東甲信越地域相談支援フォーラム in 群馬 講演	2026/1/31	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
ろう教員をとりまく現状と、子どもと通じ合うための手話	石川 美希	第 24 回 手話言語研究セミナー	2026/2/1	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
自主防災組織の役割～水害から命を守る避難について～	佐藤翔輔	令和 7 年度自主防災研修会（花巻市防災危機管理課）	2026/2/1	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
Formation of blocked-valley lakes and toe-cut terraces through the trunk river aggradation in the middle Sagami River, central Japan	Takayuki Takahashi,Yuji Ishii	11th IAG International conference on Geomorphology	2026/2/2	
経営戦略の一環としての実効性の高い 事業継続マネジメント（BCM）	丸谷浩明	関西生産性本部 第 47 期 内外のトップを囲む懇談会	2026/2/4	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
Creating learning materials for geography education in regions affected by the 2024 Noto Peninsula Earthquake	Takuro Ogura,Hiroyuki Yamauchi,Tatsuto Aoki,Nobuhisa Matta,Kotaro Iizuka,Yoshiya Iwasa,Kiyomi Hayashi,Tsuyoshi Hattanji,Norikazu Matsuoka,Takashi Oguchi	11th IAG International conference on Geomorphology	2026/2/5	
Rapid upstream migration of the knickpoint according to the co-seismic uplift of 2024 Noto Peninsula Earthquake, Japan	Takayuki Takahashi,Takuro Ogura,Kotaro Iizuka,Yoshiya Iwasa,Yuichi S. Hayakawa,Tatsuto Aoki,Nobuhisa Matta	11th IAG International conference on Geomorphology	2026/2/5	
末梢血管治療 (EVT) 術者の手指被ばく線量に関する初期検討	加藤聖規 , 芳賀喜裕 , 曽田真宏 , 守屋亮太朗 , 笠原梓司 , 齋藤和久 , 鈴木新一 , 荒井剛 , 稲葉洋平 , 千田浩一	Japan Endovascular Treatment Conference(JET2026)	2026/2/7	口頭発表（一般）
3D LEM-Based Regional-Scale Slope Stability Analysis	Shuji Moriguchi,Daichi Sugo\, John,Y. Choe,Kenta Tozato,Nilo Lemuel,J. Dolojan,Reika Nomura,Kosuke Watanabe,Kenjiro Terada	The 5th International Symposium on Slope Risk and Resilience	2026/2/8	口頭発表（基調）
防災に必要な 3 つのキホン	佐藤翔輔	令和 7 年度丸森町女性防火防災クラブ連合会研修会	2026/2/8	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
紙芝居と災害伝承を考える	Julia Gerster	絵本・紙芝居・漫画：災害を伝えるメディアの力	2026/2/10	
TsunamiCast Real-time Impact-based Tsunami Forecast and Perspectives for Digital Twins	Shunichi Koshimura	ESNZ–NIED Earthquake and Tsunami Workshop	2026/2/16	口頭発表（基調）
最近起きた地震から学ぶ	佐藤翔輔	令和 7 年度第 3 回七ヶ浜町地域福祉推進会議	2026/2/16	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
Towards the realization of a highly sustainable and resilient 6G RAN	安達文幸	International Conference on Computing, Networking and Communications (ICNC 2026)	2026/2/18	口頭発表（招待・特別）
東日本大震災 15 年を震災伝承の観点からふりかえる	佐藤翔輔	世界津波の日制定 10 周年記念事業・第 24 回稲むらの火講座	2026/2/21	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
話題提供	佐藤翔輔	あれから 15 年スペシャル Part1 ～みんなの災害体験を 100 年後の人たちへ～（Team Sendai）	2026/2/22	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
3D LEM-Based Regional-Scale Slope Stability Analysis	Shuji Moriguchi	Workshop on Modeling and Simulation of Extreme Events	2026/2/26	シンポジウム・ワークショップ パネル（指名）

タ イ ト ル	講 演 者	会議名（日本語）	発表年月日	会議種別
Impact Force Evaluation in 2D Debris Flow Simulations Based on Steep-Slope Shallow Water Equation	Reika Nomura,So Fujisawa,Nilo L Dolojan,Shuji Moriguchi,Antonia Larese,Kenjiro Terada	HYDROROM 2026 workshop	2026/2/26	シンポジウム・ワークショップ パネル（指名）
Wide-area debris flow simulation using shallow water SPH	Nilo Lemuel J. Dolojan,Kumpei Tsuji,Reika Nomura,Kenjiro Terada,Shuji moriguchi	HYDROROM 2026 workshop	2026/2/26	シンポジウム・ワークショップ パネル（指名）
津波災害デジタルツインの開発と展望	越村 俊一	プラネタリーディフェンス・シンポジウム	2026/2/26	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
Japan's memory of difficult pasts in international perspective「日本の困難な記憶と記録を国際的な視点から考える」	Julia Gerster,Annaclaudia Martini,Fatma Ozdogan,Kumiko Yamaji	全国被災地語り部シンポジウム	2026/3/1	
若者語り継ぎセッション（ファシリテーター）	Julia Gerster,Kumiko Yamaji	全国被災地語り部シンポジウム	2026/3/1	
Analysis of Peak Skin Dose in Neuroendovascular Therapy of Unruptured Aneurysms	Satoru Kawauchi,Koichi Chida,Yusuke Hamada,Takashi Moritake,Wataro Tsuruta	European Congress of Radiology	2026/3/4	ポスター発表
Effects of Electromagnetic Waves on Measurements of Electronic Pocket Dosimeters	Akisawa A.,Sasaki E.,Yonenaga H.,Izumi K.,Okabe Y.,Inaba Y.,Chida K.	European Congress of Radiology	2026/3/4	ポスター発表
Enhanced eye protection using lead glasses with a bottom-shield structure in interventional radiology procedures	Ryota Shindo,Keisuke Yamamoto,Masaki Fujisawa,Kodai Sagehashi,Yohei Inaba,Koichi Chida	European Congress of Radiology	2026/3/4	ポスター発表
災禍を超えて史料と歴史を残す意味	佐藤大介	公開シンポジウム 東日本大震災の「記憶」を振り返る	2026/3/5	
LC-QTOF/MS と環境 DNA 分析を用いた河川水中のフミン質や人工有機化合物と底生生物指標との関係性評価	矢野涼介 , 鈴木裕識 , 木村辰徳 , 岩崎雄一 , 内田典子	令和 7 年度土木学会中部支部研究発表会	2026/3/6	口頭発表（一般）
地域との連携によるコミュニティ防災と大学の災害対策推進	佐藤 健	大学の世界展開力強化事業成果報告シンポジウム	2026/3/6	口頭発表（基調）
VR を用いた 360 度映像体験が津波避難ビルの印象変化に与える影響の実験的評価	鈴木彩姫 , 手塚卯芽 , 成田峻之輔 , 佐藤翔輔	令和 7 年度土木学会東北支部技術研究発表会	2026/3/7	口頭発表（一般）
急勾配斜面を対象とした 2 次元浅水長波解析による土石流の衝撃力評価	藤沢 颯 ,Nilo Doloja, 野村 怜佳 , 寺田 賢二 , 森口 周二	令和 7 年度 土木学会東北支部技術研究発表会	2026/3/7	口頭発表（一般）
数値解析と観測を融合した地震力による斜面崩壊の広域即時予測	小島 空 , 松田 晃汰 , 湯 東暘 , 須郷 大地 , 野村 怜佳 , 寺田 賢二郎 , 森口 周二	令和 7 年度 土木学会東北支部技術研究発表会	2026/3/7	口頭発表（一般）
東日本大震災証言記録からの災害対応に関する因果関係記述の自動抽出	瀬川琳太郎 , 今村文彦 , 佐藤翔輔	令和 7 年度土木学会東北支部技術研究発表会	2026/3/7	口頭発表（一般）
片方向流体・構造連成解析手法の構築による樹木の対流体力挙動評価	武田 万有花 , 鈴木 祐太 , 中村 明莉 , 野村 怜佳 , 松原 成志朗 , 寺田 賢二郎 , 森口 周二	令和 7 年度 土木学会東北支部技術研究発表会	2026/3/7	口頭発表（一般）
手話と文字と合成音声を組み合わせた授業方法に対する学生からの評価	石川美希	日本教育工学会 2026 年春季全国大会	2026/3/8	口頭発表（一般）
水害と共に生きる地域社会を考える	佐藤翔輔	令和 7 年度大崎市・多田川流域における流域治水セミナー	2026/3/10	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
環境レベルに近づけた低濃度トリチウム水の持続曝露による細胞影響解析	和泉哉汰 , 礒部理央 , 佐藤拓 ,Jiaxin Li, 本宮響太郎 , 山下琢磨 , 木野康志 , 福本学 , 笹谷めぐみ , 鈴木正敏 , 千田浩一	第 27 回「環境放射能」研究会	2026/3/11	口頭発表（一般）
ESR 線量測定法の低線量域適用のためのニホンザル歯試料プロトコルの改良	林哲平 , 山下琢磨 , 光安優典 , 小野健太 , 岩見聡音 , 木野康志 , 関根勉 , 岡壽崇 , 高橋温 , 清水良央 , 千葉美麗 , 鈴木敏彦 , 小坂健 , 佐々木啓一 , 佐藤拓 , 鈴木正敏 , 福本学 , 篠田壽	第 27 回環境放射能研究会	2026/3/12	口頭発表（一般）
航空機モニタリングデータを取り入れた野生ニホンザルの外部被ばく線量評価	佐藤拓 ,Jiaxin Li, 和泉哉汰 , 本宮響太郎 , 山下琢磨 , 木野康志 , 高橋温 , 篠田壽 , 遠藤暁 , 福本学 , 鈴木正敏 , 千田浩一	第 27 回環境放射能研究	2026/3/12	ポスター発表
福島県浜通りで捕獲されたニホンザル臓器中の放射性核種および s ブロック元素濃度の測定	長原辰弥 , 林哲平 , 加藤太朗 , 木野康志 , 山下琢磨 , 鈴木正敏 , 福本学	第 27 回環境放射能研究会	2026/3/12	ポスター発表
遺伝子発現変化から考察する不溶性セシウム粒子の性状と生物応答の関連性	鈴木正敏 , 遠藤暁 , 二宮和彦 , 千田浩一 , 福本学	第 27 回環境放射能研究会	2026/3/13	口頭発表（一般）
基調講演 地球人間圏科学・災害科学からみた地球環境と地域	原 裕太	日本体育・スポーツ経営学会第 49 回学会大会	2026/3/14	口頭発表（基調）
災害リスクを踏まえた復興政策に対する地域社会の長期的レスポンス	井内加奈子	東日本大震災メモリアルシンポジウム「東日本大震災 15 年：いま語るべきこと、伝えるべきこと、そしてこれから」	2026/3/14	シンポジウム・ワークショップ パネル（指名）
災害関連死を防ぐためのデジタル・トランスフォーメーション	江川新一	仙台防災未来フォーラム	2026/3/14	シンポジウム・ワークショップ パネル（指名）
東日本大震災から 15 年―「街の復興」の観点からの中期的評価	姥浦道生	仙台防災未来フォーラム 2026『東日本大震災 15 年：いま語るべきこと、伝えるべきこと、そしてこれから』	2026/3/14	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
東日本大震災の「震災伝承」の観点から	佐藤翔輔	仙台防災未来フォーラム 2026，東北大学災害科学国際研究所 東日本大震災メモリアルシンポジウム「東日本大震災 15 年：いま語るべきこと，伝えるべきこと，そしてこれから」	2026/3/14	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
青森県八戸市の住民を対象とした徒歩避難促進における「ナッジ」の利用可能性の検討	星美沙希 , 佐藤翔輔 , 今村文彦	日本災害情報学会第 32 回学会大会	2026/3/15	口頭発表（一般）
青森県八戸市の住民を対象とした徒歩避難促進における「ナッジ」の利用可能性の検討	佐藤翔輔	令和 7 年度第 2 回仙台ライフラインネットワーク勉強会	2026/3/16	その他
The Great East Japan Earthquake and Tsunami at 15. Disasters as Turning Points Webinar Series	Kanako Iuchi	The Natural Hazards Center	2026/3/17	口頭発表（招待・特別）

タ イ ト ル	講 演 者	会議名（日本語）	発表年月日	会議種別
Transformative resilience: A temporal analysis of a causeway project over Cancabato Bay Area, Haiyan-affected Tacloban, Philippines	Kanako Iuchi	2026 AAG Annual Meeting	2026/3/18	口頭発表（一般）
大震災での東北企業の事業継続 〜被災直後から近年まで〜	丸谷浩明	NPO 法人 事業継続推進機構 3 月度月例会	2026/3/18	公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等
「生活の場」としての避難所を多職種で支える ―文献から読み解く保健医療福祉の関与の変遷と課題―	佐々木宏之	第 31 回日本災害医学会総会・学術集会 パネルディスカッション 11『BHELP10 周年記念企画 多職種で作る幸せな避難所』	2026/3/19	シンポジウム・ワークショップ パネル（指名）
Population Change in Japan's Coastal Areas During Tsunami Advisories and Warnings Following the 2025 Kamchatka Earthquake	Shohei Nagata,Hiroki M. Adachi,Erick Mas,Yuriko Takeda,Tomoki Nakaya,Cynthia Chen,Lyra Chen,Shunichi Koshimura	2026 AAG Annual Meeting	2026/3/19	口頭発表（一般）
学校の震災エピソードの収集と教育資源化の DX―イベント記憶検索のための空間的手がかりの地理心理学デザイン―	齋藤玲 , 永田彰平 , 二本松直人 ,Elizabeth Maly,Gerster Julia, 村井明日香 , 登本洋子 , 菅原弘一 , 小田隆史 , 桜井愛子 , 佐藤健 , 邑本俊亮	東日本大震災・原子力災害第4回 学術研究集会	2026/3/19	
携帯用小型 GM サーベイメータの基礎的性能評価	佐々木理桜 , 本宮響太郎 , 稲葉洋平 , 千田浩一	第 4 回 東日本大震災・原子力災害学術集会	2026/3/19	口頭発表（一般）
原子力災害における環境防護の具体化にむけた取り組みについて	鈴木正敏 , 李嘉欣 , 佐藤拓 , 遠藤暁 , 福本学 , 千田浩一 , 操上広志 , 林誠二	東日本大震災・原子力災害第4回 学術研究集会	2026/3/19	口頭発表（一般）
想定地震が災害医療のコーディネーションに与える影響評価	佐藤 健	第 31 回日本災害医学会 総会・学術集会	2026/3/19	ポスター発表
β線用プラスチックシンチレーションサーベイ メータにおけるγ線影響の検証―線源検出器間距離に基づいた比較	山本啓介 , 進藤僚太 , 稲葉洋平 , 鈴木正敏 , 千葉浩生 , 千田浩一	第 4 回 東日本大震災・原子力災害学術集会	2026/3/20	口頭発表（一般）
災禍の経験を伝承する「語り部」の思いからみる活動開始・継続に関する考察：災害・戦争・事故の当事者・非当事者に対する質問紙調査の自由記述から	佐藤翔輔	東日本大震災・原子力災害第 4 日学術研究集会	2026/3/20	口頭発表（一般）
災害時要配慮者への情報提供のためのプログラミング	齋藤由美子 , 中山慎也	日本理科教育学会オンライン大会	2026/3/20	その他
東日本大震災石巻医療圏災害薬事コーディネーションシステム（メロンパンシステム）を基にした将来の災害時医薬品供給体制構築について	丹野佳郎 , 菅野武 , 江川新一 , 石井正	第31回日本災害医学会総会・学術集会	2026/3/20	口頭発表（一般）
日本の災害関連死の制度的課題と改善にむけた提言	坪井基浩 , 佐々木宏之 , パクヘジョン , 八坂剛一 , 田口茂正 , 原田奈穂子 , 坪倉正治 , 江川新一	第 31 回日本災害医学会	2026/3/20	シンポジウム・ワークショップ パネル（指名）
災害伝承と多様性 多様な経験を教訓にするには？	Julia Gerster	東日本大震災から15年とこれからの Bosai	2026/3/21	
防災対策としてのインクルーシブな職場環境の形成―聴覚障害のある同僚との交流経験に関する分析から―	石川 美希	東日本大震災から15年とこれからの BOSAI シンポジウム	2026/3/21	シンポジウム・ワークショップ パネル（指名）
Enhancing Tsunami Evacuation Modeling Using Human Mobility Analytics: Integrating Geographic, Psychological, and Data Science Perspectives	Ryo Saito,Shohei Nagata,Hiroki Adachi	2025 AI So-Go-Chi Symposium	2026/3/23	シンポジウム・ワークショップ パネル（指名）
The impact of and recovery from the 3.11 Disasters	Julia Gerster	Tohoku University, University of Washington Workshop	2026/3/23	
Boosting Community Resilience: Lessons from Post-Disaster Recovery Processes	Kanako Iuchi	Workshop on collaboration mechanisms among APEC economies to link local development with disaster risk reduction measures intensified by climate change (EPWG 104 2024A)	2026/3/25	口頭発表（招待・特別）
インドネシア・スマトラ島北部における 2025 年 11 月と過去の風水害，およびプランテーション開発の関係	原 裕太 , 佐々木大輔 , 永田淳嗣	2026 年日本地理学会春季学術大会	2026/3/26	口頭発表（一般）
北極域特有の複合的スローオンセット型災害と移住適地の検討：米国アラスカ州およびセントローレンス島を例に	武田多聞 , 中野久美子 , 岩花 剛 , 原 裕太 , 大宮朋子	2026 年日本地理学会春季学術大会	2026/3/26	口頭発表（一般）
科学と社会の統合を通じた防災の推進：2011 年東日本大震災の教訓	泉貴子	PEPR Risques Scientific Days 2026 in France	2026/3/27	シンポジウム・ワークショップ パネル（指名）
研究、専門知識、そして公共政策：持続可能な災害リスク軽減につながる新たなアプローチとは何か？	Sebastien Boret Penmellen,Stéphanie Bidaul,Elsa Cortijo,Mathilde Gralepois,Léa Morfoisse	Annual Scientific Conference of the Risks Programme (IRiMa)	2026/3/27	シンポジウム・ワークショップ パネル（指名）
福島第一原発事故に関する放射線生命科学研究	鈴木正敏	放射線発がん〜現在・過去・未来〜研究会	2026/3/30	口頭発表（一般）
測地記録と津波波形記録を用いた断層すべり推定：ABIC に基づくジョイントインバージョン	水谷歩	日本地球惑星科学連合 2025 年大会		口頭発表（招待・特別）

5．3．F．シンポジウム等の主催・共催・運営等

(1)学会

（日付順）

教員名	種　別	主催団体名・運営団体名等	イベント名称	開催期間 開始年月	開催期間 終了年月	会　場	開催都市名	開催国名	担当等	関与形態
江川新一	講演会	World Association for Disaster Medicine (WADEM)	WADEM 2025 Tokyo	20250503	20250506	京王プラザホテル	東京	日本	プログラム委員長	その他の機関の主催
児玉栄一	セミナー	日本産業衛生学会	第 98 回日本産業衛生学会総会	20250514	20250514	仙台国際センター	仙台市	日本	講師	その他の機関の主催
佐々木宏之	セミナー	日本災害医学会	第 3 回宮城 BHELP 標準コース	20250531	20250531	東北大学災害科学国際研究所	仙台市	日本	運営委員	IRIDeS 主催・共同主催
佐々木宏之	セミナー	日本災害医学会	第 1 回宮城 BHELP インストラクターコース / ブラッシュアップコース	20250601	20250601	東北大学災害科学国際研究所	仙台市	日本	運営委員	IRIDeS 主催・共同主催
サッパシー・アナワット	その他	Asia Oceania Geosciences Society	AOGS2025	20250727	20250802	Marina Bay Sands	Singapore	Singapore	IG Section President	
サッパシー・アナワット	その他	Syiah Kuala University, International Institute of Disaster Science (IRIDeS), Tohoku University, UCL 等	AIWEST-DR2025	20250820	20250822	UCL	London	England	運営委員	IRIDeS 協力
ボレー・セバスチャン	シンポジウム	UCL, Syiah Kuala University), IRIDeS, UPNM, UGM, PIT-IABI, IGI, University of Sydney	AIWEST-DR 2025 Global Partnerships Toward Future Disaster Resilience	20250820	20250823	University College London	London	United Kingdom	運営委員	IRIDeS 共催
マス・エリック	ワークショップ	TDMRC, UCL, IRIDeS, The University of Sydney, Universitas Gadjah Mada, National Defence University of Malaysia, UNESCO	AIWEST-DR 2025 - The 17th Aceh International Workshop on Sustainable Disaster Recovery	20250821	20250822	UCL Main Campus	London	UK	運営委員	IRIDeS 主催・共同主催
佐藤健	その他	日本安全教育学会	日本安全教育学会第 26 回岩手大会	20250913	20250915	岩手大学	盛岡	日本	実行委員	その他の機関の主催
榎田竜太	シンポジウム	Earthquake Engineering Lab (IRIDeS Tohoku U.) & Structural Dynamics of Buildings Lab. (Kyoto U.)	The 2nd Japan–New Zealand Workshop on Structural Engineering The 1 st International Workshop on Disaster Risk Reduction for Urban Heritage	20250922	20250926	瀬の本高原ホテル	阿蘇	Japan	運営委員会	
大類真嗣	シンポジウム	日本公衆衛生学会	第 84 回日本公衆衛生学会総会シンポジウム「巨大災害の根本的問題へ公衆衛生の力で挑戦する ～直接死を防ぐ災害一次予防～」	20251028	20251031	静岡県コンベンションアーツセンター	静岡市	日本	シンポジウム企画・シンポジスト	その他の機関の主催
大類真嗣	シンポジウム	日本公衆衛生学会	第 84 回日本公衆衛生学会総会シンポジウム「疫学研究から考える災害後の自殺対策のグッド・プラクティスとは？」	20251028	20251031	静岡県コンベンションアーツセンター	静岡市	日本	シンポジウム企画・座長	その他の機関の主催
野村周平	シンポジウム	IHME（米国ワシントン大学保健指標評価研究所）	第 84 回日本公衆衛生学会総会シンポジウム	20251030	20251030	静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」	静岡	日本	運営・企画	日本側主催者
佐藤翔輔	その他	日本災害情報学会	日本災害情報学会 第 31 回学会大会	20251108	20251109	関西大学社会安全学部	高槻	日本	大会委員	その他の機関の主催
原裕太	研究会	日本リスク学会	日本リスク学会 第 38 回年次大会 企画セッション 調査公害について考える 2	20251109	20251109	大阪大学吹田キャンパス	大阪	日本	共同企画、招待講演	
泉貴子	シンポジウム	University of the Philippines, APRUMulti-Hazards Program	APRU Multi-Hazards Symposium	20251126	20251129	University of the Philippines	Manila	Philippines		
内田典子		環境 DNA 学会	第 8 回環境 DNA 学会山口大会	20251210	20251213	KDDI 維新ホール	山口市	日本	運営委員	その他の機関の主催
佐藤翔輔	ワークショップ	地域安全学会	地域安全学会 東日本大震災連続ワークショップ 2025 in 大槌	20251214	20251214	大槌町内	大槌	日本	オーガナイザー	その他の機関の主催
朴慧晶	シンポジウム	IRIDeS, Tohoku University & Asian Association for Crisisonomy	2025 Asian Conference on Crisisonomy	20251220	20251221	IRIDeS, Tohoku University	Sendai	Japan	運営委員	IRIDeS 主催・共同主催
ボレー・セバスチャン	シンポジウム	IRIDeS, Chungbuk National University (CBNU), Korea National Research Foundation of Korea Ministry of the Interior and Safety, Korea National Disaster Management Research Institute, Korea International Research Institute of Disaster Science	Towards Inclusive Crisisonomy: Aging, Disability, and Adaptive Systems in Asia	20251220	20251221	IRIDeS	Sendai	Japan	担当	IRIDeS 主催・共同主催
森口周二	講演会	土木学会応用力学委員会	応用力学講演会「土木分野の数値解析の V&V」	20260106	20260106	法政大学　市ヶ谷田町校舎	東京都	日本	幹事	その他の機関の主催
佐藤翔輔	シンポジウム	土木学会東北支部	災害査定のこれまでとこれから，土木学会東北支部 土木の日特別行事 防災に関するシンポジウム	20260121	20260121	仙台国際センー	仙台	日本	オーガナイザー	その他の機関の主催
森口周二	シンポジウム	International Consortium on Geo-disaster Reduction	The 5th International Symposium on Slope Risk and Resilience	20260205	20260209	The Hong Kong Polytechnic University	香港	中国	運営委員	その他の機関の主催
姥浦道生	研究会	日本都市計画学会東北支部	日本都市計画学会東北支部研究発表会	20260301	20260301	東北大学災害科学国際研究所	仙台	日本	幹事	IRIDeS 共催
森口周二、野村怜佳、ドロハン・ニロ・レムエル・フニオ	講演会	日本地すべり学会東北支部	日本地すべり学会東北支部 2025 年度第 4 回講演会	20260319	20260319	東北大学災害科学国際研究所	仙台市	日本	実行委員長、運営委員	IRIDeS 共催
児玉栄一	シンポジウム	日本薬学会	日本薬学会大 146 年会	20260328	20260328	関西大学	大阪府吹田市	日本	シンポジスト	その他の機関の主催

（2）学会以外のイベント

（日付順）

教員名	種　別	主催団体名・運営団体名等	イベント名称	開催期間 開始年月	開催期間 終了年月	会　場	開催都市名	開催国名	担当等	関与形態
佐藤翔輔	その他	仙台市	仙台の復興と震災伝承，仙台市役所・令和 7 年度新規採用職員研修（前期）・総合科目 D	20250407	20250408	仙台市役所	仙台	日本	オーガナイザー	その他の機関の主催
佐藤翔輔	セミナー	宮城県復興支援・伝承課，東北大学災害科学国際研究所	第 17 回 3.11 学びなおし塾	20250413	20250413	みやぎ東日本大震災津波伝承館	石巻	日本	オーガナイザー	IRIDeS 共催
佐藤翔輔	その他	気仙沼市	気仙沼市役所・令和 7 年度第 1 回震災の教訓等を伝承する職員研修	20250416	20250416	気仙沼市役所	気仙沼	東京	オーガナイザー	その他の機関の主催
緊急調査 WG、広報室（今野、中鉢）ほか	その他	東北大学災害科学国際研究所	ミャンマー地震速報会	20250425	20250425	オンライン	仙台	日本	運営支援	IRIDeS 主催・共同主催
小野裕一	ワークショップ	Bangradesh Disaster Preparedness Centre	International Workshop on "Integrating Severe Local Storm Disaster Risk Reduction into National School Curriculum of Bangladesh"	20250503	20250503	Hotel Bengal Brueberry	Dhaka	Bangladesh	Project Leader	IRIDeS 主催・共同主催
佐藤翔輔	セミナー	宮城県復興支援・伝承課，東北大学災害科学国際研究所	第 17 回知りたいみやぎ復興の知恵	20250504	20250504	みやぎ東日本大震災津波伝承館	石巻	日本	オーガナイザー	IRIDeS 共催
原裕太	ワークショップ	東北大学附置研究所・センター連携体	第 14 回東北大学若手アンサンブルワークショップ	20250513	20250513	東北大学片平さくらホール	仙台	日本	運営委員	
ゲルスタ・ユリア	講演会	IRIDeS, Tohoku University	Chornobyl and Fukushima Visual Archives; Visitors' Practices of Curatorship of the Nuclear Acciednt Sites. Presentation by Veera Ojala	20250518	20250518	IRIDeS	Sendai	Japan	運営長	
佐藤翔輔	その他	東北自治研修所	東北自治研修所「第 67 回行政課題研修『風水害を想定した災害対応コース』」	20250520	20250522	東北自治研修所	富谷	日本	オーガナイザー	その他の機関の主催
佐々木宏之	セミナー	東北大学病院 東北大学災害科学国際研究所 日本災害医学会	日本災害医学会第 3 回宮城 BHELP 標準コース コンダクター型災害保健医療人材養成プログラム「急性期活動実習」	20250531	20250531	東北大学災害科学国際研究所	仙台市	日本	運営委員	IRIDeS 主催・共同主催
佐々木宏之	セミナー	東北大学病院 東北大学災害科学国際研究所 日本災害医学会	日本災害医学会第 1 回宮城 BHELP インストラクターコース コンダクター型災害保健医療人材養成プログラム「急性期活動実習	20250601	20250601	東北大学災害科学国際研究所	仙台市	日本	運営委員	IRIDeS 主催・共同主催
佐藤翔輔	セミナー	宮城県復興支援・伝承課，東北大学災害科学国際研究所	第 18 回 3.11 学びなおし塾	20250601	20250601	みやぎ東日本大震災津波伝承館	石巻	日本	オーガナイザー	IRIDeS 共催
ゲルスタ・ユリア	ワークショップ	IRIDeS, Tohoku University; SenTIA	Multicultural Disaster Risk Reduction Workshop and Treasure Hunt (DRRT)	20250614	29250614	Tohoku University	Sendai	Japan	運営長	IRIDeS 主催・共同主催
マリ・エリザベス	ワークショップ	IRIDeS, Tohoku University	International Disaster Risk Reduction Workshop and Treasure Hunt	20250614	20250614	IRIDeS	仙台	日本	運営委員	IRIDeS 協賛・資金提供
佐藤翔輔	ワークショップ	気仙沼市，東北大学災害科学国際研究所	令和 7 年度第 1 回気仙沼市地域防災リーダー（KBL）カレッジ	20250629	20250629	気仙沼市民福祉センター「やすらぎ」	気仙沼	日本	オーガナイザー	IRIDeS 共催
佐藤翔輔	セミナー	宮城県復興支援・伝承課，東北大学災害科学国際研究所	第 18 回知りたいみやぎ復興の知恵	20250706	20250706	みやぎ東日本大震災津波伝承館	石巻	日本	オーガナイザー	IRIDeS 共催
佐藤翔輔	ワークショップ	気仙沼市，東北大学災害科学国際研究所	令和 7 年度第 2 回気仙沼市地域防災リーダー（KBL）カレッジ	20250706	20250706	気仙沼市民会館	気仙沼	日本	オーガナイザー	IRIDeS 共催
児玉栄一	講演会	公立藤田総合病院	院内感染対策講演会	20250710	20250710	公立藤田病院	福島県伊達市	日本	講師	その他の機関の主催
佐々木宏之	セミナー	東北大学病院 東北大学災害科学国際研究所	コンダクター型災害保健医療人材養成プログラム「災害時組織対応セミナー」	20250712	20250712	東北大学災害科学国際研究所	仙台市	日本	運営委員	IRIDeS 主催・共同主催
佐藤翔輔	シンポジウム	宮城県土木部	令和 7 年度津波防災シンポジウム・防災文化を後世へつなぐー震災教訓を活かした津波防災と次世代への伝承ー トークセッション「東日本大震災の教訓を若い世代へどう伝承するか」	20250712	20250712	石巻市河北総合センタービッグバン	石巻	日本	コーディネーター	その他の機関の主催
サッパシー・アナワット	ワークショップ	日本大使館（バンコク）、JICA バンコク事務所	Toward Earthquake - Resilient Thailand: Addressing Long-Period Ground Motions and Social Infrastructure Vulnerability	20250714	20250714	JICA バンコク事務所	Bangkok	Thailand	運営委員	IRIDeS 共催
福島洋	研究会	防災行動変容プロジェクト・東北大学災害科学国際研究所 防災コミニケーション学分野	第二回防災コミュニケーション学勉強会「Area Deprivation Index と健康格差」	20250715	20250715	東北大学災害科学国際研究所＋オンライン	仙台市	日本	運営	その他の機関の主催
佐々木宏之	セミナー	東北大学病院 東北大学災害科学国際研究所	コンダクター型災害保健医療人材養成プログラム「災害保健医療コーディネーション実習」	20250720	20250720	東北大学災害科学国際研究所	仙台市	日本	運営委員	IRIDeS 主催・共同主催
佐々木宏之	セミナー	東北大学	聖光塾	20250721	20250721	東北大学東京オフィス	東京都	日本	運営委員	IRIDeS 主催・共同主催
永田彰平、野村怜佳、高橋尚志、林宏典、齋藤玲、内田典子、原裕太、石澤 尭史、乗松君衣、猪狩暢子、髙橋利恵子、武田百合子	その他	東北大学災害科学国際研究所	2024 年度レジリエンス共創研究報告会 - 第 87 回 IRIDeS オープンフォーラム -	20250725	20250725	オンライン	仙台	日本	運営委員	IRIDeS 主催・共同主催
小野裕一	シンポジウム	一般財団法人世界防災フォーラム	Japan-US Research Collaboration Week 2025	20250728	20250730	Stanford University	California	USA	Facilitator	IRIDeS 共催
井内加奈子	講演会	Tohoku University (IRIDeS, SyDE, GP-RSS)	DRM Colloquium 特別講演会 (DRM コロキウム 第 9 回)	20250729	20250729	Tohoku University	Sendai	Japan	企画運営	IRIDeS 主催・共同主催
泉貴子	その他	IRIDeS、APRU Multi-Hazards Program	APRU Multi-Hazards Summer School	20250729	20250801	IRIDeS	Sendai	Japan		
福島洋	研究会	防災行動変容プロジェクト・東北大学災害科学国際研究所 防災コミニケーション学分野・東北大学災害科学コアリサーチクラスター	第三回防災コミュニケーション学勉強会「防災コミュニケーションというキーワードを防災庁設置準備アドバイザリーボードの報告書に入れた意図」	20250801	20250801	東北大学災害科学国際研究所＋オンライン	仙台市	日本	運営	その他の機関の主催
石川美希	講演会	第 13 回東北教育オーディオロジー研究協議会研修会	初中高等教育の経験を振り返って思うこと～聾学校を中心に～	20250801	20250801	福島県立聴覚支援学校	福島	日本	講師	その他の機関の主催

教員名	種　別	主催団体名・運営団体名等	イベント名称	開催期間 開始年月・終了年月		会　場	開催都市名	開催国名	担当等	関与形態
佐藤翔輔	その他	内閣府	内閣府防災スペシャリスト養成研修（有明の丘）「災害への備え」	20250802	20250802	有明の丘基幹的広域防災拠点施設	東京	日本	コーディネーター	その他の機関の主催
佐藤翔輔	セミナー	宮城県復興支援・伝承課，東北大学災害科学国際研究所	第 19 回 3.11 学びなおし塾	20250803	20250803	みやぎ東日本大震災津波伝承館	石巻	日本	オーガナイザー	IRIDeS 共催
佐藤健	シンポジウム	石巻市教育委員会	石巻市学校防災フォーラム	20250807	20250807	マルホンまきあーと	石巻	日本	運営委員	IRIDeS 後援・名義後援
マリ・エリザベス	シンポジウム	IRIDeS, Tohoku University	AIWEST-DR 2025	20250820	20250822	IRIDeS	London	U.K.	運営委員	IRIDeS 主催・共同主催
佐々木宏之	セミナー	東北大学病院 東北大学災害科学国際研究所 宮城県	コンダクター型災害保健医療人材養成プログラム「災害薬事コーディネート研修会」	20250824	20250824	東北大学災害科学国際研究所	仙台市	日本	運営委員	IRIDeS 主催・共同主催
佐藤翔輔	セミナー	3.11 伝承ロード	「震災伝承施設」深化の会〜伝承活動による災害の自分事化に向けて〜	20250830	20250830	有明の丘基幹的広域防災拠点施設	東京	日本	コーディネーター	その他の機関の主催
佐藤翔輔、中鉢奈津子	セミナー	東北大学災害科学国際研究所	2025 年カムチャツカ半島付近の地震速報会（第 91 回 IRIDeS オープンフォーラム）	20250904	20250904	オンライン	仙台	日本	運営メンバー	IRIDeS 主催・共同主催
佐藤健	シンポジウム	東北大学災害科学国際研究所	ぼうさいこくたい 2025in 新潟	20250906	20250907	朱鷺メッセ	新潟	日本	ファシリテーター	IRIDeS 主催・共同主催
佐藤翔輔	ワークショップ	東北大学災害科学国際研究所	防災にもどこか「好き」と思えるポイントを見つけよう！（ぼうさいこくたい 2025in 新潟）	20250906	20250906	朱鷺メッセ	新潟	日本	オーガナイザー	IRIDeS 主催・共同主催
佐藤翔輔	ワークショップ	内閣府，国土交通省，文部科学省	地域の記憶を防災の力に変える〜NIPPON 防災資産次世代の力〜，ぼうさいこくたい 2025in 新潟	20250906	20250906	朱鷺メッセ	新潟	日本	コーディネーター	その他の機関の主催
佐藤翔輔	セミナー	宮城県復興支援・伝承課，東北大学災害科学国際研究所	第 19 回知りたいみやぎ復興の知恵	20250907	20250907	みやぎ東日本大震災津波伝承館	石巻	日本	オーガナイザー	IRIDeS 共催
佐藤翔輔	ワークショップ	気仙沼市，東北大学災害科学国際研究所	気仙沼市第 31 回防災意見交換会「松岩地区」	20250910	20250910	気仙沼	気仙沼	日本	コーディネーター	その他の機関の主催
菅原大助	研究会	東北大学災害科学国際研究所	海岸堆積物研究会	20250911	20250912	災害科学国際研究所	仙台	日本	運営委員	IRIDeS 主催・共同主催
五十子幸樹	ワークショップ	東北大学災害科学国際研究所，京都大学，カンタベリー大学	第 2 回 構造工学に関する日本ーニュージーランドワークショップ，第 1 回 歴史都市防災国際ワークショップ	20250922	20250926	瀬の本高原ホテル	阿蘇郡	日本	運営委員，議長，参加者	IRIDeS 共催
佐藤翔輔	シンポジウム	七ヶ浜町	令和 7 年度 身近な災害を考えるシンポジウム	20250923	20250923	七ヶ浜町国際村	七ヶ浜町	日本	オーガナイザー	その他の機関の主催
野村周平	シンポジウム	米国ワシントン大学保健指標評価研究所（Institute for Health Metrics and Evaluation：IHME）	GBD（世界の疾病負荷研究）独立諮問委員会（Independent Advisory Committee：IAC）第 25 回会合	20251001	20251003	ホテルニューオータニ（東京）	東京	日本	運営・企画	日本側主催者
野村周平	シンポジウム	「グローバルヘルスと人間の安全保障」運営委員会（委員長：武見敬三 元厚生労働大臣）	GBD IAC 東京開催における「グローバルヘルスと人間の安全保障」運営委員会との合同会議	20251001	20251001	ホテルニューオータニ（東京）	東京	日本	運営・企画	日本側主催者
佐藤翔輔	その他	内閣府	内閣府防災スペシャリスト養成研修（有明の丘）「災害への備え」	20251001	20251001	有明の丘基幹的広域防災拠点施設	東京	日本	コーディネーター	その他の機関の主催
大類真嗣	講演会	新潟県立長岡高等学校	新潟県立長岡高校 東北大学見学対応「災害時の医療・保健活動と公衆衛生」	20251003	20251003	災害科学国際研究所	仙台市	日本	講師	IRIDeS 協力
佐藤翔輔	セミナー	宮城県復興支援・伝承課，東北大学災害科学国際研究所	第 20 回 3.11 学びなおし塾	20251005	20251005	みやぎ東日本大震災津波伝承館	石巻	日本	オーガナイザー	IRIDeS 共催
佐藤翔輔	ワークショップ	福島県生涯学習課	ふくしま語り部ネットワーク会・3.11 被災地視察研修	20251009	20251010	東松島市内	東松島	日本	オーガナイザー	その他の機関の主催
中鉢奈津子	その他	東北大学	片平まつり 2025　東北大学災害科学国際研究所イベント「答えてみよう！聞いてみよう！実験やゲームで学ぶ災害の科学」	20251011	20251011	東北大学災害科学国際研究所	仙台	日本	運営支援	IRIDeS 主催・共同主催
佐藤翔輔	ワークショップ	震災伝承ネットワーク協議会・	震災伝承ネットワーク協議会・震災伝承施設交流会議（青森・岩手ブロック）	20251021	20251021	相馬市伝承鎮魂祈念館	相馬	日本	コーディネーター	その他の機関の主催
ゲルスタ・ユリア	シンポジウム	Asia Pacific University, Ritsumeikan	Creative and Aesthetic Representations of War Memories in Japan and Beyond. The 80th Anniversary of the end of the Pacific War.	20251031	20251101	Asia Pacific University, Ritsumeikan	Beppu	Japan	運営委員	IRIDeS 協力
佐々木宏之	セミナー	東北大学病院 東北大学災害科学国際研究所	コンダクター型災害保健医療人材養成プログラム「災害公衆衛生実習・セミナー」	20251101	20251102	東北大学災害科学国際研究所	仙台市	日本	運営委員	IRIDeS 主催・共同主催
佐藤翔輔	セミナー	宮城県復興支援・伝承課，東北大学災害科学国際研究所	第 20 回知りたいみやぎ復興の知恵	20251102	20251102	みやぎ東日本大震災津波伝承館	石巻	日本	オーガナイザー	IRIDeS 共催
佐藤翔輔	ワークショップ	震災伝承ネットワーク協議会・	震災伝承ネットワーク協議会・震災伝承施設交流会議（福島ブロック）	20251104	20251104	相馬市伝承鎮魂祈念館	相馬	日本	コーディネーター	その他の機関の主催
ゲルスタ・ユリア	研究会	IRIDeS, IDAC	Cultural and Cognitive Perspectives on Disaster Response	20251106	20251106	Tohoku University	Sendai	Japan	運営委員	IRIDeS 主催・共同主催
中鉢奈津子	セミナー	東北大学災害科学国際研究所	「特許をもっと身近に！―災害科学や防災のさらなる発展に向けて―」	20251110	20251110	東北大学災害科学国際研究所	仙台	日本	企画・運営	IRIDeS 主催・共同主催
佐藤翔輔	その他	内閣府	内閣府防災スペシャリスト養成研修（有明の丘）「災害への備え」	20251112	20251112	有明の丘基幹的広域防災拠点施設	東京	日本	コーディネーター	その他の機関の主催
佐々木宏之	セミナー	東北大学病院 東北大学災害科学国際研究所	コンダクター型災害保健医療人材養成プログラム「災害国際協力セミナー」	20251115	20251115	東北大学災害科学国際研究所	仙台市	日本	運営委員	IRIDeS 主催・共同主催
朴慧晶	セミナー	東北大学病院	コンダクター型災害保健医療人材の養成プログラム・災害国際協力セミナー	20251115	20251115	災害科学国際研究所	仙台	日本	運営委員	IRIDeS 協力
佐藤翔輔	ワークショップ	震災伝承ネットワーク協議会・	震災伝承施設交流会議（宮城ブロック）	20251118	20251118	蒲生なかの郷愁館	仙台	日本	コーディネーター	その他の機関の主催
佐藤健	シンポジウム	宮城県教育委員会・東北大学災害科学国際研究所	令和 7 年度未来へつなぐ学校と地域の安全フォーラム	20251119	20251119	東北大学萩ホール	仙台	日本	実行委員	IRIDeS 主催・共同主催
佐藤翔輔	ワークショップ	若林区役所	令和 7 年度　若林区役所業務の学び会「震災を語り継ぐ	20251119	20251119	若林区役所	仙台	日本	コーディネーター	その他の機関の主催
井内加奈子	講演会	Tohoku University (IRIDeS, SyDE, GP-RSS)	DRM Colloquium 特別講演会 (DRM コロキウム 第 9 回)	20251121	20251121	Tohoku University	Sendai	Japan	企画運営	IRIDeS 主催・共同主催

教員名	種　別	主催団体名・運営団体名等	イベント名称	開催期間 開始年月	開催期間 終了年月	会　場	開催都市名	開催国名	担当等	関与形態
佐藤健	セミナー	宮城県	女性防災指導員等交流セミナー	20251126	20251126	宮城県庁	仙台	日本	運営委員	IRIDeS 主催・共同主催
石川美希	ワークショップ	東北大学 DEI 推進センター DEI Lounge EVENT	聴覚障害のバリアをこえて、つながろう -Let’s enjoy communication!	20251126	20251126	東北大学	仙台	日本	講師	その他の機関の主催
小野裕一	シンポジウム	仙台市、仙台市教育委員会、宮城県、宮城県教育委員会、東北大学災害科学国際研究所、外務省、国連防災機関（UNDRR）神戸事務所	「世界津波の日」2025 高校生サミット in仙台	20251127	20251128	災害科学国際研究所他	仙台	日本	Organizer	IRIDeS 主催・共同主催
森口周二	ワークショップ	Yonsei University	Japan-Korea-Taiwan Infrastructure Systems Graduate Student Workshop	20251128	20251128	National Taiwan University	台北市	韓国	運営委員	その他の機関の主催
佐々木宏之	セミナー	東北大学病院 東北大学災害科学国際研究所	コンダクター型災害保健医療人材養成プログラム「災害科学概論」	20251129	20251129	東北大学災害科学国際研究所	仙台市	日本	運営委員	IRIDeS 主催・共同主催
佐藤翔輔	セミナー	宮城県復興支援・伝承課，東北大学災害科学国際研究所	第 21 回 3.11 学びなおし塾	20251207	20251207	みやぎ東日本大震災津波伝承館	石巻	日本	オーガナイザー	IRIDeS 共催
佐藤翔輔	ワークショップ	気仙沼市，東北大学災害科学国際研究所	気仙沼市自主防災組織連絡協議会・令和 7 年度第 2 回「防災研修会」および令和 7 年度第 3 回 KBL カレッジ	20251207	20251207	気仙沼市役所	気仙沼	日本	オーガナイザー	IRIDeS 共催
佐藤翔輔	セミナー	東北大学災害科学国際研究所	令和 7 年 12 月 8 日青森県東方沖の地震・津波に関する速報会	20251210	20251210	オンライン	仙台	日本	運営メンバー	IRIDeS 主催・共同主催
中鉢奈津子	その他	東北大学災害科学国際研究所	令和 7 年 12 月 8 日青森県東方沖の地震・津波に関する速報会	20251210	20251210	オンライン	仙台	日本	運営支援	IRIDeS 主催・共同主催
奥村誠	研究会	都市間交通ネットワーク基盤研究 (A) 研究グループ	都市間交通に関する研究会	20251212	20251214	奥州秋保温泉「蘭亭」	仙台市	日本	代表主催者	
原裕太	ワークショップ	東北大学附置研究所・センター連携体	第 15 回東北大学若手アンサンブルワークショップ	20251212	20251212	東北大学片平さくらホール	仙台	日本	運営委員	
佐藤健	その他	宮城県教育委員会	令和 7 年度みやぎ防災ジュニアリーダー養成研修会	20251213	20251213	東北大学災害科学国際研究所	仙台	日本	講師	IRIDeS 共催
佐藤健	その他	宮城県教育委員会	令和 7 年度みやぎ防災ジュニアリーダー養成研修会	20251214	20251214	大崎生涯センターパレットおおさき	仙台	日本	講師	IRIDeS 共催
ゲルスタ・ユリア	ワークショップ	IRIDeS, Tohoku University	Disaster Memory Studies Workshop: Sites of Post-Disaster Memory	20251218	20251218	IRIDeS, Tohoku University	Sendai	Japan	運営長	IRIDeS 主催・共同主催
佐藤翔輔	シンポジウム	栗駒山麓ジオパーク推進協議会	栗駒山麓ジオパーク学習交流会 2025	20251219	20251219	栗原文化会館	栗原	日本	オーガナイザー	その他の機関の主催
柴山明寛	シンポジウム	災害科学国際研究所，国立国会図書館	令和 7 年度東日本大震災アーカイブシンポジウム	20260111	20260111	災害科学国際研究所	仙台市	日本	実行委員長	IRIDeS 主催・共同主催
佐藤翔輔	セミナー	宮城県復興支援・伝承課，東北大学災害科学国際研究所	第 21 回知りたいみやぎ復興の知恵	20260111	20260111	みやぎ東日本大震災津波伝承館	石巻	日本	オーガナイザー	IRIDeS 共催
ゲルスタ・ユリア	セミナー	School of Engineering, Tohoku University	Tohoku University Engineering Short Program. BOSAI: Disasters and Disaster Mitigation in Japan	20260114	20260114	IRIDeS, Tohoku University	Sendai	Japan		
佐藤翔輔	シンポジウム	気仙沼市，東北大学災害科学国際研究所	第 10 回 気仙沼市防災フォーラム	20260121	20260121	気仙沼中央公民館	気仙沼	日本	オーガナイザー	IRIDeS 共催
佐々木宏之	セミナー	東北大学病院 東北大学災害科学国際研究所	コンダクター型災害保健医療人材養成プログラム「ロジスティックスサポート実習」	20260124	20260125	東北大学災害科学国際研究所	仙台市	日本	運営委員	IRIDeS 主催・共同主催
佐藤翔輔	シンポジウム	石巻市震災伝承推進室，いしのまき防災・震災伝承コミュニティ	第 3 回石巻防災・震災伝承のつどい	20260125	20260125	マルホンまきあーとテラス	石巻	日本	オーガナイザー	その他の機関の主催
佐藤健	その他	石巻市教育委員会	第 9 回石巻市復興･防災マップコンクール	20260127	20260127	石巻市役所防災センター	石巻	日本	審査員	IRIDeS 共催
佐藤翔輔	その他	内閣府	内閣府防災スペシャリスト養成研修（有明の丘）「災害への備え」	20260128	20260128	有明の丘基幹的広域防災拠点施設	東京	日本	コーディネーター	その他の機関の主催
佐藤翔輔	セミナー	宮城県復興支援・伝承課，東北大学災害科学国際研究所	第 22 回 3.11 学びなおし塾	20260201	20260201	みやぎ東日本大震災津波伝承館	石巻	日本	オーガナイザー	IRIDeS 共催
石川美希	セミナー	第 24 回 手話言語研究セミナー	ろう教員をとりまく現状と、子どもと通じ合うための手話	20260201	20260201	福岡市市民福祉プラザ（ふくふくプラザ）	福岡	日本	講師	その他の機関の主催
マリ・エリザベス	ワークショップ	IRIDeS, Tohoku University	Green placemaking workshop	20260204	20260203	IRIDeS	仙台	日本	議長	IRIDeS 主催・共同主催
マリ・エリザベス	ワークショップ	IRIDeS, Tohoku University	Research Workshop: Three Years After the 2023 Kahramanmaraş Earthquakes	20260208	20260208	IRIDeS	仙台	日本	議長	IRIDeS 協賛・資金提供
ゲルスタ・ユリア	シンポジウム	IRIDeS, Tohoku University	絵本･紙芝居･漫画: 災害を伝えるメディアの力	20260210	20260210	IRIDeS, Tohoku University; Online	Sendai	Japan	運営委員	IRIDeS 主催・共同主催
マリ・エリザベス	ワークショップ	IRIDeS, Tohoku University	Picture book workshop	20260210	20260210	IRIDeS	仙台	日本	議長	IRIDeS 協賛・資金提供
今村文彦、福島洋ほか	シンポジウム	東北大学（グリーン未来創造機構、災害科学国際研究所）/ 読売新聞社 / 一般財団法人国土技術研究センター / 一般財団法人 3.11 伝承ロード推進機構	東日本大震災 15 年　復興・創生シンポジウム「他人事から自分事へ　ー東日本大震災から 15 年、迫りくる巨大地震に私ができることー」	20260213	20260213	イイノホール	東京	日本	実行委員長、運営・モデレーター	IRIDeS 主催・共同主催
佐藤翔輔	シンポジウム	公益財団法人イオン環境財団	第 3 回イオン SATOYAMA フォーラム	20260218	20260218	国連大学	東京	日本	モデレーター	IRIDeS 協力
佐藤翔輔	その他	内閣府	内閣府防災スペシャリスト養成研修（有明の丘）「災害への備え」	20260219	20260219	有明の丘基幹的広域防災拠点施設	東京	日本	コーディネーター	その他の機関の主催
佐藤健	セミナー	せんだい女性防災リーダーネットワーク	女性と防災に関する学びのセミナー	20260220	20260220	災害科学国際研究所	仙台	日本	事務局	その他の機関の主催
佐藤健	セミナー	せんだい女性防災リーダーネットワーク	コミュニティ防災に関する国際交流セミナー	20260220	20260220	災害科学国際研究所	仙台	日本	事務局	その他の機関の主催
福島洋	研究会	防災行動変容プロジェクト・東北大学災害科学国際研究所防災コミニケーション学分野・東北大学災害科学コアリサーチクラスター	第四回防災コミュニケーション学勉強会「防災と保健の融合に関するセミナー保健師がつなぐ地域と防災～住民の防災行動を促すために～」	20260227	20260227	東北大学災害科学国際研究所＋オンライン	仙台市	日本	運営	その他の機関の主催
原裕太	シンポジウム	東北大学 2025 年度災害レジリエンス共創研究プロジェクト	能登らしい暮らし・文化の復興の現局面と次のフェーズを考える ～令和6年能登半島地震から2年にあたって～	20260227	20260227	東北大学災害科学国際研究所	仙台	日本	主催・企画、運営、司会進行、趣旨説明	IRIDeS 共催

教員名	種　別	主催団体名・運営団体名等	イベント名称	開催期間 開始年月	開催期間 終了年月	会　場	開催都市名	開催国名	担当等	関与形態
佐藤翔輔	セミナー	宮城県復興支援・伝承課，東北大学災害科学国際研究所	第 22 回知りたいみやぎ復興の知恵	20260301	20260301	みやぎ東日本大震災津波伝承館	石巻	日本	オーガナイザー	IRIDeS 共催
ゲルスタ・ユリア	講演会	Hotel Kanyo	若者語り部セッション . 全国被災地語り部シンポジウム	20260301	20260301	Hotel Kanyo	Minamisanriku	Japan	運営委員	
ゲルスタ・ユリア	講演会	Hotel Kanyo	Japan's memory of difficult pasts in international perspective「日本の困難な記憶と記録を国際的な視点から考える」全国被災地語り部シンポジウム	20260301	20260301	Hotel Kanyo	Minamisanriku	Japan	運営委員	
佐藤健	その他	大阪教育大学	第 6 回学校安全推進センターフォーラム	20260306	20260306	大阪教育大学	大阪	日本	運営委員	その他の機関の主催
ゲルスタ・ユリア	セミナー	IRIDeS, Tohoku University; Bologna University	Winter School on “Bōsai and climate change: Learning from disaster experiences for disaster risk reduction in Japan and Italy”	20260306	20260315	IRIDeS, Tohoku University	Sendai, Ishinomaki, Natori, Namie, Futaba	Japan	日本側の運営長	IRIDeS 主催・共同主催
柴山明寛	シンポジウム	いわき市，災害科学国際研究所	東日本大震災語りべシンポジウム「かたりつぎ～朗読と音楽のとき～ in いわき」	20260307	20260307	いわき芸術文化交流館アリオスアルパイン大ホール	いわき市	日本	実行委員長	IRIDeS 主催・共同主催
佐藤翔輔	ワークショップ	国土交通省	第 2 回 NIPPON 防災資産の深化を考える会	20260312	20260312	広島豪雨災害伝承館	広島	日本	オーガナイザー	その他の機関の主催
村尾修、佐藤翔輔、広報室（今野、中鉢）ほか	シンポジウム	災害科学国際研究所	仙台防災未来フォーラム 2026 災害科学国際研究所 東日本大震災メモリアルシンポジウム	20260314	20260314	仙台国際センター	仙台	日本	運営委員長、運営委員、運営支援	IRIDeS 共催
佐藤翔輔	ワークショップ	震災伝承みやぎコンソーシアム（宮城県復興支援･伝承課）	震災 15 年民間，研究者，企業の立場でどう活動してきたかー震災 15 年と防災・震災伝承をふりかえるー（仙台防災未来フォーラム 2026）	20260314	20260314	仙台国際センター	仙台	日本	オーガナイザー	その他の機関の主催
佐藤翔輔	ワークショップ	気仙沼市 東日本大震災遺構・伝承館	けせんぬま伝承・防災文化祭 2026	20260314	20260315	気仙沼市 東日本大震災遺構・伝承館	気仙沼	日本	オーガナイザー	IRIDeS 後援・名義後援
ゲルスタ・ユリア	その他	IRIDeS, Tohoku University; Bologna University	Poster Session at the Bosai Mirai Forum on “Bōsai and climate change: Learning from disaster experiences for disaster risk reduction in Japan and Italy”	20260314	20260314	International Center	Sendai	Japan	日本側の運営長	IRIDeS 主催・共同主催
災害科学国際研究所	シンポジウム	仙台市	仙台防災未来フォーラム 2026	20260314	20260314	仙台国際センター	仙台市	日本	登壇者	IRIDeS 後援・名義後援
江川新一、越村俊一、奥村誠、小野裕一、江口清貴、堀合紳弥、武田百合子	シンポジウム	災害レジリエンス共創センター	仙台防災未来フォーラム 2026 災害レジリエンス共創センターシンポジウム「災害レジリエンス共創にむけたデジタル・トランスフォーメーション」	20260314	20260314	仙台国際センター	仙台市	日本	運営委員	IRIDeS 共催
猪狩暢子	その他	仙台市	仙台防災未来フォーラム	20260314	20260314	仙台国際センター	仙台	日本	事務局	IRIDeS 主催・共同主催
佐藤翔輔	ワークショップ	気仙沼市 東日本大震災遺構・伝承館	特別フォーラム「震災 15 年。いま、伝えたい感謝の言葉」	20260315	20260315	気仙沼市 東日本大震災遺構・伝承館	気仙沼	日本	オーガナイザー	IRIDeS 後援・名義後援
ゲルスタ・ユリア	ワークショップ	IRIDeS, Tohoku University	Challenges in Disaster Education	20260316	20260318	IRIDeS, Arahama	Sendai	Japan	運営長	IRIDeS 主催・共同主催
小野裕一、ゲルスタ・ユリア、石川美希、猪狩暢子、髙橋利恵子	シンポジウム	東北大学災害科学国際研究所 上廣防災学寄附研究部門、一般財団法人世界防災フォーラム	東日本大震災から 15 年とこれからの Bosai	20260321	20260321	大手町フィナンシャルシティカンファレンスセンター	東京	日本	オーガナイザー、講師、事務局、運営委員	IRIDeS 主催・共同主催
ゲルスタ・ユリア	セミナー	IRIDeS, Tohoku University, Washington University	Washington University Winter School on Sustainable Foodways and Disaster Recovery	20260323	20260323	IRIDeS, Tohoku University, Tokyo, Ishinomaki	Sendai	Japan	企画・運営・発表	IRIDeS 協力
森口周二	ワークショップ	Shandong University	2nd International Workshop of Geomechanics Alliance In Asia	20260327	20260330	Shandong University	済南市	中国	運営委員	その他の機関の主催
児玉栄一	講演会	日本細菌学会との共催	市民公開講座「地球大変革時代の感染症に備える超高齢者社会日本への課題」	20260328	20260328	仙台サンプラザホテル	宮城県仙台市	日本	幹事・運営	IRIDeS 共催

５．３．G. 産業財産権

氏　名	産業財産権の種類	産業財産権名(日本語)	発明者/考案者/創作者(日本語)	出願番号	出願日	出願人(機関)
林宏典	patent_right	カルバペネム系抗生物質耐性細菌をカルバペネム系抗生物質感受性細菌転換させる薬剤、並びに、その使用	林宏典	特願63/848,264	2025/7/22	東北大学
千田浩一	patent_right	放射線防護具	千田浩一	特願2026-60276	2026/3/31	東北大学

5. 3. H. 受賞

（受賞日順）

受賞年月		賞 名	受賞者・グループ	タイトル	授与機関
2025/4/1	個人	地盤工学会東北支部賞（貢献的業績部門）	森口周二		地盤工学会東北支部
2025/5/1	個人	(一社)全日本土地区画整理士会40周年記念表彰優秀論文賞	姥浦道生	河川水害からの復興土地区画整理事業	(一社)全日本土地区画整理士会
2025/5/1	グループ	日本都市計画学会年間優秀論文賞	庄司有希子, 荒木笙子, 姥浦道生	福島原発被災地域における建築動向と土地利用変化に関する研究 先行的に避難指示解除した楢葉町を事例として	日本都市計画学会
2025/6/1	個人	JAPA Best Article 2024 Award	井内加奈子	Adaptability of Low-Income Communities in Postdisaster Relocation: A Long-Term Study Following Typhoon Haiyan	Journal of American Planning Association
2025/6/1	グループ	CDRI Fellowship Award	Erick Mas, Luis Moya, Shunichi Koshimura	Inception of a Global Tsunami Evacuation Model (GTEM) for Practitioners at Local Governments in Tsunami-Prone Areas	Coalition for Disaster Resilient Infrastructure
2025/7/1	個人	Kamide Lecture Award	唐啓賢		Asia Oceania Geosciences Society
2025/9/1	個人	World's Top 2% Scientists, 2025	野村周平		Stanford University / Elsevier
2025/10/1	グループ	2025年度日本地震学会論文賞	武村俊介, 濱田洋平, 奥田花也, 岡田悠太郎, 大久保蔵馬, 悪原岳, 野田朱美, 利根川貴志	A review of shallow slow earthquakes along the Nankai Trough. Earth, Planets and Space, 75, 164	日本地震学会
2025/10/1	グループ	優秀演題発表賞	和泉哉太、千田浩一、鈴木正敏	Dynamics of co-localized foci of phosphorylated H2AX and 53BP1 induced by ionizing radiation	日本放射線影響学会
2025/12/1	グループ	研究奨励賞	高平咲希, 千田浩一, 稲葉洋平	X線透視下での気管支鏡検査における医師の水晶体被ばくの評価	日本放射線安全管理学会
2025/12/1	グループ	JDR Award for the Most Downloaded Article 2025	桜井愛子, 佐藤 健	Promoting Education for Disaster Resilience and the Sendai Framework for Disaster Risk Reduction	Journal of Disaster Research
2026/1/31	個人	2026年 防災・減災 ×サスティナビリティ大賞 奨励賞	古屋貴司	「地域ライフケアステーション」の社会技術デザイン	一般社団法人減災サステナブル技術協会
2026/3/1	グループ	研究会奨励賞	佐藤 拓、Jiaxin Li、和泉 哉汰、本宮 響太郎、山下 琢磨、木野 康志、高橋 温、篠田 壽、遠藤 暁、福本 学、鈴木 正敏、千田 浩一	航空機モニタリングデータを取り入れた野生ニホンザルの外部被ばく線量評価（ポスター）	「環境放射能」研究会
2026/3/1	グループ	研究会奨励賞	和泉 哉汰、佐藤 拓、Jiaxin Li、本宮 響太郎、山下 琢磨、木野 康志、福本 学、笹谷 めぐみ、鈴木 正敏、千田 浩一	環境レベルに近づけた低濃度トリチウム水の持続曝露による細胞影響解析（口頭）	「環境放射能」研究会
2026/3/1	グループ	Radiographer EPOS (Poster) Awards: Cum Laude	Satoru Kawauchi, Koichi Chida, Yusuke Hamada, Takashi Moritake, Wataro Tsuruta	Analysis of Peak Skin Dose in Neuroendovascular Therapy of Unruptured Aneurysms	European Congress of Radiology (ECR) 2026

5. 3. I. 委員

（部門・分野順）

氏 名	年月 (From)	年月 (To)	委員名(日本語)	団体名	団体区分
木戸元之	Apr-19	現在	協議会委員	地震・火山噴火予知研究協議会	学協会
木戸元之	Apr-21	現在	研究船運航部会委員	東京大学大気海洋研究所研究船共同利用運営委員会	学協会
木戸元之	Apr-21	現在	企画部推進室員	地震・火山噴火予知研究協議会	学協会
木戸元之	Apr-24	現在	代議員	日本地震学会	学協会
木戸元之	May-25	現在	評議員	日本測地学会	学協会
富田 史章	Jun-22	現在	編集事務	日本測地学会	
富田 史章	May-23	現在	海洋底地球科学フォーカスグループ 委員	日本地球惑星科学連合	学協会
富田 史章	Jun-23	May-25	第50期・第51期評議員	日本測地学会	学協会
富田 史章	Nov-24	Jun-25	JpGU2025 地殻変動セッション共同コンビーナ	日本地球惑星科学連合	学協会
富田 史章	Nov-25	Jun-26	JpGU-AGU2026 地殻変動セッション代表コンビーナ	日本地球惑星科学連合	学協会
富田 史章	Jan-26	現在	編集委員	Earth, Planets and Space誌	その他
遠田晋次	May-24	現在	理事・副会長	日本活断層学会	
遠田晋次	May-25	現在	会長	地震予知連絡会	その他
福島洋	Dec-18	Nov-25	業務執行理事	一般財団法人世界防災フォーラム	
福島洋	Oct-19	現在	運営委員会 運営委員	東北大学変動地球共生学卓越大学院プログラム	
福島洋	Apr-24	Mar-26	代議員	日本地球惑星連合	
福島洋	Apr-24	Mar-26	代議員	日本地震学会	
高橋尚志	Jul-23	現在	編集委員	東北地理学会	学協会
高橋尚志	Sep-24	現在	特集号編集委員	日本第四紀学会	学協会
高橋尚志	Oct-24	現在	選挙管理委員長	日本第四紀学会	学協会
大野晋	Apr-04	現在	委員	日本建築学会地盤震動小委員会	学協会
大野晋	Apr-13	現在	委員	日本建築学会強震観測小委員会	学協会
森口周二	Apr-12	現在	TC105国内委員会幹事長	地盤工学会	学協会
森口周二	Apr-13	現在	幹事	地盤工学会東北支部	学協会
森口周二	Apr-18	現在	多元災害シミュレーション研究会主査	日本計算工学会	学協会
森口周二	Apr-20	現在	Technical Committee 105 (Geomechanics from Micro to Macro), Nominated Member	International 学協会 for Soil Mechanics and Geotechnical Engineering	学協会
森口周二	Jun-20	現在	災害連絡会議地方連絡委員(宮城県)	地盤工学会	学協会
森口周二	Apr-22	現在	東北の砂防を考えるアドバイザー会議委員	国土交通省東北地方整備局	政府
森口周二	Jun-23	現在	理事, 東北支部支部長	日本地すべり学会	学協会
森口周二	Jun-24	現在	応用力学委員会土木分野の数値解析におけるに関するV&Vに関する小委員会委員長	土木学会	学協会
森口周二	Apr-25	現在	仙台市宅地保全等審議会委員	仙台市	自治体
野村怜佳	Apr-24	現在	多元災害シミュレーション研究会 委員	日本計算工学会	学協会
今村文彦	Oct-99	現在	原子力土木委員会津波評価部会委員	土木学会	学協会
今村文彦	Oct-02	現在	council member	International Society for the Prevention and Mitigation of Natural Hazards	その他
今村文彦	Mar-07	現在	Journal of earthquake and tsunami 編集委員会委員	World Scientific	その他
今村文彦	Apr-13	現在	みなと気仙沼大使	気仙沼市	自治体
今村文彦	Mar-23	現在	復興推進委員会委員長	復興庁	政府
今村文彦	Jun-23	Jun-25	理事・副会長	土木学会	学協会
今村文彦	Jul-23	現在	国土交通省国立研究開発法人審議会委員	国土交通省	政府
今村文彦	Apr-24	現在	防災・原子力学術会議会長	静岡県	自治体
今村文彦	Aug-24	Mar-26	日本ジオパーク委員会委員	日本ジオパーク委員会	その他
今村文彦	Aug-24	現在	(仮称)国際センター駅北地区複合施設管理運営アドバイザー	仙台市	自治体
今村文彦	Sep-24	現在	南海トラフ地震対策検討会議	三重県	自治体
今村文彦	Oct-24	現在	仙台市震災対策アクションプランアドバイザー	仙台市	自治体
今村文彦	Jan-25	現在	地震被害想定検討委員会	高知県	自治体
菅原大助	Apr-16	現在	原子力土木委員会津波評価小委員会	土木学会	学協会
菅原大助	Apr-24	現在	地震・津波調査検討WG	富山県	自治体
サッパシー アナワット	Apr-24	現在	津波評価小委員会(土木学会・原子力土木委員会)		

サッパシー アナワット	Apr-25	Mar-28	東京電力柏崎刈羽原子力発電所津波SSHACプロジェクト		
越村俊一	Apr-06	現在	津波防災コース 講師	国立研究開発法人 建築研究所 国際地震工学センター	政府
越村俊一	Jul-11	現在	委員	Tsunami Commission, the International Union of Geodesy and Geophysics (IUGG)	学協会
越村俊一	2015	現在	Co-chair of Tsunami WG	Sentinel Asia	学協会
越村俊一	2015	現在	リバーカウンセラー(阿武隈川下流)	国土交通省 東北地方整備局	政府
越村俊一	Apr-15	現在	専門委員(津波評価部会)	文部科学省地震調査研究推進本部	政府
越村俊一	Nov-15	現在	茨城県原子力安全対策委員会 委員	茨城県	自治体
越村俊一	Jun-16	現在	海岸・津波防災地域づくり研修 講師	国土交通省 国土交通大学校	政府
越村俊一	Apr-17	現在	水害WG 委員	国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構 (JAXA)	政府
越村俊一	Sep-17	現在	大規模災害衛星画像解析支援チーム 委員	国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構 (JAXA)	政府
越村俊一	Jul-18	現在	津波予測技術に関する勉強会 委員	気象庁	政府
越村俊一	Apr-20	現在	東北地方整備局総合評価委員会 委員	国土交通省 東北地方整備局	政府
越村俊一	Aug-21	現在	委員	Disaster Risk Reduction (DRR) Working Group, Group on Earth Observations (GEO)	学協会
越村俊一	Aug-22	現在	Member of National Delegates, on behalf of Japan Association for Earthquake Engineering	International Association for Earthquake Engineering (IAEE)	学協会
越村俊一	Jun-22	現在	沿岸災害デジタルツイン研究小委員会 委員長	土木学会 海岸工学委員会	学協会
越村俊一	Jun-22	現在	Editor-in-Chief	Journal of Disaster Research	学協会
越村俊一	Dec-22	現在	鹿児島県原子力安全・避難計画等防災専門委員会 委員	鹿児島県	自治体
越村俊一	Apr-23	現在	理事	日本自然災害学会	学協会
越村俊一	Apr-23	現在	政策評価に関する有識者会議 委員	文部科学省	政府
越村俊一	Jun-23	現在	岩手県復興防災DX研究会 委員	岩手県	自治体
越村俊一	Nov-23	現在	防災研究の中長期的なビジョン策定検討に係る有識者会議 委員	国立研究開発法人 防災科学技術研究所	政府
越村俊一	Apr-24	現在	宮城県行政評価委員会 委員	宮城県	自治体
越村俊一	Mar-26	現在	Member, Working Group on the Integration of AI into Tsunami Early Warning Systems (AI-TEWS)	UNESCO-IOC Tsunami Resilience Section	その他
越村俊一	Jul-25	Dec-25	DXによる火山噴火に起因する土砂災害対策支援システム検討技術審査委員会 委員	東京都建設局	自治体
MAS ERICK	Jun-22	現在	海岸工学委員会, 沿岸災害デジタルツイン研究小委員会	土木学会	学協会
水谷歩	Apr-25	現在	「地震」編集委員	日本地震学会	学協会
蝦名裕一	Jun-15	現在	理事	NPO法人宮城歴史資料保全ネットワーク	その他
蝦名裕一	Sep-18	現在	編集・出版委員	歴史地震研究会	学協会
蝦名裕一	Sep-23	現在	副会長	歴史地震研究会	学協会
柴山明寛	Apr-10		委員	日本自然災害学会編集員会委員	学協会
柴山明寛	Apr-17	現在	有識者	宮城県多賀城市防災会議	自治体
柴山明寛	Apr-17	現在	委員	高田松原津波復興祈念公園有識者懇談会	自治体
柴山明寛	Apr-18	現在	委員	岩手県大船渡市防災観光交流センターアドバイザリーボード	自治体
柴山明寛	Apr-19	現在	学会誌編集委員会	デジタルアーカイブ学会	
柴山明寛	Sep-19	現在	委員	岩手県東日本大震災津波伝承館運営協議会	自治体
柴山明寛	Apr-20	現在	副委員長	宮城県丸森町復興推進委員会	
柴山明寛	Apr-20	現在	6号委員(データベース)	京都大学防災研究所自然災害研究協議会	学協会
柴山明寛	Apr-21	現在	委員	宮城県未来へつなぐ学校と地域の安全フォーラム実行委員会	自治体
柴山明寛	Apr-21	現在	委員	宮城県学校防災アドバイザー連絡協議会	自治体
柴山明寛	Apr-22	現在	委員	宮城県丸森町防災ステーション検討委員会	自治体
柴山明寛	Apr-22	現在	委員	宮城県多賀城市都市計画審議会	自治体
柴山明寛	Mar-22	現在	会長	岩手県大船渡市防災学習ネットワーク運営協議会	自治体
柴山明寛	Jun-23	Jun-25	常議員(総務企画)	日本建築学会東北支部	学協会
柴山明寛	Aug-23	現在	副委員長	宮城県丸森町防災ステーション検討委員会部会	自治体
柴山明寛	Apr-24	現在	事務局長	自然災害研究協議会東北地区部会及び日本自然災害学会東北支部	学協会
柴山明寛	Jun-25	現在	委員	山形県災害に強い県づくりに向けた有識者会議	自治体
柴山明寛	Jun-25	現在	理事	デジタルアーカイブ学会	学協会

柴山明寛	Jun-25	現在	委員	宮城県多賀城高等学校スーパーサイエンスハイスクール運営指導委員会	その他
柴山明寛	Oct-25	現在	委員	小名浜港周辺エリアにおける防災・交通対策協議会	自治体
柴山明寛	Dec-25	現在	座長	岩手県共助による防災のあり方に関する検討会	自治体
佐藤大介	Jul-19	現在	副理事長	NPO法人宮城歴史資料保全ネットワーク	その他
佐藤大介	Apr-22	現在	名取市史近世史部会長	名取市教育委員会市史編さん室	自治体
佐藤大介	Apr-24	現在	資料収集専門部会委員	石巻市博物館	自治体
佐藤大介	Apr-24	現在	文化財保護審議委員	宮城県教育委員会	自治体
佐藤大介	Apr-24	現在	協議会委員	石巻市博物館	
佐藤大介	May-25	現在	協議会資料収集部会長	石巻市博物館	自治体
邑本俊亮	Jul-09	現在	代議員	公益社団法人日本心理学会	学協会
邑本俊亮	Jun-23	現在	理事	日本心理学会	
村尾修	May-01	現在	理事	地域安全学会	学協会
村尾修	Apr-02	現在	川崎市防災会議専門委員(川崎市防災対策検討委員会)		その他
村尾修	May-11	現在	幹事	地域安全学会 東日本大震災特別委員会	学協会
村尾修	Apr-18	現在	Chair	The Association of Pacific Rim Unibersities (APRU) Multi-Hazards Program	
村尾修	2019	現在	Editorial Board Member	Progress in Disaster Science	学協会
奥村誠	Jul-15	現在	河川技術評価委員会	国土交通省	政府
奥村誠	Jul-17	現在	地域公共交通会議 委員	気仙沼市	自治体
奥村誠	Jul-18	現在	都市計画審議会 会長	福島県伊達市	自治体
奥村誠	Apr-19	現在	大規模小売店舗立地審議会	山形県	自治体
奥村誠	Jul-19	現在	市政アドバイザー	福島県伊達市	自治体
奥村誠	Jul-21	現在	青葉通駅前エリアのあり方検討協議会	仙台市	その他
奥村誠	Apr-24	現在	入札監視委員会	国土交通省東北地方整備局	政府
奥村誠	Jul-24	現在	第8回全国幹線旅客順流動調査委員会 委員	国土交通省	政府
井内加奈子	Apr-24	Mar-26	地域のレジリエンス強化におけるパートナーシップのあり方検討会委員	環境省	政府
姥浦道生	Apr-04		委員	日本建築学会 土地利用小委員会	学協会
姥浦道生	Sep-05		委員	環境科学会 年会実行委員会	学協会
姥浦道生	Dec-06		委員	日本建築学会 学会120周年近畿支部写真・絵画コンクールWG	学協会
姥浦道生	Aug-08		副委員長	日本都市計画学会 国際WS実行委員会	学協会
姥浦道生	2009	現在	コンパクトシティ推進研究会 委員	国土交通省 東北地方整備局	
姥浦道生	Oct-10	現在	講師	国土交通大学校	政府
姥浦道生	Sep-11		委員	日本建築学会 東日本大震災調査復興支援会議 復旧・復興支援部会(第二次)	学協会
姥浦道生	Apr-12		復興まちづくり推進会議 市街地WG座長	石巻市	自治体
姥浦道生	Jan-12		委員	日本建築学会 復興まちづくりと減災都市設計・計画研究提言WG	学協会
姥浦道生	Apr-14	現在	都市計画審議会 委員	塩竈市	自治体
姥浦道生	Jun-15	Jun-25	上釜南部地区被災市街地復興土地区画整理審議会 委員、会長	石巻市	自治体
姥浦道生	May-16		これからの都市開発・再開発についての研究会 委員	公益社団法人全国市街地再開発協会	その他
姥浦道生	Feb-18		対流型国土に向けたジオ・エデュケーション研究会 委員	国土交通省	政府
姥浦道生	Dec-18		定禅寺通活性化検討会 アドバイザー		その他
姥浦道生	Dec-18	現在	旧北上川堤防利活用協議会 副座長	石巻市	自治体
姥浦道生	Aug-19	現在	会津若松駅前周辺まちづくり検討委員会 委員	会津若松市	自治体
姥浦道生	Jul-19	現在	北上市都市計画マスタープラン策定専門家会議 副座長	北上市	自治体
姥浦道生	Jun-21	現在	拠点形成プロジェクト専門委員会 委員	北上市	自治体
姥浦道生	Jun-21	現在	都市計画審議会 委員	山形市	自治体
姥浦道生	Jun-21	現在	青葉通駅前エリアのあり方検討協議会 委員	仙台市	自治体
姥浦道生	Dec-21	現在	国有財産東北地方審議会 委員	東北財務局	政府
姥浦道生	Apr-22	現在	東北圏広域地方計画策定に関する有識者懇談会 委員	国土交通省東北地方整備局	政府
姥浦道生	Apr-22	Mar-26	会長	仙台市都市計画審議会	
姥浦道生	Mar-22		復興事業評価会議 会長	女川町	自治体
姥浦道生	May-22	Mar-27	総合計画推進会議 委員	石巻市	自治体
姥浦道生	Jul-22	現在	公共交通活性化協議会 委員長	石巻市	自治体

姥浦道生	Dec-22		矢野目地区まちづくり検討会 アドバイザー	岩沼市	自治体
姥浦道生	Dec-23	Mar-26	都市計画マスタープラン検討委員会 委員	富山市	自治体
姥浦道生	Apr-24	現在	副支部長	日本都市計画学会東北支部	
姥浦道生	Aug-24	現在	総合計画審議会 会長	石巻市	自治体
姥浦道生	Sep-24	Mar-26	青森県都市計画マスタープラン検討委員会 委員	青森県	自治体
姥浦道生	Sep-24	現在	委員	珠洲市復興計画作業監理委員	政府
姥浦道生	Nov-24	現在	二段階一般競争入札に係る審査委員会 会長	東北財務局	政府
姥浦道生	May-25	Mar-26	事前復興まちづくり計画あり方勉強会 委員	国土交通省	政府
姥浦道生	Oct-25	Sep-27	東京都住宅政策審議会 委員	東京都	自治体
姥浦道生	Oct-25	Sep-27	都市計画審議会 委員	富山市	自治体
姥浦道生	Oct-25	Sep-27	委員	富山市都市計画審議会	
姥浦道生	Nov-25	Nov-26	仙台市役所新本庁舎低層部等運営事業者選定委員会 会長	仙台市	自治体
姥浦道生	Feb-26	Jan-28	大槌町立地適正化計画策定委員会 委員	大槌町	自治体
姥浦道生	Feb-26	現在	会長	陸前高田市立地適正化計画策定委員会	
姥浦道生	Feb-26	Mar-27	委員	国土交通省「都市交通施策の再整理に関する検討会・都市交通軸ワーキンググループ」	
姥浦道生	Feb-26	Mar-35	委員長	輪島市復興まちづくり計画フォローアップ委員会	
姥浦道生	Mar-26	現在	委員	国土交通省「国土審議会推進部会・専門委員会」	
御手洗潤	Aug-23	現在	川俣ふるさと大使	福島県川俣町	自治体
御手洗潤	Oct-23	現在	杜の都の環境をつくる審議会	仙台市	自治体
御手洗潤	Jun-24	Mar-26	顧問	宮城県ボッチャ協会	その他
御手洗潤	Jul-24	Mar-26	富岡町まちづくり計画（案）の作成に係る まちづくりワークショップ 学識経験者	公益社団法人福島相双復興推進機構	その他
御手洗潤	Oct-24	Mar-26	小高区将来イメージの作成に係る まちづくりワークショップ 学識経験者	公益社団法人福島相双復興推進機構	その他
御手洗潤	Apr-25	現在	双葉町復興まちづくり計画（第4次）有識者委員	福島県双葉町	
御手洗潤	Oct-25	Mar-26	普天間飛行場跡地利用計画策定検討会議	沖縄県・同県宜野湾市	自治体
平野勝也	Jun-03	現在	委員	土木学会 東北支部 選奨土木遺産選考委員会	学協会
平野勝也	2004	現在	東北地方整備局 景観評価の基本方針に基づく景観アドバイザー（2004-現在）	国土交通省	政府
平野勝也	2006	現在	平泉町 重要公共施設デザイン会議 委員長	平泉町	自治体
平野勝也	2006	現在	平泉町 景観形成審議会 委員	平泉町	自治体
平野勝也	2008	現在	東北地方整備局 道路計画研究会 座長	国土交通省	政府
平野勝也	2010	現在	東北地方整備局 最上川水系流域委員会専門小委員会 委員	国土交通省	政府
平野勝也	2014	現在	仙台市 建築審査会 委員	仙台市	自治体
平野勝也	2014	現在	行政評価委員会 大規模事業評価部会 委員	宮城県	自治体
平野勝也	2017	現在	平泉町空家等対策協議会 副会長	平泉町	自治体
平野勝也	2017	現在	選奨土木遺産委員会 委員	土木学会	学協会
平野勝也	Jun-17	Jun-25	研究企画委員会 幹事	土木学会	学協会
平野勝也	2018	現在	陸前高田市 景観審議会 会長	陸前高田市	自治体
平野勝也	2019	現在	東北地方整備局・岩手県・陸前高田市 高田松原津波復興祈念公園 高田松原津波復興祈念公園有識者懇談会 委員	国土交通省	政府
平野勝也	2020	現在	名取市 閖上ベイエリア協議会 委員	名取市	自治体
平野勝也	2020	現在	環境影響評価技術審査会 会長	宮城県	自治体
平野勝也	2021	現在	東北地方整備局 仙台河川国道事務所・丸森町 丸森地区河川防災ステーション整備・利活用検討委員会 委員	国土交通省	政府
平野勝也	2021	現在	女川町都市計画審議会 会長	女川町	自治体
平野勝也	2022	2025	土木計画学委員会・海岸工学委員会 沿岸まちづくり小委委員会 委員	土木学会	学協会
平野勝也	2022	現在	景観・デザイン委員会 委員兼幹事	土木学会	学協会
平野勝也	2023	現在	丸森町河川防災ステーション検討部会 部会長	丸森町	自治体
平野勝也	2025	現在	復興まちづくり有識者会議 委員	双葉町	自治体
平野勝也	2025	現在	双葉町復興町民委員会 委員長	双葉町	自治体
平野勝也	2025	現在	景観計画届出マニュアル策定に係る専門家会議 委員	女川町	自治体
平野勝也	2025	現在	景観計画改定作業部会 部会長	平泉町	自治体
平野勝也	2025	現在	河川防災ステーションフォローアップ会議 委員長	丸森町	自治体
平野勝也	Jun-25	現在	インフラメンテナンス＆マネジメントのためのオール土木学会とりくみ検討会 委員	土木学会	学協会

平野勝也	Jun-25	現在	研究企画委員会 幹事長	土木学会	学協会
平野勝也	Jun-25	現在	調査研究部門 代表幹事	土木学会	学協会
泉貴子	May-15	現在	Asia-Pacific Science and Technology Advisory Group (APSTAG)	United Nations Office for Disaster Risk Reduction (UNDRR)	
泉貴子	2017	現在	監事	【認定】特定非営利活動法人SEEDS Asia	
泉貴子	Jul-23	現在	防災科学技術委員会	文部科学省	
泉貴子	2025	現在	Scientific Council	France Priority Research Programs and Equipment (PEPR) on Risks and Disasters	
江川新一	Jan-15	現在	評議員	日本災害医学会	学協会
江川新一	Sep-16	現在	編集委員	Disaster Medicine and Public Health Preparedness	学協会
江川新一	Oct-18	May-25	WADEM 2022 Tokyo準備委員・プログラム委員長	World Association for Disaster and Emergency Medicine	学協会
江川新一	May-23	現在	編集委員	ASEAN Journal of Disasster Health Management (AJDHM)	
江川新一	Jan-24	Dec-25	編集長	Tohoku Journal of Experimental Medicine	
佐々木宏之	Dec-15	現在	災害医学のあり方委員会	日本災害医学会	学協会
佐々木宏之	Feb-16	現在	隊員	日本DMAT	政府
佐々木宏之	Feb-16	現在	評議員	日本災害医学会	学協会
佐々木宏之	May-17	現在	社会医学系専門医検討委員会	日本災害医学会	学協会
佐々木宏之	Jun-18	現在	隊員（統括）	日本DMAT	政府
佐々木宏之	Dec-18	現在	災害医療コーディネーター	宮城県	自治体
佐々木宏之	Sep-22	現在	学会主導研究委員会	日本災害医学会	学協会
佐々木宏之	Sep-23	現在	災害調査評価委員会	日本災害医学会	学協会
佐々木宏之	Sep-23	現在	BCP研修検討委員会	日本災害医学会	学協会
千田浩一	Apr-95	現在	査読委員	日本放射線技術学会	学協会
千田浩一	Apr-06	現在	評議員	日本放射線技術学会	学協会
千田浩一	Mar-05	現在	査読委員	American Journal of Roentgenology (American Roentgen Ray Society)	学協会
千田浩一	Apr-07	現在	編集委員	日本放射線技術学会	学協会
國井泰人	2015	現在	ブレインバンク委員会委員	日本神経病理学会	学協会
國井泰人	2015	現在	評議員	日本生物学的精神医学会	学協会
國井泰人	2019	現在	評議員	日本統合失調症学会	
國井泰人	2019	現在	学会誌編集委員会委員	日本生物学的精神医学会学会	学協会
國井泰人	May-20	現在	委員	日本精神神経学会災害支援委員会	
國井泰人	Jan-21	現在	特任連携会員	日本学術会議（第2部）臨床医学委員会・脳とこころ分科会	
國井泰人	Nov-22	現在	第36回日本総合病院精神医学会総会プログラム委員	日本総合病院精神医学会	
國井泰人	Dec-22	現在	DPAT統括者	宮城県	
國井泰人	Jul-23	現在	会長	NPO法人東北精神疾患死後脳・DNAバンク運営委員会	
國井泰人	Jul-23	現在	常任運営委員	NPO法人東北精神疾患死後脳・DNAバンク運営委員会	
國井泰人	Oct-23	現在	ブレインバンク委員会委員 委員長	日本生物学的精神医学会	
國井泰人	Apr-24	現在	評議員	東北精神神経学会	
國井泰人	May-24	現在	精神神経学雑誌編集委員会委員	日本精神神経学会精神神経学雑誌編集委員会委員	
國井泰人	Sep-25	現在	委員	日本精神神経学会精神医学研究推進委員会	
大類真嗣	Sep-20	現在	査読委員	日本社会精神医学会 日本社会精神医学会雑誌	学協会
大類真嗣	Jan-21	現在	編集委員	日本公衆衛生学会 日本公衆衛生雑誌	学協会
大類真嗣	Jun-21	現在	代議員	日本疫学会	学協会
大類真嗣	Jul-21	Jun-25	代議員	日本公衆衛生学会	学協会
大類真嗣	Oct-21	現在	委員	仙台市宮城野区 地域ケア会議・障害者自立支援協議会	自治体
大類真嗣	Nov-21	現在	委員	日本公衆衛生学会 広報/ e-ラーニング委員会	
大類真嗣	Dec-25	現在	委員	日本公衆衛生学会 災害・緊急時公衆衛生活動委員会	学協会
林宏典	Dec-23	Dec-25	代議員	エイズ学会	学協会
林宏典	Apr-25	現在	遺伝子組換え実験安全主任者	東北大学	
野村周平	Feb-20	現在	地球規模課題10分野「グローバルヘルス」分野評価委員	言論NPO	その他

野村周平	Nov-21	現在	災害・健康危機管理に関するグローバルリサーチネットワーク（TPRN）	世界保健機関（WHO）	
野村周平	Aug-22	現在	2023年G7グローバルヘルス・タスクフォース	日本国際交流センター	
野村周平	Dec-23	現在	「グローバルヘルスと人間の安全保障」運営委員会	日本国際交流センター	
野村周平	Apr-24	現在	感染症危機に強い社会を構築するための人材共創プラットフォームワーキンググループ	日経・FT感染症会議	
野村周平	Jun-24	現在	新型コロナ後遺症に関する諮問委員会	エコノミスト・インパクト	
野村周平	Oct-24	現在	パリ栄養サミット（N4G）国際諮問グループ		
野村周平	Apr-25	現在	感染症危機に向けた合理的な感染対策の実施等に関する意見交換会	内閣感染症危機管理統括庁	
野村周平	May-25	現在	健康の価値の計測・記録方法に関する研究会	内閣府経済社会総合研究所（ESRI）	政府
野村周平	Dec-25	現在	The Lancet Commission on Health Systems Performance Assessment		
佐藤健	Apr-17	現在	委員長	日本建築学会東北支部災害調査連絡会	学協会
佐藤健	Apr-17	現在	常任理事	日本安全教育学会	学協会
佐藤健	Apr-20		評議員	日本自然災害学会	
佐藤健	Jun-23	Mar-28	宮城県多賀城高等学校SSH運営指導委員 委員長	宮城県教育庁	自治体
佐藤健	Apr-24	Mar-27	宮城県行政評価委員会 行政評価部会 部会長	宮城県	自治体
佐藤健	Apr-24	Mar-27	宮城県行政評価委員会 委員	宮城県	自治体
佐藤健	Sep-24	Sep-26	仙台市福祉整備審議会 委員	仙台市	自治体
佐藤健	Apr-25	Nov-26	学校安全フォーラム実行委員会 実行委員	宮城県教育委員会	自治体
佐藤健	Apr-25	Aug-26	セーフティプロモーションスクールの展開支援に関する研究 研究員	大阪教育大学 学校安全推進センター	学協会
佐藤健	May-25	Mar-26	学校防災アドバイザー	宮城県教育委員会	自治体
佐藤健	May-25	Mar-26	「地域連携型学校防災体制等構築推進事業」における実践研究及び学校防災の取組支援 学校防災アドバイザー	宮城県教育委員会	自治体
佐藤健	Jun-25	現在	防災教育チャレンジプラン実行委員会 委員	内閣府	政府
佐藤健	Jul-25	Dec-25	令和7年度「学校安全総合支援事業（学校安全推進体制の構築）」推進委員	宮城県教育庁	自治体
佐藤健	Oct-25	Oct-25	審査委員	登米市地域交流センター整備基本設計及び実施設計業務公募型プロポーザル	自治体
佐藤健	Oct-25	現在	災害時学校支援体制構築事業（取組強化推進プラットホーム構築）有識者協議会 委員長	文部科学省	政府
佐藤健	Feb-26	Feb-26	令和7年度みやぎ安全教育総合推進ネットワーク会議幹事会 委員	宮城県教育委員会	
佐藤翔輔	Apr-12	現在	防災会議委員	東松島市	自治体
佐藤翔輔	Mar-14		防災会議委員	名取市	自治体
佐藤翔輔	Apr-14	現在	防災主任会アドバイザー	多賀城市	自治体
佐藤翔輔	Apr-15	現在	防災会議委員	亘理町	自治体
佐藤翔輔	Apr-15		後方支援部会（部会長）	石巻ビジターズ産業ネットワーク	その他
佐藤翔輔	Apr-16	現在	沿岸部メモリアル施設アドバイザリー	仙台市	自治体
佐藤翔輔	Apr-17	現在	震災伝承事業に関するアドバイザー	石巻市	自治体
佐藤翔輔	Apr-18	現在	防災教育アドバイザー	気仙沼市立階上中学校	その他
佐藤翔輔	Apr-18	現在	参与	防災教育団体ゆりあげかもめ	その他
佐藤翔輔	Apr-18	現在	外部委員	公益財団法人3.11メモリアルネットワーク	その他
佐藤翔輔	Apr-18	現在	けせんぬま震災伝承ネットワーク・アドバイザー	けせんぬま震災伝承ネットワーク	その他
佐藤翔輔	Apr-19	Mar-26	学校と地域が一体になった防災教育推進事業アドバイザー	青森県	自治体
佐藤翔輔	Apr-19	現在	アドバイザー	公益財団法人3.11メモリアルネットワーク	その他
佐藤翔輔	Apr-20	現在	お世話係	TEAM防災ジャパン（内閣府）	政府
佐藤翔輔	Apr-20	現在	情報公開及び個人情報保護審査会	七ヶ浜町	自治体
佐藤翔輔	Apr-20	現在	防災教育アドバイザー	気仙沼市立鹿折中学校	その他
佐藤翔輔	Apr-20	現在	3.11伝承ロードアドバイザリー委員会（委員長）	一般社団法人3.11伝承ロード推進機構	その他
佐藤翔輔	Mar-21	現在	土木計画学研究委員会「政策と実践」学術賞委員会	土木学会	学協会
佐藤翔輔	Apr-21	現在	防災まちづくり大賞審査委員	総務省	政府
佐藤翔輔	Apr-21	現在	石巻南浜復興祈念参加型運営協議会アドバイザー	国土交通省東北国営公園事務所	政府
佐藤翔輔	Apr-21	現在	推進アドバイザー	栗駒山麓ジオパーク推進協議会	自治体
佐藤翔輔	Apr-21	現在	防災会議委員	塩竈市	自治体
佐藤翔輔	Apr-21	現在	津波石碑調査検討委員会（副委員長）	岩手県	自治体
佐藤翔輔	Apr-21	現在	理事	一般社団法人地域安全学会	学協会

佐藤翔輔	Apr-21		防災アドバイザー	登米市立津山中学校	その他
佐藤翔輔	Apr-22	現在	福祉推進会議アドバイザー	七ヶ浜町	自治体
佐藤翔輔	Apr-22	現在	防災会議委員	七ヶ浜町	自治体
佐藤翔輔	Apr-22	現在	東松島市津波避難計画検討部会（部会長）	東松島市	自治体
佐藤翔輔	Apr-22	現在	次世代伝承者育成プログラム検討プロジェクトチーム	福島県	自治体
佐藤翔輔	Apr-22	現在	みやぎ震災伝承連携推進事業補助金選定委員会	宮城県	自治体
佐藤翔輔	Apr-23	現在	リバーカウンセラー（鳴瀬川）	国土交通省東北地方整備局	政府
佐藤翔輔	Apr-23	現在	震災伝承施設交流会議（福島ブロック）（座長）	国土交通省東北地方整備局	政府
佐藤翔輔	Apr-23	現在	震災伝承施設交流会議（青森・岩手ブロック）（座長）	国土交通省東北地方整備局	政府
佐藤翔輔	Apr-23	現在	災害の自分事協議会（会長代理）	一般社団法人国土技術研究センター	その他
佐藤翔輔	Apr-23	現在	震災伝承施設交流会議（宮城ブロック）（座長）	国土交通省東北地方整備局	
佐藤翔輔	Apr-24	現在	保倉川放水路対策・防災まちづくり検討部会	国土交通省北陸地方整備局	政府
佐藤翔輔	Apr-24	現在	NIPPON防災資産選定委員会（委員長）	内閣府・国土交通省	政府
佐藤翔輔	Apr-24	現在	編集委員会（副委員長）	日本災害情報学会	学協会
佐藤翔輔	Apr-24	現在	東日本大震災特別委員会（副委員長）	一般社団法人地域安全学会	学協会
佐藤翔輔	Apr-24		顧問	仙台ライフライン防災情報ネットワーク（SLLN）	その他
佐藤翔輔	Apr-25	現在	震災伝承の深化に関する検討会（座長）	国土交通省東北地方整備局	政府
佐藤翔輔	Apr-25	現在	防災研修コーディネーター	内閣府	政府
佐藤翔輔	Apr-25	現在	「防災スペシャリスト養成」企画検討会	内閣府	政府
佐藤翔輔	Apr-25	Mar-26	遺跡・災害痕跡調査と地名・伝承の比較検証を通じた防災施策立案，防災教育推進のための調査研究委員会	文化庁	政府
佐藤翔輔	Apr-25	現在	ユネスコ世界ジオパーク推進プロジェクト会議	栗駒山麓ジオパーク推進協議会	自治体
佐藤翔輔	Apr-25	現在	ジオパーク学術会議	栗駒山麓ジオパーク推進協議会	自治体
Boret Sébastien	Apr-24	現在	日本文化人類学評論	日本文化人類学会	学協会
小野裕一	Apr-13		交流専門委員会	日本地理学会	
小野裕一	Jun-13	現在	土木工学・建築学委員会IRDR分科会	日本学術会議	
小野裕一	Apr-14		国際委員会防災・減災に関する国際研究のための東京会議分科会	日本学術会議	
小野裕一	Apr-18	現在	地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム防災分野評価会 国内領域別評価会委員	国立研究開発法人 科学技術振興機構（SATREPS）	
小野裕一	Apr-18		科学技術を生かした防災・減災に政策の国際的展開に関する検討委員会	日本学術会議	
小野裕一	May-18		2020世界災害語り継ぎフォーラム実行委員会	2020世界災害語り継ぎフォーラム	
小野裕一	2019		国際風関連防災グループ 議長	国際風工学会	
小野裕一	2019	現在	世界防災研究所連合（GADRI） 理事		
小野裕一	Jun-21	現在	ADRC GLIDE運営委員会 運営委員会議長		
小野裕一	2024	2028	気象、水、気候、環境、宇宙気象の危険事象のカタログ作成に関するWMO専門家チーム(ET-CHE)		
小野裕一	Apr-24	現在	国際科学技術共同研究推進事業（戦略的国際共同研究プログラム）研究主幹	国立研究開発法人 科学技術振興機構	
原裕太	Jun-21	現在	理事	認定特定非営利活動法人 緑の地球ネットワーク	その他
原裕太	Apr-22	現在	WG委員（2025.4～：サブリーダー）	東北大学附置研究所・センター連携体 若手アンサンブルプロジェクト	
原裕太	2024	現在	発起人	日本地理学会 中国地理研究グループ	学協会
岩月勝美	May-09	現在	分科会小委員会D 委員	日本学術会議 電波科学研究連絡委員会	
安達文幸	Jan-03		編集委員	信学会通信ソサイエティ・英文特集号「次世代移動通信におけるマルチプルアクセスと信号伝送技術小特集号」2003年1月号編集委員会	学協会
安達文幸	Jul-03		編集委員	信学会通信ソサイエティ・英文特集号「多次元移動情報ネットワーク」2003年7月号編集委員会	学協会
安達文幸	Dec-04		会場委員	2004年アンテナ伝播国際シンポジウム（ISAP'04），実行委員会	学協会
安達文幸	Jan-24	Dec-25	Sendai LMAG Chair	IEEE	学協会
内田典子	Jan-23	現在	広報委員	一般社団法人環境DNA学会	学協会
内田典子	Mar-23	Mar-26	福島県環境影響評価審査会委員	福島県	自治体
内田典子	Sep-24	Sep-26	岩手県環境影響評価技術審査会	岩手県	自治体
内田典子	Dec-24	Dec-26	理事	環境DNA学会	学協会
川内淳史	Jul-21	現在	事務局長	NPO法人宮城歴史資料保全ネットワーク	

佐々木大輔	Sep-18	現在	編集出版委員	水文・水資源学会	学協会
佐々木大輔	Sep-19	現在	ACECC TC21国内支援委員会 委員兼幹事	土木学会	学協会
石川美希	Dec-25	現在	ろう教育研究部 研究員	社会福祉法人全国手話研修センター 手話言語研究所	その他
丸谷浩明	Apr-11	現在	「都市再生の推進に係る有識者ボード 防災WG」委員	内閣官房地域活性化統合事務局	政府
丸谷浩明	Apr-13	現在	「防災スペシャリスト養成研修」研修コーディネーター（（災害への備えコース）	内閣府（防災担当）	政府
丸谷浩明	Apr-14	現在	政府業務継続に関する評価等有識者会議 委員	内閣府（防災担当）	政府
丸谷浩明	Apr-18	現在	「防災会議」有識者委員	岩沼市	
丸谷浩明	Apr-21	現在	国内対応委員会委員	ISO TC268/SC1/WG6国内対応委員会	その他
丸谷浩明	Apr-21	現在	「社会技術研究開発主監会議」主監	科学技術均衡機構（JST）	その他
丸谷浩明	Jun-21	現在	関連委員会委員	防災ISO関連委員会	その他
丸谷浩明	Sep-23	現在	防災情報氣威嚇委員会委員	防災ISO 防災情報規格委員会	その他
丸谷浩明	Jun-25	Mar-26	仙台市国土強靭化地域計画アドバイザー	仙台市	自治体
丸谷浩明	Sep-25	Mar-26	「令和7年度新型インフルエンザ等における諸制度の企画検討意見交換会」委員	内閣官房内閣感染症危機管理統括庁	政府
丸谷浩明	Oct-25	Mar-26	事業継続力強化計画等調査に関する調査業務委員会	中小企業基盤整備機構	その他
永田彰平	Jun-25	現在	季刊地理学編集委員会	東北地理学会	学協会
古屋貴司	Apr-12	現在	委員	電子情報通信学会「安全・安心な生活とICT研究会」ICTSSL	学協会
古屋貴司	Apr-12	現在	委員	電子情報通信学会「安全・安心な生活とICT研究会」ICTSSL	学協会
古屋貴司	Apr-24	現在	大会委員	日本災害情報学会	学協会
古屋貴司	Apr-24	現在	大会委員	日本災害情報学会	学協会

5．3．J．被災地・未災地との連携

（実施者名 五十音順）

	実施者	相手先名 （自治体名/組織名）	内　　容
1	井内加奈子	フィジー共和国 国土鉱物資源省	SATREPS南西太平洋島嶼国における広域火山災害リスク軽減プロジェクトの実施
2	今村文彦	宮城県仙台市	メモリアル拠点構想のアドバイス
3	今村文彦	福島県浪江町	FUKUSHIMAサイエンスパーク拠点の実施
4	今村文彦	福島県富岡町	夜ノ森共同研究プロジェクトの開始
5	内田典子	宮城県気仙沼市	2011年東日本大震災時の津波により創生された塩性湿地およびその上流の河川を管理・保全する舞根湾の淡水生態系調査（無脊椎動物類）を3週間毎に実施・協力した。
6	内田典子	岩手県大船渡市	2025年2月ー3月に発生した森林火災被害地域（大船渡市綾里地区）の山間部河川の有機物・水質および淡水生態系調査を3週間毎に実施した。
7	姥浦道生	石川県輪島市	復興まちづくり計画の実施に関してアドバイザーとして協力した。
8	姥浦道生	石川県輪島市門前地区	復興まちづくり計画の策定・実施に関してアドバイザーとして協力した。
9	姥浦道生	石川県輪島市町野地区	復興まちづくり計画の策定・実施に関してアドバイザーとして協力した。
10	蝦名裕一	岩手県立博物館	文化遺産防災マップを活用した文化遺産防災訓練に参加・協力を実施した。
11	蝦名裕一	愛知県県民文化局 文化財室	愛知県文化財防災ネットワーク会議において文化遺産防災マップを活用した文化財防災訓練の企画・協力・指導をおこなった。
12	蝦名裕一	大船渡市博物館	歴史資料の保存・活用に関する現状調査と助言をおこなった。
13	大類真嗣	山形県戸沢村	2025年7月に発生した山形県北部豪雨災害の被災自治体の職員向けに、被災地内の自殺対策・メンタルヘルス対策に協力し、役場内職員のゲートキーパー養成研修を企画、講師を務めた。
14	奥村誠	宮城県気仙沼市	復興事業に伴う移動ニーズの変化に対応した、地域公共交通計画の改定への助言を行った。
15	奥村誠	宮城県亘理町	公共事業入札監視委員として、復興事業等の円滑な契約・執行に対する助言を行った。
16	奥村誠	福島県伊達市	復興支援道路（福島相馬道路）の機能を生かした都市計画のあり方について、助言を行った。
17	小野裕一	宮城県仙台市若林区	定期的にアクアイグニス仙台で行われる避難訓練の指導に協力した。
18	苅谷智大	福島県双葉町	第4次双葉町復興まちづくり計画のアドバイザーとして参画した。
19	苅谷智大	福島県富岡町	福島相双復興推進機構主催の住民主体のまちづくり会議にアドバイザーとして参画した。
20	國井泰人	宮城県七ヶ浜町	東日本大震災が被災住民に及ぼしている心理社会的影響について第10次調査を実施し、集積したデータを用いて解析を進め、また七ヶ浜町と災害研の共同ワークショップ等を行った。
21	國井泰人	福島県・ 福島県立医科大学	福島第一原発事故後の精神疾患入院患者の強制避難転院者の帰還支援について、調査研究を行った。
22	國井泰人	福島県立医科大学	福島県立医科大学と連携し死後脳を用いて、心的外傷後ストレス障害、気分障害、統合失調症などのストレス脆弱性の基盤研究に取り組んだ。
23	ゲルスタ・ユリア		東京で開催された「他人事（ひとごと）から自分事へ −東日本大震災から15年、迫りくる大地震に私ができること」のパネルディスカッションに登壇した
24	ゲルスタ・ユリア		東京で開催された「東日本大震災から15年とこれからのBosai」で発表した。
25	児玉栄一	宮城県	宮城県感染対策委員会
26	児玉栄一	仙台市	仙台市感染対策委員会
27	児玉栄一	仙台市	仙台市エイズ・性感染症対策委員会
28	佐々木大輔	Universitas Syiah Kuala （インドネシア・バンダアチェ）	科研費採択課題において共同研究を実施した。
29	佐々木宏之	宮城県南三陸町	南三陸病院での診療支援（月1回程度）
30	サッパシー・アナワット	藤崎百貨店	1年2回の防災訓練及びワークショップの企画・実施に協力した。
31	サッパシー・アナワット	仙台市等	アジア津波ワークショップ参加者20名に2011年東日本大震災の被災地を巡検案内した。
32	サッパシー・アナワット	東北大学漕艇部	津波避難訓練、緊急対策計画について助言した。
33	サッパシー・アナワット	三陸鉄道	鉄道被害に関する研究成果を提供した。
34	サッパシー・アナワット	三陸やまだ漁業 協同組合など	カムチャツカ津波による被害調査、助言した。
35	サッパシー・アナワット	静岡県、静岡市等	カムチャツカ津波による津波警報、津波避難調査、助言した。
36	佐藤翔輔	宮城県仙台市	仙台市役所新任職員研修における震災伝承活動の企画・実施に協力した。
37	佐藤翔輔	宮城県気仙沼市	気仙沼市役所新任職員研修における震災伝承活動の企画・実施に協力した。
38	佐藤翔輔	気仙沼市立階上中学校	探究学習の企画・実施に協力した。
39	佐藤翔輔	大谷地区幼・小・中・公 防災連携協議会 （気仙沼市大谷地区）	合同訓練をはじめとする一連の活動に助言した。
40	佐藤翔輔	福島県	福島県東日本大震災・原子力災害伝承者育成講座の企画・実施に協力した。
41	佐藤翔輔	福島県	東日本大震災・原子力災害ふくしま語り部ネットワーク会議の事業に助言・協力した。
42	佐藤翔輔	気仙沼市 東日本 大震災遺構・伝承館	特別展示、特別フォーラムをはじめとする一連の活動に協力・助言した。
43	佐藤翔輔	みやぎ東日本大震災 津波伝承館	ボランティア解説員育成、講話企画をはじめとする一連の活動に協力・助言した。
44	佐藤翔輔	石巻市震災遺旧門脇 小学校・大川小学校	伝承者育成講座をはじめとする一連の活動に協力・助言した。
45	佐藤翔輔	石巻市震災伝承推進室、 いしのまき防災・ 震災伝承コミュニティ	「つどい」をはじめとする一連の活動に協力・助言した。
46	佐藤翔輔	宮城県多賀城市	防災主任者会に参加し、助言・協力した。
47	佐藤翔輔	宮城県気仙沼市	気仙沼市内の防災リーダーを要請・スキルアップするプログラム「KBLカレッジ」を共催した。
48	佐藤翔輔	宮城県気仙沼高等学校	総合的な探究の時間、課題研究、地域社会研究の実施を支援した。
49	佐藤翔輔	東松島市立矢本 第二中学校ほか	学区内の幼小中の連携の取り組みを支援・助言した。

50	佐藤翔輔	宮城県 （復興支援・伝承課）	みやぎ震災伝承連携推進事業補助金、みやぎ災害伝承ポスターコンクール等、震災伝承に関する事業に協力・支援した。
51	佐藤翔輔	青森県	県内高等学校を対象にした防災教育事業に協力・支援した。
52	佐藤翔輔	宮城県気仙沼向洋高等学校	同校の防災訓練に協力・支援した。
53	佐藤翔輔	気仙沼市立鹿折中学校	震災伝承学習の企画・実施に協力した。
54	佐藤翔輔	石巻南浜復興祈念公園	参加型協議会の活動に対して協力・支援した。
55	佐藤翔輔	松島町・内閣府	総合防災訓練の企画・運営を支援した。
56	佐藤翔輔	石巻市防災士会	同会の関連する活動に助言した。
57	佐藤翔輔	一般社団法人大熊未来塾、 おおくまふるさと塾	大熊町における震災遺構の議論について助言・支援した。
58	佐藤翔輔	七ヶ浜町	地域福祉推進会議で指導・助言した。
59	佐藤翔輔	震災伝承ネットワーク会議 （東北地方整備局）	震災伝承施設交流会議の企画・とりまとめを支援した。
60	佐藤翔輔	公益社団法人3．11 メモリアルネットワーク	同ネットワークの助成金審査、関連機関に協力・支援した。
61	佐藤翔輔	Xross Innovation BOSAI （仙台市）	関連する事業に指導・助言した。
62	佐藤翔輔	仙台ライフラインネットワーク	顧問をつとめ、関連する事業の企画・実施を支援した。
63	佐藤翔輔	宮城県多賀城高等学校	SS先端研究に協力・支援した。
64	佐藤翔輔	名取市	下増田地区と閖上地区の津波避難計画ワークショップを支援した。防災会議の委員として助言した。
65	佐藤翔輔	宮城県（減災推進課）	北海道・三陸沖後発地震注意情報に関する県民アンケートを協働で実施した。
66	佐藤翔輔	東松島市	防災会議の委員として助言した。
67	佐藤翔輔	栗原市	栗駒山麓ジオパークに関する活動において、防災・教育部会アドバイザー、学術会議メンバーとして協力・支援した。
68	佐藤大介	宮城県松島町	松島町の民間所在史料の所在調査およびデジタル記録
69	佐藤大介	宮城県石巻市	地域資料の保全および「日本遺産」関係史料の調査研究・発信
70	佐藤大介	宮城資料ネット	高齢者ボランティアによる被災歴史資料の保全活動の運営
71	佐藤健	宮城県石巻市	学校防災の推進に向けて教育委員会と学校に協力した
72	佐藤健	宮城県仙台市	地域防災の推進および地域防災リーダーの養成について危機管理局に協力した
73	佐藤健	台湾教育部	防災教育関係者の国際交流に協力した
74	柴山明寛	岩手県東日本大震災 津波伝承館	東日本大震災津波伝承館の解説員の指導及び展示製作等の監修を行っている。
75	柴山明寛	岩手県宮古市	宮古市災害伝承資料館の監修を行った他、関連施設の伝承の監修を行っている。
76	柴山明寛	岩手県大船渡市	大船渡市林野火災対応で市役所内の各課の支援を実施し、林野火災の展示製作の監修を行っている。
77	柴山明寛	宮城県丸森町	丸森地区MIZBE（河川防災）ステーションの施設整備及び施設内の防災学習館の監修を継続的に行っている。
78	柴山明寛	福島県いわき市	市の防災アドバイザーとして地域の防災力向上のための講義や防災訓練の監修等を実施している。
79	新家杏奈	宮城県気仙沼市	気仙沼市立鹿折中学校の防災教育の支援を行った。
80	新家杏奈	宮城県気仙沼市	気仙沼市立階上中学校の防災教育の支援を行った。
81	菅原大助	富山県	地震・津波調査検討WGの委員として災害想定の計画に協力した。
82	平野勝也	国土交通省・岩手県・ 陸前高田市	高田松原津波復興祈念公園のデザインに関する助言・指導
83	平野勝也	国土交通省　山形河川 国道事務所	最上川バイパス水路のデザインに関する指導・助言
84	平野勝也	岩手県	閉伊川水門のデザインに関する指導助言
85	平野勝也	宮城県女川町	復興事業以降のまちづくりに関する助言
86	平野勝也	（株）街づくりまんぼう	旧北上川堤防一体空間の利活用に関する指導助言
87	平野勝也	女川みらい創造（株）	女川中心街の今後の展開に関する助言
88	平野勝也	丸森町	水辺ステーション事業に関するデザイン監修、プロジェクトマネジメント
89	平野勝也	双葉町	復興事業全般にわたる指導助言
90	福島洋	静岡県	防災行動変容促進のための手法開発において連携した。
91	藤井進	多賀城高校	研究指導
92	ボレー・セバスチャン	岩手県	海外の津波博物館等との連携のもと、インドネシアおよび日本の学生を対象とした防災ワークショップを実施した。
93	丸谷浩明	宮城県気仙沼市	気仙沼市と目黒区の災害関連相互支援の推進について、気仙沼市・目黒区 友好都市協定締結15周年記念事業において助言した。
94	丸谷浩明	宮城県仙台市	仙台市の国土強靭化地域計画の改定においてアドバイザーとして助言した。
95	丸谷浩明	福島県	内閣府と福島県庁が共催した「防災スペシャリスト養成地域研修」の支援・助言を行った。
96	丸谷浩明	静岡県	県庁及び県内市町村の職員研修に講師を引き受け、行政の発災時対応と業務継続計画 ～BCPのポイントと維持・改善の重要性～について講演した。
97	御手洗潤	福島県富岡町/ 福島相双復興推進機構	住民主体のまちづくり計画の策定及び民間主導のまちづくりネットワーク組織の設立準備に協力した。
98	御手洗潤	福島県南相馬市小高区/ 福島相双復興推進機構	住民主体のまちづくり計画の策定及び民間主導のまちづくり活動の準備に協力した。
99	村尾修	星の子愛児園	園児を対象とした防災研修を行った。
100	村尾修	ふたばクラブ 東麻布保育園	園児を対象とした防災研修を行った。
101	村尾修	東京都港区	港区民を対象とした防災研修を行った。
102	森口周二	宮城県丸森町	再生可能エネルギー発電設備設置協議会に議長として参画した。
103	森口周二	宮城県仙台市	仙台市宅地保全等審議会に技術専門委員として参画した。
104	森口周二	宮城県	宮城県建築宅地課の要請に応じ、県内の宅地造成地の危険性に関する相談に対応した。
105	森口周二	国土交通省 東北地方整備局	東北の砂防を考えるアドバイザー会議の委員として参画した。

5．3．K．国際共同研究

（日付順）

	課 題 名	概 要	報告研究者名	本学研究代表者	相手方代表者	相手方代表者 所属機関・国	年月(from)	年月(to)
1	Utilization of efficient acoustic ranging for seafloor geodesy in Taiwan	台湾での海底地殻変動観測の高度可を進める。	木戸元之	木戸元之	Ya-Ju Hsu	Academia Sinica・台湾	20250401	20260331
2	Monitoring main Marmara fault in Tyrkey	マルマラ海の断層のモニタリング継続に関する技術共有	木戸元之	木戸元之	Nurcan Meral Ozel	KOERI, Bogazici University・トルコ	20250401	20260331
3	Research on the fault slip along the Philippine Fault on Leyte Island using InSAR and GNSS time-series	フィリピン断層の活動研究におけるデータ共有を基盤とする研究連携	福島洋	福島洋	Kuo-En Ching	Cheng-Kong University, Taiwan	20240801	
4	IODP exp. 503	日本海溝沿いでの古地震履歴の掘削に関する国際プロジェクト	石澤尭史		Michael Strasser, Ken Ikehara	University of Innsbruck・オーストリア, 産業技術総合研究所	20251124	
5	SATREPS The Project for Disaster Risk Reduction of Widespread Volcanic Hazards in Southwest Pacific Countries	南太平洋島嶼地域における火山性災害の評価	石澤尭史			トンガ地質サービス, フィジー鉱物資源省, バヌアツ気象・地象局	20240513	
6	Causal realization of rate-independent linear damping using first-order digital filter	長周期構造物の地震時過大変形の抑制に有効な複素減衰を実デバイスとして実装するための研究	五十子幸樹	五十子幸樹	Brian Phillips	メリーランド大学・米国	20130700	
7	A tuned viscous mass damper incorporated into coupled wall system	同調粘性マスダンパー制振システムを曲げ変形が卓越する構造物に適用するためのcoupled wall systemの開発	五十子幸樹	五十子幸樹	Xiaodong Ji	清華大学・中国	20170100	
8	ウランバートル市の地盤振動特性の評価に関する共同研究	ウランバートル市の地盤振動特性の評価に関する共同研究	大野晋	大野晋	Tsamba TSOGGEREL	モンゴル科学技術大学・モンゴル	20250701	20260331
9	建物地震観測，構造健全性評価	建物地震観測，構造健全性評価	大野晋	大野晋	Ahmed Torky	エジプト英国大学・エジプト	20250401	20260331
10	Development of Three-dimensional Slope Stability Analysis Aided by Bayesian Optimization	データ科学の技術を用いて斜面安定解析手法を高度化する.	森口周二	森口周二	John Youngjun Choe	ワシントン大学	20240601	20260331
11	Intercode comparison of shallow water equation based debris flow simulation	浅水長波方程式による土石流解析に関するコード・アルゴリズム間比較	野村怜佳	野村怜佳	Antonia Larese	パドヴァ大学・イタリア	20261006	
12	Development of Three-dimensional Slope Stability Analysis Aided by Bayesian Optimization	データ科学の技術を用いて斜面安定解析手法を高度化する.	野村怜佳	森口周二	John Youngjun Choe	ワシントン大学	20240601	20260331
13	Development of Three-dimensional Slope Stability Analysis Aided by Bayesian Optimization	データ科学の技術を用いて斜面安定解析手法を高度化する.	ドロハン・ニロ・レムエル・フニオ	森口周二	John Youngjun Choe	ワシントン大学	20240601	20260331
14	Intercode comparison of shallow water equation based debris flow simulation	浅水長波方程式による土石流解析に関するコード・アルゴリズム間比較	ドロハン・ニロ・レムエル・フニオ	野村怜佳	Antonia Larese	パドヴァ大学・イタリア	20261006	
15	Advanced evaluation of historical Sanriku tsunami inundation area using organic geochemical approach	地層中に保存されている可能性のある不可視の津波痕跡識別手法を検討することを目的とする野外調査を実施した.	菅原大助	菅原 大助	Jana Decker	アーヘン工科大学・ドイツ	20251015	
16	Analysis and numerical modeling of sediment sample obtained from phonebox at the Sendai Port after the 2011 Tohoku-oki tsunami	東日本大震災直後の現地調査で採取した堆積物試料の詳細な分析を実施し，論文として報告する計画である.	菅原大助	菅原 大助	James Goff	ニューサウスウェールズ大学名誉教授・イギリス	20260201	
17	High-resolution tsunami history from lacustrine sedimentary archives along the Aomori coast	JSPS外国人特別研究員として，日本海溝北部の津波履歴解明を目的とした調査研究を行う.	菅原大助	菅原 大助	Renaldo Gastineau	(元)サヴォワ・モンブラン大学・フランス	20261129	
18	Global tsunami risk assessment	世界中の津波において波源から伝播計算、浸水計算、リスク評価まで研究・評価する	サッパシー・アナワット	今村文彦	James Vickers	Gallagher Re	20230401	
19	Parametric insurance for tsunami and flood	津波と洪水に対して、新たにパラメトリック型保険を開発する	サッパシー・アナワット	サッパシー・アナワット	Dr. Iwasaki Tomoya	Swiss Re	20241001	20270930
20	Global Tsunami Model	世界中の研究者が集まり、津波波源からリスク評価、社会活動まで貢献している	サッパシー・アナワット	今村文彦	Dr. Finn Lovholt	Norwegian Geotechnical Institute (NGI)	20150601	
21	Applications of tsunami researches and non-structural measures in Thailand	タイにおける津波防災研究・活動	サッパシー・アナワット	サッパシー・アナワット	Dr. Natt Leelawat	チュラロンコーン大学	20170401	
22	Tsunami warning and evacuation in Thailand	2004年インド洋津波の被災地であるタイ南部における津波避難シミュレーションを用いた津波避難研究	サッパシー・アナワット	サッパシー・アナワット	Prof. Pennung Wanitchai	アジア工科大学院	20170401	
23	Earthquake and tsunami fragility functions	2011年東日本大震災、2018年スラウェシ島津波、2018年スンダ海峡等における被害関数構築研究	サッパシー・アナワット	今村文彦	Prof. Tiziana Rossetto	University College London (UCL)	20120401	
24	Cascading disasters	2011年東日本大震災を事例とした医療機関・学校を注目した連鎖災害の研究	サッパシー・アナワット	今村文彦	Prof. David Alexander	University College London (UCL)	20190401	
25	Building Sustainable System for Resilience and Innovation in Coastal Community	インドネシア沿岸保全を対象に、最新の科学技術に基づいたモニタリング網の整備、災害解析技術や防災減災手法の技術開発および移転を行い、沿岸地域の防御機能向上を図るとともに、防災、環境、経済の調和の取れた沿岸域を実現することを目指す。	サッパシー・アナワット	サッパシー・アナワット	Dr. Mohammad Farid	バンドン工科大学院	20210401	20270331
26	Gender and disasters	本研究では、災害時の LGBTQ、ジェンダー、高齢者のような社会的脆弱性の高いグループに属する人々の災害時の実態を調査し、GIS 可視化を行い発災時の状況予測とニーズへの対応をすることを目的としている。	サッパシー・アナワット	北村美和子	Dr. Punam Yadav	University College London (UCL)	20220401	20250331
27	Decision-making model for tsunami disaster	仙台新港における津波数値解析（浸水マップ）を用いて、緊急対応の意識決定モデルの構築	サッパシー・アナワット	サッパシー・アナワット	Dr. Gemma Cremen	University College London (UCL)	20210401	

28	Earthqauke and tsunami early warning and evacuation	東北地方における地震、津波で発令された地震、津波警報の認識、避難行動についての研究	サッパシー・アナワット	サッパシー・アナワット	Prof. Joanna F. Walkder	University College London (UCL)	20230401	
29	Comparison of tsunami reconstruction	2011年東日本大震災、2004年インド洋津波(タイ、インド洋津波)の復興における比較研究	サッパシー・アナワット	サッパシー・アナワット	Prof. Alison Raby	University of Plymouth	20230401	20250331
30	Tsunami induced damage to railway	2011年東日本大震災による被災された鉄道データを用いて、被害モデルを構築する	サッパシー・アナワット	サッパシー・アナワット	Dr. Mohammad Heidarzadeh	University of Bath	20230401	
31	The 2024 Noto Peninsula earthquake	2023年トルコ地震の関連データのアーカイブ構築	サッパシー・アナワット	サッパシー・アナワット	Assoc. Prof. Susana Lopez-Querol	University College London (UCL)	20230401	20270331
32	JST SATREPS Project (Development of Integrated Expert System for Estimation and Observation of Damage Level of Infrastructure in Lima Metropolitan Area)	ペルーにおける津波浸水被害のリアルタイム予測に関する共同研究	越村俊一	越村俊一	Miguel Estrada	ペルー国立工科大学	20230401	20260331
33	NASA Disaster Project (Leveraging Earth Observation Data and Products to Create a Comprehensive Tsunami Loss Estimation Platform – Impacts in a Changing Climate)	米国における津波浸水被害予測・リスク評価に関する共同研究	越村俊一	越村俊一	Diego Melgar	オレゴン大学	20231101	20260930
34	JST SICORP(Enabling Human-Centered Digital Twin for Community Resilience)	人間中心の災害デジタルツインの構築とコミュニティ・レジリエンスの向上	越村俊一	越村俊一	Nalini Venkatasubramanian	UCアーバイン校	20240401	20270331
35	東北大学Climate Deep Techフェローシップ変革プロジェクト	Climate Tech関連の研究開発と新たな大学発スタートアップの創出	越村俊一	越村俊一	Magaly Koch	ボストン大学	20251201	20290331
36	SATREPS JST-JICA Project, "Development of Integrated Expert System for Estimation and Observation of Damage Level of Infrastructure in Lima Metropolitan Area"	地震災害におけるリマ市の災害対応のための判断を迅速化させる	マス・エリック	越村俊一	Carlos Zavala	国立工科大学・ペルー	20200401	20260331
37	Development and Application of Geospatial Digital Twins to Enahnce Tsunami Disaster Response Joint Research	This research focuses on developing and evaluating a Geospatial Digital Twin (GDT) to simulate and analyze the impacts of tsunami events.	アドリアノ・ブルーノ	Bruno Adriano	Gerals Baier	Synspective Inc.	20250601	20260331
38	Development and Application of Geospatial Digital Twins to Enahnce Tsunami Disaster Response Joint Research	This research focuses on developing and evaluating a Geospatial Digital Twin (GDT) to simulate and analyze the impacts of tsunami events.	アドリアノ・ブルーノ	Bruno Adriano	Junshi Xia	理化学研究所 革新知能統合研究センター (AIP)	20250601	20260331
39	FloodWatch: AI-Powered Fusion of Multispectral and SAR Data for Improved Flood Detection and Prediction	The joint effort addressed key knowledge gaps in understanding how hydrological extremes impact mangrove ecosystems, aiding sustainable conservation planning.	アドリアノ・ブルーノ	Bruno Adriano	Dat Pham	Western Sydney University, Australia	20251101	20260331
40	TsunamiCAT: A National Tsunami Risk and Loss Platform for the U.S. West Coast	The objective of this proposal concept is to develop a comprehensive tsunami risk and loss assessment platform for the U.S. West Coast.	アドリアノ・ブルーノ	Shunichi Koshimuta	Diego Melgar	Oregon University, USA	20250401	20260331
41	Enabling Human-Centered Digital Twin for Community Resilience	2 week workshop on disaster mobility and trajectory generation for people with disabilities during disaster	ベスコボ・ルベン	越村俊一	Nalini Venkatasubramanian	Unversity of California Irvine	2024	2026
42	インドネシア被災地における復興評価手法の開発と災害リスク認知の時空間推移の解明	災害多発国であるインドネシアにおいて21世紀に被災と復興を経験したジャワ島、ロンボク島、スマトラ島、スラウェシ島内の地域を対象とし、「より良い復興」を評価する復興評価手法を開発するとともに、被災者の災害リスク認知に関する地域性の違いと被災からの時間経過による違いを解明する。	村尾修	村尾修	Ir. Ikaputra	ガジャマダ大学・インドネシア	20230908	20280331
43	災害・気候変動対応策への投資と社会的脆弱性・地域復元力の関係解明に関する研究	「復興や減災の計画・事業等の投資」と「社会的脆弱性」「地域復元力」の関係を探り、居住性・公平性・回復力・経済的活力のある地域形成への方策を探る。	井内加奈子	井内加奈子	John Mutter	コロンビア大学・米国	20200331	20270331
44	Post-disaster Migration Patterns	Since 202604 Part of the UCL-Tohoku Matching Fund	井内加奈子	井内加奈子	Stephen Law	UCL	202508	
45	国際開発と社会的公正：気候変動時代における沿岸インフラ整備をめぐる援助競争	工学的な技術展開に基づく防災・減災を謳った国際援助において、事業の実施が地域住民の社会経済活動や生活に与えた影響を探索する。	井内加奈子	井内加奈子	Dicky Pelupessi	インドネシア大学・インドネシア国	20230630	20260331
46	レジリエンス再考：フィリピン国台風ハイアンを契機としたカンカバト湾埋め立て事業の時系列分析	台風ハイアン被災地域内のカンカバト湾岸域の埋め立て事業を事例として、経時的に変容するレジリエンスの概念について、インタビューや現地踏査を基に考究する.	井内加奈子	井内加奈子	Marieta Sumagaysay	フィリピン大学・フィリピン国	20250401	20260331
47	Uncovering the Patterns, Drivers, and Experiences of Population Mobility due to Low-Attention Flooding	規模が小さいために広く注目されることは少ないが、既存の社会的な脆弱性を悪化させる可能性のある洪水による人口移動について、混合研究法を用いて研究する。	井内加奈子	井内加奈子	Sabine Loos	ミシガン大学・米国	20240801	20270731
48	日中デザインワークショップ(中日**联合设计**)	中国農村部の活性化に関するデザインワークショップ	姥浦道生	姥浦道生	**谭刚毅**	華中科技大学・中国	20251101	20251108
49	APRU Multi-Hazards Program	環太平洋地域の災害科学に関する研究・実践の強化	泉貴子	泉貴子	Prof. John Rundle et al	UC Davis, Chulalonkorn university, National TaiwanUnivesity, Tsinhua University, University of Hawaii, University of Chili など	20130401	

50	Risk perception of climate change between Sweden and Japan	スウェーデンと日本における気候変動課題に関する意識変化やリスク認知に関する研究	泉貴子	Takako Izumi, Sebastien Boret	Prof. Steffi Burchardt	Uppsala University	20260301	
51	Medical Needs of Children and Youth in Disaster: A Scoping Review	英国レスター大学の小児救急医とともに、災害時の小児および18歳未満の若者の医療ニーズに関する論文を体系的に査読し、研究ギャップを明らかにする。	江川新一	江川新一	Hannah Ha	レスター大学・英国	20250903	
52	Investigation of the Coping Strategies in the Mindset of the Affected Adults after the 2025 Myanmar Earthquake	2025年3月に発生したミャンマー地震の被災地において、リモートで被災者にインタビューを行い、不安定な社会情勢の中で災害に遭遇した方々の希望を探る。	江川新一	江川新一	Kaung Myat Thwin	新潟大学・日本	20250629	
53		大学生・大学院生の非栄養甘味料に対する意識と摂取状況の国際調査。ギリシア、日本をはじめとする20か国の共同研究	江川新一	江川新一	Georgios Marakis	Hellenic Food Authority・ギリシア	20241001	
54	Establishment and Improvement of External Dosimetry Using the Model of Wild Japanese Macaque and the Large Japanese Field Mice (Apodemus Speciosus) in Fukushima for the Evaluation of Long-Term Low Dose Exposure	陸域動物の外部被ばく線量評価法の確立に向けた国際共同研究	鈴木正敏	鈴木正敏	Alexander	IAEA・オーストリア	20221217	20271216
55	Coping Strategies Among Myanmar Adults After the 2025 Earthquake: A Qualitative Study	2025年ミャンマー地震における被災成人の対処戦略に関する質的研究プロジェクト	國井泰人	大類真嗣	Kaung Myat Thwin	ミャンマー	20250601	20250930
56	A Remote Access Qualitative Study Protocol to Investigate the Coping Strategies in the Mindset of the Affected Adults after the 2025 Myanmar Earthquake	2025年ミャンマー地震被災成人の対処行動を遠隔質的調査により分析し、文化的・社会的レジリエンスの実態を明らかにする研究。	濱家由美子	大類真嗣	Phue Thet Khaing	東北大学医学系研究科 公衆衛生学分野 医療情報学分野	20250601	20260331
57	抗ウイルス剤開発	抗ウイルス剤開発のための情報交換・共同研究	児玉　栄一	児玉　栄一	Stefan G. Sarafianos	エモリー大学・米国	20250401	2026.3.31
58	世界の疾病負荷研究（Global Burden of Disease Study：GBD）2023 日本関連分析・国際共同研究全般	GBDの枠組みを用いた日本サブナショナル分析および関連国際共同研究。野村はGBD最高意思決定機関であるGBD科学評議員（Scientific Council）として参画するとともに、日本代表として国内データの収集・提供・分析、およびGBDの知見の日本国内政策への還元を担う中核的役割を果たしている。2025年10月公開のGBD 2023を受け、GBD関連17件を含む計29件の論文をThe Lancet・Nature Medicine等の主要国際誌に発表した。	野村周平	野村周平	Prof. Christopher J L Murray（GBD統括責任者）	米国ワシントン大学保健指標評価研究所（Institute for Health Metrics and Evaluation：IHME）・Hans Rosling Center for Population Health／米国	（継続中）	（継続中）
59	The Lancet Commission on Health Systems Performance Assessment（保健システム・パフォーマンス評価に関するランセット委員会）	野村がThe Lancet Commission on Health Systems Performance AssessmentのCommissionerに就任（2025年12月1日～）。Julio Frenk、Christopher Murray両教授を共同座長とし、世界各国の研究者・政策立案者と協働して保健システムのパフォーマンス評価の枠組みおよび政策提言の策定に取り組む。野村はGBD科学評議員としての知見を活かし、日本および東アジア・太平洋地域の保健システム評価への貢献が期待される。	野村周平	野村周平	共同座長：Prof. Julio Frenk（カリフォルニア大学ロサンゼルス校Chancellor室）、Prof. Christopher J L Murray（米国ワシントン大学IHME）	カリフォルニア大学ロサンゼルス校（米国）、米国ワシントン大学IHME（米国）、他複数国のCommissioner	20251201	（継続中）
60	The Lancet Regional Health - Western Pacific 日本特集号の企画・研究主導	The Lancet Regional Health - Western Pacific誌編集長Dr. Jie CaiおよびThe Lancet本誌編集長Dr. Richard Horton（英国）から異例の形で依頼を受け、ランセット・ファミリー・ジャーナルとして約15年ぶりとなる日本特集号の座長を担当。「日本のグローバルヘルス戦略と国内保健戦略の将来的方向性」をテーマに、Western Pacific地域の代表的研究者と協働し、現在複数の主要論文を執筆・査読中。	野村周平	野村周平	Western Pacific 地域各国の代表的研究者	Western Pacific 地域各国の研究機関	（2025年度～）	（継続中）
61	Memory-making as a practice of forgetting: post 3.11 Tohoku and post 1.1 Noto		ゲルスタ・ユリア	ゲルスタ・ユリア	Annaclaudia Martini	Bologna University	20250601	
62	Resilience and Climate Change in Japan and Italy		ゲルスタ・ユリア	ゲルスタ・ユリア	Annaclaudia Martini	Bologna University	20250401	20260331
63	Preservation and Dissemination of Diverse Disaster Narratives through Kamishibai		ゲルスタ・ユリア	ゲルスタ・ユリア	Kaoru Ueda	Stanford University	20240601	
64	Katastrophenbildung in Deutschland und Japan (Bosai Education in Germany and Japan)		ゲルスタ・ユリア	ゲルスタ・ユリア	Lothar Wigger	TU Dortmund	20251201	
65	Disaster Heritage and Forgetting		ゲルスタ・ユリア	ゲルスタ・ユリア	Fatma Ozdogan and Annaclaudia Martini	Montreal University/ Bologna University	20260201	
66	Warning Communication Knowledge, COST-Action Alert Hub		ゲルスタ・ユリア	ゲルスタ・ユリア、ボレー・セバスチャン	Florian Meissner	Heinrich Heine University Düsseldorf	20250801	
67	Seattle Emergency Hubs and Sendai Bosai Leader international comparison of community-based disaster risk reduction.		マリ・エリザベス	Maly, E.	Katerine Idziorek	University of North Carolina Charlotte, USA	20250401	20260301
68	Disaster memorialization in Thailand and Japan		マリ・エリザベス	Maly, E.	Titaya Sararit	Chiang Mai University, Thailand	20250401	20260301

69	Post-disaster housing and community recovery after the 2010 volcanic eruption of Mt. Merapi, Indonesia		マリ・エリザベス	Maly, E.	Ardhya Nareswari	Gadjah Mada University, Indonesia	20250401	20260301
70	International comparitive study of long term resiliennt housing recovery after disaster		マリ・エリザベス	Maly, E.	Mittul Vahanvati	RMIT, Australia	20250401	20260301
71	Research to document the experiences of affected residents for disaster education and awareness to reduce the risk of severe thunderstorm-related disasters, including tornadoes, in Bangladesh.	突風災害の記録方法に関するヒアリング調査企画を行う。 現地気象局や大学、各地方政府等の関係者に対するヒアリング調査、ワークショップを実施する。	小野裕一	小野裕一	坂本荘 立野象一 Muhammad Saidur Rahman	パシフィックコンサルタンツ株式会社 株式会社ウェザーニュース Bangladesh Disaster Preparedness Centre	20240827	20250630
72	環境調和型農園管理と災害脆弱性の軽減が連環発展可能な地域社会モデルの解明（科研費：国際共同研究加速基金（海外連携研究））		原裕太	原 裕太	Ngadi	インドネシア国家研究革新庁・インドネシア	20240909	20290331
73	アラスカ先住民コミュニティの永久凍土融解に関するリスクコミュニケーションの実践にむけて～気候変動下・北極域のSlow-onset-disaster 対応～（東北大学災害レジリエンス共創研究プロジェクト）		原裕太	中野久美子	岩花 剛	アラスカ大学フェアバンクス校・アメリカ合衆国	20250601	20260331
74	Disasters and Development in East Asian Regionalism in the Anthropocene（総合地球環境学研究所 地球人間システムの共創プログラム）	二国間共同研究ではなく、複数国の研究者が関わっており、本学側の代表者がいるわけではありません。また、本研究は人間文化研究機構・総合地球環境学研究所のプログラムであり、代表者は上智大学の伊藤毅教授（政治生態学）です。研究費は配分されていませんが、必要に応じてプロジェクトから支弁されます。記載のMIDDLETON, Carl 氏はPJの副代表のため、彼の名前を代表して記載しました。	原裕太		Carl Middleton	チュラロンコン大学・タイ王国	20250401	20320331
75	BWEF Learnings	Building sustainable and disaster resilient communities: Navigating shocks to the biodiversity-water-food-energy nexus through Learnings from Japan, India, and the UK	災害等のあらゆるショックが生物多様性・水・エネルギー・食へ連鎖的に与える影響について統合知を得るワークショップ	内田典子	内田典子	Bruce Malamud	ダラム大学・イギリス，アムリタ大学・インド	20250324	20270131
76	Monitoring The Presence and Stability of Mine Waste	鉱山・休廃止鉱山の面的把握，人間および生物に与える影響についての物理的・化学的・生物的視点を統合するワークショップ	内田典子	小森大輔	Matthew Johnson	ノッティンガム大学・イギリス，ボンベイ工科大学・インド	202509	202611
77	インドネシアにおける災害復興で現地の学術研究機関が果たす媒介機能の活用に向けて	インドネシアにおける災害復興で現地の学術研究機関が果たす媒介機能の活用方法等について明らかにする.	佐々木大輔	佐々木大輔	Prof. Dr. Hizir Sofyan	Universitas Syiah Kuala	20210401	20260331
78	インドネシアの地方レベルにおける災害レジリエンスの強化ーグローバル指標を活用して	インドネシアの地方レベルにおいて仙台防災枠組のグローバル指標の試算を通して災害レジリエンスの強化を図る際の課題等について明らかにする.	佐々木大輔	佐々木大輔	Prof. Dr. Hizir Sofyan	Universitas Syiah Kuala		
79	Developing a Mobile Phone Network Data-Driven Methodology to Quantify Community Resilience in Disaster Affected Areas	携帯電話から得られる位置情報を用いた人流観察に基づく災害被災地におけるコミュニティレジリエンスの定量的評価手法の開発	永田彰平	永田彰平	Cynthia Chen	ワシントン大学・米国	20250401	20260331

5．3．L．国際訪問・受け入れ

報告者名	受入 訪問	内　容 (学会発表を除く)	本学研究 代表者名	交流活動の名称	活動の概要	開催都市	開催国	相手方 代表者	代表相手方の 機関名称	実施年月日	
										開始	終了
木戸元之	訪問	共同研究	木戸元之	海底地殻変動観測打ち合わせ	次回の観測計画の打ち合わせおよび、現段階でのデータ処理の進捗報告	台北	台湾	Ya-Ju Hsu	Academia Sinica・台湾	20250922	20250926
高橋尚志	訪問	研修	高橋尚志	特になし	イタリア・パドヴァ大学への訪問研究員（Visiting researcher）としての滞在	パドヴァ	イタリア	Massimiliano Ghinassi	パドヴァ大学	20251023	20251231
高橋尚志	訪問	研修	高橋尚志	特になし	ドイツ・GFZ でのセミナー発表	ポツダム	ドイツ	Luca C. Malatesta	GFZ Potsdam	20251210	20251215
高橋尚志	訪問	学会・シンポジウム	高橋尚志	11th IAG International Conference on Geomorphology	能登半島および相模川における河川地形に関する研究成果の学会発表	クライストチャーチ	ニュージーランド			20260201	20260210
五十子幸樹	訪問	学会・シンポジウム	五十子幸樹	The Structural Engineers World Congress 2025	構造ヘルスモニタリングに関する最新の研究成果を情報収集	上海	中国			20250417	20250418
五十子幸樹	訪問	視察	五十子幸樹	2025 年ミャンマー地震被災地調査	2025年3月 28日に発生したミャンマー地震による被害調査	チェンライ	タイ			20250603	20250606
五十子幸樹	訪問	学会・シンポジウム	五十子幸樹	COMPDYN2025	構造ヘルスモニタリングに関する最新の研究成果に関する資料収集	イクシア	ギリシャ			20250615	20250618
五十子幸樹	受入	学会・シンポジウム	五十子幸樹	第2回構造工学に関する日本ーニュージーランドワークショップ、第1回歴史都市防災国際ワークショップ	Rayleigh 減衰の持つ課題を克服する新しい減衰モデルに関する資料収集，2016 年熊本地震で被災した熊本城の修復工事に関する資料収集	阿蘇郡	熊本			20250922	20250926
五十子幸樹	訪問	共同研究	五十子幸樹	特になし	性能可変オイルダンパーを用いた小変位免震に関する研究打ち合わせ	上海	中国		同済大学	20251015	20251015
五十子幸樹	訪問	共同研究	五十子幸樹	特になし	性能可変オイルダンパーを用いた小変位免震に関する研究打ち合わせ	ウルムチ	中国		新疆大学	20251017	20251018
五十子幸樹	訪問	共同研究	五十子幸樹	特になし	性能可変オイルダンパーを用いた小変位免震に関する研究打ち合わせ	上海	中国		同済大学	20251020	20251020
五十子幸樹	訪問	共同研究	五十子幸樹	特になし	ワークショップ“Development and Application of Inerter Dampers”、同調粘性マスダンパー補強された建物見学，実験所ツアー	北京	中国		清華大学	20251211	20251211
五十子幸樹	訪問	学会・シンポジウム	五十子幸樹	Kwang-Hua フォーラム		上海	中国		同済大学	20251212	20251215
五十子幸樹	訪問	共同研究	五十子幸樹	特になし	ダイナミック・マスを用いた建築構造物制振に関する研究打ち合わせ	武漢	中国	羅浩	華中科技大学	20260227	20260302
大野晋	受入	共同研究	大野晋	特になし	ウランバートル市の地盤振動特性評価に関する共同研究の打ち合わせ	仙台	日本	Tsamba TSOGGEREL 研究・技術開発室長 , モンゴル科学技術大学	モンゴル科学技術大学	20250725	20250729
大野晋	訪問	共同研究	大野晋	特になし	ウランバートル市耐震補強建物の常時微動測定	ウランバートル	モンゴル	Tsamba TSOGGEREL 研究・技術開発室長 , モンゴル科学技術大学	モンゴル科学技術大学	20251024	20251031
大野晋	受入	共同研究	大野晋	特になし	AI-Driven Research in Structural Engineering に関するセミナー	仙台	日本	Ahmed Torky 助教	エジプト英国大学	20250623	20250623
榎田竜太	訪問	表敬訪問	榎田竜太	International Symposium on Inerter Dampers and Advanced Structural Systems	日中の最先端の振動制御技術について双方向的に紹介する。	北京	中国	Pfof. Ji Xiaodong	精華大学	20251211	20251211
榎田竜太	訪問	表敬訪問	榎田竜太	中国内における振動制御技術に関する意見交換	日中の振動試験機の制御技術に関する意見交換	北京	中国	Pfof. Zhenyun Tang	北京工業大学	20250621	20250622
森口周二	受入	教育	森口周二	JYPE-COLABS 2025	留学生の受入と育成	仙台	日本	Zhang Yang	チャルマース工科大学	20251001	20260228
森口周二	訪問	協定締結（更新 / 事前協議含む）	寺田賢二郎		パドヴァ大学―東北大学の学術交流協定締結に向けた事前協議	ﾊﾟﾄﾞｳﾞｧ	イタリア	Antonia Larese	パドヴァ大学		
野村怜佳	訪問	共同研究	野村怜佳	東北大学若手リーダー海外派遣プログラム	研究課題：「固まり」から「ながれ」までを滑らかにつなぐ 2D-3D ハイブリッド解析による土石流の流下・堆積挙動評価	ﾊﾟﾄﾞｳﾞｧ	イタリア	Antonia Larese	パドヴァ大学	20251006	20260101
野村怜佳	訪問	協定締結（更新 / 事前協議含む）	寺田賢二郎		パドヴァ大学―東北大学の学術交流協定締結に向けた事前協議	ﾊﾟﾄﾞｳﾞｧ	イタリア	Antonia Larese	パドヴァ大学		
ドロハン・ニロ・レムエル・フニオ	受入	教育	森口周二	JYPE-COLABS 2025	留学生の受入と育成	仙台	日本	Zhang Yang	チャルマース工科大学	20251001	20260228
ドロハン・ニロ・レムエル・フニオ	訪問	協定締結（更新 / 事前協議含む）	寺田賢二郎		パドヴァ大学―東北大学の学術交流協定締結に向けた事前協議	ﾊﾟﾄﾞｳﾞｧ	イタリア	Antonia Larese	パドヴァ大学		
今村文彦	受入	共同研究	今村文彦	正修科技大学からの研究者受け入れ	今後の交流強化と新たな共同研究テーマ	仙台	日本	Prof. Yen-Yi Lee	正修科技大学	20250922	20251003
サッパシー・アナワット	訪問	国際会議（研究発表以外）	栗山進一	AOGS council meeting	AOGS2025 開催の運営の為の会議	バンコク	タイ	Prof. Takehiko Sato	AOGS	20250412	20250413
サッパシー・アナワット	訪問	視察	栗山進一	ミャンマー地震の緊急調査	ミャンマー地震による被害調査、ネットワークづくり	バンコク	タイ	Prof. Chatchart Sittipant 等	バンコク都知事、日本大使館、JICA タイ事務所等	20250415	20250418
サッパシー・アナワット	訪問	表敬訪問	冨永 悌二	タイ表敬訪問	タイ同窓会イベントに出席、Chulalongkorn 大学等の訪問	バンコク	タイ	Prof. Wilert Puriwat	Chulalongkorn 大学、タマサート大学、MWIT 高校、等	20250517	20250522
サッパシー・アナワット	訪問	視察	栗山進一	ミャンマー地震の緊急調査	ミャンマー地震による被害調査、ネットワークづくり	バンコク	タイ	Dr. Titaya Sararit	Chiang Mai 大学、MQDC 社等	20250602	20250606
サッパシー・アナワット	受入	フィールドワーク	栗山進一	UCL summer インターンシップ	UCL summer インターンシップの学生の受入	仙台等	日本	Prof. Joanna Faure Walker	UCL	20250614	20250715
サッパシー・アナワット	訪問	視察	栗山進一	タイ津波対策の評価	ミャンマー地震ワークショップ開催、2004 年インド洋津波の被災地での防災対策の評価。	バンコク、プーケット等	タイ	梶原徹	日本大使館、JICA タイ事務所等	20250714	20250718
サッパシー・アナワット	訪問	学会・シンポジウム	栗山進一	AOGS2025	学会参加、発表	シンガポール	シンガポール	Prof. Takehiko Sato	Asia Oceania Geosciences Society	20250727	20250802
サッパシー・アナワット	訪問	表敬訪問	栗山進一	正修科技大学の訪問	表敬訪問、招待講演	高雄	台湾	Prof. Yen-Yi Lee	正修科技大学	20250808	20250814

報告者名	受入訪問	内　容（学会発表を除く）	本学研究代表者名	交流活動の名称	活動の概要	開催都市	開催国	相手方代表者	代表相手方の機関名称	実施年月日	
										開始	終了
サッパシー・アナワット	訪問	学会・シンポジウム	栗山進一	AIWEST-DR2025	学会参加、発表	ロンドン	イギリス	Prof. Tiziana Rossetto	UCL	20250818	20250822
サッパシー・アナワット	訪問	フィールドワーク	栗山進一	SATREPS プロジェクト関連調査	アンボンでの海底調査、研究成果報告	アンボン	インドネシア	Prof. Muhammad Farid	バンドン工科大学	20250908	202509012
サッパシー・アナワット	受入	共同研究	今村文彦	正修科技大学からの研究者受け入れ	今後の交流強化と新たな共同研究テーマ	仙台	日本	Prof. Yen-Yi Lee	正修科技大学	20250922	20251003
サッパシー・アナワット	受入	表敬訪問	植木 俊哉	Thammasat 大学の表敬訪問	大学間の全体連携	仙台	日本	Prof. Sanya Mitaim	Thammasat 大学	20250925	20250925
サッパシー・アナワット	受入	研修	サッパシー・アナワット	SATREPS 研修	津波数値解析、地形データ作成の研修	仙台	日本	Prof. Muhammad Farid	バンドン工科大学	20251001	20251031
サッパシー・アナワット	訪問	研修（研究活動に関連しないもの）	栗山進一	UNDP タイの津波記事プロジェクト	参加するタイ記者への研修の講師	バンコク	タイ	Aticha Chaivichian	UNDP Thailand	20251018	20251020
サッパシー・アナワット	受入	共同研究	サッパシー・アナワット	バース大学からの研究者受け入れ	津波リスク評価に関する共同研究	仙台	日本	Dr. Mohammad Heidarzadeh	バース大学	20251110	20251212
サッパシー・アナワット	受入	表敬訪問	植木 俊哉	Kasetsart 大学の表敬訪問	大学間の全体連携	仙台	日本	Prof. Kanapol Jutamanee	Kasetsart 大学	20251118	20251118
サッパシー・アナワット	受入	表敬訪問	植木 俊哉	Chulalongkorn 大学の表敬訪問	大学間の全体連携	仙台	日本	Dr. Natt Leelawat	Chulalongkorn 大学	20260120	20260120
サッパシー・アナワット	受入	教育 / 学生交流プログラム打合せ	サッパシー・アナワット	さくらサイエンス・プログラム	タイの高校と古川黎明高校の交流プログラム	仙台	日本	今野光穂	古川黎明高校	20260129	20260129
サッパシー・アナワット	受入	共同研究	サッパシー・アナワット	研究打ち合わせ	津波ハザード・リスク評価に関する共同研究	仙台	日本	Dr. An-Chi Cheng	National Chung Hsing University	20230309	20230309
サッパシー・アナワット	受入	共同研究	サッパシー・アナワット	シャクアラ大学からの研究者受け入れ	津波リスク評価に関する共同研究	仙台	日本	Prof. Syamsidik	シャクアラ大学	20260330	20260403
越村俊一	訪問	共同研究	越村俊一	意見交換	TsunamiCast の提案	ジャカルタ	インドネシア	Dr. Abful Muhari	国家防災庁	20250430	20250430
越村俊一	訪問	学会・シンポジウム	越村俊一	Macroregional Seminar on Disaster Risk Management and Climate Change Adaptation	招待講演	リマ	ペルー			20250522	20250522
越村俊一	訪問	学会・シンポジウム	越村俊一	Esri User Conference	研究発表	サンディエゴ	アメリカ			20250714	20250717
越村俊一	訪問	学会・シンポジウム	越村俊一	AOGS2025	研究発表	シンガポール	シンガポール			20250730	20250730
越村俊一	訪問	学会・シンポジウム	越村俊一	AIWEST-DR 2025	研究発表	ロンドン	イギリス			20250820	20250822
越村俊一	訪問	共同研究	越村俊一	意見交換，視察	TsunamiCast の国際展開	ロサンゼルス	アメリカ	Eon Eguchi		20250919	20250922
越村俊一	訪問	学会・シンポジウム	越村俊一	Joint IAGA-IASPEI Scientific Assembly	研究発表	リスボン	ポルトガル			20250904	20250904
越村俊一	訪問	学会・シンポジウム	越村俊一	International Congress on Comprehensive Disaster Risk Management and Climate Change	基調講演	リマ	ペルー			20251107	20251107
越村俊一	訪問	学会・シンポジウム	越村俊一	ACMT Symposium on Machine Learning and Digital Twin Technologies Against Natural Disasters	研究発表	台南	台湾			20251212	20251212
越村俊一	訪問	学会・シンポジウム	越村俊一	AGU2025	研究発表	ニューオリンズ	アメリカ			20251215	20251215
越村俊一	訪問	学会・シンポジウム	越村俊一	ESNZ–NIED Earthquake and Tsunami Workshop	基調講演	ウェリントン	ニュージーランド			20250216	20250216
アドリアノ・ブルーノ	訪問	研修	Bruno Adriano	UK-Japan seminar on tsunami and storm resilience	津波浸水予測における AI の応用についてプレゼンテーションに関する発表	Bath	UK	Mohammad Heidarzadeh	University of Bath	20250819	20250820
アドリアノ・ブルーノ	訪問	研修	Bruno Adriano	2025 International Training Workshop on Disaster Risk Reduction Innovation	地球観測と災害管理のための AI に関するプレゼンテーションに関する発表	台北	台湾	Wei-Sen Li	National Science and Technology Center for Disaster Reduction	20251028	20251031
アドリアノ・ブルーノ	訪問	研修	Bruno Adriano	High-Level Forum and the 20t Integrated Workshop of the ESCAP/WMO Typhoon Committee	台風による洪水マッピングへの地球観測と AI の応用についてプレゼンテーションに関する発表	マカオ	中国	Weng Kun Leong	Meteorological and Geophysical Bureau	20251202	20251205
アドリアノ・ブルーノ	訪問	研修	越村 俊一	フィリピン国「地震、津波、火山の監視および情報発信のための能力開発プロジェクト」	津波による建物被害のマッピングにおける地球観測の応用についてプレゼンテーションに関する発表	マニラ	フィリピン	Teresito C. Bacolcol	PHIVOLCS	20260120	20260122
アドリアノ・ブルーノ	訪問	研修	Bruno Adriano	FloodWatch: オーストラリア・日本共同研究プロジェクト	洪水による建物被害のマッピングにおける地球観測技術の応用についてプレゼンテーションに関する発表	シドニー	オーストラリア	Dat Pham	Western Sydney University	20260220	20260221
ベスコボ・ルベン		共同研究	VESCOVO Ruben	Special Lecture	I gave a special lecture about building damage inference using bayesian mechanics & efficient scaling of agent based models	Irvine	USA	Prof. Nalini Vankatasubramanian	University of California Irvine	20251114	20251114
蝦名裕一	受入	教育 / 学生交流プログラム打合せ	蝦名裕一	Tohoku University STEM Summer Program 2024	講義「Disaster Science and Japanese Disaster Culture」および歴史資料保全ワークショップ	仙台	日本	粕壁善隆	ワシントン大学他	20250712	
村尾修	訪問	学会・シンポジウム	村尾修	韓国災害情報学会設立 20 周年記念イベント「日中韓セミナー」	防災に関する議論・意見交換	ソウル	韓国	Kim Tae-Hwan	韓国災害情報学会	20250509	20250509
村尾修	訪問	教育	小野田泰明	台湾国立成功大学との国際ワークショップ	授業担当教員として、都市建築設計 I で行う成功大学との国際ワークショップの設計課題評価を行った	台南	台湾	Cheng-Luen Hsueh	成功大学	20250806	20250808
村尾修	訪問	表敬訪問	村尾修		復興状況に関するヒアリング	パル	インドネシア	Hadianto Rasyid	パル市役所	20250917	20250917
村尾修	訪問	視察	村尾修		現地調査	パル	インドネシア	Hadianto Rasyid	パル市役所	20250918	20250918
村尾修	訪問	視察	村尾修		現地調査	トラジャ	インドネシア	Zadrak Tombeg	タナ・トラジャ	20250920	20250920
村尾修	受入	表敬訪問	村尾修		情報交換・意見交換	仙台	日本	Tsang-Jung Chang	国立台湾大学	20251028	20251028
村尾修	訪問	視察	村尾修		現地調査	バリ	インドネシア	Lecturer Budiyana I Made	ウダヤナ大学	20260316	20260321
村尾修	訪問	視察	村尾修		研究打ち合わせ	シャンペーン	アメリカ	Prof. Paolo Gardoni	イリノイ大学アーバナシャンペーン校	20260328	20260329
泉貴子	訪問	共同研究	泉貴子		共同研究に関する意見交換	ウプサラ	スウェーデン	Prof. Steffi Burchardt	ウプサラ大学	20260320	20260320
奥村誠	受入	共同研究	奥村誠	都市間交通に関する研究会	研究会での基調講演および日本側研究者との意見交換	仙台市	日本	Anming Zhang	Canada British Columbia 大学	20251212	20251214
御手洗潤	訪問	学生引率	姥浦道生	日中デザインワークショップ in 武漢・福島	東北大及び華中科技大の学生と武漢において WS を行うとともに、東北大の学生が福島で発表	武漢・双葉	中国・日本	譚剛毅教授	華中科技大学	2025/11/3	2025/12/4
御手洗潤	受入	研修	御手洗潤	JICA 研修「都市課題解決のためのスマートシティアプローチ」	各国の国・自治体のスマートシティ担当者を受け入れた研修	横浜・宇都宮等	日本	小東可菜補佐（国交省）	JICA・国交省・パシフィックコンサルタンツ	2025/11/20	2025/12/8

報告者名	受入訪問	内　容（学会発表を除く）	本学研究代表者名	交流活動の名称	活動の概要	開催都市	開催国	相手方代表者	代表相手方の機関名称	実施年月日	
										開始	終了
苅谷智大	訪問	フィールドワーク	姥浦道生	日中合同デザインワークショップ	中国・華中科技大学との農山村地域の再生に関するデザインワークショップ	武漢市	中国	Prof. Geng Hong	華中科技大学	20251103	20251107
國井泰人	受入	教育	富田博秋	Neuro global seminar	Resilience to stress and therapy response in major depressive disorders	仙台	日本	Prof. Klaus Lieb	マインツ大学	20250929	20250929
國井泰人	受入	学会・シンポジウム	國井泰人	BPCNPNP2025　シンポジウム	Can the pan-omics framework illuminate the grand challenge of studying neuropsychiatric illnesses?	京都	日本	Prof. Robert McCullumsmith	トレド大学	20251114	20251114
大類真嗣	訪問	学会・シンポジウム	大類 真嗣	AIPTKMI XVI, National Working Meeting, Semarang, Indonesia	インドネシア公衆衛生協会の年次総会にて Disaster Public Health Management について基調講演を行った	Semarang	Indonesia	Prof. Fajar Ariyanti	AIPTKMI	20251101	20251102
野村周平	受入	共同研究	野村周平	GBD 独立諮問委員会（Independent Advisory Committee：IAC）第 25 回会合	IAC 座長 Prof. Peter Piot、GBD 統括責任者 Prof. Christopher Murray（米国ワシントン大学 IHME）、ゲイツ財団関係者等 20 名以上を招聘。日本の政策決定者との合同会議も実施し、GBD データの政策活用について議論。	東京	日本	Prof. Peter Piot（IAC 座長）、Prof. Christopher Murray（IHME・米国）	米国ワシントン大学保健指標評価研究所（IHME）	20251001	20251003
佐藤健	受入	視察	佐藤健	台湾関係者の東京都小中学校視察	台湾の小中学校の校長、地方自治体の防災教育に関わる関係者が東京大学地震研究所および府中市立府中第八中学校、北区立堀船小学校視察	東京	日本	蔡　明勲	Taipei Municipal Fuxing High School	20250410	20250411
佐藤健	受入	視察	佐藤健	コミュニティ防災に関する国際交流セミナー	米国シアトルの Seattle Emergency Hubs（SEH）の関係者が来所され、ポストプログラムとして開催	仙台	日本	Katherine Idziorek	ノースカロライナ大学	20260220	20260220
佐藤翔輔	受入	共同研究	佐藤翔輔	COLABS program	災害 SNS に関する共同研究	仙台	日本	Yen-Ching Liu	Taiwan University	2024.10	2025.9
ボレー・セバスチャン	受入	フィールドワーク	Sébastien P. Boret	Living on with things: Material culture of the post-disaster everyday	本研究では、災害に関連する博物館展示や慰霊施設に関する	Sheffield	UK	Dr. Anna Eveliina Vainio	University of Sheffield	20250802	20250907
ボレー・セバスチャン	訪問	共同研究	Sébastien P. Boret	インドネシアの災害と障害に関する研究 :2004 年インド洋地震・津波から学ぶ	インドネシアの災害と障害に関する研究 :2004 年インド洋地震・津波から学ぶ	バンダアチェ	インドネシア	Dr. Alfi Rahman	シャクアラ大学	20260202	20260209
ボレー・セバスチャン	訪問	フィールドワーク	Sébastien P. Boret	Learning Trajectories of Catastrophic Disasters and Building Resilience to Natural Hazards and Risks	長期的な傾向と過去の経験を検証することによって、災害リスクに直面している社会の災害回復力を高めるための戦略を分析することであった。	仙台	日本	Prof.Emmanuel Garnier	Paris-Saclay	20250401	20250501
ボレー・セバスチャン	訪問	学会・シンポジウム	Sébastien P. Boret	Integrated Risks Management for more resilient Societies at the Global Changes Era (IRIMa)	プログラム内容：リスク研究プログラムの活動紹介、研究所の研究者との意見交換、そして 2027 年または 2028 年に予定されている日仏ワークショップを通じた持続的な学術連携の可能性の検討。	仙台	日本	Prof Gilles Grandjean	BRGM	20260305	20260306
ボレー・セバスチャン	訪問	共同研究	Takako Izumi	Building a network of DRR research centers	CNDS との MOU に基づき、日本とスウェーデンの次世代における気候変動認識の比較研究プロジェクトを立ち上げた。	Uppsala	Sweden	Prof Steffi Burchardt	CNDS	20260319	20260321
ボレー・セバスチャン	訪問	学会・シンポジウム	Sébastien P. Boret	Journées scientifiques annuelles du programme Risques (IRiMa)	IRiMa リスクプログラム年次学術会合に参加し、日本におけるインクルーシブ DRR の実践経験を共有するとともに、IRiMa プロジェクトとの新たな連携の構築を図った。	Paris	France	Prof Soraya Boudia	CNRS	20260325	20260327
ゲルスタ・ユリア	受入	フィールドワーク	ゲルスタ・ユリア	Fukushima Archives and Hope Tourism Research Meeting	Research Meetings at IRIDeS, Feedback on ongoing research, fieldwork support for Fukushima visits, introduction of researchers (Mitarai)	Sendai	Japan	Veera Ojala	Turku University	20250517	20250523
ゲルスタ・ユリア	受入	フィールドワーク	ボレー・セバスチャン	Disaster Memory and Disaster Heritage	Research Meetings and Introduction to field sites	Sendai	Japan	Dr. Anna Vainio	Sheffield University	20250801	20250904
ゲルスタ・ユリア	受入	教育 / 学生交流プログラム打合せ	ゲルスタ・ユリア	Disaster Memory and Disaster Heritage	Preparation for Summer School in Bologna and Winter School in Sendai. Research Meetings and Introduction to field sites	Sendai	Japan	Assistant Prof. Anna Martini	Bologna University	20250810	20250904
ゲルスタ・ユリア	訪問	教育	ゲルスタ・ユリア	Introduction to Memory Studies	Block seminar for BA students	Dortmund	Germany	Prof. Lothar Wigger	TU Dortmund	20251201	20251230
ゲルスタ・ユリア	訪問	フィールドワーク	ゲルスタ・ユリア	Gambrinus Fellowship	Research stay at TU Dortmund, Online Meetings and Instructions to Students	Dortmund	Germany	Prof. Lothar Wigger	TU Dortmund	20250601	20260430
ゲルスタ・ユリア	訪問	学会・シンポジウム	ゲルスタ・ユリア	DISSONANT MEMORIES: GEOGRAPHIES OF MIGRATION, COLONIALISM, AND TRAUMA	Summer School Participation and Feedback to Students	Sendai	Japan	Assistant Prof. Anna Martini	Bologna University	20250906	20250913
ゲルスタ・ユリア	訪問	学会・シンポジウム	ゲルスタ・ユリア	Gedenken an Natur(?)katastrophen: Zur sozialen Konstruktion von Katastrophengedächtnissen	Presentation as part of the Gambrinus Fellowship	Dortmund	Germany	Prof. Lothar Wigger	TU Dortmund	20251210	20251210
ゲルスタ・ユリア	訪問	学会・シンポジウム	ゲルスタ・ユリア	Research Visit and presentation	PhD Workshop participation, feedback to PhD researchers	Berlin	Germany	Prof. Verena Blechinger-Talcott	FU Berlin	20251208	20251208
ゲルスタ・ユリア	受入	フィールドワーク	ゲルスタ・ユリア	Comparison of German and Japanese Disaster Responses (Focus on the Ahrtal in Germany and Ishinomaki in Japan)	Research Meeting and fieldwork in Ishinomaki	Sendai	Japan	Prof. Andrea Schmelz	Hochschule Coburg	20250901	20250905
ゲルスタ・ユリア	受入	その他・分類不能	柴山	Research Meeting, Introduction to other researchers	Research Meeting, Introduction to other researchers	Sendai	Japan	Prof. Andrew Gordon	Harvard University	20260109	20260112
ゲルスタ・ユリア	受入	フィールドワーク	ゲルスタ・ユリア	Challenges in Disaster Education	Workshop Presentations, field visits to Arahama, Research Meetings with Saito-sensei, Meeting future research prospects	Sendai	Japan	Prof. Lothar Wigger	TU Dortmund	20260315	20260318
ゲルスタ・ユリア	受入	表敬訪問	小野	Introduction to IRIDeS and Tohoku University	Leibniz, Max Planck, Peace Research Institutes visit to IRIDeS	Sendai	Japan	Leibniz, Max Planck, Peace Research Institutes		20250930	20250930
マリ・エリザベス	受入	教育	マリ・エリザベス	「特になし」	学生の授業	仙台	日本	Prof. Daniel Aldrich	North Eastern University	20250704	20250704
マリ・エリザベス	受入	共同研究	マリ・エリザベス	「特になし」	共同研究を向けて議論する	仙台	日本	Prof. Po-yu Hung	National Taiwan University	20250916	20250916
マリ・エリザベス	受入	視察	マリ・エリザベス	「特になし」	共同研究、現地視察	仙台、双葉、石巻	日本	Assoc. Prof. Elyse Zavar	North Texas University	20251023	20251029
マリ・エリザベス	訪問	学会・シンポジウム	マリ・エリザベス	Design with Precarity: The 13th Conference of the Pacific Rim Community Design Network	東北の復興について発表	Bangkok	タイ	Boona	Thammasat University	20251210	20251213

報告者名	受入訪問	内　容（学会発表を除く）	本学研究代表者名	交流活動の名称	活動の概要	開催都市	開催国	相手方代表者	代表相手方の機関名称	実施年月日	
										開始	終了
マリ・エリザベス	訪問	フィールドワーク	マリ・エリザベス	「特になし」	2004 年津波被災地の視察	Phang Nga	タイ	Assist. Prof. Titaya Sararit	Chiang Mai University	20251214	20251217
マリ・エリザベス	受入	共同研究	マリ・エリザベス	Green Placemaking in Fukushima Site Visit and Workshop	共同研究と視察	仙台、双葉、大熊	日本	Prof. Jeffrey Hou	National University of Singapore	20260202	20260204
マリ・エリザベス	受入	共同研究	マリ・エリザベス	Green Placemaking in Fukushima Site Visit and Workshop	共同研究と視察	仙台、双葉、大熊	日本	Assoc. Prof. Shumei Huang	National Taiwan University	20260202	20260204
マリ・エリザベス	受入	共同研究	マリ・エリザベス	Green Placemaking in Fukushima Site Visit and Workshop	共同研究と視察	仙台、双葉、大熊	日本	Assist. Prof. Titaya Sararit	Chiang Mai University	20260202	20260205
マリ・エリザベス	受入	共同研究	マリ・エリザベス	Green Placemaking in Fukushima Site Visit and Workshop	共同研究と視察	仙台、双葉、大熊	日本	Lecturer Ardhya Naresware	Gadjah Mada University	20260202	20260205
マリ・エリザベス	受入	フィールドワーク	マリ・エリザベス	「特になし」	共同研究と視察	仙台	日本	Assoc. Prof. Katherine Idziorek	North Carolina University	20260219	20260227
マリ・エリザベス	受入	フィールドワーク	ゲルスタ・ユリア	「特になし」	視察	仙台	日本	Assist Prof. Annaclaudia Martini	University of Bologna	20260309	20260314
マリ・エリザベス	受入	教育	ゲルスタ・ユリア	「特になし」	学生の授業	仙台	日本	Assist. Prof. Rebakah Daro Minarchek	University of Washington	20260323	20260323
マリ・エリザベス	受入	教育	マリ・エリザベス	「特になし」	客員研究員を指導する	仙台	日本	Fatma Ozdogan	University of Montreal	20251025	20260331
小野裕一	訪問	その他・分類不能	小野裕一	International Workshop on Integrating Severe Local Storm Disaster Risk Reduction into National School Curriculum of Bangladesh	日米やバングラデッシュのトルネード災害の現状から、竜巻を含むシビアストーム防災について教科書に掲載すべきかどうかの意見交換	ダッカ	バングラデッシュ	Ahmadul Haque 副次官	国家防災庁	20250503	20250503
小野裕一	訪問	その他・分類不能	小野裕一	International Workshop on Integrating Severe Local Storm Disaster Risk Reduction into National School Curriculum of Bangladesh	落雷の被害について意見交換	ダッカ	バングラデッシュ	Fatima 学科長	ダッカ大学	20250504	20250504
小野裕一	訪問	その他・分類不能	小野裕一	International Workshop on Integrating Severe Local Storm Disaster Risk Reduction into National School Curriculum of Bangladesh	早期警戒システムについて意見交換	ダッカ	バングラデッシュ	Dr. Shameem	Bangladesh Meteorological Department (BMD)	20250506	20250506
小野裕一	訪問	表敬訪問	小野裕一	International Workshop on Integrating Severe Local Storm Disaster Risk Reduction into National School Curriculum of Bangladesh	日米やバングラデッシュのトルネード災害の現状から、竜巻を含むシビアストーム防災について教科書に掲載すべきかどうかの意見交換	ダッカ	バングラデッシュ	Razwanur Rahman 長官	バングラデッシュ国家防災機関 水門局	20250507	20250507
小野裕一	訪問	学会・シンポジウム	小野裕一	the 20th Annual Meeting of TC WGDRR	スピーカー	ソウル	韓国		ESCAP　他	20250527	20250528
小野裕一	訪問	学会・シンポジウム	小野裕一	Eighth session of the Global Platform for Disaster Risk Reduction (GP2025)	オーガナイザー	ジュネーブ	スイス		UNDRR	20250602	20250606
小野裕一	訪問	学会・シンポジウム	小野裕一	the GADRI(Global Alliance of Disaster Research Institute）第 45 回理事会	理事	コロラド	アメリカ		Global Alliance of Disaster Research Institute	20250720	20250720
小野裕一	訪問	学会・シンポジウム	小野裕一	the GADRI Summit 2025	スピーカー	コロラド	アメリカ		Global Alliance of Disaster Research Institute	20250721	20250722
小野裕一	訪問	学会・シンポジウム	小野裕一	Japan-US Research Collaboration Week 2025	モデレーター	スタンフォード	アメリカ		Learning Stanford University	20250728	20250728
小野裕一	訪問	学会・シンポジウム	小野裕一	21st Emergency Preparedness Working Group Meeting (EPWG 21)	スピーカー	インチョン	韓国		APEC	20250730	20250801
小野裕一	訪問	学会・シンポジウム	小野裕一	ぼうさいこくたい 2025in 新潟	セッション S-32 趣旨説明	新潟	日本		防災推進国民大会 2025 実行委員会	20250906	20250907
小野裕一	訪問	学会・シンポジウム	小野裕一	IDRC2025 (防災ダボス会議)	スピーカー	ニコシア	キプロス		Cyens – Centre of Excellence	20251022	20251024
小野裕一	訪問	学会・シンポジウム	小野裕一	BONN TECHNICAL FORUM 2025	意見交換	ボン	ドイツ		UNDRR 他	20251202	20251205
小野裕一	訪問	学会・シンポジウム	小野裕一	ESCAP/WMO Typhoon Committee	会議出席	済州島	韓国		ESCAP　他	20260310	20260313
小野裕一	訪問	学会・シンポジウム	小野裕一	GADRI Events in March 2026	意見交換	京都府	日本		GADRI)	20260318	20260319
原裕太	訪問	表敬訪問	栗山進一	UN 8th Global Platform for Disaster Risk Reduction (GPDRR)	栗山進一所長、原裕太助教の2名で WMO 本部に木村達哉氏を表敬訪問した。	ジュネーヴ	スイス	木村達哉 , Director, Public-Private Engagement Office	WMO	202506	
内田典子	受入	協定締結（更新 / 事前協議含む）	内田典子	Special Talk: Natural Hazard Interrelationships and dynamic risk scenarios	協定締結およびマルチハザードリスクに関する特別講義	ダラム	イギリス	Bruce Malamud	ダラム大学	20250707	20250711
内田典子	訪問	共同研究	内田典子	BWEF-workshop in the UK	生物多様性・水・エネルギー・食が災害によって受ける連鎖的影響のワークショップ	ダラム	イギリス	Bruce Malamud	ダラム大学	20260202	20260207
猪狩暢子	受入	研修	小野裕一	Workshop on Resilient Infrastructure for Effective EW Dissemination	アジア太平洋の防災担当者との防災ワークショップ、被災地視察	仙台	日本	Aamir Riaz	ITU	20250910	20250912
永田彰平	訪問	共同研究	永田彰平	特になし	ワシントン大学での人流解析に基づくコミュニティレジリエンス評価手法の共同開発	シアトル	米国	Prof. Cynthia Chen	ワシントン大学	20251101	20260331

5. 4.　広報・コミュニケーション活動

5. 4. A. 刊行物

● 2024年度　年次活動報告書
　前年度の活動をまとめた年次活動報告書を2025年9月に発行した。



● IRIDeS Newsletter
　広報誌IRIDeS Newsletter日本語版を夏号・冬号の年2回発行したことに加え、英語版を年1回発行した。基本方針は引き続き「災害研ならではの情報かつ社会が求める内容を、平易な言葉で発信する」とし、基本的に記事は広報室で執筆した。



○ IRIDeS Newsletter vol. 07 2025 夏号 日本語・印刷版（2025年7月発行）
・活動：ミャンマー地震速報会を開催
・研究：黒鉛を活用した安価な免振効果の技術開発
・研究：「調査公害」対策を提言
・活動：東日本大震災に関するシンポジウムを開催
・教職員紹介

○ IRIDeS Newsletter vol. 08 2025 冬号 日本語・印刷版（2026年2月発行）
・特集：東日本大震災15年と私の研究

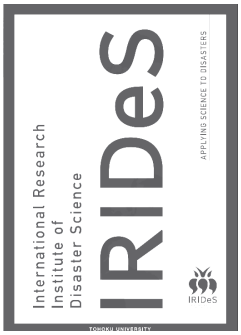
○ IRIDeS Newsletter 2026 英語・印刷版（2026年3月発行）
・Special Issue: 15 Years after the Great East Japan Earthquake - Research and Reflections





● パンフレット等
　災害研組織の変更に伴い、IRIDeSパンフレット（日本語・英語）を更新した。
　日本語版改定：2025年10月
　英語版改定：2025年9月





5. 4. B. 公開イベント（IRIDeS オープンフォーラム等）

2025 年度は、IRIDeS 全体として 5 件の公開イベントを主催した（災害速報会 3 件、災害科学国際研究所シンポジウム、東北大学災害科学国際研究所 2024 年度レジリエンス共創研究報告会）。うち 4 件は、「IRIDeS オープンフォーラム」として実施された。（研究室単位等で実施した公開イベントの報告については、「5.2.B.アクティビティレポート」等を参照。）

■災害速報会

概要：重大災害が発生した後、所内研究者が迅速に解析・調査等を進め、必要と判断された場合、関係者や社会と情報を共有するために速報的に実施する。また、IRIDeS の「災害特集」ウェブサイトにも解析結果を随時掲載する。

（1）2025 年ミャンマー地震速報会（第 89 回 IRIDeS オープンフォーラム）

2025 年 4 月 25 日（金）15：00～17：00　ZOOM ウェビナーによるオンライン、日本語・英語

1. 開催挨拶　Opening remarks
   栗山進一 所長
2. 地震を受けた日本政府の対応について　Japanese Government's Response to the Earthquake
   梶原 徹（タイ日本大使館）
3. 報告
   1) 地震の背景と地震時変動　Background of the 2025 Sagaing earthquake and its coseismic deformation
      岡田悠太郎、福島洋、遠田晋次
   2) 途上国災害対応への衛星情報活用の課題と可能性 Challenges and possibilities in utilizing satellite Information for disaster operations in developing countries
      永見光三（東北大学グリーン未来創造機構）、川北史朗（宇宙航空研究開発機構）
   3) バンコクでの被害状況と緊急調査報告　Damage situation and rapid survey in Bangkok
      サッパシー アナワット、スクンタナソーン ナルテープ、榎田竜太、栗山進一
   4) JICA タイ事務所の取り組みについて　Project Overview of JICA Thailand Office
      川辺了一（Japan International Cooperation Agency (JICA) タイ事務所）
   5) From Policy to Practice: Challenges and Opportunities for Resilience in Thailand's Disaster Management
      Ratchaneekorn Thongthip（Member of the Senate of Thailand, Director of Thailand tsunami museum）
   6) Structural damages found in tall buildings in Bangkok from M7.7 Myanmar earthquake
      Amorn Pimanmas（President of Thailand Structural Engineers Association）
   7) Overview of the Sagaing Earthquake and Current Loss Inventory Survey in Inle Lake (UNESCO World Heritage)
      Kyaw Swar Myint Thein（Founder of Unique Lab Co., Ltd.）
   8) 2025 Myanmar Earthquake: Investigating damage through remote sensing, news reports, and social media
      Ruben Vescovo
   9) The effects of the 2025 Myanmar earthquake on buildings in China: A brief summary
      Zhe Qu（Institute of Engineering Mechanics, China Earthquake Administration）
   10) Damage Update and Future Outlook
      Yuichi Ono
4. 閉会挨拶　Closing remarks
   小野 裕一 副所長

司会　森口周二、井内加奈子

（2）2025 年カムチャツカ半島付近の地震速報会（第 91 回 IRIDeS オープンフォーラム）

2025 年 9 月 4 日（木）16:00～17:00、オンライン（Zoom）

1. 開会挨拶

栗山進一（東北大学災害科学国際研究所所長）

2. 地震発生メカニズム

福島洋、富田史章、岡田悠太郎、唐啓賢、木戸元之、遠田晋次

3. 津波の特徴

越村俊一、マス エリック、アドリアノ ブルーノ

4. 津波による国内の水産被害

サッパシー アナワット、田中健登（東北大学工学研究科大学院生）、鴫原良典（防衛大学校）、八田政和（防衛大学校）、今村文彦

5. 避難行動の実態

佐藤翔輔、成田峻之輔（東北大学工学研究科大学院生）、新家杏奈、今村文彦

6. 質疑応答

司会：森口周二

(3) 令和 7 年 12 月 8 日青森県東方沖の地震・津波

2025 年 12 月 10 日（水）午後7時 30 分～午後8時 30 分、オンライン（zoom）

1. 開会挨拶

栗山進一 所長

2. 2025 年 12 月 8 日青森県東方沖の地震とその周辺の地震活動について

富田史章

3. 津波数値解析と伝播特徴

サッパシー アナワット

4. 北海道・三陸沖後発地震注意情報について

福島洋

5. 社会の対応状況

佐藤翔輔

6. 閉会挨拶

越村俊一 副所長

司会：森口周二

■災害科学国際研究所シンポジウム

概要：東日本大震災発生直後から、本研究所（2012 年 3 月までは前身の防災科学研究拠点）は、東日本大震災に関する調査・研究経過を広く社会に報告する「東北大学による東日本大震災報告会」を実施した。その報告会を引き継ぐ形で、2013 年より毎年、東日本大震災発生日（3 月 11 日）前後のタイミングで、東日本大震災および災害科学をテーマにした一般公開シンポジウムを実施しており、近年は仙台防災未来フォーラムの傘のもと開催している。

東日本大震災メモリアルシンポジウム「東日本大震災 15 年：いま語るべきこと、伝えるべきこと、そしてこれから」（第 92 回 IRIDeS オープンフォーラム）

2026 年 3 月 14 日（土）12：45～14：45、仙台国際センター展示棟。対面実施、後日映像を IRIDeS Channel で配信

司会：福島洋

挨拶・基調講演：「命を守る防災～今、できることがある！～」栗山 進一

趣旨説明：村尾 修

プレゼンテーション

① 東日本大震災から 15 年ー「街の復興」の観点からの中期的評価：姥浦 道生

② 災害リスクを踏まえた復興政策に対する地域社会の長期的レスポンス：井内 加奈子

③ 東日本大震災の「震災伝承」の観点から：佐藤 翔輔

総括：村尾 修

閉会の挨拶：越村 俊一

■レジリエンス共創研究報告会

概要：本研究所と学内の部局、国立研究開発法人防災科学技術研究所で連携し、総合知を活用して社会の災害レジリエンス向上を実現する「災害レジリエンス共創センター」を設立している。同センターが立ち上げた「災害レジリエンス共創研究プロジェクト」では公募による共同研究を実施しており、年に 1 回、各共同研究プロジェクトの報告会を行っている。

東北大学災害科学国際研究所 2024 年度レジリエンス共創研究報告会 （第 90 回 IRIDeS オープンフォーラム）

2025 年 7 月 25 日（金） 9:30～16:50 オンライン（Zoom）

【ホール A】

開会のあいさつ 江川 新一（災害科学国際研究所 災害レジリエンス共創センター長）

セッション A：午前（1）災害デジタルツインの開発に関連する研究 司会： 野村 怜佳

A-1 2024 年 1月能登半島地震災害を契機とした奥能登地域の社会・コミュニティ・マクロ経済・行政のレジリエントな適応・変容シナリオの検討に資するソーシャルデジタルツイン開発に関する基礎的研究

立木 茂雄（同志社大学 社会学部）

A-2 水害時における人口変動の要因解析・再現モデル構築による避難シミュレーションの精緻化に関する研究

山下 慎二（日本工営株式会社 中央研究所）

A-3 Towards an Automated Development of Geospatial Digital Twins: Fusion of AI and Multi-modal Remote Sensing to 3D Urban-Scene Mapping.

Bruno ADRIANO

A-4 Foundation modal based multi-modal data fusion for efficient disaster response.

Zipei Fan (Jilin University)

セッション A：午前（2）災害レジリエンス数量化研究領域 司会： 野村 怜佳

A-5 近代と現代の町の豪雨災害リスクと居住空間特性の評価

鈴木 温（名城大学 理工学部）

A-6 マルチハザード下にある道路ネットワークの橋梁最適復旧モデル

石橋 寛樹（日本大学 工学部 土木工学科）

A-7 Resilience patterns of multiscale human mobility under extreme rainfall events using massive individual trajectory data.

Yao Yao (China University of Geosciences)

セッション A:午前(3) 災害レジリエンス共創研究領域① 司会: 高橋 尚志

A-8 Web GIS を活用した学校教員向けリスクコミュニケーション手法の高度化～学区の災害リスクの理解に基づく実践的な避難計画の社会実装に向けて～

桜井 愛子(神戸大学大学院 国際協力研究科)

A-9 日本の災害関連死に関する医学的定義の欠如が引き起こす制度上の問題とその解決策

坪井 基浩(さいたま赤十字病院高度救命救急センター)

A-10 神奈川県柏尾川流域における地下文化遺産を活用した災害リスクの評価

田村 裕彦(田谷の洞窟保存実行委員会)

セッション A:午後(1) ヒューマンレジリエンス研究領域 司会: 林 宏典

A-11 防災行動変容の2経路モデルの脳実証

三浦 直樹(東北工業大学 工学部)

A-12 大規模災害犠牲者の身元確認および死因究明における死亡時画像診断(Autopsy imaging: Ai)の活用

小林 智哉(大学院医学系研究科 保健学専攻)

A-13 災害シミュレーションを用いた行動実験パラダイムの開発を通した災害後協力とウェルビーングの実験的検討

水野 景子(東北大学 文学部)

A-14 The Disaster Picture Book Project– international comparative analysis of narratives, texts, and images in disaster pictures books

Elizabeth Maly

A-15 Rooted placemaking to support long-term housing and community recovery after the 1995 Great Hanshin Earthquake and 2011 Great East Japan Earthquake and Tsunami

Elizabeth Maly

A-16 Preservation and Dissemination of Diverse Disaster Narratives through Kamishibai

Julia Gerster

セッション A:午後(2) 災害情報キュレーション研究領域 司会: 高橋 尚志

A-17 超デジタル時代における「情報の保護・保存」を越境する「情報の意匠」の追究 ：本人では伝えられなくなる震災証言・経験を科学的に効果的にデジタルで実践する

齋藤 玲

A-18 災害時における文化遺産救済を目的とした文化遺産マップの構築および活用の研究

鈴木 比奈子(専修大学 文学部)

A-19 地域自然災害アーカイブのためのプラットフォームの構築

竹内 裕希子(熊本大学大学院 先端科学研究部)

A-20 国民自身の災害対応力向上を支援するデジタルコンテンツの作成と評価

野中 小百合

A-21 短文形式の復興省察と災害伝承手法の開発

宮本 匠(大阪大学 人間科学研究科)

閉会のあいさつ 栗山 進一 (災害科学国際研究所 所長)

【ホール B】

セッション B：午前（1） 人流データを活用した社会動態の解明に関する研究① 司会： 齋藤 玲

B-1 復興過程における「脆弱性の再生メカニズム」の解明：中部スラウェシ地震の沿岸部と内陸部の比較分析から
井内 加奈子

B-2 複数のビッグデータソースを組み合わせたトリップチェーン拡大法の開発
塚井 誠人（広島大学大学院 先進理工系科学研究科）

B-3 インクルーシブ災害マネジメント:複合災害における時空間避難行動分析
Sunkyung Choi（Gunma University）

B-4 合成人流データを用いた令和 6 年能登半島地震発生時の津波避難モデルの構築
永田 彰平

セッション B：午前（2） 人流データを活用した社会動態の解明に関する研究② 司会： 齋藤 玲

B-5 人流データと社会調査を組み合わせた中小規模洪水災害の被災者の復興過程の解明
佐藤 翔輔

B-6 デジタル避難モデル上でのデータ融合による避難行動分析手法の開発と令和 6 年能登半島地震への適用
牧野嶋 文泰

B-7 人流データ等を活用した経済被害の推定手法構築等に関する研究
森田 格（日本工営株式会社 中央研究所）

セッション B：午前（3） 人流データを活用した社会動態の解明に関する研究③ 司会： 永田 彰平

B-8 大雨災害時の救助に着目した消防救助記録の分析と人流データ利活用検討:秋田市での令和 5 年 7月以降の記録的大雨を対象とした事例研究
門廻 充侍（秋田大学情報データ科学部）

B-9 Incorporate the Mobility Dynamic into the Flood-affected Population Estimation
Wenjing Li（LocationMind Inc）

B-10 人流データの時系列変動分解に基づく災害レジリエンス情報の解析
山口 裕通（金沢大学 理工研究域 地球社会基盤学系）

セッション B：午後（1） 災害レジリエンス共創研究領域② 司会： 内田 典子

B-11 局面急変下での農林業資源・生態系の維持管理意向と計画化：令和6年能登半島地震からの復興
山下 良平（石川県立大学 生物資源環境学部）

B-12 日本海溝型地震に伴う津波のリアルタイムリスク評価～八戸市を対象としたレジリエンス強化のための事例検証
野村 怜佳

B-13 祭礼の継承を担う地域の災害脆弱性の評価とレジリエンス強化に向けた検討
佐藤 弘隆（愛知大学 地域政策学部）

B-14 自治体の防災格付けに関するフィージビリティスタディ
小野 裕一

B-15 仙台防災枠組におけるグローバル指標の更なる社会実装に向けて：インドネシア・アチェを事例に
原 裕太

B-16 五島列島における潜伏キリシタン集落の形成・立地と災害リスク評価に関する研究
高場 智博（五島列島ジオパーク推進協議会）

セッション B：午後（2） 災害レジリエンス共創研究領域③　 司会: 原 裕太

B-17 Challenges of Disaster Risk Communication for Foreign Visitors in Disaster Preparedness of Japan: A Case Study of Korean Tourists

Park Hyejeong

B-18 Disability in Inclusive Disaster Risk Reduction: Ableism and the Furthering Social Justice Through Cocreation of Knowledge and Perception on Disability

Sébastien Penmellen Boret

B-19 居住地選択における認知バイアスの影響と移転した被災者の QOL 回復構造

青木 俊明（東北大学 国際文化研究科）

B-20 「自宅の耐震化」「支援・受援」をめぐる市民の防災行動・認識の研究

中鉢 奈津子

B-21 防災に関する行動変容促進手法の体系的整理と新たな手法の探索

福島 洋

5．4．C．　展示

本研究所の研究活動を伝えるための展示スペースを2015年に開始して以来、スペースや展示内容は拡充を重ね、所内教職員および幅広い来訪者に活用されてきた。自由見学を可能としているため正確な見学者数は不明であるが、予約したうえで見学に訪れた団体は、2025年度は50団体以上に及んでいる。

東北大学の国際卓越研究大学認定を機に、2024年度より、展示スペースのさらなる活用と、国際卓越研究大学にふさわしい内容への改変の必要性への議論が始まった。2024年度、2025年度は「常設展示検討タスクフォース」（以下 TF）が設置され、本研究所の展示の更新を検討し、展示計画を作成するための活動を通年で実施した。所内教職員に広く意見・参加を募り、アンケートやワークショップを通じて案を出し合い、TFでは映像展示の班と実物展示の班に分かれて具体的なプランを策定した。2025年度は映像展示について制作業者を選定するための企画競争を行い、制作業務が開始された。実物展示についても2026年度に本格的な制作が始まる。2027年に仙台市で開催されるアジア太平洋防災閣僚級会議等の国際会議を目標に完成を目指す。

教員や研究室が外部のイベント、学会等でポスター発表やパネル掲示をするケースが増えてきているため、広報室に大判プリンターを設置した。教職員および本研究所の教員が直接指導する学生が使用でき、2025年度は、管理は広報室、紙やインクなどを含む財源は災害レジリエンス共創センターが担った。年間約40件の利用があり、学会シーズンは特に多くの利用があった。



災害研棟 1F　常設展示


広報室に設置された大判プリンター

5．4．D．メディア対応（報道・出演・執筆等）

・記事データベース検索等により広報室で確認したもの、各研究室で取りまとめたもの、教員からの報告等をもとに、広報室で集計した結果である。
・同一記事が紙とデジタルなど多媒体で掲載されたもの、Yahoo!ニュース等のウェブニュースサイトに転載されたものは、原則として1カウントとしている。
・原則として専任教員を掲載しているが、災害科学の文脈で報道されたものに関しては兼任・客員・OB等も掲載している。
・プレスリリースの転載等、PRや広告記事は含めていない。

配信日	媒体種類	媒体名	タ イ ト ル	掲載教員
2025/4/1	テレビ	NHK	【Q&A】南海トラフ巨大地震「新被害想定」専門家に聞く	今村文彦
2025/4/1	新聞（地方紙）	東奥日報	暑くても、出ない？　熱中症特別警戒アラート　基準ハードル高さ指摘	佐藤翔輔
2025/4/1	新聞（地方紙）	下野新聞	暑くても、出ない？　熱中症特別警戒アラート　基準ハードル高さ指摘	佐藤翔輔
2025/4/1	新聞（地方紙）	静岡新聞	暑くても、出ない？　熱中症特別警戒アラート　基準ハードル高さ指摘	佐藤翔輔
2025/4/1	新聞（地方紙）	京都新聞	暑くても、出ない？　熱中症特別警戒アラート　基準ハードル高さ指摘	佐藤翔輔
2025/4/1	新聞（地方紙）	山陽新聞	暑くても、出ない？　熱中症特別警戒アラート　基準ハードル高さ指摘	佐藤翔輔
2025/4/1	新聞（地方紙）	中国新聞	暑くても、出ない？　熱中症特別警戒アラート　基準ハードル高さ指摘	佐藤翔輔
2025/4/1	新聞（地方紙）	四国新聞	暑くても、出ない？　熱中症特別警戒アラート　基準ハードル高さ指摘	佐藤翔輔
2025/4/1	新聞（地方紙）	長崎新聞	暑くても、出ない？　熱中症特別警戒アラート　基準ハードル高さ指摘	佐藤翔輔
2025/4/1	新聞（地方紙）	沖縄タイムス	暑くても、出ない？　熱中症特別警戒アラート　基準ハードル高さ指摘	佐藤翔輔
2025/4/1	テレビ	南海放送	南海トラフ地震の"新被害想定" なぜ愛媛で死者数が倍増？最大2万4000人…住民や自治体の反応は	今村文彦
2025/4/2	新聞（全国紙）	読売新聞	南海トラフ「半割れ」初の被害想定　時差地震　対策で被害減	福島洋
2025/4/2	新聞（全国紙）	読売新聞	［巨大地震に立ち向かう　南海トラフ被害想定］(1)津波被害予測…　その2	越村俊一
2025/4/2	テレビ	ミヤギテレビ	専門家に聞く『長周期地震動』の特徴、地震発生はミャンマーなのに…タイでビル倒壊	五十子幸樹
2025/4/3	新聞（全国紙）	毎日新聞	ミャンマー地震　被害最大マンダレー／断層400キロ超　最大6メートルのずれ／国土地理院、衛星解析	遠田晋次
2025/4/3	新聞（地方紙）	石巻かほく	「日本防火・防災協会長賞」／石巻市防災士協が受賞／消防庁「防災まちづくり大賞」／積極的な取り組み評価	佐藤翔輔
2025/4/3	新聞（地方紙）	河北新報	ミャンマー地震　被害最大マンダレー／断層400キロ超　最大6メートルのずれ／国土地理院、衛星解析	遠田晋次
2025/4/3	新聞（地方紙）	岩手日報	ミャンマー地震　被害最大マンダレー／断層400キロ超　最大6メートルのずれ／国土地理院、衛星解析	遠田晋次
2025/4/3	新聞（地方紙）	福島民友	ミャンマー地震　被害最大マンダレー／断層400キロ超　最大6メートルのずれ／国土地理院、衛星解析	遠田晋次
2025/4/3	新聞（地方紙）	神奈川新聞	ミャンマー地震　被害最大マンダレー／断層400キロ超　最大6メートルのずれ／国土地理院、衛星解析	遠田晋次
2025/4/3	新聞（地方紙）	東京新聞	ミャンマー地震　被害最大マンダレー／断層400キロ超　最大6メートルのずれ／国土地理院、衛星解析	遠田晋次
2025/4/3	新聞（地方紙）	静岡新聞	ミャンマー地震　被害最大マンダレー／断層400キロ超　最大6メートルのずれ／国土地理院、衛星解析	遠田晋次
2025/4/3	新聞（地方紙）	中日新聞	ミャンマー地震　被害最大マンダレー／断層400キロ超　最大6メートルのずれ／国土地理院、衛星解析	遠田晋次
2025/4/3	新聞（地方紙）	山陽新聞	ミャンマー地震　被害最大マンダレー／断層400キロ超　最大6メートルのずれ／国土地理院、衛星解析	遠田晋次
2025/4/3	新聞（全国紙）	読売新聞	断層ずれ　400キロ以上　ミャンマー地震　震度6弱～6強か	村尾修
2025/4/4	新聞（全国紙）	毎日新聞	検証：ミャンマー大地震1週間　復旧を優先、軍政停戦　死者3000人超す	遠田晋次
2025/4/4	テレビ	NHK	東北ココから　復興の先へ "巨大予算"で出来た町 どう維持するか	姥浦道生
2025/4/4	テレビ	NHK	東北ココから　東北タイムカプセル復興を支える地域の力	蝦名裕一、平川新（元所長）、川島秀一（シニア研究員）
2025/4/4	テレビ	仙台放送	Live News it!, 明日への羅針盤, 22歳 若き語り部が直面する課題	佐藤翔輔
2025/4/6	ラジオ	DateFM	東北大学防災UPDATES！　東南アジアにおける防災対策：インドネシア	泉貴子
2025/4/6	テレビ（国際）	Thai PBS	"ทหารไทย" ในภารกิจกู้ภัยเมียนมา | ข่าวเจาะย่อโลก | 5 เม.ย. 68	サッパシー アナワット
2025/4/6	新聞（全国紙）	産経新聞	ミャンマーの大地震、危険視されていた「断層の空白域」動く 衝撃波伴い高速破壊が進行か	遠田晋次
2025/4/7	新聞（全国紙）	日本経済新聞	熱中症、特別警戒アラート発令に壁　猛暑の昨夏は一度もなし　標高、暑さ指数に影響	佐藤翔輔
2025/4/7	新聞（全国紙）	読売新聞	東日本大震災14年　大地震被害　各自で予測　県HPで紹介	今村文彦
2025/4/7	ウェブ	みんなの経済新聞	花畑広場で「防災パーク」 熊本地震の日、生きる知識を学ぶ	遠田晋次
2025/4/7	ラジオ	tbcラジオ	3・11みやぎホットライン	富田史章
2025/4/8	新聞（地方紙）	神奈川新聞	暑くても、出ない？　熱中症特別警戒アラート　基準ハードル高さ指摘	佐藤翔輔
2025/4/11	テレビ	東北放送	命を守る「津波避難タワー」整備進む中、活用に向けて残された課題は	今村文彦
2025/4/11	新聞（全国紙）	朝日新聞	能登避難者、ようやくゼロに　続く仮設生活、再建これから	姥浦道生
2025/4/15	新聞（専門紙等）	建設通信新聞	次期会長候補に小野田東北大教授/建築学会	小野田泰明（兼任）
2025/4/15	新聞（地方紙）	神戸新聞	暑くても、出ない？　熱中症特別警戒アラート　基準ハードル高さ指摘	佐藤翔輔
2025/4/18	新聞（地方紙）	河北新報	熱中症特別警戒アラート／暑くても発表されない？／暑さ指数　標高で差大きく／専門家指摘／「高い地点除外を」	佐藤翔輔
2025/4/18	新聞（全国紙）	朝日新聞　宮城版	被災地の「調査公害」、どう防ぐ　学者の研究重複　若手ら、学術界に問題提起	原裕太
2025/4/19	新聞（地方紙）	西日本新聞	熱中症特別警報　なぜ出ない？　猛暑の2024年　一度も発表されず	佐藤翔輔
2025/4/20	ラジオ	DateFM	東北大学防災UPDATES！　災害リスクとは？	泉貴子
2025/4/21	テレビ（国際）	NHK World	Preserving Disaster Memories for Posterity	ゲルスタ　ユリア
2025/4/22	新聞（全国紙）	共同通信	災害関連死申請、医師の記載29%　遺族の負担大きく	江川新一
2025/4/22	新聞（全国紙）	日本経済新聞	災害関連死申請、医師の記載29%　遺族の負担大きく	江川新一
2025/4/22	新聞（地方紙）	日本海新聞	災害関連死申請、医師の記載29%　遺族の負担大きく	江川新一
2025/4/22	新聞（地方紙）	山陰中央新報デジタル	災害関連死申請、医師の記載29%　遺族の負担大きく	江川新一
2025/4/22	新聞（地方紙）	福井新聞	災害関連死申請、医師の記載29%　遺族の負担大きく	江川新一
2025/4/22	新聞（地方紙）	高知新聞	災害関連死申請、医師の記載29%　遺族の負担大きく	江川新一
2025/4/22	新聞（地方紙）	新潟日報	災害関連死申請、医師の記載29%　遺族の負担大きく	江川新一
2025/4/22	新聞（地方紙）	西日本新聞	災害関連死申請、医師の記載29%　遺族の負担大きく	江川新一
2025/4/22	新聞（地方紙）	下野新聞社	災害関連死申請、医師の記載29%　遺族の負担大きく	江川新一
2025/4/22	新聞（地方紙）	四国新聞	災害関連死申請、医師の記載29%　遺族の負担大きく	江川新一
2025/4/22	新聞（全国紙）	朝日新聞　福井版	被災地の「調査公害」、どう防ぐ　学者の研究重複　若手ら、学術界に問題提起	原裕太
2025/4/22	新聞（全国紙）	朝日新聞　石川版	被災地の「調査公害」、どう防ぐ　学者の研究重複　若手ら、学術界に問題提起	原裕太
2025/4/22	新聞（全国紙）	朝日新聞　富山版	被災地の「調査公害」、どう防ぐ　学者の研究重複　若手ら、学術界に問題提起	原裕太
2025/4/23	新聞（地方紙）	秋田魁新報	熱中症特別警戒アラート　暑くても発表されない？　基準の厳しさ指摘する声	佐藤翔輔
2025/4/25	新聞（全国紙）	時事通信	断層動いた領域の南北も注意　ミャンマー地震　東北大	岡田悠太郎
2025/4/25	ウェブ	リスク.com	断層動いた領域の南北も注意　ミャンマー地震　東北大	岡田悠太郎
2025/4/25	テレビ（国際）	NHK World Japan	Preparing for Nankai Trough Megaquake	福島洋
2025/4/28	新聞（地方紙）	河北新報	誰も取り残さない防災　やさしい言葉で日本人にも伝わりやすく　＜あすへのヒント　研究最前線＞	ゲルスタ　ユリア
2025/4/29	テレビ	静岡放送	南海トラフと似ている"もう一つの臨時情報"「北海道・三陸沖後発地震注意情報」大切なのは日頃の備え	今村文彦
2025/5/4	ラジオ	DateFM	東北大学防災UPDATES！　「D_アワタラ」について	保田真理
2025/5/5	新聞（全国紙）	毎日新聞	東日本大震災：災害関連死　71%が遺族の記載　大震災後　県認定の申請　／宮城	江川新一
2025/5/6	新聞（地方紙）	河北新報	横浜のNPO「減災教育」／地震訓練　アップデートを／カエルポーズで危険覚知　判断力育む	村山良之
2025/5/15	テレビ	フジテレビ	サン！シャイン：最長7年9か月　「黒潮大蛇行」終息の兆し　生態系・気象への影響は？	杉本周作（兼任）
2025/5/16	新聞（地方紙）	河北新報	スマトラ沖地震津波の復興検証／避難ビル　収容数に課題／10倍集中施設も　増設提案	村尾修
2025/5/18	新聞（地方紙）	河北新報	災害とメディア　被災者取材／「次の備え」「風化防止」／仙台・セミナー　記者ら議論	佐藤翔輔
2025/5/18	ラジオ	DateFM	東北大学防災UPDATES！　震災後の防災教育と関係する組織と人のつながり	保田真理
2025/5/19	ラジオ	tbcラジオ	3．11みやぎホットライン 「チリ地震から65年」	今村文彦
2025/5/21	新聞（地方紙）	河北新報	災害関連死　7割遺族記載／東北大チーム／申請簡略化を提言	江川新一
2025/5/21	新聞（地方紙）	河北新報	震災教訓　ミャクミャク継承／大阪万博　東北3県の歩み展示／地震映像や津波高表現／怖さ実感　自分ごとに	今村文彦

2025/5/23	新聞（地方紙）	いわき民報	いわき市 8月に内閣府に防災庁誘致の提案へ 浜通りの若者プレゼンも	災害研
2025/5/26	新聞（地方紙）	河北新報	「知識は命守る力」／第5期研修開始／震災遺族の話聞く	今野公美子
2025/5/29	テレビ	北陸放送	能登半島地震 周辺の活断層でひずみ増加 邑知潟断層帯では小規模地震発生数が5～6倍に	遠田晋次
2025/5/29	テレビ	東日本放送	防災庁を仙台市に 郡市長が要望書を提出 石破総理肝入りの政策	今村文彦
2025/6/1	ラジオ	DateFM	世界防災フォーラム2025について	小野裕一
2025/6/5	ラジオ	NHK 大阪	1. 関西ラジオワイド, 防災コラム「阪神・淡路大震災30年特別編の防災模試の結果から」	佐藤翔輔
2025/6/6	新聞（全国紙）	日本経済新聞	【寄稿】南海トラフ地震への企業対応 多様な発生ケースに備えよ	丸谷浩明
2025/6/6	ウェブ	techtプラス	南海トラフ地震の災害廃棄物処理には1年半以上を要する可能性 – 早大が推定	越村俊一
2025/6/7	新聞（地方紙）	河北新報	地区防災計画 作成進まず／住民ら主体 備え明文化／専門家「市町村がひな型示して」	保田真理
2025/6/9	テレビ	NHK 宮城	宮城 白石 中学校で防災を学ぶ出前授業	保田真理
2025/6/9	テレビ	東北放送	「自分だけじゃなく友達や家族と協力したい」災害時の適切な行動学ぶ 東北大が中学校で出前授業	保田真理
2025/6/10	新聞（地方紙）	河北新報	大崎・鹿島台でむすび塾／水害の体験・教訓 共有	佐藤翔輔
2025/6/11	テレビ	NHK 宮城	宮城県総合防災訓練”津波を発災直後に予測”システム初活用	越村俊一
2025/6/11	テレビ	仙台放送	三陸沖で大地震が起きたら… 62機関700人参加の防災訓練 津波被害予測システムも活用	越村俊一
2025/6/11	テレビ	東日本放送	宮城県沖地震から6月12日で47年 宮城県庁で防災訓練	越村俊一
2025/6/11	テレビ	ミヤギテレビ	12日は「県民防災の日」、宮城県の総合防災訓練…『宮城県沖地震』からまもなく47年	越村俊一
2025/6/11	テレビ	東北放送	「繰り返しやっていくことが重要」震度6強の地震想定し災害訓練「1978年宮城県沖地震」から12日で47年	越村俊一
2025/6/12	新聞（地方紙）	河北新報	震災教訓に防災次代へ／石巻で来月12日にシンポ	佐藤翔輔
2025/6/12	新聞（地方紙）	河北新報	宮城県沖地震47年／クイズに挑戦	日野亮太（兼任）
2025/6/12	新聞（地方紙）	河北新報	津波予測システムを試験／東北大発の技術 救助に活用	越村俊一
2025/6/12	新聞（全国紙）	読売新聞 宮城版	県沖地震47年 県など62機関 防災訓練 「受援」専門チーム設置	越村俊一
2025/6/12	新聞（全国紙）	朝日新聞 宮城版	「X分後、津波が来る」リアルタイムで予測 東北大開発のシステム	越村俊一
2025/6/12	ラジオ	東北放送	宮城県沖地震の再来について専門家「あと20～30年経つと確率急に上昇」と指摘	今村文彦
2025/6/13	新聞（全国紙）	共同通信	次期復興政策の基本方針案示す 「国力を結集し総力で実行する」	今村文彦
2025/6/13	新聞（地方紙）	河北新報	福島の再生に重点／政府・次期復興／1．9兆円確保へ	今村文彦
2025/6/14	新聞（全国紙）	毎日新聞 宮城版	事業費1兆9000億円に 復興推進委 26～30年度方針案	今村文彦
2025/6/15	ラジオ	DateFM	東北大学防災UPDATES！ バングラデッシュと竜巻災害	小野裕一
2025/6/16	新聞（地方紙）	河北新報	中学生 かほく防災記者／第5期 第1回研修 詳報／被災者の「今」 丁寧に発信	今野公美子
2025/6/17	新聞（専門紙等）	日刊工業新聞	政府、震災復興事業1.9兆円 次期5カ年方針、福島県に重点配分	今村文彦
2025/6/19	新聞（全国紙）	朝日新聞 宮城版	被災の実相、官僚ら聞き取り 48人の証言集、復興庁がHPで公開	佐藤翔輔
2025/6/19	新聞（地方紙）	石巻かほく	三陸沖の海水温上昇に関係／黒潮「大蛇行」 終息は不透明／専門家／「今後も北上は続きそう」	杉本周作（兼任）
2025/6/20	テレビ	東北放送	複雑で難解な防災気象情報2026年からシンプルに どう変わる？	佐藤翔輔
2025/6/24	新聞（全国紙）	日本経済新聞	災害大国・日本が培った技術を世界へ フォーラムエイトが万博で提示する未来の防災・減災テクノロジー	今村文彦
2025/6/25	テレビ	東日本放送	新たな津波情報「欠測」とは？「何のことかわからない」発表されたらどう受け止めれば良いのか	今村文彦
2025/6/26	ウェブ	建設ITワールド	VRで宇宙開発や防災の未来を体感！大阪・関西万博の来場者に強烈なインパクト（フォーラムエイト）	今村文彦
2025/6/27	テレビ	テレビ朝日	モーニングショー トカラ列島 5日間で440回超の地震 北海道で超巨大地震の恐れも 海底で何が？	富田史章
2025/6/27	テレビ	NHK 宮城	おはよう宮城：リポート「“宝探し”で防災学ぶ」	ゲルスタ ユリア
2025/6/27	新聞（地方紙）	河北新報	むすび塾／巡回ワークショップ／＠大崎・鹿島台 志田谷地地区	佐藤翔輔
2025/6/28	新聞（地方紙）	河北新報	あすへのヒント 研究最前線／妊産婦避難の周知 尽力／日頃から母子手帳携帯を	斎藤昌利（兼任）
2025/6/28	新聞（全国紙）	読売新聞 岩手版	［被災地から 沿岸点描］6月 宮古・田老に震災伝承施設＝岩手	柴山明寛
2025/6/30	ウェブ	Yahoo!ニュース	エキスパートコメント	遠田晋次
2025/6/30	ラジオ	tbcラジオ	GoGoはみみこいラジオな気分,「被災者の証言」サイトの紹介	佐藤翔輔
2025/6/30	新聞（地方紙）	いわき民放	市総合防災訓練官民連携で1381人参加 東北大災害研企画から協力 さらに職員の意識改革を	柴山明寛
2025/7/2	ウェブ	Yahoo!ニュース	エキスパートコメント	遠田晋次
2025/7/3	ウェブ	Yahoo!ニュース	エキスパートコメント	遠田晋次
2025/7/3	新聞（全国紙）	産経新聞	トカラ群発地震「1カ月程度続く可能性も」東北大の遠田教授「25年前の伊豆諸島に類似」	遠田晋次
2025/7/3	新聞（全国紙）	読売新聞	防災ISO発行 日本けん引 「仙台防災枠組み」民間の挑戦	今村文彦
2025/7/3	新聞（地方紙）	河北新報	在校時の豪雨対策 模索／石巻市教委／学校防災研修会／航空の安全管理 ヒントに	佐藤健、 村山良之（特任教授）
2025/7/4	テレビ	テレビ朝日	スーパーJチャンネル 「5日に大災害」専門家否定 科学的な根拠なし	富田史章
2025/7/4	テレビ	東北放送	トカラ列島地震「マグマのような流体が地殻を押し広げ断層を刺激か」東北大学の地震学専門家が指摘	遠田晋次
2025/7/4	新聞（全国紙）	朝日新聞	（扉）震源から離れた水田に謎の崖 能登、斜面ずり落ち谷底押し上げられたか	福島洋
2025/7/6	ラジオ	NHK第二	Living Japan 南海トラフ地震について（英語）	福島洋
2025/7/6	ラジオ	DateFM	東北大学防災UPDATES！・過去の水害を伝承する「えちごせきかわ大したもん蛇まつり」	佐藤翔輔
2025/7/7	テレビ	鹿児島読売テレビ	トカラ列島近海を震源とする地震 25年前に伊豆諸島で起きた群発地震との共通点とは…	遠田晋次
2025/7/8	テレビ	鹿児島放送	トカラ群発地震 1700回に迫る… 専門家は	遠田晋次
2025/7/8	新聞（地方紙）	荘内日報	豪雨体験生かし避難の大切さ学ぶ 八幡・松山2保育園 保護者も参加 減災出前授業	保田真理
2025/7/8	ラジオ	DateFM	「がんばろう宮城」希望のラジオ,「被災者の証言」サイトについて	佐藤翔輔
2025/7/9	テレビ	NHK	ニュース9：トカラ列島 島が約10センチ離れる地殻変動 “過去にない動き”	太田雄策（兼任）
2025/7/9	新聞（専門紙）	建設通信新聞	7月12日に石巻で津波防災シンポ／宮城県	佐藤翔輔
2025/7/13	新聞（全国紙）	読売新聞	［くらしの現場 25参院選］山火事、水害…家失う 異常気象で災害 対策遅れ	小野裕一
2025/7/13	ラジオ	DateFM	GLOBAL TALK～地震に自信を	サッパシー アナワット
2025/7/15	新聞（地方紙）	石巻かほく	震災伝承 在り方探る／県と石巻市、防災シンポ／「語り部 記憶により定着」	佐藤翔輔
2025/7/16	ウェブ	Wedge online	「長寿国・沖縄」という神話はなぜ崩れてきたのか？戦後80年、沖縄県の人口構造から見える社会課題	吉田浩（兼任）
2025/7/20	ラジオ	DateFM	東北大学防災UPDATES！・2024年7月豪雨で犠牲者ゼロだった山形県戸沢村蔵岡地区での調査	佐藤翔輔
2025/7/23	新聞（地方紙）	河北新報	紀州と三陸の縁 次代へ／気仙沼でシンポ／溜め釣り漁 伝承感謝	川島秀一（シニア研究員）
2025/7/23	新聞（専門紙等）	水産経済新聞	人命第一に事業継続力向上へ	佐藤翔輔
2025/7/24	テレビ	東北放送	【7月24日運用開始前に詳しく解説】津波情報「欠測」とは…「何のことかわからない」発表されたらどうすれば	今村文彦
2025/7/27	新聞（地方紙）	河北新報	どうなの仙台 ’25市長選～学生WSから／震災を風化させないように防災教育を強化すべきでは？	佐藤翔輔
2025/7/28	新聞（地方紙）	石巻日日新聞	震災の記憶と教訓 後世に 津波防災シンポ 石巻で開催 高校生も交えてトーク	佐藤翔輔
2025/7/29	新聞（全国紙）	朝日新聞	長引くトカラ列島地震、マグマに注目 発生1カ月、震度1以上が2200回超	太田雄策（兼任）
2025/7/29	新聞（地方紙）	河北新報	津波の脅威と備え解説 東北大の今村文彦教授が新著出版 具体的な事例や行動を紹介	今村文彦
2025/7/30	テレビ	NHK	専門家 “過去には日本にも3メートルの津波 影響は長時間か”	今村文彦
2025/7/30	ラジオ	NHKラジオ第一	専門家 “過去には日本にも3メートルの津波 影響は長時間か”	今村文彦
2025/7/30	テレビ	仙台放送	東北大・今村文彦教授「津波は繰り返し襲う、最大波は後から来る」遠地津波に警鐘	今村文彦
2025/7/30	テレビ	ミヤギテレビ	第一波より“後から来る津波が高くなる”可能性『遠地津波』、津波工学の専門家が指摘	今村文彦
2025/7/30	テレビ	東北放送	震源が遠く規模大きいため「津波で船舶や養殖施設に被害、川の遡上のおそれ」各地に津波警報発表中	今村文彦
2025/7/30	テレビ	テレビ朝日	アベマヒルズ 「短時間で終わる避難ではない」	今村文彦
2025/7/30	テレビ	フジテレビ	イット！ 「第1波よりも増幅。避難継続を」専門家が「遠地津波」の特性を解説	今村文彦
2025/7/30	テレビ	オーストラリア公共放送 ABC	Japan’s citizens calmly swing into action in response to tsunami threat	今村文彦
2025/7/30	テレビ	TOKYO MXテレビ	（タイトル不明）	今村文彦
2025/7/30	ラジオ	TBSラジオ	荻上チキSession【カムチャツカ半島沖地震②】今回の津波・地震を分析	佐藤翔輔
2025/7/30	新聞（全国紙）	読売新聞	夏の海 一転緊迫 津波警報 響くサイレン 高台避難	今村文彦

2025/7/31	新聞(全国紙)	毎日新聞	「最大の津波遅れて来る」 東北大・今村教授、遠地津波の特徴指摘	今村文彦
2025/7/31	新聞(地方紙)	河北新報	東北大・今村文彦教授「カムチャツカ半島の地震で過去にも2～3メートルの津波　警戒が必要」	今村文彦
2025/7/31	新聞(地方紙)	河北新報	20日にM7．4発生　前震か	木戸元之
2025/7/31	新聞(全国紙)	読売新聞	津波　石巻港・仙台港70センチ　9年ぶり警報　炎天下　1万人以上避難＝宮城	今村文彦
2025/7/31	新聞(全国紙)	読売新聞	［スキャナー］津波避難に課題　高台へ車渋滞　熱中症リスク	今村文彦
2025/7/31	新聞(全国紙)	朝日新聞	(時時刻刻)酷暑の避難、列島緊迫　屋上へ「訓練生きた」 高台、日陰なく 津波	今村文彦
2025/7/31	新聞(全国紙)	朝日新聞	警報格上げ、一斉避難　車渋滞、高台まで40分 「暑い中徒歩、難しい」 津波	佐藤翔輔
2025/7/31	新聞(全国紙)	日本経済新聞	津波、1500キロ先から到達　カムチャツカM8.7　200万人に避難指示　地震メカニズム、東日本と共通	今村文彦
2025/7/31	新聞(地方紙)	岩手日報	「ゆっくり押し寄せているが流れは強い」カムチャツカの地震、岩手への影響を津波工学の権威が解説	今村文彦
2025/7/31	テレビ	BBC News	(タイトル不明)	サッパシー　アナワット
2025/7/31	ラジオ	TBSラジオ	荻上チキSession カムチャツカ半島沖地震から一夜。予測困難な情報とどう向き合うか	福島洋
2025/7/31	テレビ	NHK　宮城	津波警報 今回の課題 専門家「酷暑下の避難後の滞在」	佐藤翔輔
2025/7/31	テレビ	TBS	news23：”猛暑”の避難…人流データを分析　津波対応を検証	佐藤翔輔
2025/7/31	テレビ	仙台放送	【解析速報】津波はなぜ長く続いたのか　東北大学がスーパーコンピュータで即時解析	越村俊一
2025/7/31	テレビ	東北放送	カムチャツカ半島付近の巨大地震 10日前に「前震」が発生していた 今回の地震は“本震”にあたる	木戸元之
2025/8/1	新聞(地方紙)	河北新報	東北　避難所に2．8万人／避難先　複数想定を	佐藤翔輔
2025/8/1	ウェブ	AFP	【ファクトチェック】太平洋津波のシミュレーションは2025年のロシアの地震ではなく2011年の日本の地震	災害研
2025/8/1	テレビ	NHK	専門家「遠地地震 最大波遅れ津波長く続くため最新情報を」	今村文彦
2025/8/1	テレビ	NHK	専門家 “同震源域で同規模の巨大地震発生 分析必要”	遠田晋次
2025/8/1	雑誌	JSTnews8月号掲載	パンデミック対策から災害レジリエンスへ！ デジタル技術で目指す次世代社会の構築	小野裕一
2025/8/3	ラジオ	DateFM	東北大学防災UPDATES！　力学に基づくシミュレーションを用いた豪雨災害の再現と分析	森口周二
2025/8/5	テレビ	東北放送	Nスタみやぎ：避難場所で”熱中症”新たな課題浮き彫り	佐藤翔輔
2025/8/5	新聞(全国紙)	毎日新聞	数百年間隔と言われるM9級地震　カムチャツカ半島、約70年で再来か	福島洋
2025/8/5	新聞(全国紙)	朝日新聞	カムチャツカ地震、前回から70年あまりで発生の謎　研究者を悩ます	福島洋
2025/8/7	新聞(全国紙)	読売新聞	いわき新スタ　津波懸念　候補地・小名浜港　避難対策の徹底　必要＝福島	柴山明寛
2025/8/8	新聞(地方紙)	河北新報	神医療センター建て替え／候補地絞り込み急ぐ／県審議会、方針を確認	富田博秋(兼任)
2025/8/8	新聞(全国紙)	読売新聞	地震検知　8000キロの網　三つ目海底ケーブル完成	日野亮太(兼任)
2025/8/10	ラジオ	MBSラジオ	ネットワーク1.17，旅行や帰省先での災害に備える	佐藤翔輔
2025/8/11	新聞(地方紙)	河北新報	語り部育成　次期講座の参加者募集／石巻・来月スタート	佐藤翔輔
2025/8/16	新聞(全国紙)	毎日新聞	津波警報で渋滞，なぜ車で避難するのか 本音とリスク，行政の対策は	佐藤翔輔
2025/8/17	新聞(専門紙等)	日本農業新聞	「現場からの農村学教室」東日本大震災の農業被害と今後の防災　東北大学副学長災害科学国際研究所教授・今村文彦	今村文彦
2025/8/17	ラジオ	DateFM	東北大学防災UPDATES！　地震計の観測データとシミュレーションを融合した都市全体の即時被害予測	森口周二
2025/8/19	テレビ	NHK	高知 黒潮町 南海トラフ対策の現状を地震防災の専門家が視察	今村文彦
2025/8/20	テレビ	高知さんさんテレビ	【南海トラフ地震】高知県の新しい被害想定は2026年3月公表へ	今村文彦
2025/8/21	新聞(地方紙)	東京新聞	M8.8の衝撃カムチャツカ沖地震「M9級数百年に一度」がなぜ	福島洋
2025/8/22	テレビ	東日本放送	災害時の避難　原則徒歩と車避難　自治体と住民で食い違い	佐藤翔輔
2025/8/22	新聞(全国紙)	朝日新聞	南海トラフ地震の新しい県内津波予測、10月に公表へ　検討委が会合	今村文彦
2025/8/23	新聞(地方紙)	石巻かほく	石巻・津波伝承館　ボランティア解説員／教訓啓発　より多くの人へ　県内の中高生3人認定	佐藤翔輔
2025/8/23	新聞(全国紙)	読売新聞	アニメ業界　お見せします　きょうからフェス　セル画の色塗り体験など＝宮城	今村文彦
2025/8/23	テレビ	NHK	震災の被災地訪ねるきっかけに アニメ活用考える講演会 仙台	今村文彦
2025/8/23	テレビ	TBC東北放送	トークイベントにアテレコ体験も 「アニメフェス仙台」開幕	今村文彦
2025/8/23	新聞(全国紙)	毎日新聞	「車避難」課題浮き彫り　津波警報、高台目指し渋滞　「他者への影響」考えて	佐藤翔輔
2025/8/24	ウェブ	FRIDAYデジタル	【カムチャツカ沖地震】地震の規模は東日本大震災と変わらないのに…なぜ津波が5～6mだったのか？	今村文彦
2025/8/25	新聞(専門紙等)	建設通信新聞	災害の自分事化へ伝承活動報告会	佐藤翔輔
2025/8/26	新聞(地方紙)	福島民報	双葉でにぎわい創出へ　東北大、福島大学生らワークショップ　福島県双葉町に滞在、見聞広める	御手洗潤
2025/8/26	ラジオ	TBSラジオ	1．荻上チキ session　特集「南海トラフ地震で事前避難50万人以上！？どう準備すればいいのか」	佐藤翔輔
2025/8/27	テレビ	仙台放送	Live News it!，知っておきたい！気象・防災のキホン file.2 あらためて理解 津波のキホン	佐藤翔輔
2025/8/28	新聞(地方紙)	石巻かほく	第2次石巻市総合計画／「市民の理解求め推進を」／審議会、後期計画を答申	姥浦道生
2025/8/28	テレビ	仙台放送	仙台防災枠組 世界初の「産学官金民」連携組織が発足	今村文彦
2025/8/28	テレビ	東北放送	仙台市で新防災組織「Xross Innovation BOSAI」設立　“感震ブレーカー”普及で10年間で犠牲者半減目指す	今村文彦
2025/8/28	テレビ	東日本放送	地震火災による想定死者数の半減を目指す　仙台市と10事業者が防災の連携組織	今村文彦
2025/8/28	テレビ	NHK　宮城	“地震火災の被害減らす”仙台市が企業などと連携組織立ち上げ	今村文彦
2025/8/29	テレビ	NHK　北海道	7月の津波警報 4市町が高台などの代替庁舎で作業 課題も	丸谷浩明
2025/8/29	新聞(地方紙)	河北新報	産官学　減災へ新組織／仙台市と10団体連携	今村文彦
2025/8/30	新聞(全国紙)	読売新聞	［いわき市の課題　市長選を前に］(上)津波避難の問題　表面化＝福島	柴山明寛
2025/8/30	新聞(全国紙)	読売新聞	指示対象外　多数避難　カムチャツカ地震1か月　車で渋滞発生＝宮城	佐藤翔輔
2025/8/30	新聞(地方紙)	河北新報	復興まちづくり　学生提案／福島・双葉／東北大と福島大／社会課題解決ビジネスを　伝統のだるまでイベント	御手洗潤
2025/8/30	新聞(地方紙)	福島民報	復興まちづくりのアイデア発表　福島県双葉町で東北大、福島大の学生	御手洗潤
2025/8/30	新聞(地方紙)	河北新報	カムチャツカ地震　わずか73年でM9級再来　東北沖は約600年間隔震源ほぼ同じ　メカニズムに謎	福島洋
2025/8/30	テレビ	NHK　高知	7月の津波で猛暑避難の課題浮き彫りに　専門家「備え充実を」	今村文彦
2025/9/1	テレビ	仙台放送	防災の日 仙台市内の保育園で住民と防災訓練確認　防災グッズ説明や毛布搬送を実施	菅原大介
2025/9/1	雑誌	りらく	記録を守る	佐藤大介
2025/9/1	雑誌	日経サイエンス	カムチャツカ半島沖で巨大地震　M8を超える巨大地震が前回からわずか73年の間隔で発生した	福島洋
2025/9/2	新聞(専門紙等)	日刊建設工業新聞	3・11伝承ロード推進機構／震災の教訓、自分事化へ／首都圏で初会合	今村文彦、佐藤翔輔
2025/9/2	新聞(専門紙等)	建設通信新聞	次世代継承が課題 深化の会で4施設報告 3.11伝承ロード機構	今村文彦、佐藤翔輔
2025/9/2	テレビ	仙台放送	津波から命を守る基本の知識 揺れを感じない「遠地津波」の特徴は?	佐藤翔輔
2025/9/3	新聞(専門紙等)	朝日小学生新聞	大地震が発生したら？　こわさを知って　そなえよう	サッパシー　アナワット
2025/9/4	新聞(全国紙)	読売新聞	仙台市　防災組織を設立　大規模地震時の被害軽減　東北大、9企業と連携	今村文彦
2025/9/4	テレビ	NHK　宮城	カムチャツカ半島沖地震の津波 避難行動など分析報告 東北大	災害研
2025/9/4	テレビ	仙台放送	カムチャツカ半島付近の巨大地震による津波 3経路で長期化　東北大学が分析結果を報告	越村俊一
2025/9/4	テレビ	東北放送	カムチャツカ地震 同じ場所で過去に巨大地震	災害研
2025/9/5	新聞(地方紙)	河北新報	カムチャツカ地震津波、東北大災害研が速報会	越村俊一、佐藤翔輔、サッパシーアナワット
2025/9/5	テレビ	NHK(東北)	東北ココから 復興の先へ ”新たなまち”で暮らし続けるには	姥浦道生
2025/9/5	テレビ	北海道放送	毎年約8センチ陸側にプレートが移動 海底の動きから“ひずみ”を探る「将来的に発生する地震リスクの評価へ」千島海溝周辺で進む地震研究最前線	富田史章
2025/9/6	テレビ	NHK 宮城	「防災は暮らしとセットで」ぼうさいこくたいで東北大が紹介	災害研
2025/9/7	ラジオ	DateFM	東北大学防災UPDATES！　災害とリハビリテーション	江川新一
2025/9/8	新聞(専門紙等)	日刊建設工業新聞	東北大災害科研／カムチャツカ半島地震の調査報告、異なる伝播経路で津波長期化	越村俊一
2025/9/9	新聞(地方紙)	北海道新聞	保存か解体か　揺れる厚真町庁舎　震災遺構に詳しい専門家に聞く	佐藤翔輔
2025/9/11	新聞(全国紙)	共同通信	全遊泳客、津波注意報退避に2分50秒　東北大、海水浴場映像分析	佐藤翔輔
2025/9/11	新聞(地方紙)	室蘭民放	全遊泳客、津波注意報退避に2分50秒　東北大、海水浴場映像分析	佐藤翔輔
2025/9/11	新聞(地方紙)	東奥日報	全遊泳客、津波注意報退避に2分50秒　東北大、海水浴場映像分析	佐藤翔輔
2025/9/11	新聞(地方紙)	デーリー東北	全遊泳客、津波注意報退避に2分50秒　東北大、海水浴場映像分析	佐藤翔輔

2025/9/11	新聞(地方紙)	秋田魁新報	全遊泳客、津波注意報退避に2分50秒　東北大、海水浴場映像分析	佐藤翔輔
2025/9/11	新聞(地方紙)	岩手日報	全遊泳客、津波注意報退避に2分50秒　東北大、海水浴場映像分析	佐藤翔輔
2025/9/11	新聞(地方紙)	山形新聞	全遊泳客、津波注意報退避に2分50秒　東北大、海水浴場映像分析	佐藤翔輔
2025/9/11	新聞(地方紙)	河北新報	全遊泳客、津波注意報退避に2分50秒　東北大、海水浴場映像分析	佐藤翔輔
2025/9/11	新聞(地方紙)	福島民友新聞	全遊泳客、津波注意報退避に2分50秒　東北大、海水浴場映像分析	佐藤翔輔
2025/9/11	新聞(地方紙)	福島民報	全遊泳客、津波注意報退避に2分50秒　東北大、海水浴場映像分析	佐藤翔輔
2025/9/11	新聞(地方紙)	新潟日報	全遊泳客、津波注意報退避に2分50秒　東北大、海水浴場映像分析	佐藤翔輔
2025/9/11	新聞(地方紙)	下野新聞	全遊泳客、津波注意報退避に2分50秒　東北大、海水浴場映像分析	佐藤翔輔
2025/9/11	新聞(地方紙)	千葉日報	全遊泳客、津波注意報退避に2分50秒　東北大、海水浴場映像分析	佐藤翔輔
2025/9/11	新聞(地方紙)	埼玉新聞	全遊泳客、津波注意報退避に2分50秒　東北大、海水浴場映像分析	佐藤翔輔
2025/9/11	新聞(地方紙)	神奈川新聞	全遊泳客、津波注意報退避に2分50秒　東北大、海水浴場映像分析	佐藤翔輔
2025/9/11	新聞(地方紙)	信濃毎日新聞	全遊泳客、津波注意報退避に2分50秒　東北大、海水浴場映像分析	佐藤翔輔
2025/9/11	新聞(地方紙)	山梨新聞	全遊泳客、津波注意報退避に2分50秒　東北大、海水浴場映像分析	佐藤翔輔
2025/9/11	新聞(地方紙)	静岡新聞	全遊泳客、津波注意報退避に2分50秒　東北大、海水浴場映像分析	佐藤翔輔
2025/9/11	新聞(地方紙)	福井新聞	全遊泳客、津波注意報退避に2分50秒　東北大、海水浴場映像分析	佐藤翔輔
2025/9/11	新聞(地方紙)	北日本新聞	全遊泳客、津波注意報退避に2分50秒　東北大、海水浴場映像分析	佐藤翔輔
2025/9/11	新聞(地方紙)	北國新聞	全遊泳客、津波注意報退避に2分50秒　東北大、海水浴場映像分析	佐藤翔輔
2025/9/11	新聞(地方紙)	富山新聞	全遊泳客、津波注意報退避に2分50秒　東北大、海水浴場映像分析	佐藤翔輔
2025/9/11	新聞(地方紙)	東京新聞	全遊泳客、津波注意報退避に2分50秒　東北大、海水浴場映像分析	佐藤翔輔
2025/9/11	新聞(地方紙)	中日新聞	全遊泳客、津波注意報退避に2分50秒　東北大、海水浴場映像分析	佐藤翔輔
2025/9/11	新聞(地方紙)	和歌山新報	全遊泳客、津波注意報退避に2分50秒　東北大、海水浴場映像分析	佐藤翔輔
2025/9/11	新聞(地方紙)	京都新聞	全遊泳客、津波注意報退避に2分50秒　東北大、海水浴場映像分析	佐藤翔輔
2025/9/11	新聞(地方紙)	山陽新聞	全遊泳客、津波注意報退避に2分50秒　東北大、海水浴場映像分析	佐藤翔輔
2025/9/11	新聞(地方紙)	中国新聞	全遊泳客、津波注意報退避に2分50秒　東北大、海水浴場映像分析	佐藤翔輔
2025/9/11	新聞(地方紙)	神戸新聞	全遊泳客、津波注意報退避に2分50秒　東北大、海水浴場映像分析	佐藤翔輔
2025/9/11	新聞(地方紙)	山口新聞	全遊泳客、津波注意報退避に2分50秒　東北大、海水浴場映像分析	佐藤翔輔
2025/9/11	新聞(地方紙)	日本海新聞	全遊泳客、津波注意報退避に2分50秒　東北大、海水浴場映像分析	佐藤翔輔
2025/9/11	新聞(地方紙)	四国新聞	全遊泳客、津波注意報退避に2分50秒　東北大、海水浴場映像分析	佐藤翔輔
2025/9/11	新聞(地方紙)	愛媛新聞	全遊泳客、津波注意報退避に2分50秒　東北大、海水浴場映像分析	佐藤翔輔
2025/9/11	新聞(地方紙)	高知新聞	全遊泳客、津波注意報退避に2分50秒　東北大、海水浴場映像分析	佐藤翔輔
2025/9/11	新聞(地方紙)	長崎新聞	全遊泳客、津波注意報退避に2分50秒　東北大、海水浴場映像分析	佐藤翔輔
2025/9/11	新聞(地方紙)	佐賀新聞	全遊泳客、津波注意報退避に2分50秒　東北大、海水浴場映像分析	佐藤翔輔
2025/9/11	新聞(地方紙)	宮崎日日新聞	全遊泳客、津波注意報退避に2分50秒　東北大、海水浴場映像分析	佐藤翔輔
2025/9/11	新聞(地方紙)	熊本日日新聞	全遊泳客、津波注意報退避に2分50秒　東北大、海水浴場映像分析	佐藤翔輔
2025/9/11	新聞(地方紙)	大分合同新聞	全遊泳客、津波注意報退避に2分50秒　東北大、海水浴場映像分析	佐藤翔輔
2025/9/11	新聞(地方紙)	南日本新聞	全遊泳客、津波注意報退避に2分50秒　東北大、海水浴場映像分析	佐藤翔輔
2025/9/11	新聞(地方紙)	琉球新報	全遊泳客、津波注意報退避に2分50秒　東北大、海水浴場映像分析	佐藤翔輔
2025/9/11	新聞(地方紙)	沖縄タイムス	全遊泳客、津波注意報退避に2分50秒　東北大、海水浴場映像分析	佐藤翔輔
2025/9/12	ウェブ	JSTサイエンスポータル	カムチャツカ半島沖地震時の津波は3経路で到達し長期化 東北大災害研が分析結果報告	越村俊一、今村文彦、福島洋、佐藤翔輔
2025/9/13	テレビ	NHK名古屋	いのちを守るのはテレビ？ラジオ？SNS？～伊勢湾台風から学ぶ令和の災害情報～	佐藤翔輔
2025/9/14	新聞(全国紙)	読売新聞	[かながわ防災リポート]「災害弱者」取り残さない＝神奈川	栗山進一
2025/9/15	ラジオ	TOKYO　FM	防災 FRONT LINE:ロシア・カムチャツカ半島の巨大地震…遠く離れた日本にも「津波」が到達したのはなぜ？	今村文彦
2025/9/17	テレビ	ミヤギテレビ	10月8日 オープン『イオンモール仙台上杉』、都市型でファミリー層を意識した作り(仙台市)	災害研(今村文彦)
2025/9/17	テレビ	仙台放送	イオンモール仙台上杉 どんな施設？　10月8日オープン　遊び場・防災機能も充実(仙台市)	今村文彦
2025/9/17	テレビ	NHK宮城	仙台市中心部の大型商業施設開業へ 住民避難の防災拠点にも	災害研(今村文彦)
2025/9/17	新聞(専門紙等)	日刊建設工業新聞	3・11伝承ロード推進機構／台湾の教育関係者向け震災教育旅行誘致拡大に手応え	今村文彦
2025/9/18	ウェブ	ナショナルジオグラフィック	全遊泳客、津波注意報退避に2分50秒　東北大、海水浴場映像分析	佐藤翔輔
2025/9/18	テレビ	静岡朝日テレビ	南海トラフ地震臨時情報の対応　英ユニバーシティー・カレッジ・ロンドン(UCL)の大学院生らが静岡県職員に聞き取り調査	災害研
2025/9/20	テレビ	NHK	キミも防災サバイバー！　大雨の危機！	須賀利雄(兼任)
2025/9/21	ラジオ	DateFM	東北大学防災UPDATES！　災害関連死	江川新一
2025/9/24	新聞(地方紙)	河北新報	拠点化進む小名浜　問われる津波対策	柴山明寛
2025/9/24	ウェブ	リスク対策.com	カムチャツカ半島地震　津波対応振り返り【専門家】	今村文彦
2025/9/24	新聞(地方紙)	東京新聞	東北3県の「伝承施設」減る来訪者 記憶どう次代へ「震災学習＋復興ツーリズム」推進必要	佐藤翔輔
2025/9/24	新聞(地方紙)	東京新聞	巨大津波の教訓は生かされたのか　カムチャツカ地震で日本の沿岸地域はどう行動？　記憶の風化を止めるには	佐藤翔輔
2025/9/26	テレビ	ミヤギテレビ	【見直し】『南海トラフ巨大地震』発生確率、政府の地震調査委員会が「60～90パーセント程度以上」	日野亮太(兼任)
2025/9/26	新聞(地方紙)	福島民友	いわき市 避難所環境にFCV活用 東北大とエアコンの給電実験	柴山明寛
2025/9/26	新聞(地方紙)	いわき民報	福祉避難所の環境対策考える燃料電池車で給電実証	柴山明寛
2025/9/27	テレビ	TBS　NEWSDIG	酷暑が災害リスクをさらに押し上げる～長時間の「遠地津波」避難から見えた課題～	佐藤翔輔
2025/9/27	新聞(地方紙)	東海新報社	キャッセンプラットフォーム・市消防団 防災功労で総理大臣表彰 震災の教訓の発信，林野火災時の活動評価	柴山明寛
2025/9/28	新聞(地方紙)	河北新報	「企業交え　事前復興計画を」／仙台　技術士ら防災シンポ	今村文彦、佐藤健
2025/9/30	新聞(地方紙)	福島民報	水素燃料車で避難所に給電	柴山明寛
2025/10/2	テレビ	岩手めんこいテレビ	国の復興推進委員会が大船渡市の企業視察　先進的な取り組みを展開　岩手県	今村文彦
2025/10/4	新聞(地方紙)	東海新報	被災地の今と新たな課題は　復興庁の復興推進委員会　越喜来の2企業を視察	今村文彦
2025/10/5	テレビ	NHK	明日をまもるナビ　突然の津波警報　どう備えどう行動する？	災害研(映像提供)
2025/10/5	ラジオ	DateFM	東北大学防災UPDATES！黒潮大蛇行とは	須賀利雄(兼任)
2025/10/5	新聞(全国紙)	日本経済新聞	カムチャツカ巨大地震の謎、発生間隔に「未知の関係」－サイエンスNext　Views　編集委員　久保田啓介	遠田晋次
2025/10/7	テレビ	福島テレビ	北海道沖で相次ぐ地震　大地震との関係は？	富田史章
2025/10/9	新聞(地方紙)	河北新報	仙台で技術展 防災の最前線に触れる 地震動体験や講演会	佐藤翔輔
2025/10/10	新聞(地方紙)	いわき民報	いわき市 専門家も交え津波や渋滞の対策検討へ 小名浜の新スタジアム整備に合わせ	柴山明寛
2025/10/12	新聞(全国紙)	読売新聞	[旅を旅して]気仙沼市　歴史を大切にする思い	川島秀一(シニア研究員)
2025/10/17	新聞(全国紙)	読売新聞	衛から性別　決め手に　震災不明特定　技術、考古学でも＝宮城	鈴木敏彦(兼任)
2025/10/17	新聞(地方紙)	東京新聞	自前の機材で戦う島民たち…台風1週間、被害の詳細なお不明の八丈島　支援の受け入れも簡単ではなく	佐藤翔輔
2025/10/19	ラジオ	DateFM	東北大学防災UPDATES！　黒潮大蛇行の終息とその影響、今後の見通し	須賀利雄(兼任)
2025/10/24	ウェブ	JSTサイエンスポータル	【特集:荒波の先に見る大学像】第1回 システムを改革し若手の活躍願う―研究力再興の旗手、東北大学総長 冨永悌二さん	災害研(取材を受けたのは冨永総長)
2025/10/27	新聞(全国紙)	読売新聞	地震予知連　名称変更も 「現在の科学で予知困難」	遠田晋次
2025/10/30	テレビ	テレビ宮崎	宮崎市でシンポジウム　キーワードは「事前復興」過去から学ぶ大規模自然災害への備え	越村俊一
2025/10/30	テレビ	宮崎放送	宮崎市で南海トラフ地震に備える防災シンポジウム　専門家の訴える「事前復興」とは	越村俊一
2025/10/30	新聞(地方紙)	河北新報	気仙沼市　友好都市15周年　目黒区との連携拡大	丸谷浩明
2025/10/30	新聞(地方紙)	三陸新報	交流、連携永続的に　気仙沼市と目黒区　友好協定15周年イベント	丸谷浩明
2025/10/30	テレビ	NHK	熱中症対策で避難場所に関するガイドライン改定へ 内閣府	佐藤翔輔
2025/10/31	テレビ	NHK(東北)	東北ココから　津波避難　徒歩か車か	佐藤翔輔
2025/10/31	テレビ	仙台放送	気仙沼の震災遺構にVR避難体験装置　震災当時の避難行動を再現	佐藤翔輔

2025/11/1	テレビ	NHK　宮城	ウィークエンド東北，津波からの避難VRで擬似体験	佐藤翔輔
2025/11/1	雑誌	日経サイエンス	カムイチャツカ半島沖で巨大地震	福島洋
2025/11/2	ラジオ	DateFM	東北大学防災UPDATES！　東日本大震災から14年を経た被災地域のメンタルヘルスの現状	富田秋博(兼任)
2025/11/2	新聞(地方紙)	三陸新報	VRで津波避難をリアルに体験	佐藤翔輔
2025/11/3	新聞(地方紙)	河北新報	宮城の高校生3人　政府が派遣へ／「津波の日」 国連で教訓紹介	災害研
2025/11/5	新聞(全国紙)	朝日新聞	「あの日」の避難、疑似体験　気仙沼の伝承館、VRゴーグル着けて鹿折地区へ	佐藤翔輔
2025/11/6	新聞(地方紙)	石巻かほく	警報後　高台へ車集中　日和山、渡波地区が混雑　7月のカムチャツカ地震津波　石巻専修大　避難行動分析	佐藤翔輔
2025/11/6	テレビ	東日本放送	震災時の宮城・気仙沼市での避難をVRで体験　震災遺構・伝承館	災害研
2025/11/6	テレビ	東日本放送	チャージ!, VR 鹿折地区の避難行動を体験 気仙沼市震災遺構・伝承館	佐藤翔輔
2025/11/10	テレビ	ミヤギテレビ	津波工学の専門家「活断層の傾きが北西に向き、津波のエネルギーが岩手に」、岩手県に一時「津波注意報」	サッパシー アナワット
2025/11/10	テレビ	仙台放送	あと「0.1」規模が大きければ「後発地震注意情報」も　大震災をもたらした前触れ　専門家「冬の備えを」	サッパシー アナワット
2025/11/10	テレビ	NHK岩手	岩手三陸沖 地震活動続く 同程度やさらに規模大きい地震注意	サッパシー アナワット
2025/11/10	テレビ	東北放送	「10日ほどたってM7級の地震起きる恐れも」海域地震学専門家　三陸沖地震震源周辺では時々見られる活動	木戸元之
2025/11/10	テレビ	東日本放送	宮城県と岩手県で最大震度4　岩手県沿岸に一時津波注意報　専門家に聞く	今村文彦
2025/11/10	テレビ	青森朝日放送	三陸沖を震源とする地震　1週間程度 同程度以上の地震に注意	今村文彦
2025/11/11	新聞(地方紙)	河北新報	三陸沖で地震・津波／23年夏から群発　要警戒	日野亮太(兼任)
2025/11/11	新聞	朝日新聞	発生間隔・ずれる領域・ひずみの解放…　カムチャツカ沖地震解析巡り、続く議論	遠田晋次
2025/11/11	新聞(専門紙等)	都政新報	ダブル台風～22・23号の痕跡(7)　東北大・佐藤翔輔准教授に聞く 有事こそ「省力化」がカギに	佐藤翔輔
2025/11/11	テレビ	朝日放送	気象庁「今後1週間は大きな規模の地震に注意を」三陸沖で地震頻発	今村文彦
2025/11/13	新聞(全国紙)	読売新聞	東北大院に「災害科学」 来年4月開設　防災から復興　包括的に学ぶ	冨永総長
2025/11/14	新聞(全国紙)	読売新聞	東北大院「災害科学」新設発表	東北大
2025/11/14	新聞(全国紙)	毎日新聞	東北大大学院に災害科学コース	東北大
2025/11/14	新聞(地方紙)	河北新報	東北大院に「災害科学」／来年4月新設／防災人材を育成	今村文彦
2025/11/14	新聞(全国紙)	産経新聞	「震災被災の知見生かす」東北大院に来春「災害科学コース」新設　当面14人募集、拡大も	今村文彦
2025/11/16	ラジオ	DateFM	東北大学防災UPDATES！SNSデータを活用した被災地を含む自死リスク予測	國井泰人
2025/11/16	テレビ	仙台放送	大学院に「災害科学コース」新設へ 東北大学	東北大
2025/11/17	テレビ	静岡朝日テレビ	静岡県の第5次被害想定策定に向け専門家が初会合「伊豆半島の対策は」「行政の限界にも触れるべき」などの意見も	今村文彦
2025/11/18	新聞(全国紙)	毎日新聞	東日本大震災：「すべ避難」簡単じゃない　伝承館で震災をVR体験　企画展示30日まで　気仙沼	佐藤翔輔
2025/11/19	新聞(全国紙)	読売新聞	津波避難　VRで追体験　気仙沼・震災伝承館　中学生が行動聞き取り	佐藤翔輔
2025/11/19	新聞(全国紙)	朝日新聞　宮城版ほか	新興・途上国人材に、災害科学コース新設　東北大院、防災力を養成	災害研
2025/11/20	新聞(地方紙)	河北新報	地域創生の在り方を考えるシンポジウム	蝦名裕一、平川新(元所長)
2025/11/21	新聞(地方紙)	いわき民報	震災伝承イベント「かたりつぎ」本年度も 来年3月7日 観覧募集中	柴山明寛
2025/11/24	テレビ	ミヤギテレビ	「地震はこうやって揺れているん だ」巨大地震の仕組み、子どもたちが実験で学ぶ(宮城・石巻市)	福島洋
2025/11/25	新聞(地方紙)	新潟日報	「7・11水害」30年、治水に一丸　上越市でシンポジウム、地域防災の在り方考える	佐藤翔輔
2025/11/25	テレビ	RKK熊本放送	東北大学の遠田教授「広い意味で熊本地震の余震」 熊本県産山村で最大震度5強	遠田晋次
2025/11/26	テレビ	熊本朝日放送	大地震が続発する可能性は？2016年には2日後に最大震度7	遠田晋次
2025/11/27	テレビ	NHK　宮城	「世界津波の日」高校生サミット 仙台で始まる	(災害研への言及ナシ)
2025/11/27	テレビ	東北放送	「世界津波の日高校生サミット」仙台で27日開幕・10カ国88人が参加！津波の恐ろしさと対策を学ぶ	(災害研への言及ナシ)
2025/11/27	テレビ	仙台放送	東北初開催「世界津波の日」高校生サミットが仙台で開幕　10カ国90人が防災の取り組み学ぶ	(災害研への言及ナシ)
2025/11/27	新聞(地方紙)	河北新報	文化芸術の視点から「仙台防災枠組」学ぼう　仙台で12月6日　東北大災害研の今村文彦教授が講演	今村文彦
2025/11/27	新聞(地方紙)	石巻かほく	地域防災，みんなで考えよう 東松島・小野市民センターで講演会	佐藤翔輔
2025/11/28	新聞(地方紙)	河北新報	「世界津波の日　高校生サミット」仙台で初開催　10カ国の生徒「より良い復興」など英語で議論	災害研
2025/11/28	テレビ	NHK　宮城	世界津波の日高校生サミット「仙台未来宣言」まとめ閉会 仙台	(災害研への言及ナシ)
2025/11/29	新聞(地方紙)	河北新報	「災害の記憶つなぐ」仙台宣言／高校生津波サミット閉幕	災害研
2025/11/29	新聞(全国紙)	朝日新聞	被災した高齢者の心のケア　上がって下がる心理、抱え込む人に注意を	國井泰人
2025/11/29	新聞(地方紙)	石巻かほく	地震のなぜ？　発生の仕組み、理解　石巻で「ぼうさいキッズパーク」	福島洋、榎田竜太
2025/12/1	テレビ	ミヤギテレビ	OHバンです，判明 カムチャツカ半島付近の地震で津波 避難指示地域「避難した」2割	佐藤翔輔
2025/12/3	新聞(地方紙)	石巻かほく	災害伝承に「20年の壁」／東松島で防災講演会／専門家、継続のこつ紹介	佐藤翔輔
2025/12/3	新聞(地方紙)	河北新報	防災活動　楽しむ工夫必要／県庁・セミナー／女性リーダー意見交換／住民が主役　取り組み共有	佐藤健
2025/12/3	新聞(地方紙)	いわき民報	防災庁、来年11月発足へ 地方拠点2か所 いわき市は引き続き要望活動	災害研
2025/12/7	新聞(地方紙)	河北新報	忘却との闘い　芸術が力に／震災伝承考える／仙台で「防災枠組」講座／記憶を喚起　心を動かす	今村文彦
2025/12/8	新聞(地方紙)	河北新報	高校生の防災動画　多彩／仙台でアワード表彰式	柴山明寛
2025/12/8	ウェブ	ステラnet	LINEみらい財団・江口清貴さん「防災も情報も、事前の準備が重要」	江口清貴(特任)
2025/12/9	テレビ	東北放送	"73年間隔"で繰り返したM9級巨大地震の謎 カムチャツカ地震が覆した地震学の常識 南海トラフ地震の予測モデルにも影響？	遠田晋次
2025/12/9	テレビ	東北放送	"青森県東方沖地震"で専門家が注意喚起「もう一度同じ地震が起こる可能性がある」1968年十勝沖地震と同じ震源域で再び揺れ	日野亮太(兼任)
2025/12/9	テレビ	仙台放送	「東日本大震災と同じタイプ」青森県東方沖地震のメカニズムを東北大教授が解説　断層ズレ4メートルと分析	遠田晋次
2025/12/9	テレビ	仙台放送	【解説】東北大・福島准教授「より大きな地震に備えを」"後発地震注意情報"とは福島洋	福島洋
2025/12/9	テレビ	東日本放送	「今後の強い揺れに警戒を」東北大学今村文彦教授	今村文彦
2025/12/9	テレビ	青森朝日放送	きのうの地震　専門家に聞く　初の「後発地震注意情報」とは	今村文彦
2025/12/9	テレビ	ミヤギテレビ	【専門家に聞く】注意点や取るべき行動は？初めて発表された『北海道・三陸沖後発地震注意情報』	今村文彦
2025/12/9	テレビ	日本気象協会	冬の巨大地震で懸念される"寒さ"　避難後も命を奪う危険性　震災遺構と研究が示す低体温症の実態と防ぐための知識	門廻充侍(元災害研)
2025/12/9	テレビ	NHK	「後発地震注意情報」専門家「真剣に受け止め冷静に点検を」	今村文彦
2025/12/9	新聞(全国紙)	朝日新聞	深夜に地鳴り、急ぎ避難　「立っていられない横揺れ」　青森震度6強、津波警報	今村文彦
2025/12/9	新聞(全国紙)	読売新聞	青森震度6強　未明に津波70センチ　東北新幹線　緊急停止	日野亮太(兼任)
2025/12/9	新聞(地方紙)	日本経済新聞	青森で震度6強、津波70センチ　初の北海道・三陸沖後発地震注意情報	福島洋
2025/12/10	新聞(地方紙)	北海道新聞	後発地震注意情報　冷静対応呼びかけ	福島洋
2025/12/10	ラジオ	TBSラジオ	荻上チキ Session Post Script「防災の観点から見る『北海道・三陸沖後発地震注意情報』について」	佐藤翔輔
2025/12/10	新聞(全国紙)	朝日新聞	(時時刻刻)続発リスク「1週間警戒を」「後発地震注意情報」北海道～千葉の182市町村に　青森6強	佐藤翔輔
2025/12/10	新聞(地方紙)	河北新報	東北大研究者2氏に聞く／十勝沖級　想定し備えて／SNSから少し距離を	佐藤翔輔、日野亮太(兼任)
2025/12/10	新聞(地方紙)	河北新報	防災の未来　一緒に考えよう／講師は東北大教授陣　参加小中生募集	今村文彦、藤井進
2025/12/10	新聞(地方紙)	いわき民報	本市に後発地震注意情報　専門家「先入観持たず警戒を」	日野亮太(兼任)
2025/12/11	新聞(全国紙)	読売新聞	寒空の避難　戸惑い　青森震度6強　港が液状化　病院水浸し	遠田晋次
2025/12/11	テレビ	東北放送	青森東方沖の地震受け東北大災害研が緊急の報告会	災害研、富田史章、佐藤翔輔、サッパシー アナワット
2025/12/11	テレビ	NHK宮城	東北大"「三陸はるか沖地震」震源域で地震起きやすい可能性"	災害研、富田史章、佐藤翔輔、サッパシー アナワット
2025/12/11	新聞(地方紙)	河北新報	青森・八戸震度6強地震　震源の南東側で大地震恐れ　東北大災害研が解析	災害研、富田史章、佐藤翔輔、サッパシー アナワット
2025/12/11	新聞(地方紙)	北日本新聞	【東日本大震災から15年へ＜下＞】津波研究者と語り部が語る「教訓、そして再生の道」	今村文彦
2025/12/11	テレビ	NHK	今回の津波「第5波」が最大か 専門家 "油断せず避難継続を"	サッパシー アナワット
2025/12/11	テレビ	ミヤギテレビ	【青森県東方沖の地震】東北大学が『分析』、"今回の震源域周辺で大地震発生"の可能性	災害研、富田史章
2025/12/11	テレビ	仙台放送	青森沖地震震源は「三陸はるか沖」と重複　M7級再発の恐れ指摘　東北大研究所が緊急分析公表	災害研、富田史章

2025/12/11	テレビ	東日本放送	青森県東方沖の地震　震源域南側でのマグニチュード7～8クラスの地震に警戒を	災害研、富田史章、佐藤翔輔
2025/12/11	新聞(全国紙)	朝日新聞	「いつ、どこでも避難意識」 1週間の心構え、東北大准教授に聞く　北海道・三陸沖後発地震	佐藤翔輔
2025/12/11	新聞(全国紙)	共同通信	最大津波1～3時間で観測　青森沖地震、第1波到達後	災害研
2025/12/11	ウェブ	リスク対策.com(時事通信)	M7～8級地震続発の恐れ＝94年「三陸はるか沖」震源域―東北大解析	災害研、富田史章、越村俊一
2025/12/11	新聞(全国紙)	時事通信	M7～8級地震続発の恐れ 94年「三陸はるか沖」震源域―東北大解析	富田史章
2025/12/12	新聞(全国紙)	毎日新聞	地震：青森震度6強　過去、周期的に大地震　東北大災害研解析　警戒呼びかけ	災害研、富田史章、サッパシーアナワット、越村俊一
2025/12/12	新聞(地方紙)	福島民友	熊野小の遺構化　保存活用の意義、議論	佐藤翔輔
2025/12/12	新聞(全国紙)	朝日新聞	青森県沖の地震・津波、今後取るべき対応は？　東北大災害研が報告会	災害研、富田史章、佐藤翔輔
2025/12/12	新聞(地方紙)	山陽新聞	【寄稿】後発地震注意情報「想定外」に備える　東北大災害科学国際研究所教授　遠田晋次	遠田晋次
2025/12/12	新聞(全国紙)	朝日新聞	「3・11」2日前、校長たちの教訓　マニュアル読み直し、「必ず避難」守る／青森県	佐藤翔輔
2025/12/12	新聞(全国紙)	読売新聞	青森沖地震　観光に影響じわり　後発地震警戒　「早く落ち着いて」＝宮城	災害研、富田史章、佐藤翔輔
2025/12/12	新聞(地方紙)	河北新報	第1波到達後／最大津波1～3時間で観測／冬季避難　防寒備え必要	災害研
2025/12/12	新聞(地方紙)	岩手日報	第1波到達後／最大津波1～3時間で観測／冬季避難　防寒備え必要	災害研
2025/12/12	新聞(地方紙)	福島民報	第1波到達後／最大津波1～3時間で観測／冬季避難　防寒備え必要	災害研
2025/12/12	新聞(地方紙)	福島民友	第1波到達後／最大津波1～3時間で観測／冬季避難　防寒備え必要	災害研
2025/12/12	新聞(地方紙)	茨城新聞	第1波到達後／最大津波1～3時間で観測／冬季避難　防寒備え必要	災害研
2025/12/12	新聞(地方紙)	下野新聞	第1波到達後／最大津波1～3時間で観測／冬季避難　防寒備え必要	災害研
2025/12/12	新聞(地方紙)	埼玉新聞	第1波到達後／最大津波1～3時間で観測／冬季避難　防寒備え必要	災害研
2025/12/12	新聞(地方紙)	神奈川新聞	第1波到達後／最大津波1～3時間で観測／冬季避難　防寒備え必要	災害研
2025/12/12	新聞(地方紙)	山梨日日新聞	第1波到達後／最大津波1～3時間で観測／冬季避難　防寒備え必要	災害研
2025/12/12	新聞(地方紙)	新潟日報	第1波到達後／最大津波1～3時間で観測／冬季避難　防寒備え必要	災害研
2025/12/12	新聞(地方紙)	中日新聞	第1波到達後／最大津波1～3時間で観測／冬季避難　防寒備え必要	災害研
2025/12/12	新聞(地方紙)	北陸中日新聞	第1波到達後／最大津波1～3時間で観測／冬季避難　防寒備え必要	災害研
2025/12/12	新聞(地方紙)	北國新聞	第1波到達後／最大津波1～3時間で観測／冬季避難　防寒備え必要	災害研
2025/12/12	新聞(地方紙)	富山新聞	第1波到達後／最大津波1～3時間で観測／冬季避難　防寒備え必要	災害研
2025/12/12	新聞(地方紙)	日刊県民福井	第1波到達後／最大津波1～3時間で観測／冬季避難　防寒備え必要	災害研
2025/12/12	新聞(地方紙)	福井新聞	第1波到達後／最大津波1～3時間で観測／冬季避難　防寒備え必要	災害研
2025/12/12	新聞(地方紙)	伊勢新聞	第1波到達後／最大津波1～3時間で観測／冬季避難　防寒備え必要	災害研
2025/12/12	新聞(地方紙)	滋賀京都新聞	第1波到達後／最大津波1～3時間で観測／冬季避難　防寒備え必要	災害研
2025/12/12	新聞(地方紙)	奈良新聞	第1波到達後／最大津波1～3時間で観測／冬季避難　防寒備え必要	災害研
2025/12/12	新聞(地方紙)	京都新聞	第1波到達後／最大津波1～3時間で観測／冬季避難　防寒備え必要	災害研
2025/12/12	新聞(地方紙)	神戸新聞	第1波到達後／最大津波1～3時間で観測／冬季避難　防寒備え必要	災害研
2025/12/12	新聞(地方紙)	中国新聞	第1波到達後／最大津波1～3時間で観測／冬季避難　防寒備え必要	災害研
2025/12/12	新聞(地方紙)	四国新聞	第1波到達後／最大津波1～3時間で観測／冬季避難　防寒備え必要	災害研
2025/12/12	新聞(地方紙)	徳島新聞	第1波到達後／最大津波1～3時間で観測／冬季避難　防寒備え必要	災害研
2025/12/12	新聞(地方紙)	高知新聞	第1波到達後／最大津波1～3時間で観測／冬季避難　防寒備え必要	災害研
2025/12/12	新聞(地方紙)	日本海新聞	第1波到達後／最大津波1～3時間で観測／冬季避難　防寒備え必要	災害研
2025/12/12	新聞(地方紙)	愛媛新聞	第1波到達後／最大津波1～3時間で観測／冬季避難　防寒備え必要	災害研
2025/12/12	新聞(地方紙)	大分合同新聞	第1波到達後／最大津波1～3時間で観測／冬季避難　防寒備え必要	災害研
2025/12/12	新聞(地方紙)	宮崎日日新聞	第1波到達後／最大津波1～3時間で観測／冬季避難　防寒備え必要	災害研
2025/12/12	新聞(地方紙)	南日本新聞	第1波到達後／最大津波1～3時間で観測／冬季避難　防寒備え必要	災害研
2025/12/12	新聞(地方紙)	沖縄タイムス	第1波到達後／最大津波1～3時間で観測／冬季避難　防寒備え必要	災害研
2025/12/12	新聞(地方紙)	苫小牧民放	M7～M8級地震続発の恐れ　東北大解析　94年「三陸はるか沖」震源域	富田史章、越村俊一
2025/12/12	新聞(地方紙)	陸奥新報	M7～M8級地震続発の恐れ　東北大解析　94年「三陸はるか沖」震源域	富田史章、越村俊一
2025/12/12	新聞(地方紙)	岩手日日	M7～M8級地震続発の恐れ　東北大解析　94年「三陸はるか沖」震源域	富田史章、越村俊一
2025/12/12	新聞(地方紙)	長野日報	M7～M8級地震続発の恐れ　東北大解析　94年「三陸はるか沖」震源域	富田史章、越村俊一
2025/12/12	新聞(地方紙)	八重山毎日新聞	M7～M8級地震続発の恐れ　東北大解析　94年「三陸はるか沖」震源域	富田史章、越村俊一
2025/12/12	新聞(地方紙)	南海日日新聞	M7～M8級地震続発の恐れ　東北大解析　94年「三陸はるか沖」震源域	富田史章、越村俊一
2025/12/12	新聞(地方紙)	宮古毎日新聞	M7～M8級地震続発の恐れ　東北大解析　94年「三陸はるか沖」震源域	富田史章、越村俊一
2025/12/12	新聞(地方紙)	津山朝日新聞	M7～M8級地震続発の恐れ　東北大解析　94年「三陸はるか沖」震源域	富田史章、越村俊一
2025/12/12	新聞(地方紙)	島根日日新聞	M7～M8級地震続発の恐れ　東北大解析　94年「三陸はるか沖」震源域	富田史章、越村俊一
2025/12/12	新聞(地方紙)	東奥日報	【寄稿】後発地震注意情報「想定外」に備える　東北大災害科学国際研究所教授　遠田晋次	遠田晋次
2025/12/12	新聞(地方紙)	岩手日報	【寄稿】後発地震注意情報「想定外」に備える　東北大災害科学国際研究所教授　遠田晋次	遠田晋次
2025/12/12	新聞(地方紙)	神戸新聞	【寄稿】後発地震注意情報「想定外」に備える　東北大災害科学国際研究所教授　遠田晋次	遠田晋次
2025/12/12	新聞(地方紙)	愛媛新聞	【寄稿】後発地震注意情報「想定外」に備える　東北大災害科学国際研究所教授　遠田晋次	遠田晋次
2025/12/12	新聞(地方紙)	宮崎日日新聞	【寄稿】後発地震注意情報「想定外」に備える　東北大災害科学国際研究所教授　遠田晋次	遠田晋次
2025/12/12	テレビ	青森テレビ	過去30年にわたり"ひずみ"蓄積の『三陸はるか沖地震の震源域』	富田史章
2025/12/12	テレビ	福島中央テレビ	「1週間というのは我々人間社会の都合」後発地震への備えの意識を	今村文彦
2025/12/12	テレビ	東日本放送	「想定される後発地震ではない」専門家が注意を呼び掛け	遠田晋次
2025/12/13	新聞(地方紙)	河北新報	【寄稿】後発地震注意情報「想定外」に備える　東北大災害科学国際研究所教授　遠田晋次	遠田晋次
2025/12/13	新聞(地方紙)	秋田魁新報	【寄稿】後発地震注意情報「想定外」に備える　東北大災害科学国際研究所教授　遠田晋次	遠田晋次
2025/12/13	テレビ	仙台放送	「後発地震注意情報」で備えの意識高まる中…みやぎ防災ジュニアリーダー研修会	災害研、佐藤健
2025/12/13	テレビ	NHK	対象地域を訪れる場合の注意点は？	佐藤翔輔
2025/12/13	テレビ	ミヤギテレビ	ミヤギnews every，災害時"悪質なデマ"拡散も SNSと「一定の距離を」後発地震注意情報	佐藤翔輔
2025/12/13	テレビ	NHK	おはよう日本，青森県東方沖の地震活動 活発な状態続く 備えを きのう 津波注意報も	佐藤翔輔
2025/12/13	テレビ	テレビ朝日	サタデーステーション　地震・津波　警戒続く 避難方法で各地課題も	富田史章
2025/12/14	新聞(地方紙)	中日新聞	災害の記憶を伝えるミュージアムマップ　人が集う拠点重要	佐藤翔輔
2025/12/14	新聞(地方紙)	北陸中日新聞	災害の記憶を伝えるミュージアムマップ　人が集う拠点重要	佐藤翔輔
2025/12/14	新聞(地方紙)	東京新聞	災害の記憶を伝えるミュージアムマップ　人が集う拠点重要	佐藤翔輔
2025/12/14	ラジオ	Date FM	GLOBAL TALK～地震に自信を	ボレー セバスチャン
2025/12/14	テレビ	日本テレビ	真相番組 バンキシャ！，震度6強で各地で渋滞	佐藤翔輔
2025/12/15	テレビ	日本テレビ	Oha！4 NEWS LIVE，津波警報で渋滞発生	佐藤翔輔
2025/12/15	テレビ	東日本放送	チャージ，後発地震注意情報から1週間 大きな混乱無く認知されるきっかけに 専門家	佐藤翔輔
2025/12/15	テレビ	フジテレビ	「後発地震情報の確率は1%」備え継続が重要と専門家 1994年の三陸はるか沖地震と近い震源域で"心配" 青森震度6強から1週間	富田史章
2025/12/15	ラジオ	TBCラジオ	青森県東方沖地震	富田史章
2025/12/15	新聞(全国紙)	毎日新聞	今後の巨大地震に影響？　専門家の想定は　青森震度6強から1週間	富田史章
2025/12/16	新聞(地方紙)	石巻かほく	震災伝承に文化芸術を／仙台・「防災枠組」講座／被災地出身／映画監督や小説家　議論	今村文彦
2025/12/16	新聞(地方紙)	河北新報	実践／未来つなぐ　願いは一つ／「世界津波の日」 2025高校生サミットin仙台	災害研
2025/12/16	新聞(地方紙)	熊本日日新聞	【寄稿】想定通りでないとの意識を	遠田晋次
2025/12/16	テレビ	東北放送	Nスタみやぎ，警報や注意報など来年から大きく変わる	佐藤翔輔

2025/12/16	テレビ	テレビ朝日	ワイドスクランブル，夜中・真冬の津波 車での避難は？	佐藤翔輔
2025/12/16	テレビ	ミヤギテレビ	青森県東方沖が震源の地震から1週間、観光への影響や今後気を付けるべきことは？	富田史章
2025/12/17	新聞(地方紙)	北海道新聞	後発地震注意情報終了　M8級発生恐れ「備え今後も」	富田史章
2025/12/17	新聞(地方紙)	大分合同新聞	【寄稿】地震の想定　油断は禁物	遠田晋次
2025/12/17	テレビ	青森テレビ	わっち!!ニュース，専門家「徒歩の方が速く避難可能」原則は徒歩 八戸市の避難計画	佐藤翔輔
2025/12/17	新聞(地方紙)	東海新報社	後発地震注意情報を学ぶ 三陸防災伝承研究会 柴山准教授を招き勉強会	柴山明寛
2025/12/18	新聞(地方紙)	陸奥新報	大雪被害　今後の対策は	蝦名裕一
2025/12/18	テレビ	青森テレビ	「災害発生時の行動」どうすれば…　専門家に聞く	佐藤翔輔
2025/12/19	新聞(地方紙)	河北新報	気仙沼「KBLカレッジ」最終発表会／防災活動の成果共有／自主組織の再編など報告	佐藤翔輔
2025/12/19	新聞(地方紙)	石巻かほく	渋滞、猛暑　課題浮き彫り／津波警報・注意報3回発表／複数の避難場所　用意を	佐藤翔輔
2025/12/19	新聞(全国紙)	日本経済新聞	首都直下地震、リスクとどう向き合うか　防災学と金融論の識者に聞く	丸谷浩明
2025/12/19	新聞(地方紙)	新潟日報	7.11水害30年 上越でシンポ 教訓 地域一丸で後世へ	佐藤翔輔
2025/12/19	テレビ	NHK　愛媛	ホッと！四国，四国防災ネットワーク，津波からの避難行動	佐藤翔輔
2025/12/19	テレビ	NHK　岩手	「共助」の担い手 消防団や自主防災組織どう維持するか議論	柴山明寛
2025/12/20	新聞(全国紙)	日本経済新聞	首都直下地震、数字に表れない「連鎖・複合被害」に備えを	丸谷浩明
2025/12/20	テレビ	東北放送	【徹底解説】警報・注意報が2026年から大きく変わる　危険度に応じ"レベル"付け統一された名称に 「危険警報」や洪水の特別警報も新設　tbc気象台	佐藤翔輔
2025/12/24	ウェブ	Yahoo!ニュース(オリジナル)	災害時SNS，支援を"つなぐ"可能性とデマ拡散の懸念	佐藤翔輔
2025/12/25	テレビ	日本テレビ	news every，"旅先で被災したら…"備え呼びかけ 帰省・旅行シーズン前に	佐藤翔輔
2025/12/26	テレビ	日本テレビ	Oha！4 NEWS LIVE，旅行・帰省シーズン前に "旅先で被災したら…"備え呼びかけ	佐藤翔輔
2025/12/27	新聞(地方紙)	北海道新聞	避難後「自己判断で戻った」3割　東北大災害研　能登の来訪者調査	佐藤翔輔
2025/12/27	新聞(地方紙)	デーリー東北	八戸震度6強　地震動周期短く　内陸直下型と比較	大野晋
2025/12/28	新聞(全国紙)	読売新聞	［スキャナー］高齢者施設　避難か　残るか　難しい判断　能登被災時　断水で衛生悪化　慣れぬ環境　負担	野村周平
2026/1/1	新聞(全国紙)	読売新聞	ここでこれからも　東日本大震災15年　次代へ　記憶残す＝宮城	今村文彦
2026/1/1	新聞(地方紙)	石巻かほく	東日本大震災15年(下)／命守る、言葉紡ぐ　語り部3人、前へ	佐藤翔輔
2026/1/1	新聞(地方紙)	河北新報	第75回　河北文化賞／4個人1団体に	田所論(兼任)
2026/1/1	新聞(全国紙)	毎日新聞	＜令和まつり考＞新潟・大したもん蛇が継承される理由　東北大・佐藤翔輔准教授に聞く	佐藤翔輔
2026/1/3	新聞(全国紙)	日本経済新聞	災害関連死　審査待ち240件　能登地震2年　遺族の負担感強く　手続き迅速化急務	江川新一
2026/1/4	ラジオ	Date FM	東北大学防災UPDATE　明治三陸地震津波と山奈宗真について	蝦名裕一、平川新(元所長)
2026/1/5	新聞(地方紙)	中日新聞	東日本大震災から15年、進んだ対策は？必要な備えは？　東北大・今村文彦教授に聞く	今村文彦
2026/1/6	テレビ	NHK	鳥取・島根で震度5強【専門家】今回の地震が起きた場所の特徴は?今後の見通しは？	遠田晋次
2026/1/6	テレビ	ミヤギテレビ	【専門家に聞く】島根と鳥取で震度5強、『内陸型地震』は宮城でも注意が必要	遠田晋次
2026/1/6	テレビ	仙台放送	鳥取・島根地震で「長周期地震動」最大階級4観測　高層ビル多い仙台でも注意必要と専門家が指摘	遠田晋次
2026/1/6	ラジオ	Date FM	「がんばろう宮城」希望のラジオ，後発地震注意情報および災害科学コースについて	佐藤翔輔
2026/1/6	新聞(地方紙)	三陸新報	冬の地震・津波に備えを　東日本大震災津波伝承館　企画展示スタート	柴山明寛
2026/1/7	新聞(全国紙)	読売新聞	［展望2026］震災からの歳月　残す　写真部長　三室学	柴山明寛
2026/1/7	テレビ	東北放送	長周期地震動 高層マンションなど備えを	五十子幸樹
2026/1/8	新聞(地方紙)	河北新報	21世紀減災社会シンポジウム	今村文彦
2026/1/8	新聞(全国紙)	読売新聞	「風化」課題　教訓伝承を　震災遺構活用　戦略的に　東北大災害研　今村文彦教授＝宮城	今村文彦
2026/1/9	新聞(地方紙)	河北新報	八戸震度6強　1ヵ月　また避難渋滞　教訓生かせず／原則徒歩　周知に限界	堀合紳弥
2026/1/10	新聞(地方紙)	河北新報	仙台に「防災大学校」を／宮城県と市／復興庁に設置要望	災害研
2026/1/10	新聞(全国紙)	朝日新聞	「防災庁、仙台に」要望　知事と市長、復興相に　／宮城県	災害研
2026/1/11	新聞(全国紙)	朝日新聞	(東日本大震災15年)被災集落、幻の集約プラン　行政と浜の利害、平行線	姥浦道生
2026/1/11	新聞(全国紙)	朝日新聞	(東日本大震災15年)続・遺骨に名を返す：上　帰るべき家に帰す、一番の供養／宮城県	鈴木敏彦(兼任)
2026/1/11	雑誌	日経グローカル	大学の防災・被災時協力　東北大学は研究、大分大学は労働で貢献	東北大(写真提供)
2026/1/12	新聞(全国紙)	読売新聞	震災アーカイブを議論　東北大災害研　語り部活用事例報告＝宮城	柴山明寛
2026/1/12	新聞(地方紙)	河北新報	震災アーカイブ　「継続が鍵」／東北大など／教訓伝承へ活用探る	柴山明寛
2026/1/13	ラジオ	Date FM	「がんばろう宮城」希望のラジオ，東日本大震災をVRで体験するについて	佐藤翔輔
2026/1/15	新聞(地方紙)	河北新報	防災　ジェンダー視点で／介護、育児　避難行動に影響	北村美和子(元職員)
2026/1/16	新聞(地方紙)	河北新報	気仙沼・風力発電　県審査会が答申案／小出力機の影響評価を	平野勝也
2026/1/17	新聞(地方紙)	河北新報	東北への貢献に敬意／河北文化賞／4個人1団体に贈呈	田所論(兼任)
2026/1/17	新聞(全国紙)	朝日新聞(香川)	(＃備える)渋滞起こさず、命守る行動を　津波対策で自治体助言、東北大・佐藤准教授／香川県	佐藤翔輔
2026/1/18	ラジオ	Date FM	東北大学防災UPDATE　100年間保管された感謝状―関東大震災時の日米相互支援―	川内淳史
2026/1/18	新聞(地方紙)	河北新報	エフエム仙台／小中学生対象の公開授業／防災・科学の最前線学習	今村文彦、須賀利雄、藤井進
2026/1/18	新聞(地方紙)	神戸新聞	東北、能登の思い共に	ゲルスタ　ユリア
2026/1/20	新聞(地方紙)	河北新報	岩手大理工学部　岡田真介准教授／活断層リスク　油断禁物／急な揺れ　事前の対策必要	岡田真介(元教員)
2026/1/20	新聞(専門紙等)	聖教新聞	(BOSAI(防災)アクション――東北大学災害研の知見)第10回　佐藤翔輔准教授に聞く「災害の伝承を生かすために」	佐藤翔輔
2026/1/21	新聞(地方紙)	河北新報	史料ネット　共通テスト出題／被災した歴史資料など保全活動／仙台の関係者「今後の励み」	平川新(元所長)
2026/1/22	新聞(地方紙)	三陸新報	命守る防災考え合う	栗山進一
2026/1/23	新聞(専門紙等)	日刊建設工業新聞	土木学会東北支部 仙台市で防災シンポ開く 産学官で効率的な災害査定共有	佐藤翔輔
2026/1/23	新聞(専門紙等)	建設通信新聞	土木学会東北防災シンポ 制度の周知徹底必要 災害査定改善点を議論	佐藤翔輔
2026/1/24	新聞(全国紙)	朝日新聞	(東日本大震災15年)「起こりうる危険性確認」、命守る　仙台で津波防災考えるシンポ／宮城県	今村文彦
2026/1/24	新聞(地方紙)	河北新報	震災の教訓学び　次代へ／仙台でシンポ／備えの在り方探る	今村文彦
2026/1/26	新聞(全国紙)	朝日新聞	(災害大国)津波「避難困難地域」に28万人　人数未把握の自治体も	佐藤翔輔
2026/1/27	新聞(地方紙)	河北新報	震災の教訓・備え再確認／気仙沼で防災フォーラム	栗山進一
2026/1/27	新聞(地方紙)	河北新報	震災　伝えていこう／多賀城高／全国の生徒交流	柴山明寛
2026/1/30	新聞(地方紙)	石巻かほく	石巻市復興・防災マップコンクール／湊中2年生　最優秀賞／津波警報時の経験　掘り下げる	佐藤健
2026/2/1	ラジオ	Date FM	東北大学防災UPDATE　災害メモリー学	ゲルスタ　ユリア
2026/2/3	新聞(専門紙等)	建設通信新聞	復興まちづくり推進で共同研究/オリコンサル・東北大ら	災害研
2026/2/6	テレビ	東北放送	避難時の熱中症などに対応　新たな津波対策ガイドラインを策定　宮城県	今村文彦
2026/2/6	テレビ	宮城テレビ	【改定へ】宮城県『津波対策ガイドライン』、ロシアのカムチャツカ半島付近で発生した地震への教訓などから	今村文彦
2026/2/6	新聞(地方紙)	岩手日日新聞	防災意識より高め 花巻・自主研修会 佐藤さんが講話	佐藤翔輔
2026/2/7	新聞(地方紙)	河北新報	カムチャツカ半島地震で渋滞／津波避難　車の危険周知／宮城県対策協／指針改定案を承認	今村文彦
2026/2/8	ラジオ	MBSラジオ	ネットワーク1.17，寒い時期の避難	佐藤翔輔
2026/2/12	新聞(地方紙)	河北新報	警報や後発地震情報　活用学ぶ／仙台・防災気象講演会	今村文彦
2026/2/13	新聞(地方紙)	河北新報	21世紀減災社会シンポジウム「津波から命を守るために」／再来への備え　着実に	今村文彦
2026/2/14	新聞(全国紙)	日本経済新聞	屋外やエレベーター…外出先で大地震！　命守る10の鉄則－何でもランキング	保田真理
2026/2/14	新聞(全国紙)	朝日新聞	(東日本大震災15年)ケア、「地域から個別へ重点を」 東北大災害研・大類真嗣准教授、研究／宮城県	大類真嗣
2026/2/14	新聞(全国紙)	読売新聞	東日本大震災15年　シンポジウム　防災取り組み「自分事に」	今村文彦
2026/2/15	新聞(全国紙)	朝日新聞	東日本大震災15年)復興・再生をデザインする　平野・東北大准教授が読み解く／宮城県	平野勝也
2026/2/15	ラジオ	Date FM	東北大学防災UPDATE　外国人と防災	ゲルスタ　ユリア
2026/2/16	新聞(専門紙等)	聖教新聞	(BOSAI(防災)アクション――東北大学災害研の知見)第11回　柴山明寛准教授に聞く「震災アーカイブが果たす役割」	柴山明寛

2026/2/17	新聞(地方紙)	河北新報	最前線の災害知識学ぶ／大学教授の公開授業に参加	今村文彦、藤井進、須賀利雄(兼任)
2026/2/17	新聞(地方紙)	福島民友	後発地震注意「災害備えた」4割どまり いわき市 発表簿の行動など調査	柴山明寛
2026/2/17	テレビ	ミヤギテレビ	津波発生時にバルーン打ち上げ「津波避難タワー」の位置知らせる	成田駿之輔(院生)
2026/2/17	テレビ	東日本放送	津波発生時にバルーンで避難誘導　東北大学が実証実験	成田駿之輔(院生)
2026/2/17	テレビ	仙台放送	津波避難の目印が空に浮かぶ　東北大学が「アドバルーン型標識」実証実験　2028年度実用化目指す	成田駿之輔(院生)
2026/2/17	テレビ	NHK	バルーンで津波避難場所を知らせる実証実験 東北大学	成田駿之輔(院生)
2026/2/19	新聞(地方紙)	河北新報	北海道・千島海溝沿いプレート、ひずみの蓄積確認　超巨大地震の発生切迫の可能性　東北大など海底観測	富田史章
2026/2/19	ラジオ	NHK大阪	関西ラジオワイド, 防災コラム「福島県 東日本大震災・原子力災害伝承者育成講座」	佐藤翔輔
2026/2/19	新聞(全国紙)	共同通信	北海道根室沖にひずみ蓄積　超巨大地震に匹敵、東北大チーム	富田史章
2026/2/19	新聞	日本経済新聞	北海道沖のひずみの蓄積を発観測、プレート境界に固着　東北大など	富田史章
2026/2/20	新聞(全国紙)	毎日新聞	バルーン型標識：バルーン型標識で津波避難場所誘導　仙台で実証実験　／宮城	成田駿之輔(院生)
2026/2/20	新聞(専門紙等)	建設工業新聞	震災伝承へ検討会新設東北地方整備局	佐藤翔輔
2026/2/21	新聞(地方紙)	河北新報	震災20年へ伝承議論 仙台で初の有識者検討会	佐藤翔輔
2026/2/21	新聞(全国紙)	朝日新聞	東日本大震災15年・伝承施設維持へ議論　有識者検討会が初会合	佐藤翔輔
2026/2/23	新聞(全国紙)	読売新聞	［サイエンスReport］東北沖合　昨年の地震活動　「スロー地震」前後で観測	佐藤翔輔
2026/2/25	新聞(専門誌等)	建設通信新聞	震災伝承を深化/NW協が検討会初会合	佐藤翔輔
2026/2/25	新聞(専門誌等)	日刊建設工業新聞	震災伝承NW協議会／伝承ロードの活動深化へ検討会発足	佐藤翔輔
2026/2/26	テレビ	東北放送	北海道沖で17世紀以来の超巨大地震を起こす「ひずみ」すでに蓄積の恐れ	富田史章
2026/2/26	テレビ	東北放送	特集　復興の現在地 #372　73年で再来した巨大地震　研究者たちの葛藤と挑戦	木戸元之、福島洋、日野亮太(兼務)
2026/2/27	新聞(地方紙)	岩手日報	未来への伝言　第1部・逃げろ　④正常性バイアス	邑本俊亮
2026/2/28	新聞(全国紙)	毎日新聞	超巨大地震：北海道・根室沖、超巨大地震切迫か　千島海溝沿い、ひずみ蓄積　東北大など	富田史章
2026/3/1	雑誌	安全衛生のひろば	備えるために知っておきたい地震のしくみ	富田史章
2026/3/1	ラジオ	Date FM	東北大学防災UPDATES！　防災コミュニケーションで進める新しい防災のかたち	福島洋
2026/3/2	新聞(全国紙)	時事通信	「つながり」で人口減対策＝お試し移住、ファンクラブも―魅力発信に一役・東日本大震災15年	島田明夫(シニア研究員)
2026/3/2	新聞(全国紙)	毎日新聞	東日本大震災15年：生活再建へ走り切った 仙台 元宮城野区長が当時振り返る 記憶伝承イベントに学生ら	佐藤翔輔
2026/3/2	テレビ	仙台放送	宮城県民100人に1人が外国人 震災から15年 日本で暮らす外国人の防災と文化の壁	ゲルスタ　ユリア
2026/3/2	新聞(専門紙等)	毎日小学生新聞	千島海溝に「ひずみ」たまる　17世紀以来の超巨大地震の恐れ	富田史章
2026/3/4	新聞(全国紙)	読売新聞	東日本大震災15年　震災デジタルアーカイブが消えてゆく　約50件中10件超が閉鎖・停止	柴山明寛
2026/3/4	新聞(地方紙)	静岡新聞	【若い世代の語り部たち】あの日の記憶、語り継ぐ　震災の教訓，次世代へ	佐藤翔輔
2026/3/4	新聞(地方紙)	山陽新聞	【若い世代の語り部たち】あの日の記憶、語り継ぐ　震災の教訓，次世代へ	佐藤翔輔
2026/3/4	新聞(地方紙)	沖縄タイムス	【若い世代の語り部たち】あの日の記憶、語り継ぐ　震災の教訓，次世代へ	佐藤翔輔
2026/3/4	テレビ	仙台放送	Live News it!, 東日本大震災15年 あの日の後悔 車避難のリスク	佐藤翔輔
2026/3/5	テレビ	NHK　宮城	訪問者視点から考える震災伝承▽後世に残す岐路に立つ震災遺構	佐藤翔輔
2026/3/5	雑誌	月刊BCPリーダーズ	過去の被災経験を組織的に受け継ぐ―活かせる組織、活かせない組織	佐藤翔輔
2026/3/6	新聞(地方紙)	西日本新聞	東日本大震災15年＝知らない「あの日」伝える	佐藤翔輔
2026/3/6	新聞(地方紙)	佐賀新聞	若い世代の語り部たち　東日本大震災15年	佐藤翔輔
2026/3/6	テレビ	仙台放送	Live News it!, 東日本大震災15年 変わりつづける追悼式	佐藤翔輔
2026/3/7	新聞(地方紙)	京都新聞	東日本大震災15年　語り継ぐ. 若い世代も	佐藤翔輔
2026/3/7	新聞(地方紙)	愛媛新聞	［東日本大震災15年］被災4県の施設・団体　伝承継続に不安8割　人員確保や資金課題	佐藤翔輔
2026/3/7	新聞(地方紙)	読売新聞	東日本大震災15年　石巻　語り部育成に力　遺構「門脇小学校」事務局　講座受け高校生ら活動＝宮城	佐藤翔輔
2026/3/7	新聞(全国紙)	読売新聞	東日本大震災15年　母の胸に　おかえり捺星　行方不明14年7か月　家族の元へ＝特集	鈴木敏彦(兼任)
2026/3/8	新聞(地方紙)	山陽新聞	東日本大震災15年　若い世代の語り部たち　教わったあの日の記憶、語り継ぐ	佐藤翔輔
2026/3/8	新聞(専門紙等)	日刊ゲンダイ	津波防災研究の第一人者が都市で起こる「河川津波」に要警戒と警鐘…「海から離れれば安全」は今は違う	今村文彦
2026/3/8	新聞(地方紙)	西日本新聞	DMAT 急性期の医療支援担う 現場急行 チームで治療	佐々木宏之
2026/3/8	テレビ	東北放送、青森テレビ、岩手放送、テレビユー福島	JNN4局共同制作番組　見つめる先に　東日本大震災15年	佐藤翔輔、阿部任(特任准教授(客員))
2026/3/9	新聞(地方紙)	北海道新聞	車避難、渋滞対策が不可欠　対象外の住民も使用　実態踏まえ	佐藤翔輔
2026/3/9	新聞(全国紙)	毎日新聞	けいざいフラッシュ：レジリエンスで地域創生　イオンSATOYAMAフォーラム	今村文彦
2026/3/9	新聞(全国紙)	日本経済新聞	津波避難は徒歩か車か、地域のルール作り急ぐ　渋滞なら被害拡大	佐藤翔輔
2026/3/9	新聞(地方紙)	福島民友	震災の記憶後世に…音楽と紡ぐ被災体験、竹下景子さんら朗読	柴山明寛
2026/3/9	新聞(地方紙)	福島民報	被災者の体験を語り継ぐ いわき	柴山明寛
2026/3/9	テレビ	NHK青森	青森県東方沖地震から3カ月　被害なぜ比較的軽微？	大野晋
2026/3/9	テレビ	日本テレビ	「8センチ」が示す"切迫の可能性"超巨大地震の最新研究、津波から身を守るには？	富田史章
2026/3/10	新聞(全国紙)	読売新聞	東日本大震災　風化防止へ　伝承検討会　被災4県　発生20年向け計画策定へ＝福島	佐藤翔輔
2026/3/10	新聞(地方紙)	河北新報	事前復興計画2%どまり　自治体策定　人材、専門知識不足	今村文彦
2026/3/10	新聞(全国紙)	毎日新聞	識者に聞く「車避難」の解決策　「影響を見えるようにして」	佐藤翔輔
2026/3/10	テレビ	青森テレビ	わっち!!,「渋滞は命を奪う」東日本大震災から間もなく15年　青森県八戸市では「大津波警報」の発表時の避難対象者は約11万人　犠牲者を1人も出さないために必要なことは？	佐藤翔輔
2026/3/10	テレビ	FNNプライムオンライン	東日本大震災の発生から15年　変わりゆく式典の形　「追悼」から「防災・伝承」へ　記憶を風化させない、祈りと感謝	佐藤翔輔
2026/3/11	新聞(全国紙)	読売新聞	災害対策　企業が注力	丸谷浩明
2026/3/11	新聞(全国紙)	読売新聞	東日本大震災15年　防災アプリ　活用手探り　浸透進まず取りやめも　12市町村が情報発信＝青森	佐藤翔輔
2026/3/11	新聞(全国紙)	読売新聞	東日本大震災15年　自然災害伝承碑　各地で活用　慰霊祭や学習通じ防災意識　西日本豪雨機に重要性認識	佐藤翔輔
2026/3/11	新聞(全国紙)	読売新聞	東日本大震災15年　防災への意識　「自分事」に　復興・創生シンポジウム＝特集	栗山進一、今村文彦
2026/3/11	新聞(全国紙)	毎日新聞	クローズアップ：東日本大震災15年　避難車渋滞、繰り返させぬ　ルート、対象者決め訓練	佐藤翔輔
2026/3/11	新聞(全国紙)	毎日新聞	東日本大震災15年：津波避難に車、3割容認　特定地区限定　高齢者・障害者に配慮　沿岸自治体、毎日新聞アンケート	佐藤翔輔
2026/3/11	新聞(地方紙)	石巻かほく	東日本大震災　きょう15年 住民アンケー 震災を話題にする頻度「ほぼない」半数迫る	佐藤翔輔
2026/3/11	新聞(全国紙)	産経新聞	「伝承そのものを唯一の目的にしないという逆転の発想を」佐藤翔輔東北大准教授　直言×防災	佐藤翔輔
2026/3/11	新聞(地方紙)	神戸新聞	＜3.11 東日本大震災15年＞中学生の語り部たち　あの日の教訓　学んでつなぐ	佐藤翔輔
2026/3/11	新聞(地方紙)	中日新聞	東日本大震災15年、震災伝承施設の来訪者が2年連続で減少	柴山明寛
2026/3/11	新聞(専門紙等)	建設通信新聞	東北支社企画特集・東日本大震災から15年	佐藤翔輔
2026/3/11	テレビ	テレビ岩手	車避難の課題	堀合紳弥
2026/3/11	テレビ	宮城テレビ	【震災15年】災害から命を守る…"次の津波"に備え住民主導で模索『避難のあり方』(宮城・石巻市)	奥村誠
2026/3/11	テレビ	NHK静岡	震災15年犠牲者追悼　観光客の備蓄対策は	丸谷浩明
2026/3/11	ラジオ	J-WAVE	JAM THE PLANET, NEWS FROM EXPERT,「東日本大震災は、いまどう語られているのか？」	佐藤翔輔
2026/3/11	テレビ	NHK和歌山	ギュギュっと和歌山, 守る「大丈夫？地域の避難所」	佐藤翔輔
2026/3/11	テレビ	J-COM	東日本大震災 特別番組 あの日から15年 ～未来を見つめた それぞれの3.11～	佐藤翔輔
2026/3/11	テレビ	岩手めんこいテレビ	mit Live News スペシャル　震災15年　未来につなぐ	佐藤翔輔
2026/3/11	テレビ	NHK	イラスト解説ここに注目！今後も継続を！震災デジタルアーカイブ	柴山明寛
2026/3/11	テレビ	TBCラジオ	青森県東方沖地震・北海道三陸沖後発地震注意情報	富田史章
2026/3/12	新聞(地方紙)	河北新報	古文書をつなぐ　史料ネットワークのいま／東日本大震災15年／(下)継承／保全担う若手の育成急務	川内淳史、佐藤大介
2026/3/12	新聞(全国紙)	産経新聞	【直言×防災】「伝承を唯一の目的にしない」東北大准教授・佐藤翔輔氏	佐藤翔輔
2026/3/12	テレビ	NHK	おはよう日本, 震災15年 未来につなぐ 震災の記憶	佐藤翔輔

2026/3/12	テレビ	NHK福島	はまなかあいづTODAY，原発事故を伝えるには「遺構」のあり方を考える	佐藤翔輔
2026/3/12	テレビ	青森テレビ	わっち!!，非常持ち出し品 事前準備せず 44.6% 八戸市江陽での調査	佐藤翔輔
2026/3/13	新聞(地方紙)	中日新聞	津波警報後に今回も渋滞「震災の教訓があるのに」 あえて車避難を認める自治体も	佐藤翔輔
2026/3/13	新聞(全国紙)	毎日新聞	災害避難：夏の災害避難 新たな暑さ対策、「している」7割超 岩手，宮城，福島の沿岸37市町村	佐藤翔輔
2026/3/13	ウェブ	週プレNEWS	東日本大震災15年、岩手・宮城・福島「震災伝承団体・施設」が存続の危機に!?	佐藤翔輔
2026/3/14	新聞(全国紙)	日本経済新聞	〈東日本大震災15年〉津波避難ルール，整備急ぐ「徒歩原則」、車容認も 渋滞防止へ試行錯誤	佐藤翔輔
2026/3/14	テレビ	NHK宮城	仙台 東日本大震災の教訓を次世代に 伝承を考えるフォーラム	今村文彦
2026/3/15	新聞(地方紙)	河北新報	震災の教訓、未来へ 仙台で「防災フォーラム」	栗山進一、姥浦道生
2026/3/15	新聞(全国紙)	読売新聞	千島海溝沿い ひずみ蓄積 東北大など調査 巨大地震の恐れも	富田史章
2026/3/15	ラジオ	Date FM	東北大学防災UPDATES！ 地震・火山研究とAI	福島洋
2026/3/16	テレビ	岩手めんこいテレビ	「後発地震注意情報」持つべき心構え 東北大学・佐藤准教授が語る2つのポイント	佐藤翔輔
2026/3/17	新聞(地方紙)	三陸新報	震災伝承テーマにトークイベント	佐藤翔輔
2026/3/19	Web	アラブニュース・ジャパン	日本の九州南部で地震が発生	遠田晋次
2026/3/19	新聞(全国紙)	毎日新聞	東日本大震災15年：避難所の暑さ対策進む 福島、岩手、宮城の沿岸37市町村で7割超 ／福島	佐藤翔輔
2026/3/19	新聞(地方紙)	大崎タイムス	豪雨時の避難行動理解	佐藤翔輔
2026/3/19	新聞(専門紙等)	中部経済新聞	医療から広がる災害派遣チーム 初期対応へ機動力強み	佐々木宏之
2026/3/20	新聞(全国紙)	朝日新聞	(東日本大震災15年)津波予測、リアルタイムで活用 浸水被害、スマホ位置情報で人口も推定へ	越村俊一
2026/3/22	新聞(専門紙等)	公明新聞	直接死防ぐ“行動変容”を／住宅耐震化や家具の固定、感震ブレーカー設置必ず	栗山進一
2026/3/22	新聞(全国紙)	毎日新聞	検証：3・11 今なら予測できた？ 観測網整備「小さな地震」に注目	日野亮太(兼任)
2026/3/22	新聞(全国紙)	毎日新聞	被災地コンサル：初の復興関与、戸惑い 能登地震 地元の声集めに奔走	姥浦道生
2026/3/23	新聞(地方紙)	河北新報	後発地震注意情報 県が住民調査 半数 避難即応の就寝せず	佐藤翔輔
2026/3/23	テレビ	NHK宮城	後発地震注意情報 県民調査 “避難できる態勢で就寝”3割余	佐藤翔輔
2026/3/23	新聞(地方紙)	河北新報	後発地震注意情報 県が住民調査／半数 避難即応の就寝せず／防災行動や備えに課題も	災害研
2026/3/23	新聞(全国紙)	朝日新聞	津波の浸水、リアルタイム予測「先取りし初動対応」観測網も充実	越村俊一
2026/3/24	新聞(地方紙)	熊本日日新聞	水俣市などで震度1、2の地震頻発 日奈久断層帯との関連は不明 専門家「日頃から備えを」	遠田晋次
2026/3/24	テレビ	青森テレビ	シリーズ防災①～⑤	佐藤翔輔
2026/3/25	新聞(地方紙)	河北新報	仙台・外国人防災リーダー育成／安定支援 もっと仲間必要	ゲルスタ ユリア
2026/3/26	新聞(地方紙)	河北新報	仙台・防災フォーラムでシンポ／震災伝承 絶やさない	今村文彦
2026/3/26	テレビ	福島中央テレビ	「夜の森」地区でデジタル技術による新プロジェクト 福島	今村文彦
2026/3/26	テレビ	仙台放送	Live News it!，知っておきたい！気象・防災のキホンfile.7 誰がどう運営？災害時の避難所	佐藤翔輔
2026/3/27	新聞(地方紙)	福島民報	夜ノ森復興へ共同研究 富岡の企業や東北大など 「プロジェクト」始動	今村文彦
2026/3/27	新聞(地方紙)	福島民友	夜の森「デジタル復興」始動 産学連携、地区3D化へ現地を視察	今村文彦
2026/3/27	新聞(地方紙)	河北新報	東北大／DXで夜の森活性化	今村文彦
2026/3/28	新聞(地方紙)	河北新報	東日本大震災14年 気仙沼の震災 伝え続ける 高校生の語り部 伝承館でトークセッション	佐藤翔輔
2026/3/29	新聞(地方紙)	河北新報	伝承 世界貢献の視点を 福島・旧熊野小の保存検討 東北大・佐藤翔輔准教授に聞く	佐藤翔輔
2026/3/30	新聞(地方紙)	河北新報	【PR特集】仙台歴史文化観光シンポジウム 震災から15年 政宗公に学ぶ仙台の未来	災害研、 平川新(元所長)
2026/3/31	テレビ	NHK宮城	防災集団移転に関する報道	姥浦道生

新聞		429
	全国紙 (地方版含む)	125
	地方紙	279
	専門紙等	25

ウェブ	19

テレビ		179
	国内	176
	国際	3

ラジオ	44

雑誌・機関紙	7

５．４．E. メディア対応（プレスリリース一覧）

※研究に関するプレスリリースのみ

（1）日本語

	配信日	タ イ ト ル	担当教員ほか
1	2025/4/10	インド洋大津波から20年「より良い復興（Build Back Better）」は実現したか？ 避難リスク低減状況の定量的評価で戦略的改善の必要性が判明	村尾修
2	2025/4/30	2024年能登半島地震の起こり方は活断層の「かたち」に支配されていた ――シミュレーションにより大地震の特徴を事前に把握できる可能性――	福島洋
3	2025/6/9	「津波災害デジタルツイン」研究開発成果の社会実装検証 ～宮城県「みやぎ県民防災の日」総合防災訓練に参加～	越村俊一
4	2025/7/31	2025年7月30日カムチャツカ半島付近の地震で発生した津波の解析について（速報）	越村俊一
5	2025/8/1	令和6年能登半島地震で変化した地形の高精細3Dデータを公開 ―災害・地形の基礎研究や環境教育・防災教育の教材として活用可能―	高橋尚志
6	2025/8/4	津波リスクへのパラメトリック型保険の適用手法を開発 保険金支払額と実際の損害額の不一致を最小化	三木優志（大学院生）、チュア コンスタンス（特任研究員）、鄭安棋（特任研究員）、サッパシー アナワット、今村文彦
7	2025/8/21	地震火災の被害者5割以上削減を目指す世界初の共創コンソーシアム「Xross Innovation BOSAI」を始動	今村文彦、地震津波リスク評価（東京海上日動）寄附研究部門
8	2025/8/21	【研究成果】1611年慶長奥州地震津波について史料から震度および地震・津波時刻を再検討	蝦名裕一
9	2025/9/17	イオン防災環境都市創生共同研究部門 第1期の成果について	今村文彦、イオン防災環境都市創生共同研究部門
10	2025/12/9	なぜM9級カムチャツカ巨大地震は73年で繰り返し発生したのか	遠田晋次
11	2026/2/18	千島海溝沿いでの「ひずみ」蓄積を海底観測で確認 ―北海道沖で17世紀以来の超巨大地震の再来が切迫している可能性―	富田史章

（2）英語

	配信日	タイトル	担当教員ほか
1	2025/8/4	A New Wave in Disaster Financing: ParaA New Wave in Disaster Financing: Parametric Insurance for Tsunamimetric Insurance for Tsunami	三木優志（大学院生）、チュア コンスタンス（特任研究員）、鄭安棋（特任研究員）、サッパシー アナワット、今村文彦

6. 教育活動

6. 1. 教育活動 集計データ一覧

（1）大学院生等の指導

指導学生数		人数
総数		223
学年等	大学院	172
	博士	72
	修士（博士前期）	100
	学部	51

（2）学位等を取得した学生への関与

博士号を取得した学生への関与		人数
総数		54
担当	主査	20
	副主査	5
	副査	16
	審査員	7
	論文指導	6
修士号を取得した学生への関与		人数
総数		119
担当	主査	41
	副主査	0
	副査	52
	審査員	9
	論文指導	17
学士号を取得した学生への関与		人数
総数		55
担当	主査	35
	副主査	0
	副査	4
	審査員	0
	論文指導	16

（3）留学生・社会人学生の受け入れ

留学生		国・地域	人数
総数		15	43
国・地域	アフリカ	1	1
	北アメリカ	0	0
	ラテンアメリカ	3	3
	東アジア※	2	16
	東南アジア	4	17
	南アジア	0	0
	西アジア	1	1
	オセアニア	0	0
	ヨーロッパ	4	5
社会人学生			人数
総数			31

（4）学生の受賞

総数	26

6．2．指導学生の受賞

（受賞日順）

指導教員名	所属・学年	受賞・学術賞名称	受賞年月日	国内国際	賞の種別	授与機関	個人/グループ	受賞者・受賞グループ名	受賞内容	
姥浦道生	工学研究科・M2（現在社会人）	日本都市計画学会年間優秀論文賞	202505	国内	論文賞	日本都市計画学会	グループ	小井川美衣、山梨裕太、荒木笙子、苅谷智大、姥浦道生	福島原発被災地域における建築動向と土地利用変化に関する研究 先行的に避難指示解除した楢葉町を事例として	原発被災地における土地利用変化を丁寧に調査・分析し時系列的変化を明らかにした点が高く評価された。
佐藤翔輔	工学研究科・M1	地域安全学会論文奨励賞	20250515	国内	論文賞	地域安全学会	個人	星美沙希	津波避難の阻害・促進要因の体系的整理および大雨災害との比較：東日本大震災発生以後の既往研究の系統的レビューから 津波避難に関する既往研究を体系的にレビューするとともに，今後の研究課題を明らかにしたことが高く評価された.	
村尾修	工学研究科・M2	ACUDR Presentation Award	20250523	国際	学会・シンポジウム等の賞	第6回アジア都市防災会議	個人	Mufidatun Khoiriyah	Community-based Tsunami Evacuation Building Distribution Using GIS and Behavioral Data Integration in Cilacap, Indonesia	優れた一般論文発表として高く評価された。
奥村誠	工学研究科・M2	令和6年度土木学会東北支部　研究奨励賞	20250529	国内	学会・シンポジウム等の賞	土木学会東北支部	個人	澤村悠里	モバイル空間統計に基づく災害後外部支援者の実効滞在時間の計算方法	現地観測が困難な災害時において追加の調査なしに，外部支援者の滞在時間と交通時間を推定する手法を開発したことが評価された.
内田典子	工学研究科・M1	Best Student Poster Award	20250801	国際	学会・シンポジウム等の賞	AOGS	個人	Yuto Mukaida, Noriko Uchida, Constance Chua, Anawat Suppasri, Daisuke Sugawara, Fumihiko Imamura	Coastal Vegetation Succession on the Sendai Coast After the 2011 Great East Japan Earthquake and Tsunami	国際学会ポスター発表学生部門において優れた発表を評価された
今村文彦、サッパシー・アナワット	工学研究科・D1	Best student poster award	20250801	国際	学会・シンポジウム等の賞	Asia Oceania Geosciences Society	個人	向田祐翔	Coastal Vegetation Succession on the Sendai Coast After the 2011 Great East Japan Earthquake and Tsunami	2011年東日本大震災において、津波数値解析結果と沿岸植生変化を併せて、被害と回復の特徴を明らかにした成果が高く評価された。
佐藤健	工学研究科・D2	令和7年度日本自然災害学会学術奨励賞受賞	20250919	国内	学会・シンポジウム等の賞	日本自然災害学会	個人	酒井悠里	仙台市における分譲マンションタイプの「がんばる避難施設」の防災力評価−「杜の都防災力向上マンション認定制度」の認定基準を適用した場合の分析−	仙台市の都市整備局が所掌する「杜の都防災力向上マンション認定制度」の評価基準を、危機管理局が所掌する分譲マンションの「がんばる避難施設」への適用を実施
鈴木正敏	医学系研究科・M2	The award of the excellent presentation	20251026	国際	学会・シンポジウム等の賞	The Japanese Radiation Research Society	個人	和泉哉汰		放射線被ばく影響で一般的に使用されているマーカーについて、従来の数の評価に加えて大きさによる質的評価の重要性を発見した成果が高く評価された。
木戸元之	理学研究科・M2	日本測地学会第144回講演会学生による講演会優秀発表賞	20251031	国内	学会・シンポジウム等の賞	日本測地学会	個人	三浦達哉	岩手県沖海溝軸での海底間音響測距データ解析における音速補正精度向上とその効果	観測の空白域であった岩手県沖の海溝軸近傍の挙動を観測により明らかにした。
村尾修	工学研究科・D3	第7回「復興デザイン研究賞」奨励論文賞	20251105	国内	論文賞	復興デザイン会議	個人	加藤春奈	大規模災害からの市街地復興の実態と居住者による居住環境評価	優れた研究論文として高く評価された。
國井泰人	医学部医学科6年	第5回若手研究者育成プログラム新人賞	20251115	国内	学術賞	日本生物学的精神医学会	個人	宮原一総	ゲノム情報に基づく死後脳遺伝子発現量と統合失調症臨床表現型の統合的解析	医学部学生ながら統合失調症の死後脳解析に関する原著論文4報を含む学術業績が高く評価された。
國井泰人	医学部医学科6年	若手優秀発表賞	20251115	国内	学会・シンポジウム等の賞	BPCNPNP2025	個人	宮原一総	神経発達症の遺伝的リスクに基づく、死後脳遺伝子発現量と統合失調症臨床表現型の統合的解析	ADHD及びASDのポリジェニックスコアを独自に算出し、そのスコアと統合失調症死後脳の網羅的遺伝子発現データ及び生前の臨床症状、薬物反応性との関連解析の手法と結果が高く評価された。
栗山進一	医学系研究科・D4	辛酉優秀学生賞	20260108	国内	その他の賞	東北大学医学系研究科・医学部	個人	植松亜美	遺伝的リスク別にみた住環境の緑化度が小児アレルギー疾患発症に及ぼす影響の検討	住環境の緑化度と小児アレルギー疾患・遺伝的リスクとの関連を検討し、画期的な成果として高く評価された。
姥浦道生	工学研究科・B4	日本建築学会東北支部研究発表会・若手優秀発表賞	20260301	国内	学会・シンポジウム等の賞	日本都市計画学会東北支部	個人	丸山龍仁	まちなか再生計画を契機としたエリアマネジメントの実態と中期的変化に関する研究 −宮城県および岩手県のまちなか再生計画策定自治体を対象として−	エリマネ事業の経年変化の実態を丁寧に分析している点が高く評価された。
姥浦道生	工学研究科・B4	日本建築学会東北支部研究発表会・若手優秀発表賞	20260301	国内	学会・シンポジウム等の賞	日本都市計画学会東北支部	個人	祚淵樹生	東日本大震災被災地における再建を契機とした寺院運営上の変化とその要因に関する研究	寺院という施設特性を踏まえた上で従前の集落との関係性について論じている点が評価できる
姥浦道生	工学研究科・M2	日本建築学会東北支部研究発表会・若手優秀発表賞	20260301	国内	学会・シンポジウム等の賞	日本都市計画学会東北支部	個人	重枝隆太	都市計画道路の決定及び廃止が市街地形成に与える影響に関する研究 −仙台市を事例として−	テーマおよび対象地域（仙台市）の設定が時宜を得ており、分析と論述のプロセスも丁寧であった点が評価された。
姥浦道生	工学研究科・M2	日本建築学会東北支部研究発表会・若手優秀発表賞	20260301	国内	学会・シンポジウム等の賞	日本都市計画学会東北支部	個人	平田隼一朗	立地適正化計画における居住誘導区域の変更実態とその背景要因に関する研究	区域変更の内容とその背景要因から立地適正化計画制度とその運用のあり方に示唆を与えている点が評価された。
高橋尚志	理学部・B3	青葉理学振興会奨励賞	20260309	国内	その他の賞	東北大学理学部・理学研究科	個人	加藤千春		理学部3年生として優秀な成績を収めた.
鈴木正敏	医学系研究科・M2	奨励賞	20260313	国内	学会・シンポジウム等の賞	高エネルギー加速器研究機構	個人	和泉哉汰		低濃度トリチウムの持続影響について、生物学的視点による多面的な解析から科学的知見を充足し、トリチウム影響の理解の促進に寄与した点が評価された。
鈴木正敏	医学系研究科・D1	奨励賞	20260313	国内	学会・シンポジウム等の賞	高エネルギー加速器研究機構	個人	佐藤拓		野生動物の外部被ばく線量評価の課題を航空機モニタリングデータの解析を取り入れて克服しようとする戦略が高く評価された。
佐藤翔輔	工学研究科・D2	優秀発表賞	20260315	国内	学会・シンポジウム等の賞	日本災害情報学会	個人	成田峻之輔	4Kライブカメラ映像への物体検出アルゴリズム適用による津波発生時における海水浴客数自動推計手法の検証	4Kライブカメラ映像から津波発生時の海水浴客数自動推計する手法・検証した研究成果が高く評価された.
佐藤翔輔	工学研究科・M1	優秀発表賞	20260315	国内	学会・シンポジウム等の賞	日本災害情報学会	個人	星美沙希	青森県八戸市の住民を対象とした徒歩避難促進における「ナッジ」の利用可能性の検討	青森県八戸市の住民を対象として徒歩避難を促進するナッジメッセージの効果を質問紙実験で検証した成果が高く評価された.
森口周二、野村怜佳	工学研究科・D3	工学研究科長賞	20260324	国内	その他の賞	東北大学工学研究科	個人	肖瑾森		博士課程在籍中の業績が評価された.
森口周二、野村怜佳、ドロハン ニロ レムエル フニオ	工学部・B4	ベストプレゼンテーション賞	20260325	国内	その他の賞	東北大学工学部建築社会環境工学科・建設工学研究振興会	個人	藤沢颯	急こう配斜面を対象とした2次元浅水長波解析による土砂流動の衝撃力評価	卒業論文審査会における研究発表において優れた発表を行い，またその研究内容の水準の高さから受賞にいたった.
村尾修	工学研究科・M2	青葉賞	20260325	国内	論文賞	工学研究科 都市・建築学専攻	個人	金山侑真	東日本大震災における防災集団移転促進事業と移転跡地の利活用に関する研究	最も優秀な修士論文として高く評価された。
千田浩一	医学系研究科・M2	SICE優秀学生賞	20260325	国内	学会・シンポジウム等の賞	計測自動制御学会（SICE）	個人	秋澤彩乃		人格・学業ともに優秀な学生のため

6．3．担当授業科目

（部門・分野順）

担当者名	科　目	機関名	年月 (From)	年月 (To)
木戸元之	固体地球物理学特論Ⅱ	東北大学	2025	現在
木戸元之	学問論演習「地震の予測と減災」	東北大学	2015	現在
木戸元之	災害の科学	東北大学	2013	現在
木戸元之	地震火山計測学特論	東北大学	2012-04	現在
木戸元之	地球惑星物理学	東北大学	2012-04	現在
富田 史章	地球物理学実験Ⅰ・Ⅱ	東北大学	2025-09	2026-08
富田 史章	災害科学概論	東北大学	2025-11	2025-11
富田 史章	固体地球物理学特殊講義Ⅱ	東北大学	2025-08	2025-08
唐啓賢	固体地球物理学特殊講義Ⅱ	東北大学	2025-08	
福島洋	学問論演習	東北大学	2025-10	2026-03
福島洋	Geophysics	東北大学	2025-04	2025-09
高橋尚志	地圏環境科学実習Ⅰ	東北大学	2023-04	現在
高橋尚志	基礎野外実習Ⅱ	東北大学	2023-04	現在
高橋尚志	基礎野外実習Ⅰ	東北大学	2023-04	現在
高橋尚志	地形学演習Ⅱ	東北大学	2023-04	現在
高橋尚志	地形学演習Ⅰ	東北大学	2023-04	現在
大野晋	建築・社会環境工学演習	東北大学	2025	現在
大野晋	建築・社会環境工学基礎	東北大学	2025	現在
大野晋	地盤と都市・建築	東北大学	2018	現在
大野晋	建築構造の力学	東北大学	2007	現在
大野晋	地震と建築	東北大学	2006	現在
大野晋	建築数理基礎論I	東北大学	2005	現在
大野晋	応用システム開発論I	東北大学	2005	現在
大野晋	地震災害制御学	東北大学	2005	現在
大野晋	建築構造工学特論	東北大学	2003	現在
森口周二	応用線形代数学	東北大学	2024-04	現在
森口周二	振動解析学	東北大学	2017-04	現在
森口周二	数値解析	東北大学	2017-04	現在
森口周二	非均質材料の力学	東北大学	2015-04	現在
野村怜佳	自然科学総合実験	東北大学	2023-04	現在
菅原大助	突発災害特論	新潟大学	2025-04	現在
菅原大助	地球環境史	東北大学	2025-04	現在
菅原大助	自然災害特論	東北大学	2023-04	現在
菅原大助	地学実験	東北大学	2022-04	現在
菅原大助	応用堆積学	東北大学	2021-04	現在
菅原大助	沿岸海洋環境工学	東北大学	2021-04	現在
菅原大助	地球の科学	東北大学	2020-04	現在
サッパシー アナワット	建築・社会環境工学基礎	東北大学	2025	現在
サッパシー アナワット	応用情報処理演習A	東北大学	2021	現在
サッパシー アナワット	自然災害科学の基礎と防災への適用	東北大学	2018	現在
サッパシー アナワット	流れと波のモデル化と数値解法	東北大学	2015	現在
サッパシー アナワット	水環境デザイン演習II	東北大学	2015	現在
サッパシー アナワット	社会環境工学実験	東北大学	2015	現在
サッパシー アナワット	沿岸海洋環境工学	東北大学	2015	現在
サッパシー アナワット	工学倫理	東北大学	2026	
マス エリック	応用情報処理演習A	東北大学	2023-10	現在
マス エリック	水環境デザイン演習II	東北大学	2020-04	現在
マス エリック	災害科学の基礎と防災への適用	東北大学	2019-04	現在
マス エリック	建築社会環境工学演習	東北大学	2018-04	現在
マス エリック	津波ハザードマップイング、津波避難計画とシミュレーション	国際地震工学研修・建築研究所	2017-04	現在
マス エリック	数学物理学演習I	東北大学	2017-04	現在
マス エリック	災害の科学/持続可能な社会のレジリエントデザイン	東北大学	2016-04	現在
柴山明寛	地盤と建築	東北大学工学部	2025-04	現在
柴山明寛	地震と建築	東北大学工学部	2025-04	現在
柴山明寛	情報とデータの基礎	東北大学	2025-04	現在

柴山明寛	災害危機管理論	東北大学大学院工学研究科	2013-04	現在
佐藤大介	展開学問論	東北大学(全学教育)	2024-10	現在
佐藤大介	記録遺産保全学特論	東北大学大学院文学研究科	2022-04	現在
佐藤大介	日本史各論	東北大学文学部	2016-04	現在
佐藤大介	環境科学概論	東北大学大学院環境科学研究科(数年に1回担当)	2013-04	現在
佐藤大介	日本社会史論	東北大学大学院環境科学研究科	2013-04	現在
佐藤大介	地域環境学特論	東北大学大学院環境科学研究科	2024-08	
村尾修	都市・建築設計II	東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻	2024-10	現在
村尾修	都市・建築設計I	東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻	2024-04	現在
村尾修	災害科学・安全学発展講義	東北大学災害科学・安全学国際共同大学院	2019-04	現在
村尾修	災害科学・安全学基礎II	東北大学災害科学・安全学国際共同大学院	2019-04	現在
村尾修	創造工学研修	東北大学工学部	2016-10	現在
村尾修	防災・復興空間論	東北大学工学部建築・社会環境工学科	2014-10	現在
村尾修	都市・建築計画学特論	東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻	2013-04	現在
ユ ユンチ	災害科学・安全学基礎II	東北大学災害科学・安全学国際共同大学院	2025-10	現在
奥村誠	最適化数理	東北大学	2025-10	現在
奥村誠	建築・社会環境工学基礎	東北大学	2025-04	現在
奥村誠	建築・社会環境工学序説	東北大学	2024-07	現在
奥村誠	都市システム計画演習II	東北大学	2020-04	現在
奥村誠	地域・都市計画	東北大学	2008-10	現在
奥村誠	計量行動分析	東北大学	2006-10	現在
御手洗潤	福島の復興・再生	東北大学	2022-09	現在
御手洗潤	公共政策ワークショップ Ⅰ	東北大学公共政策大学院	2021-10	2026-03
御手洗潤	公共政策特論	東北大学公共政策大学院・法学部	2021-10	2026-03
御手洗潤	防災法	東北大学公共政策大学院	2022-04	2025-07
平野勝也	建築・社会環境工学概論	東北大学	2024	現在
平野勝也	建築・社会環境工学序説	東北大学	2024	現在
平野勝也	地域システム学セミナー	東北大学大学院	2012	現在
平野勝也	都市システム計画研修B	東北大学	2004	現在
平野勝也	都市システム計画研修A	東北大学	2004	現在
平野勝也	都市システム計画演習II	東北大学	2004	現在
平野勝也	景観デザイン演習	東北大学	2004	現在
平野勝也	基礎設計A	東北大学	2004	現在
平野勝也	土木史	東北大学	2004	現在
平野勝也	都市景観論	東北大学大学院	2002	現在
泉貴子	国際環境資源政策論講座 演習I・II	東北大学大学院国際文化研究科	2020-04	現在
泉貴子	プロジェクトリスクマネジメントI	東北大学大学院国際文化研究科	2020-04	現在
江川新一	巨大災害に対する健康と社会のレジリエンス	東北大学	2025-10	2026-10

江川新一	自然環境と災害	仙台青葉学院大学 リハビリテーション科	2025-12	2026-01
江川新一	自然環境と災害	仙台青葉学院大学看護学科	2025-10	2025-12
江川新一	ヒューマンセキュリティとグローバルヘルス	東北大学	2025-04	2025-08
江川新一	JYPE災害科学の基礎と防災	東北大学	2025-06	2025-06
佐々木宏之	巨大災害に対する健康と社会のレジリエンス	東北大学	2025-11	2025-11
朴慧晶	災害科学の基礎と防災への適用	東北大学	2023-04	現在
千田浩一	医用写真学	東北大学	2025-04	現在
千田浩一	臨床撮影技術学 I	東北大学	2025-04	現在
千田浩一	放射線工学概論	東北文化学園大学	2025-04	現在
千田浩一	災害の科学	東北大学	2025-04	現在
千田浩一	卒業研究	東北大学	2025-04	現在
千田浩一	放射線関係法規	東北大学	2025-04	現在
千田浩一	Radiological Examination and Technology	東北大学	2025-04	現在
千田浩一	Laws and Regulations for Radiologic Technologist	東北大学	2025-04	現在
千田浩一	Radiation Equipment Engineering	東北大学	2025-04	現在
千田浩一	Radiation Dosimetry	東北大学	2025-04	現在
千田浩一	Clinical Radiological Technique Seminar II	東北大学	2025-04	現在
千田浩一	Technique of clinical Imaging	東北大学	2025-04	現在
千田浩一	Clinical Radiological Technique Seminar I	東北大学	2025-04	現在
千田浩一	Doctoral Dissertation Research	東北大学	2025-04	現在
千田浩一	Paper research & Basic seminar	東北大学	2025-04	現在
千田浩一	応用セミナー	東北大学	2025-04	現在
千田浩一	基礎セミナー	東北大学	2025-04	現在
千田浩一	放射線技術学実験II	東北大学	2025-04	現在
千田浩一	放射線技術学実験I	東北大学	2025-04	現在
千田浩一	放射線機器工学II	東北大学	2025-04	現在
千田浩一	放射線機器工学I	東北大学	2025-04	現在
千田浩一	医用工学実習	東北大学	2025-04	現在
千田浩一	放射線計測学実験II	東北大学	2025-04	現在
千田浩一	放射線計測学実験I	東北大学	2025-04	現在
千田浩一	医用工学	東北大学	2025-04	現在
千田浩一	放射線基礎医学 物理	東北大学	2025-04	現在
千田浩一	放射線計測学II	東北大学	2025-04	現在
千田浩一	放射線計測学I	東北大学	2025-04	現在
千田浩一	分野特論	東北大学	2025-04	現在
千田浩一	分野セミナー	東北大学	2025-04	現在
千田浩一	応用セミナーI	東北大学	2025-04	現在
千田浩一	カレントトピックス	東北大学	2025-04	現在
千田浩一	基礎ゼミ	東北大学	2025-04	現在
鈴木正敏	放射線安全管理科学トレーニング	東北大学	2024-04	現在
鈴木正敏	放射線安全管理科学特論	東北大学	2024-04	現在
鈴木正敏	被ばく影響学概論	弘前大学	2023-04	現在
鈴木正敏	放射線技術学専攻学生実験	東北大学	2022-04	現在
鈴木正敏	巨大災害に対する健康と社会のレジリエンス	東北大学	2022-04	現在
鈴木正敏	福島の復興・再生	東北大学	2022-04	現在
國井泰人	「巨大災害に対する健康と社会のレジリエンス（災害医療）」	東北大学	2021	現在
大類真嗣	東北大学医学部保健学科「公衆衛生（災害保健と健康危機管理）」	東北大学	2025	現在
大類真嗣	東北福祉大学健康科学部保健看護学科「疫学」	東北福祉大学	2025	現在
大類真嗣	東北大学医学部医学科3年次「公衆衛生（災害公衆衛生）」	東北大学	2025	現在
大類真嗣	東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学専攻「疫学概論（分子疫学）」	東北大学	2025	現在
大類真嗣	精神疾患とその治療（公認心理師養成）	東北学院大学	2022	現在
大類真嗣	社会医学・医療学（公衆衛生学・衛生学講座）精神保健	山形大学医学部	2008	現在
林宏典	大学院講義「感染症とヒューマンセキュリティ/アドバンスド感染症」	東北大学	2024-12	現在
林宏典	大学院講義「巨大災害に対する健康と社会レジリエンス」	東北大学	2024-11	現在
野村周平	乃木坂スクール「日本型健康長寿を支える食と栄養」	国際医療福祉大学	2024-04	現在

野村周平	Global Health Course	University of Indonesia	2024-04	現在
野村周平	ヒューマンセキュリティとグローバルヘルス	東北大学	2024-04	現在
野村周平	公衆衛生マネジメント	慶應義塾大学	2024-04	現在
野村周平	国際看護学特論 I	聖路加国際大学	2019-04	現在
野村周平	国際保健政策学特論 I	東京大学	2018-04	現在
野村周平	国際保健政策学特論 II	東京大学	2018-04	現在
野村周平	Social Design and Global Leadership	東京大学	2017-04	現在
野村周平	健康・医療ビッグデータ概論	静岡社会健康医学大学院大学	2022-04	2026-03
佐藤翔輔	応用確率統計学	東北大学建築・社会環境工学科	2025-05	現在
佐藤翔輔	防災システム論	東北大学大学院工学研究科土木工学専攻ほか	2024-04	現在
佐藤翔輔	社会教育特講	東北大学大学院教育学研究科	2018-04	現在
佐藤翔輔	地域防災論	石巻専修大学人間学部(非常勤)	2017-04	現在
佐藤翔輔	土木工学博士研修	東北大学大学院工学研究科土木工学専攻	2017-04	現在
佐藤翔輔	水環境学特別研修	東北大学大学院工学研究科土木工学専攻	2017-04	現在
佐藤翔輔	水環境学特論	東北大学大学院工学研究科土木工学専攻	2017-04	現在
佐藤翔輔	土木工学修士研修	東北大学大学院工学研究科土木工学専攻	2016-04	現在
佐藤翔輔	水環境学セミナー	東北大学大学院工学研究科土木工学専攻	2016-04	現在
佐藤翔輔	社会環境工学実験	東北大学建築・社会環境工学科	2015-04	現在
佐藤翔輔	水環境デザイン研修A	東北大学建築・社会環境工学科	2013-04	現在
佐藤翔輔	水環境デザイン研修B	東北大学建築・社会環境工学科	2013-04	現在
Boret Sébastien	JYPE – Basics of disaster science and its application for BOSAI	東北大学	2019-04	現在
Boret Sébastien	文化人類学各論 (文学部)	東北大学	2017-04	現在
Boret Sébastien	東北アジア文化人類学 (環境化学研究科)	東北大学	2017-04	現在
Boret Sébastien	文化生態保全学セミナー (環境化学研究科)	東北大学	2017-04	現在
Gerster Julia	福島の復興と再生 (Recovery and Revitalization of Fukushima)	Tohoku University	2020	現在
Gerster Julia	Erinnern und Vergessen: Einführung in soziale Gedächtnisstudien (Remembering and Forgetting: Introduction to Memory Studies	TU Dortmund	2025-10	2026-04
Gerster Julia	Disaster Digital Archive Lab: The Japan Disasters Digital Archives (JDA) in the classroom	Tohoku University	2019	2025
マリ リズ	Issues in Housing and Community Recovery	Tohoku University	2026-01	2026-01
マリ リズ	Integrated Land Use Planning for Disaster Risk Reduction: The case of Japan	RMIT	2025-08	2025-08
マリ リズ	Issues in Housing and Community Recovery	Tohoku University	2025-06	2025-06
マリ リズ	Long term Recovery: 3.11 and Fukushima	神戸大学	2025-05	2025-05
小野裕一	防災の国際潮流と仙台防災枠組/ 変動地球共生学特別講義 I	東北大学 卓越大学院	2025-10	2026-01
小野裕一	プロジェクトマネジメント論	東北大学 卓越大学院	2025-04	2025-07

原裕太	持続可能な開発に資する事前防災投資	東北大学環境科学研究科	2025-10	現在
原裕太	東北地域論	東北学院大学	2023-09	現在
原裕太	国際環境地理学特論	東北大学環境科学研究科	2025-08	2025-08
内田典子	自然災害科学の基礎と防災への適用	東北大学	2025-04	2026-03
川内淳史	地域社会史	宮城学院女子大学	2023-04	現在
川内淳史	日本史	仙台白百合女子大学	2021-04	現在
石川美希	インクルージョン社会	東北大学	2024-10	現在
石川美希	聴覚障害者教育総論	郡山女子大学	2023-09	現在
丸谷浩明	防災法	東北大学公共政策大学院	2014-04	現在
永田彰平	地理情報解析学実習	東北大学	2025-04	2025-07
永田彰平	自然環境地理学	東北大学	2022-08	
古屋貴司	GISによる空間的問題解決手法	放送大学 千葉学習センター	2025-06	2025-06

2025年度 東北大学 災害科学国際研究所 活動報告書

Annual Report 2025
International Research Institute of Disaster Science (IRIDeS)
Tohoku University

〒980-8572 仙台市青葉区荒巻字青葉468-1（事務局）
電話 022-752-2049 Fax 022-752-2013

2026年9月1日 発行
発行 東北大学災害科学国際研究所 所長 越村俊一
編集 東北大学災害科学国際研究所 木戸元之
中鉢奈津子・今野公美子・佐藤正則・中野夏海・福島愛子
印刷 有限会社明倫社


TOHOKU UNIVERSITY
IRIDeS
東北大学災害科学国際研究所